

目 書 容 收



陵 青 保 海

談 濟 經

HB Takimoto, Seiichi (ed.)  
51 Nihon keizai sōsho  
T3

v.18

East  
Asiatic  
Studies

PLEASE DO NOT REMOVE  
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

---

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

---









# 日本經濟叢書

卷十八

日本經濟叢書刊行會

HB

51

T3

1126255

V. 18







海保青陵畫





日本經濟叢書卷十八目次

一 善 中 談

海保青陵著

一頁

一 天 王 談

三

一 萬 屋 談

六五

一 養 心 談

九三

一 前 議 談

一二三

一 諭 民 談

一五三

一 稽 古 談

一八七

一 升 小 談

三六一

一 洪 範 談

三九五

目次

一 海保儀平書 並或問

二

五六五

目次終



# 解題

## 海保青陵經濟談

海保青陵の經濟談は、其の部數詳ならず、編者の調査せる所に依れば、善中談・天王談・萬屋談・養心談・前識談・諭民談各一卷、稽古談五卷・升小談一卷・洪範談三卷、(以上九部本卷へ收録) 富貴談・燮理談・占考談・活眼談・驕民談・卒伍談・三子談・字說談・及端談、(以上未收) の十八部にして、富貴談以下八部の書は、著者の談中、若くは他書に就て、其の存在し居たるを認めたりと雖も、其の外何部ありしや、今之を確むること能はざるなり、諸家著述目錄、漢學家之部、海保皐鶴の頁に經濟錄、(錄は勿論談の誤なるべし) と云ふ書名あるも、部數なく、其の他には、全く此の書名すら見えず、編者嘗て或る書を閲し、青陵の經濟談、二十餘卷とありしことを、記憶し居れども、これは二十餘部なるを、誤

て卷となしたるか、又は右十八部の内、稽古談五卷・洪範談三卷を合せ、卷數を以て計れば、既に二十四卷に充つるが故に、其の概數を擧げて、二十餘卷となしたるか、何れにしても本書の如き、我が經濟學上、最も重要な著作が、從來長く學界に知られずして、其の大部分を散逸したるは、編者の最も遺憾とする所なり、殊に富貴談以下の八部は、編者數年間、力を竭くして搜索したるも、何れの文庫にも其の存在することを聞かず、今や全く蠹魚の腹中に葬られ去りたるかと思はるゝは、返すぐも遺憾の極みならずや、然れども編者が苦心の結果、漸く前記善中談以下九部十五卷を得て、我國一大經濟學者の意見の一斑を世上に紹介することを得たるは、蓋志ある者の首肯せらるゝ所ならん

本書は、大抵皆大坂・京都・加賀・越後等、處々に於ける著者が講演の筆記にして、其の聽講の席に列したる人々は、他の普通の儒者が重にも幕下、又は諸藩の士大夫に向て説きたると、全く其の趣を異にし、多くは常に其の所處の

商人、若くは農家を集めて、講演したる事なれば、其の論題の主意、及引例等、概して農商工の利害に適切ならざるはなく、自分は堂々たる門閥に生れたる立派の侍にして、而かも儒學の造詣深き、一大名家たるに拘はらず、少しも生武士の氣風もなければ、腐儒の臭味もなく、洒々落々と、説き來り説き去て、何等の拘滞を爲さざるは、當時の學者中、稀に見る所なり、而して其の意見は、儒者の口を借て、之を評すれば、所謂申韓刑名の學にして、頗る峻酷を極め、隨て中庸の旨に反くの嫌なきにあらざるべきも、其の社會の眞相を看破し、經濟的關係に非常の重きを措きて、武家士大夫の不心得を痛斥し、兼て又商人を激勵して、目先の明かならざる可らざる事を、切論したるが如きは、一讀痛快を覺ゆるなり、加之ならず、書中に記する所の事實は、著者の實見實聞に係るもの多く、隨て單に經濟的の史實として、之を觀察するも、吾人の參考とすべき事、甚だ鮮なからざるが如し、今此に各談を一括して、其の中最も奇抜なる意見と、編者の創聞に屬する事實の大要を列舉すれば、左の如し



余昔備前ノ國ニ遊ビシトキ、五明屋ノ某ト云モノ、余ヲ請ジテ其別業ノ記ヲ需メタリ、此別業ハ備前ノ南邊ニ有テ新田ノ中ナリ、新田夥シキコトニテ幅二里餘アリテ、長サハ五六里モアルベシ、海ヘ築キ出シタル新田ナリ、余モ感心シテ新田多キヲ賞セシトキ、五明屋ノ老奴申セシハ、コノ新田ガコノ國ノ貧ニナリタル濫觴ナリ、此ハ熊澤了介ト云儒者ノ富國ノ術ヲ致サレタル心ハ至極宜ケレドモ、算用ニ詳カナラヌ人ユヘニ無算用ニ出來サレシコトナリ、其譯ハ新田開發ト云コトハ富國、金ノ有リ餘ル國ノコトニテ、貧國ノ今日ノ急ヲ救フ人ノスルコトニアラズ、如何ニモ土地モ廣フナリ、人民モ多フナルコトナレドモ、借金モ多フナルコトナリ、金借ズニ開發出來ルコトナラバ、發開スルコト智ナリ、金ヲ借テ開發スレバ、利息ハ新田ノ上リ高ニテハ償ハレズ、富國ヲ賑ハス術ニテ、貧國ヲ救フ術ニテハナシ、他國ノ富國ニ心有ル、能々其國ノ富貧、其術ノ遠近、人力ノ多少ヲ見クラベテ取掛リ玉フベキコトナリ、熊澤子ノ忠ハ今ハ判シガタシ、永々此借金ハ拔マジキナリト云ヘリ、熊澤ヨキ學問ノ人ニテ富國ニ長ゼシ人ナレドモ、此老奴ノ見處ニ却テ及バヌ處アリ、サレバ何レ其國ヨリ金銀他處ヘ出ルハ貧ニナル道ナリ、既ニ新田ハ他國之人ヲ用ユルニモアラズ、自國ノ人ニテ用事足ルコトナレバ、備前ノ金ハ備前ヘ落ル理ナレドモ、大阪ヨリ借タル金ノ利息、他ヘ出ルユヘ、其國ノ貨財年々耗ル理ナリ、少々バカリテモ年々出ルハ大イナル損ナリ、少々バカリニテモ年々入ルハ大イナル徳ナリ、新田ノ徳利息ノ損ヲ償ハヌハ少々バカリノコトナルベケレドモ、此ヨリ備前

ハ貧ニナルト此老奴物語セリ、是國ノ經濟ヲ執ル人聞テ置テヨキ話ナリ、云々(善中談)

次ぎには、津山侯が登城の時、熊本侯に遇ひ、熊本ノ經濟が、其の名臣堀平太左衛門の力に依て、整理せられたる顛末を尋ね、遂に津山より、家老某を、堀の許へ遣はして、經濟の傳授を受けしめ、某津山へ歸りて、種々の計畫を爲したる中に、無盡講を仕組みたる事を記し、且つ曰く

扱家中ノ者へ申付、閑金ヲ集テ無盡講ト云モノヲ始ラル、家中ノ者ドモハ武士ノコトユヘ、米ヤ金ハ天カラ降りデモスルヤフニ覺ヘテ、ヘラリト喰フテアル、是レ鼠ガ家ノ内ニアルニチガヒタルコトナシ、唯米ヘルバカリナリ、ヘラリト喰テ居ユヘ、米金ノ貴キコトヲ知ラズ、其上武士ノ風トシテ、金ヲ賤シムコトナリ、金ヲ賤シムユヘニ、金ヘラ／＼ト無ナルナリ、金ヲ貴ブ人ヲバ大ニ笑フテ、商賣中ノ人ナリト云コト、武士一統ノ風ナリ、商賣人ノ風トテ笑フホドナラバ、己レハ商賣ハセスカト云ヘバ、先大國ノ大名ヨリ、年々米ヲ賣リテ金ニシテ、扱公用ヲ勤メ萬事ト、ノフナリ、米ヲ賣ルハ商賣ナリ、大國ノ大名ヨリ、皆商賣中ノ人ナリ、商賣中ノ身分デ居ナガラ、商賣ヲ笑フユヘ、己レガ身分ト所行ト違フナリ、貧ニナルハヅノコトナリ、米ヲ賣リテ金ヲツカフハマダ／＼ヨキ分ナリ、彼商人ヲ欺キタラシテ、アヤマリ證文同前ノ手形ヲ書キテ、金ヲカリテ金子調達スレ

バ、鬼ノ首ヲトツタル心ニ、功ニ伐リテ喜ビナガラ、又商賣ヲ笑フハ、ナントツマラスコトニテハナキヤ、……………今ハ弑父弑君ノコトモナシ、亂世ニモアラズ、賣買ヲセネバ一日モ暮サレズ、金銀ヲ賤ム世ニアラズ、商賣ヲ笑フ時ニアラズ、笑ヘバ先己レガ身カラ笑フガ頓ナリ、アヤマリ證文ノ手形ヲカク男ヲ笑フベシ、商人ヲ欺キタオス男ヲ笑フベシ、國ヲ貧ニスル男ヲ笑フベシ、ヘラリノト鼠トトモニ米ヲヘラス男ヲ笑フベシ、是レ笑フベキ所ヲ笑ヒデ、笑フマジキ所ヲ笑フト云フモノナリ、云々(善中談)

又万屋の主人が、鰯屋の鰯を買はんとしたるを、店の小僧が、大に諫めて止めたる奇談を述べ、其れより人民の取扱、國家の治方に論及して

今ノ仁者ト稱スル人ハ、兎角民ヘ馳走ヲシテ悅セル仕方也、大愚ト云ベシ、民一度馳走ニナレバ、年中馳走ニナリタフ覺ユル也、イツソ馳走ニナリタルコトナケレバ、馳走ハ知ラス也、馳走ヲ知ラネバ、不馳走モ知ラズ、一度馳走ヲスレバ、馳走セズバ不馳走也、民ヲ不馳走ニセマヒト思ナラバ、馳走ヲセヌコト也、……………法トハ式目、掟ト云コト也、其國其家ノ旦那ト云トモ曲ルコトナラヌハズノコト也、術トハ心ノヤリクリ也、其場合ニヨリ其事宜ニ應ジテ繰出ス也、法ハリチギナル老人ノヨフナルモノ也、術ハ智者ノ氣轉キ、ノヨフナルモノ也、兩方揃ハネバ國家治マラス也、如シ法計デ天下治ラバ、書物ヲ讀人サヘアレバ亂レヌ也、書物讀百萬人有テモ亂ル、ハ術ナキ故

也、術バカリデ天下治マラバ、書物ハ入用ニナキハヅナレドモ、利口モノバカリデモ亂ル、ハ法立ヌ故也、法立テ、曲ル人アリテハ法トハイハレヌ、術アリテモ決斷シテ行ハネバ術ノ甲斐ハナシ、云々(萬屋談)

### 次ぎに又、學者の爲すに足らざる事を論じて、曰く

凡ソ儒者ハ青表紙ニクラマサレテ、眼一向ニ見ヘヌ也、アホウバカリ云テ居ル也、必々儒者ノ論ニ拘ハルベカラズ、唯目ノコ算用ニ、聖賢ノ言ヲギシ／＼推シテ見ルベシ、タトヘドノヨウナル立派ナ論ニテモ、今ノ世ニ用ニ立ヌ論ハ、畢竟ムダ議論也、先王ノ禮樂刑政イフテ見レバ、見事ナルバカリニテ、今ノ世ニ用ニタズ、眞ノヒマツブシ也、云テ見レバ玩弄物ナリ、子供遊也、子供寄合テマ、ゴトヲスルヲ見ルベシ、木ノ實ヤ、木ノ節ヤ、泥ノカタマリナドヲ拾テ、此ハ御燒物、此ハ御平・御坪・御吸物・二ノ膳・二ノ汁・後段御酒・御殺ト種々ノ料理立派也、左レドモタ飯ジブンニナレバ、其御料理ヲ蹴チラシテ、各々宿ニカヘリ、大ニヒダルガリテ眞ノ飯ヲクフ也、今マデクヒタルハ、腹ノタシニモ何ニモナラヌ木ノ節・泥ノカタマリ也、儒者先生ノ禮樂ヲ立派ニ説並ブレドモ、今ノ用ニ立ヌ故、政ノ談ニナレバ、隅ヘヒツコミ、目ヲバチ／＼シテ、黙シテ見テ居ル也、ソコデ身代直シノオヤヂ出デ、眞ノ政ヲスルコト也、儒者ハ子供ノマ、ゴト也ト思フベシ、邪魔ニナルトモ助ニハトントナラヌ也、云々(同上)



又其れより加賀に於て、國法を犯したる者を、寛大の扱にしたるを、不可なりとして

法ハマゲラレヌガ法也、此男ノ首ヲ刎ルハムゴキコト也ト思ヒテモ、法ガ首ヲ刎ル法ナレバ仕方ナシ、此男一人ト萬代不易ノ法トハ、輕重小兒マデモ辨フベシ、凡ソ書ヲ讀ム人ハ書ニ酔タル醉客也、醉客ガ何ゾ仁ノ字ヤ善ノ字ヲ辨センヤ、法ヲマゲヌコソ仁トモ善トモ云ベキ也、云々(同上)

又曰く

鶴(著者ノ名)國ヲ經タルコト三十、儒者ニ逢タルコト數百人、博ク書ヲ見テ覺テ居ル人モ澤山アリ、字ノ音ヲ覺テ居ル人モ澤山アリ、腕ノ達者ニ文章ヲトリマハス人モアリ、杓子定木デナキ人ハ一人モナシ、聖人ノ意ヲ語ル人モ一人モナシ、智慧ニ益ヲ得タル人モ一人モナシ、唯諸國ヲ經メグリテ、處々ニ逗留ヲ長フシタレバ、江戸ヲ知ルコトヲ覺ヘタリ、鶴ハ江戸ニ生レタル故江戸ガ定木ナリト思タリ、定木マガリテモ外ニ定木ナケレバ、定木ハ直ナルモノトバカリ覺テ江戸ニ少シニテモチガヘバ、是ハマガリ、是ハヒヅミ、是ハイナカ、是ハアシ、是ハ本ノ人間デハナシト思テ、ドノヨフニ考テ見テモ、江戸ノマガリハ見ヘズ、江戸ノヒヅミハ見ヘズ、江戸ノ田舎ハ見ヘズ、江戸ノ惡シキ處ハトント見ヘザリシガ、諸國ニ久シフ滯テ江戸ヲサツバリ忘レテ、江戸ヲ他國ノヨウニ見ルヨウ

ニナリテ、始メテ江戸ノカツコウヲ能見タリ、諸國ヲ遍歴シテノ益ハ是バカリ也、今年ハ江戸ノマ  
ガリモ、ヒヅミモ、江戸人ノ氣モ、江戸ノ土モ、江戸ノ風モ、言葉ニ述ラレルヨフニナリタルナリ、  
云々(養心談)

と説きて、江戸の風俗を攻撃したるは面白し

次に孫臏が田單をして、競馬に勝たしめたる「三分一見切の術」なるものを述べて、其の經濟上の適用を論じたるは、大に理あるの言にして、吾人の最も服膺すべきものなりとす、其の説に曰く

譬バ錢百文ヲ三ツニ割バ三十三文ヅ、也、三十三文ハ世話ヲヤカヒデモ得ル三十三文也、三十三文  
ハ世話ヲヤキテモ費ベキ三十三文也、アトノ三十三文ハ徳ノ方へ入レバ徳ニナリ、損ノ方へ入レバ  
損ニナル三十三文ナリ、世話ヲヤカヒデモ取レル三十三文ハステオクガヨロシ、世話ヲヤイテモ取レ  
ヌ三十三文ハ捨テ見切ルガヨロシ、世話ヲヤケバ取レテ、世話ヲヤカネバ取レヌ三十三文ハ、唯三十  
三文ノコトナレバ、イカヨフニモ世話ヲヤキテ徳ノ方へ入ルベキヨフニスルコト也、然レバ世話ヲ  
ヤケバ唯三分一ニテ、アトノ一分ハステオキテ取レル財、今一分ノハ見切ルベキモノナレバ、其ノ  
身モラクナルコト也、又皆九十六文共ニ取ラント云バ大ニ誤リ、天ノ理ニナキコトナリ、六十四

文フエテ、三十二文ヘルノガ眞ノフエルナリト心得ベシ、不<sub>レ</sub>殘得ル世話ハ皆過ニテ天理ニ違ナリ、三分一ハマケテ三分二ハ勝ダ眞ノ勝ニテ、不<sub>レ</sub>殘勝ト云コトハナキコト也、天ノ理ニ違フ也、今身上ヲヨフスル人モ不<sub>レ</sub>殘取タル人ニアラズ、三分一ハ損ヲシテ三分ノ二フヤセシ也、今身上ヲアシフスル人モ皆急ニナフシタルニアラズ、三分一ハフヤセドモ三分二ヅ、ヘラシタル人也、是三分一見切ト云コトハ其捷路ニテ、人ノ合點ノユキヤスキコトナレドモ、行ヒガタキ處也、云々(前識談)

次ぎに大坂は日本國中に於て、金を溜める事に、最も熱心なる所なりとて、其の風俗の面白き事を述べて、曰く

誰ニテモ貧ハイヤニテ、富ハ好マシキコト人情ナリ、人情ニチガハヌヨフニ世ニ活キテオレバ、禍ヲマスカレテ福ヲ得ルニチガヒナキコトナリ、唯平生ニ貧ハイヤナリト思フ心ノキヘヌヨフニシテオレバ、一生貧ヲスルコトアルベカラズ、大阪ニテハ豪富ノ家ニハ皆送究ノ式アリテ、毎月毎月ツゴモリニハ、キツト貧乏神ヲ送ルコトナリ、是レ即チ貧ヲイヤニ思フコトヲワスレヌ爲ナリ、京ニモ江戸ニモコノ式ナシ、風ノ神ヲ送ルコトハアルナリ、風ヲヒキテワヅラフハイヤナルコトユヘニ、風ノ神ヲ送ルナリ、貧ハ風ヲヒクヨリモ又々ズツト人ノイヤガルコト也、然ルニ貧乏神ヲオクラヌハ貧ノ字ヲワスル、ユヘ也、……士大夫ハ別シテ貧ヲイヤナリト思フ心ウスキ也、故ニツネニ貧ヲワスレテオル、貧ヲワスレテオルユヘニ貧ナリ、扱節季ニナレバ色青ザメテ、處々ヘ出デ、金ノ

才角ヲスル、其時ノ勞困イフバカリナキコト也、扱節季モスミテシマヘバ、又貧ノ字ヲワスレテヲル、又節季ニ色青ザメル、サリトハ不養生ノ事ナリ、壽命ノチヅマル仕掛ケナリ、……扱大阪ニテハ燒味噌大法度ナリ、決シテ味噌ヲヤカヌコト也、燒味噌ノ臭ヲ貧乏神コノムトシタルモノ也、ソコデ月ノツゴモリニバカリ、臺所ニテ番頭ヤキミソヲヤキテ、貧乏神ヲ皆臺所ヘアツメルト云術ナリ、ソコデ二ツヤキテ、扱一ツノヤキミソヲバ、ノケテヲキテ、一ツノ燒味噌ヲ手ニテワル也、ワリテクチヲアケサセテ、臺所中ヲ持テマワルコト也、臺所ノコラズ持テマワリテ、最終リニヤキミソノクチヲ堅クシメテ、ソレヲ川ヘナガス也、扱一ツノヤキミソヲモ又手ニテワリテ、坐敷ヨリ見世・居間・次ノ間・女部屋・男部屋マデ持テマワリテ、最終リニ口ヲ堅クシメテ、川ヘナガス也、其番頭衣服ナドヲヨフハタキテ、味噌ノ臭氣ノナキヨフニシテ家ニ入ル、是送究ノ式ナリ、究鬼ト云モノアロフハヅナシ、唯ケ様ニシテ手代初メデツチニ至ルマデ、貧ライヤニ思フコトヲ知ラスタメ也、云々

(諺民談)

大坂の商人が、上方贅六の譏を受けながら、今日猶我が國經濟界の大立物となり、苟も大事業を起さんとすれば、東京にても、名古屋にても、兎に角、大坂商人の鼻息を伺ひて、處決せざる可らざるの實あるは、寔に偶然にあら



ざるを知るべし

著者の稽古談は、其の論法最も穎利にして、學說として、參考に資すべきもの甚だ尠なしとなさず、今その一例を舉ぐれば

田モ山モ海モ金モ米モ、凡ソ天地ノ間ニアルモノハ皆シロモノナリ、シロモノハ又シロモノヲウムハ理ナリ、田ヨリ米ヲウムハ、金ヨリ利息ヲウムトチガイタルコトナシ、山ノ材木ヲウム、海ノ魚鹽ヲウム、金ヤ米ノ利息ヲウムハ天地ノ理ナリ、田ヲステ、ヲケバ何モウマヌナリ、金ヲネセテヲケバ何モウマヌナリ、田ヲ民ヘカシツケテ、十分一ノ年貢ヲ取ルハ、コレ一割ノ利ヲ取ルナリ、周禮ニハ漆ノ木ハ二十五ノ五ト云ヘバ、是レ四朱ノ利ナリ、勿論利ヲウムニ、物ニヨリテ遲速アルユヘ、利息ニ多少ナフテカナワヌコトナリ、云々(稽古談)

と云ふが如きは、歐米の經濟學說と全然吻合するものにして、殊に其の末段に、「勿論利ヲ生ムニ物ニヨリテ遲速アルユヘ利息ニ多少ナフテカナワヌコトナリ」と斷言したるは、其の主旨、ジョン、レー及ベーム、バグエルク等が、後年唱道せる資本金利論の根本思想に、先鞭を著けたるものと云はざる可らず

古ヘヨリ君臣ハ市道ナリト云ナリ、臣ヘ知行ヲヤリテ働カス、臣ハチカラヲ君ヘウリテ米ヲトル、君ハ臣ヲカイ、臣ハ君ヘウリテ、ウリカイナリ、ウリカイガヨキナリ、ウリカイガアシキコトニテハナシ、凡ソウリカイノコトハ、君子ノスルコトデナイト云ハ、皆孔子ノ利ヲイトフコトヲ丸ノミニシテ、ノミコミソコナフタルナリ、君臣ハウリカイデハナイトイヒタルヨリ、喰ツブシト骨折損ト澤山アリ、喰ツブシハ君ノ損ナリ、骨折損ハ臣ノ損ナリ、甚不算用ナルモノナリ、天地ノ利ニチガフテアルナリ、……一體天地ハ理ヅメナリ、ウリカイ利息ハ理ヅメナリ、國ヲ富サントナラバ、理ニカヘルベキコトナリ、理ニカヘリテ見レバ、周禮ハ甚ヨキ手ガ、リナリ、天子ハ天下ト云シロモノヲモチタル豪家ナリ、諸侯ハ國ト云シロモノヲモチタル豪家ナリ、コノシロモノヲ民ヘカシツケテ、其利息ヲ喰フテアル人ナリ、卿大夫士ハ己レガ智力ヲ君ヘウリテ、其日雇賃錢ニテ喰フテオル人ナリ、雲助ガ一里カツギテ一里ダケノ賃ヲトリテ、餅ヲ得酒ヲ得ルニ何モチガイハナシ、聖人ノ御代ニハ下々ノ民マデ、路ニ捨ルヲ拾ハズト云語ヲ見ルニ、面白キコトナリ、聖人ノ御世ニハ刑措テ用ズト云語ヲ見ルニ、感ジタルコトナリ、扱刑措テ用ヒズトハ、上ノ御政ユルサヌヘナリ、ユルセバ民ガ刑ヲ犯ス、キツト刑スルユヘニ、民刑ヲオソルハナリ、刑ヲ民ガヲソルレバ、刑ニアハスヨウニスルナリ、民ガ刑ヲ犯ス、上デキツト刑スル、是ウリカイ算用ハツキリトキワマリタルナリ、韓非ハ罪ヨリ重クスルガ仁政ジャト云ヘリ、民ヲ一人モコロスマイト思ハバ、罪ヨリモ刑ヲグツト重ク

スルニシクハナシ、巾着切一向ニ引合ハスナリ、ユヘニ巾着切ヲ止ル理ナリ、喧嘩ヲスル人ヲ死罪ニスレバ、是レ喧嘩ヲスル人引合ヌナリ、是天下ニ巾着切モ喧嘩師モナキ理ナリ、ウリカイ算用、ハツキリキマレバ、天下靜謐聖人ノ御世ナリ、云々（稽古談）

論、此に至りては、人間社會の關係を、總て損益勘定より打算するものにして、固より中道を失するの言なりと雖も、其主旨を玩味すれば、半面の眞理なきにあらざるが如し

宋の蘇轍が、王安石の青苗法を論じて、民に金を貸付け、秋になり、一割の利息を取りて、返済させるは、其法是なりと雖も、民は不智なるが故に手に金が入れば、ツイ浮か／＼遣ひ果して、秋に至り、上納の時に及べば、百計盡きて、不納の罪を造るが故に、青苗法は、結局實際宜しからずと、云ひたるを反駁して

蘇ガ論モ面白キ論ナレドモ、マダ／＼左様バカリデモナキモノナリ、ヤハリ春貸附テ秋ニ至リテ利息ヲ付ケテ上納サス方ガ、ナンデモ天下ニシロモノ、フエル理ナリ、……………兎角土地ヨリ澤山ニ物ノ出ルヲヨシトス、下デ德ヲトロフトモ、上デ德ヲ取フトモンレニハカマハズニ、土地ヨ

リ物ノ澤山ニ出ル方、富國ノ計策ナリト思フベシ、……………民ハ手ニ金ガアレバ、ヂキニツコ  
フテシマフテ、秋ニナレバ大ニクルシミテ、テン／＼マイヲスルト云フ論ハ確論ナリ、コノ處ハ大  
キニ心得テイネバナラヌコトナリ、サレドモ一體ヲミバ、土地ヨリ出ルモノ一本モ多キガ天下ノ  
富ナリ、今青苗ノ法ヲ立テルトキニ、百人ノ中始メハ七十人油斷シテ、三十人出精シテモ、ツマル  
トコロハ三拾人ノ出精ダケ、天下ニ穀ノフエルト云フモノナリ、油斷シタルモノモ、テン／＼マイ  
ヲシテ、他借シテ先ニ上納ヲシテモ、來年モ又油斷スルト云人ハズルケモノナリ、民ヲクルシメマ  
イトスルコト、アシキコトナリ、民少シクルシメテモ、始終ノ處ガ民ガ安樂ナルガヨキナリ、唯少  
シノ間、民、樂ヲシテモ、イク久シククルシミテハ、民ヲ安ンズルト云フモノニテハナキナリ、少  
シノアイダクルシメテモ、イク久シク民ヲ樂ニスレバ、民ヲ虐スルト云モノニテハナキナリ、蘇ガ  
論ハ姑息ノ論ナリ、……………天下デハ蘇ガ論優レリト云ハ、民ノ愚情ニ叶ヘルユヘナリ、民ノ  
ホメルコトハ、多ハ民ノメイワクニナル法ナリ、灸ヲスエルコトヲ小兒ニ相談スレバ、皆灸ハイヤ  
ナリト云フナリ、灸ハスヘサ、ヌガヨイトイフ人アレバ、小兒ハスヘサ、ヌ人ヲ仁人ナリトホムル  
ナリ、灸ヲスエレバ、一體小兒ノ德ニナルコトナレドモ、小兒ハ今日ガアツイユヘ、灸ヲイトフト  
云ヨフナル氣味、始終民ヲアツコウ人ノ入用ノコトナリ、云々（稽古談）

次ぎに又當時江戸に、元方御納方及拂方御納戸と稱する、二ツの役名ありて、



元方（即ち收納方）と、拂方（即ち支拂方）とは、並立て共に、重大の役目なるも、實際左はなくして、人々拂方のみを、やかましく云つて、元方を度外視するは、心得違なりと論じて、左の説を爲せり

江戸ノ御役名ノ元方御納方・拂方御納戸ト云御役アリ、コレ甚面白キ事ナリ、江戸ノ事ハ鶴知ズ、大名家ノ政事ヲミルニ、拂方計リノシラベアリテ、元方ノシラベハ至極ザツトシタルモノナリ、拂方ハ出金ノコトナリ、元方ハ入金ノコトナリ、イヅレノ經濟ヲミテモ、出金ノセワバカリニテ、入金ノセワヤクト云コトヲ聞ヌナリ、儉約ト云モ拂方ヲツメル仕方ナリ、一體儉約ト云字モ拂方ヲツトメルト云字ナリ、元方ノ役目ハ無モ同ジコトナリ、拂方ヨリ詰出ス金ヲ納メルバカリノ役ニテハ、拂方ハコトノ外ニ繁多ナルモノニテ、元方ハ一向ニ誰レデモ出來ル役ナリ、ゾウサモナキ役ナリ、一體元方拂方トワケテ役名ヲ付タル最初ハ、ケ様ニカタカシギノコトニテハアルマジキナリ、拂方ハ出金ノコトナレバ、少シモ出金ノ少フナルヨフニトスル役ナルベシ、元方ハ入金ノコトナレバ、少シモ入方ノ多フナルヨフニトセネバナラヌ理ナリ、拂方ハ買ノ字ノ役ナリ、物ヲカフ方ナリ、金ヲ出シテ物ヲカフ、金ヲ出ス故ニ拂方ト云ナルベシ、元方ハ賣ノ字ノ役ナリ、物ヲウル方ナリ、物ヲウリテ金ヲ取ルユヘニ元方ト云ナルベシ、今諸國トモニ買ノ字ノコトヲバ、ヨフカレコレトサワギ

廻レドモ、賣ノ字ノコトヲバ、一向ニザツトシテオルナリ、コレハ武士ハ物ヲ賣ト云コトハナイト  
云意ナルベシ、物ヲウルコトナケレバ、カフコトナキ筈ナリ、カワネバナラヌ世ノ勢ナラバ、賣ネ  
バナラヌハズナリ、武士ハ物ヲ賣スモノト云フコト、ヲカシキコトナリ、貧ニナル證據ナリ、物ヲ  
買フ金ハ何カラ出タルモノナリヤ、一體事ノ理ヲ責テ見ヌコト甚シキナリ、武士ハ物ヲ買コトヲバ  
辱トセズ、物ヲ賣コトヲ大耻辱トスルコト、カタカシギノコトナリ、コノ間違ヨリシテ萬事グレハ  
マटनाレリ、武士ノ取モノハ米ナリ、何萬石何千石ト云テ米ヲ取ナリ、此米ヲ賣テソレカラ物ヲカ  
ワネバ買ヘヌ理ナリ、濱運上ト云ハ濱ヲウリテ金ヲ取コトナリ、凡ソ入ト云ハ皆賣ノコトナリ、租  
税ハ賣ナリ、物ヲ賣ラスハ中間バカリナリ、中間ハ金二兩二歩、金三兩トイフ金ヲ主人ヨリトル、  
物ヲウラズトモスムナリ、一體己ガ力ヲウルコトナレドモ、貰タ物ヲバウラスナリ、武士ハ米ヲ貰  
フユヘニ米ヲウルナリ、大名ハ濱ヲ賣、田畠ヲウリ、米ヲウリ、國產ヲウルナリ、何モ物ヲ賣ルコ  
トガ耻辱ナルコトモナキコトナリ、武士ハ物ヲ賣ヌ物トスルユヘニ、國中ニシロモノフエスナリ、  
入金多フナラスナリ、大キナル了簡違イナリ、物ヲウルハ耻辱ナル事ハナキナリ、金ヲ町家ヨリ借  
テ返サヌガ大耻辱ナリ、……其上ニ年々ニウリテヲキテ、ウラヌト云コト何ノコトナリ  
ヤ、凡ソ賣ルコトヲ耻ナリト云論出テヨリ、國ハ貧ニナルコトナリト思フベシ、周禮ノ法ハ物ヲウ  
ル法ナリ、皆一割ノ利息ヲ取ル法ナリ、聖人ノ法ナリ、聖人ノ法ヲ耻辱トシテ、聖人ノ禁ジテ誅ス

ルトコロノ、人ノ物ヲ唾トルコトヲバ耻辱トセヌコト、トントサカサマナルコトニテハナシヤ、阿蘭陀ハ國王ガ商ヒヲスルト云テ、ドット云フテワラフコトナリ、サレドモ己レモヤハリ物ヲウリテ

物ヲ買ナリ、物ヲ賣テ物ヲ買ハ世界ノ理ナリ、笑フコトモ何モナキナリ、云々（稽古談）

と説きて、それより丹波園部侯の侍に、非常の大才子あつて、當時の武士論に構はず、面白き經濟を工夫し、百姓より出す産物を、百姓各自の荷物（之を納屋物と稱す）として、京都へ輸出する時は、甘味は悉く問屋に取らるゝゆへ、京都の園部屋敷に於て、自國の産物を一手に集め、君侯の荷物として賣捌く事となし、之が爲め君侯も百姓も、莫大の利益を得たる實例を述べ、曾て小濱侯も、三條の自邸に於て、國產の賣捌を爲し、其後又彦根侯も、同様の政策を取りたる事ありて、園部侯の遣り方は、全く此の兩家の先例に據れるものなる事を記して

一體土地ノ物ヲ出スハ土地ノ性ナリ、取レバヘルト云理ハナキコトナリ、取レバ取ルホド出ルコトナリ、人ノ髪ヲ結ブ時ニ、髪ノオチ毛ノ出ルヨフナル物ナリ、髪ヲ結バズニオケバ、ヲチ毛出ヌナリ、髪ハ枯レテスクナフナルナリ、シバ／＼梳ケバ、オチ毛澤山ニ出ルナリ、左レドモ髪ハ益ヨフナ

ルナリ、髮ノ頭ニハヘルハ頭ベノ性ナリ、土地ノ物ヲ出スニチガイタルコトナシ、鶴南西ハ讃州マ  
デ行リ、北ハ越後マデ行リ、扱南海ハ魚甚多ク、北海ハ魚甚少シ、南海ハ魚ヲ取コト甚多ク、北海  
ハ魚ヲ取コト少シ、少ウトル方ハ魚少ウテ、多フ取方ハ魚多キモ、髮ノ落毛ノ理ト見ユルナリ、土  
地ヨリ産スル物モ澤山ニ取ル處ハ澤山ニ出ル、トラス處ハ却テ出ヌ物ナリ、園部ナドモ百姓面白ガ  
リテ、力ニマカセテ出シタルユヘニ、産物昔トハ何雙倍モフエタリト承ル、云々（稽古談）

此の説は、土地の物を出すは土地の性なりと云ふ、前提に依て、推測すれば、  
勿論經濟學上に所謂收得遞減法を否認する様の意見なれども、又一方より之  
を見れば、生産者が一同奮勵して、大に生産に従事する場合には、之に隨て  
生産の方法の改良、生産物賣捌の設備等、皆必整頓するに至るべければ、著  
者が「澤山に取る所は澤山に出る、取らぬ所は却て出ぬ物なり」と云ふ事は、  
實際或る點に達する迄は、一理なしと云ふ可らざるなり

次ぎに大坂の兩替商、升屋平右衛門の番頭、小右衛門（此の人は有名なる山片  
芳秀の事にて後卷に收容すべき「夢の代」の著者なり）なるものが、仙臺の財政



整理を引受け、其主人升平を金主として、仙臺米の扱を一手に専有し、藩中に米札を發行して、其窮迫を救済したる顛末を詳記し、それと同時に、大名へ金を貸すには、返金して貰ふ積の愚なる事を論じ、「武士ニハ返金ノアル金ヲ借スコト無術ナルコトナリ、返金セズトモスム金を借スベキコトナリ」とて、一割五朱の金を、十二年貸し、月々利息を取り立て、十二年かゝれば、一割に廻りて、元利とも皆済といふ算用となる事を述べ、無智無計算なる武家武人への貸金は、此の方法に依らざる可からざる事を論じ、又空米先納と稱し、來年大坂に入津する米を、今年切手にして、之を金主に差入れて、借金する事あることを記し、又講仲間と云ふ金主方のシンジケートあることを記して、其便利なる事を述ぶるが如きは、皆重要な事實なり、又藝州侯が自國の米のみならず、他藩の米まで安く買入れて、大坂へ輸出し、高く賣捌きて、大儲を爲したる始末を記し

以上ノ計策ハ皆其利ニカシコスギタルコトニテ、儒者ナドガ聞ケバ大キニイヤガルコトナリ、ナル

ホド利ニカシコスギタルコトハ、人品ノヨキト云モノニテハナキコトナリ、サレドモコノ方ニテ上品ニ人柄ヲツ、シミテヲレバ、他國ニテデキニ始テ此方ノ國ヘ損ヲカケル世ノ中ナリ、スコシモ早フカシコキコトヲ始タル方が貧ヲ免ル、ナリ、貧ヲ免レズトモヨケレバ、カシコキコトヲセズニ、上品ニシテオルガヨキナリ、貧ハイヤナリト思ハバ、津開ニテモ、買賣ニテモスルコト計策ナリ、天下一統ウツカリヒヨンナレバ、ヨキコトナレドモ、段々諸國ニテカシコキコトヲシテ、コノ方バカリ上品ニ古例ヲ守リテヲレバ、皆アトヘマニナルコトナリ、云々（稽古談）

と論じ、それより加賀の藥種屋が、因循にして目先の利かざるが故に、其の天産の特産物たりし黃蓮が、丹波の人造黃蓮の爲めに壓せられて、大坂の得意は、皆丹波に取られたる事を喝破し

凡ソケ様ニカシコキ世ノ中ナレバ、己ガ國產ヲジマンニシテオルウチニ、デキニ、ワキ方ニテ其國產ヲ作ルナリ、コ、ニオイテ眞ノ物ハ直段サガリテ、其國ヘ財寶ノ入ルコトスクナフナルコトナリ、皆油斷シテウツカリヒヨントシテオルユヘニ、人ニセンヲトラル、コトナリ、人ニセンヲトラレマイト思ハバ、諸國ノ話ヲキ、テ、カシコキ計策ヲタヅネ出シテ、見合セテ智ヲハゲムベキコトナリ、古例ヲノミ守リテオレバ、皆人ニトラレテ自國ノ貧ニナルコトナリ、天下一統ニケ様ノ計策

ハ用イヌ世ノ中ナラバ、古例ヲ守リテ上品ニテオルホドヨキコトハナキナリ、天下、一統、古例ヲ守ラズニ、策ヲ用イル世ノ中ナラバ、此方ニテモ用イネバ、此方一軒貧ヲ好ムデスルト云モノナリ、ユヘニ諸國ノ策ヲバ何ンデモ一色モ多ク聞キ出シテ、自國ノ油斷ニナラスヨフニスベキコトナリ、云云(同上)

文化時代の儒者の口より、斯くの如き警拔の語を聞くは、又一奇とするに足れり

次ぎに又秋元侯が、其家中の貧窮を救はんが爲めに、家中工業を起したる事を述べたるは、經濟史上に於ける最も重要な事實なるべし、家中工業とは、編者の創作したる言語なれども、所謂家中とは、各藩の士分を云ひたるものにして、維新前には、各藩の侍を、ドコソコ家中とか、藩中とか云習はしたることにて、秋元侯は最初甲州の谷村と云ふ所に居られし頃(谷村は其後廢城になりたる由)固より小大名にて、侍ども何れも窮迫の極に陥れるも、祿米を厚くして、之を救濟する事も叶はざるより、家中の者に何にか内職にても、

授けたらんには、此の急を周ふの手段ともなるべしと、思案の末、谷村は富士山の中腹なる郡内と稱する地にて、頗る寒き所なれども、其の邊一面桑原にて、殊に谷間の水は、富士の雪水にて、清冽此の上もなし、蠶糸を烹るには、最も適當にて、之が爲め郡内の絹は、皆光澤ありて、他國の産に比し、大に優れりとの事なれば、秋元侯は此に着眼して、家中の内職に、袴地を織らしめたるが、郡内平の濫觴であると云ふ事を記して

秋元公谷村ニ居城ノ時ニ、家中ノ内職ニ夏袴ヲ織リタルガ郡内ヒラナリ、其後川越ヘ移ラレテ、家中内職ニ又夏袴ヲ織ル、コレ川越ヒラナリ、今山形ヘウツラル、家中又袴地ヲ織ル、コレ仙臺ヒラナリ、是ガ家中内職ノ冠タルベシ、谷村ノ時モ、川越ノ時モ、山形ニテモ、家中ノ内職在町ニウツリテ、今ハ三ヶ處トモニ其土地ノ產物トナレリ、鶴又川越ニアソビテ見テ見ルニ、夏袴ノミナラズ、種々ノ織物デキ、今ハ甚結構ナルモノヲ織リ出ス、川越モ寒キ處ユヘニ、川越ヨリ北厩橋・館林・桐生、皆赤城山ノ裾ニテ、桑ノヨフデキル處ユヘニ、川越ナドニテモ蠶ヲバスル人アリ、北邊ヨリ澤山蠶ノワタヲウリテ來ル處ナリ、川越平ノ大雙ニナリタルハ、秋元公ハ七萬石ニテ、川越公ハ拾五萬石ナルユヘナリ、云々（稽古談）



此等の事實は、餘り他書に見えざる所なれども、我國經濟史の研究に従事する者の、最も深く注目を要する所なるべし

著者の經濟談の中、最も重要なものは、稽古談なるも、升小説も亦一讀の價值あるものなり、升小説とは、前記大坂の兩替商、升屋平右衛門の番頭、小右衛門の事を主として記したるが故に、題名としたるものなれども、内容は經濟上に於ける種々の雜事を論述し、就中大坂と江戸とは、金の扱に大なる差異あることを説きたるなどは、中々面白し、其の説に曰く

大坂ノ金ハ江戸ノ金トハ大ニチガヒテ皆代ロ物ナリ、ツカフテハナラヌ金ナリ、譬ヘバ米屋ノ米、吳服屋ノ吳服物ノ通り也、己レガ宿ニテ用ユベキモノニアラズ、是ヲマワシテフヤスモノナリ、利息ヲウマスルモノ也、江戸ニテハ借ス金ハ代ロ物ト云フ心モチアリ、利息・進物・扶持米ハ決シテ決シテ代ロ物トハセヌ也、代ロ物デナキ故ニ自由ニスル氣味アリ、大坂ニテハ利息・進物・扶持米ヲモヤハリ代ロ物トスルユヘニ、亭主ノ自由ニスルコトナラズ、ユヘニ自然ト始末宜シフテ、江戸ノ様ニカハリノスルコトナシ、金ノ仕ヒアンバイハ、江戸モ格別ニ大坂ニ違ヒタルコトナケレドモ、心ハ大キニ違フナリ、江戸モノハ小兒ノヨフナリ、馬鹿者ノヨフナリ、甚初心ナリ、金ヲ延スコト

ニハ甚不鍛鍊ナリ、江戸ハ金ハモフカル地ナリ、唯マフケル人無キナリ 五畿内ハ金ノモフケニク  
キ地ナリ、マフケル人ハ甚澤山ナリ、故ニ五畿内ノ智慧ニテ江戸デマフケレバ、ツカミドリニ取ル  
ヨフニ取レル理ナリ、是仙臺ノ金ヲ江戸ニテ廻スモ同ジ事ナリ、一體伊勢町・本船町ハ仙臺米ヲ取リ  
扱フ地ナレバ、外ハシラズ仙臺ノ金ハ伊勢町・本船町ヘ取ヨセテヨキ理ナリ、唯江戸者ノイカニモ  
金ノ理ニ疎キ故ニ、此金サヘモ大阪ヘ取ラル、也、イハハ残念ナルコトナリ、恥辱ナルコトナリ、  
江戸ハ元金ヲ皆取ラントスルユヘ也、大阪ハ元金ヲステ、シマフ、此二ツノ分レニテ、仙臺ノ金、  
江戸ヘ廻ラズニ大阪ヘマワル也、云々(升小談)

### 又續きて江戸の與みし易きことを論じ

凡ソ智者事ニツケ物ニ付テ、其透キマ、其不足ノ所、其行届カヌ所ヘ、目ヲ付テサシコム事第一  
也、言テ見レバ人トシテ金ヲマフケントセザルモノハナキ也、天下中ノ人皆金ヲ設ケタガルコトナ  
レバ、面ハ親シミ睦マジキ體ニテモ、心中ハ相互ニ競ヒ争フナリ、競ヒ争フハ角力ヲ取ルニチガヒ  
タルコトナシ、角力ハ向フノ人ノ透マヲネラヒテ差込ムコト第一ナリ、故ニ江戸ノ透間ヲ見ルコト  
專一ナリ、江戸者皆々我等遠フシト云流儀ニテ、江戸ホド善地ハナキトノミ思フテオル也、江戸ホ  
ド事物ノソロフテ、油斷ノナキ所ハナシト思フテオルユヘニ、江戸ノ不足ノ透間ヲ見付ルコトデキ  
ヌ也、江戸ホド不足ノコト澤山アル地ナシ、江戸ホド透間ノアル風ナシ、唯江戸人ズルケテブセフ

ナルユヘ、不足スキマヲ見出サヌナリ、江戸ハアラキ所ナリ、物事ニヨラズ精シフスルコトノナラヌ風ナリ、細カニ精シフスル人ヲイヤガリテウルサガルコト江戸ノ風ナリ、故ニ江戸ニハ拔目澤山アリ、透間澤山アルナリ、行届カヌ所甚多シ、是ヲ見付テ差込ムコト智ナリ、云々(同上)

亦大に商略に適へるの言にあらずや

其他升小談には、前記稽古談にも記せる如く、升小が仙臺の財政を引受けたる件を、所々に記述したるが其の外重も注目しに價ひするは、升小の經濟の立て方なり、著者の述ぶる所に依れば、其の方法は左の如し

天子ノ天下ヲ治ムルモ、諸侯ノ國ヲ治ムルモ、庶人ノ身ヲ治ルモ、寸法コソ違ヘ仕方ニ違フコトナシ、法ト云フモノヲ立テ、人皆此法ニ付テ働ケバ治マルニ違フコトナシ、法ヲ外レテ働ケバ亂ル、ニ違ヒナシ、升小ガ升平ノ家ヲ興シタルハ、家法ヲ立テタルガ始マリ也、今ハ升小ノ法ハ日附役ヲ一人寫シ取リテ、鴻池・加島屋ヲ始トシテ皆升小ヲ師トシテ法ヲ立ル事ナリ、升小ノ法ハ日附役ヲ一人見世ノ者ノ中ニテ堅キ老輩ニ云付テ、何モカモ此目附役ノ意ヲ背カスヨフニスル事ナリ、目附ハ執法ナリ、法ヲ手ニモチテ法ノ邪<sup>ヒガ</sup>マヌヨウニ潰レヌ様ニ、チャント立テ、置ナリ、天下ニセイ身ニセイ、法ガ無テハ治ラスト云所ヲ、升小ガ見タルユヘニ日附役ヲ立タルナリ、今迄モ日附役ハ家々ニアレ

ドモ、法が究ラヌ故ニ目附ノ權輕シ、目附ノ權輕ケレバ、法ヲ犯ス人アリテ罪人出來ルナリ、升小ノ工夫ノ目附ハ、今迄ノ目附ト事カハリテ居ルナリ、今迄諸家ニ立タル法ハ甚嚴シキ法ナリ、ユヘニ目附ガ宥免シテ見通シニスル事ナリ、是法ハ嚴シウテ、法ヲ執ル人ハ一向ニ涙モロキ人ナリ、升小ノ工夫ハサカサマ也、法ハ甚ユルヤカナル法也、誰レニテモ守ラル、ヨフニシタルモノナリ、目附ハ一向ニ嚴敷人ナリ、一分一釐ニテモ法ヲ背ク人ヲバ、直ニ捕ヘテ詮議シテ決シテ宥免セヌナリ、法ノ通り掟ノ通りニ仕置ヲスル也、云々(升小談)

著者の升小談は、武州河越に於て、吳服と米穀とを兼業とする、豪商某の爲めに講演したるものにして、其の主意は、升小を營業の手本とすべきを、勧めたるものならん、是も亦筆記と見えて、文意連續せざる所あるも、他の諸談と與に、一顧の價あるべきや、疑を容れず

洪範談は、筆記者なる門人、武田尙勝の題言に、富貴談・燮理談・善中談・天王談等の例に依て、洪範談と題名したる由を記すと雖も、これは筆記者が、著者に向ひ、他の諸談に云へるが如き、所説の根本は、何くに存するかを尋ねたるに、著者乃ち洪範老子易論語孟子等の述ぶる所に、歸着する旨を答へた



るに依り、先づ取り敢へず、洪範の講義を聞きて、其の説を筆受したるものにして、書中の内容は、前記諸談とは、全く其の性質を異にし、單に洪範の本文を、逐節講釋したるものに外ならず、然れども著者は、諸談の所説に於て、其の大略を窺知し得るが如く、非常の卓見家、偉大の活眼者にして、他の腐儒と、大に其の見る所を異にするが故に、此の洪範の講釋に於ても、往々獨創の發明なきにあらざるが如し、洪範は支那の政治經濟に關する、根本思想を述べたるものにして、著者の意見多くは之に淵源せり、今此に之を收載するは、其の本を知らしめんとするに外ならざるなり

最後に收載する海保儀平書なるものは、著者が加賀に於けるの講演筆記にして、何人に向つて述べたるか、明かならざれども、加賀侯に近侍せる、士人の爲めに述べたることは、疑を容れず、故に其の説く所は、概ね政治論にして、國家の大計に關する事多し、先づ開卷第一に王霸の別を論じて

天下ノコトヲ王トイヒ、國ノコトヲ霸ト云也、此王霸ノ差別トイフ證據ライフベシ、王トハ外ノ無

キ名也、天下丸持ユエ鄰國ト云者ナシ、法度觸ヲ出セバ天下中ノ惣法度也、儲東國ノ金銀ガ西國ヘ行キテモ、天下丸持ナレバヤハリ此方ノ金銀ナリ、故ニ世界ヲ花美ニシヤウト質素ニ仕様ト、此方ノ手ニアル也、金銀ノ流通スルハ、巾着ノ金ヲ鼻紙袋ヘ移ス様ナル物ナレバ、氣ニカクルニ及バズ、故ニ王道ハ易々タリト古ヘヨリイフ也、唯廣大ナル故ニ急ニハ行カヌ也、故ニ孟子ニモ仁者ハ天下ヲ保チ、智者ハ其國ヲ保ツト云フ、王道ハオチ付ハラヒテ、氣ノ長イ親仁ノスル役目也、霸トハ外ノ有ル名ナリ、鄰國四方ニ引續キテ居ル也、法度ヲ出シテモ鄰國ヘハ觸ラレヌユエ一國ギリ也、我國ノ金銀他國ヘ行ケバ此方ノ用ハタラヌ也、故ニ世界ノ風俗ノ此方ノ自由ニナラヌ而已ナラズ、此方ノ風俗モ此方ノ自由ニナラヌナリ、此方ノ金モ他國ヘ行ケバ、此方ノ金モ此方ノ自由ニナラヌ也、故ニ霸道ハ智者ノ役也、落付タル親父ノ役目ニアラズ、流行ヲ己レガ、國ヨリ出サズニ、他人ノ出セル流行ヘ合セテ行ネバナラヌユエ、餘程スルドキ男ノ才氣ノ雖ノ末ノ様ニ、イラ／＼スル程輝ヤク男デナケレバナラヌ役目ナリト知ルベシ、云々（海保儀平書）

著者が所謂王とは、幕府の大政を云ひ、霸とは加賀の如き大大名の藩政を云ひたるものにして、此の説に依れば、天下丸持の幕府は、宜しく王道を行ふべく、其の當局の人々は、氣の長い親仁にして可なりと云ふの説なるが如しと

雖、其實然らずして、幕府も亦四方に強大なる隣國を有するが故に、平々蕩蕩たる王道は到底行ふ可らずして、却て鋭き才智を要する、霸道に依りて立たざる可からざることを意味するならん、（此の事は養心談に自白せり）故に此點より之れを考察するときは、著者の所説は、大に肯綮を得たりと云ふべし

然レバ霸道ノ急務ハ觸ノ出シ様ト、金銀ノ他國ヘ出テモ又ソレダケ入リノ有ル様ニスルトニアリ、是ハ如何スレバ宜キト云フニ、簡法嚴刑ト云フコトヲ行ハルレバ、此二ツノ患サラリト解ル也、鶴久々逗留シテ見ルニ、此方様ノ仕方ハ此簡法嚴刑ノウラハラ也、言フテ見レバ煩法寛刑也、イカニモ簡ニスベキ所ガ煩ニテ、イカニモ嚴ニスベキ所ガ寛也、此ニテハ他國ノ金銀入ラヌ筈ナリ、流行ニ後ル、ハヅ也、云々（海保儀平書）

と説きて、加州の法令の繁多なるを論じ

御府内は煩法也……何故ニテケ様ニ煩法ニナルゾトイフニ、御先代様御令御流レニナラス故也、江戸ニテハ御先代様ノ御令盡ク流レ、當御代ノ御命令ガ眞ノ御命令也トシタルモノ也、故ニ今權現様・台徳院様・大猷院様杯之御墨付杯ヲ持出テモ、御取上ゲナキコト也、其御代ニ當リテ其御代ノ御

墨付ヲ持出タル者ニハ、御墨付ノ通りニ仰セ付ラルベシ、御先代ノ御墨付ハ當御代ニテハ御取上ゲナシト被<sub>レ</sub>仰出<sub>二</sub>事例也、此方様ハ御先代ノ號令モ、當御代ノ御令モ、皆御一同ニナサレテ置ル、故ニ煩法ニナル筈也、此通りニテハ一年々々ニ煩法ニナル理也、既ニ御國禁ニ御家中之二三男御奉公モセス者モ他國へ御出シナサラヌコト也、町在共ニ他國へ出ルコト禁也、罪人追放ナドニナリタル者モ他國へ出サレズ、是ハズツト最初軍陣中ノ御令ナリ、陣中ニテハ味方ノ密謀敵へ知レテハナラスコト故ニ、國中ノ人ハ一軍ノ人也、一軍ノ人他國へ出ルハ、何レノ軍法ニテモ禁制也、只今ハ太平ノ御代ニテ、軍陣ノ沙汰一向ナシ、如<sub>レ</sub>此民ヲ他國へ御出シナサラヌ故ニ、何ノ御用ニモ立ス者並居テ此國ヲ喰へラスナリ、云々(海保儀平書)

と云ひ、尙進んで、他國の金を、自國へ吸ひ取る仕掛をするの必要を説き、他國の金を自國へ吸ひ取らざれば、自國の金を、盡く他國へ吸ひ取らるべきを論じたるが如きは、宛然「マーカンチリスト」の所論を聞くに似たり

著者は憾らくは人間の欲望は、經濟的活動の要素たることを認めずと雖も、(此の事の證據は稽古談四卷にあり) 人間が日常不足を感じざれば無精になつて、働かざるべきを信ずるものなり、故に食物器用の欠乏は、人間の働きを刺



激するの要素なりと雖も、人民大に働きて、食物器用隨て充實する時は、又必  
情心を生ずるの患あるが故に、一國の經濟政策は此の情心を防止するが爲め  
には、斷然輸出の禁を解いて、國內の生産物を、國外へ排出するに在りとし、  
ドシく働きて、ドシく輸出すれば、食物器用常に足つて、而かも情心を生  
ずるの患なしと結論せり、今著者の言に依て之を示せば

サレバ食物器用ニ不足ナケレバ民ハ働カヌ理也、食物器用不自由ニナケレバ民ハ出精セヌ理ナリ、偕  
民働カネバ食物器用國中ニ少ナフナル理也、民働ケバ食物器用ハ國中ニ多クナル理也、今多ケレバ  
民働カヌエニ、津出（輸出ノコトナリ）ヲセネバ國貧ニナル也、津出ヲ禁ズルハワザく食物  
器用ヲ少ナフスル也、食物器用多キガ少ナフナラネバ、他國ノ金ガ入ラヌ理ナリ、他國ノ金ガ入ラ  
ネバ、上ノ御身上惡フナル也、上ノ財用不足ナレバ、下ヲ削ルヨリ外仕方ナシ、民ヲ削ルハ不仁也、  
民ヲ責テ働カスハ仁政也、津出スルハ仁政也、云々（海保儀平書）

右の如く津出即ち輸出を自由にすると同時に、又入津（輸入）の禁をも撤回し、  
國中に遊山所、面白き場所、慰み所等の設備を爲して、國外人の續々入來す  
る事を獎勵するの必要を論ずるの點は、「マーカンチリスト」に反して、自由貿

易論を主張するに似たりと雖も、これは當時加州の政策は、頗る偏狹なる門戸閉鎖主義を執り、其の結果、經濟社會をして、全く萎靡不振の極に陥らしめたるの實ありしかば、著者は其の狀況に顧みて、故らに斯くの如き自由説を唱へたるなるべし、蓋又其の時の政策論として、止むことを得ざりしものなりしならん

海保儀平書に附録したる或問は、是又確かに一讀の價值あるものなり、第二「民ヲ質素朴實ニスルガ宜キヤ、奢侈浮華ニスルガ宜キヤ」との奇問に對し、奢侈は天下一統の奢侈なれば致方なし、止むなくんば、此の一統の奢侈に應ずるの手段を講ずるの外なしと答へ、又「江戸ノ號令ハ能ク行ハル、モ國ノ號令ハ行ハレ難シ如何」と云ふの間に付きては、松平樂翁が執政となり、大に威權を振へるの事實を例示して、役人に威權の必要を説き、又「役人ハ老人ガ宜キヤ若年ガ宜キヤ」と云へる、最も珍奇なる質問に對しては、上座は老人が宜し、末座は若輩が宜しと、造作もなき返答を與へて、其の然る所以を説明し、次

に金澤の公事場奉行の事を尋ね、最後に「娼妓ハ國ノ害ナリヤ風俗ヲ惡フスルモノ成ヤ」との問に付き「娼妓は國の益なり風俗を宜しうするものなり」と斷言したるは、思ふに著者が各國を經歷しての實驗說なるべし

之を要するに著者の意見は、頗る刻薄にして、往々人情に戻るが如き、言語ありと雖も、其の論法明晰にして、條理の整然たることは、東洋の學者中稀に見る所にして、此に收採する經濟談九部十五卷は、何れも多少の謬說あり、矛盾あるに拘はらず、我國徳川時代の經濟書中、比較的最も完全なるものにして、徂徠の政談・春臺の經濟錄・竹山の草茅危言等に比すれば、一層優るとも劣る所無く、殊に所謂經濟界の狀況を詳かにし、商工業の實務を明にして、其の利害を論辨するに至りては、上記の儒者流は勿論、佐藤信淵の如き専門の經濟學者と雖も、尙或は後に瞠若たるの觀なきにあらざるべし、信淵は農政學に長じ、農業上の意見に就きては、或は之に拮抗する者なかりしなるべきも、其の商業上の知識に至りては、乃ち然らず、彼が家學の根本たる、通

移輕重開闔決塞の説なるものは、伊尹の正傳と稱し、大言壯語にして、盛に之を吹聴するも、其の實は漢儒の井田復古論と同じく、到底今日に行はれざる空論なるも青陵の經濟談は之に反し、大抵皆實際の事實に基きたる確論にして、眞面目の意見なることは、之を一讀したる者の必正さに首肯する所ならん、故に吾人は農政學に於ては、信淵を推し、商業學に於ては、青陵を推して、徳川時代の二大經濟學者たることを、斷言するに憚からざるなり、但し青陵は非常の卓見、偉大の活眼を具備せるに拘はらず、商工の性質その物に付きては、更に正確なる思想を有せざりしのみならず、此の時代の多くの學者、及夫の「フイジヲクラット」の抱持せる普通の誤謬、即ち商業を以て不生産的事業と爲したるの誤謬を、免かれざりしは、彼が「商交易有無、非化物者、非生物者、非造作者、乃空位也」(其著「談五行」)にあり、「談五行」は本叢書に收容せずと云へるの一言に依つて、之を明證するを得べし、如何なる大學者と雖も、一般に行はるゝ時代思想を、全然離脱すること能はざるは、蓋此の



## 類なる歟

海保青陵、名は皐鶴、字は萬和、青陵は其の號、通稱儀平と云へり、青山大膳(尼ヶ崎城主、後に丹後宮津へ移る)の家老、角田市左衛門の子にして、寶曆五年、江戸に生る、長じて宇佐美瀧水の門に入り、謾園の學を修め、専ら文章を以て鳴る、明和八年市父左衛門、尾州侯に召さる、青陵父に従つて尾侯に謁し、留書と云ふを申付けられしも、辭し去つて、青山侯の邸に歸り、その儒官となる、居ること七年にして、諸方を遊學し、東海南海近畿中國及北陸地方を遍く歴遊して、到る所に經濟談、及文章論等を講説し、大坂に二回、京都に數回滯留す、其の自ら記する所に依れば、東海道を往來する事十回、木曾街道を二回、北陸道を一回往來し、有名の高山に登りたるは數百ヶ所なりと云ふ、又奇人なりと云ふべし、角田の家は、弟某に譲り(弟は其後尾州に仕へ先手物頭三百石となる)自分は祖父の本姓、海保に復し、専ら學問を以て自ら任じ、意の向ふ所に隨ひ、諸方に流寓して、悠然その生を送る、是より先

き、尾藩の儒官、細井平洲、大病にて、月並の講義出來ざりしかば、青陵再び尾侯に召出され、平洲に代つて儒官となりしも、青陵の身體虛弱にして、江戸の水土に適せざるが故に、在職三年にして、其職を辭し、又去つて加越地方に遊び、二年を経て、遂に復た京都に入り、帷を下して講席を開きけるが、文化十四年、年六十三にして家に歿せり、(稽古談の末尾に著者自傳を附記せり、詳傳は之に就て見るべし)著す所は、前記諸書の外、文法披雲三卷あり、刊本世に行はる、諸家著述目錄には、此外尙ほ、讀書日課法一卷、詩學闡蒙二卷、青陵山人集六卷を列記しあるも、編者未だ之を見ず、青陵は學問文章の外、兼て又六法の技に長じ、薰九如・杜徵・文晁等と交厚く、相共に研鑽して、斯道の發達に貢獻する所、尠なからざりしと云ふ、本卷の始めに掲げある山水畫は、編者の所藏する所なり

本卷に收録する經濟談の原本は、洪範談(板本)の外、皆寫本にして、往々誤寫若くは脱漏あるも、此等の諸書は皆悉く流傳、極めて稀少にして、何れの

圖書館目錄にも、其の書名さへ見えず、随つて他本と對校補正するの途なくして、遺憾ながら編者收藏の原本のまゝ、之を刊行したり、然れども右原本の内、最も重要な稽古談は、文化十二年、即ち同書の成れる翌々年（稽古談は文化十年著者自ら筆記したる由を記せり）著者の現存中に、近常信なる人が、京都に於て謄寫したるものにして、其人自ら其由を卷末に記しありて、他の善中談及諭民談も、亦同人の筆跡にて、謄寫しあれば、兎に角著者の親寫本に近きものと思はる、又他の諸談も相當の善寫本なることは、編者の認むる所なり、但し海保儀平書の原本は、福田博士の收藏本なるが、本書題して、海保儀平書と云ふは、固より後人の命じたるものなるべし、或は他の諸談の例に據りて、本書も亦何々談と稱するものなるや詳ならず、暫く原寫本のまゝに之を海保儀平書と稱するのみ

本書の發刊に就ては、福田博士は、前記海保儀平書の原本を貸與せられたるのみならず、特に大に有益なる助言を與へられ、編者をして其の微志の萬一

を達することを得せしめられたり、此に一言して、博士の厚情を謝す

大正四年十一月

瀧 本 誠 一



解

題  
終

善  
中  
談

海保  
青陵  
著



# 善中談

海保青陵著

古へハ智賢才德通達藝能ノ士、肩ヲ並べ踵ヲ接シテ多カリシニ、後世ニハ何トテ其人ナキヤ、不審ナルコトノ第一ナリ、近世ハ奇器・淫巧・奸計・射利ノ民、宇ヲ並べテ住居シ、肩ヲ摩リテ往來スルニ、古昔ハ何トテ其人ナキヤ、是又不審ナルコトナリ、鶴ツク／＼考フルニ、古へノ士ハ智ヲ上へ引擧テ、下ヘワタサヌヤウニシタルユへ、智士ガ愚民ヲツカフコト出來ルナリ、是頼ナリ、今ノ士ハ智ヲ厭テ上ヘ引擧ゲズ、下ヘワタシテ惜マヌユヘニ、智民ガ愚士ヲ自由自在ニ欺ク、愚士智民ヲ使フハ逆ナリ、後ノ士ハ何トテ智ヲ厭フゾト推テ見ルニ、其病根ハ書籍アマリ多キユヘナリ、タトヘバ山ナリ、古ハ高カラズ迷路モナク、巔モ始ヨリハツキリト見ヘテヲリタルハ、山高カラヌユヘナリ、其後ハダンダンニ裾ノ方ヘヒロガリテ、山年々ニ大キク高クナリテ、路モ幾筋々々ニ出來テ、巔モカスカニナリテロクニ見ヘズ、山ノ高クナリタルユヘナリ、擬古ノ士ハ卑キ山ヘノボルニ、途中ニ途草ヲセズ、且ヒマヲ費サズ、歩行ブリヲカマワズ、早ク巔ヘノポラント思ヒテ、途中ヲバザツト見テ心ヲ用ヒズ、



元來途中ニ用事ハナシ、巔ヘノボリテ四方ヲ見廻シテ、扱アレハカクスレバカクナル、カヤウニ養ヘバカヤウニ育スル、コノ筋ハ何レヘノ路、コノ水ハアレヨリ源セリト見テ、此ニテ一生ノ智ヲ振フテ工夫スルユヘニ、大目ガヨクキ、テ、智ガ一々用ニ立ツナリ、後ノ士ハ高キ山ヘノボルニ、途中ニテノ道草甚長シ、且コ、ニテヒマヲ費スコト大イナリ、先ヅ字ノ音韻、反切、句讀、發聲、山ノ裾野モ清人ノ隨筆モノヨリ、明人ノ叢書モノ、宋人・唐人ノ疏註、晉・魏・漢ノ文集史類、コレハ裾野ノ途草ナリ、扱又歩行ブリヤカマシフ咎ムル、ノリモノ・山駕籠・草鞋・ハ・キ・杖・笠・湯衣・手拭ノ吟味殊ノ外ニムヅカシ、大體デハ上ヘ進マズ、コノヤウナル詮議長フテ、山巔ヘノボルコトハトント打忘レテ、唯山ノ裾野ニ大勢アツマリ居テ、テン・ニ歩行ブリ、出タチノ衣類ノモノズキナドヲ、アレハチガフ、コレハマチガフト相互ニギミガマト喧嘩バカリシテ日ヲ送り、コ、ニテ一生ノ智ヲ振フテサワグ、中古ノ人ハ九合メ八合メマデニテ命數ツキテ死セリ、近古ノ人ハ五六合メニテ死ス、今ノ人ハ山ヘカ、ラヌウチニモハヤハクハツオヤデニナリテ、老耄シテタワイモナキ一生ヲ送ル、故ニツイゾ巔ヘノボリテ、四方ヲナガメテ利害ヲ見タル人ナシ、書ヲ見ヌ人ニハ却テ巔ヘノボリテ、利害ヲ詳カニ見タル人アリ、書ヲ讀ム人ハ途草ノ長キユヘニ非ズヤ、我邦ニテハ賴朝・信長・豐臣公ヲ始メ澤山アリ、畢竟書籍多ケレバ、第一ニ身ニシミテ骨髓ニ徹スルヤフニ讀ヌユヘ、古書ヲ解サヌコト多シ、然レバ彼途草サヘ本途草出來ヌナリ、孟子ノ語ニ、吾穀ハ種ノ美ナルモノナレド、熟サネバ何ノ用

ニモタ、ヌナリ、五穀ノ熟サヌヨリハ稗ノ方ガズツトヨキナリトイヘリ、後ノ儒者ハ九合メニテ死テモ、山ノ巔ヲ極メヌハ熟セヌナリ、山ノ裾ニテ喧嘩ヲシテ居ル族ハ、マタ五穀ヲ植モセヌモノドモナリ、孔子ノ語ニ、民ヲバ之ニ由ラシムベシ、知ラシムベカラズト云語アリ、此コ、ロハ、人ノ性ハ己レヨカレカシト願フモノナレバコソ、聖人孝悌忠信ナドヨリ仁義禮智等ノ名目ヲ建立シテ、人ヲシテ彼ノ己レヨカレカシトイフ願ヲ叶シムルコトナリ、孝ヨリ以下ハ皆己レガ爲ニヨロシキ仕方ナリ、今人貴クナリタイ、富タイ、辱ヲカキタウナイ、厭フハシキコトヲシタウナイト思フナリ、皆孝悌忠信ノ人ノ得ルトコロニテ、不孝不仁ノ人ノ得ルトコロニアラズ、サレドモ下民ハコノ理ヲシラズ、上ハカハバカリ見ヘテ骨髓見ヘズ、孝以下ハ苦シキコトノ己レガ身ニ不勝手ナコトジヤトノミ思フテタルユヘ、コレラ無タイニ民ニ知ラサント思フコト甚アシ、唯上法ヲ守レバ賞スル、法ヲ守ラネバ罰スト、カヤウニスルヨリ外ニ仕方ハナイ、唯法ヲ建立シテ、コノ法ニヨラシメテヲクコトハ出來ルコトナレドモ、此理ヲ一々會得サセテ知ラスコトハナラヌト云コトナリ、コレヲ讀ソコナフタル儒者ハ、吾ハ後世ニ生レテ聖賢ノ資ナキモノナリ、何トテ天理聖賢ノ思召ガ知ヤフゾ、唯面ニ聖賢ノ言葉ニヨリテ居ルガヨイト云フテ、天下ノ人ニ教ユルニモ、コレハ士、コレハ農工商ト云辨別モナク、唯聖賢ノ法ニヨリテ居ルベシ、知ロフト思フベカラズト云テ、聖賢ノ腹中ヲサグル人ヲバ、罪人ノヤウニ思フハ、畢竟孔子ノ語ヲヨク解サヌユヘナリ、孔子ノ民ヲバト仰セラレタル意ハ、農工商ハ鍬ノ鑿ノ算盤ノト、

テン、ニ手ヲ離サヌモノアレバ、義理ヲ穿鑿シテ居ル閑暇ハナシ、又農工商ノ智アルハアシ、ユヘニタビヨリテアルコトハ出來ヌコトニアラズ、由ラセテヲクコトハ出來ヌコトニアラズト云コトナリ、士ハ鍬・鑿・算盤ヲ手ニ取ルモノニアラズ、君上ヨリ食ハ賜ルコトナレバ、イカニモ義理ニウチカカラネバナラヌコトナリト云意ナリ、然レバ士ノ職後世ハ古ヘト違ヒテ、唯法ニヨリテ居ルハ、此語ヲ讀チガヘタルヨリ事起レリ、如レ此由リテ居テ、民ヲ由ラシムルコトノ出來ヌモ、書ヲ丁寧ニヨマヌユヘナリ、丁寧ニヨマヌハ書ノ多キユヘナリ、古ヘハ智者多ク、今ハ智者少キハ全ク書物ノ多少ユヘナリ、スレバ書ハ人ヲ愚ニスルモノニテ、智ニスルモノニアラズ、智ニスル書ハ秦以上ノ書ノ骨髓バカリナリ、秦以下ノ書ハ骨髓ナシ、畢竟秦以上ノ書ノ註疏ナリ、此註疏ト云モノハ衣類ナレバ、古手衣類ハヤブレンヲ恐レテ繼ヲアテルトイフ、此用心ツギナリ、食類ナレバ燒モノニノ膳ノヤフナルモノニテ、獨リハタラキヲスルワケナルモノニアラズ、飯ヲ喫スルトキハ、二ノ膳燒物ハ飯ヲタスケルモノ、主デナキモノ、コレナシニ喰フテモ旨キトキハ、入用ニナキモノト知リナガラ、書ヲ讀ムトキハ註疏ニカ、リテ、本文ヲバザツトヤルトハ如何ノ量見ザヤ、衣ヲ着ルトキハ、衣丈夫ナレバ用心ツギイラヌモノト知リナガラ、用心ツギノミ論ジテ、衣ヲ略ニスルハ何事ザヤ、飲ハ飢ヲイヤス爲ナリ、衣ハ寒ヲイヤス爲ナリ、飢寒ナケレバ衣食タルト云モノト知ナガラ、國ガヨフ治リテモ、書ガヨメネバ役ニ立ヌトハ何事ザヤ、國ヲ治メテ治レバ、聖賢モ何書モイラヌナリ、況ヤ註疏ヲヤ、飢寒ナケレ

バ衣食ヲ詮スルニ及バス、況ヤ二ノ汁燒物ヲヤ、國ノヨク治リタルハ土用ノ炎天ニ食後ノ心モチナ  
リ、衣食ホシクナキナリ、今二ノ汁用心ツギノ論ニ手間取ユヘ、膳立モデキネバ衣類モヌヘズ、飢寒  
スルハヅデハナキナリ、末ノ末ヲ詮議シテタルユヘ、國ハ治ラヌハヅデハナキヤ、ユヘニ二ノ汁用心  
ツギハ飢寒スル道具ナリ、註疏ハ國ヲ亂スノ大イナルモノナリ、如<sub>レ</sub>此世上一統末ニ註疏ノ註ハ疏ヲ  
詮議スルユヘニ、古書ノ面目ノ論ヘサヘトバカズ、況ヤ骨髓ヲヤトハ何ゾヤ、天理ナリ、聖語ヲ取テ  
天理ニ合セ、天理ヲ取テ聖語ニ合ス、シツクリ合フコトヲ知レバ、聖語モ唯今作ラル、ナリ、聖語ノ  
外ノ聖語モ知ラル、ナリ、天理ハ活物ナリ、聖語ハ死物ナリ、死物ヲ活シテ使フガ儒者ノ業ナリ、今  
ノ儒者人ニ教ルニ必善ヲセイ、惡ヲスナト云、ドフカ知レタヤウナル論ナレドモ、善トハドノヤウナモ  
ノデゴザルト云ト知レヌナリ、其父ガ羊ヲ攘ミタルトキハウソヲツクガ正直ジャ、嫂ガ溺レバ手ヲニ  
ギラヌハ狼ジャ、サスレバドレガ善ヤラ一向ニ知レズ、一體ニ古ノ所謂ル善ト、後ノ所謂善トハチガフ  
テタルナリ、チガフテタルユヘニワケニクシ、後ノ善ト云ハ過ノコトナリ、古ノ善ト云ハ過不及ノナ  
キ中トイフコトナリ、今ハ善ヲ一位ト爲テ見ルナリ、惡モ又一位ト爲テ見ルナリ、古ヘハ善ヲ六位ノ  
サダマラヌモノトシテ、善惡ノ中トスルナリ、惡ハ二位ト定メテ過不及トスルナリ、過モ惡ナレバ、  
不及モ又惡ナリ、凡天下國家ヲ治ムル人ハ、天下ノ大勢ノ下民、國ノ大勢ノ愚民ヲ治ル仕方ヲ考ルコ  
トナリ、故ニ大體誰ニテモ出來ルコトヲ中スミニ取リテ建立シタルモノナリ、誰ニモ出來ヌコトハ大



法度禁制トシテ、誰ニテモ出來ルコトノ外ヲ爲ス人ヲバ刑スルコト古法ナリ、他人ニ命ゼラヌユヘナリ、他時ニ施コサレヌユヘナリ、扨誰ニテモ出來ルコトヲセヌコト、又大法度禁制ナリ、誰ニテモ出來ルコトヲセヌ人ヲバ刑スルコト、是又古法ナリ、他人懈タルユヘナリ、他時ズルケモノ出來ルユヘナリ、故ニ中ヲタツトキ道トスルコトナリ、後世ハ他人ニ出來ヌコトヲスル人ヲ賞スルコトニナリタルハ、過ト善ト間違タルヨリ起タル論ナリ、凡忠ニテモ孝ニテモ、人ノ出來ヌコトヲスルハ先王聖人ノ罪人ニテ、後世賞ヲウル人ナリ、孔子ノ語ニ、過タルハ猶及バザルガゴトシト云ハ、聖語ノ何レノ處ヘモ合證據ナリ、舜ノトキ大水アリ、舜役人ニ申付テ日限ヲキリテ此ヲ治シム、役人出來シ心ニテ日限ヨリ早ク治テ舜ヘ反命セリ、舜此人ヲ刑セリ、又出水ノトキニ役人ニ命ゼリ、役人日限ヨリ後レテ反命セリ、舜又此人ヲ刑セリ、是舜ト孔子ト符節ヲ合タルヤフニ論合フナリ、後ノ人ハ日限ヨリ早ク出來タル人ヲ賞スルコトナリ、ユヘニ役人ニ少シモ早ク出來セント思ヒテ、彼處ノ手ヲ拔キ、此處ノ手ヲ拔キテ反命スルユヘニ、堤モ又ヂキニ潰ヘテ大ニ費用ノカ、ルコトナリ、舜ト孔子ハ聖人ナリ、油斷モナキ人ナリ、後ノ人何トテ舜ト孔子ニ違ヒテ功ヲ取ラントスルヤラ不審ナルコトナリ、舜ト孔子ヲタラヌト思フユヘナルベシ、舜ト孔子ハ中々後ノ人ノ前ニテアヤマリ證文ヲ書ヤフナル人ニアラズ、隨分カシコキ人ナリ、油斷ハナキナリ、日限ヨリ早ク出來シタル人ヲ賞スルハ、國ノ費多キコトニナル、ユヘニ刑シテ賞セヌナリ、今人ノ孝ヲ賞シ忠ヲ賞スルモ、堤普請ヲ賞スルモ同ジコトナリ、

天下ノ下民愚民ノ隨分出來ルコトヲ賞スルコト、舜ト孔子トノ法ナリ、是ヲ善ト云ナリ、是ヲ中ト云ナリ、近世大府モ大名家モ普請其外物入ノアルトキニ、町家ノ人々ヲ呼集メ、入レ札ト云コト始マリテ他人ヘ相談セズ、其人ノ智計一杯ニ勘辨ヲ用ヒテ、直段ノ高ヲ書付テ入札ニサスルコトナリ、大府ニテハムカシハ第一ノヤス札ニ札ヲ落シタルコトノヨシ、鶴等覺ヘテ四十年以來ハ、彼ヤス札ヘ落スコトヤメニナリタリ、中札ヘ落スコト大府ノ法ナリ、今ニテモ流行ノユキワタラヌ國ニテハ、第一ノヤス札ニ落ス國モアルヨシナリ、古風ナルコトデ流行ニ後レタルコトナリ、大府ノ人ハユダンハナシ、第一ノヤス札ニ落シテ費用多クカ、ルユヘ札落ヌナリ、第一ノヤス札ハ人間ノ出來ヌコトヲスル法ナリ、人間ノ出來ヌコトヲスル方ユヘ、出來ソコナフテ半途ニテ出奔スレバナリ、第一ノ高札ハ人間ノ出精セイデモ出來ル法ナリ、是又懈怠ヲ教ルニ近シ、ユヘニ中札ヘ落スコト天理ナリト見タル智ナリ、是書ヲ讀マス俗吏ハ却テ舜ト孔子トノ心ニ合フテアルナリ、少シ書ノスミヲカジリタルナマナレ儒者ハ、兎角書ヲ讀ソコナフテアルユヘ、善ノ字サヘ知ラズ、俗吏ニ劣ルコト萬々ナラズヤ、後ノ儒者仁トハ愛スルコトナリト覺ヘテ居ル、大キニ字義ヲチガヘテ居ルナリ、程朱ノ愛ノ理心ノ理ト云ヒタルハ愛ト解セルニアラズ、推シテ見レバ愛ヘユクト云コトナリ、役ニタ、ヌモノヲ救フガ仁ジャト覺ヘテアルハ間違ナリ、役ニタ、ヌモノハ救ハヌガ仁ナリ、仁ノ字ハ人ニ從ヒ、二ニ從フ、二ハ天ト地トナリ、冲ノ字ハ天ト地トノ中ト云コトナリ、易ノ三爻ハ上ノ一ハ天ナリ、下ノ一ハ地ナリ、中ノ

一ハ人ナリ、天地人ト三ツ同ジヤフニ並ベテ論ズルトキハ三才ト云ナリ、人ヲ主トシテ天地ノ理ニ少シモ違ハズニ行フト云トキハ仁ト云ナリ、天理ニ役ニタ、ヌモノヲ救フトイフ理ナシ、中庸ニハ傾クモノハ之ヲ覆ヘスト云ヘリ、天地ハ引拔テ棄タル樹木ニ花ヲサカスト云フコトハ無シト云コトナリ、是天地ニハ役ニタ、ヌモノヲ救フ理ハ無キ證據ナリ、役ニ立ヌモノヲ救フハ過ナリ、役ニ立モノヲ救ハヌハ不及ナリ、皆舜ト孔子ノ罪人ト思フベシ、左アレバ、ドレホドナ人ヲ救ヒテ、ドレホドナ人ヲ救ハヌト云ヘバ、是ハ帳面書付ニノセラル、モノニアラズ、易ニ書ハ言ヲ盡サズ、言ハ意ヲ盡サズトアリ、意ハ活智ナリ、言ニノスレバ即チ死物トナル、言ヲ書テスレバ大死物トナリテ、冷カナル死物ナリ、案ジテ運用スベキモノニテ、執リテ守ルベキモノニアラズ、凡ソ人ノ天ヨリ賜ハリタルモノハ智バカリナリ、衣食ハ外ヨリ付ルモノナリ、離ル、日ニハ離ル、ナリ、離レヌハ智ナリ、故ニ智ノ重輕ト衣食ノ重輕トヨク釣合ヒテ居レバ、天ヨリ賜ハリタル衣食ト云ベキモノナリ、中間小者ノ智ニテ、士大夫ノ衣食アルハアブナキモノナリ、離ルレバ再ビ逢ガタシ、士大夫ノ智アリテ士大夫ノ衣食ヲスルハ大丈夫ナルモノナリ、イツ離レテモ又デキニ逢ナリ、士大夫ノ智ト中間小者ノ智トハドコガ違ヒテヲルト云ヘバ、活智ノアルト無キトナリ、活智アルユヘ古書ヲ讀テ、案ジテ今ニ運用スルコト出來ルナリ、中間小者ノ眼ヨリ見レバアブナキコトナルベシ、聖人ノ語ノ外六經ノ字ノ外ノコトヲ取出シテ、今ノ時ニ合セテ運用スルナリ、ケ様ニ六ヶ敷コトヲ取行フユヘニ、中間小者トハ衣食違フテ

立派ナルコトナリ、若又聖人ノ語ノ外へ出ルコトナラズ、六經ノ字ノ外へ出ルコトナラズバ、中間小者ニナリテヲリテ、士大夫ノ衣食ヲ止メテ尻ヲカラゲテ働クコト天ノ理ナリ、天ノ理ニ從フモノハ吉事多シ、天ノ理ニ逆フモノハ凶事多ナリ、是理ナリ、後ノ儒者六經聖語ノ外へ出ルコトハ扱オキテ、六經聖語ヲ解スルコトサへ出來ズ、其上ニ士大夫ノ國天下ヲ治ムル邪魔ヲスルナリ、ソレハ聖語ニ無キコトナリ、ソレハ六經ニ無字ト云フ、天下ノ喰ツプシ、天下ノ邪民ト云フベシ、元ノ宋ニ勝シ時、耶律楚材ト云賢人宋人ヲソロヘテ頼立ヲスルトキ、一ハ官人、二ハ農、三ハソレ、四ハソレトワケテ七ハ商、八ハ倡、九ハ儒、十ハ丐ト頼立ヲセリ、役ニ立モノヲ上ニ上テ、役ニ立ヌモノヲ下ニ置ハケ様ナリト云ヘリ、スレバ聖語六經ニ醉タル儒者ハ、倡ノ下丐ノ上ニ座定マレリ、カナシキコトニテハナキヤ、サレドモ楚材マタノ遠慮シテ斟酌シタル所ナリ、丐ト同ジク喰ツプシナレドモ、丐ハ世人ニアシキコトヲ教ヘズ、政ノ邪魔ヲセス所ハ丐ノ方罪少カルベシ、丐ノ衣食ハ丐ノ智ト重輕能鈞合テ居ルナリ、活智ナキ人ノ衣食ハ其人ノ智ト鈞合ズ、何トテ天罰ヲ蒙ラザルヤト云ニ、爰ニ面白キ恐ロシキ談アリ、孟子ニ君子ノ澤ハ五世ニシテ斷、小人ノ澤モ五世ニシテ斷トアリ、是天地ノ理ト見エタリ、古ヨリ此言アリ、堯典ニモ九族睦ト云フコトアリ、九族ト云モ五世ト云モ同ジコトナリ、己・子孫・曾孫・玄孫是五世ナリ、己・父・祖・曾・高祖是五世ナリ、己ヨリ上へ五世ニテ親ツクルナリ、己ヨリ下へ五世ニテ親ツクルナリ、恩澤イツマデモアルモノニアラズト云コトナリ、今火ニテ物ヲアブレ



バ、ヨホドアタ、カニテ居リテ而後ニ冷ニナル、水ニ物ヲ漬セバ、ヨホドシメリテ居リテ而後ニ乾ク、是ヲ澤ト云ナリ、イツマデモ水火ノ氣アルト云コトハ無キコトナリ、今活智ナキハ美衣食ヲシテ居ルハ、父・祖・曾祖・高祖ノ澤ノホトボリナリ、シメリナリ、殷ノ世ハ格別ニ民モ難<sub>レ</sub>有ガリテ居タルハ、湯王ノ澤ノ五世以外ヘ出タルト云フニハアラズ、孟子ニ賢聖ノ君六七起ルト云ヘルハ、澤ツキントスレバ又ハ賢君アリテ出デ、聖語外六經外ノ其世ニシツタリ合フコトヲ建テナラシ、工夫シテ又ハ持ナラシタルモノナリ、此君ノ澤又五世ハ丈夫ナレドモ又ツキントス、其ツキントスルトキニハ又聖王出デ、又祖先ノ法ノ今ニ合ハヌコトヲ止テ、又建立セラル、コトアリテ、ケ様ニ五度モ六度モ七度モ新聖出デ活智ヲ用ヒラレタレバ、殷ノ世ハ目出度榮ヘタリト云コトナリ、楚國ノ法ニ臣下ニ祿ヲ賜ルニ、再生ニシテ收ムトアリ、然レバ楚ニテハ澤二世ト見タル法ナリ、楚ハ中國ノ外ノ蠻國ユヘニ楚ノ先聖先ケ様ニ定メタルコトヤラ知レヌナリ、我國ナドハ地球上第一ノ國土ナレバ、支那ノ風俗トハ格別ニ違ヒテ宜キ風俗ニテ天理ヲ受ル所モ偏ナルコトナシト見ユルナリ、左レバ五世ヨリモ遠ク久シク祖ノ恩澤モアルベシ、サレドモ足利・北條ナドヲ見ルニ、三四五世ノ内ニハ必ズ賢者出テ中興ヲナセリ、此中興ノ賢者出ルトキヲ失ヒテ久シク出ザルトキ亡ブコトナリ、國モ同ジコトナリ、三四五世ニ豪傑ノ君必出テ、活智ヲ用ヒテ政ヲ修覆セラル、ナリ、此君出ザレバ大貧國トナリテ、大ニ困スルコト往々目ニ見ル所ナリ、然レバ賢君士大夫ノ勤ムル所ハ此活智ト云モノニマサレル者ナシ、活智ハ

言外ノ意言外ノ趣ナレバ、金銀ヲ人ヨリ受ルヤフニ受ラル、モノニハアラズ、古人ノ活智ヲ用ヒタル例ヲ能々味テ見合セテ、天理ト見クラベテ活用スルコトナリ、此活智ハ論語ヲ見ヌ人ハ知ラスト云コトニハサラ／＼アラズ、既ニ古聖人堯・舜・禹・湯・文・武・周公ハ何レモ論語ヲ讀マヌ人ナリ、天理ヲヨク／＼會得シタルナリ、論語トテモ別ニ不思議ノ智ヲ書載タル書ニハアラズ、ヤハリ天理ヲ述タル書ナリ、述タル天理ハイハヌ書ナリ、活智ニアラズ、故ニ論語ニ醉タル人ニハ、活智ノ相談ハ出來ズ、論語ヲ讀マヌ人ニテモ、天理ニカシコキ人ニハ論語ノ相談却テ出來ルナリ、余昔備前ノ國ニ遊ビシトキ、五明屋ノ某ト云モノ余ヲ請ジテ其別業ノ記ヲ需メタリ、此別業ハ備ノ南邊ニ有テ新田ノ中ナリ、新田夥シキコトニテ幅二里餘アリテ、長サハ五六里モアルベシ、海ヘ築キ出シタル新田ナリ、余モ感心シテ新田多キヲ賞セシトキ、五明屋ノ老奴申セシハ、コノ新田ガコノ國ノ貧ニナリタル濫觴ナリ、此ハ熊澤了介ト云儒者ノ富國ノ術ヲ致サレタル心ハ至極宜ケレドモ、算用ニ詳カナラヌ人ユヘニ無算用ニ出來サレシコトナリ、其譯ハ新田開發ノ云コトハ富國金ノ有リ餘ル國ノスルコトニテ、貧國ノ今日ノ急ヲ救フ人ノスルコトニアラズ、如何ニモ土地モ廣フナリ、人民モ多フナルコトナレドモ、借金モ多フナルコトナリ、金借ズニ開發出來ルコトナラバ、發開スルコト智ナリ、金ヲ借テ開發スレバ、利息ハ新田ノ上リ高ニテハ償ハレズ、富國ヲ賑ハス術ニテ、貧國ヲ救フ術ニテハナシ、他國ノ富國ニ心有ル、能々其國ノ富貧、其術ノ遠近、人力ノ多少ヲ見クラベテ取掛リ玉フベキコトナリ、

熊澤子ノ忠ハ今ハ判ジガタシ、永々此借金ハ拔マジキナリト云ヘリ、熊澤ヨキ學問ノ人ニテ富國ニ長ゼシ人ナレドモ、此老奴ノ見處ニ却テ及バヌ處アリ、サレバ何レ其國ヨリ金銀他處ヘ出ルハ貧ニナル道ナリ、既ニ新田ハ他國之人ヲ用ユルニモアラズ、自國ノ人ニテ用事足ルコトナレバ、備前ノ金ハ備前ヘ落ル理ナレドモ、大阪ヨリ借タル金ノ利息他ヘ出ルユヘ、其國ノ貨財年々耗ル理ナリ、少々バカリニテモ年々出ルハ大イナル損ナリ、少々バカリニテモ年々入ルハ大イナル徳ナリ、新田ノ徳利息ノ損ヲ償ハヌハ少々バカリノコトナルベケレドモ、此ヨリ備前ハ貧ニナルト此老奴物語セリ、是國ノ經濟ヲ執ル人聞テ置テヨキ話ナリ、論語ニ故ヲ溫テ新ヲ知ルトハ是等ヲヤ申スベキ、論語ヲヨク讀トハ、論語ニ書テアルコトヲ讀コトニテハナシ、譬ヘバ佛法ハ論語ノトキニイマダ支那ニ入ラヌユヘ、論語ニハ佛法ノアシラヒヤフナシ、熊澤ハ佛法ハ所謂異端ナリ、孟子ノ所謂揚墨ナリ、掃刮洗滌シテ減ズルガ孔子ノ意ニ合フナリトテ、備前ノ寺々ヲ不<sub>レ</sub>殘破却シケレドモ、術淺ウシテ天理ニ違ヒタルユヘ、又デキニ古ノ如ク寺多クナリテ熊澤ハ備前ヲ立退タリ、一體釋尊ノ意ニ違ヒテ居ルナリ、韓退之原道ニハ天下ニ喰ツブシ多ケレバ、食物器財マデガ不足ニナルユヘ、衣食ヲ爭フテ喧嘩ニナリ亂ニ及ブナリ、古ノ民ハ四ツニ分ケテ、福ニ就キ禍ヲ避ルコトヲ教ユル者ヲ士ト云、五穀野菜ノ食物ヲ作り出ス者ヲ農ト云、大工左官ヲ始メ職人ノ分ヲ工ト云者、有無ヲ交換スル者ヲ商ト云此四ツナリ、後世ハ教ル者士ト老ト釋トアリテ、働ク者ト半分ワケユヘ衣食器財不足ナリ、釣合アシキハヅナリト

云ヘリ、是ハ老ト釋トヲ憎ミテ、カヤウニ言タルニハアラズ、コノトキニ唐ノ天子威光薄クナリテ、節度使ノ天子ニソムキテ押領シテタル人多キユヘニ、仁ハ父子ノ間ナリ、義ハ君臣ノ間ナリ、君臣ノ義ヲ存セヌ人ハ禽獸ニ違フコトナシトテ、仁義ヲ建テ教ルユヘニ、老ト釋トヲカリテ仁義ノ外ニ道ヲ建ルハ天下ヲ亂ス始ナリ、仁義ヲアシク云者トモハ不<sub>レ</sub>殘刑罰スベシト云ヘリ、是等ハ唐ノ天下ヲ急ニ救フ術ニテ、實心ニケ様ニ論ヲ立タルニアラズ、老ト釋トモ實ニ韓退之ニ敗北シタルニモアラズ、畢竟一時ヲ救フ術ナリ、扱今日ノ和尚ハ又々韓退之ノ時分ヨリハ猶々墮落シテ眞ノ喰ツブシナリ、今ノ大府ノ政モコノ和尚ドモノ數漸々ニスクナフナルヤフニト取扱フノヨシナレドモ、年々ニ和尚ハフヘルナリ、和尚ドモ、眞ニ釋氏ノ道ヲ奉ジテ修行セバ、天下ノ政ノタスケニナルコトナレドモ、和尚ノ心根違フテ居ルユヘ、喰ツブシニナリテ政ノ害ニナルコトナリ、全ク釋尊ノ罪ニアラズ、和尚ドモノ罪ナリ、和尚ドモノ罪ノミニモアラズ、制度ノキマラヌ罪ナルベシ。我邦ノ古ヘモ和尚一人新規ニ出來ルハ甚ダ六ヶ敷コトナリ、天子ノ度牒ト云モノアリテ、今ノ禁官ヲ取<sub>ル</sub>位記ノ仕掛ケニシタルモノナリ、何レノ國何レノ郡何レノ村ノ何某ト云モノ、忤、コノ度出家ノ願アリト云コトヲ天子聞召屈ケラレテ、度牒ヲ下サレテ而後ニ出家スルコト古法ナリ、今日ゴトクヤタラニ勝手次第出家スルコト政ノ大害ナリ、如何トナレバ出家ハ四民ノ中ニアラズ、喰ツブシナリ、食ツブシ一人フヘレバ、農工商ソレダケニ多ク骨ヲ折ラネバヌナリ、ワケモナキニ農工商ヘ骨ヲ折ラスルコト政ノ邪魔ナリ、



且國ノ貧ニナル始メナリ、今家ニ喰ツブシ一人アレバ、ソレダケノ貧ニナルコトナリ、國モ天下モコノ理ニチガヒタルコトナシ、又和尚能釋尊ノ教ヲ修メテ百姓ニ利害ヲ説テキカスレバ、喰ツブシニモアラズ、有テモヨキモノナリ、サスレバ和尚ノ役ニ立和尚ト、役ニ立ヌ和尚トヲ分別シテ、役ニ立ヌ方ヲヤメニスルニシクハナシ、此方鶴ノ考ヘタルコト左ノ如シ、

易ニ聖人ノ大德ヲモ、天地ノ大德ヲモ生トイヘルハ、天地ノ理ハ七分ハフエル、三分ハヘルト云コトナリ、人間草木モ生ズル方ハ多クテ、死スル方ハ少シ、故ニ戰鬪打ツバキ人耗レドモ暫ク戰止メバ又舊ノ如クニフヘルナリ、疫病・水旱等ニテモ人耗ルヤフナレドモ、兎角年々ニ人フヘルコト多キナリ、ユヘニ聖人格別ノ智慧ヲ用ヒテ、肉刑ヲ作ラレテ宮刑ヲ始メラル、宮刑ハ男ハ陰ヲ割キ、女ハ閉テ交接セヌユヘ、子男フヘルコトナシ、後漢明帝ノ時ヨリ佛法支那ニ入りテ出家スル人多シ、出家ハ皆淫ヲ戒ムルユヘ宮刑同前ナリ、然レバ太平ノ民ノフエスギ、又法ハコノ宮刑ト出家トヨリ外ニハナシ、其上ニ出家愚夫愚婦モヨク教ヲ諭セバ、甚政ノ助ケヲスルト云モノナリ、我邦ニテハ宮刑ナシ、出家ヨリ外ニ民ノフエスギヌ法ナシ、昇平三百年戰陣ノコトナシ、是衣食不足ニナルコト宜ナルコトナリ、扱彼ノ出家近年ハ内々妻妾ヲ蓄ヘテ、一人ニテモ淫セヌ人ナシ、然レバ是宮刑モ出家モナキナリ、民フヘスギテ衣食タラヌハヅナリ、今出家ノ不法ナル人ヲ執ヘテ耻辱ヲアタフレドモ、出家ハ元來人ニ乞フテ衣食スルモノユヘ、羞惡ノ心少モナシ、ユヘニ一向ニ懲リスナリ、其上ニ不法ノ出家ヲサラ

シテ、其後ハ本寺ヘ下サレ、寺法ノ通りニ仕置ヲ行フベシト云外ナシ、寺法ハ人ヲ殺スコトナキユヘ、唯出シテ仕廻ナリ、此出家外ニ衣食ヲ得ル藝術ナキユヘニ、又出家ニナリテ又不法ヲ行フ、百遍モ同ジコトナリ、コレハ畢竟政タラスユヘナラズヤ、今不法ノ出家ヲ執ヘテ宮刑ニ行ハ、不法ノ出家止而已ニアラズ、出家ノ數グヒト耗ベシ、宮刑ニ行フハ出家ヲニクムニアラズ、出家ヲアハレムナリ、其ユヘニ出家ノ心ハ淫ヲ戒ムル心ナレドモ、淫具アルユヘ慎マヌナリ、今鴻大ノ御慈悲ヲ以テ一命ヲ助ケ、其上ニ出家ヲモ停止セズ、唯陰ヲ其人ニ自身ニキラスルナリ、ケ様ノ仁政行レズ、出家眞ノ出家ニナリテ、其上デ出家止ベシ、出家トハ仕方ナキユヘ、出家ニテモナロフト云テ出家スルナリ、子ドモ多キユヘ、出家ニテモスベシトテ出家スルナリ、此デモ出家ハ元來出家セント思ヒ込タルニアラズ、仕方ナキユヘナリ、不如法ナレバナリ、出家ハ愚夫愚婦ヘ地獄天堂ヲ説キ聞セテ、善人ヲフヤシテ惡人ヲ消スル役目ナリ、コノ役目ヲモ勤メズ、不如法ニシテ喰ツブス人々ハ、殺シテモ流シテモ宜シキコトナレドモ、出家ハ愚夫愚婦ノ信仰スルモノナレバ、出家ヲヤタラニ刑戮スレバ民ノ心ヲ失フナリ、故ニ出家ヲ刑スルコトハアシ、今自身ニ陰ヲキラスルハ刑スルニハアラズ、如法ノ出家ヲ取立ル法ナリ、如レシテ民ウラマアファアルベカラズ、唯親鸞上人ノ法ハ別段ノコトナレバ手ハ付ラレヌナリ、又格別ニ京都ヘモ忠臣ナルコトアリ、且民モ甚信仰シテアル事ユヘ手ハ入ラレヌナリ、唯他宗ヨリ親鸞上人ノ派ニ改宗スルゴトヲ固ク禁ズベシ、扱上人ノ派ヲバ度牒ヲ急度極メテ猥ニセヌコ

トナリ、且其寺ノ總領ムスコバカリ出家ヲ免ゼラレテ、二男以下ハ決シテ出家ヲ禁ズベシ、二男以下ハ士農工商ノ四民ノ内ヘ入ルヤフニスベキコトナリ、是鶴ガ工夫ノ法ナリ、熊澤コノ法ニ心ヅカズ、佛法ヲ滅ントセシハ智ノタラス所アリト見ヘタリ、此等ノ法ハ論語ニ佛ノコトナケレバ、論語ヲ百遍讀トモ知ルコトアルベカラズ、左レドモ孔子生キテヲラレテモケ様ニ處置スルヨリ外ナカルベカラズト鶴ハ存ズルナリ、又近年穢多ノ族良民ニマギレ入テ色々害アルコトアリ、害ト云モ何モ害ラシキコトハ無ヤフニ見ユレドモ、古ヨリ穢多ハ火ケガレタリトテ、良民火ヲ同フセスコト我邦ノ古法ナリ、鶴ノ考ヘニテハコレモチキニ止ム法アリ、左ニ詳ニ述ベシ

一體穢多ノ良民ニマギレ入コトヲ禁ゼラル、根本ヲ探リテ見ルニ、外ニワケモアルニアラズ、唯穢多ハ元來外國ヨリ參リタル夷狄ノ種ニシテ、我天照太神宮ノ御末ニテ無ユヘナリ、夷狄ハ禽獸同前ナルモノユヘニ穢フハシキコトヲモ知ラヌモノナリ、故ニ今ニ於テモ穢多ニハ國ノ餘リノ地ヲ賜リテ、川ノ中、中ノ隅ナドニテ、禽獸ノ栖カ同前ニシテ差置レテ、扱穢ラシキコトヲ司ラシム、故ニ刃死ノ者ノ死骸、或ハ行倒レノ死骸、或ハ水死人、縊死人、燒死人、坏ノ施主ノ知レヌ死骸ヲ取扱フ、或ハ獄中ノ罪人ノ刑死人、坏スベテ良民ノセスコトヲスル役目ナリ、古我邦ヘ降參シタル節ハ全クノ夷人ユヘニ、目ツキ顔ツキ形貌モ皆我邦ノ人トハ違ヒテ居リタルコトナルベシ、ユヘニ外ニ目ジルシ無テモ、是ハ穢多ト知レタルナルベシ、今ハ數百世ヲ經テ子孫ニナリテ、久シク我邦俗ニ馴レテ我邦ノ水土ニ長ジタ

ル者ナレバ、ドレガ良民ヤラ、ドレガ穢多ヤラ、外貌ニテハ一向ニ知レヌナリ、マギレルコト宜ナル  
コトナリ、一體穢多ヲ禽獸アシラヒニナサル、ハ、穢多ノ心ニ善惡ノ無ユヘ、良民ノ心ト違フユヘナ  
リ、故ニ良民ノハチニクミテセヌコトヲスルナリ、心チガヒテ面チガハヌユエニ政ニサ、ハルコト  
ナリ、天照太神ノ御末デナフテモ、心ガ良民トチガハネバ禽獸アシラヒニナサル、ハヅナシ、只今朝  
鮮人・琉球人・阿蘭陀人ハ天照太神ノ御末ニアラズ、サレドモ心ガ良民トチガハヌユヘ、朝鮮人ハ諸大  
名人御馳走役オホセツケラレテ、キツトシタル御アシラヒナリ、琉球人ハ薩侯ノ御家來分ニテ御目見  
ヲオホセツケラル、ナリ、阿蘭陀人ハ登城シテ御老若以下寺社奉行謁セラル、ナリ、是心サヘ良民ト  
同ジキコトナラバ、血脉ハチガフテモ御カマヒナサラヌ證據ナリ、面ハ三ヶ國ノ人々大ニチガヘドモ  
心同ジコトユヘ、御カマヒナサラヌニチガヒナシ、然レバ穢多ハ心ガ良民トチガヒテ居ルト見ヘタリ、  
心ガ良民トチガヒテ面ガ良民トチガハヌハ、成程マギラハシフテアシキコトナリ、面ヲチガヘルニシ  
クハナシ、鶴謹デ案ズルニ古ヘノ黥ハ皆面上ニ入レ墨ヲスルコトナリ、此法ヲ御復シナサル、ニシク  
ハナシ、京・大阪ノ穢多ハ何屋ノ何右衛門、何屋何兵衛ト稱號シテ、良民トチツトモカハルコトナシ、  
江戸ニテハ髮ヲ結ブコトナラズザンギリナリ、京・大阪ニテハ髮モリツバニ結ブナリ、猶々マギラハ  
シキコトナリ、是モ良民トハ異ナルコトニセネバナラスコトナリ、鶴謹按ズルニ、穢多ノ名ハ字ヲカ  
カレヌ名ヲツケテ、屋號尤モ禁ゼラルベキカ、假名ノ字ニ三字グラキニスベシ、阿蘭陀人ノ名ノヤフ



ニナルナリ、或ハヘイト、或ハリンキ、或ハヘルケ、是等阿蘭陀人ノ名、ケ様ニ文字ニテカ、レヌ名  
ニテ宜シキコトナリ、扱黥ハ目ジルシナリ、額上ヘ眞一文字ヲフトク入ルベシ、長サ六寸タルベシ、  
凡穢多ノ子十歳以下ハ穢門ヲ出ルコトヲ禁ズルナリ、十歳ニナレバ額上ニ六寸ノ一文字ヲ黥シテ、始  
テ穢門ヲ出ルコトヲ許スナリ、如此ナレバ途中ニテ見テモ目印アリテキニシレルナリ、扱穢多バ  
カリ良民トチガヒタルニモアラズ、穢多デナフテモ、善惡ノ心ナキモノハ禽獸同前ナリ、是又點セネ  
バ片手打ト云モノナリ、血脉ハチガヒテモ心ガ良民ナレバ御カマヒナサレネバ、血脉ガチガヒテモ心  
ガ良民デナケレバ、御カマヒナサル、コト道理ナリ、鶴謹テ案ズルニ、咎アリテ獄ヘ下サルモノハ皆上  
ノ御米ヲ喰ツブシ、御厄介ヲ掛奉ル甚不届モノナリ、心ガ良民カ良民デナキカハ、此獄ヘ下ルト下ラ  
ザルトニテ知レルコトナリ、凡獄ニ下ルモノハ獄内ニテ貴賤ヲ云ズ、額上ニ二寸ノ入墨ヲスベシ、罪  
解ケテ出テモ額上ノ點アレバ、アノ男ハ獄ヘカツテ下リシ男ナリト知ル、ナリ、其人又罪アリテ獄ヘ  
下ラバ、獄内ニテ四寸ニ入墨ヲ引タシテ獄ヘ入ルベシ、其人又罪解ケテ出又獄門ヘ入ラバ、又二寸引  
タシテ六寸ニシテ穢多ノ部ヘ入ルベシ、ケ様ニスルホドナラバ、牢ヘ入ルノ人グヒト少カルベシ、今  
江戸ノ氣負クミノ男ノ飯ヲ食ハネバ、氣負クミヘ入ルコトナラズ、必ズ喧嘩爭鬭ヲシテ十日ニモセヨ、  
廿日ニモセヨ牢ヘ入ルコトナリ、氣負クミノ頭多ハ二十遍モ三十遍モ獄ヘ下リタル男ナリ、是勇氣ナ  
ルコトナルベケレドモ、上ノ御米ヲ食ツブス不届モノナリ、今此點法行ハレバ牢ニハ人アルベカラズ、

刑措ヲ用ヒヌト云聖世ニナルベシ、穢多モヨク見ワカリテ宜カルベシ、是モ論語ニ穢多ノアシラヒヤ  
フナケレドモ、論語ノ骨グミデ言ヘバケ様ナルベキカ、熊澤ハ論語ヲイカバ讀タルヤラ佛寺ヲ止メン  
トセシナリ、鶴杯ハ佛寺ヲ止ントハサラ／＼思ハズ、佛寺ヲ用ニ立テ、ヨキ出家ヲコシラヘ、政ノタ  
スケニシタキト思フナリ、穢多ヲ治ルツヒデニ牢入ノ少ナキヤフニスルツモリナリ、近來ノ經濟ニ身  
ヲ入テ仕途タル男ハ熊本侯ノ臣堀平太左衛門ナリ、近來御勝手向取直リタル御家ハ津山侯ナリ、津山  
侯ノ富タルハ堀平太左衛門ノ傳授ナリ、鶴ガ聞タル話ハ左ノ如シ

津山侯登城ノトキ熊本侯同席ニテ、二人他ノ侯ヨリモ早フ出仕セラレタルヤ、兩人ニテ懇意ニ物語セ  
ラレタルトキ、津山侯申サル、ハ、熊本侯ニハ近來御經濟モ直リテ御手厚キ御勝手向ノ由承ル、拙者  
ガ身上ハ十分一ニテ小身上ノコトナレドモ、如シ御傳授ヲ受テ取掛ルコトナラバ、經濟取直シ出來ベ  
キコトアルモノニヤ、家來ドモニモ年來心配、兎角年々ニ備用モカサ高ニナリ、行末ハ如何ナルコト  
ヤラン、如シ公用ニ差支等出來ルコトアラバ家ノ大事ニ候トテ、津山侯大ニ勞セラル、體ニアリシヨ  
シナリ、コノ時ニ熊本侯答テ申サル、ニ、大名大勢、サレドモ同席ナドニテハ別シテ己ガ經濟ヲ心配  
スル人モ見ヘ申サズ、唯ウカ／＼ト家來アヅケニシテ、驕奢ノコトニノミ心ヲユダネテ居ラル、中ニ、  
君侯ニハ御親切ナル思食ナリ、イカニモ拙者經濟近來法ヲ建カヘ、世ノ流行ニ先ダツヤフニ取行候ヘ  
バ、手厚ト申ス程ノコトナケレドモ、五年十年飢饉有トモ、國人ヲバ殺サヌヤウニハナリ申タリ、然

レドモ、御互ニ大名ハ在宅ナレバ、深宮ニ居リ他出スルハ乘輿致スコトナレバ、世上ノ振合一向ニ知  
レ申サズ、土地產物他國ノ引合、大阪銀主ノ掛合、滯府中ノ勤方等ニ至マデ、仔細ニハ知レ申サヌコ  
トニ候、拙者ハ其始近習ニ召使候者ノ中ニ、堀平太左衛門ト申モノ學問モ相應ニ有リテ、世ノコトニ  
ウトカラズ、人情ニタハシキモノ一人アリシヲ鑑定シテ、此者ニ内々申含メ萬事託シ申シタルナリ、  
經濟ノコトハ統ル所ハ上ノ人ニアリテモ、下ノコトニウトキユヘニ、萬事ハ此者ニ申付タルコトニ候、  
君侯ニハ御家來ニモ富テゴザルコトナレバ、御近習ノ中一人御鑑定アリテ仰付ラレ、彼平太左衛門方  
ヘ相談ニツカハサレ可<sup>レ</sup>然、拙者面ニ仔細ハ存ゼヌナリト云ハレシヨシ、津山侯歸館ノ上一人近習ノ中  
ニテ見出シ、早速申付ルニ先一ト間ヘ呼ビ、内々ニテ其方ヘ申付ル仔細アリトテ、熊本侯ノ話始終話セ  
ラル、此男モ忠臣ユヘシカト領掌シテ、此度ノ御用ハ大御用ノコトユヘ、一命ニカケテ相勤メ申ベシ  
ト受合タリ、津山侯大ニ歡ビ、イカニモ一命ニカケネバ勤マラヌ役目ナリトテ、吉日ヲ擇ビテ平太左衛  
門ニ逢ニ行、扱面會ノ上彼男申セシハ、先達而旦那君侯様御城ニテケ様<sup>ノ</sup>御物語有シユヘニ、拙者  
ヲ眼鏡ニ申付ラレタリ、何卒御伏藏ナク御誨教下サルベシト云、平太左衛門是ヲ聞大ニヨロコビ、扱々  
恐悅ノ次第ナリ、モハヤ津山様ハ御經濟御整ナサルニチガヒナシト云、彼男是ハ如何ノ事ニテ左様ノ  
仰ラル、ヤト問トキ、堀申ケルハ、凡大名ガ自分ノ身上ヲ直サント思ヒ立テバ直ルコトナリ、唯大名  
ハウツカリトシテ自分ノ身上ヲ見ルコト、他人ノ身上ノゴトクスルモノナリ、大名ガ自分ニ發起シテ



身上取立ント思ヒテ直ラヌト申スコト決シテナキコトナリ、貴公ハ君侯ノ御眼鏡ニテ仰蒙ラレタルコト、大節ニ御勤メナサルベシ、イカニモ一命ハカバワレヌナリ、一命ヲカバヒテハ勤マラヌナリ、若一命ヲ惜ム心アレバ出來ヌコト多シ、若又御老人御兩親杯アリテ、今ハ一命ヲステラレヌト思ヒタマハ、今一人貴公懇意ノ浪人モノヲ御出入ニナサレテツカヒ玉フベシ、サテ何事ニヨラズ、其浪人モノ、申出スコトニ取ナシテ、貴公ノ智ヲ有タケニ御フルヒナサルベシ、此男ハ元來臣列デナキユヘ、罪ノ極ガ出入ヲ留ルキリナリ、始ヨリコノ男ニヨク飲込セテ使フコト術ナリ、君侯ノ御目鏡ト云ハ、唯貴公ハ命ヲ捨カネヌ人ナリト思ヒ玉フユヘナリ、拙者ナドハ訴戌百遍讒ニ遇テ手打ニモナルベキ罪ヲ負タルカ知レヌナリ、サレドモ寡君ト始ヨリ申合セテ置タユヘ、讒言上リテ寡君ノ耳ヘ入レバ、寡君ノ申サル、ソレハ平太左衛門大罪ナリ不忠モノナリ、早速ニ手打ニスベシ、唯今呼來ルベシトテ拙者ヲ急ニ呼ニクル、拙者出レバ御用アルユヘ、麻上下ヲ着シ出ヅベシト申出サル、扱服ヲ改メテ出レバ、即表ノ居間ヘ呼出、家老用人列座シ、格式取り立テ加増米申付、イヨ／＼存寄通りニ取り行フベシト申シ付ケラル、凡讒言上ル毎ニケ様ニシテハ昇進増祿申シ付ケラレタルユヘニ百俵ヨリ三千石ニナリタリ、唯今存ズレバ危キコトハカリナキコトナリ、コノコトナドヲ貴公ニモヨク／＼味ヒテ、御承知ノ上君侯ヘモ此事ヲ仰セ上ゲラレテ、君侯ニハケ様ニナサル、コト出來サセラル、ナラ御受ヲ仰上ラルベシ、コノコト君侯ニクルシウ思召サバ、彼浪人者ヲ御雇ナサル、コト十全ノ術ナリ、



外ニ何モ傳授ナシト云、彼男此趣篤ト飲込、面白キコトナリトテ、拙者此事ニツキテハ根輪際外ノ人ヲ備ヒ申スマジキナリ、扱一體經濟ノ仕掛如何ニ取カ、リ申スベシヤト問フ、コノトキ堀答テ云ヤフハ、凡ケ様ノ大事ハ他人ノ心ニ從ヒ、他人ノ智ニ倣ヒテ、他人ノ足ニテ歩行キテモラヒテハ、一向ニ成就セヌコトナリ、既ニ拙者ハ拙者ノ智ニテ組上タルコトナリ、貴公ニモ貴公ノ智ニテ組立玉フベシ、然シ組立ル捷法一條申ベシ、是迎モ珍ラシキコトニハアラズ、王制ニ冢宰國用ヲ制スルニ、入ルヲ計テ出スコトヲナスト云本文アリ、此事經濟ノ第一ナリ、今ノ諸侯ノ經濟ヲ取ル人々ノスル所ヲ見ルニ、入ヲ置テ先出方ヲシラブルナリ、扱大阪ヘドレ程上ス、扱給金取ノ奉公人ヘナンボ取ラスル、是ハ缺レヌナリ、扱納戸臺所入用ドレホド是ハ第二ナリ、扱家中ノ手アテ是ハ第三ナリトケ様ニ組ンデ、第二ト第三トヲバサシヘシテ、扱ドレホドナケレバ年ハ越ヘラレヌナリト云、扱是ニ入り金ヲ合セントスルユヘ、又大阪ヘ金ヲ云フテヤル、郡奉行ヘ年貢運上ヲ増シナケイフテ、調達ト名ヅケテ、是調達ヨク出來ル男ヲ忠臣ト定ムルナリ、調達トハ出金ヲシラベテ、其數ニ合フヤフニ金ヲソロヘテ進達スルコトナリ、拙者案ズルニ、此調達ト云字イヤナル字ナリ、王制ノ本文ト違ヒテ居ルナリ、王制ノ本文ニ合スレバ、入ルヲ計テ而後ニ出スコトヲスレバ調達ニハアラズ、均適スルナリ、扱均適ノ法ハ、第一ニ不用意金ト云モノヲノケネバナラヌナリ、是ハ急ナル公用吉事ノ手アテナリ、此外ノコリヲ入ト定ムルナリ、何デモ此入ニ合フヤフニ出ヲヘラスコトナリ、昔身上ヨカリシガ今アシカロウ

ハヅナシ、何カ無用ノ出アルユヘナリ、無用ノ出ヘラスベシ、扱大名ハ大身上ニテモ大名ナリ、天下ノ政ニ手ヲツケル事ナラズ、天下ノ政ニ隨テ整ヘネバナラヌナリ、古風ガヨウテモ、天下ノ政古風デナケレバ仕方ナシ、ヤハリ古風デナキコトヲシテヲラネバナラヌナリ、譬ヘバ國中皆僦服デ皆僦食ナレバ至極ヨキコトナリ、サレドモ天下ノ政衣食僦デナケレバ、四隣ノ民皆美衣食ナリ、四隣ノ民皆美衣食ナルニ、此方ノ國バカリ僦衣食ニセント思フハ無理ナリ、民ハ愚ナルモノナリ、一體ノ國ノ富ニナルコトモ、貧ニナルコトモ知ラヌナリ、唯隣國ノスルコトヲ見ナラヒテ移リカハルナリ、上ノ入用モ衣食モ、天下ノ政トトモニ移ラネバナラヌナリ、故ニ古ノ衣食ヲ衣食シテモ價ハツトノボリテ居ル、上リテヲルハ物價ハ天下ノ物價ニテ、大名ノ制度ニテナケレバナリ、我國ノ民ハ天下ノ民ノ風俗トトモニ奢侈ニ移ル、是ハセン方ナキナリ、我國ノ物價ハ天下ノ物價トトモニ騰躍スル、是モセン方ナシ、皆セン方ナウテ出多クナルナリ、扱我入ハトイヘバ古ヨリ同入ナリ、足ヌハヅナリ、是無用ノ事ヲ省キタル上ガマダ、出入合ヌナリ、サレバ無用ノ出ヲヘラシテ、其上ニ國ヘ入り來ル金無レバ、算用合ヌト知ルベシ、風俗モ制度モ此方ノ自由ニナレバドノヤフナル自己流ヲ立テモ宜シケレドモ、風俗モ制度モ他人ノ物ナレバ、自己流ヲ立ヌケバ段々貧乏甚ウナリテ、後ニハ家ニサワルコトアルヤフニナルニチガヒナシ、一日モ早く一刻モ早く調達流ヲ止メテ均適流ニスルニシクコトナシ、一體古ヨリ風俗少シ移レバ經濟モ少シ修覆シ、物價モ少シ上レバ又經濟ヲ少シ上ルヤフニスレバ、古ノ

出入高ト今ノ出入高ト合テ貧ニナルコトナシ、畢竟ハ役人油斷ニテ、經濟修覆スベキ時分ニ古キ帳面ヲ守リテイラワヌユヘニ、皆アトヘトナリテスリサガルユヘニ、今ハ古借ノ利息バカリモ多クテ、一向ニ出入チガフナリ、此所ヨク心ヲ付ケラレテ、入ヲ先ヘシテ出ヲ後ニテ付ルヤウニシテ、付カヌトキニハ無理ヤリニヘラスヨリ外法ナシ、其中ニ他國ヨリ入來ル金追々多ナリタル程ナラバ都合ヨク合ベシ、先始ニハチト瞑眩スルモノナリ、瞑眩ヲ恐レテハ病ハナホラヌナリ、唯無用ノ出ヲヘラスユヘニ、法度ヲ守ラヌ家ヲバ、其不法ノ輕重ニヨリテ申付ネバナラズ、シヨウノコワイ小者ノ類ハ逐拂フヤウニセネバナラヌユヘニ、下ヨリ怨ム人出來ルナリ、唯法ヲカヘルトイヘバ、下々イヤガルモノユヘ、如何ニモ目立ヌヤウニ、イツカ法カハリテ居ルヤウニスルコト第一ナリ、サレドモ拙者ナドハ格別ニ目立ヌコトバカリ致シタルモノニモアラズ、ナルタケ目立ヌヤフニシテ、其餘ハ目立テモカマハズ行ヒシナリ、故ニ寡君度々拙者ニ昇進申付ラレシナリ、君侯サヘ御心タシカナラバ、目立ヤフニテモ苦シカラヌコトナレドモ、目立ヤウニスレバ下ノ怨ムコトハ必定ナリ、故ニ浪人モノヲ人目御供ニ上ルコト術ナリト申スナリ、既ニ古ヘ漢ノ晁錯ハ忠計ヲ奉リシナレドモ一命召上ラル、又近年諸家様ノ御改法ニテ、忠臣貶逐セラル、コト數ヲシラズ、皆御ニウトキユヘナリ、先經濟組立ノ大意用心此ニケ條ナリ、出ヲ先ヘハカルモノハ必ズト、ノハズ、下ノ怨ヲ避ル術ナキモノハ必ト、ノハズ、コノ外貴公御工夫アルコトナリト云、彼男モ堀ノ方ヘユキガケト歸リガケトハ大ニ腹中モ違テ勇氣ニ



ナリ、扱君侯へモ段々此事ヲ具ニ申上テ經濟帳作り、始終順立ノ先後ヲ考ヘテ組立タリ、其後コノ男  
ノ計策ニテ無盡ヲ頻リニ多ク取立タリ、此無盡ハ至テ瑣細ノコトナレバ、用ニ立ソウモナキモノナレ  
ドモ、一體富ノ早ク成就シタルハコノ無盡ナリ、尤五萬石十萬石グラキノ大名ニハヨケレドモ、大國  
ニハ似合ヌコトノヤフニ見ユルナリ、サレドモ、似合ヌト云ヘバ、一萬石ニモ似合ヌナリ、似合ト云  
ヘバ百萬石ニモ似合ナリ、此無盡ノ法ハ先諸家ニテモ津山侯ノ無盡ノ法ヲ學デ、處々ニテ始マリタルコ  
ト一世ノ風トナレリ、一體無盡ノ法ハ月々金ヲ掛ケテ集メテ、豪富ノモノヘアヅケテ利息ヲトルナリ、  
譬ヘバ家一軒ニ金三兩五兩閑暇ナル金アリテモ、唯アルト云コトバカリニテフヘルコトナシ、百軒ノ  
閑金ヲ集ムレバ三百兩五百兩トナル、三百兩ノ金ハ年一割ニ預レバ一年三十兩フヘルナリ、月一割ニ  
預レバ三十六兩フヘルナリ、扱家中ノ者ヘ申付、閑金ヲ集テ無盡講ト云モノヲ始ラル、家中ノ者ドモハ  
武士ノコトユヘ、米ヤ金ハ天カラ降りデモスルヤフニ覺ヘテヘラリト喰フテアル、是鼠ノ家ノ内ニアル  
ニチガヒタルコトナシ、唯米ヘルバカリナリ、ヘラリト喰テ居ユヘ米金ノ貴キコトヲ知ラズ、其上武  
士ノ風トシテ金ヲ賤シムコトナリ、金ヲ賤シムユヘニ金ヘラノト無ナルナリ、金ヲ貴ブ人ヲバ大ニ笑  
フテ商賣中ノ人ナリト云コト武士一統ノ風ナリ、商賣人ノ風トテ笑フホドナラバ、己レハ商賣ハセヌ  
カト云ヘバ、先大國ノ大名ヨリ年々米ヲ賣リテ金ニシテ、扱公用ヲ勤メ萬事ト、ノフナリ、米ヲ賣ル  
ハ商賣ナリ、大國ノ大名ヨリ皆商賣中ノ人ナリ、商賣中ノ身分デ居ナガラ商賣ヲ笑フユヘ、己レガ身



分ト所行ト違フナリ、貧ニナルハヅノコトナリ、米ヲ賣リテ金ヲツカフハマダ／＼ヨキ分ナリ、彼商人ヲ欺キタラシテ、アヤマリ證文同前ノ手形ヲ書キテ金ヲカリテ金子調達スレバ、鬼ノ首ヲトツタル心ニ功ニ伐リテ喜ビナガラ、又商賣ヲ笑フハナントツマラヌコトニテハナキヤ、是ハ古書ヲ讀ソコナヒタルヨリ出タル論ナリ、論孟ニ利ニ遠ザカル、利ヲ賤ンズルト云ハ、金ヲ何トモ思ハズニヘラ／＼ツカフテ喰ツヅシヲセヨト云コトニテハサラニナシ、亂世ハ君ヲ弑シ、父ヲ弑スルハ慾心ノ長ズルヨリ起リテノコトナレバ、己レガ上ヨリ賜ハルギリニテ衣食ヲ足レリトシテ、其ノ外ノコトニテ慾心ヲ養フハアシキコトナリ、第一ニ慾心ハ心ヲクラマスモノユヘ、天理ニウトキコトトナルユヘ、士ノ職修ラスナリト云フコトナリ、コノトキニハ天子モ諸侯モ地方知行ノ大夫士モ物ヲ買フコトナシ、皆己ガ知行所ヨリ出ルモノニテ衣食ヲスルナリ、錢金ノ働クコトノヤフナルコトハ古今無コトナリ、天子モ諸侯モ御拂米ト云モノアリ、御買上ト云モノアリ、御拂米ハ賣ナリ、御買上ハ買ナリ、上ヨリ下マデ皆賣買ナレバ皆商人ナリ、古ハ其國土ニ出ルモノヲ取リテツカヒタルモノナリ、扱慾心モノ、弑君弑父多キナリ、ユヘニ利ヲ賤メ／＼ト教タルナリ、今ハ弑父弑君ノコトモナシ、亂世ニモアラズ、賣買ヲセネバ一日モ暮サレズ、金銀ヲ賤ム世ニアラズ、商賣ヲ笑フ時ニアラズ、笑ハバ先己レガ身カラ笑フガ順ナリ、アヤマリ證文ノ手形ヲカク男ヲ笑フベシ、商人ヲ欺キタオス男ヲ笑フベシ、國ヲ貧ニスル男ヲ笑フベシ、ヘラリ／＼ト鼠トトモニ米ヲヘラス男ヲ笑フベシ、是レ笑フベキ所ヲ笑ハヒテ、笑フ

マジキ所ヲ笑フト云モノナリ、津山侯コ、ニ目ヲ付タル政ナリ、ユヘニ熊本侯ヨリモ流行ニ先ダチタル工夫ナリ、瑣細ナルコトナレドモ、士ノ金ヲ粗末ニセヌコトハコノ無盡ヨリ教ヘ入レリ、扨家中ノ者ドモ寄合テ、無盡ヲ何口モ取立テ、此金ヲ君侯ヘ預レバ又家中ノ者ドモ怨ムナリ、ユヘニヤハリ大阪ノ銀主ヘアヅケテオクナリ、銀主モ金ヲ預リテ金ヲカスユヘ甚心安シ、殊ニ大阪ニテ金ヲ調達スルハ、富諸侯ハ一萬兩カルニ五百兩ホド入用カ、ルナリ、貧諸侯ハ千兩カルニ二百兩カ、ルナリ、是ハ畢竟紙一枚ニテ多分ノ金ヲ借ルユヘニ如此入用多シ、扨月ニ六サイトカ三サイトカ銀主振舞ト云モノヲスルナリ、扨人物ラシキ役人ヲ大阪ヘツカハシテオカネバナラヌナリ、小諸侯ハ折々ニハ家老自身ニ大阪ヘ下リテ銀主ト掛合ヒ、豪家ニヒラアヤマリナリ、豪家ハ樓ヘ上リテモ坐蒲團ノ上ニ坐シ、家老ハ君侯御目見ノ通り式ニテ豪家ノ御杯頂戴ナリ、笑止千萬ナル上ニ其費用夥シク掛ルコトナリ、津山侯ハ金ヲ預ケテ置テ金ヲ借ルユヘ、費用一向ニ入ラズ、夥敷費ヲ省クコトナリ、扨家中ノ者モ金ノフヘルガ面白キユヘニ金銀ヲ貴ブ心出來テ、儉約ヲシテ金ヲタメルコトニナレリ、諺ニ貧スレバ鈍スルト云、家中金出來タルユヘ、智ナルコトバカリスルナリ、先年中家中ヨリ外ヘ出ル金グツト少ウナレリ、扨其後ハ彌コノ無盡ノ法行ハレテ、他所ノ人ヲ組テ大無盡ト云モノヲ行ハレタリ、コノ法ハ百二十人一組トシテ、武家・町家・寺社ヲイハズ、入リタキト思フモノ入ルナリ、一口二兩掛ナリ、月々會アリテ十年滿會ナリ、初日ニ二百四十兩集ル、一ノ札ニ當リタル男二十兩トリテ取德ナリ、夫ナリニテ

其男ハ除クナリ、扱此二百兩ノ金月々二兩ヅ、足ヲ産シテ行ユヘ、此男除テモ一向カマヒニナラヌナリ、二十會マデ此通りニテ、二十會後ハ又此金ヲフヤスナリ、其内ニ殘金其利足ト段々ニフエルユヘニ本金キヅツカズ、津山侯ハ至テヤスキ利足ノ金ヲツカフテ居ル法ナリ、此無盡ヲ五十組モ百組モ取立タルモノユヘ、萬兩チカキ金子平生マハルヤフニシテ、其内ニ家中ノ制度勝手向ノ法ヲサツバリト取替タリ、家中ノ武士モ無盡サワギニテ己レガ金ノフヘルヲ樂ミテ、ウカ／＼シテ居ルウチ、法ハサツバリカハリタレドモ、誰一人法ノカハリヲ怨ムモノナク、讒言モ入ラズニ仕舞タルナリ、此男ノ名サヘ鶴ナドハ聞ズニシマヘリ、此事ハ神田橋相公ノ盛ナル時分デアリシナリ、津山侯モ經濟整フト一度ニ此無盡モ滿テ、今ニ經濟宜シキ國トナレリ、元來ハ堀平太左衛門ガ授シ骨組ナリ、此堀平太左衛門ハ熊本侯ノ部屋住ノ時ヨリ、近習ヲ勤メテ側ニ居リシユヘ、其節ヨリ君侯ニ智ヲ賣リテ、興復ノ趣向ヲ企タリ、凡興復ノ事坏大務ユヘニ、家督ノ始ヨリ、仕込タル根入ノ深キコトナケレバ行ハレヌナリ、先熊本侯家督前ニナリテ、何カ少々ノ過チアリトテ平太左衛門ヲ國ニツカハシ、侯ノ前ヲシクジリタル躰ニテ暫ク國ヘ引込テ居タリ、誰一人氣ノツクモノモナウテ、後ニハ權謀ナリト知タリ、扱家督ニナラルト、間モナウ國ヨリ平太左衛門ヲ呼寄せ、又以前ノゴトク近習ヲ勤サセテコンイヲ蒙レリ、熊本侯國ヘ初入ニテ歸城ノトキ、堀平太左衛門預リト云長持一荷、堅ク錠前ヲオロシテ封ヲ付タル荷物、歸城ノ日ヨリ侯ノ不斷ノ間ヘ入レ置タリ、扱家中ノ者ドモヘ目見申付タル日、上段ノ後ヘ右



ノ長持ヲ昇寄セテ置ク、家老ヨリ順ニ目見相濟タリ、扱御杯御流シ御手熨頂戴相濟タル面々ハ、各溜  
ヘ控ヘマカリアルベシ、御手土産下サル、トアルコトナリ、又家老ヨリ順ニ出デ手土産ヲ賜ハルト  
キ、平太左衛門右ノ長持ヨリ何カ紙ニ包タルモノヲ出シ候ヘワタス、手ヅカラ家中ノ者ヘ不殘是ヲ  
賜ハル、家中ノ諸士皆頂戴シテ歸宅セリ、各嚴封アレバ歸宅ノ後ニ開キテ見ルニ、經學者ニハ五經ノ  
小本ナリ、詩ヲ作ル人ニハ唐人ノ詩集ナリ、弓ヲ好ム人ニハ矢ノ羽或ハ弓ノ弦、馬ヲ好ム人ニハ立聞  
或ハ鹽手ト云ヤフニ、カサ高ニナキモノヲ一種ヅ、賜ハル、扱淨瑠璃ナドヲ好ミテ文武ニ不精ナルモ  
ノニハ淨瑠璃本、三絃ヲ嗜ム人ニハ三絃ノ撥或ハ駒、書ズキニハ畫筆、書ズキニハ筆、川獵ヲ好ム人  
ニハ網ノ岩、鳥ヲ飼コトヲ好ム人ニハ鳥ノ餌入ナド、云類ナリ、諸家中一時ニ君侯ノ明察ヲ畏レテ、  
翌日ヨリハ御前ヘ出テモ、誰一人仰テ君侯ヲ見タルモノモナカリシヨシナリ、コノトキ執政ノ大夫士  
ヲ集ナガラ興復ノ事ヲ申出サル、誰一人イナムモノナカリシヨシナリ、故ニ君侯ニハ心一バイニ法ヲ  
改ラレシトナリ、皆平太左衛門ガ賣シ智ト見タリ、外ニ相手モ無様子ナリ、左スレバ智者ハ上ノ所ニ  
一人、中三人下ニ兩三人モアレバヨキナリ、アマリ智者多ケレバ却テ密談モモレテト、ノハズ、一體貴  
人ノ常言ニテ外々ヲ見レバ智者多ケレドモ、此方ノ家ニハ何トテ智者少キヤト云コトナリ、鶴小國侯  
ニ此對ヘラシタルコトアリ、凡人ノ情ハ吾生ヨリ大切ナルモノナシト思フコト人ノ情ナリ、御儒者・  
御祐筆・御料理人ハ藝ニテ米ヲ得テ生テラルモノナリ、藝次第ニ米取モノナレバ、己ガ藝ガ即チ米ナ



リ、米ハ我身ニアリ、扱藝ノナキ人ニハ己ガ身ニ米ナシ、故ニ旦那ヨリ賜ハル米ニテ生テ居ルナリ、儒者ヨリ以下料理人ハ、今日御暇下サレテモ又デキニ有ツクナリ、有ツカヒデモ藝ヲフリ賣ニシテモ飢寒ヲセヌナリ、藝ノナキ面々ハ今日御暇下サルレバ、明日ヨリハ飢寒身ニセマルナリ、故ニ儒者以下料理人ハ暇ノ出ルキハ事トモセズ、藝ナキ面々ハ暇ノデルヲ甚恐ル、ナリ、今モシ萬々一大變起リテ甲冑ヲ着シ、御馬ノ先ニ出デ打死ヲ致スベキモノ誰ニテ候ベキ、儒者以下ハ決テ打死猶豫スベシ、藝ナキ面々ハ進デ死スベシ、故ニ智ノ有モノハ召使ハル、コト六ヶ敷ナリ、智ノナキ者コソ召使ヨカルベシ、人一人ノ身ニ譬ヘバ、心バカリ智ニテ目・鼻・口・耳ナドハ智ノナキコト宜シキ、今美人ノ爲ニ身ヲ亡スハ、目ノ智過ギテ心ノ智チガヒナキユヘナリ、淨瑠璃ニテ身ヲ亡スハ、耳ノ權ツヨウシテ心ノ權ヨワキユヘナリ、上一人智者アリテ下ニハナキコト宜シ、上ノ一人ノ智者ノ言フヤフニジユウニナルガ宜シキナリ、一家中ニ智者多キハ心ノ澤山ナル男ナリ、不祥ノ第一ナリ、中ニ一人トハ、心ノ下ハタラキスル心ノ、小カシコキ心入用ナリト云コトナリ、コノ心入用ナレドモ上ノ心ノ邪魔ヲシテ甚アシシ、上ノ心ニ從フテ働ク心一ツ入用ナリト云コトナリ、下ニハ兩三人トハ、一郡ニ一人、一縣ニ一人、頭役ヲ勤ムルモノ智者無レバ、上ト中トノ人ノ目ノトバカヌ處知ニクキユヘナリ、是ヲヨク／＼詮議ナサル、コト君上ノ御役ナリ、智者ヲ並ベテオキテ使ハントスルハ甚アシキコトナリト申セシコトアリ、人ハ天ヨリ生ヲ受テ居ルモノナレバ、人一人ダケノ用ニハ是非立ツモノナリ、上ノ役ワリノ仕方

アシケレバ働カズ、目ニ物ヲ聞セ、耳ニ物ヲ見セ、鼻ニ物ヲ味ハスルヤフニテハ役ニ立ヌ人ト見ユルナリ、目ニ物ヲ見スルヤフニ使ヘバ、皆役ニ立ハヅニ天ヨリ生ヲ賜ヒテアルモノナリ、故ニ世祿ハヨロシキコトナリ、世官ハアシキコトナリト古ヨリ云ヘリ、儒者ノ子ニ醫ヲ好ム人アリ、醫ノ子ニ書ヲ好ム人アリ、其得タルコトヲサスベシ、故ニ世祿トモ此邦ノ世祿ハ甚アシ、少シバカリゾ、世祿ニシテ役料ヲ多ク賜ハルコト宜キナリ、祿ヲムシヤ／＼ト唯喰ツブシテ居ル人モ、天性ユヘニ決シテ心ヨカラヌナリ、心タノシカロウヤフナシ、天ヨリ賜ル心ニ唯喰ツブセト云心ヲ賜ハロフハヅナシ、喰フニ從テ働キタキコト人ノ心ナリ、故ニ己ガ得手タル役ヲ言付ラルレバ、其人限り無フ喜ブナリ、フラ／＼喰ツブスガ面白フゴザルト云フハ怨ミタイフ辭ナリ、心ヨリ好ム所ニアラズ、如シコノ心アル人ハ人トハイハレヌナリ、天ヨリ賜ハリタル性ヲ取失タルナリ、人デナキ人ヲ養ヘバ仁デアリソウナルモノナレドモ、仁ニテハナシ不仁ナリ、人デナキ人ヲ養フ米ハ人ガ作りタル米ナリ、人ニ骨ヲ折セテ、人デナキ人ヲ養フユヘニ人ニハ不仁ナリ、又人デナキ人ヲ養フ人モ、天ノ罰ヲ蒙リテ決シテ不祥ノ事起ルナリ、是天ノサナケレバナラヌ理ナリ、恐シキコト第一ナリ、人デナキ人モ己ガ人デナケレバ、禽獸ノヤフナル衣食ヲシテアルコト、心ヲ安ズル術ナルベシ、天ノ理ハ何レニモ働カズニ衣食スルト云コトハナキコト、知ベシ、是理ハ人ニ聞テ始テ知ルニアラズ、心ニ隨分辨ヘテ居ルナリ、サレドモ使ヒヤフニテ、能用ニ立モノハ天下ノ萬物ナリ、人ニモカギラヌコトナリ、使フコト術アリ、使

ハル、コトモ術アリ、コノコトハ天王談ニテ委シクカタルベシ

善中談終

天王談





## 天王談

鶴昔攝州ニ遊ビシ時、文章ノ法ヲ數十人ノ少年ニ授折節、標著ノ時分ニテ聽衆モ大勢ナレバ、寺ヲ借リテ講席ニスルコトニ相談キハマリテ、法華宗ノ坐敷ヲ借り、此ニ逗留シテ書ヲ講ゼリ、或日晝飯後ニ本堂ヘ涼ニ行、先拜禮シ御厨子ノ内ヲ望メバ、第一ノ尊位ニ目蓮上人ノ本像、頭巾ヲ冠リテ五重ノ幕ノ上ニ趺坐シ玉フ、扱上人ノ左右ノ肩邊ニハ、如來兩位雲中ニ出現シ上人ヲ護スル體也、扱上人ノ蓮坐ノ下ニハ、又左右ニ菩薩兩位、文珠ハ獅子ニ腰ヲカケ玉ヒ、美女ノ如ナル面ニテ笑ヲ含デ居玉ヘリ、普賢ハ象ニ騎リ玉ヒ、文珠ト同面ニテ此兩人モ上人ニ侍リテ居玉ヘル様子也、其又下段ニハ四天王各執物ヲ持ナリ、外道ノ魔卒ヲ蹈テ立玉フ、此モ上人ノ衛卒ノ足輕小者ノ如クニ上人ヲ警固スルサマナリ、鶴性元來無智不才ニテ何一ツ用ニ立ツコトヲ考ヘ當タルコトナシ、左レドモ兎角合點ノユカスコトヲ考テ見タキ癖アリ、不才ニテ考フル故ニ、齒ナキ老人ノ鯨ノ足ヲ嚙ヤフニテ、初ノホドハ一向ニ吐出シタキヤウナレドモ、横ニシテハ嚙ミ、豎ニシテハ嚙ミ、久シウカ、リテ嚙バ遂ニ腹中ヘオクルコトアリ、先此上人ノ須彌壇鶴ニハトント合點ユカヌナリ、日本ニ二人カ三人ノ大智大德ノ上人ナレバ、何カ此事ニツキテハツケガナウテハ叶ハヌコト也ト思ヘバ、例ノ癖出來テ脇目モフラズニ、

須彌壇ヲ見テ居タレドモ中々急ニ考ヘ付カズ、先坐シテ心ヲトクトオチツケテ、扱ヨク／＼見ルニ、肩ノ邊ノハ如來也、徳ノ極テ高キ人ナリ、膝ノ邊ノハ菩薩ナリ、上人ノ願ニテ使ヒ玉フベキ人ニアラズ、足ノ邊ノモ天王ナリ、上人ノ門番ナドヲスル人ニアラズ、上人第一ノ尊位ニ坐シ玉フ自負甚シ、尊大スギタルコトナリ、是智者ノ心ヲ用キル所ト大ニ相違シタレバ、決シテワケノ有ニ違ナシ、上人ノ大智ニ取付ガ、テガ、リ也ト思テ、暑モ何モ打忘テ半時バカリ佛前ニ坐シテ考居レリ、凡ケ様ノ考物ハ、下ノ方ヨリ段々順ニ上ノ方ヘ考ヘ上ルコト法也、下ノ方ハ考勝手宜キモノ也、事繁ケレバ淺キ近キ方ヨリ考ルコト也、中庸ニモ卑近ヨリ高遠ニ登ルト有ルハ此事也、先天王ヨリ思ヘリ、此天王トハ何人ゾヤ、天竺ノ力士カ、何トテコ、ヘ出デタルコトゾヤ、蹈タルハ外道カ、外道トハ何物ゾヤ、惡人カ、惡人ナレバ天王殺シ玉フハヅナリ、今少シ強ク蹈ミタラバ死スベキニ、何トテ天王ハ強ウ蹈ミ玉ハヌコトゾ、扱戟ヲモ手ニ持玉ヘルガ、何トテ天王ハ此戟ニテ突殺シ玉ハヌコトゾ、扱天王ガ外道ヲ退治シ玉フコトナラバ、天王ノ眼モ外道ヲニラムモノナルニ、何トテ天王ハアテモ無キ處ヲ見テ居玉フゾヤ、甲冑ヲ衣ツルハ瞋怒ノ様子ナリ、何トテ舍利ヲ持玉フゾヤ、扱ケ様ノ像ヲ作テコ、ニオケバ、何ノ利益ノアルコトゾ、大智ノ上人ナレバ、小兒ノ呪ノ様ナルコトヲ信ズルコトアラシヤ、何ガタメニスルコト有テ、此木像用ニ立コトナクテハ叶ハヌナリト、此ヘ心付テ是ヲ思フコト久シウシテ、始テ豁然トシテ目ノ覺メタル様ニ考付タリ、扱天王解セテ而後ニ菩薩。如來ノコトモ破竹ノ如クニ合點ユ

キテ、始テ上人ノ智ヲ人ニ教授玉フコトノ委細ナルコトヲ知レリ、上人ノ尊キコトヲ戴ケリ、扱夫ヨリ住持上人ノ居間ニユキテ、天王ノ外道ヲ蹈ミ玉フワケハイカバノワケゾト問フ、上人ハ鶴ガ門人ニナリテ、文章ヲ少々書テ學問ズキナル上人デ、至極トリカザラヌ正直ナル人ニテ、爭フ心ノ無人ナレバ、答テイハル、ニハ朝夕其前ニテ經ヲモ讀誦スルコトナレドモ、唯ウカ／＼ト見過シテ何ノワケモ知ラズ、世人ノ所謂惡魔ハラヒト云ヤウニ心得テ居リシガ、成程左様ニ尋ネ玉ヘバ、何ゾワケ有ソウナルコト也、天王四人マデ並ビ居ルコトモ、其上ニ兩人菩薩ノ居玉フコトモ、其又上ニ雲中ノ佛マシマスコトモ、一向ニ何ノコトヤラ存ジ申サズ、唯佛菩薩ハ德ノスグレタル人故、猛獸ヲ服セラレタルトノミ覺テ居タレドモ、成程此像ヲ見タリトモ身ニ益ノナキコトナレバ、何ゾ是ニハワケ有ベシ、先生ノ考承リタシト云ハレタリ、鶴申セシハ、是ハ儒者ノ出家ヘ差圖ガマシキコト申モ恐有コトナレドモ、ケ様ニ申テ見ルトモ、是即上人ヘ折衷質問スルコトナレバ、御免ヲ蒙リテ鶴ガ考ヒ當リタル處ヲ申スベシ、先日蓮上人ノ思召ヲ探グルニ、學者ハ始ヨリ佛菩薩ヲ修行スルコトハ出來ヌ故、先ヅ天王ヨリ修行スベシト教玉フナリ、天王ヲ修スルトハ、此木像ハ皆智慧ヲ磨ク仕方ヲ形ニアラハシ玉フナリ、天王モ修行者ノ心也、此外道モ修行者ノ心也、譬バ人ノ極メテ急ナル處ハ、飢寒ヨリ急ナルハ無し、慾モ食タキ衣タキト云ヨリ甚ハナシ、故ニ己ガ身ノ分量モ打忘レテ、兎角旨キ物食タク、美シキ暖カキ物ヲ衣タキ也、此心ハ誰モ有心ナレドモ、今日獄門磔ニカ、ル男モ、此分量ヲ忘テ慾心出デ働



キタルヨリ重罪ニ逢コト也、左レバ其慾心ノ口元ノ旨キ物、暖カキ物ヲ取得バ外ニ願ハ無カト云ヘバ、左様ニテハナシ、此外ニ又大願アリテ、町人ナレバ土藏ヲ百戸前立タイト云ヤウナル大願アリ、職人ナレバ弟子ヲ百人置テ、二十間口三十間口ノ家ニ住ヒタイトカ云ヤウナル大願アリ、畢竟此大願叶ハヌハ、彼分量ニ過ギタル旨キ物、暖カキ物ヲ用ヒタイト思フ心邪魔ヲスル故也、此大願ノ心ハ心ノ君也、出テ働ク心ハ心ノ臣也、心ノ君ハ心ノ臣ヲ取シメテ、自由ヲサセネバ大願叶フ也、此心ノ君ノ心ノ臣ヲ取シメルハ、此嚴シウ根強ウテ少シ惡ムト云フホドニ心ノ臣ヲ取シメネバシマラヌ也、故ニ此趣ヲ木像ニシタルハ即四天王也、其大願ノ邪魔ヲスル心ヲ木像ニシタルハ即外道也、先學問ノ始ハ己ガ心ヲ二分ルコト第一ナリ、書經ニハ道心ハ微ナルモノ也、人心ハ危キモノ也ト云リ、是心ヲ二ツニ分テ大願ヲ思オコシタル實ナル心ヲ道心ト名ヅケタリ、大願ノ邪魔ヲスル心ヲ人心ト名ヅケタリ、大願ノ心ハ兎角心ノ宅ニ居ラヌモノジヤ、微ニナリタガルモノジヤ、邪魔ノ心ハ兎角出デ働キタガルモノジヤ、危キモノジヤト云フコト也、是書經ニモ天王ト外道トヲ説ケリ、書經ノ言ヨク見バ、天王ノ木像ハ又ズツ巧ナルコトニテ、合點モユキヤスキモノ也、天王少シモ油斷ヲスレバ、直ニ外道ムツト首ヲアゲテ出タガル様子ヲ寫シタル處極々深切ナリ、大願ノ心少シ油斷ヲスレバ、ハヤ邪魔ノ心出デ、飲タヒ食タヒト首ヲ舉グル也、孔子ハ克己ト云リ、克己トハ己ニ勝ト云フコト也、己モ自分ノ心ナリ、勝心モ自分ノ心也、己トハ人心也、邪魔ノ心ナリ、外道也、勝トハ道心ナリ、天王也、大願ノ心也、是

孔子モ心ヲ二ツニ分ケヨト教ル也、スレバ孔子モ天王・外道ヲ語ラレタリ、孟子ハ志ハ氣ノ師也、氣ハ體ノ充也ト云リ、志ハ大願ノ心故大將ノ心也、氣ハ飲食シタキト云鄙シキ心ナレバ、是士卒ノ心也、是大將ノ心ヲ大事ニ、士卒ノ心ヲモムゴフアシラウガヨキ也ト云リ、是孟子モ天王・外道ヲ説ケリ、天王ノ外道ヲ蹈ミ殺サヌ處マデ孟子ハクワシフ云ヘリ、扱學問ノ始ハ兎角此天王ノ心弱キモノ故ニ、隨分心ヲ剛ク持ベシ、心デ甲冑ヲキタルヤンニシヤント持ベシ、心ヲ力士ノ心ノ様ニシツカリト持ベシ、彼邪魔ノ心ノ首ヲシツカリ蹈ヘテ、此心ノ働カヌヤフニシテ、扱モシ此邪魔心動カバ、己此戟デ突殺スガト云ヤウニスベシ、左レドモ朝夕此修行ヲスルコトナレバ、他人ヘモ應對シ用事モ足サネバナラヌ也、故ニ天王ノ如ク外道ヲバ足デ蹈ヘテ、面ヲバ向ヲ見テ外ノ處ヲ見テ、用事ヲ足スヤウニスベシト云コト也、四人天王ヲ分ケタルハ、心ノ制シヤウヲ色々ニ形ニアラハシタルモノ也、皆智慧ヲ形ニ作リタルモノニテ、所謂話ヲ書ニカキタル也、扱此天王ノ修行ヲ二月モ三月モスレバ、癖ニナルヨフニナリテ、自然ニ大願ノ心威光強クナリテ、邪魔ノ心勢ヨワクナルナリ、是ヲ天王ノ修行成就ト云也、是ヨリ菩薩ノ修行也、菩薩ノ修行モ天王ト同ジコトニテ、獅子モ我心也、菩薩モ我心也、邪魔ノ心ハナルホド猛獸ナリ、食タイ飲タイと思フ心猛ニテ、ヤ、モスレバ走り出スナリ、サレドモ天王ノ修行ニテ餘程靜ニナリタレバ、獅子眠テ居ル也、獅子眠テ居ルハ大ニ修行ノ出來タルナリ、此時ニ天王ノ如ク強ク剛クスルコト又アシ、此時ニ至テハ柔和ニフワリト東テ居ル也、左レドモ菩薩乘リテ

居ラネバ又走り出タガル也、此時ニ大願ノ心ケ様ナル柔和ノ心モチナルベシト云コト也、猛ナル心ノ形容ヲバ獅子ニ作り、大ニテ自由ニナラヌ形容ヲバ象ニ作りタル也、扱此修行成就スレバ如來ヲ修行スルコトナリ、雲中ニ居テ下ヲ見オロスハ、己ガ心ニテ己ヲ見ルコト出來ルト云木像也、己ヲ見ルコトハ又六ヶ敷也、他人ノ評判ハ出來ルモノナレドモ、己ガ評判ハ出來ニクキモノ也、己ガ心ヲ己ガ見ニクキユヘ也、左レドモ天王・菩薩ノ修行ニテ心ヲ二ツニ分ルコトヲ修行シ得タルユヘ、一ノ心ニテ一ノ心ヲ見ルコト出來ル也、唯見ル心ハイカニモ高カルベシ、見ラル、心ハイカニモ卑クカルベシ、左スレバ今日他人ニ對シテモ、上ハベハ至極卑ク出タル男ニテ、内心ハズツト高フナル也、上ハベ卑クナケレバ人ガ憎デ、善キ言葉己ガ耳ニ入ラズ、内心高ウナケレバ見識グズ／＼トシテ、一生涯他人ニ蹈レテ居ル也、智惠モ學術モ上ラヌ也、是ハ天王・外道ヨリ雲中如來マデ、皆日蓮上人ノ御心ヲクミ立ラレル目印シ也、此ヲ毎朝見ルホドナラバ、ドノヤフナル愚ナル男ニテモ智ニナル理ナリト云フコト也、鶴ガ考付タル也ト申タレバ、彼住持上人大ニ喜ビ、ソレニテ大分經文ニ濟メタル處有ト云リ、其後鶴又上州邊ニ遊テ、不動明王ノ碑ヲ立ル人有テ、文ヲ鶴ニ頼テ書テヤリタルコトアリ、此時ニ不動經ト云經文ヲ讀ンデミレバ、全ク鶴ガ考ニ違ナク經文ニアリ／＼ト智惠ヲ書テアル也、左レドモ修驗者ニモ聞タレドモ皆此コトヲ知ラズ、唯不動明王ト云御人アリテ、是ニ御頼申セバ自然ニ福來ル智出ルトノミ思テ居ル也、上州ニ又修驗ニ鶴ガ門ニ入テ文章ヲ學タル人アリ、此人ニ又彼ノ話ヲ

シテ聞セタルニ、此修驗モ大ニ喜ンデ始テ不動經ヲ解シタリト云リ、一體釋尊ノ教方ハ大ニ近道ニテ、儒者ノヤフニマハリ道ナルコトナクテ迷フコトナシ、儒者ノ教方モ古ハ宜シカリケレドモ、近來甚ワルシ、孔子ノ門人ヨリワルウナリ出シタルコトナレドモ、漢ノ始マデハヨカリシ也、書籍多クナルホド儒者ノスルコトフヘタル故、一生カ、リテモ手ガマハラヌ故ニ、トフ／＼眞ノ處ヘ手ガ届カヌ也、鶴按ズルニ、儒者モ親方働キヲスル人ハ格別ヨロシ、我邦ニテモ水戸ノ黃門公・新井筑後守ナドナリ、下ヲ働ク儒者ハ骨ヲ折ルモ、一向ニ眞ノ處ヲ見ズニ仕舞ナリ、字ヲ吟味シタリ書物ヲ見テモ、本文ヲ見ズニ註疏ヲ見タリ、近年ノヤスキ儒者ノ著述ヲ見テ批判ヲシタリ、他人ノ行儀ノヨシアシヲ評シタリスルハムダ骨折ナリ、暇ツブシ下タ働ヲスルナリ、鶴ノシツタル友ノ家ニ新參ノ飯タキ男ヲカ、ヘタルコトアリ、彼飯タキ男ハ今迄ノ芝居ニ勤テ居タレドモ、芝居モイソガシウテ骨折レルナリト云テ、芝居ヲバ暇ヲトリテ此男ノ家ヘ奉公ニ來レリ、扱奉公ニ來ルト其次ノ日二三日御暇ヲ下サルベシト云、主人何ノ用ナリヤト問、此男申セシハ、私ハ未ダ芝居ヲ見タルコトナキ故、何卒芝居ヲ見ント存ル也ト云、主人大ニ怪ミ、其方ハ今迄芝居ニ勤メタル由ヲ申セシガンレハウソジヤト問、此男申ハ、芝居ニハ居リタレドモ、樂屋ノ風爐ヲタク奉公ニテ、朝芝居ノ始ラス以前ヨリ風爐ヲタキ出シテ、芝居ノスミニモ又々ヤハリタキテ居ルコトニテ、役者モ幕引モ馬ノ後足モ風爐ヘ入テ歸宅シテ、其後ニ始テ暇ニナルコト故ニ、遂ニ芝居ハ見タルコトナシ、餘リ芝居ガ見タサニ暇ヲ取リタルナリト云タリ



トテ、此友人大ニ笑フテ物語セシ也、近來ノ儒者モ風爐タキ也、儒者ヲ止タラバ始テ見ニ行クコトナルベシ、何事ニヨラズ大目キカネバ何事モ論ゼラレヌ、大目トハ一體ヲ見ルコト也、一體ヲ見留レバ何事ニモ迷ハヌ也、迷フトハ理デモナキコトニ心ヲ勞スル也、寒中ニ人來テ云ンニ、唯今水仙ノ花ノ路バタニサキタルヲ見テ參リタリト云ハバ、是ニ欺カレヌモノハナルベカラズ、唯今桃ノ花ノ路バタニサキタルヲ見テ參リタリト云ハバ、虛言ナルベシ、理ノアルコトハダマサル、ガヨキ也、疑ハシキコトハ疑ガヨキ也、理ノ無キコトハ信ゼヌガヨキ也、宋ノ儒者ヲニクム人ハ理外ト云フコトヲ云フ、是唯喧嘩ヲスルノミニテ、一向ニ人ノ爲ニモ己ノ爲ニモナラヌコト也、理外ト云フコトアルハツナシ、理外アリテハ理ト云フ者ニアラズ、外ノナキヲ理ト云也、天地ノ間ノコトハ皆理也、皆理中也、理外ナシ、畢竟理外ト云フハ、理ノ推シヤウノ足ラヌ故ニ、理外ノヤフニ見ユル也、理外ノヤフニ見ユルガヤハリ理中也、理ノ足ラヌニテ理ノ方ニハ外ナキ也、理ヲ推サヌ故也、理ヲ推サヌ儒者ハ別テ六ヶ數シ、凡ソ理ヲ厭フ人ハ何事ニヨラズ、相談ハ出來ヌ也、既ニ理ヲ厭フ上カラハ、何ヲ言テ聞カセテモ合點ノユカウヤウナシ、理ヲイヤガル人ハ人ノ部ヘ入ラズ、人外ノ人也、今人ノ生キテ居ルハ理也、步メバ至ル、歩マネバ至ラヌハ理也、食ヘバ飢エズ、衣ネバ寒キハ理也、人ヲ殺セバ己モ殺サルハ理也、善ヲ爲セバ福ノ來ハ理也、此理ヲ厭フテ何ニテ天下國家ノ政出來ヤウゾ、何ニテ己ガ身ノ天年ヲ保タウゾ、故ニ書ヲ一向ニ讀ヌ人ノ理ノ好キナル人ガ、古ノ學者ニ當ル也、書ヲ丁寧ニ註疏マ

デ讀デ理ヲ厭フ人ハ、古ノ學者ニハ一向當ラヌ也、先孔子ノ時分ハ書モ至テ少シ、三部カ四部トミヘ、唯理ヲ考フルコト業也、故ニ今ノ人モ書ヲ讀マズニ理ヲ好ムノ人ハ、古ノ學者ニ當ルト云也、京ノ堺町四條下ル處ニ中神宇内ト云醫者アリ、昔ハ江州膳所ノ産ニテ、若キ時ヨリ豪傑ナリ、書ヲ讀マヌ人也、唯理ニカシコキ人也、當時ハ醫大ニ行ハレテ四方ヨリ諸生集ル、先生カブノ人也、此男駕籠ニ乗テ稻荷ノ御旅ノ邊ヲ通ル、此稻荷御旅ハ東寺ノ東ノ方ニテ、京ノ下ノハヅレナリ、醫者ノ家ヘモ遠キ處ナリ、扱轎ノ後ヨリ轎ノ者ヲ呼人アリ、云ク中神宇内カト云、彼ノ男大ニ悦ビ、病人ニテ唯今御迎ニ參ル處ナリ、先急ニ御覽下サルベシト云、宇内急スグニ右ノ男ニ案内サセテ家ノ中ニ入ル、祈禱ヲスル神子ト云フモノ京師ニアリ、女子ニテ山伏士ノヤフナルモノ也、何カ最中經ヲ讀デ祈禱シテ居ル也、宇内其間ニ入テ見ルニ、病人立上リ大ニ怨ヲ言テ、唯今取殺ナリト云フテ躍リ上テ怒リサワグ也、神子大ニ祈レルウチ少シ靜ニナリテ、病人坐シテ怨言ヲ云テ居ル、神子モ暫ク休息シテ中神ヲ見テ云ヤフハ、先生ハ御醫者ト見ヘ申ガ、此病人ハ藥デ快ヨウナル病人ニテハナシ、醫者ノアヅカラヌ病人也、御祈禱デナケレバ癒ヘヌ也、只今御祈禱ノ功德ニ因テ靜リタルハ生靈也、御經ノ難レ有サニ理ニ伏シテ立去ラントスル也、理ニテ攻メネバ立除ズ、藥デ立退クハ病也、生靈ハ理ニ攻メネバ立除ズ、御太儀ナガラ御歸リナサレイト云、中神云フ、成程御經ハ理ヲ説タルモノ也、理デ攻ルコト宜シカルベシ、左レドモ一體生靈此人ニ取付ベキ理ガナケレドモ、無理ニ取付タルガ如シ、取付ベキ理アリテ取付タ

ルナラバ、其人ニ理ヲ聞カセタルナラバ、猶々取付クコト甚シクナルコトナルベシ、又知シ取付ク理ガ無ニ取付タラバ、此生靈ハ理ニカマワヌ生靈ト見ヘタリ、理ヲカマワヌ生靈ニ理ヲ云ヒ聞セタレバトテ、何ノ益モナキコト也ト云リ、神子云ヤウハ、成程先生ノ御論尤モ千萬也、扱尤ナレドモ生靈ニチガヒナシ、既ニ病人ニ怨言ヲ言フコト皆生靈ノ言ハシムルコト也、今ハ此人ハ此人ニアラズ、生靈ニ取付タル人ノ身也、取付理ガ有テモ無テモ、取付バシカタナシト云フモノ也、ヒタスラ祈ルヨリ外ニ仕方ハナキ也、論ハ尤ニテモ益モナキ論也、又藥ニテナホラバナホシテ御覽ナサレト云、中神云ヤウ、生靈ナラバ藥ニテナホルマジキカモ知ヌ也、此病人ハ生靈ニテハナシ、一體生靈ト云フモノハ決テ無キコト也、生靈ノナキ證據ヲ申ベシ、昔曾我ノ祐成。時致ハ父ノ敵ヲ討ントテ種々ニ身ヲ苦シメ、一命ニカケテ父ノ鬱憤ヲハラサントシタレドモ、數年ノ間兎角敵ヲ討コト叶ハヌ、如シ生靈ト云フモノ有バ、兄弟共ニ工藤祐經ニ取付ガ甚早キ手廻シ也、近年大石内藏介ハ四十七人共ニ命ヲ抛チ吉良ヲネラヘドモ、年月ヲ經ルマデ討レズ、如シ生靈ト云モノ有バ、ナゼニ生靈ニナリテ取付ヌゾ、世ノ中ニハ父ノ敵ヲ討ニ出デ、反リ討ニ逢人又世ニ少カラズ、彼等ハナゼニ生靈ニ取付カイデ徒ニ敵ニ反テウタレタルゾ、何ト生靈ト云モノハアルマイカト云、神子大ニ困リテ成程左様ニ承レバ生靈ハナキハズ也ト云、病人床ノ上ニ手ヲクミテ大ニ考ヘ困リタル體也、中神又病人ニ向ヒ、病人生靈ハアルマイカト云フ、病人手ヲツキテアヤマリタル面也、成程ゴザリマセヌト云フ、病人不思議ナル面體也、中



神云、其方ノ病氣ハ生靈カト云、病人對テ生靈ニテハナシト云、中神ヤガテマチン蠶木鼈子ヲ煎ジテ、茶碗ニ盛テ無理ニ飲マシム、マチン腹中ニ入ト倒レテ狐ハ立去リ、一體狐ノツキタル病人ニテアリシ也、マチンハ獸ニハ至デキビシク中ルモノナレドモ、人ニハ何事モナキモノ、由、是理ノ強キ男故ニ中神ハ迷ハヌ也、凡天地ノ間ハ皆理ナレバ、唯何ヲ見テモ皆理也、書ヲ見レバ理ガ知レヌト云フハナキコト也、書ヲ見テモ理ノウトキ男ハヤハリ愚也、書ヲ見ヌ人ニテモ理ニカシコキ男ハヤハリ智也、唯智ト愚トハ理ノ早キト遅キト也、畢竟ハ理ノツマリタル方ハオチツカデハ、片付カヌモノナレバ、早ク理ヲ見テ落ツキテ居ル人デナケレバ、人ノ上ニ立コトナラズ、人ノ上ニ立テモ理遅ケレバ、下ニアル理ノ早キ男ニ制セラル、也ト思ベシ、天下ノ人ハ皆天ヨリ生ヲ受テ居人故ニ、人ハ人ノ自由ニハナラヌ也、理ノ自由ニナルコト也、人ハ人ヲ制スルコトナラズ、理ハヨク人ヲ制スル也、此ヨク人ヲ制スル理ヲ早ク取人ハ、人ノ上ニ立ツ人也、遅ク取ル人ハ人ノ下ニ立人也ト知ベシ、是天命也、モシ天命ニ違テ人ノ下ニ立ベキ人ガ人ノ上ニ立テバ、天理ノ罰ヲ蒙ル理也、恐ルベキコトニテハナシヤ、凡ヤハラカニ幕ノ上ニ坐スルホドノ位ノ人ハ、精神ハ半睡ヲ帶ブルコト宜シキ也ト古人申セリ、是ハ事ニアタリ物ニ逢フテ、キリノ判斷スル役ノ人ナレバ、心ヲ丹田ニ收メテサワガヌヤウニセイト云コト也、心胸ニアレバ心サワギテ落着ガタキ也、落着ネバ理ヲ取リソコナフ也、理ハ天地ヲハヘヌキモノナレバ、目ニフル、モノ耳ニフル、モノニ皆アルコト也、唯心サワガシキ故ニ理クラム也ト云フ也、



釋迦如來ノ木像ハ目ヲ半分睡リテ居ルヤフ也、アレハ精神半睡ヲ帶ブル智恵ヲ盡ニカキタル也、故ニ智者ノ爲タルコト、アトニテ聞ケバドウカデキニ出來ソウナルコトノヤウニ見ユレドモ、其場ニ臨メバ又工夫ツカヌハ全く心サワガシキ故也、常憲院様ノ御代ニ伊豆ノ國ヨリ大船ヲ御取寄セラレテ、出來ノ上品川ノ沖ヘカケサセテ、諸侯方ヘ拜見ヲ仰セ付ラレタルコトアリ、備前ハ新太郎少將ノ時也、此少將ハ大將ノ器量アル人ニテ、此時モ考タルコトアリ、先出門ノトキ玄關ノ敷出シヘ輿ヲツケサセ、扱少將輿ニ乗ラル、時ニ敷出ノ上ヘ立、暫ク四方ヲネメマハシ、其後ニ腰ヨリ扇子ヲ取出シテ開キ、其扇子ヲ差上ゲ又暫ク四方ヲネメマハサル、供ノ者ハ玄關前ノ白洲ニ殘ラズツクバヒ居リタレドモ、輿ハアガラヌ故少將殿ノ様子ヲ見レバ、右ノ扇ヲ差上ゲテヒラリ／＼ト五遍モ六遍モフリマハサル、扇子ハ常ノ扇子グラキノモノナレドモ、扇子ノ正中ニ日ノ光ヲ大キク畫キテ朱ノ色甚赤シ、供ノ者殘ラズ是ヲ怪キコト、思ヒ見内ニ、少將此扇ヲタ、ミ腰ヘヨクサシ込、扱例ノ通りニ輿ニ乗リテ高輪ニ行ケリ、高輪ハ公儀ヨリ御馳走ノハシケ船數艘出デ、並テ待居タリ、諸侯皆々高輪ノ海濱ニテ下乗シテ、我モ／＼トハシケ船ニ乗テ、彼ノ伊豆ヨリ來レル新造ノ大船ニ乗り移ラル、少將モ右ノ如ク大船ニ乗リテ拜見終バ、歸ニハ皆一ト群ニナリテ歸ラル、コトニテ、ハシケ船モ多クコギ並デ又前ノ高輪ノ海濱ヘノボル、扱諸侯一度ニ岸ニ上ラレルコト故ニ、大ニ群集シテ旦那家來ヲサガシ、家來ハ旦那ヲサガス、上ヲ下ヘト揉合、諸侯ハテン／＼ニ何ノ守ノ家來參レト呼ブ、呼ベドモ急ニハ集ラズ大ニ亂合フ、

扱備前少將ハ随分コミ合中ニ立テ右ノ扇ヲ差上テ居ラル、少將殿ノ供バカリ直ニ集リテ第一番ニ歸  
ラレシトテ、家父物語リセリ、ケ様ニ理ノ早キ人ハ豫テ事ノ始終ヲ計リテ、チャント備テ置クコト故  
ニ、人ノト<sup>ホ</sup>メク時ニ一向ニサワガヌ也、凡ソトチメキテサワグハ智者ノスルコトニ非ズ、理ニ早キ  
人ハ皆其以前ニチャント支度ヲシテ置コト也、チャント支度出來テ居ラネバ人ノ上ニハ居ラレズ、重  
役ハ勤<sup>マ</sup>ラヌ也、下役ノ面々ハ上役ノ差圖ヲ受クル、上役ノ人ハ下役ノ人ヘ差圖ヲセネバナラヌ故、  
別シテ天理早クナケレバナラヌ也、マダ來ヌ前ニ用心セネバナラヌ也、扱備前少將ヨリハ又水戸ノ黃門  
公ハ、マダ<sup>／＼</sup>ズツト早フズツト深ウ思接ヲナサレタル御人ナリ、左ニ黃門公ノ話ヲ一ツ記スベシ、  
此話ハ鶴ガ祖父ノ友達ニ黃門公ノ御近邊ヲ勤メタル人有テ、其人鶴ガ祖父ニ話セシ由鶴ガ亡父ノ話  
也、此御近習其時御給仕ヲ勤メタル由ナレバ、實際ナレドモ苟且ニモ御政ニカ、リタル話ナレバ、書  
付ベキ話ニアラヌ故ニ文章ニモ綴ラレズ、此秘話ノ中ニ述ル也、常憲院様日々ノ様ニ柳澤侯ノ邸ヘ御  
成ノ内モ、今ノヤフニキビシキコトニアラズト見ヘタリ、古老ノ語リシハ、凡ソ御成ノ節人バラヒト云  
コトハ後ノコトニテ嚴有院様ノ時マデハ御成ガ、リノ人拂ナシト云コト也、左スレバ今ノ御三家御兩  
卿様ノ御通リノ如クナルコト、見ヘタリ、常憲院様ノ時ニハ全ク通御ノ節人拂ト見ヘタリ、左レドモ  
御成場所ノ近邊モ往來ハカマハヌコト、見ヘタリ、柳澤侯ノ邸ハ今ノ小笠原小倉侯・酒井庄内侯・越前  
福井侯ノ邸皆一ニシテ廣キ屋敷ニテアリシト申傳フ、扱柳澤侯ノ御成相濟ト一度ニ馬ニ乘リ、深編笠

ヲカムリタル人、還御マデ柳澤侯ノ屋敷ヲクルリ／＼ト何遍／＼モメグリテ、還御スメバ何方ヘカ立去ル、御役人此事ヲ聞テ人ニ申付、笠ノ内ヲ見セタレバ黃門公デアリシヨシ也、黃門公極テ内々御忍ナサルニアラズ、御カクレナサルニアラズ、唯黃門公クルリ／＼廻リテアラセラル、ト云コトヲ、人ニ御見セナサレタル也ト古老云リ、此話アレバ鶴ガ聞タル話モ能符合スル也、一體ニ黃門公學問才氣共ニ達セラレタル御人ナレバ、其節ノ大名ニハ一人モ水戸侯ヘ參ラヌ人ハ無リシナリ、扨殘ラズ御懇意ヲ蒙リテ、折々御酒ナド下サレテ御遊ナサル、コト也、既ニ水道橋御屋敷ニ牛込御門ニヨリシ方ニ、樹木澤山アル御園ノ由、後樂園ト云名高キ御庭ノ御茶屋也、當憲院様日々柳澤ニ御成アルコロ、一日黃門公諸大名ヲ殘ラズ御招ナサレタルトアリ、是モ珍ラシキコトニモ非ラズ、諸大名モ何心ナク參上セリ、時節ハイツゴロニテ有シヤヲ知ラズ、三四月ノ比ナラ大名ノ數モ多カルベシ、凡諸大名ハ兩側アリ、隔年ニ參府スル故ニ片側宛在府スル也、凡交代場所ハ場所ニテ交代スル故ニ、江戸ニ居ル日數少キ也、江戸ヨリ御暇出デ、扨各ノ交代場ヘ着ノ上、各國ノ大名ハ江戸ニテ交代スル故ニ、三五六ノ月ハ江戸ニ大名多シ、扨諸大名小石川ノ後樂園ヘ殘ラズ集リタルトキ、黃門公御出座アリテ、先今日ハヨウコソ御扨駕下サレテ辱キヨシヲ演ゼラレテ、其後ニ仰セラル、扨今日御招申タルコトハ別段ニ各ニ御頼ミ申タキ仔細アルコト故、此御頼ミ申仔細譬ヘ如何様六ヶ敷コトニモアレ、拙者御頼ミ中コトナレバ、扨テ御承知ヲ蒙リタキコト也、先此御返答ヲ承リテ後ニ御咄申ベシ、如何ントア



ルベキヤト仰セラル、諸大名ハ度々黄門公へ出デ、種々ノ御遊アルナレバ、又今日モ何カ面白キ御工夫アルカト見ヘタリト存皆一同ニ御答申、タトヘドノヤウナルコトアリトモ御頼ミトアリテハ、誰カ承知仕ラヌ人アルベキヤ、其仔細承リタキ也ト云、黄門公重テ仰セラル、ハ、今日ハ別段ニ改テ御頼申コト有バ、ヨク／＼御思惟アリテ急度御返答承リタシ、又殘ラズ御承知下サル、コトヤ御一統急度御承知下サラバ申出スベシト再三仰ラル、諸大名モ再三譬ヒドノヤウナルコトナリトモ承知仕ベシト云、其後黄門公仰セラル、ハ、千萬辱キ仕合也、左レバドノヤウナルコトニテモ拙者御頼申コトナレバ御承知アル上カラハ右ノ仔細御語り申ベシトテ、御小姓ヲ召サレテ、豫テ申付置タル箱ヲ唯今はへ持出スベシト仰付ラル、御小姓即箱ヲ一ツ座ノ眞中へ差出ス、黄門公仰セラル、ハ、扱御頼ミ申事ハ此箱也、御披見ノ上御上席ヨリ御頼ニト仰ラル、諸大名右ノ箱ヘスリヨリテ見レバ、何トモ知ルベカラズ、三尺四方ホドノ蠟色ニヌリタル箱也、黄門公ハ唯御上席ヨリ御頼ニト仰ラレ、上席ノ大名右ノ箱蓋ヲアクレバ、又中ニ白木ノ箱アリ、金ニテ大ナル御紋ノ付タル箱ナリ、又其箱ノ蓋ヲアクレバ、又其中ニ眞ノ蠟色ノ箱ニ御紋付タル箱アリ、扱上席ノ大名右ノ箱蓋ヲアクル、諸大名一同ニ見レバ連判帳ト表書ヲシテ立派ナル帳面アリ、諸大名先驚キ左右ヨリ見廻ス、黄門公仰セラル、ハ、扱最初ヨリ御頼ミ申コトトハ此事也、譬ヒドノヤウナルコトニテモ、拙者御頼ミ申コトナレバ御承知下サルハツナレバ、御上席カラ御頼ニト仰ラル、諸大名暫ク面ト面ヲ見合テ居ル、黄門公又仰セラル、ハ、其故



ニ最初ヨリ何遍／＼モトクト御思惟ノ上御答承リタキヨシ申タレドモ、各御承知ノ上ナレバコソ差出ス所也、早々御上席ヨリ御順ニト仰ラル、上席ノ大名各モ御承知ニテアルヤト申ヤ、一統皆承知仕タリト申ス、上席ノ大名黃門公ニ向ヒ一統皆承知仕リ候ト申ス、黃門公大ニ御悅ニテ千萬辱コト也、イザ御上席ヨリ御順ニト仰セラル、上席ノ大名今更何トモ申サレズ、先右帳ノ上紙ヲハネテ見バ、帳ニテハナシ、帳ノ様ニシタル箱ナリ、其箱ノ中ニ七合入ノ大杯一ツ入テアリ、諸大名又一統ニ面ト面トヲ見合セテツツ笑フ、黃門公仰セラル、ハ、扱先刻ヨリ拙者御頼ノコトナラバ、ドノヤウナル六ヶ敷コトナリトモ御承知ト申御約束ナレバ、御上席ヨリ御順ニ三ツ宛飲ミ玉フベシト仰セラレテ、其日ハ右ノ大杯ニテ御酒宴始リテ、種々珍肴取揃テ各御馳走ニナリテ大醉ニテ歸ラレシヨシ、此御給仕御小姓名ハ知ラズ、鶴ガ祖父ニ咄セシヲ亡父ノ咄ニテ承リタルコト也、是ハ此節ノコトナレバ、異存ノ大名モアルカト、諸侯ノ心ヲ引御覽ナサレタルナルベシ、此様ナルコトハ皆論語ニモ孟子ニモ無キコト也、扱百年書ヲ見テモ、活智無レバ取廻セヌ智也、此智ヲ取廻スコト儒者ノ持前也、然ニ後ノ儒者ハ論語・孟子ニ有ル通リノ語ヲ有通ニ言フバカリ覺テ、ソレガ學問ジャト思テ居ル也、黃門公・新太郎少將ナドノナサレタル所コソ、論語・孟子ニモ有ベシ、後ノ儒者ノ云所ハ、此儒者ニ云テモラヒデモ、論・孟ニアレバ別ニ不思議ノ智モナキコト也、凡智無者ハ智有人ニ使ハル、コト天理也、後ノ儒者ハ人ニ使ハレベキハヅノ人物也、人ヲ使フベキハヅノ人物ニアラズ、サレドモ儒者ハ第一ニ人君ニ教

テ人ヲ使フ術ヲ傳フル役目也、扱天下或ハ國ノ政ヲ取役人ニ政ヲ取廻シヤフヲ教フル役目也、人ニ使ハレベキハヅノ人物ニテハ、儒者ノ甲斐ハ無コト也、鶴ガ日本橋ノ檜物町ト云處ニ學寮ヲ作テ居タルトキニ、數寄屋町ト云處ニ請負人ノ松田貫二ト云モノアリ、此請負人ト云ハ先大工ノ棟梁ノヤフナルモノ也、今ハ此ヤウナル人物ナシ、昔ハ江戸ニハ多ク有テ、請負人頭ト云フモノニナレバ、大ニ立派ナル幕シ方也、何モ家内十人餘アリ、彼松田杯ハ頭ヨリ場所ヲ渡ニハ、場所ニ出テ彼是智ヲ振テ餘分ノ黃金ヲ得ルコトナレドモ、場所ナキトキハ金ヲ得ルコトナシ、故ニ驕リテハ居レドモ、家來モ使ハズ、家モ小サキ家ニ住テ、女房飯ヲタキテ濟ス也、故ニ女房ヲ娶ルトキモ、男女ナド使フ人ハ娘ヲクレヌ也、隨分輕キ人ノ娘ヲモロフ、左レドモ職ガ職ナレバ決シテ綿服ナドハ着セズ、夫婦共ニ常ニ絹衣類ニテ、毎夜酒宴ナドシテ遊暮ス也、又遊暮デナケレバ勤ラヌ職分也、出入ノ屋敷ヘ出レバ、普請奉行杯膝ヲツキ並テ談ズル事故、芝居・角力・凡遊處遊山ノコトナドヲ能トリマハシテ談ズルコト職分也、故ニ驕ト云コトニテモナケレドモ平生美食也、此松田ガ女房其節ハ三十バカリニシテ、極々ノブキヨウモノ也、手モ至テキヨウニナキ生レツキニテ大無器用モノ也、亭主ハ勿論ノ驕モノナレバ、女房仕立クル衣類ハ着用セズ、仕立屋ノコシラヘタルモノデナケレバ着ヌ也、女房朝飯ヲコシラヘテ亭主ニクハセサヘスレバ何モ用ナキユヘニ、三味線ノ稽古ヲ始テ近所ノ按摩法師ヲ呼ヨセテ稽古ヲスル也、凡ソ岡崎岡崎女郎衆ハ、ヨイ女郎衆云々ハ其節ノ流行童謡ナリヲ二ヶ月ホドカ、リテ習ドモイマダ覺ヘキラヌ也、五ヶ月ホドカ、

リテヤフ／＼ニ岡崎女郎衆ト云所マデ修シ得テ、朝飯後ヨリ三絃ヲ彈ク、其隣家ノ女房ハ亭主ハ屋根  
フキニテ日々カセギアリク、子供モ大勢アリテ、女房モ綿服ニテ水マデモ自身ニ汲ム也、平生松田ノ  
處ヘ來テ、彼不器用ノ女房ノ竈向ノ手傳ヲスル故ニ、夜分ナドハ來テ三味線ナドイデリマハシテ、遂  
ニヒキナラシテ能彈也、此女房ハカヒ／＼シキ女故、何ノ苦モナウ習モセヌ三絃ヲ、色々ノ流行歌ナ  
ドヲ彈、彼按摩法師ノ來リタル時分ニハ、此手ハ是レニテヨキヤ、此所ハケ様ニテヨキヤト問、彼法  
師大ニ感心シテ、稽古シテモ六ヶ敷モノハ三絃ナリ、器用ナル人ハ毎ニ稽古モセズニ立派ニ彈ル、コ  
ト也ト云、彼不器用女房一向ニ感服セズ、隣家ノ女房ニ向ヒテ云ケルハ、成程オマイハ器用ナル生レ  
ツキ也、流行歌ヲヒクコトノ出來ルハ器用ノコト也、左レドモ岡崎ハヒキタルコトナシ、岡崎ヲバ修  
シ得ラレタルヤト云、隣家ノ女房岡崎ハヒキタルコトナシ、然ドモ歌ノヒカレル程ノ腕前ナレバ、ヒ  
ケスト云コトハナケレドモ、遂ニヒキタルコトハナキ故ニ修シ得ヌ也ト云フ、不器用女中セシハ、岡  
崎彈ネバ何ノ用ニタ、ヌ也、先ワレラニ岡崎ヲ習ヒ玉フベシ、岡崎ヲ修シ得テ後ニ流行歌ヲ彈玉フベ  
シ、其三絃ヲ此方ヘヨコシ玉ヘトテ、三絃ヲ取上ゲ、扱彼不器用女房岡崎ヲ女郎衆ト云マデ彈テ、其ヨ  
リ先ハ彈ケヌ也、鶴已ニ此事ヲ目ニ見テ耳ニ聞ク也、因テ思フニ、此不器用女房ノ論一向ニ寸法ニア  
ハヌコト也、岡崎ハ流行歌ヲ自由ニヒカンガ爲ニナロフ也、流行歌既ニヒケレバ岡崎ハ彈カイデモヨ  
キコト也、又流行歌彈ケル程ナラバ、岡崎ハヒケイデモカマワヌコト也、後ノ儒者ノ云處ヲ聞ケバ此

不器用女ニ少シモチガフコトナシ、論孟ハ岡崎ナリ、時世ニ合テ流行ニ後レヌヤフニ、政ノ世話ヲヤクハ流行歌ヲヒク也、元流行ノ世ニ合スル政ヲ覺ル爲ノ論・孟也、政ノ世話ヲヤクコトサヘ出來レバ、論・孟ハ讀ミテモヨシ、又是非ニ讀ルコト也、論・孟ヲ讀マス人政ヲ秉レバ、儒者必此人ニ對シテ云、政ヲ秉テ政ノ流行ニ合テ經濟ヲナサバ器用ノ事也、サレドモ論・孟ハ讀マスカ、論・孟讀マネバ經濟成リテモ何ノ用ニモタ、ヌコト也、政ヲ先オイテ拙者ニ論・孟ヲ習ハレヨト云フテ、論・孟ノ講釋、注ノ註、疏ノ疏ヲ引出シ、本文讀ンデモ註ガ讀ネバ何ノ用ニタ、ヌ也、註ガ讀テモ疏ガ讀メネバ何ノ用ニタ、ヌ也、字ヲ知ネバ、音ヲ知ラネバ、古字ハケ様、古音ハケ様ト云テ、此岡崎ノ講釋ニ一生力カリテモ濟ズ、甚キ男ハ註ノ内ニ年ヨリテ註デシマン也、又甚キ男ハ疏ノ内ニ死ス、古昔古字ヲ一生ノ事業也トテ死スルコト、儒者十分ハ八九ケ様也、可笑シキコトノ最上ナラズヤ、政ヲ秉ル人モ此論ヲ聞テモ、ソレコソ何ノ用ニモ立ヌコトナレバ、儒者ニハコリ／＼シテ、儒者ホド用ニ立ヌモノハ無ト思也、儒者モ己ガ飢ズ凍ヘズ生テ居ハ何故ゾト云コトヲ知ラズ、政ヲ秉ル人ニイヤガラレテ、政ヘハノゾカセイデモ、儒者何モ思ハズ、暖ニ衣飽マデ食テ恥辱トモ思ハヌ、喰ツブシトモ氣ガツカイデ、犬馬ト共ニ斃レテ死スル也、畢竟ハ不器用ニテ何十年カ、リテモ、岡崎ヲ一ツ覺ユルコトナラヌ故也、唯不器用モノハ妬心ツヨキモノ故、隣家ノ女房ノ彈テ居ル三絃ヲ取アゲテ、岡崎ヲヒクコトナラズ、流行歌ヲヒクハアシキコト也、ナラヌコト也トテ邪魔ヲ入ル、彼不器用女房モ、不器用學者モ何モカ



ハリタルコトナシト知ルベシ、妬ノ行ハル、ハ理ノ顯ハレヌ故也、理ノ顯ハル、モノハ、今日ニ至リ  
テモ妬行ハレズ、角力將碁杯ノ類ハ理ノ顯ハレタル者也、人ノ目ヲクラマスコトナラヌモノ也、故ニ  
力次第ニテ評判キハマル心カタチナラデハ位ヲトルコトナラズ、其上勝敗ハ見テ居ルウチニ決スル  
也、勝敗見テ居ルウチニ決スル故ニ、コトノ論ズルニ及バズ、政ノ善否ハ何年モノ過ギテ後ニ見  
ユルモノナレバ、コトノ論絶エズ、其上ニ理ヲ取りノケテ徒ニ論ズル也、是稗ナシニ輕重ヲ論ジ、  
指ナシニ長短ヲ論ズル也、不智ノ最上ナルベシ、後ノ儒者世ノ古今ニカマハズ、風土ノ文質ニカマハ  
ズ、國ノ大小ニカマワズ、道ノ王霸ニカマハズ、民ノ智愚ニカマハズ、唯ヤタラニ孟子ノ云ヤフニ、  
井田ヲ始メ、孝悌ヲ教ヘ、庠序ヲ立テ、天地ヲ祭ルハ自然ニ國家治ルト云、政ヲ秉ル人モ此言ヲ聞テム  
マキモノナレバ、自然ニ國家ノ治ル仕方ヲセント思トモ、第一ニ空ナルモノ也、如此井田・庠序・祭  
祀ヲシテ、モシ治ラヌ時ニ最早取テ返ラヌコト也、碁將碁ノ如ニチキニ言コトニ善否見ヘヌモノ故、空  
ナルコトヲセンヨリハ、實ニ見ヘタルコトヲスルガ善シト云テ止ニスル也、止ニスレドモ是ガアシキ  
證據也ト云證據ナシ、證據ヲトリテ儒者ヲ云ヒコメヌ故ニ、儒者モ亦アヤマリ證文ヲ出サヌ也、稗ナシ  
ニ是ハ十匁ナリト云人ト、秤ナシニ是ハ十匁ハゴザラヌト云人ト喧嘩スル也、成程十匁ナキヤフナレ  
ドモ、ナキト云フ證據ナキ也、譬ヘバ南無阿彌陀佛ヲ百遍云ヒテ、急流ヘ飛込メバ自然ニ流レヌ、昔  
何トヤラム云フ出家如レ此念佛ヲ百遍唱テ急流ニ飛込シニ、何ノコトモナク川下マデ樂々ト行タリ、故

ニ水練ヲ習ニ及バヌ也、念佛ガヨキ也、是ニテ御飛込ミナサレイト云ト同キコト也、先第一空ナルモノ也、ヒヨツト死バアホフラシキモノ故、誰モ飛込マヌ也、左レドモ飛込デモ急度浮バヌト云證據ヲ云ハネバ、此ヤウナアホウラシキコトヲ云人ヲ云込メルコトナラヌ故、又唯ムダ喧嘩也、左レバ理ヲ稽古スルコト甚早シ、理ト云フコトハ書ヲ讀デ始テ會得スルモノニハ非ズ、書ヲ讀ヌ方ガ反テ早キ也、如何トナレバ、書ヲ讀ムニハ彼註疏・音義ニカ、リテ餘程月日ヲ費ス、左ナケレバ義理ノ義ヘユカヌ故ニ、書ヲ止メテ生キタル世界ヲトラヘテ、ギリ／＼ト推テ見ルホド早キコトナシ、急流ヘ飛込デ自然ニ浮ブ理有バ是丈夫ナルモノ也、飛込デモヨカルベシ、自然ニ浮ル理ナケレバ是僞也、ラチモナキ戲言也、欺ルコト愚ナルコト也、井田ニシテ自然ニ治ル理アレバ隨分大丈夫也、井田ニシテモ治ル理ナケレバ是僞也、ラチモナキ戲言也、欺ルコト愚ナルコト也、左レバ此儒者人ヲ欺テ樂ムカト云ヘバ左ニアラズ、儒者智ナキ故ニ一心ニ自然ニ治ルト思フテ居也、凡ソ自然ト云コトラカシキコト也、自然トハ理ノコト也、理コソ自然也、今ノ儒者ハ理ヲ厭フテ、理外ト云フコトヲ云、天地ノ間ニ理外ナシ、理外アリテハ理ニ非ズ、凡理外ト云男ハ理ヲ推シ窮メヌ男ノ云コト也、天地ヲ始皆盡ク理也、理ノ外アロフハヅナシ、理ヲ推スコトイマダシキ故、理ノ外アルヤウニ見ユル也、畢竟ハ理ハ外ナキモノ也、今ノ人理ノナキニ出來ルコトヲ自然トサトツテ居ハ、ヲカシキコトニアラズヤ、勤テ居バ自然ニ福來ルトハ理也、勤メ成就セヌコトナシ、故ニ自然ニ福來ルト云、タトヘバ今日勤テ今日福來ライ

デモ、明日ハ來ルカ、來年ハ是非勤メタル丈ノ福來ル、是理也ト云フコト也、是理外ト云フコトニハ非ズ、理ハ如何シタルモノナルベキヤ、孟子ニ久シク假リテ返サズ、是己ガ有ナリト云ヘリ、今日モ先心ニナキ善ヲナシ、明日モ亦心ニナキ善ヲ爲ル、心ニテハ無ケレドモ、爲ルコト善ナレバ、ヤハリ善人也ト云コト也、理ト云者ハ六ヶ敷モノニ非ズ、鶴幼少ノトキニ桂川甫周ト云フ御醫師ト兄弟同前ニ育タリ、此甫周ノ祖父甫筑ト云フ人ヨリ甫三ト云人、凡三代ノ内鶴別懇也、甫周ハ鶴ガ父ノ門人也、鶴ヨリハ年ノ一ツモ多シ、大才子也、鶴十六七ノ時ニハ桂川ニ居タリ、扱或日甫周ノ鶴ニ目貫ヲ一ツ見セラレタリ、甫周イハル、ニハ、是ハ秋元但馬殿ノ細工也、大名人也、此目貫祐乘ニ極リテ、後藤光孝ヨリ極札出セリト云、鶴ニハ一向ニ合點ユカズ、鶴申セシハ左スレバ光孝存ゼズニ極メ札出セシ也ト云、甫周云ハル、ハ、イヤ／＼隨分知テ居也、秋元ヨリツカハシタルコトナレド、光孝知イデ如何センヤ、隨分知テ居ナリト云、鶴イヨ／＼合點ユカズ、光孝ハ秋元侯ノ細工ト知テ、祐乘ト云極メ札ヲ出セバ、光孝ハ僞ノ札ヲ出スト云モ、是ハ如何ノワケニテアルヤト問、甫周ハ才子ニテ、凡ソ人ノ不才ナル人ト談ジテ居ルコトノナラヌ人也、甫周大ニ立腹シテ、儒者ハ皆馬鹿也、此理ワカラヌヤウニテ、國家ノ政事ナド講ズルハヲカシキコト也、足下ハ大馬鹿也ト云テ外ノ間ヘユキテシマウ、鶴ツク／＼考ルニ合點ユカズ、鶴ハ才氣鈍キモノナレバ、甫周ノヤフナル鋭キ才氣ノ人ニハ毎ニ敗北シタリ、凡ソ天下ニ才子モ多キモノナレドモ、桂川甫周・堀本一甫ト云兩人ホドノ才子ハ鶴外ニ見タル

コトナシ、此兩人ハ鶴ガ父ノ門人故、共ニ鶴ガ竹馬ノ友也、二人共只今ハ法眼ニテ奥御醫師也、扱イ  
ツモノ出来ル人ニテ、鶴ノヤフニラチノアカス人ニアラズ、唯平生此二人ニイジメラレテ困シミシ  
也、其後ニ茶道具屋來リテ、桂川ノ座敷ニテ道具ヲ評判セシコトアリ、茶杓ヲ數十本並テ居リ、鶴元  
來茶ノコトモ知ラザリケレドモ、其座ニ居タル故ニ茶杓ヲ取テ見ル内ニ、煤竹ニテ作リタル細キ茶杓  
アリ、茶杓ノ表ノ中通リクボミテ、黒ウテヤサシキ茶杓也、鶴筒書付ヲ見レバ早藏ト云銘アリ、イカ  
ニモ藏ノ様ナル形也、鶴道具屋ニキケルハ、是ハ誰カ作ナリヤ、道具屋對テ、是ハ千ノ利休ノ作也ト  
云、鶴是ハ高直ナルモノナルベシト思テ、價ハイカホドナリヤト云、道具屋唯二百疋ナリト云、鶴大方  
贗ナルベシ、眞ノ利休ノ作ナラバ二百疋ト云フコトアルベカラズト云、道具屋イヤノ隨分眞也、唯  
不出來也、故ニ價イヤシト云、其次ニ其時ノ小堀遠江守殿ノ作ノ茶杓アリ、筒書付ニ歌一首アリ、近  
衛流ノ書也、書モ見事也、歌ハ鶴忘レタリ、何カ面白キ歌ナリシナリ、此價ヲ道具屋ニ問、道具屋金  
千疋ナリト云、且云フハ利休ニテ不出來ナレバ二百疋、今遠州侯ニテモ出來ナレバ千疋ナリト云、扱  
鶴ガ心豁然トシテ開ケリ、扱甫周ニ申セシハ、今日コソ先日ノ秋元侯ノ祐乗解シタリ、細工祐乗ノ位  
アレバ、祐乗ニ極ルハズ也、細工次第ニテ、人次第ニテハナシ、孔子曰トアリテモ、理ニ合ハヌハ二  
百匹ナルベシ、他人ノ言ニテモ理ニヨク合タルハ千疋ナルベシ、賞翫スルハ理也、人ニテハ無シ、孔  
子ト他人ト違ヒタル處ハ理也、理ヲヨク取り玉ヘル處也、孔子ノ人物ニハアラズト云ヘリ、甫周大ニ



喜デ成程左様也、足下ハ年ヲ重テ學問シタラバ馬鹿ノ病ナホルベシト云ハレタリ、左レドモ鶴今以テ馬鹿ノ病ナホラズ、左レドモ合點ユカヌコトハドコマデモ合點ユカズ、雪ハ六角ニテ水晶モ六角也、鹽ハ四角ニテ礬ノ類皆四角ナリ、天ノ數ハ六、地ノ數ハ四ナリト云人鶴ハキラヒナリ、ナゼニ四角ト取タカ、見メカノ理ナキウチハ底スメハセヌ也、鶴今日ニ至ルマデ、天ハ四方天地ヲ兼テ六ツ也、地ハ四方ノミ也、故ニ雪ト鹽トハ六角四角ノ數ニ合フト云コト合點ユカヌ也、合點ユカヌコトハユカヌト云コト、心サツバリトシテ宜キ也、元來天ハ空位也、地ハ地球アレバ實位也、雪モ地ヨリ上ルモノナレバ、上ヘ上レバ六角ニナリテ、地中ニ有ウチハ四角ナリヤ、合點ユカヌ也、是ハ決シテ此理アルベシ、唯鶴ガ鈍才故ニ推スコト足ラヌ也、推スコト足ラヌコトハ百モ千モアルナリ、聖人ニ非ルヨリハ推スコト詳ナラズ、故ニ知ニクキコトアリ、造化ノ妙ハ些細ノ詳密ナルコトナレバ、推シ窮メヌコト澤山アリ、唯中スマシニ濟テ置人ハ鶴大キラヒ也、唯中スマシニ濟シテオク故ニ、祭祀ヲスレバ福來ル、仁義ヲスレバ國治ルト云、祭祀ヲシテ福ノ來ルワケ様ノ也、仁義ヲスレバ國治ルワケハケ様ノ也トワケヲ云タキコト也、ワケヲ云タラバ今ノ世ニ井田ヲシ庠序ヲ造テ、今世日本ノ人今ノ風俗ニシツクリト、合コト合ハヌコトハ知ルベシ、古ノ事ト事ハチガヒテモ、國家能治バ千疋ナルベシ、古ノ人ニテモ二百匹ノ治メ方有ベシ、況ンヤ古ノ細工ヲ愚鈍ナル細工ニテ似セタル、嘔吐ニタヘヌコトナルベシ、モシ古ノ聖人神靈有テ今ノ儒者ヲ見玉ハバ、サゾノヲカシカルベシ、鶴上州ノ箕輪ト

云處ニ遊ビシ時、下田某ノ家ニ家例アリ、臼井峠ノ神主ヲ呼テ墓目ヲ行ヤ、峠ヨリ何ノ出羽守ト云神主來テ右ノ神事ヲ行ヘリ、神主狩衣ニテ、細立ト云烏帽子ヲ衣タリ、鶴京都ニ在リシ時ニ、此細立ノ烏帽子ヲ能ク見覺テ、其事ヲモ少々聞キシコトアリ、堂上ノ衆ハ狩衣直垂ノトキニハ是非此細立也、宮様方ハ小直衣ノトキニモ此細立也、地下ノ官人ハ此烏帽子ハ冠ルコトナラズ、第一ニ此烏帽子ハカケ緒ハナラズ、白丁ノ冠ル烏帽子ノ如クニホソ長キ烏帽子ナレバ、風折トチガヒテ頂キ平ナラズ、故ニカケ緒ハカケル處ナシ、扨堂上ハ皆惣髮ナレバ額ニ櫛ヲサス、木櫛也、木櫛ノムネノ厚キヲ髮ヘ深ウ入ラヌ様ニ、上ハカハノ處ヘペタリト差シタルモノ也、扨細立ノウラニ釣針ノ如キモノ二本植テアル也、櫛ヲサシテベタラト櫛ノネル時ニ、右烏帽子ノウラノ釣針ノ上ヘ櫛ネル、故ニ前ノ外ハ櫛ニテ持テ居ル也、扨後ロノ方ハ蜻蛉ト云モノヲサスコト也、此蜻蛉ハ風折ニモアル也、烏帽子ノ後ヘ打紐ヲ付、紐ノ半ヘ小簪ニ付テ髻ノ下ヘサシ込ム也、コレニテカケ緒ナウテモ、烏帽子ヨク頭ヘツキ居テ落ヌ也、地下ノ官人ニテ細立免許ノ人ハ瀧口ノ官人也、瀧口ノ官人モ惣髮ナルハ細立ヲ用ル、半髮ハ右ノツケ故ニ細立ヲ用ルコトナラズ、皆風折也、櫛ヲサシ入レル處ナケレバ也、扨彼出羽守細立ナレドモ櫛ナシ、扨鶴聞ケルハ、足下櫛ヲ用ヒズニ細立ヲ用ヒラル、カ、カケ緒モナシニ前ノ處ハ如何シテ止メラル、ヤト問フ、此神主顔色ヲシハメテ苦々敷顔色ニテ對テ云ニハ、唯此烏帽子ニハ困シムコトニテ候、烏帽子ノウラニ釣針二本アリテ、此釣針ヘ髮ノ毛ヲ縫ヒ申コトナレドモ、髮ノ毛ヲ無理ニ

横ザマニ縫故ニ、髮ツリテイタムコトカギリナシ、冠ニ居ルウチハ痛ム也ト云、鶴乃チ京ノ堂上方ノ櫛ヲ用ラル、コトヲ能々教ヘシニ、右ノ出羽守大ニ悦ビ、始テ細立ノ冠ヤフヲ知レリ、其ヨリ越後ヘユキタルトキ、三條ノ八幡ノ神主ニ書ヲカキテ、狩野玉元ノ門人ニテ玉樹ト云人アリ、書ハ讀ネドモ鶴ガ門人同様ニ出入セリ、是モ和書ナリシニ、唐畫ヲ好ミシ故ニ鶴ガ旅宿ヘ折々來レリ、扨年始ニ來レルトキ細立也、一體地下ノ官人ハウラノ付タル狩衣ヲ着用スルコトハナラヌ也、越ハ田舎ノ事故何モ知ラヌ也、彼玉樹シユチンノウラ付狩衣ニテ細立也、扨細立ヘカケ緒ヲカケタル處ガカ、ラヌ故ニ、紫ノ打紐ヲ彼釣針ヘカケテ、額ノ處ヘ出シテ頤ニテ打紐ヲ結タルモノ也、左レドモ釣針一處ニ二本アル故ニ、一處ニアルモ同前ナリ、紐顔ノ形ニマルウマハリテ顔ノヘリヲ取リタルヤフニナル故、打紐デハアリ行儀ヨウシテシマリテ居ラヌ也、シバ／＼手ニテ紐ヲカキアゲ／＼スレドモ兎角タレルナリ、唯手ヲハナセバ又紐タレカ、リテ、烏帽子ヲ冠リテ居ウチニ手ヲ離スコトナラヌ也、此出羽守ノ髮ノヌケルモ玉櫛ノ手ヲハナサセヌモ京人聞見シタルホドナラバ、サゾ／＼ヲカシカルベシ、烏帽子ノ冠ヤフヲ知ライデ冠ルユヘ、古ノ聖人ノ今ノ儒者ノ言談スルヲ聞タルホドナラバ、サゾ／＼ヲカシカルベシト思フ也、シラヌコトハシラヌデヨキコト也、知ラル、法アラバ推シテ知ルガヨキ也、推シテ見ズ人ニモ聞カイデ中スマシニ濟スハ、國家ヲ亂スコトナルベシ、今ノ御老中牧野長岡侯京都ニ久シク所司代ヲ勤ラレタリ、一體昔ヨリ江戸ノ御老中ハ大御役ナレバ、大阪御城代ヲ仰セ付ラレテ、

大阪へ行キテ先江戸ヲハナレテ、江戸トハ一向ニ風儀ノ違テ居ル大阪ヲ見バ、江戸モ能々見ユル也、  
扨大阪ハ京都ヘ僅十三里ノ處ナレバ、所司代トモ掛合平生アルコト也、イヅレ京ノ振合モ追々見及ン  
デ、チラリ／＼ト京ヲ知ルコトナリ、京ヲ知テ而後ニ京ヘ轉移スルコト故ニ京都勤メヨキト云コトノ  
由也、牧野侯ハ堀田侯ノアト役也、大阪デヨク丹練セラレタルコトヤラ、凡板倉伊賀守以來ノ所司代  
ナリト云、京ノ評判ナリ、扨京ヘ引移ル以前ニナリテ、所司代屋敷ノ修覆立派ニ申付、舞臺立ラレタ  
リ、凡唯今迄ニナキコトノ由、所司代屋敷ト云モノハ、牧野侯在役以前マデハ、其ムサラシクキタナ  
キコトカギリナシ、所司代スグニ江戸ヘ歸リテ御老中ニナルコトナレバ、一日モ早ウ一刻モ早ウ歸タ  
キ也、故ニ所司代屋敷ハ久シウ居ラヌヤウニ、久シウ居レバヨク／＼ノ不幸ノコトナレバ、緣起アシ  
キコトナリト云テ、壁ガコボレヤフザ、屋根ガ漏ロウガ、一向ニステ、オキテカマハヌコト也、堀田  
侯ノ在役ノトキマデハ殊ノ外ニキタナキコトニテ、屋根モムシロナダアテオキテ、壁ノコボレハ板  
ヲアテ、オクト云ヤフナルコト也、扨所司代モ唯江戸ノ調子ノヨキヤフニトスルコト故、武威ヲオモ  
ニシテ始終怒氣ヲ含ミ嚴然タルコトニテ、京ヲヘサヘツケルト云フヤフナル氣味ニテアリシ由也、牧  
野侯ハ天下ノ大賢才ナレバ、唯今迄ノ仕方トハトント事カハリテ、先役屋敷ノ屋根ヲノコラズ葺カヘ、  
瓦葺ニ申付テ立派也、壁モ皆塗カヘテ、一向ニ生レカハリタルヤウニ結構ニ作ラセラレ、扨舞臺ナリ  
一向ニイカメシキコトナシ、京ヲバ決シテヘサヘツケルコトナシ、唯在所ハ越後ト申ス處ニテ、江戸ヘ



往來仕ルノミニテ、五畿内ノ國ヲサヘ經タルコトナシ、家來共勿論京ヲ見タルモノナシ、主從皆田舎モノ也、唯宜シウ頼ミ奉ルト堂上方ノ思ノ外ナルコトドモニテ、大方又例ノ通り京ヲバヘサヘツケルコトナルベシト思ハル、處ニ、ケ様ナルコト故先堂上方大ニ愛セラレテ唯々懇意也、扱牧野侯在宅ナレバ日々亂舞也、家中ヘモ觸ヲマハシ、屋敷ノ内ニテハ小歌踊リ、酒宴勝手次第也、唯門外ハ宜シカラズ、門ノ内ニテハ何ゴトヲ遊ビ、何事ヲシテサワギテモ苦シカラズトテ、牧野侯在役中ホド所司代屋敷ノニギヤカナルコトナカリシ也、又理ノツヨキ處ハ甚ツヨキ事多カリシ也、河東膳所ノ火消屋敷アリ、火消ノ仲間江戸ニテハクハエント云、御役屋敷ニテハ先陣ト云、京都ニテハモフロクト云、鳶ノ者ノ事也、此モフロクノ中ニ大惡人アリ、人ヲ殺シタルコトモアリシ由也、所々ヲアバレアルキテ惡事ヲスル、名高キ惡人也、此惡人仲間ナレバ刀ヲ帶ルコトナラヌ也、一日大ニ酔フテ夜ノ四ツ時ニ刀ヲヌキ持テ繩手通ヲアバレアルキタルコトアリ、所司代附ノ與力某ト云人、旅人ノ旅立ヲ見送ルトテ、繩手ニテ見立ノ酒宴ヲシテ組屋敷ヘ歸ル處ニ、彼惡人刀ヲフリアゲテ後ヨリ切りカクル、某フリムク處ヲ額口ヲ少々切付ラレテ、デキニ身ヲカワセ刀ヲ拔テ右ノ惡人ヲ一刀ニ切タフセリ、京都ハ一體ケ様ノコト稀ナレバ、町役人モ戸ヲ固ク立テ出合ズ、唯人一人モ出デヌ、右ノ與力切タフシタレドモ誰モヲラヌユヘニ、人ヲ呼ベドモ中々出合ズ、先額ノ傷ヨリ血ナド出デ、ナラヌ故、右ノ料理屋ヘ歸リ、コ、ヲアケテホシ、誰ニモセヨ出合フベシ、彼狼藉者ハ某シトメタリ、少々手ヲ負ヌレバ血ナド

モノゴヒタシト云、左レドモ一人モ出合ズ、ヒツソリトシテ閉コモリテ出ヌ也、其ヨリ又元ノ處ノ死骸ノ側ヘ來リ、額ナドヲ手拭ニテク、リテ、町役人ノト呼ブ、暫クアルト町役人提燈ヲ付テ遠方ヨリ出デテ挨拶スル、某町役人ニ向ヒ、某ハ所司組ノ與力也、某ト云者也、早々宿所ヘ人ヲ遣スベシ、扱町奉行ヘ此事早々訴ルコト也、是ハ町役人ヨリ訴出ベシト云、右ノ町役人早々其通り取計ヒ、町役所ヨリモ同心檢使ニ來リテ死骸吟味スルニ、彼膳所ノモフロクニ違ナシ、是ハ名高キ惡人ニテ、無宿同前ノアバレ者ノ事ナレバ、御シトメナサルコト宜シキ也ト、右ノ某與力ヲ駕籠ニノセテ大小ヲ預ラント云、某云ヤウハ何モ大小ヲ預カルコト存モヨラヌコト也、拙者ハアバレモノニアラズ、アバレモノヲシトメタルモノ也、大小預ルニ及バズ、駕籠ニノルニ及バズ、弱リモ何モセヌ也トテ云張タレドモ、此同心如何心得タルヤ、是非ニ大小預リ駕籠ニノルベシト頭ノ申付タリト云、此時ノ町奉行如レ此申付タルコトヤラ知ラズ、此事早々所司代ノ耳ニ入タルハ、大方人ヲ馳セテツキナガラ見セラレタルコト故カ、對面ヲ待タズ使者ヲ以テ申入ル、也、唯今繩手ニ於テ拙者御預リ與力ノ者狼藉者ヲ仕トメタル由注進也、狼藉者ヲ仕トメタル者ナレバ、何モ罪ハアルマジケレドモ、御役所ノ掟モ有ベシ、此方ヨリ彼是申入ズ、唯拙者御預リノ與力ハ武士ニテ候、武士道ヲ以テアシラハル、様頼ミ入ルト云コト也、町奉行モ何カ手違有シヤ知ラズ、早々ニ組屋敷ヘ返シ、組アヅケニテ一通リ吟味シテ濟ケリ、濟ト其日ニ其與力ヲ侯ノ前ヘ呼ビ出シ、譽ラレテ昇進申付ラル、此ヨリシテ組與力感涙ヲ流シ、一命ヲ侯ニ

奉ル心ニナレリ、又ケ様ノコトハ甚嚴ナリシ也、其以前ニ酒井莊内侯御名代ニ上京セラレタルコトアリ、此モ京都ノ評判ハ大ニ宜カリシ也、庄内侯ハ大兵ノ生レニテ、大食ニテアリシヨシナリ、禁裏ニテ天杯ヲ頂戴、御料理頂戴、凡御名代ノ大名ハ御料理ヲ實ニ喰フ人ハ無キヨシナルニ、庄内侯ハユルリト座シテ、冠ノカケ緒ヲモ暫ク免ゼラレイト云テ取リテ喰レシ由、京談實否ハ知ラズ、面白キ談故コ、ニ記ス也、頂戴ノ御料理ハ飯ヲ高盛リトテ殊ノ外ニ澤山ニ盛ルコトノ由、右ノ高盛ヲ三椀喰ハレテ、其後ニ又一椀カヘテ其飯ヲ紙ヘ包ミ懷中シテ、扱御馳走ノ堂上方ヘ向ヒ申サレケルハ、拙者ノ在所ハ出羽庄内ト申田舎ニテ、京ヘモ江戸ヘモ二百里ナリ、江戸ヘハ隔年ニ出府仕ルコトナレドモ、京ヘハ上リ申スベキヤウナシ、家來共マデモ始テ拜見セリ、拙者ハ參内マデ仕リ、ケ様ニ御料理頂戴難有コトカギリアルベカラズ、拙者忤杯ハケ様ナル難有コトニ逢申ベキヤモ知レ申サズ、此一椀ハ忤ヘ頂戴仕ラセタシ、兎角田舎者ハ大食ニテ都人ノ前ニテ大ニ恥入候也ト云ハレシ也、仙洞御所ニテハ大酒ヲイタサレシト云フ、京都ニテハ甚評判宜シカリシ也、兎角知ラスコトハ知ラスト云コトヨロシ、知ラスコトヲ知リタル風ヲスルコト甚困シキコト也、天地ヲ祭バナゼ福ガ來ルヤラ、此理ハ知レヌコトナルベシ、天地ヘ馳走シテモ、其馳走ヲ嬉シガリテ福ヲヨコスト云ハザルトハ、天地ヲ淺ク見タルコト也、天地ハ人ニテハナシ、人デサヘワケモナキ馳走ヲスレバ氣味ワルウ思ヘドモ、ウレシガルコトアルベカラズ、先聖人ノ天地ヲ祭り玉フハ一向ニワノチガフコト也、人々己ガ心ヲ己ガ心デ見ル法也、

民百姓ヲ質朴ニスル法也、天下ノ人ヲシテ天地ヲ畏レサスル術也、儒者ノ言コトヲバ能々根ヲ推シテ、根ホリ葉ホリ問ツメルコト宜シ、理ノ合點ノユクコトデハ問ツメテ、合點ユクコトナラバ善否能分ルベシ、今儒者ノ云フコトヲ推シモセイデ、理ヲバ儒者ノ言葉ヲ定本ニスルコト甚シカラズ、定本ヲバ此方ニ取テ、儒者ノ言葉ヲ此定本ニアテテ見テ、合點ユカヌ時ハ何遍モ〳〵對サセテ見ルコト宜キ也、又儒者ノ言疑ハシキ故、儒者ノ言ハ役ニタ、ヌト取捨ルコトモ宜シカラズ、問ツメ責ツケテ理ニ合フ合ハヌト分別スベキコト也、今ノ人平生言フコトニ推シ見ヌコトモ澤山アリ、十二、エトト云、エトトハ兄弟ナリ、十二支ハ兄弟ノ沙汰ナシ、五行・水・火・木・金・土此五ツヲ兄弟ニワケタルヲエトト云也、木ノ兄木ノ弟、火ノ兄火ノ弟、是非ナキコトデナケレバナラヌ也、干ハ幹ノ省也、支ハ枝ノ省也、幹ハカラト訓ス、木ノ身ト云コト也、枝ハエダ也、木ノ手足ト云コト也、スレバ五行ヘ兄弟ヲツケタルハ幹也。子・丑・寅・卯・手足十干ニ十二支ヲユリ合セ〳〵スル故ニ六十一ニナル、是一紀ト云ナリ、子・丑・寅・卯ハ字ハアリテ訓ハナシ、子ヲ鼠ニシテ、丑ヲ牛ニシ、寅ヲ虎ニシ、卯ヲ兎ニスルハ昔ハ無コトニヤ何ニモ見ヘズ、王充論衡ニ始テアリ、右ハ唯字バカリニテ何ニモ合セヌコトヤラ、又何ゾニ合セタルコトモ、後世其傳ヲ失ヒテ鼠・牛・虎・兎ニ合セタルヤ鶴ハ知ラヌ也、アイウエオノイノ聲トワキ子エヲノキノ字ノ聲ト同ジコトニテハ、五十音ト云ヘドモ五十音ハナキ也、音ハコヘト云コト也、エノ音ヲノ音三ツモ二ツモアリ、五十音ニテハ無クテ四十四五音ナラデハナシ、五十



音トハ云ハレヌ也、其實ハ皆コヘノチガフ也、サレドモ世人ハ同コトナリト覺テ居ル、同コトナラバ五十音ニテ、五十音ニテハナキナリト知ルベシ、アイウイエオハ頭ガア、ワキ于エヲハ頭ガワ也、イノ字モヲノ字モエノ字モ音ハ各カハルハヅ也、アイウエオハ音ノ脚也、何ノコヘヲ引キテモ、引シマヒハアイウエオニナルナリ、故ニ音ノ脚ナリト云、ワキ于エヲハウノ音ヲオビテ呼ブ也、ウア、ウイ、ウウ、ウエ、ウオ也、故ニワキ于エヲトナル也、ケ様ニ合點ノ行クマデ間ツメルコト宜シキ也、何カ知ラヌガ唯エトデゴザル、唯五十音デゴザルト云男ヲ中スマシト云、其ヨリ知マセヌト云男ノ方甚智也、知ラヌコトヲバ知ルヤフニスルノガ智ナルベシ、先國家ヲ治ル仕方ハ中スマシ甚多シ、至テ惡シキコト也、老子ハ何カ知レヌ傳授ノヤフナルコトハ甚アシ、メノコ算用ニキチ／＼ト算用スルコト宜シキ也、上向ノ御座敷立派ニナレバ、下ニ金ガ無ウナル、他國ヘ金ガ出レバ自國ニ金ガ耗ル、他國ヨリ金ガ入レバ自國ニ金ガ殖ル、百姓ヨリ出ス米ヲ多ク取レバ百姓貧ニナル、少ク取レバ百姓懈怠ニナリテ、不精ニナリズルケル也、他國デ立派ナル衣服ヲ着スレバ、自國ノ民立派ヲシタガル、皆メノコ算用也、兎角メノコ算用宜シ、六ヶ敷傳授ゴト甚宜シカラズ、唯メノコ算用仕方ニ巧拙アリ、萬屋ヲ見ルベシ、萬屋談ニテ委シク談ズベシ

# 天王談終

萬

屋

談



## 萬屋談

萬屋談ト題スレバ、何カ嗚呼ガマシキヨウニ聞ユレドモ、深キ意味ノアルニアラズ、萬屋ノ某ノ話也、江戸ノ御城ノ北ハ小川町番町トテ御旗本ノ屋敷バカリ有處ナリ、小川町番町トノ間ニ少シバカリノ町アリ、飯田町ト云也、南ハ田安ト清水トノ間ノ御堀也、御堀ノハタヲ九段阪ト云、其ノ北ノ筋ヲ中坂ト云、其北ノ筋ヲモチ、木阪ト云、西ハ高シ三番町、東ハ卑シ小川町也、北飯田町ハ武士屋敷ノ中ニ包マレテ有故、商ノ多ク有町也、中ンヅク富ヲナセルハ下ノ萬屋也、間口十五六間モアル酒屋也、江戸ニハ作り酒屋一軒モナシ、皆池田・伊丹・灘目ノ請ケ酒也、第二ノ富家ハ上ノ萬屋也、家居ハ大キフ無レドモ厚キ身上也、池ノ端ノ萬屋ト云フハ格別ノ富家デハ無ケレドモ、上下萬屋ノ本家也、下ノ萬屋ハ端ノ萬屋ニ奉公シテ番頭マデニ歷上リタル男也、上ノ萬屋ハ端ノ萬屋ノ樽ヒロヒノデツチ也、扱端ノ萬屋ノ身上ノヨフナリタルハ、畢竟ハ番頭ノ商上手ニテ、家内ノ治メ方ヨリ見世ノ掟作法能整ヒテ、皆々出精スル故也、一體番頭大ニ身持ノヨキ男ニテ、費ヒムダヅカヒナドハ一向ニセヌ也、左レドモ手代デツチナレバ、随分ユルヤカニ取育テ、遂ニ叱リタルコトモナシ、イツモノニコヤカル面ナレドモ、手代デツチハ甚畏レ敬マイテ法ヲ犯モノ無リシ也、一日番頭主人ノ前ニ出デ云ハ、扱



私ハ幼少ヨリ當御見世ヲ勤メ、御取立ヲ蒙リテ支配人ニマデニナリテ、幸ニ日々ニ御見世モ繁昌シテ、今ハ耻シカラヌ御身上ニナレリ、私ハ年モ長ジ小屋ヲモ持テ見タク、且ハ段々順ニ手代衆ヲモ繰リ上テ番頭ニ仰付ラレネバ、若ヒ者ノ勵ミニモ宜シカラヌ也、私ハ此節別家仰付ラレ下サルベシト云、主人成程此方ニモ其事ヲ云テ居ルコト也、思立チ至極宜シカルベシ、且其方ヨリ預テ居ル金モ、彼是六七十兩モ有ルコト也、此方ヨリモ少々褒美ヲモヤルベケレバ、百二十兩ニテ家ヲモ造作シ見世ヲモ心一バイニ立派ニコシラヘ然ルベシト云、彼番頭謹ンデ拜シ扱云ヤウハ、私ハ左様ノ餘分ノ金子一向ニ入用ニナシ、唯今マデ私ノ手前ニテ彼は貯ヘタル金二十兩アリ、是ニテ見世ヲヒラキ商ヲ始メ申ベシ、扱私外ノ商賣モ存ジ申サヌコトナレバ、ヤハリ酒商賣ヲ仕ツモリ也、右ニ付テハ當御店ヨリ荷ヲモ御回シ下サルベシ、其ニテ私十分也ト云、主人ソレハ知レタルコト也、此方ノノウレン内ノコト荷物ハイカ程モ仕入ルベシ、ヒラニ右ノ百三十兩ノ金ハ渡スベシト云、番頭甚感恩ノ體ニテ取ラズ、唯荷サヘ御廻シ下サラバ是ヨリ深キ御恩アルベカラズト云テ、金ヲバトフト辭退シ、扱飯田町ノ上ヘ見世ヲ出ツモリニ取調ヲスル積也、扱右ノ主人ノデツチ内ニ一人歳ノ十三四ニナル小僧、右ノ番頭ノ前ニ出デ願ハ、承レバ此度別家ヲナサレ、見世ヲ御取立ナサル、ヨシ也、酒ハ樽ヒロヒモ入ルコトナレバ、何卒私ヲ新見世ノ樽ヒロヒニサシオカルベシト云、番頭大ニ驚キ、ソレハ畢竟唯今マデ彼は世話ヲモシタル故、其報恩ニ我等ノ新見世ニ來リタキト云殊勝ノコトナルベシ、サレドモソレハ子供心ト云モノ

也、新見世ト云ウチ、我等ノ見世ハ甚質素儉約ニテ中々當家ノヨフナルコトニテナシ、ソナタハヤハリ此見世ニ居ラルベシ、此大家ニ奉公シタルモノハ、ワシガ家ニハイラレズ、我等モ入用ニナシ、又ズツト貧ナル家ノ子ヲデツチニ使ヒテ樽ヲ拾ハスルツモリ也、其事ハ決シテ了簡チガヒナルベシト云、右ノデツチ大ニ笑ヒテ云ハ、私ハ左様ナルモノニアラズ、大家小家ノ分別ヲ存ゼヌニモアラズ、富家貧家ノ慕シ方ヲ見ヌニモアラズ、私考ヘ見ルニ、凡賣買ノコトハ大小貧富ニヨラズ、出精ノ淺深ニテ大小貧富ワカル、コト也、今大富ニテモ仕方ニテ小貧ニモナルベシ、今小貧ナルトモ仕方ニテ大富ニナルコトナリ、大小ヲ擇ブニ及バズ、出精ノ淺深デ擇デ、大富ニナルベキ人ニ事テ、其仕方ヲ見覺ヘ聞覺ユルコト肝要ナルベシ、サレバ商ノ上手ナル人ニ事フルコトデツチノ事也、ヒラニ私ヲ召使ハレ下サルベシ、親方ヘハ私ヨリ願フ也ト云テ、主人ヘ此ワケヲ云テ新見世ヘツキテ行キタキヨシヲ願ヘリ、主人モ尤モノコトナリトテ、此ノ番頭ヘス、メテ右ノ小僧ヲヤリタリ、番頭モ子供心ニテ一度ハメヅラシキユヘニ、新見世ヘ來リタフ思ヘドモ、朝夕香物ニテ茶漬ヲクヒ、主從二人サビシク暮ラセバ、直ニアキテイヤニ思フベシト度々云キカスレドモ、デツチ合點セヌ故ニ、已ムコトヲ得ズ新見世ヘ右ノ小僧ヲ引取レリ、扱此新見世ハ成程質素ノ見世ニテ、漸ク疊ヲ入レタル計ノ家ニテ、天井モナシ坐敷モナシ、見世ト臺所計也、扱朝マダクラキウチヨリ起テ掃除ヲ始メ、マダ夜ノアケヌウチニ茶ヲワカシ、ビチヨ／＼ト茶漬ヲ喰テ、兩人共見世ヘ出テ商ヲスル、デツチハ酒ヲハコブ、亭主ハ帳合ヲスルト云コトニテ、何モ外ノコト

ナシ、扱凡ソ商人ニカギラズ、職人ニテモ、百姓ニテモ、奉公人ニテモ、己ガ業ヲサヘ出精スレバ評判モ宜シク、其繁昌スルコト飯田町中ニ比類ナフハヤルコト也、是外ニワケアルニアラズ、シロモノヲヨフシテ利ヲスクナフトリテ、多ク商ヲシテ入レ合ハスル故ナリ、少シノ間ニ大ニ身上モヨフナリテ、扱一日主人見世ニテ帳合ヲスルウチ、鰯屋ノ鮮鰯ヲカツギテ賣リアリクヲ見テ心ニ思フニ、扱久シフ鮮ヲ喰ハスコト也、デツチモ些鮮ヲ喰ヒタカルベケレバ此鰯ヲカフベシト思ヒテ、右ノ魚屋ヲ呼デ鰯ヲカフ、ナルホド錢ハ出サヌ男ナレドモ、物ヤワラカニワケノヨキ男故ニ、鰯屋モ鰯ヲマケテモトネ同前ニウリテ、六ニテ二十文ニ直段キハマリテ、皿持テ出デカヒ取計ノ處ヘ、彼小僧カヘリテ大ニ驚キ、親方何ヲカワルコトゾト云、亭主久シフ鮮ヲクワズ、ソナタモクワヌコト故、至テヤスキ鰯故ニ六ツカヒタル也ト云、小僧大ニ諫メテヒラニ止メラレヨト云、亭主魚屋ノマヘ氣ノ毒故、直段モキハマリタルコトナレバ買ハネバナラズ、殊ニ魚屋ドノモ彼は直段ノ相談ニテ隙モ取タレバ、今更止レバ魚屋ノ損也ト云、小僧云フヨウ、魚屋ヘ損ヲカクルコトハ甚アシキコト也、此鰯六ツニテ二十文ナレバ利モ八文アルベシ、八文ノ錢ヲ此方ヨリ出シテ止メラルベシト云テ、魚屋ニ對シテ色々云ワケヲ云テ、八文唯ヤリテ止メント云フ、魚屋モ唯錢ヲ取ルワケナキ故錢ヲトラズ、小僧八文ガ酒ヲツギテ魚屋ニ振舞テカヘス、魚屋モ是非、魚ヲ進ゼント云ドモ、小僧一向合點セズ、トウ／＼魚屋ヲカヘス、扱亭主デツチニ向ヒ扱鰯ヲカワヌハキコヘタルガ、八文錢ヲヤラント云タルコト不思議也、ヤスクマケタル魚ヲカハ

ヒデ、錢ヲ取ラスルコト損ノ上ノ損ナルベシト云、小僧云ハ徳ノ上ノ徳也、其ワケハ鰯ヲ二十文ニテ  
カヘバ、薪モ入也醬油モ入也、扱口ヲヨロコバシムル也、凡ソ鰯ヲ喰ヒタル明日モ、茶漬ヲ喰タル明  
日モ何モカハリタルコトナシ、鰯ヲ喰ヒタル後ハマタ喰タヒト思フハ口ノ慾也、茶漬ヨリ外ニハ口ヘ  
入ネバ、口ハ茶漬ノ旨キコトヨリ外ニ知ラズ、唯口ニテモ日ニテモ、餘リ悦バシムルコト大ニ心ノ毒  
ナリ、唯悦モ哀モナキコト心動カヒデ宜キ也、茶漬ノ明ル日ニ茶漬ヲ喰ヒバ悦モ哀モナシ、イハシノ  
明ル日ニ茶漬ヲ喰ヒバムマクナキ故哀ム也、如レ此ニ心ヲ用ヒネバ身上ハ廻ラヌ也ト云ヘリ、番頭涙ヲ  
流シ扱々面白キコトヲ聞モノカナ、イカニモ其通ナリトテ、此小僧ヲ不思議ノ人ナリト思ヘ、其後ハ  
凡ソ何事ニテモ家事相談セシト云リ、果シテ此小僧スサマジキモノニテ、又飯田町ノ下ヘ見世ヲ出シ、  
殊外ニ大家ニシテ、右ノ亭主ニツタヘテ、己ハ上ノ家ヲモラヒテ今ニ三家共榮リ、鶴按ズルニ、此小  
僧ノ論至極面白キ論也、民ヲ養モ己ヲ養フモ此論ノ外ナシ、今ノ仁者ト稱スル人ハ兎角民ヘ馳走ヲシ  
テ悦セル仕方也、大愚ト云ベシ、民一度馳走ニナレバ、年中馳走ニナリタフ覺ユル也、イツソ馳走ニナ  
リタルコトナケレバ、馳走ハ知ラヌ也、馳走ヲ知ラネバ不馳走モ知ラズ、一度馳走ヲスレバ、馳走セズ  
バ不馳走也、民ヲ不馳走ニセマヒト思ナラバ、馳走ヲセヌコト也、魚ガヤスフテモ喰ハヌホド、口ヘ  
ノ馳走ナレト此小僧算用シタルモノ也、イツソ二朱ノ茶ヲ飲マヌ人ハ五匁ノ茶ホド結構ナルハ無シト  
思テ居ル也、コレホド結構ナル茶ハナシト云茶ヲ飲ンデ居ルホドノ驕リハアルマジ、一度二朱ノ茶ヲ



飲テ後五匁ノ茶ハムマシトハ覺ヘヌ也、スレバサキニ結構ナリト覺シノハ結構ナラネバ、心ニ不足アルト云モノ也、其後喜撰ヲ飲ミ、小島ガ崎ヲ飲ミ、白折ヲ飲デハ、何トテ五匁ノ茶ガ馳走デアラフゾ、苦シミト云モノ也、民モ此通也、段々馳走ヲスレバスルホド、不馳走出來ルト知ルベシ、二朱ノ茶ヲ一向ニ飲バ、小島・白折ノ味ヲバ知ラズニシマフベシ、是程結構ノコトアルベカラズ、第一ノ茶ヲ飲ミツバケト云モノ也、如シ種々ノ銘茶ヲ飲タラバ、常ニ第六第七ノ茶ヲ眉ヲシカメテ飲ムト云モノナラズヤ、同茶ヲ悅テ飲ト哀テ飲ムハ是ヨリ別レリ、民ノ衣食ハ此方ノ政ヲ立次第也、一座ノ馳走一代ノ害ニナルト云モノ也、聖人所謂仁ハ民ヲ馳走ニアハスコトニアラズ、不馳走ニ合サヌヨウニスル也、智者ノ己ガ目・鼻・耳・口ヲ愛スルハ、馳走ニ合ハスニアラズ、不馳走ニナラヌヨウニスル也、己ガ身ヲ愛スルハ馳走ヲスルニアラズ、不馳走ニナラヌヨフニスルナリ、如シ不馳走ニナラヌヨフニト心ヲ用ヒバ、獄門・磔・打首・遠島・餓死・凍死ノ人ハ扱オキ、面ヲ青フスルコトモ、赤フスルコトモ、誤證文ヲカクコトモアルマジキ也、皆馳走ヲセント思ヨリ不思議ノ災害ニ遇フコト也、此ヲ法術ヲ以テ國ヲ養ヒ身ヲ養ヒ耳目ヲ養ト云也、法トハ式目掟ト云コト也、其國其家ノ旦那ト云トモ曲ルコトナラヌハヅノコト也、術トハ心ノヤリクリ也、其場合ニヨリ其事宜ニ應ジテ繰出ス也、法ハリチギナル老人ノヨフナルモノ也、術ハ智者ノ氣轉キ、ノヨフナルモノ也、兩方揃ハネバ國家治マラス也、如シ法計デ天下治ラバ、書物ヲ讀人サヘアレバ亂レヌ也、書物讀百萬人有テモ亂ル、ハ術ナキ故也、

術バカリデ天下治マラバ、書物ハ入用ニナキハヅナレドモ、利口モノバカリデモ亂ル、ハ法立ヌ故也、  
法立テ、曲ル人アリテハ法トハイハレヌ、術アリテモ決斷シテ行ハネバ術ノ甲斐ハナシ、今大名ノ身  
上年々ニアシクナル、其病根ヲ尋ヌレバ、世祿ト云字ヲ誤マリ讀ミタルヨリ起レリ、今ノ所謂世祿ト  
云ハ、三代ノ世祿トハ大ニチガフ也、畢竟世儒才敏ニシテ早合點スル故ニ、ケ様ノ間違ヲ引出セリ、  
鶴杯ハ魯鈍者ユヘ一々ニギシ／＼推サネバ合點ユカヌ也、今人ハ皆家督相違ナク賜フコトヲ、世祿ト  
覺テ居ル也、若シ三代ノ時此邦ノ如ク家督相違ナク賜リタル程ナレバ、ツマラヌモノナルベシ、四十  
ニテ仕テ士トナル士ハ一廟、此廟ヲ立ツル程ノ知行高ニナルナリ、五十ニシテ爵セラレテ大夫トナル  
三廟ヲ立ツ、此廟ヲ立ツル程ノ知行高ニナル也、其人死ス、其子其知行高ヲ相違ナク取バ、是家中殘  
ラズ大夫ノ知行高ニナツテ、士ノ知行高ノ人サヘ無キ理也、且父大夫タリ子士タレバ、葬ルニ大夫ヲ  
以テシ、祭ニ士ヲ以テストアリ、此ハ父大夫ノ知行高ノトキ死タルモノ故、葬ルニハ大夫ノ葬程ノ物  
入出來レドモ、其子ノ代ニナリテハ士ノ知行高故ニ、大夫ノ物入ハ出來ヌ、故ニ士ノ知行高相應ノ祭ヨ  
リ外ハ出來ヌト云コト也、親ヲ祭ルハ子ノ身ニ取リテ大事ノコト、少シモ立派ニシタキコトナルベ  
シ、全家督相違ナク賜ラバ、誰一人モ士ノサミシキ祭ハスマジ、知行高ヒクナル故、サミシキ祭ヲ  
シテモ不孝ニハナラスト云コト也、魯ノ國ニセヒ、齊ノ國ニセヒ、何里四方ト云限リアリ、家來ハ士  
ノ役ナケレバスマヌ也、其士ガ大夫ニナリテハ、其子家督相違ナクトリ、又アトカラ士ノ役ノ男大夫

ニナリテハ、其子又家督相違ナクトリテハ、魯國・齊國何里アリテモ、皆家來ノ充行ニ出テシマヒテ、  
旦那ノ身上ハ無クナル理ニテハナシヤ、三代ノ世祿ト云ハ、有徳院様ノ御工夫ノ御役高・御足シ高ノ  
仕掛ナリ、祿トハ知行ノコト也、地方知行ニ離レズニ居ル故ニ世祿也、士ニナルトキモ御役高、大夫  
ニナル時モ御足シ高也、其人死スレバモノ地方知行ニ落ル也、此地方知行ハ至テ少ナキコトト見ユ、  
唯農工商ニナラズニ居ラル、マデノコトト見ユル也、是コソ今ノ大名ヲ救フヨキ手ヅルナルベシ、何  
レニモ今ノ大名ノ家督相違ナクトラスハ間違ニ相違ナシ、其ワケハ昔ノ分限帳ト今ノ分限帳ト引合テ  
見ルベシ、倍ノ倍多カルベシ、左様ナラバ旦那ノ身上昔トハ倍ノ倍多クナケレバ、寸法合ハスハツ  
也、旦那ノ身上ハ昔モ十萬石ナレバ今モ十萬石ニテ、家中出ルハ昔ノ倍故ニ、畢竟旦那ノ身上アリタ  
ケ充行ニ出ヅ、旦那ノ暮シ方ニ大ニ困シミテ、家來ニヤリタル米ノウチヲ借テ、是ニテ漸ク飲食衣服  
ヲト、ノヘル、何トモツマラヌモノ也、扨家來ニヤリタル米ヲ借テ漸ニツヅクコト故、家來ノ合力ニ  
テ今日ヲ送ルト云氣ニナル也、家來亦旦那ノ飢寒セスノハ、此方共ノ御蔭ジヤト云氣ニナル也、コレ  
ヨリ段々家來共ハ旦那ノ法ヲ犯スコトニナル也、旦那ハ家來ニ遠慮スルコトニナリテ、少々法ヲ犯シ  
テモ、アレラガ御蔭デ飢寒セヌ故見免シノト云コトニナル、是法ノ壞ル、病根也、法壞ルレバ治世  
ニハ貧國トナル、亂世ニハ亡國トナルト知ルベシ、扨ソレニテモヤハリ家督相違ナク賜ハリ、新規召  
抱ノ奉公人ハアル故、借米デモマタ飢寒身ニセマリテ困シフナリ、十萬石トリテ飢寒身ニセマルトハ

一向ニ合點ノユカヌハナシ也、扱ソレヨリ大阪へ辯説才智ノ家來ヲツカハシテ金子調達ナリ、始メ元  
バ役ノ下役ナドヲヤリテ、相談取組出來レドモ、返済日限ニ相違ナドアレバ、下役ニテハ引合ハヌコ  
トニナル、元締自身ニ出ル、又間違アレバ勝手方ノ用人、又間違アレバ大夫自身ニ出ル也、借方役人  
輕ケレバ、物入モ薄ケレドモ、用人家老ナド出ルニハ、千金以上ヨリハ百金モ二百金モ打コマネバ出サ  
ヌ也、是返スアテモナキ金ヲ借ル也、其デモヤハリ家來ハ年々ニ大身ニナル、新規召抱ハ年々ニフヘ  
ル、是非カ、ラネバナラス也、大夫出版ナレバ新町カ島ノ内カ北ノ新地カニテ、銀主ノ御杯頂戴ナ  
リ、家來ノ面々花街ニユキ、アホウヲツクスヲ制スル役ノ大夫ヲツカヒ、ハレテ花街ヘユキアホウヲ  
ツクサネバナラスト云ハ、是モ何トモ合點ノユカヌハナシ也、只忠臣才臣ト云ハ、旦那ノ飢寒ヲ救フコ  
トニ打コミタル男ノコト也、法ノ壞ル、コト宜ナラズヤ、旦那ノ飢寒ノ身ニセマリタレバ、法ナドニ  
カマヒテ居ラル、モノカト云論也、貧國凶國ニナルハヅノコト也、左アラバ如何シテ此弊ヲ救フト云  
ニ、古位田・職田ト云コトアリ、是屈強ノ良法也、此位田トハ正一位ヨリ大素位ニ至マデ、位ノ頓ニ  
從テ田地ヲ割付テ所務サスル也、位ハ其人ノ德藝ニカ、ワラズ、始テ御目見召出サレノ年數ニテ積テ  
進ムモノナレバ、鈍物ニテモ不才ニテモ進ム也、今ノ堂上管家ハ六位ヨリ其他ハ五位ヨリ進マル、  
也、家柄宜シカラザルカ、或ハ御藏米三十石ノ衆ハ正二位マデ、其他ハ從一位マデ進マル、也、官ナ  
フテ位バカリアル人ハ物入一向入ラス也、官ノ有ル人ハ物入、衣類・輿・供人マデ入用多シ、位田ハ唯



位ヲ持テ居ラル、程充行也、職田ハ太政大臣ヨリ以下賤官ニ至マデ、役名ヘ田地ヲ割付テ所務サスル也、官職ノ事ハ位トハ違テ、御目見ノ新古ニヨラズ、年齢ノ多少ニモカ、ワラズ、各ノ才智賢能ニテ勤ルモノナレバ、トント別ノ事也、上ノ人其人ノスグレタル所ヲ見出シテ申付ルコトニテ、久シク位田バカリ取テ居タ人、急ニ職田ニ就クコトモアリ、マメ一向ニ弱輩ノ族大職ニ試ラル、コトモアリ、貧家急ニ供人ナド立派ニ連テ、衣モ様々入ルコトナレバ、此職田ハ澤山ナケレバナラヌ也、今大名ノ身上ヲ急ニ取直サントナラバ、此位田職田ノ仕掛ホドヨキコトナシ、唯此仕掛ヲ家中ニ移スニ大術アリ、家中ノ者怨マヌヨウニ移サネバナラス事也、其手ガ、リハ今點<sup>マ</sup>ノ借米又ヨキ手ガ、リ也、他家諸家ノ面扶持ナドト云ヨフナルヒドキ借米ニ至極ノ此方ノ手ツキ也、其ワケハ諸家共ニ家中ノ者ハ知行高ニテ貴賤ヲワクルコトナレバ、表向ノ知行高ヘリテハ外聞アシ、外聞アシカラズ至極家中一統懽服スル仕方デナケレバ、術淺キト云モノ也、左レバ如何ニ移スト云ニ、先十五萬石ナレバ、世上並ニナラシテ大體給人ト號スルモノ、四ツ物成ノ五十石三人扶持ヨリ三千石マデトキワメテ、知行ノ名ニハ一向ニ手ヲ付ズニ、借米ヲ殊ノ外ニ多フスル也、三千石ヨリ五十石マデヲ、現米三十石ヨリ十石マデニシテ、アトハグヒト借ル也、是ヲ位田ト見ル也、固ヨリ家督相違ナフ取ラセテ世祿ナリ、扱功勞ニテモ有バ加増ヲヤル也、五百石ノ人六百石ニモナル也、名ハ五百石ノ人六百石ニナレドモ、米ハ五升カ七升殖ル也、又怠懈罪罰ノ人ハ知行ヲ削ル也、六百石ノ人五百石ニモナル、名ハ六百石ヨリ五百石ニ

ナレドモ、其實ハ五升カ七升ノヘリ也、扱役米ト云モノヲ別ニ取ラヌ也、役米ハ甚多シ、家老ハ百人扶持、用人ハ五十人扶持、祐筆・料理人ナドハ格卑ケレドモ役米多カルベシ、廣間表番ナドハ格高ケレドモ役米ハ甚少カルベシ、譬ヘバ三百石ノ人ヲ廣間表番ニ置クコト甚費ナル事也、此位田職田ノ法行ハルレバ、三百石ニテ表番ナレバ、十石ノ位田ト五人扶持ノ職田トニテ勤ル也、右筆五十石三人扶持ナレバ、十石ノ位田ト十人扶持ノ職田ニテ勤ム、是役儀次第ニテ取モノ増減アレバ、家中ノ人モ智ヲ磨ク心ニナリ、學問ヲ出精シ世情ニ通達スル氣ニモナルベキ也、外聞モアシカラヌコト也、旦那ノ身上グツト米アマルベシ、誰ヲ怨ムルモノモアルマジ、今ノ通ニテハ右筆日々ニ出仕シ、書ヲカキテ見事ニ働ケドモ五十石三人扶持、廣間面番朝カラ晩マデアホウナルコトバカリ云テ、月々六才ホドノ出仕ニテ三百石、是一向ニ人ノ悅服セヌコト也、鶴此法ヲ日ノ初ヨリ心中ニタクハヒテ居レドモ口外ヘ發セズ、紙上ニ託セズ、ナゼナレバ、ケ様ノ事ヒヨツト漏聞ユレバ、其一家中大ニ怨モノ也、怨マレテハ行ハレヌ也、怨マヌヨウニスルニハ、其君侯ト其大夫一人ト眞實ニ身上ヲ取直サント思フテ、他所ノ人一人鶴ニモセヨ誰ニモセヨ其中ヘマジヘテ、昇足キリノ密談デ行フ術也、扱此他所人ハ固ヨリ人君御供ノ役ナレバ、最初ヨリ其覺悟ニテ昇足ヘ入りテ居ルコトナレドモ、凡一家中ノ人ハ兎角密談ヲキロフ也、密談サヘアレバ己ガ迷惑スルコトノ出來ルヨウニ思フテ疑ヒ忌ム也、一體士ニセイ民ニセイ多クハ智短カキモノ故、長久ノ相談ハ出來ヌ也、民ハ成レルヲ樂ムベシ、始ヲ慮ンバカルベカラズ

ト云フ西門豹ナドヲ見ルベシ、始民ヲ發シテ十二渠ヲ開ク時、民大ニ怨タレドモ、渠出來上リテ見レバ、大ニ便利ナルコト故ニ悅服スル也、唯智者ト雖ドモ十二渠ヲ開トキニ悅服サスルコトハナラヌ也、此位田・職田ナドハ目ニ見ヘテ便利ナルコトナレドモ、決シテ／＼始メニハ悅服スマジ、左レドモ十二渠ト違ヒテ、是ハ在職ノ者ノ勝手宜シキコトナレバ、ツブヤキ忌ムハ閑官無役ノ面々ナルベシ、閑官無役ノ面々ハモト不智不賢ニテ用ニ立カヌル故ニ、閑冗ノ處ヘウチコマレテ居ル也、不智不賢ノムダモノマデヲモ悅バスト云コトハ、聖人ニテモ出來カヌルコト也、耕サヌ人ハ飢ルハヅ也、織ラヌ者ハ寒ユルハヅ也、且此人生レツキテ不智不賢ナルニアラズ、天ヨリ稟タル性ハ賢者モ同様ナレドモ、唯此祿ニ安堵シ上ノ慈悲ニアマヒテ不精ヲスル也、働カヌ也、思ヲ運ラサヌ也、實ハ惡ムベキ面々ニアラズ、左レドモ天下愚人多ク智者少キナラヒナレバ、唯憐ミ養ヒテ理ニ少シモ近キヨフニシテトラスガ上ノ仁政ナルベシ、理ニ少シモ近キヨフトハ、不智不賢ノ者ハ惡衣惡食下賤ニ居ルベキハヅ也、惡食等ヲシテ人ノ下ニ居レバ、マク／＼天ヘノ申ワケ、理ヘノ御奉公ナルベシ、左レドモ愚痴ノ面々ハフトコロ手ヲシテ旨キモノヲ喰フト云理、天ニ無キ理也、天ニナキ理ヲスレバ、是非天ノ罰ヲ蒙ルニチガヒナシ、ムゴキコト也、又上ニテモフトコロ手ヲサセテ旨キモノヲ喰ハスルハ、此人ニ天ノ罰ヲ蒙ラスト云モノ也、不仁是ヨリ甚ハナシ、故ニ惡衣惡食ヲサスルヲ憐ミ養フト云モノ也、密談ハ畢竟愚痴ノ族ヲ憐ミ養フトコトドモ、愚族左様ニハ存ゼズ、兎角怨ム故ニ密談ヲモ亦マギラワセネ

バナラヌ也、茶湯・講釋・會讀ナドニ事ヨセテスルコト術也、今ノ伏見奉行加納侯ハ大名中ノヨキ學問ナルベシ、伏見へ初着ノ時家老出デ、伏見奉行勤方故例引ツケヲ言上スル内ニ、門限ヲ嚴ニスルコトアリ、家老曰、前々ヨリ御門限ハ至テ嚴ニナサル、コト也、當所ハ南ニ中書島ト云遊所アリ、面ニハ墨染撞木町、扱南へ一里餘モ出レバ橋木、北へ二里モ出レバ即京師ノ内也、故ニ御門限ヲ嚴ニツカマツラヒデハ、御家中ノ人出奔人等多ク出來仕テイタミニナリ、御家中減ジ耗リ申スコトニ候ヘバ何分御門限ハ嚴ニ申付ベシト云、加納侯暫ク思按シテ申サル、ハ、熟々考見ルニ此方在役中ハ門限嚴ニスルニ及バズ、扱隨分門限ヲユルヤカニスベシト申出サル、家老大ニ仰天シ、左様ニナサレテハ御家中耗ルニ相違ナシ、甚イハレナキ事也、兎角一人モケガ無様ニ仕ルガ御政ノ第一ナルベシト云、其時遠州侯家老ニトクト政ト云モノヲ申聞サレタリ、其言曰、此方ノ家ハ其方共ノ知通り、有徳院様紀州ヨリ御本丸へ御移リアソバサル、トキ、當番限リノ御供ト云コトニテ御本丸へ御ツキ申シ參リタル家ニテ、甚新家ノ御取立大名ナリ、然ニ此節ニ至テ家中ノ面々ヲ見ルニ、一向ニ役ニ立ヌ者多シ、新家ハ新タニ抱ヘタル者共バカリナレバ、悉ク用ニ立ツハヅノコト也、新ニ召抱ヘル時用ニ立ヌ者ヲ召抱ヨウハヅナシ、畢竟用ニ立テバコソ抱ルコト也、然ニ唯今ハ其子ノ代ニナリ、其孫ノ代ニナリテ、如レ此愚不肖ノモノバカリ家中ニ並ミ居ルコト、何共上ヘ對シ奉リテモ恐レ多キコト也、大身ノ大名ハ家來大勢有コトナレバ、宜シキコトニテハナケレドモ、カタハモノタワケモノ少々有テモ、餘ケイノ



人アレバクルシカラズ、此方ノ家ナドハワヅカ一萬石餘ノ身上、畢竟ハ盛リ切リノ人也、其盛切ノ人ノ中ニカタワ者、タワケ者有テハ、家中半分ナラデハ用ニ立者ナキト云モノ也、左スレバ門外ヲバ隨分ユルヤカニシテ、扱脱落スル族ハ、脱落スルモ亦可也ト云モノニハナキヤ、又所詮茶屋グルヒヲシテ門限ヲハズスヨフナル族ハ、格別好マシウモナキ家來也、コレヲ篩ニカケテフルフト云也、一體ハ家中ヲモ折々ハ篩フガヨキ也、小身大名ハ猶更糟糠ノタマラヌヨフニスルガ政ノ第一ナルベキカト申サレシ由ナリ、是ハ成程サスガ遠州侯ニテ、儒者ナドノ一向ニ及バヌ見所也、凡ソ儒者ハ青表紙ニクラマサレテ眼一向ニ見ヘヌ也、アホウバカリ云テ居ル也、必々儒者ノ論ニ拘ハルベカラズ、唯目ノコ算用ニ聖賢ノ言ヲギシ／＼推シテ見ルベシ、タトヘドノヨウナル立派ナ論ニテモ、今ノ世ニ用ニ立ヌ論ハ、畢竟ムダ議論也、先王ノ禮樂刑政イフテ見レバ、見事ナルバカリニテ今ノ世ニ用ニタ、ズ、眞ノヒマツブシ也、云テ見レバ玩弄物ナリ、子供遊也、子供寄合テマ、ゴトヲスルヲ見ルベシ、木ノ實ヤ木ノ節ヤ泥ノカタマリナドヲ拾テ、此ハ御燒物、此ハ御平・御坪・御吸物・二ノ膳・二ノ汁・後段御酒・御穀ト種々ノ料理立派也、左レドモ夕飯ジブンニナレバ、其御料理ヲ蹴チラシテ各々宿ニカヘリ、大ニヒタルガリテ眞ノ飯ヲクフ也、今マデクヒタルハ腹ノタシニモ何ニモナラヌ木ノ節・泥ノカタマリ也、儒者先生ノ禮樂ヲ立派ニ說並ブレドモ今ノ用ニ立ヌ故、政ノ談ニナレバ隅ヘヒツコミ曰ヲバチ／＼シテ默シテ見テ居ル也、ソコデ身代直シノオヤデ出デ、眞ノ政ヲスルコト也、儒者ハ子供ノ

マ、ゴト也ト思ベシ、邪魔ニナルトモ助ニハトントナラス也、鶴加州ニ遊ビシトキニ儒者ト論ジ合タルコトアリ、儒者曰、當國モ兎角仁政善政行ハレズ、昔年前田伊勢守ノ長屋焼タルコトアリ、勢州屋敷ハ御存知ノ通大手門ノ直ニ前ナレバ、此火スグニ門ヘ移ラントスル也、扨加國ノ法ニ利長卿ノ御式目トシテ、凡ソ堀ノマワリ引張タル繩ヲ切モノハ死列ニ處セラル、コト也、扨彼火事ノ燔門ヘ吹付ル時ニ一人身命ヲ惜マヌ族アリテ堀ノ繩ヲ切り、堀ヘ下リ堀ノ水ヲ汲ミ上ゲテ、勢州長屋ヘカケ消火シタルコトアリ、此人コソ莫大ノ功ナレバ厚賞ヲモ得、譽ノ褒美ヲモ得サセテホシキモノト人々申合タルニ、左ハナフテ死罪一等ヲ減ジテ、五ヶ村ト云飛驒堺ヘ遠流セラル、ケ様ニ不仁ノ政行ハレテハ儒者ノ言聞カレヌハヅ也、如何ニ思ヒ玉フヤト云、鶴云、諧謔・雜談ハ格別ノコト、凡ソ政教ニアヅカルコトハ鶴直言セネバナラス也、直言スレバイカサマ上ノ御仕置筋チガヒタリ、足下ノ御論ハナホナホ甚マガレリ、鶴ニ如何ト御相談ナラバ何ノ六ヶ數モナキコトニテ、彼堀ノ繩ヲ切タル男ノ首ヲ刎ル也、利長卿ノ御式目ハ國ノ大法ノ最大切ニ守ルベキ常典也、利長卿法ヲ御出シナサル、時ニ、子々孫々此法ヲ曲ルナト此法ヲ仰セ出サレタルコトナルベシ、故ニ式目・法度・制禁ト云、其御子孫タル御方ヘ此法ヲ曲テ民ヲ御慈愛ナサレヒト申上ル人ハ、民ト徒黨シテ上ヲ欺ク人也、御子孫タル御方モ臣下ニ游説セラレテ、祖先ノ御設定ヲ御クヅシナサル、ト云モノ也、足下ノ所謂仁政善政トハ如何ノ事ヲ仰セラル、ヤ、利長卿ノ御式目ヲマダルヒ仁善ト仰セラル、ヤ、一向ニ合點ノユカヌコト也、又利

長卿 御式目惡クバ、利長卿ノ御ソ、ウト云モノ也、利長卿ノ御式目惡シキ故、御用ナサラスト國中  
ヘモ觸テ、其上ニ利長卿ノ御式目ホグニナリテ後ニ、足下ノ論ヲ發シテ堀ノ繩ヲ切テモカマヒナシト  
云法ニ立カヒテノ上ノ事也、法ハマゲラレスガ法也、此男ノ首ヲ刎ルハムゴキコト也ト思ヒテモ、法  
ガ首ヲ刎ル法ナレバ仕方ハナシ、此男一人ト萬代不易ノ法トハ、輕重小兒マデモ辨フベシ、凡ソ書ヲ讀  
ム人ハ書ニ醉タル醉客也、醉客ガ何ゾ仁ノ字ヤ善ノ字ヲ辨ゼンヤ、法ヲマゲヌコソ仁トモ善トモ云ベキ  
也、又其火門ヘ移リタラバ門ヲ立カユルバカリナリ、門ト法トノ輕重ハ至愚ノ人ト云トモ知リテ居ルコ  
トナルベシ、然バ書ノ醉客ハ小兒至愚者ヨリモマダ迷フテ居ル、其男繩ヲ切テハ首ヲ刎ラル、ト知  
ナガラ、門ノ燒ルヲ見ルニ忍ビズシテ、刑ヲ犯シテ此繩ヲ切テ門ヲ救ヒタルガフビンナラバ、其男ハ利  
長卿ノ御式目通りニ首ヲ刎テ、扱其男ノ子ヲ憐ミテヤルコトナドハ慈愛トモ中スベキカト云シコトア  
リ、又加州ノ犀川ノ上ニ寺町アリ、寺數十箇寺宇ヲ並ベタリ、其中ニ某寺ト云禪寺アリ、此禪寺ノ弟  
子僧年二十バカリナルガ、其近邊ノ屋敷ノ妾ト通ジテ、一日彼妾ト申合セテ兩人對ノ裝束ヲコシラ  
ヘ、其寺ノ後地ノ墓所ニテ相對死ヲシタルコトアリ、其翌朝寺ヨリ檢屍ノ役人ヲ請ジテ檢屍相濟ミ、  
何事ナフ相對死ト云テ外ニ罪人モ出來ズニ事濟ミタル事アリ、此時モ鶴ガ門人大勢寄合テ檢屍ヲナセ  
ル役人ヲ譽メ、外ニ罪人ヲモコシラヘズ、靜謐ニ事ヲ取計タルコト殊勝ナルコト也、鶴ニハ如何ニ存  
ズルヤト尋タルコトアリ、鶴云法ト云モノハ一向ニ左様ナルモノニアラズ、連累百人出來テモ、二百



人出來テモ、法ガ出來ル法ナラバ出來ル也、皆々ハ唯手ミジカニ濟ムコトヲ稱シテ法ニカマリヌ流ナルガ、手ミジカニサヘ濟メバ、法ニハカマワヌト云ノカ、法ヲ問ハズニ機轉頓智尊ビテハ、法ハ無フテモ有テモムダモノニ屬スル也、法ヲ以テ見レバ此檢屍役人甚不取計也、其故ハ法ハ根本ヨリリント立テ、貫キタルモノ也、上ハベノチヨイトシタルコトニアラズ、此弟子僧ノ知レ此不如法ヲスル根本ヲ尋レバ、此師匠坊ノ教方ノアシキ也、又教テ用ニ立ソウモ無クバ、親元ヘカヘスベキハズ也、一體農ハ田作サヘスレバ天職ヲ失ハヌト云モノ也、工ハ其業ヲ勤ムレバ天職ヲ失ハヌ也、今此師匠坊ハ己ガ教ル天職ノ上ニ、其人ト云ハ又人ヲ教ユル天職ノ人也、人ヲ教ルハ外ニ何モ勤ハナシ、唯其人ノ一國ノ手本ニモナリ、一國ノ人ヲ濟度スル様ニトテ、此弟子ノ僧ヲ教ユルコトナルベシ、鄭莊公弟共叔段我マ、モノニテ謀反ヲ企タル時ニ、孔子莊公ヲ共叔段ノ教方アシ、ト書キタルコトアリ、況ヤ今人ヲ教ル天職ノ人弟子僧ノ如レ此不如法ヲシタルヲ何トモ思ハヌハ惡キコト也、鶴役人ナラバ此師匠坊ヲ遠流スルカ、追院スルカ、某寺ノ役僧ヲモキツト罰スベシ、畢竟國ノ貧ニナルハ喰ツブシ多キ故也、出家ハ元喰ツブシノ者故、古ヨリ度牒ト云モノアリ、人ヲ度シテ僧ニスルコトハ至テ重キコトニテ、其節天子ノ敬慮ヲ經テ後ニ、太政大臣以下ノ御名スワリタルモノヲ賜フテ僧ニナルコト、今ノ位記ノ通リノモノ也、如レ此重クストハ畢竟人ヲ教ル役目ノ人故大事ノコト也、又人ヲ教ユル役目ノ出家人ノ妾ト通ジ、剩ヘ其女子ト相對死ヲスルト云フハ、此寺ノ法ノ立ヌコト默シテモ知ル、コト也、此寺ノ住持役



僧共法ヲカマワヌ男トモ相違ナシ、一國ニ一人喰ヒツブシアレバ、一人飢ユル人出來ルニチガヒナシ、民ノ作り出セル大切ノ五穀ヲ喰ツブスハ、田圃ヲ荒ラス鹿猪ニチガヒナシ、國ノ主人民ノ爲メニ此鹿猪ヲ狩リテ民ノ力ヲ休ヒ玉フ、此師匠坊モ、弟子坊モ狩リテ民ノ力ヲ休フコソ國ノ主人ヘノ忠義ナルベシ、ソレニ何ゾヤ、連累ナキヲ稱スルコトアルベキヤト云ヘルコトアリ、鶴ガ十六七ノトキ江戸ニ大火アリ、是ヲ辰年ノ大火ト云、目黒行人坂ヨリ千住ノハヅレマデ六里バカリ焼ヌケタル也、晝ノ八ツ過ニ焼出シタレドモ、七ツ過ギニハ西丸下ヘ燒來ル、外櫻田・馬場先・和田倉ハ内郭ノ又内也、夜中ニ女人ヲ出スコト堅ク禁制也、扨右ノ如ク遠方ノ火元ナレドモ、足早キ火事故急火也、去ル大名ノ奥方奥家老附添テ立除クニ、アチラコチラ火ヲ避ケ廻ハレドモ、西丸下一手ニナリテ燒ル故避ル所ナク、馬場先御門ノ下ヘ輿ヲ卸シテ、御門ノ番頭ニ對話スレドモ、夜中ニ女中ヲ御門外ヘ出スコト御禁制故、番頭決シテ出スコト叶ハヌ由ヲ云、奥家老段々ワケヲイヒテ、此門ヲ出ルコトナラネバ奥方燒死仕ル由ヲ云ヘドモ、番頭一向ニ御制禁ナリトテ承知セズ、奥家老大ニ困ミテ工夫ヲコラシ、火ノ盛ナル處ヘ行キ御使番ニ遇フテ右ノ御使番ニ頼ミ、何卒馬場先出門ノコト御取持下サルベシト云、御使番此由ヲ聞、大ニアワレニ思ヒ、奥家老同道ニテ御門ヘ來リ御門ノ番頭ニ對ス、拙者ハ御覽ノ通何某ト申御使番也、今日御目付代トシテ火事場ヘ詰メ居レバ、ヤハリ御目付也、上ヨリ御沙汰ゴザレバ拙者申ワケ仕ル、拙者一人切腹仕レバ事済ムコト也、御開門ナサレ女中ヲ御門外ヘ御出シナサルベシト云、御門ノ番頭是非ニ及バズ、御目付

様ノ御差圖トゴザレバ御門ヲ開ク也トテ御門ヲ開キ、右ノ奥方ヲ御門外へ出ス、其内ニ御門へモ火ヲ吹付ルト云様ナルコトニテ、辛キ命ヲ助リテ此奥方ノガレタリ、扱翌朝右ノ御使番門ヲタテ差扣ヘテ夜中ニ馬場先御門ヲ開キ去ル、奥方ヲ出シタル一件一々書述テ、御月番ノ若年寄へ差出シ切腹ノ心得也ト申述タリ、此節ハ御老中松平右近將監・松平右京大夫・板倉カ・秋元カ、今一人ハ松平周防守右ノ方々也、能クオチツキテ噪シカラヌ人也、扱世上ノ評ハ、大方此使番ハ御加増カ御轉役ニテ、結構ノ御役儀仰セ蒙セラル、コトナルベシ、扱彼馬場先ノ御番頭ハ不仁ノ人ナレバ、御沙汰有テ御罰ヲ蒙ルコトナルベシトテ、江戸中ニテ評セシ由也、御老中ノ御沙汰トシテ、右ノ御使番差扣其儀ニ不<sub>レ</sub>及旨仰出サレ、ヤハリ御使番也、何年立チテモ出身モナフ唯御使番也、彼御番頭ハ何事モナフヤハリ其屋敷ノ番頭ニテ、馬場先御門番御勤ノ中、ヤハリ此男御番頭也ト承ル、誠ニ法ヲ奉ズルコトハカクアリタキモノ也、大猷院様日光御社參ノ時、宇都宮ニテ本多上野介釣リ天井ト云モノヲ工夫シタルコトアリ、其時天井ノ細工ヲシタル大工ヲ殺シタルヨリ事アラワレテ、急ニ内々宇都宮ヨリ還御アリタルコトアリ、コレ世上ノ人皆知テ居ル話也、其時彦根侯ノ謀ニテ、白川侯ノ御祖ヲ上輿ニ移シ、大猷院様ハ白川侯ノ輿ニ召サレテ晝夜ニ還御アリテ、大手へ夜中ニ御着遊バサレ、御輿ヲカキタル御小性ハ石川島ノ石川也、高四百俵ニテ御小性ヲ勤メ、代々勇力ノ家ナレバ、此時彦根侯彼石川ヲ御供ニ付テ還御ナリ、石川大手ヲ扣キテ御門番眞田伊豆守殿也、御意得タシ、斯申ハ石川大隅守也ト云テ、眞田ト御門ヲヘダテ、右ノ趣ヲ話ル、眞田成

程眞ノ御還御ナルベケレドモ、日光御留守中ト云ヒ決シテ、夜中大手御開門ノコト叶ハヌコトナリトテ御門ヲ開カズ、石川大力ノ人故ニ大手ノクバリヲコジハナシテ、大猷院様ヲ御門内ヘ入レ奉ル、眞田見奉リテ大ニ驚キ、スグニ御本丸ヘ入ラセラル、眞田ハクバリトビラテ其儘ニ閉、夜白スルマデ御門ノ側ニ床凡ニカ、リテ御番ヲ勤ル、夜白テ眞田ト石川トヲ召出シテ、先眞田ハ御譽メニ、ヨク御門ヲ開カズニ守リシヨシ御褒美ナリ、石川ハ遠路御供仕タル御褒美トシテ十倍ノ御加増也、故ニ今ハ四千石、唯第一御要害ノ御門ノ戸ヲコジハナシタルハ、其罪ノガレガタシテ遠島仰付ラレテ、石川島ニ御屋敷ヲ下サレ、ヤハリ御小性勤メラレタルヨシ承リ及ベリ、大猷院様ノ法ヲ御マゲナサラヌコト如レ此難有コト也、凡世人智ノ字義ヲ知ラズシテ、才覺智慮ヲヒネクリマワヌ智ノ字義ト覺ルヨリ、萬端間違ガ起ル也、智ノ字ノ義ハ、吉ニ就キテ凶ヲ避クルト云義也、然バ如何スレバ吉ニ就クゾ、凶ヲ避クルゾト云ハ、天ノ理ニ從ヒテ天理ノ通りニ取行テ、己ガ自己流ヲトント出サヌガ、吉ニ就キ凶ヲ避クル傳授也、世人ノ智ト云ハ、天ノ理ニモ一向カマワズ、己ガ工夫ニテ巧ミテ、吉ニ就キ凶ヲ避ントスル也、眞ノ智者ハ己ガ智ヲ勤テモギトリ掃除テ、少シニテモ己ガ智ヲ出サズ、一々ニ天ノ理ニ從フ也、智ト云モノハ先バカリ見ヘテ本ノ昏フナルモノナレバ、トント油斷ノナラヌモノ也、進ムハ智ノモチマヘ也、工夫スレバ工夫スルホド先ヘノト進ム也、先ヘノト進ムハ段々ニ手本ハ見ヘヌヨウニナル故ニ、眞ノ智者智ヲ使ハントスル時ニ必ズ退ク也、退故ニ近キ處ガヨフ見ユル也、莊子ニ

趙ノ邯鄲ヨリ東ノ方ヘ行ク人ハ、始メハ邯鄲ヨリ出レバ、邯鄲ノ山目ニシツカリ見ユレドモ、行ケバ行クホドフリカヘリテモ邯鄲ノ山ヲ見ヌ也ト云リ、始メハ己ガ吉ニ就キ凶ヲ避クル工夫ハ、遠フナリテフリカヘリテモ見ヘズ、今盜人ノ刑ニ逢人始ハ己ヲ愛スルヨリ、己ガ腹ヘ旨キ物ヲ入ントシ、己ガ身ニ暖ヲ取ラントスル始メハヨケレドモ、刑ニ逢フ時ハ一向ニ己ヲ愛スル處ハ、フリカヘリテモ見ヘヌ也、韓非ニ智ハヨロシキモノナレドモ、目ノヨフニナラヌヨフニセイト云リ、目ハ他ヲ見ルニハヨケレドモ、目ヲバ見ルコトナラズ、マツゲサヘ見ヘヌ也、近キ處ハ見ヘテ開ケバスグニ他バカリ見ユル智モ、己ヲ知レバヨケレドモ、心動ケバスグニ他ヘ進ンデ己ヘ退カヌモノ也、天理ニ合スルハ、云テ見レバゾウサモナキコトニテ、思惟シテ慮ヲハコビ取コシラユルハ六ヶ敷コト也、人々ゾウサモナキ智ヲモギ除クコトラバセイデ、六ヶ敷慮ヲハコビコネクルコトヲスルハ、サリトハ目ニ似タルモノ也、鶴越中ニ遊ビタルトキニ、加州ノ大庄屋ニ書ヲ讀ミ風流書畫ヲ好ムモノアリ、加納村ト云處ニ居ル人也、古畫ノ三教ヲ寫セルヲ得タリ、イカサマ元來ガ明初ノ畫ト見ヘル也、段々鑑定家ノ所ヘヤリテ、宋畫ニ極メテ名人ノ筆ト定テ秘藏セリ、鶴ニモ見セテ鑑定ヲ請フ、鶴トクト見ルニ、孔子モ老子モ宜シケレドモ、釋迦宜カラズ、如シ一筆ナラバ名人ノ手ニ出タルモノニアラズト鑑定シタリ、主人云、皆人孔子老子ハ譽ズニ、釋尊ヲ出來ナリト譽ルニ、先生ニハ何トテ釋尊アシ、ト仰セラル、ヤト問、鶴云、此釋尊ハ理合ハヌコトアリ、名畫ニハ理ニ合ハヌ處ナシ、故ニ名人ノ手ニ出ザルコトヲ知レリ、



其ワケハ此釋尊ハ半眼也、半睡ヲ帶ビタル體也、謝肇淪ノ文海披抄ニモ古人ノ語ヲ引キテ、柔ラカキ  
幕ニ坐スルホドノ貴人ハ、精神スベカラク半睡ヲ帶ブベシト云リ、是ハ譚シカラヌ形容也、心ハ動キ  
ヤスキモノナレバ、ヤ、トモスレバ進ミ出タガル、少シネムヒト思時バカリ心何レヘモ動カズ、心シ  
ヅマリテジツトシテ居ル、貴人ノ心シヅマリテジツトシテオレバ、過チ出ソコナヒ無フテ宜シケレバ、  
須<sub>レ</sub>帶ニ半睡ト云ヘル也、釋尊ノ心ヲウゴカサヌ心ヲ丹田ヘオサメ玉ヘル處ヲ畫ントテ半眼ニカクコ  
ト也、故ニ半眼ノ像ハ皆安坐・趺坐也、肩ヲモガタリトオトシテ畫ク、左右ノ手ハ組デ趺坐ノ上ヘベ  
タリト置キ、人ノ踞リテ居ルヨフニカクコト理也、今此像ヲ見レバ立像ノ半身トミユル也、扱左ノ手  
下ヘソラセテ、右ノ手上ヘアゲテ、日月ヲ指ニテ作り居ル像ナリ、故ニ肩ヲオトシテハカケヌ故ニ、  
肩ヲハリ、イカリ肩也、イカリ肩ハ半睡ノ肩ニアラズ、半眼ハイカリ肩ノ眼ニアラズ、甚チカキ事先ヅ  
主人カクノゴトクシテ見玉フベシ、唯ゾウサモナキコトニテ、己ガ其風情ヲシテ見レバ分ル也、智ハ  
他ヘト遠走リヲスルモノナレバ、近キ處ハヌケテシマウ也ト云リ、主人ヤツテ見レドモ、半睡ニ  
ナレバ肩イカラズ、肩ヲイカラスレバ半睡ニナラズ、コレニテ古畫ノ鑑定極リタルコトアリシ也、鶴  
又甲州ニ遊ビタル時ニ、郡内谷村ト云所ニテ西六條院家ノ上人ニコハレタルコトアリ、鶴ガ文章面白  
シト云テ大ニ心安フ話セリ、此上人ハ書ヲモヨフ讀デ、佛學モヨフ極テ立派ナル學僧也、詩文章モ出  
來ル上人也、此上人ノ寺ハ勝沼ト云驛ノ東、轟村ニ萬福寺トテ、大刹ニテ即世人ノ知ル所ノ松ノ御坊ト

云寺也、是ハ親鸞上人ノ召上ルトキノ御箸ヲ倒マニ地ヘサシ置カレタルガ大木ニナリテ、枝ハ下ヘ下ヘト伸テ倒ナル杉ノ老木アル寺也、上人云、甲府ヘ遊ビ玉ハハ必拙僧ノ寺ヘモ立寄玉フベシトノカタガタノ約束ニテ別レリ、扱甲府ヘ遊ビシトキ轟村ヘ寄テ見ルニ、大地ノヨキ伽藍ナリ、本間十六間四面檜皮ヅキニテ甚立派也、上人云、此寺舊天台宗往古ヨリ此處ニアリシ寺ナルガ、親鸞上人御遊歴ノ時、其節ノ住僧親鸞上人ニ感服シテ、改宗シテ淨土眞宗ニナリタル寺也、御箸ノ杉ヲ拜ニ出ラレヨトテ、上人自身案内ニテ境内ヲ廻リテ扱御箸ノ杉ヲ拜ス、六百年ニ近キ木ナレバ、不殘朽テ根本漸ニ三四尺モ枯ナガラ殘リニアル也、其杉ノ上ニ龕ヲ立テ、覆テ一ツノ御堂トナリテオル、上人云、此寺ハ近年燒ケテ、本堂・經藏・鐘樓トモニ烏ゾ有ンヤ、本堂・經藏ハ即貧僧勸化シテ再興セリ、最早千兩餘ノ勸化ナレバ大ニ骨折タルコト也、谷村ヘモ即チ鐘樓ノ勸化ニ行タルガ、幸ニ先生ニ謁シタリ、先此祥瑞奇特ヲ見セテ語ルベシトテ、鐘樓ノ繩張ヲシタル竹ヲ指テ語テ云、此竹ハ貧僧ガ書齋ノ窓前ニ叢リタル竹也、鐘樓ヲ建ル時分ニ場所ヲ見立ルトキ、僕ニ其竹ヲキラセテコヽラガヨカラント云テ刺タル竹也、然ニ如レ此ニ枝ヲ生ジ芽ヲ生ジ葉ヲ出セリ、高僧ノ御徳ト云フモノハ不思議ナルモノカトイハレタリ、鶴謹ンデ承リ伏シテ考ヘテ、考ヒ當リタレバ手ヲ扨テ、成程高僧ノ御智恵ハ敏ナルモノナリト云、上人云、マダ／＼其コフナルコトニアラズトテ、寺ノ西ヘ出デ田ノアル處ヘ行、尤此田ハ御箸ノ杉ノチキ裏ニ當ル處ナリ、又栗ノ木ヲ指テ鶴ヲ顧テ云、此畔類レテ水他ヘ流レテ田中ニ水乏シ

キコトアリシ時、貧僧家來ニ云付テ栗ノ木ヲキラセテ此ヘ打込セテ、右ノ頽レタル畔ヲ修覆シタリ、其後ニ此栗<sub>ニ</sub>亦如<sub>レ</sub>此芽ヲ吹キ枝ヲ出セリ、先生ニハ何ト思ヒテ高僧ノ御智恵ハ敏ナリト譽ラレタルハ、如何ノ存寄アルヤト問ハレタリ、鶴云、此ハ畢竟上人ハ尋常ノ上人方ニチガヒテ御學力ト申シ、御家學悟入ノ御智識ナレバ、鶴諂諛セズニ直言仕ル也、尋常ノ上人方ナラバ唯親鸞上人ノ御德力ト申スベキヲ、智識ノアナタ様ナレバ、聖人ノ御敏智ト申タリ、土地ハ一統世界萬國ナレバ、唯自ラ土地ニテ些細ノ思慮アルニモアラズ、故ニ伯夷モ此ヲ履デ歩スレバ、盜跖モ此ヲ履デ歩ク也、善人ノ通行ニハ險阻タヒラカニナリテ、惡人ノ通行ニハ平地ソバダチカタムクト云ニアラズ、唯土地ハ自ラ土地ニテ、人ハ自ラ人也、別々ノコト也、善人ノ家ハクサラズ、惡人ノ家ハクサルト云モノニモアラネバ、又木ハ自ラ木ニテ、人ハ自ラ人也、木ト人ト別々ノモノ也、郭橐駝ハ植木屋ノ爺也、聖賢ノ類ニアラズ、唯土地ノ目利上手ニテ、木ノ心ヲ知タル爺也、故ニ郭ガ植ル木ハヨクツク也、土地ト木ガ郭ノ爲メニ其ノ性ヲ變ズルニアラズ、聖人ハ天ノ理ニ達シ、天地萬物ノ心ヲ推シテ知り得タル人ナレバ、土地ノ目利モ木ノ心モ能知リテオラル、也、故ニ聖人ノ植ル木モヨクツク也、土地ト木ガ聖人ノ爲メニ性ヲ變ユルニアラズ、如シ又土地聖人ノ爲ニ變ズルコトガ出來ルナラバ、堯ノ時ニ禹ハイラズ、ヨヒホドヨヒホドニ土地高フナリ、卑フナリテ、水ヲ海ヘ落シテ堯ニ御苦勞ヲカケヌ、夏桀・殷紂ノ陣屋ハ大地震ガユリテ、殷湯・周武ノ陣屋ハ米デモフキ出スハヅナレドモ、左様ニナキハ土地ト人トハ別々

ノモノナレバ也、鶴案ズルニ、凡ソ我邦ニテ第一ノ聖智叡敏ト云ハ、弘法大師・親鸞上人・日蓮上人ナルベシ、中々儒者ナドノアヲムヒテモ望コトノナラヌ方々也、鶴別段ニ難有感服ニタヘヌハ此三人ノ御方也、其内ニツキテ品ヲ立ツレバ弘法大師ハ第一等ノ智者ト見ユル也、鶴今ノ世ニ無キ御人ニ御目ニカ、リタキハ弘法大師也、鶴ヲ以テ見レバ堯舜ニモマサリ玉フヨフニ見ユルナリ、又實ニ堯舜ナドノ中々及ブ所ニアラザルベシ、天竺ノ釋尊ハ自ラ開闢以來第一人ノ人物也、我弘法大師・震旦ノ老子・孔子ハ相互ニ長短アルベケレドモ、智ハ弘法大師ニ上タル人ハアルマジ、孔子ハ重キ所アリ、老子ハ貫目孔子ヨリ輕キヨウナレドモ、智ハ極テ孔子ノ上也、我弘法大師ハ智ヲ好ム風故、貫目孔子ヨリ輕キヨウニ見ユ、皆一長一短ノ說也、其後ハ我親鸞上人也、此又弘法大師ノ及バヌ所モアルベシ、今御箸杉ノ榮ルヲ鶴鐘樓ノ前ニテ考ヘ當タルハ、凡ソ智ヲ養ヒ肥ス法ハ、見ニツケ聞ニツケテ唯通サヌコト也、惡人ニ逢バ惡人ノ情ヲ知ル、草木ヲ見レバ草木ノ情ヲ推ス故也、智者ノ行脚スルハチツトモ油斷ナシ、閑暇ナシ、已ニ鶴ナド三十バカリ國ヲ遊歴セリ、唯文章ニノミ心ヲ寄セテ、他ノコトニハ一向ニ氣モツカヌコト也、シカレドモ自然ニ山ノナリ木ノナリ、土地ノ鹽梅ナドヲ覺シコトモアル也、高僧ナドハ左様ノ迂濶ノコトニアラズ、唯通行スルニモチヨイト木ノ枝ヲ折テ刺シテ、サシ木ノヨフツク地脈ナドヲ一體目ニ見覺ヘテ居ル上ニ、何遍モノタメシテ見玉フコト、見ユル也、凡ソ土地ニマサ日イタ目ト云コトアリ、マサ目ト云ハ生レノマ、ノ土地ニテ至極ヨキ土也、イタ目ハ流レ土也、流



レ土トハ、生レノマ、ノ土ヘ土沙ナド流レ來テ、生レノマ、ノ土ヲ隔テタル也、凡ソ三都ヲ始メ城下ナド驛場ナドハフルキゴモクヲ捨場ナキ故、土ヲ掘テ埋メテ其上ヘ土ヲ置ク、此ハ類焼ナドアレバ、灰マサ目ノ上ヲ覆フ、小石ヲ敷ノ道ヲナラスノト云ハ、皆マサメノ上ヲイタ目ニスルコト也、イタ目ナドニハ刺木ハ一向ニツカヌ也、此甲州ノ山中ト云ヒ、寺ノ内ト云ヒ、古寺ト云ヒ、皆大マサ目ノマザリナキ土地ナリ、其上ニ此地脈地筋ガ刺木ニヨキ脈絡ト見ヘタリ、畔ノクエタル處ト、御箸ノ所ト、鐘樓ノ竹ノ處ト、此筋刺木ニヨキ脈理ナルベシ、唯鶴感心スルハ親鸞上人ノ御智ニ感ズル也、親鸞上人ノ御德ニテ土地性ヲカヘルトハ迷ヘル説也、土地ハ人ニ因テ性ヲカヘルモノニアラズシテ、土地ニ因テ土地ヲ自由自在ニツカフ也、先鶴ハ如此ニ考テ上人ノ御智敏ナル處ヲ感心仕リタル故、御德ト申サズニ御智ト申タル也、又當國ニ鶴飼ノ石アリ、是ハ日蓮上人ノ御手書ニシテ、南無妙法蓮華經ノ七字ヲ一石一字ヅ、御書寫ナサレテ、鶴飼ノ靈ヲ御弔ナサレタルコトアリ、其石ニ文字シミ入テ、石ヲワリテ見テモヤハリ文字アルナリ、此モ日蓮上人ノ世ニ先ダチテ、此様ノ些細ノコトマデモ御通知ナサレテゴザルヲ、鶴ナドハ感心シテ涕淚ノ流ル、ヲ知ラス也、石ガ御德ニヨリテ性ヲカヘ、墨ガ御德ニヨリテ性ヲカヘタリト云ハハ迷ナルベシ、其證據ハ倒マナル刺シ木モ、石ヘ墨ノシミコムノモ、今ハスル人大勢アリ、鶴飼ノ石ニ贗物アリ、又外ノ猥雜ノ字ナドカキテシミコマスモノアリ、唯御二人ノ上人ハ六百年モ以前ニ、コレヲ御通知ナサレテゴザルハ感心スルニタヘタルコト也、弘法大師並ニ御兩人ノ

聖人方ニハ、草木玉石自由ニナリテ、一向ニ性ヲカヘタルヨフニ見ユルガ御敏智ノナサル、處ニテハナキヤ、其博識頓智中々名儒ナドノ及ブ處ニナキ故ニ、鶴ナドハ歷代ノ巨儒鴻師ニ感ゼズニ、御三人ノ方ニ涙ヲコボスコト也ト申セシ、ケレドモ萬福上人暫クウツムキ考ラレタレドモ、イヤ／＼ソレガ儒者ノ迷也、高僧ノ事ハ德天地ヲ感ゼシム、況ンヤ木石ヲヤト云テ鶴ノ言ヲ信ゼラレズ、鶴モ思ニ、愚夫愚婦ヲ御教誨ナサル、御身ナレバ、ヤハリ御德ニシテオク方宜シキ也ト存ジテ、成程此事ニカギラズ儒者ハ迷ヒノ多キキモノ故、合點ノ參ラヌ處モアルベシ、今上人ノ仰セラル、コトコソ眞ナルベシト云テ仕舞ヲツケタルコトアリ、此上人左様ノヒヨロツキ上人ニテハ無ケレドモ、ソノ様ノコトヲ口外ナサレテハ、愚夫愚婦教誨ノサツリニモナルベケレバナリ、鶴別ニ弘法大師ノ眞言秘密ト云コトヲ考ヘタルコトアリ、是ハ氣ヲツカフ一段ナルベシ、此使<sup>レ</sup>氣ノ法ハ次ノ卷「占考談」ニテ説クベシ此萬福上人鶴ヲシテ三車堂ノ記ヲ作ラシム、凡ソ三タビ草起シカヘテ、ヨフ／＼上人ノ氣ニ入レリ、一體尋常ノ上人ニアラズ、ヨキ學力ノ上人ナリシ也

萬屋談終

養

心

談





## 養心談

古ノ賢人言ルコトアリ、之ヲ知ルコト難ニ非ズ、之ヲ行フコト惟難ト、イカサマニモ人ニ道理ヲ語リ智慧ヲ授クルハ、己ガ見タルコト聞タルコトヲ取集メ取ソロヘテ、其人々見聞カヒデ叶ハヌコトドモ、順ヲ立テ話スルコトハ左ノミ六ヶ敷コトニモ非ラズ、古人ノ出來シタルコト、仕損ジタルコトヲ並立テ話スルコト、是トテモ格別ニ骨ノ折ルコトニモ無ナリ、唯銘々ノ身ニ此ヲ取行フコトコソ六ヶ敷コト也、故ニ授クル人ハ優テ、受クル人ハ劣レリト云コトハサラニナキコト也、其上ニ受クル人ハ授カリタル上ニテ、此ハ用ニモ立ベキコト、此ハ用ニ立ニクキコトト擇ミ分テ取舍スルコトナレバ、成敗ハ受クル人ノ目利ニアルコト也、左レドモ受ネバ多カラズ、多ナケレバ擇ブコト精カラズ、精カラネバ智慧ヲ施テモ施シソコナヒアル也、故ニ智慧ノ賣手サヘアレバ、ヤタラニ買込ムコト也、此ヲ培養ト云也、植木ノ根ニツチカヒ養ヨウニ智慧ヲ培養スル也、智慧ハ心ノ動キ也、心ハ形ノキマラヌ物故、養ヒヨウニテ色々様々ニナルモノ也、楠正成ヤ諸葛孔明ノ話聞時ハ世ニ窘ルコトハ無ヨフニ思フ、越後ノ謙信ヤ楚ノ項羽ノ話聞トキハ、世ニ負クルコトハ無ヨフニ思フ、アワレナ話ヲ聞バ心悲ム、左スレバ心ハ如何様ニモ介抱ノ仕様ニテ變化スルモノナレバ、培養セズニ捨置クコト困ノタネ也、昔心ノ性

質急ナル人アリテ、己ガ性ノ急ナルヲ養ントテ、革ノヨクナメシタルヲ腰ヘ帶ビタル人アリ、心急ニナルトキニ右ノ腰ニ帶ビタル革ヲジツト握リ、コ、ジャ、コ、ヲユルメルコトジヤトヤシナヒシテ心ノユルヤカニナリタル人アリ、又心ノ性質寛ヤカナル人アリテ、己ガ性質ノ寛ニテ度々シクジリタル人、此ヲ養ハントテ弓ノ弦ヲ腰ヘ帶ビテ平生此ヲ見、此ヲ握テ心ノ寛ナルヲヤシナヒシテ、キリノチヤントシタル男ニナリタル人アリ、革ヤ弦ヲ帶ルモヨソ事ノヨウナルコトナレドモ、心ハ元來空ナルモノナレバ、何カ取附キバガ無レバ取マハサレヌ也、取附處サヘアレバ、甚愚ナル人ニテモ己ガ心ヲ取マワス也、甚ワカキ男ニテモ、己ガ心ヲ己ガ制スルコト出來ル也、大阪ニ和泉屋利兵衛ト云銅坐ヲ勤ル家柄ノ町人アリ、芝居ノ忠臣藏ノ天川屋ハ代々淺野赤穂侯ノ出入ノ町人天野屋也、此天野屋ノ孫ノ世ニナリテ和泉屋ノ甥也、天野屋ワカキ時ニ酒色ニ耽リテ、身上不勝手ニナリタルコトアリ、伯父ノ和泉屋ノ手代ヲヤリテ、身上ヲ引戻シテ富ス仕掛也、扱天野屋ヲバ懲シメノ爲メニ、和泉屋ノ手代中ニ入レテ、手代ノ如ニ使ヒシナリ、其節和泉屋ニテ金子五十兩封ノマ、ニテ紛失シタルコトアリ、種々ニサガシタレドモナシ、コレハ大方盜取タル人アルベシトテ、手代ヨリ下部デツチニ至マデ穿鑿シタレドモ盜手出ズ、主人ノ思ニ、扱ハ天野屋今以テ酒色ノ娛ミヲ絶ズシテ、金ニツマリテノ仕業ナルベシトテ、彼甥ナル天野屋ヲ一ト間ノ内ヘ呼寄テ申聞スニハ、扱其方ハ甥ノ事、畢竟伯父甥ノ中ナレバ、互ニ何モ隠スコトアラウハツナキコト也、此度ノ紛失ノ金子ハ、若ヤ其方茶屋ナドノ拂

ニツマリテ使ヒタルコトハナキヤ、打カケテケ様ニ云ハ、甥・伯父ノ中ノ事ナレバ遠慮モナフ尋ルコト也、家内ヲ穿鑿スレドモ盜手知レネバ、大方其方ナラント思也如何ゾ、尤此方ノ身上五十金紛失シタレバトテ、身上ノ傾クト云フニモナケレバ、若者ノ茶屋グルヒナキ筈ト云ニテモアラズ、左様ナラバ左様ト云ヘバ、伯父・甥ノ中ノコト隨分取ラスベキニ、ヨモヤ其方ニテハ有マイト思テ居タニトテ急度叱リタルトキニ、天野屋初ヨリ一言ノ言ワケモセズ、唯赤面シテ俯伏シテ申ハ、如何ニモ私ノ仕業也、御免下サルベシトテ伏居タリ、和泉屋云ヨウハ、扱其方ハ祖先ノ名ヲ汚シタル男也、其方ノ祖父ハ義ノ勝タル男トテ、芝居ニテモ士大夫ノ及バヌ義膽ナル所ヲスル也、見物モ其義氣ニ感ジテ涙ヲ流シテ、感心スルコト也、其義人ノ孫ニ其方ハ生レテ、伯父ノ封金ヲ盜出シテ、茶屋ノ拂ニスルコト一向ニ祖父ノ仕業トトツトノ裏腹也、以來深く思惟シテ愼シムベシト云、天野屋猶々伏シテ難有思召、以來甚以謹慎ニ相勤ムベシ、且又右五十金ノ金拜領仕ルモ、身ニ取リ不本意ノコトナレバ、月ニ二百疋ヅ、返上スベシ、其事御許容下サルベシト云フ、和泉屋モナルホド以來ノ懲ラシメノ爲ナレバ、月ニ二百疋ヅ、如何ヨフニモ身ヲツメ才覺シテ返スベシト云、天野屋難有トテソレヨリ月々ニ二百ヅツ主人ヘ返ス、扱其冬煤拂ノトキ、簞笥ノ後ヨリ右ノ封ジタル五十兩ノ金出タリ、手代打寄大ニ怪ミ、クリカヘシ／＼見レドモ紛失ノ金ニ相違ナシ、封モ印形モ月日付モ其時ノ儘也、扱主人ヘ斯ト申聞ス、主人取寄テ見レドモ、金其金ニ相違ナキ故大ニ駭キ、又天野屋ヲ内々一ト間ヘ呼寄、扱先達ノ



紛失金出タリ、アレハ其方ニテハ無カリシカト云バ、天野屋成程私ニテハナシ、私ハ一向ニ知ラヌコトナリト云、和泉屋申ニ、扱其方ニテモ無キニ、ナゼニ其方ジヤトハ申セシカト云バ、天野屋申ハ、アノ節ニ私デナシトテ爭ヒテモ、何モ證據モナキコト故私ジヤト申セシ也、後日ニ出デタルトキニ盜マヌ證據始テ明白ナルベシト存ゼシナリト云、和泉屋モ且ハ喜ビ且ハ耻テ、扱々其方ハ若キ者ノコト、怒氣ナドモ沸出ルモノナルニ、證據ナキトテ默シテ罪ヲ負フテ居ハ、サリトハ殊勝千萬ノコトナリ、老人大智者トテモ忍バレヌ處ヲ忍ハ大ニ感心シタルコトナリト云バ、其時ニ天野屋申ハ、是ハ中私ノ智ノ及處ニテハ無コトナレドモ、即祖父ノ遺訓トテ親共ノ私ヘ申聞セシ處也、祖父若キ時ニ赤穂ヘ下リ、御城ヘ出デテ蟲干ヲ拜見シタルコトアリ、其節ニ茶入一ツ紛失セリ、色々ニサガセドモ盜人知レズ、祖父ハ大阪ヘ歸リシ後ノコトナレバ、段々ニ評定シテ穿鑿スレドモ盜人知レヌ故、大石内藏介ヘ右ノ如ク申出ル、大石思ニハ、其節彼御間ヘ入タル者ハ天野屋ヨリ外ナシトテ、後ニ天野屋下リシ時ニ、大石内々天野屋ニ尋ルコト和泉屋ノ如ニ穿鑿セリ、天野屋申ハナルホド私ノ仕業也、何分大阪ヘ歸リ返上スベシ、何分御内々ニナサレ罪ヲ御免下サルベシト云、大石モ左様ナラバ内々又收メテサヘ置ケバ宜シキコト也、大阪ヘ歸リタラバ返上スベシト云、其後茶坊主ノ内ニ罪人出來テ、種々ニ僉議ヲキハメタルトキニ、彼坊主白狀スルウチニ茶入ノコトモアリテ、即其茶入ハ坊主ノ宅ニ有テ出タリ、大石大ニ慙テ天野屋ヲ呼ニ遣シ、右ノ通也トテ物語リ、扱其節ハナゼニ其方ジヤトハ申セシ

ゾト云バ、天野屋申セシハ、ナルホド私ニテハ無也、唯今ハシカト私ニテハ無ト申ナリ、御器出タルガ明白ノ證據故ニ、私ニテハ無キト申サル、コト也、先達ノ節ハイカホド私ニテハ無ト申タリトモ、其證據ナキ故猶々御疑ヲ蒙ルベシ、唯出ル間罪ヲ負テ居バヨキ也ト存ゼシナリ、且御當家様ハ大夫ノ御役ナレバ、僥忽ノコトワキヘ知レテハ如何ト存ジテ、私罪ヲ負テ居リシ也、私サヘ罪ヲ負テ居レバ事早フキハマリ、言語問答モ短フテ濟メバ、大夫ノ御僉議モ早フスミ、罪ハ私ニキハマリテ事濟也ト申ス、大石涙ヲ流シテ士大夫ニモナキ胸中ノ男ナリトテ、ソレヨリ深ク交ヲ結シ也ト申傳ルナリト天野屋語リシ由、是祖父ノ言ニ取付テ己ヲ取マハシ、己ガ怒氣ヲ己ト制シタル也、若シ祖父ノ言無クバ、若輩ノ人ノコト故、何ヘ取付テ己ヲ取マハスコトナルベキヤ、古ハ禮ヲ以テ心ヲ制ストアリ、己ガ心ヲ己ガ制スル故、何ゾヘ取付カネバ制スルコトナラヌナリ、性急ノ人ノ革、寛ナル人ノ弦、天野屋ノ祖父ノ遺訓、皆其取付ノ處ナリ、取付處ナケレバ心アヤブミテ慥カナラズ、故ニ怯懾ニナリテ畏懼スル也、今ヨリ四十年ホド以前ニ能勢助十郎殿ト云御先手アリ、能勢家ハ代々弓ノ家ニテ、御先手御弓頭ニナル也、此助十郎一體表勤ノコトデハアリ、御前ヲ甚懼レラル、正月射初ノ時ニモ、以前ヨリ面色青ク膚フルヒテ唇青ク、取廻シモ甚見苦シキホドノコト也、然レドモ其射ルトキニ當テ、弓矢ヲ持肌ヲ脱ル、ト一所ニ面色ホンノリト赤フナリ、膚モ滿テ唇モ赤フナリテ、笑ヲ含デ射ラル、年々能勢ハ二本共ニキレイニ中ル也、人々アヤシミ問テ申スハ、始ニハ何トテ恐レ玉フコト甚シテ、終ニ

ハ何トテ恐レ玉ハヌコト甚シキヤ、能勢申サル、ハ一體ハ甚恐ロシキ也、左レドモ弓矢ヲ持テ的ニ臨  
バ、誰ニテモ天下ニ恐ロシキモノハ無ナリト思フ也ト申サレシヨシナリ、是弓矢ニ取付テ己ガ勇氣ヲ  
養タルモノ也、孟子ノ言ルハ、浩然ノ氣ヲ直ヲ以テ養ト、直トハ天ノ理也、天ノ理ヲ己ガ腹中ニ收  
テ、此理ヲ大切ニ守テ居レバ、天下ニ恐ロシキコトハ無ト云心ナリ、唯事ニツキ物ニヨリテ心動ク故、  
此天理ヲ守ルコトヲ忘レテ、心ハ心ノ居ルベキ地ニ居ラズ、末ニハシルコト人ノ情也、心末ニハシレバ、  
大智者トイヘドモ取付ハ無故ニ、アブナフナリテ迷ナリ、心ガ心ノ居ル處ニ居バ、大愚者ト云ヘド  
モ動ヌ故、心慥ニナリテ畏レヌナリ、曲尺ハ四角ナルモノ、手本取付也、曲尺ニ取付テ居バ心畏レ  
ズ、心オチツキテ迷ハヌナリ、細工人ノ極名人ニテモ、曲尺ナシニ四角ナルモノヲ作ントスレバ、取  
付無キ故ニ心勇ナラズ、アブナキ也、大下手ノ細工人ニテモ曲尺アレバ四角ハコレニ違ナシト思故ニ  
恐レヌ也、曲尺ハ法也、是ヲ心ニチアチコナト運用スルハ術也、天理ハ法也、是ヲ心ニテ運用スルハ  
術也、法ハ死物也、術ハ活智也、凡心ヲ治ルヨリ家國天下ヲ經營スル、皆是法術ナクテハ叶ハヌ也、  
曲尺ト心ト兩方ナクテハ叶ハヌト同コト也、後ノ儒者孟子ヲ誤リ讀テ、王道ハ仁義ニテ天下ヲ救フ、  
霸道ハ法術ニテ國ヲ富マス、王道コソ尊ムベシ、霸道コソ賤ムベシト云、皆孟子ヲ委ク讀ヌ故ナリ、  
其故ハ孟子ノ時ハ上ニ天子無テ、下ニ王ト稱スルモノ六人モ七人モアリ、各二三千里四方ノ國ヲ持テ、  
各天子ニナラント思時節也、故ニ孟子ノ王道ト云ハ殷湯・周武ヲ指テ云、天下ヲ丸取ニシタル人ヲ指

テ云、其時ノ六七人ノ王ノ腹ニシツクリ合也、今ノ儒者一萬石ノ大名ニモ三萬石ノ大名ニモ、此王道ヲナサレヒ、霸道ヲ御停止ナサレヒト云、殷湯・周武ヲ諸侯ヘス、ムルハ勿體ナキコトニテハナシヤ、其上王道トハ外ノ無キ名也、天下ノ人皆心服シテ一向ニユルガヌ時ノ名也、霸トハ外ノアル名也、天下ノ人ヲ力ニテ服サセテユルガサセヌ時ノ名也、賴朝・足利・豐臣・御當家様ハ皆霸也、湯・武ノ定本ハサツバリ合ハヌ也、御政ハ諸侯ノ政ニカハリタルコトナシ、唯第一ノ大國侯ニテ、何卒天下ヲ九取ニセント思人ナラバ、湯・武ノ定本合也、左様ノ諸侯方今時アロフハヅナシ、ヤハリ霸デヨキコト也、禮樂ハ即法也、仁義ハ即術也、禮樂ハ死物也、仁義ハ活智也、且王道ヲ以テ天下ヲ取ト云ハ、天下自然ニ流込ニナリテ獨手ニ取レント云コト也、故ニ王道ハ外無キ名也ト云ナリ、他人ナキナリ、敵ナキナリ、皆身内ニナル也、親子ノ通ニナル也、親ノ物ハ子ノ物、子ノ物ハ親ノ物故、子ニ物ヲ賣ト云コトナシ、子ノ物買フト云コトナシ、親ニドレホドノ世話ニナリタル故、ドレホドノ價ヲ償ト云コトナシ、子ニドレホドノ働キヲサセタル故、ドレホドノ價ヲ償フト云コトナシ、故ニ王道ノ行ハル、世ニハ盜賊懶民ナシトシタルモノ也、民ノ物ヲ上デ取テモ民何トモ思ハズ、上ノ物ヲ民取テモ上何トモ思ハズ、親ノ物子ガ取リ子ノ物ヲ親ノ取ル通也、是盜賊懶民アリテハ一向ニ行ハレヌ道也、王道ノ行ハレタル世ハ、堯舜ト三代ノ初代グライノコトハ知ラズ、ズント合點ノユカヌ話也、今ノ世ノアリサマヲ以テ見レバ、多分ハ針程ノコトガ棒程ニナリタルコトナルベシ、譬ヘバ十年カ二十年ツバキテモ、



長フハ行ハレヌコト也、如何トナレバ、治世ニナレバ奢侈ニナルハ當然也、奢侈ニナレバ民巧ミニナルモ必定也、巧ミナリテハ、上デモ下ノ取次第トハ出ラレヌ也、下デモ上ノ取次第トハセラレヌ也、況ヤ今ノ通利ヲ爭フ世ニテ、王道々々ト云ヒタレバトテ益ナキムダゴト也、今江戸ニテハ上ノ物ハ下ノ物、下ノ物ハ上ノ物トシタラバ大亂ナルベシ、先御拂米トテ米ヲ下ヘ御賣ナサル、也、御買上トテ紙一枚デモ、價ヲ御ネギリナサレテ御買上ナサル、也、江戸ニテハ諸國ノ金ヲ江戸ヘ引上ントスル、諸國ニテハ江戸ヘ吸取ラレマヒトスル、賜ルダケノ御奉公ヲ勤メズ、賜ルダケノ骨ヲ折ズ、民ノ物ヲ上デ御取ナサレバ一揆ヲ起ス、上ノ物ヲ民取バ死罪也、晝ノ内ニ盜ニ逢タルモノハ、逢タルモノ、油斷也、此盜ハ捕ハレテモ死ニ處セラレズ、巾着切ハ巾着ヲ切ラル、人ノ油斷ナリ、故ニ輕罪ニテ事濟也、左スレバ盜賊ハアリウチ取ラレヌヨウニセイト也、如又上ノ物取次第ナレバ、一人モ働モノアルベカラズ、左スレバ懶民ハアリウチマメニ働カヌガヨキ也、鶴按ズルニ、今ノ世ノ勢ヲ以見レバ、霸道ハ天理ニシツカリ合テ居ル也、王道ハ今ノ世ノ人情ニハ一向ニ近カラズ、一體今ノ王道ビイキナル人ハ手前勝手ナリ、上ニテハ王道ハ結構ナモノナリ、刑モ措テ用ヒズ、觸モ廻サズニ民働ク、靈臺ヲ作バ一日モカ、ラズニ出來ル、年々豐年ニテ拱ヲ垂テ遊ナガラ、ブラリト何モセズニ天下治ルト、四方ノエビス共ハ八重モ九重モ通事ヲカサネテ、種々ノ物ヲ献上スル、扱モ面白キコト也ト云心也、是ハ極極世界百味ノ飲食ノハナシ也、多分ハ針ト棒トノコトナルベシ、下ニテハ王道ハ結構ナルモノナリ、

ヤタラニ下ヘ物ヲ下サル、首ヲ刎ラル氣ヅカヒナシ、牢ヘ入ラル氣遣ナシ、水モ出ズ、旱モセズ、我  
ラヲバ手負瘡病ノ人ノ如ニ御介抱下サル、魚ハ池ニアソビ、米ハ畔ニ滿テ取次第也、扱々ムマキモノ  
也ト云フ心也、是又極樂世界百味飲食ノ話也、上デハブラリト遊デ居テ、下ニ働カスツモリ也、上モ  
下モブラリト遊デ用事十分ニ足バ、百味ノ飲食ハ天ヨリ降ラネバ出來ヌ事也、如シ天ヨリ物降ラネバ、  
下カ上カドチラノ願カ一ツハ叶ハヌ也、今ハ谷風ト小野川ノ角力、ドチラモ大勝、ドチラモ十分ノ勝  
ト云コトハ無コト也、一向ニ角力ヲ取ラズバドチラモ負ナシニ濟ベシ、一向ニ食セズニ居ナラバ、ド  
チラモブラリトシテイテ事濟ムベシ、一體上デハ上デ働カズニ、下ガ孝悌忠信ニナリテ、能上ヘ事  
フルヨフニト云フ願也、下デハ下デ働ズニ、上ガ大仁者ニテヤタラニ物ヲ賜ルヨフニト云願也、百萬  
歳待テモ遇ハレヌ事也、ソコデ儒者タメイキツキテ、呼嗟悲矣哉聖王出ズ、民皆奸猾ニテ此方ノ手ニ  
アハズ、呼嗟悲矣哉ト云フ也、イフテモ益モナキコトナリ、所詮民ハ年々ニ奸猾ニナルニチガヒナシ、  
儒者ハ孝悌忠信大善人ノ民ヲ治ムル仕方ヨリ外知ラズト云モノ也、馬ヲ乗ルコトヲ教ル人ハ、大無事  
ナル馬ヲ乗ル仕方ヨリ外知ラズバ、大下手馬乗ナルベシ、サスレバ善民ヲ御スルハゾウサモナキコト  
也、善馬ヲ乗ルコトハゾウサモナキコト也、善民ニスルガ六ヶ敷也、善馬ニスルガ六ヶ敷也、善民ニ  
ナルヨフニトスルハ無理也、民ハ智ノナキモノ也、ブキヨウナモノ也、故ニ善民ニナルト云コトハナ  
キコト也、善民ニナラネバナラヌワケ有レバナナル也、善馬ニナルヨウニスルハ無理也、馬ハ智ノナキ

モノ也、ブキヨウナルモノナリ、故ニ善馬ニナルト云コトハナキコト也、善馬ニナラネバナラスワケ有レバナナル也、人ノ性若キ時ハ誰レモ〳〵朝寢也、朝興ニナルヨウニスルハ無理也、朝起ヲセネバナヲヨウニトハナル也、御泰公ヲ始メヌ士ノムスコト、町人ノムスコトハ極々ノ朝寢也、分大ナル職人ノムスコハ中也、御番ヲ勤ムル士ノムスコト、朝飯ヲ買フ錢ノナキ雲助トハ極ノ朝起ナリ、雲助ニハマダ〳〵ソレデモ朝寢ヲスルムスコハナキ也、朝寢ヲスレバ御番ノ間ニ合ハヌ故、罰ヲ蒙リテ叱ラル、トカ、度々ニ及バ役ニハナル、トカ、罰ヲ蒙ルガイヤ故ニ、是非ナク朝起ヲセネバナラス也、雲助モヒダルヒ處ハ苦シケレドモ、罰ヲ蒙ルコトガ無キ故ニ、朝寢ヲスル奴モアル也、職人ノ分大ナルハ業ノ多少ニヨリテ、錢ノ入りチガヒアレドモ、罰ヲ蒙ラス故朝寢ヲスレドモ、衣食ノ責アル故中也、御泰公ノナヒ士ノムスコ金持町人ノムスコハ、朝起ラレヨフハヅナシ、民ヲ善人ニモ、馬ヲ善馬ニスルモ、ムスコヲ朝起ニスルモ皆同ジコト也、皆セネバナラスデアリテナルコト也、聖人ノ世ニ「刑措而不<sub>レ</sub>用」ト云ハ、百味ノ飲食ノヨフナル話ニアラズ、天ヨリ降ト云ヨウナル話ニアラズ、金持ノムスコガ朝寢ヲ止メタト云ヨウナ話ニアラズ、ヤハリ米ヲ買フテ薪ヲ燃シテ煎ネバ飯ニナラス也、働カネバ財寶ハ殖ヌ也、金持ノムスコハヤハリ朝寢也、唯聖人ハ仕方ガ上手故ニドウカ御祈禱デモシテ、民コ善人ニ自然ニナルヨウニ見ユル也、凡ソ此御禱ヲスレバ雨が降ル、晴ル、身代ガヨクナル、國ガ治ルナドト云フ、話ハ皆ムマキモノナレドモ、左様ナルムマキコトハ決シテ〳〵ナキコトナリ、又御祈禱

ニテ民ガ善ニナル、世ガ治ラフナラバ、百官・百司・庄屋・名主ノ類トントイラズ、祈禱和尙一人ニテ濟ムコト也、凡ソ自然ニナルナドト云類ハ皆無益ノ戲言也、ヒマツブシト云モノ也、自然ニナラフハヅナシ、左様ナラネバナラヌ理現在アリテナル也、先聖人ノ政ハ信ヲ本トシタルモノ也、信ハトントノ本也、孔子ノ政ヲ語ラル、ニ、兵ト食ト信ト是三物ハドレモ棄テラレヌモノナレドモ、モシ已ムコトヲ得ズシテ、此ウチヲ棄ネバナラヌ日ニハ兵ヲ棄ル也、食ト信トハ是非々々棄ラレヌモノナレドモ、如シヤムコトヲ得ズシテ、此ウチヲ棄ネバナラヌ日ニハ食ヲ棄ル也、信ハトントステラレヌ也ト仰セラレタリ、信トハ口外へ出シタル通ニ行フコト也、國ノ掟ヲ作バ掟ノ通ニ行フ也、觸ヲ廻セバ觸ノ通ニ行フ也、ドフモ行ハレソウモナキコトナラバ、始ヨリ掟ノケ條へ入ヌガヨキ也、觸ヲ廻サヌガヨキ也、故ニ掟ヲ定、觸ヲ廻スハ甚大切ナルコトトスルナリ、唯行ハ行ハル、コトヲ口外へ出ス也、故ニ聖人算用ヲシツメテ見タルトコロガ、掟ハケ條ノ甚少キガヨシ、扱ゾウサモナフ人ノ出來ルコトヲセイト云フガヨシ、扱セイデモズイブン濟ムコトヲスナト云ガヨシ、左ナケレバ後ニ行ハレヌ故ナリ、一度掟定マレバトント其通ニセネバナラヌ故、如レ此ニ輕クスルコト也、觸モ其少ナキガヨシ、一度觸バ其通ニセネバナラヌ故也、譬ヘバ町人ハ絹ツムギノ外御法度、銀ノ算御法度、賭ノ諸勝負御法度ノ類舉テ數フベカラズ、今ハ其掟通ニ守ル人一人モナシ、左スレバ上ノ法ヲ守ル人ハ一人モ無ナリ、上ノ法ヲ守ラヌ人多テモカマワヌハ、上ノ人信ヲ立ル氣ナキ也、上ノ人信ナケレバ下デ上ヲ疑フ也、



下デ上ヲ疑ヘバ、是後ハ上ノ言行ハレヌト云者也、上ノ言行ハレネバ君デナシ民デナシト云モノ也、故ニ食ヨリモ重キハヅナリ、聖人ノ言ノ確乎トシテ動カヌコト如是ナレバ、是則聖人治國平天下ノ傳授也、然ラバ如何スレバ信立ト云バ、法ヲ少シテ嚴ニスルニ若クハナシ、隨分御法度ゴトノ少ナキガヨキ也、其カワリニキツト掟ノ通ニ行也、銀筭御法度ト口外ヘ出シタラバ、天下ニ銀ノ筭ヲ用フル人一人モナキガヨキ也、又銀ノ筭用テ苦シカラズバ、始ニ法度ニセヌガヨキナリ、故ニ法度ヲ立ルコト甚六ヶ敷コト也、故ニ法ハ簡ニシテ嚴ナルニ若クハナシ、簡トハ竹ノ節ノ間遠キコトナリ、故ニ事少ナニ略シタルコト也、法ハゾウサモナフヶ條立少ナキガヨキ也ト云コトナリ、嚴ハ見テモゾツト恐ロシキコト也、トントキツト其通ニシテ宥メヌコト也、又宥テ宥メラレバ掟ト云ニ非ズ、宥メラレヌガ法也、掟也、一度キメタラバ最早再ビマケヌト云コト也、是ハ恩ノ少ナキノニハ非ラズ、慈悲ノ少ナキノニハ非ラズ、言出タル人ガ聖人ナレバ、隨分恩モアリ慈悲モアルナリ、法ヲ簡ニ立テ、嚴ニスルハ、即恩大ニシテ慈悲深ケレバ也、法簡故ニ守ニ守ヤスシ、嚴故ニ法ヲ犯スコトナラズ、法ヲ犯サヌ故ニ刑スル人ナキ也、人ヲ刑セヌコトホド恩デ慈悲ナルコトナシ、人ヲ刑セズトハ刑スベキ人ヲ刑セヌデハナシ、刑スベキ人ナキ也、刑ヲ嚴ニセネバ人ノ法ヲ犯サヌヨウニハナラヌ故ニ刑人ナキ也、刑措テ不用トハ法ヲ嚴ニスル故也、民樂ムトハ法簡ナル故也、後世ハ聖人ノ傳授ノ信ノ字一向ニキマラズ、法煩ニテ情也、煩ハヶ條立ウルサウテ多キ也、情トハズルケル也、皆聖人ノ仕方ノウラハラ也、

刑人多キハヅ也、是ホド思少ナフテ慈悲ノ少キコトハナシト知ルベシ、故ニ法ト術トハ無クテナラヌモノ也、法術立テバ民樂デ刑人ナキ也、自然ニテモ御祈禱デモナシ、法術立テ下々善ヘユカネバナラヌヨウニシタルモノ也、蟻ヲ墻ノ外ヘ出スヨウナルモノ也、蟻ハ何ト云フ心カハ知ラヌ、一ツハ左ヘ行ク、一ツハ右ヘ行ク、一ツハ南ヘ行ク、一ツハ北ヘ行クモノ也、思ヒ／＼ニゾヨ／＼ト縦横ニ這ヒマワリテ、雁・鳧・棕鳥ナドノヨウニ一所ニ連テ行クモノニアラズ、民ノ心ノ一人ハ孝ガスキ、一人ハ盜ガスキ、一人ハ正直ガスキ、一人ハ何ガスキト、テン／＼ニ心ノ行處ノ違ニ異ナラズ、此色々ニ動テゾヨ／＼トアチコチト思ヒマワルコト蟻ニ異ナルコトナシ、蟻ヲ一ツヤ二ツナラバ抓ミテ墻ノ外ヘモ出スベケレ、一萬モ二萬モアル蟻ヲ何トテ一々ニ抓ミ出シヨフゾ、民モ十人カ二十人ナラバ一々ニ申含メ、目ヲ見張テ居ルコトモナルベケレドモ、十萬人モ百萬人モ數カギラヌ人ヲ、何トテ目ニテ見張テ居ラリヨウゾ、左ヨウセネバナラヌコトニナリテサスヨリ外ナシ、蟻ヲ墻ノ外ヘ出サウト思ニハ、蟻ノ群ノ外ヨリ水ヲウチテ、ダン／＼道ヲセバメテ墻ノ方バカリアケテ、水ヲダン／＼ニ墻ノ方ヘヨセテ攻カクルヨリ仕方ナシ、左スレバ蟻左ヲ見テモ水、右ヲ見テモ水ナレバ、止コトゾ得ズ水ノナキ方ヘ／＼ト行ク也、何方ヘ蟻ヲ導キヨフト一ツナリ、民ヲモ法ニテ刃モノ・縄目・牢屋ノ無キ方ヘ／＼トアルカセルヨリ外ニ仕方ナシ、蟻ノ墻ノ外ヘ出ルノモ、民ノ孝悌忠信ニナルノモ、自然ニナルニ非ラズ、ナラネバナラヌ也、鶴昔上州ノ溫泉ヲマワリタルコト有リ、澤足ヨリ草津ヘ行途中ニ

ナゾヘナル阪路アリ、右ノ方ハヅツキリト切りタルヨウナ削壁也、始ハ平地ニテ扱一尺ノボリ二尺ノボリ、後ニハ五丈モ十丈モアル削壁ノ上ヲ通ル也、始ハ恐ロシフナキ也、落タルトコロガ一尺カ二尺ノコトナレバ、ケガラサヘスル氣遣サイナキコト也、五六丈ノ處ヘノボレバヅツ／＼トシテ恐ロシキ也、一向油斷ヲセズ、落レバチガヒナフ死ヌ故也、其邊ノ樵ノ云ニハ、扱此路ホドホソフテ通りニクキ路ハナシ、一尺二尺ノ處ヨリ三尺四尺ノ處ヘハ人ノ落ルコト平生也、ナンボモ落ル人アリ、一丈二丈ノ處ヨリ落タル人一人モナシト云ヘリ、落テモケガセヌ處ヘハ人落ル、落ルト死ヌ處ヘハ人落ヌハ、油斷ヲセヌトスルトノ違也ト此樵者語レリ、一體己ガ腕ニテカセギテ取タル物ガ眞ニ天ヨリ賜リタル物ニテ、己カセギモセズニ取タルハ眞ニ得タル物ニテハ無レドモ、途中ニ落タルモノヲ拾ハ天下ノ人皆然也、小盜ヲスル人ハ物ヲ拾フ人ヨリズツト少シ、巾着切ハ小盜ヲスル人ヨリハ又ズツト少シ、人ヲ殺シテ物ヲ取人ハ又々大ニ希ナルコト也、人ヲ殺シテ物ヲトレバキツト違モナフ死罪ニナル故ニ、人ヲ殺ス人ハ少ナキ也、巾着ヲ切レバ入牢入墨也、小盜ハ打タ、カレルバカリ也、物ヲ拾ハケガモセヌ故也、是ガケ路ノ論也、法ユルケレバ犯ス人多シ、嚴ナレバ犯ス人少ナキコト、是ガケ路ニチガフタルコトナシ、聖人ノ世ニハ刑ヲ犯ス人ナキ也、犯サレヌ也、刑ヲ犯サヌヲ善人ト云也、人々善人ニナルヲ仁政ト云ナリ、人々聖人ノ民ノ善人ニナルノヲ見テ、扱ハ聖人何トテ人ヲ善人ニナサル、ゾト云考テモ考ツカヌ、扱ハ御祈禱ノ類カ、自然ノ廻リ合カト思ヨリ、天ヲ祭り神ヲ祭テ、天ヤ神ヲ使氣

ニナル也、天ハ尊キモノ也、神ハ尊キモノ也、人ニ使ル、理ノモノニアラズ、且天ニ骨ヲ折セ神ニ骨ヲ折セテ、己ハブラリト遊デ居テ治平スルツモリ也、アブナキコト也、且天ハ人ニアラズ、神ハ人ニアラズ、ソレヲ人ノ馳走スル御料理ヲ上ゲ、樂ヲ御覽ニ入レテ天ノ氣ゲンヲ取テ大ニウカス積リ也、天ヲウカスハ天ヲダマス也、馳走ヲスル故ニ民ヲ善ニシテ下サレ、樂ヲ御目ニカケル故ニ水旱ノナヒヨフニシテ下サレト云テ、馳走ヤ樂デ天ヲ吞込マセル積也、是甚愚ナルコトナリ、神ヘハ立派ニ御社ヲ建上テ、祭祀ヲシテ上テ是デ神ニヘツロフ積也、天ハ理也、神ハ理也、天モ神モ無理ナルコトハント御キラヒ也、旨ヒモノヤ面白ヒコトデダマサレテハ、天デモ神デモ無也、且天モ神モ人デハナシ、人ノ心ヲ以テ天ヤ神ノ心ヲ推スハ、魚ヲ愛シテ蓐ノ上ニオキ、鳥ヲ愛シテ巨燧ニオキ、獸ヲ愛シテ芝居ニ連テ行クニチガヒタコトナシ、人コソ蓐ニ居リ、巨燧ニアタリ、芝居ヲ見ルガ面白カルベシ、人デ無モノガ何ゾヤ人ノ面白キト思フコトガ面白カルベキヤ、況ヤ天ト神トハ理也、チャラクラダマシゴトデ使トスルコト勿體ナキコト也、左レドモ今ニ至ルマデ兎角此弊止マズ、支那ニテハ大儒ト云ヘドモ、ヤハリ天神ヲ祭レバ、福ヲ得ルト思テ居ル人多シ、聖人ノ天ヲ祭ルハ甚以テ譯ノ込入リタルコト也、天ヲ欺クニモダマスニモ非ラズ、清水ノ觀音ヘ斷食ニテ通夜スル人アリ、其人ノ願ハ金ヲ十兩拾ヒ得マスヨウニト云願也、扱七日ノ夜ニ當リテ觀音大士夢中ニ來リ玉フ、其人ニノタマヒケルハ、其方ノ願處尤ノコト也、願ノ通ニ叶ヒタマワランガ、先金子十兩ヲ懷中シテ京中ヲ徘徊スベシ、必其瑞



祥有ルベシト也、其人大ニ喜コビ、金子十兩才角シテ懷中シ、京中ヲ徘徊スレドモ、日暮ニ至ルマデ一向ニ拾ハズ、大ニ大士ヲ怨ミ奉テ、歸ニスグ清水ヘ參リテ又其夜通夜シテ、何卒觀音大士ニ御目見仕タシト祈禱ス、其夜又夢中ニ大士出現マシ、テ、何故ニ逢タキト云ゾト尋ネ玉フ、其人大ニ怒リ怨ミテ申ハ、大士ノ教ノ如ク金十兩才角仕テ京中ヲ徘徊仕タレドモ一金ヲモ拾ヒ得ズ、御怨ニ參上仕タリト云、大士仰ラル、ニハ、京中ヲ徘徊シテ扱彼懷中ノ十兩ヲ落シハセスカト仰セラル、其人中々其金子ヲバ落シ申サズト云、其時大士ノ仰ラル、ハ、左様ナラバ中々我神通ニテモ、其方ニ拾ハスコトハナラス也、他人ノ十兩ヲ落サスハ、其方ガ落サヌニ異ナルコトナシ、誰カ落ス人ナケレバ拾フコトアルベカラズト仰セラレタリ、其人是ニテ頓悟シテ、大ニカセギテ散財ヲ止メタレバ、大ニ富タルト云話アリ、是甚虛談誣妄ノ話ナレドモ、イカニモ神ノ心イキヲヨフ云取タル話也、天モ神モ無理ナル願ヲ聞玉フ理ナシ、理ナル願ハ皆叶テ、無理ナル願ハ一向ニ叶ハヌ故ニ、天モ神モ理也ト申ナリ、左レドモ大官巨儒ハ兎角天神ニ馳走シテ福ヲ得ル積リナレバ、ヤハリ天神ヲダマシテスカシテハムキヲスル積也、淺草ノ觀音ヘ百日朝參ヲスル人アリ、同ク又百日朝參ヲスル人、毎朝々々逢テ同様ニ觀音大士ヲ拜スル、一人ハ口中ニテ何カ祈ゴトヲ云、一人ハ心中ニ祈請ス、扱心中ニ祈請スル人、口中ニテ何カ云人ノ言コトヲ聞ケバ、何卒大士ノ法力ニテ金百兩御拾ハセ下サルベシ、右ノ願請ノ爲ニ百日ノ間一日モ怠ズ遠方ヨリ參詣仕ルナリ、且百兩拾ヒ申上バ九十九兩ハ即大士ヘ献上仕ルベシト云、扱

又兩人例朝ノ通り連立テ、歸路ニテ心中祈請ノ人申ハ、扱今朝貴公御願ノ様子ヲ承ルニ、百日ノ間每  
朝怠ナク御參詣ニテ、百兩拾フ御願尤千萬也、左レドモ百兩御手ニ入タラバ、九十九兩ハ大士ヘ御獻  
上ト申スコト也、差引殘テ金一兩也、金一兩ニテ百日ノ毎朝參詣ニテハ、裾モ切申スベシ、ハキモノ  
モ切申スベシ、一兩ニテハ些引合申マジト存ズル也ト云、其人四方ヲキロリト見テ申ハ、決テ／＼他  
言ハ御無用也、百兩手ニサヘ入レバ、ドコヘモ一錢モヤルコトニテハナシト云ル話アリ、此話甚狎褻  
ノ話ナレドモ、凡ソ天ヤ神ヲ祭テ福ヲ得ント思人ハ、此人ニ何モ異ナルコトナシ、欺ク積リナリ、祭  
ニ百兩入レテ千兩ヲ取ト云積リナリ、左様ノムマキコトアロフハヅナシ、昔漢ノ丙吉出テ人ノ死傷  
セルヲ見テ、見向モセズ行過タリ、丙吉ハ宰相ニシテ江戸ノ御老中、萬機ノ政ヲ總テ號令ヲ出ス役也、  
大事ノ御役ナレバ民ノ死傷ヲ大ニ氣ニカケベキコトナレドモ、些モカマワズニ行過タリ、其後ニ牛ヲ  
牽テ行ク人アリ、牛大ニ喘ギテ口ヲアキ涎ヲ流テセイ／＼ト云テ過行バ、丙吉大ニ驚キ車ノ中ニテ大  
ニサワギタテ、扱御者ニ云ニハ是ハ大事也、彼牛ヲ牽男ニ早々尋ベシ、アノ牛ハ遠方ヘ牽牛カ、大ニ  
路ヲコメテ急デ逐フカ、何トテ口ヲアキテアヘグゾト聞クベシト云、御者ノ云ヨウニ相公ニハ前後間  
ヲマチガヒ玉ハリ、前ニハ民ノ死傷セルヲ見テ問ハズ、後ニハ牛ノ喘グヲ見テ驚テ問フハサカサマナ  
ルコト也ト云、丙吉大ニ笑ヒテ其方共ノ知所ニアラズ、凡ソ民ノ死傷スルハ其處ノ若ヒモノドモ喧嘩  
争鬭シテ死傷セルナリ、是京兆尹ノ判斷スル所也、牛ノアヘグハ大事ノコト也、今二月ノ初ニアタリ

テ牛喘グハヅナシ、如シ遂フコトモナキニ牛喘グバ陰陽ノクルヒナリ、宰相ノ役ハ陰陽ヲ燮理スル役ナレバ、陰陽ノクルヒコジ第一ニ僉議セネバナラヌト云シ也、扱ドウカ合點ノ行キタルヨウニテ合點ノユカヌコト也、諸儒註解多ケレドモ、兎角天ヤ神ヲ祭ハ陰陽ノ氣チガハズト思リ、陰陽ト云故ニ天ノ事カ神ノ事カト思ト見ヘタリ、或ハ賢者ヲ舉バ自然ニ水旱ノ難ナシト云、是レ等ハ水旱ハ賢者ノ怨氣、民ノ怨氣ト見タル也、民ヲ愛シ賢ヲ舉グルヲ陰陽ヲ燮理スルトハマハリクドキ辭也、且民ヲ愛シテモ出ル水ハ出ル也、賢ヲ舉テモ早セネバナラネバ旱スル也、又丙吉牛ノ喘グヲ見テ大ニ驚キサワグ心ハ如何ナル故ニヤ、牛ガ喘ガネバ賢者ヲ舉ズトモ宜シキカ、民ヲ愛スルニ及バヌカ、牛ガ喘グバ賢ヲ舉民ヲ愛ス、牛ガ喘ガネバ賢ヲ舉ズ民ヲ愛セズカマワズニオクカ、又牛ガ喘バ天ヲ祭ニ大馳走ヲスル、神ヲ祭ニ大設ヲスル、牛ガ喘ガネバ天ヲザツト祭リ神ヲザツト祭ト云積リカ、一向ニ鶴ニハ解セヌ也、且燮理ト云字ハ何ト云字ゾヤ、燮ハ火ニテ煮テ和スルコト也、水ト醬油ヲ打込デ火ニテ能煮テ、吸物アンバイニ混ジテ甘クモナシ鹹フモナキヨウニ調合スルコト也、理ハスデニツイテ治ルコト也、然バ陰陽ヲ和シテ片ヅリニナラヌヨウニ筋ニツキテ治ト、ノフルト云コト也、諸儒ノ說ニテハ陰陽ノ片ヅリニナラヌヨウニスルニハ、天ヘ馳走ヲシテハムクト云コトカ、民ヲ愛シ賢ヲ舉テ天ニ譽ラレヨウトスルノカ知ラズ、左レドモ天ハ一大世界ヲ覆テ居モノナレバ甚大ナルモノ也、扱至テ遠キ者也、世界ヲ萬ニモ割タル處ガ支那一國ナルベシ、世界萬分ノ一ノ少シバカリナ處ノ中ニテ、又其都ハ支那

萬分一ノ處ナリ、其都ノ人又萬々分ノ一ツガ丙吉也、是ガ民ヲ愛スル賢ヲ舉ルカラ、然バ水ヲ出サズ  
ニヤロウ、早ヲセズニヤロウノト、天ガコマカニ手ノマワルモノト思ノカ知ラズ、何ニモ諸儒ノ解ハ  
一向ニ理ニ合ハズ、合點ユカズ、畢竟ハタワヒモナキ解也、タワヒモナキノミナラズ、後ノ宰相ヲア  
ヤマルコト少カラズ、天下ノ人ヲ愚ニスルコト儒者ホド大罪ナルハナシ、儒者觀音ヲ欺ムク人ニチガ  
ヒタルコトナシ、觀音ヲ怨ミタル人ニチガヒタルコトナシ、不智ノ甚シキモノト云ベシ、人ヲ愚ニ仕  
込ノ至レルモノト云ベシ、鶴ハ大ギラヒナリ、秦以上ノ儒者ト秦以後ノ儒者ニハ、兩三人モヨキ儒者  
有ベシ、秦以上モ孔子ノ門人ノ内人ナドハ、一向ノ愚儒也、扱陰陽ヲ燮理スルト云ハ、陰陽ト云ハ元  
來ハ符牒ノ字也、左右ナド、云ト同コトニテ、陽ハ表陰ハ裏ト云ヨウナル處モアリ、陽ハ明陰ハ暗ト  
云フヨフナ處モアリ、キマリタルコトナシ、人ニモ山ニモ蚤ニモ虱ニモ陰陽ノアルコトニテ、天ニバカ  
リ陰陽有ニ非ズ、齊國ノ甚吝嗇ニテ人々チビテ氣モ小ニテ、大聲ヲアゲテモビツクリスルト云ヨウナ  
時ニ、管仲出デ、如レ此人ニ小手前ニテハ霸業ハ出來ズト思タル故、管仲ハ大ニ奢侈ニテバツ／＼ト  
大氣ニシテ、此チガヒクル風ヲナホシタルガ即燮理陰陽ト云也、是ハ齊國陽氣勝タル故、片ヅリ故ニ  
陽氣ヲ調合シタル也、其後齊亂レテ身上モ小ソウナリタレドモ、ヤハリ管仲ノ政ノコリテ、國ニ不相  
應ニ奢侈ナルトキニ、晏平仲出デテ如レ此奢侈ニテハ、貨財他國ヘ引吸ハルト思テ儉素ヲ示ス、是モ  
燮理陰陽ト云、齊國陽氣勝タル故ニ陰氣ヲ調合シタル也、今丙吉ガ牛ノ喘グニ驚キタルハ、未ダ二



月ノ初ナルニ牛ノ喘グハ暖ノ甚シキ也、二月ノ初ニ暖甚シケレバ地中ニ水氣蟄ス、地中ニ水蟄スレバ四五月ニ至テ出水スル理ナリ、是ハ水ノ出ル用心ヲ申付ズバナルマイト氣ヲクバルガ宰相ノ役也ト云コト也、惡水ヌキヲサラヘルトカ、堤普請ヲスルトカ、油斷ナキヨウニ申付ヨト下役ヘ號令ヲ下スコト也、是陰氣勝故陰氣ヲスカシヘラフル也、是ヲ「燮ニ理陰陽」ト云ナリ、一體ノ大ダタイヲ見テ下官ノソレヘ申渡スコトガ宰相ノ役也、堯ハ聖人也、禹ハ聖人也、二人共ニ天ヲモ神ヲモ能祭タル人也、民ヲ愛シ賢ヲ舉テ何モヌケ目ノナキ人々也、左レドモ堯ノ時九年洪水、禹ノ時七年旱魃也、水旱ハ是非々々無レバナラス也、唯聖人ハコマラス也、洪水トアレバ其用心アリ、旱魃トアレバ其用心アリト云也、洪水アレドモ堯禹ヲバコマラスコトハナラス也、洪水旱魃無ト云コト決シテノナキコト也、兼テ燮ニ理陰陽ニスル故也、丙吉ハ驚クハヅデナシヤ、丙吉ハヨキ宰相也、後ノ宰相ヲ見ルニ、トント管仲・晏子・丙吉ナドノヨフニハ氣ヲクバル人ナシ、故ニ富國強兵ノ時ヲ取失テ水旱ニ困シム也、是御祈禱自然ノ類ナキ證據也、凡ソ後世ハ術ノ字ヲ忌ムコトカギリナシ、古ニハ無コト也、術トハ村中ノ道路也、道トハ大道本通也、術トハ小路ヤハリミチ也、本道ハマハリクドヒヨフニ見ル也、小路ハ近路ノヨウニ見ル也、兩方共ニ己ガ行ント思方ヘ行クミチ也、故ニ術ハチカミチト訓ス、本道モヨシ、小路モチカフテヨシ、然レドモ行列ニテ通行ニハ本道ガヨキ也、略供忍ビナドニテ行ニハチカミチガヨキ也、凡ソ事ニハ行列ノヨウニ表向ノ事アリ、又略供ノヨフニ内證ノ事アリ、行列ハ善ニテ略供ハ

惡シト云ニ非ズ、事ニヨリテ表デヨキコトアリ、内證デヨキ事アリ、孔子モ孟子モ術ノ字ヲ隨分云也、先王ノ教ノ術也、教モ又術多シナド、云也、教ノ本道ハ一ト通り表向ノアルベキカ、リノ教也、本道デハ教ノ行届カヌ處モアル故ニ、小路モ近路モ裏路モ通ルコトアリ、田ヲ行モアゼヲ行モ教ナリト云コト也、富國強兵治平安榮ハ事色々ニカハリ、種々ニスジメアルコトナレバ、猶以テ本道・田路・アゼ路・チカ路・裏路アルコト也、本道ハ知レタル通りノコト、アトノ路ハ考ヒ行通ナレバ、術ノ字ヲバ手クダ・心ハコビ。手ダテナド、訓ズ、無フテナラヌモノ也、何モ忌ムベキコトニアラズ、況ヤ當時江戸ヲ始皆々國々ノ政、覇ノ仕掛ナレバ、何モ取除ケベキコトニアラズ、覇ハ外ノアル名也ト云ハ、隣國ヲ他國ト云、隣國ヲ他國ト云ハ外ノアル也、天下ヲ丸デ己ガ國トスレバ隣國モ自國也、是隣國ナキ也、隣國ト云モノナキヲ外ナキト云也、己ガ國豐年デ隣國凶年ナレバ、己ガ國ノ米直段高フナリテ勝手ニ宜キ也ト云ハ、外アル仕方也、隣國ノ凶モ此方ノ凶ナリト云ハ外ナキ也、今諸侯方ハ隣國アリ、江戸様モ隣國アリ、大キウ云テ見レバ、支那モ朝鮮モ「オロシヤ」モ隣國也、「オロシヤ」ノ勝手アシイヨウ、此方ノ勝手ヨキヨフニト云ハ覇也、覇ナレドモ隣國アレバ是非ニ此論也、王道ハ外無キナレバ「オロシヤ」モ此方ノ國、支那モ此方ノ國、朝鮮モ此方ノ國デナケレバ王道ニアラズ、王道ニハ勝負ナシ、敵味方ナシ、如シ勝負アリ敵味方アレバ覇也、故ニ今ノ世ニテハ覇ノコトヲ能ク修セネバナラヌ也、今ノ入用ノコトハ覇ノコト也、此ノ方ガオトナシキ王道ガスキデモ、世ガ覇ナレバ仕方ナシ、

身ガ覇ナレバ仕方ナシ、政ガ覇ナレバ仕方ナシ、人ガ覇ナレバ仕方ナシ、孟子ノ覇ヲニクミテ王ヲ尊ビタルハ、殷湯・周武ノトキハ今ノ時ト同コト也、上ニ天子無シ、唯獨夫桀・獨夫紂アルバカリ也、故ニ湯武王道ヲ行テ天下ヲ丸取ニセラレタリ、今ノ諸侯ハ秦齊ヲ始皆獨夫ナレバ、王道ヲ行テ天下ヲ丸取ニスレバナル時節也、霸道ニテチカラニテ取ロフトスレバ、天下皆力ニテ取ロフトカ、リテオルユヘ力次第ナル也、天下ノ九分ノ一ニ居テ、力ニテ勝ントスルハ、一人ニテ九人ニ勝タントスルニ異ナルコトナシ、一人力ノ人九人力ノ人ニ勝コト無キコト也、智ニテ勝敗ヲ決スレバ、何百人ニテモ一人ニテ勝コト出來ル也ト論ジタル故、王ヲ尊ミテ覇ヲ憎ミタル也、是皆時節ニヨルコトナリ、既ニ孔子ノトキニハ上ニ天子アル故、我ハ東周ヲセンカト仰セラレタリ、孟子今天下ヲ取ラバ、手ヲカヘスヨリモヤスシト云シ也、是時ニ因ル證據也、左ルニ今ノ儒者王道ハ善、霸道ハ惡シト説コト愚ノ至也、書ヲ讀ムコトヲ知ラヌ者共ナリ、時ト時トヲ合セ、人ト人トヲ合セ、言葉ト言葉トヲ合セネバ公論ニアラズ、孔子ノ東周ヲセンカト仰セラレタルト、孟子ノ天下ヲ取ルコト手ヲカヘスヨリ易シト云シト、時ト言トヲ合セテ見レバシツクト合也、時大ニチガフ故言葉大ニチガフハズ也、如シ孔子ノ時ニ手ヲカヘスガ如ク易シト仰セラレタラバ、大ニ僻事ナルベシ、孟子ノ時ニ東周ヲセンカト云タラバ大ニ愚昧ナルベシ、今時ハ如何ト考テ言葉ヲ出スベキコトニアラズヤ、故ニ孟子ノ言ヲ師ニスル間違也、孔子ノ言ヲ師ニスル間違也、孟子ノ意孔子ノ意ヲ師ニスレバ間違コトナシ、孟子ハ孔子ノ意ヲ師ニシタル

故、言ハ大ニ違ヒ意ハ違ハヌ也、孟子ノ意ハ天理也、孔子ノ意ハ天理也、天理ヲ師ニシテ間違コトハ古ヨリナキコト也、言ハ其時々ニヨルコト故ニ一向ニトラヘラレヌ也ト思ベシ、韓愈ノ言ニ、其志ヲ師トシテ其辭ヲ師トセズト云タルハ此ガ爲ナリ、鶴國ヲ經タルコト三十、儒者ニ逢タルコト數百人、博ク書ヲ見テ覺テ居ル人モ澤山アリ、字ノ音ヲ覺テ居ル人モ澤山アリ、腕ノ達者ニ文章ヲトリマハス人モアリ、杓子定木デナキ人ハ一人モナシ、聖人ノ意ヲ語ル人モ一人モナシ、智慧ニ益ヲ得タル人モ一人モナシ、唯諸國ヲ經メグリテ處々ニ逗留ヲ長フシタレバ、江戸ヲ知ルコトヲ覺ヘタリ、鶴ハ江戸ニ生レタル故江戸ガ定木ナリト思タリ、定木マガリテモ外ニ定木ナケレバ、定木ハ直ナルモノトバカリ覺テ、江戸ニ少シニテモチガヘバ、是ハマガリ、是ハヒヅミ、是ハイナカ、是ハアシ、是ハ本ノ人間デハナシト思テ、ドノヨフニ考テ見テモ、江戸ノマガリハ見ヘズ、江戸ノヒヅミハ見ヘズ、江戸ノ田舎ハミヘズ、江戸ノ惡シキ處ハトント見ヘザリシガ、諸國ニ久シフ滯テ江戸ヲサツバリ忘レテ、江戸ヲ他國ノヨフニ見ルヨフニナリテ、始テ江戸ノカツコウヲ能見タリ、諸國ヲ遍歷シテノ益ハ是バカリ也、今年ハ江戸ノマガリモ、ヒヅミモ、江戸人ノ氣モ、江戸ノ土モ、江戸ノ風モ、言葉ニ述ラレルヨフニナリタルナリ、其後ニ熟々思ヒ合スレバ、扱々大猷院様ノ御智慧ハ格別ナルコトニテ、難有恐ロシキコト也、大坂御城代・京都所司代ヲ御勤ナサレタル御方ヲ、江戸ヘ召レテ御老中ニナサル、ニハ、江戸ニバカリ入ラセラルレバ、江戸ヲ御存ジナサラレヌ故ニ、江戸ノ外ヘ御出シナサレテ、其風



土ヲ御見セナサレ、殊ニ大阪ハ大阪ノ風デナケレバ治ラズ、京ハ京ノ風デナケレバ治ラヌ故、江戸トハ大ニチガフ方角ノ所デ、トント江戸ヲ外ニ御覽ナサル、コト、他國ヲ御覽ナサル、ヨフニナリテ、江戸ノ御政ヲスベラル、ニハ、扱々妙ナル御智ト感心仕タリ、サレドモ江戸ヨリ御登リナサル、御役人様ハ、ドナタ様ニテモ其御方ニ權威アル故ニ、京ヲ御存ナサル、コトナラズ、京ヲ御存ナサル、コトナラネバヤハリ江戸也、ヤハリ江戸ナレバマダ〱江戸ヲ外國ノ様ニ御覽ナサル、コトナラヌ也、權威ガ有バ京ヲ御存知ナイト云ハ、ナゼナラバ、以上ノ方ハ猶更ノコト、以下ノ人ニテモ陪臣ニテモ、皆江戸ヲ負テ居ル故、京人皆江戸者ヲ恐懼シテ仰テ見ル也、仰テ見ル故ニ何ガナ江戸ノ人ノ心ニ叶ヨフニセント思也、凡ソ雜談ヨリシテ、一々ニ江戸ヲ譽テ、京ヲバ江戸ノ後ニツクルヨフニ〱ト話スナリ、心ニテハ京ハ古キ都ノコト、禮樂ハ皆京ニアルト思テ居レドモ、口上ニハ決テ〱ソノヨフナコトヲシキコトヲモ出サズ、唯江戸ヘ向ヨフニ〱ト心ヲトリナホシ〱テ雜談ヲスル故ニ、心ヲイツカ江戸ニオキテ京ニハオカヌヨウニシテ談話ヲスル也、ケ様ニセネバ江戸ノ人ノ氣ニ入ラスコト也、其ツケハ江戸者ハ江戸ガ政ノ出所故ニ、江戸ガ日本ノ根本ジヤ、江戸ガ手本ジヤ、江戸ガ定本ジヤ、江戸デヨヒト云バ、日本中デヨヒト云、江戸デアシヒト云バ、日本中ドレハ行テモアシヒノジヤト思氣味ナリ、何ノ國ヘ行テモ、サキノ國ノ風ノ江戸トチガヒタルヲ直シテヤル心ニナルガ江戸者ノ風ナリ、故ニ江戸者ハ己ガ定本ノ氣故ニ、他人ヨリ直サレルコト甚キライ也、人ノ直シヲ受クル氣ナキ故仰グ

コトナキ也、先始テ人ニ逢テモ、ソレ眞ノ人間ヲ御ロフジロト云氣ニテハナス故、權威一倍高クナリ、京人ハ京ガ皇居ノコト故、是ガ日本ノ根本ジヤ、定本ジヤ、手本ジヤトハ思ヒドモ、今ノ政江戸ヨリ出デテ刑柄江戸ニアル故、己ガ心ヲ推シマゲテ心ヲ江戸ニシテ話ス故、京人デハナク江戸人ナリ、江戸人何年京ニ詰テ居テモ、權威ノアルウチハ京人ニ逢コトハナラズ、何人ニ逢テモ江戸人也、鶴ナドハ浪人儒生ノコト權威アロフハヅナシ、左レドモ人ノ上座ニ座シテ人ヲ教育スル業ナレバ、一體人ニ僉末ニハアシラハレヌ也、其上ニ江戸産ノコト故、兎角京人ハ心ヲ少々マゲテハナス氣味有也、故ニ鶴ハ最初ヨリ江戸者ナレドモ、江戸ハ大ギラヒ也ト申テ大京ズキナリト號シテ、江戸ノコトサヘ出レバ、聞モイヤナリト云ヨウニシテ、此名高フナリテ而後ニ、京人始テ京人ニナリテ話セシ也、唯今ニ至バ初ヨリハ十五年ニモ及コトナレバ、京人トバカリ人々心得テ居ルヨウニナレリ、扱鶴ガ腹ヲ丸キリ京ニシテ、其後ニ始テ江戸ヲ見レバ、江戸ノ枉直・斜正・都鄙・潔汚モ能々見ユル也、然バ江戸ヨリ登リタル人ハ、其心ニテ京人ヲアシラハハ能々見ユベシ、且京ノ人情ヲ知ノミナラズ、而後ニ江戸ヲ見ルコト他國ヨ見ル如クナルベシ、他人ノ智慧ハ秤目ニカケラルレドモ、己ガ智慧ハ秤目ニカケラレズ、他人ノアシキ處ハ能見レドモ、己ガアシキ處ハ見ヘズ、他國ノヨシアシハ見ユレドモ、己ガ國ノヨシアシハ見ヘヌコト、智ハ目ノ通りナルモノ也、目ハ能他ノモノハ見レドモ、目ヲ見ルコトナラズ、鏡ニウツシテ始テ能見ユル、京ハ江戸ノ境也、京ニスワリテ京カラ江戸ヲ見レバ見ユル也、目ヲ鏡ニウツシテ

始テ目ヲ見ルコト出來ルナリ、江戸ノ人江戸ヲ知ラズ、京人京ヲ知ラズ、目ハ目ヲ見ルコト成ラズ、魚ハ水ヲ見ズ、山中ノ人山ノナリヲ知ラズ、皆其中ニ居ル故也、其所ヲ離テ外ニ出テ而後ニ始テ其處ヲ見ルコトナルベシ、己ガ國ヲ離レテ己ガ國ヲサヘ見ルコト六ヶ敷ケレバ、己ガ身ヲ離レテ己ヲ見ルコトハ六ヶ敷ハヅ也、然レドモ己ヲ知ラズ己ヲ養フト云コトハナラスコト也、己ヲ知テカラ其後ニ己ガ不足ナル所ヲ補フテ己ヲ養フト云也、己ヲ養フ談ハ初談ニ云ヒタル通也、他バカリ見ヘテ自分見ヘネバ、智ニスキマ出來テ大ニヌケメアルコト也、加州ニテ町方ノコトヲ司ル役人ハ皆町人也、町奉行ガ士ナルバカリ、アトハ皆町人也、町人ヘ役金ヲヤリテツトメサス、是ハ町方ハ利ニクワシキモノナレドモ、士大夫ハ利ニウトキモノ故ニ、町人ニ欺レテ支配行届カヌル故ニ、利ニサトキモノヲ制スルハ利ニサトキモノガ宜キ也ト云心也、至極面白キ事也、扱其後ニ町役人羽織袴ニテ一刀ヲ帶、日々役所ヘ出仕スル、役人心ニナリテ商賣モ何モセズ、政ノ話バカリニテ算盤ナド手ニ取タルコトナシ、秤目ナド一向知ラズ、利ノ事ニハ至テウトシ、何モ士ヲ使ニチガフタルコトナシ、唯一刀帶タルト兩刀帶タルトチガフバカリニテ、心ハヤハリ士也、利ニウトキコトハヤハリ士也、江戸ニテモ後藤庄三郎・後藤縫殿介・茶屋四郎次郎ヨリ、諸座人・諸御用達・名主ナドニ至テモ、名ハ町人ニテ實ハ士也、利ニウトキ處ハ士也、町年寄ヲ町人ニ仰付ラレタル處加州流也、利ニサトキモノニ利ニサトキ者共ヲ支配サスル智也、然レドモ三人ノ年寄ハ何モ御旗本ニチガヒタルコトナシ、家來ナドモ二カワニ分テ表

勤奥勤ノ異アリ、是一向ノ士大夫ニテ、町人ラシキコト一向ナシ、皆先ミヘノ後ヌケト云モノ也、先  
へ智ノス、ムトキニ、後ニフリカヘリ、シテス、メバ後ヌケズ、先バカリ見テス、メバ後ヌケル也、  
山路ヲ行ニ度々後フリカヘリテ見テハ、先ヘス、ミ、スレバ歸ルトキニ迷ハヌ也、アトヲフリカヘ  
ラズニス、メバ、歸ガケニハ是ハ此道ヲ通リタルニ、アノ道ニテハ無キカト迷モノ也、東ヨリ西ニ向  
タル景色ト、西カラ東ヲ望タル景色トハ大ニチガフモノ也、是ハ經ル處ノ道ヘ心覺ヘヲシテ過ル法也、  
山ノ奥路ノシレヌ處ヘ始テ行ニマガリカヒ、ニテ紙デモサキテ、印ヲシテ奥ヘ入ルコト山路ヲ通ル  
法也、芝折ト云コト古ヨリアリ、奥ヘ入路岐ニ芝ヲ折テ行キ、スレバ、歸ルトキニ迷ハヌ也、今犬  
ナドヲ遠キ處ヘ連テ行ニ、犬ヤ、モスレバ溺ヲシテ行クコト也、岐ノ處ニテハ決シテ溺ヲスル、歸ル  
トキニ是ヲ嗅デハ歸ルナリ、皆芝折ノ法也、後ノヌケヌ用心也、京人ト話スルニハ別シテ、後ヲフ  
リカヘリ見テ話サヌト後ノヌケタルコトアリ、江戸モ越後モ奥州モ同格也ト思フ心ニテ話スレバ後ヌ  
ケナリ、江戸ハ別段ノコトト江戸計ワケテオク氣ニナレバ、心ハイツカ先ヘ進テ居故ニ、後ニ大ヌケ出  
來ル也、京都ニテハ京ノ外ハ皆田舎ト云、京都ハ皇居ノコトニテ、京都ト云名アル故也、江戸ノ人ハ  
江戸ノ外ハ皆田舎ト云、日本國中ノ政ノ出ル處、善惡ヲ判斷シテ争鬭ノ勝敗ヲキハムル處故也、名ハ  
京都ナレドモ實ハ江戸ガ根本也、江戸デ無禮ト云ハ日本中デ通ル也、是ハ争大キフナリテ判斷ヲ乞フ  
トキニ、判斷者江戸ノ法ニテ判斷スル故也、江戸ノ支配ウチハ江戸ノ判斷ヲ受クル也、江戸ノ支配ナ



レドモ、丸キリ江戸ノ自由ニナラヌ處ハ、京ノ御ツイデノ内計也、先年鶴ガ門人越後ヨリ兩人登テ鶴ガ塾ニ居リシトキ、菅家ノ御門人ニナリタキヨシヲ鶴ニ相談スル、鶴ハ東坊城家ノ懇知ヲ蒙ル故、東坊城ノ門人ニシタル也、扱東坊城少納言殿彼越人ヘ目見ヲ言付、御目見也、鶴ニモ取合セニ出席シテクレイト云コト故、鶴モ座ニツキテ居ル、雜掌ノ言ニハ今御杯ヲ頂戴仰付ラレマスト云、鶴申ハ、ソレハ御丁寧ナルコト也、御杯ニハ及バヌコト也ト云ドモ、其支度モシテアルコト故、是非御杯ヲ下サルト云コト也、鶴江戸ヨリ登テ年數モタズ、堂上ノコトモ委カラズ、田舎ノボリノ人ハ傳授スルコトモ知テ居レドモ、江戸氣スケヌ故、江戸ノコトデ濟ムツモリ也、扱越人ニ申ハ今日ハ少納言殿御杯ヲ下サル、御杯頂戴ノ御心得ハ宜キカト尋タル也、越人モ猶々江戸ヲ定木ト思テ居コトナレバ、江戸ニテ修シテ居ル也ト云、扱御逢相濟ミ御杯也、御杯ノ時ニ雜掌吸物ヲ持出テ少納言殿ノ前ニオク、鶴モ驚キ御杯ノ節ニ吸物アロフハヅナシ、オカシキコト也ト思テ居ル、扱又越人ノ前ヘモ吸物膳モ二ツテン、ニスヘル、ツイヅナキ御杯ナリ、雜掌取合セ御吸ナサレヒト云、其オカシキコトカギリナシ、越人ボウゼントシテ平伏シテ居ル、扱御杯頂戴シテ座ヘカヘレバ、雜掌重箱ヲ八寸ニノセ目八分ニ持出デ、己ガ前ニオキ、蓋ヲトリ小皿ヲ持、數ノ子ノヨクフヤケテ醬油ニツカリ居ルヲハサミテ取テ小皿ヘウツシ、是ヲ越人ヘヤル、鶴ハ唯ヲカシケレドモ、越人ノサヅノコマルコトナラント思テ、カタヅヲ吞デ見テ居ル、越人小皿ヲ雜掌ヨリ受取タレドモ、向フニハ少納言殿烏帽子狩衣ニテ座シテ居リ、

左右ニハ鶴ヲ扣テ居ル、此小皿ヲ取ハ取タレドモ、如何シテヨキヤラシレヌ故見合テ居ル様子也、ヤ  
ヤ考テ小皿ニテ數ノ子ヲ口中ヘナゲゴミタリ、少納言殿鶴ヲ見テ大ニ苦シゲナル顔也、扱其後鶴ニ少  
納言殿申サル、ニハ、モハヤ、田舎モノ入門ハ斷リ也、オカシフテセツナフテナラヌト申サレシ也、  
鶴申ハ、アレハ雜掌ノ取ハカラヒ甚アシ、吸物取肴出ルナラバ、鶴ニ其通リヲ申セバ鶴トバメルナ  
リ、御杯ニハ吸物取肴ナキガヨキ也、有バ頂戴ノ人大ニコマルコトナリ、何共沙汰ナシニシテ出シタ  
ル故、田舎モノコマリタル也、田舎ノ人ニ無キナリト申セシコトアリ、是ハ堂上ニテハ地下ノ者ハ類  
チガヒノコト故、地下ニ對スル禮ハナシタルモノ也、堂上下ウシノ禮ハ有レドモ、地下ニ對スル  
ハ禮外ノ事トシタルモノ故下ノシシダイ也、此時ナドニハ江戸ノ小笠原ノ極ヲ取タル男ニテモ、シカ  
タハシレヌ也、又無禮ナリトテトガメモセヌ也、御築地内ノコトハ一々ニ聞ネバ、江戸功者ニテモ江  
戸禮ハトント築地内ヘハイラヌコトナレバシカタナシ、兼テ心得アルベキコト也

養心談終

前

識

談





## 前識談

前識トハ道ノ華ニシテ愚ノ始也ト老子ノ云ル其意ハ、智ト前識トハ似タルモノデ大ニ相違セリ、然レドモ世人ハ前識ヲ智ト覺テ居ル故ニ、今此天智トイハヒデ前識ト云也、前識ハ大ナル愚ナルコト也ト云コトナリ、前トハマダコヌマヘノコト也、明日明年ノコトヲ目デ見知テ居ルヨフニケ様ニ相違ナシ、ケ様ニチガヒナシト極メテ心ニ安堵スルコト也、ケ様ナル類ハ見ヌキテオキタルヨフナル故ニ、智ト間違ヤスケレドモ、後刻ノ事サヘ知レヌガ世ノ機ナルニ、何トテ明日明年ノコトガ極メラレヨウゾ、故ニ聖人ハ此事ヲ易ト名ヅケ玉フ、易トハ變易ノコトニテ、カハルト云コト也、カハルモノ故前識スベキモノニアラズ、一體易ヲ六經ノ首ニオキタルハ、ヤハリ智ヲ第一トタテタル意ナリ、智・仁・勇ト云モ智ヲ第一ト見タル順ナリ、唯人生キテ居ルウチハ、少シモ思慮ノ止ト云コトナシ、故ニ人トシテハ此易ト云モノヲ知ラズシテハ叶ハヌコト也、然ルニ後世ノ儒者易ヲト筮ノ書ナリト思コト、悲ムベキノ至リナリ、易ヲト筮ノ書也ト思ガ、即前識ヲ智ナリト思フ間違ノ始マリ也、ト筮ヲ前識ノ道具ナリト取ソコナヒタルモノ也、易ハ天地萬物ヲ包羅シテ餘サズ漏サズ書ノセタルモノニテ、ト筮ノ爲ニハ作リタルモノニテサラ／＼ナキ也、左様ナラバ易ニテト筮ヲスルハ誤ナルヤト云ヒバ左様ニテハナ

シ、ト筮ニ限ラズ、凡ソ天地ノ間ノコト易ニツキテ知テ知レスコトナシ、左様ナラバ前識スベキモノカ  
ト云ヘバ左様ニテハナシ、故ニ易ト名ヅケ玉ヘル也、譬ヘバ傘ノ轆轤ノ如クナルモノナリ、轆轤ノチ  
キキハニテハ隣ノヨウニ見ユレドモ、末ニ至リテハ隣ノ骨トハ大ニ離レオル也、先ヅ云テミヨフナラ  
バ、轆轤ノキハニテハ出精ト云符牒ナレバ、轆轤ギハヨリ一寸モ末ヘ行ケバ智者ト云符牒ニ逢フ也、  
是ハ外ノケタヘ行カズニ此出精ノ筋ヲ眞直ニ行ク故ニ、是非ニ智者ト云符牒ニ逢ハネバナラヌ理也、  
又一寸モ末ヘ行ケバ出身ト云符牒ニ逢フナリ、是モ智者ト云フ筋ノ外ヘ出ズニ眞直ニ行故ニ、是非ニ  
出身ト云符牒ニ逢ハネバナラヌ也、又一寸モ先ヘ行ケバ一萬石、又一寸ユケバ二萬石ト云ヨフニ、此  
筋ヲワキ目モンラズニユケバ、是非大貴大富ト云符牒ニ逢フナリ、唯人其筋ヲワキ目フラズニ行コト  
ヲセヌ故ニ、前識ハナラヌ也、其筋ヲサヘキツト間違ナフ行ケバ、大貴大富ニ至ルコトナレドモ、人  
ノ思慮終日動搖シテ種々ノ筋ヘ引越ス也、イカデカ前識ナランヤ、其筋ハ前識スベシ、人ノ思慮ハ前  
識スベカラズ、故ニ易ト云フ、譬ヘバ其出精ノ隣ノ骨ハ不精ト云骨也、是モ轆轤ギハニテハ不精ト云  
符牒ナレドモ、又一寸モ末ニ至レバ愚者ト云符牒ニ逢フナリ、是モ不精ヲワキ目フラズニ守テ眞直ニ  
行ク故ニ、是非ニ愚者ニナラヒデ叶ハヌコト也、又一寸モ先ヘユケバ蒙罰ト云符牒、又一寸モ末ハ削  
地ト云符牒、又一寸モ末ハ長ノ暇也、又一寸モ末ハ乞食、又一寸モ末ハ餓死也、如レ此轆轤ギハニテハ、  
出精ト不精トハワヅカノチガヒノ様ナレドモ、ズツト末ニ至レバ、大富貴ト餓死ニワカル、是ハ理

ノ前識スベクシテ、人心ノ前識ハサレヌト云モノニアラズヤ、譬ヘバ其人朝ハ出精氣ニナリテ夕方ニハ不精氣ナレバ、朝ハ大富貴筋ニ居テ、夕方ハ餓死筋ニ居ル也、此傘ノ骨ノヨフナルモノ、大骨六十四本ニワケ骨數萬本アリテ、人ノ心終日クルリ／＼ト種々ノ骨ヘ動キワタリ廻リテ定ラヌナリ、コレガ如何シテ前識ガナラウゾ、筋ハ前識スベクシテ、人心ノ動搖ハ前識スベカラザルコト何ト明白ニハナキヤ、扨天ハ彼傘骨ニクミシテ人ニクミセズ、タトヘバ堯舜ハ聖人ナレドモ、天ハ堯舜ニカマワヌ也、堯舜ノ所爲所作ニクミスル也、故ニ堯舜ニテモ少シ不精筋ニ入バ、ヤハリ餓死筋ニ天ハ御置キナサル、也、桀紂ハ大惡人ナレドモ、天ハ桀紂ヲバ惡マヌ也、桀紂ノ所作所爲ヲ御ニクミナサル、也、故ニ桀紂ニテモ少ノ間モ出精筋ニ入バ、大富貴ノ筋ニ天ハ御置キナサル、也、故ニ天ノ理ヲ傘ノ骨ニワリ付タルモノハ易也、人ノ心定ラヌ故ニ變易也ト云、活物ト云コトナリ、定リタル理ハ死物也、定ラヌ人心ハ活物也、吉凶ヲ占フコトハ、此筋ヲサヘ取ハヅサズニワキメヲフラズニ、眞直ニ御出ナサレバドノ筋々也ト云コトハ知レル也、故ニト筮ニカギラズ、何ニテモ此理ニ外ナルコトナキユヘニ、易ニテ知レヌコトハナケレドモ、人心ノ動搖ハ易ノ知ル處ニアラズ、是ヲ人相家ニテハ心相ト云、心相次第ニテヨクモアシクモナルト云ハ、此人心動搖ノコト也、サスレバ相家ニテモヤハリ前識スベキモノハ理ナリ、人心ノ動テ吉ニユキ凶ニユクハ前識サレヌ也、故ニ易ニテハ定位ニツ、活位一ツト立ル也、是智ノ最モ極リツメタル處也、定位ニツトハタトヘバ天地也、天モキマリタルモノ、地モキマリタル



モノニテ、千年モ萬年モ違フコトモナフ順ヲ送テユクモノ也、活位一ツトハ人也、天地ノ間ニ立テ思慮運意スルモノナレバ、今善人ニテモ後刻ハ惡人ニナルヤラ、今惡人ニテモ明日ハ善人ニナルヤラ知レヌ也、上體三爻、下體三爻、初爻ハ地也、第二爻ハ人ナリ、第三爻ハ天也、是ヲ下體トス、第四爻ハ地也、第五爻ハ人ナリ、第六爻ハ天也、天ト地トハ定位故輕シ、二ト五トハ活位故說長シ、此ハ天地人ノウチニツイテ又表裏ヲワカチタル故、上下體ト分ル、活位ハ空位故ニ三ツニハ分ラヌ也、人身ニトリテ云ヘバ、腰ヨリ上ハ天ナリ、腰ヨリ下ハ地ナリ、活位ハ心ナリ、心ハ實位ニアラズ、虛位也、故ニ動搖不定ヲ體トスル也、天地ノ如ク相カワラズ、同じ行道ヲスルモノニアラズ、故ニ中體ト云モノハナシ、譬ヘバ一尺ノウチヲ云ヘバ、一寸目ハ地ニテ一尺目ハ天也、五寸目ガ人ナレドモ、二尺ノ中ニテハ一尺目ヲ中トスル類ニテ、上下ハ定位アレドモ、中ハ定位ナキモノ也、サレドモ上下ノ位キヲマレバ、中位キヲマルハ、タトヘバ上ガ青ニテ下ガ黄ナレバ、青ト黄トノ二ツハ定位アリテ、各一統ノ色ニテ本家根元ト云モノナリ、扱青ト黄トヲマゼレバ、又青ニテモナシ、黄ニテモナキ色出來ル也、是ヲ綠ト名ヅク、綠ト云名ハアリ色モ別ニアレドモ、畢竟青ト黄トツキマゼ色故、青ヲ青ノ方ヘカヘシ、黄ヲ黄ノ方ヘカヘセバ、綠ト云名モ色モナフナル也、本家根元ニアラズ、故ニ空位ト云也、人ハ天地ノ間ニ生レテ、身ハ地ヨリ受、魂ハ天ヨリ受クルモノナレバ、死スレバ魂ハ天ヘカヘリ、體ハ土トナリテ、人ト云名モ物モ無フナルコト、綠色ニチガヒタルコトナシ、然バ中ハ人ノ位ニシテ動

キ働クコトハ出來レドモ、本家根元デナキ故、物ヲ生ズルコトハ出來ヌ也、譬ヘバ地ハ木ヲ植ユルモノ也、天ハ日ヲアテ雨露ヲフラセ、風ヲ吹カセテ木ヲ養フモノナリ、故ニ木ヲコシラユルハ天地也、人ハ天ノスルコトモ、地ノスルコトモ出來ネドモ、其出來タル木ヲ舟ニ作り車ニ作ルハ人也、是ハ又天地ハ人ノスルコトハ出來ヌト云モノ也、故ニ天地ハ本家根元ナルモノ、人ハ本根ニハ無ケレドモ、又天地ノ出來ヌコトガ出來ル位ニ、別ニ一位ノ空位ト云ヲ持也、是綠色ニチガヒタルコトナシ、故人ノ位ハ思慮運營ノミナルモノニテ、實位ノモノヲ空位ニイナガラ取り、自由自在ニスルコト人ノ職也、タトヘバ善ハ實位也、惡モ實地也、聖人ノ考只人ハ善ニ居テモアシ、惡ニ居テモアシ、善惡ノ外ノ己ガ位ヲ一位設ケテ、此ヲ己ガ所居トシテ、善惡ヲ事ニヨリテツカフコト理也ト見タルモノ也、正直ハヨキ事也、僞ハアシキコト也、左レドモ其父羊ヲ攘メルトキハ僞ヲ云ガ即正直ジャト孔子ノ仰セラレタルコトアル、是善ニ居キリニ居ルコトアシク、惡ニ居キリニ居ルコトアシキ證據也 善ト惡ト二ツ並テ目前ニオキテ、其外ニ己ガ居所ヲ作りテ、時宜ニヨリテ自由自在ニツカフコト人ノ職ナルコトハ、木ニテ舟車ヲ作り、石ニテ井筒ハシリ手水鉢ヲ自由自在ニ作ルニ異ナラズ、故ニ三位ト立ツルホド智ノクワシキコトハナギト云也、凡ソ仁義禮智孝悌忠信ヨリ以下ノ徳ハ、皆正直ト同ジコトニテ、仁ガ不仁トナルコトモアリ、不仁ガ即仁トナルコトアリ、此ヲ韓非ナドハ手短カニ大小ト別ルコト也、父ノ羊ヲ攘ミタルトキニ其子はヲ證スルハ、正直ト云モノニテ大直ニアラズ、小ノ類ハ皆大ノ

害ニテ甚アシ、ト云リ、子ヲ愛スルニ小愛ト大愛トアリ、民ヲ使フニ小仁ト大仁トアリ、大ノ類ハソレトハ見ヘヌヨフニミルコトモアレドモ、究極ガ仁也、孔子ノ語モ激シタルヨフナヒドキ言バ也、ウソヲツクガ即正直ジャ、左スレバ子ヲ責ムルガ即愛ジャ、民ヲ刑スルガ即仁ジャト云コトニ相違ナシ、凡ソ事々ニ大小ヲワケテ、目早クワケテ大ノ方ヲ取ベキ也、凡ソ徳ノ中ヘ飛込ムコト甚ノ禁制也、先世ノ儒者ハ仁ト云バチキニ飛込、世ノ和尚ハ慈ト云バチキニ飛込ム故ニ、マツクラニナリテ見ヘヌ也、魚ノ目ニハ水見ヘヌハ、水ノ中ニ居ル故也、京人京ノ風ヲ知ラズ、江戸人江戸ノ風ヲ知ラズ、京人ハ江戸ヘユキテ、江戸ニ二年モ居リテ、扱京ヲフリカヘリミテ、始テ京ノ風ハコレ／＼ガヨクテ、コレガアシキ也トワカルナリ、江戸ノ人京ヘ來テ一兩年モ住居シテ、江戸ヲ忘レタル時分ニフリカヘリテ見バ、江戸ノ風ヨクミユル也、是其外ニ居テ其物ヲミレバヨフ見ユル、其中ヘ飛込メバ其物ミヘヌ證據也、トテモ仁義以下ハ器也、人ノ使フモノ也、葉公ノ直、人ハ直ヲ器ト云コトヲウチ忘レテ、直ノ中ヘ飛込タルモノ也、故ニ直一向ニ見ヘヌ也、直ニ使ハレタルモノ也、直ヲ使フ人ニアラズ、孔子ノ僞ガ即直也ト仰セラレタルハ、直ノ外ニ居テ直ヲ使フ法也、故ニ器也ト云ナリ、鍋・釜・膳・椀・皿・スリコギニチゴフコトナシ、器也、入用ノトキニハツカヒドモ、入用デナヒ時ニハ釘ニブラサガリテ閑暇デ居ル也、直ノ字モ僞ノ字モ、仁ノ字不仁ノ字モ、殘ラズ釘ニカケナラベテ、自由自在ニツカフヲ智者トハ云フナリ、今仁ノ字ヘ飛込ムハ、摺木ハ重寶ナ難<sup>レ</sup>有モノジャト云テ、摺木ニナルニチガ

ヒナシ、摺木ニナリテハ、摺木ハツカフコトナラヌ也、仁ノ字ハ結構ナモノヂヤト云テ、仁ヲ戴テハナサズバ、鍋結構ナモノジヤト云テ、鍋ヲ戴テ手ヲハナサヌトチガヒタルコトナシ、鍋ニテ手フサガリテ、外ノ物ヲツカフコトナラヌ也、葉公ノ民ハ直ハ結構ナモノジヤト云テ、直ヲシツカリト持テハナサヌ男也、故ニ父ノ羊ヲ攘タルトキ僞ラフト云智出ヨフハツナシ、皆手フサガリテ居ル故也、鴨ノ大好物ナル男アリ、明テモ暮テモ鴨ヲ喰フ、鴨ヲ喰ハネバ食ス、マヌ也、器・衣服皆鴨ノ模様也、マサニ死セントス、何卒鴨ニナリタキト云願ヲ發セリ、死シテ鴨ニナレリ、隣家ノ人ウチコロシテ喰ヘリ、鴨ガ好物ナラバ、鴨ノ外ニ居テ鴨ヲ料理シテ喰ハネバ面白クナキ理也、其外ニ居ル工夫ハ又釋尊ノ立方ガクワシキ也、地水火風ト四ツニ立ル、是ヲ四大種ト云也、大種トハ大ワケニワケテ見レバ、四項ニワカルト云コト也、上トモ云ベキ位ヲ火トシ、下トモ云ベキ位ヲ水トシ、中トモ云ベキ位ヲ地トス、扱別段ニ風ト云位ヲ立タルコト至極ニ最上ノコミ入タル精シキ智也、是ハ事物ニツキ迷ハヌ工夫ノ組立也、タトヘバ仁ハ結構ナモノト云人ハ物ヲ一ツトシタル人也、此人ハ葉公ノ村人ニチガヒタルコトナシ、直ハ結構ナモノトキメキリテ、直ノアシキコトアルニ氣ノツカヌ也、故ニ孔子ノ思召ニスレバ物ヲ二ツトスル也、直モアシキ處モアリ、仁モ却テ不仁ニナル時モアリ、是ハ物二ツトシタル人ニテ、一ツトシタル人ヨリ見レバ大ノ智者也、然ドモ己ガ所居ナキ故ニ、一向ニ直ニ居カ、一向ニ僞ニ居カノ二ツニテ、外見キカヌ也、兎角ニ二ツ外ニ己ガ所居ヲ又一位ツケテ、是ヲ己ガ居定トシテ、前



ニ二ツ並ベテ見居ルヨリタシカナルコトナシ、今釋尊ノ思召ハ己ガ所居ヲアワセテ、外ヨリ見ル工夫也、是ヨリ迷ハヌ法ナシ、眞ノ空ナル故ニ是ヲ風ト云也、物一ツヲ段々ニワケテ四ツニワケタルモノ也、老子ノ四大ト云モ、歐羅巴ノ四元行ト云モ同コト也、老子天地人道ト云、眞ノ空位ヲ道ト云ナリ、歐羅巴ハ水火土氣ト云、眞ノ空位ヲ氣ト云フ也、聖人ノ洪範ニハ水火木金土ト云、水火土ハ即天地人也、金木ハ別ニ入レタルモノニテ陰陽ト云コト也、水火土陰陽ヲ水火土陰陽トイハズシテ、水火木金土ト云ハ、智ハ上ニバカリアルベキモノニテ、下ニハワタラスモノトシタル故也、權勢ハ君ニバカリアルベキハヅノモノニテ、臣ニハアルマジキモノトシタル故也、故ニ洪範ハ皆三ノ數ニテ、五ト云自然ノ數ハナキ也、水火土陰陽ハ即水火土氣也、氣ヲ二ツニワケテ陰陽トシタルモノ也、皆智ヲ養ヒ肥ス法ニテ、智ノ動キ働キ也、今物一ツトシテハ智働ケズ動カズ、愚ナルハヅ也、左右人足ナレバコソ、ナンボアルキテモ勞セヌ也、一足ニテハアルケズ、擔ル人モ左右ノ肩デカヘム、擔ヘバコソ、遠キ道ニ擔ヘル也、智モ一ツトスレバヒツ、キテ動カズ、故ニ死智トナリテ働ケヌ也、後ノ儒者古書ニモタレテ己ガ智ヲ働セズ、却テ己ガ智ヲ働カスモノヲバ、古ヲ信ゼヌヅザンモノ也ト云ヨウニナリタルハ悲シキコト也、己ガ智ヲ働カヌヲ死智ト云、死智ヲ己ガ流儀ニスル故ニ、智ヲ詮議スベキヲ古人ノ智ヲ其儘ニ覺エテ、少シモ動カサヌコトヲ詮議スルコトニナレリ、子曰トサヘアレバ、是ハ孔子ノ仰セラレタルコト也トテ、首上ヘ戴テムザトハ見ズ、ムザト見タルナラバ、罰ニテモアタルト思ヨウニナレリ、

左レドモ子曰ト云コト急度孔子ニ限リタルコトニアラズ、子ハ男子ノ美稱也、其門人其師ノ説ヲ舉グルヲバ、子曰ノ二字ヲ冠スルコト古書往々ニアリ、文中子ナドハ隋ノ人也、左レドモ子曰ト書テ恐レヌ也、漸ルコトモナキ也、鶴按ズルニ、易ノ繫辭文言ノ子曰ハ孔子ノ言バニテハナシ、アレハ古ノト筮先生ノ言バナリ、其ノ門人師ヲ舉グル故ニ子曰ト書キタル也、易ハ本天地ノ理ヲ書キタルモノナレバ、決シテノト筮ノ爲ニ筆ヲ取タルモノニアラズ、古ノト筮先生筮シテ前識スベキ理ヲ言ニ、易ガ殊ニアキラカナル故ニ、筮ニテ易ノ書ヲ書キタルモノト見ヘタリ、孔子ハ儒者也、治國平天下ノ事ヲ詔ル天職ノ御人也、如シ易ノ書ヲカ、ル、ホドナラバ、是非ニ治國平天下ノコトニテ書ヲカ、ル、筮也、大衍ノ數五寸、乾ノ策或ハ兩儀ニ分チテ、餘リヲ扚ニヨスル等ノ語ハ、皆ト筮家ノ語ニテ儒者ノ語ニアラズ、左レドモ古ノフルキ人ノ書タルモノユヘ、理ヲ説タル處ハ至極宜シ、餘リヲ扚ニヨスル等ノ語トハ雲泥ノチガヒ也、唯此人筮ニ厚キ人故ニ筮ノユクヘカシギタルト見ヘタリ、決シテ孔子ノ語トハミヘヌ也、唯論語ニ五十學易太過ナルベシト云孔子ノ言アルギリニテ、詩ノ半分モ引書ナドニ用ラレズ、皆後世ノ儒者ノ付ゴト也、世上ノ人ノ信仰スルヨフニ、アレモ孔子、コレモ孔子トテ、方便ニ孔子ヲツカヒタルモノ也、一體漢以上ノ儒者ハ己ガ骨折テ著述シテ、古人ノ著述ジャト云テ古人ノ名ヲ借ルコト多シ、管子・墨子ナドモ秦漢ノ人ノ作ナルベシ、晏子ハ全ク劉向ノ作也、柳子厚ナドモ司馬遷ガ見タル晏子ハ、今ノ晏子春秋ニテハナキヨシヲ辨ゼリ、孔子家語ハ王肅ノ作ト見ユ、凡ソ己ガ

骨ヲ折テ人ノ名前ニスルハ秦漢ノ人々ノ癖也、人ヲシテ信ゼシメントノ爲メ也、繁辭文言ニ子曰ヲ加ヒタルハ全ク策家先生ノ說ナレドモ、孔子ト間違ヒタルハ其癖ノウツリタルナルベキ也、秦漢ノ儒者世人ヲ信ゼシメンガ爲ノ方便ニ、古人ノ名ヲ借りテ古人ヲ誣ルハナホ、親切ナル事ナリ、後ノ儒者己ガ智ヲ勵カスコトヲ禁ジテ、マツクラニ古トサヘ云ヘバ戴テ難レ有ガルハ餘リ愚ナルコト也、左レバ今ノ人學問ヲセントナラバ、第一ニ智ヲ動カシ智ヲ勵カセ智ヲ養フコトヲ出精スルニシクハナシ、文章ハ學問ノ中ノ一派流也、一枝葉也、今ノ人ノ文章ヲ見ルニ、古人書タル言ヲキリスキ、綴リ合セテ、アトモサキモナキモノヲ書テ文章ジヤト思ヒテ居レドモ、彼死智流ノ人ノ足ニテアリクヨフナルモノ故本末貫カズ、イヒタヒコトモエイハズ、人心ヘモハヘラズ、何ノ用ニモタ、ヌハ畢竟己ガ智ヲ勵カスコトノ出來スヨリ起リタルコト也、己ガ智ヲ勵カスハ唯六ヶ敷トノミ心得テ恐テ取ツク人ナシ、唯己ガ智ハクナリト死シタルマ、ニシテオキテ、古人ノ智デ事ヲシマワントスル極懈怠、ブシヨフ。臆病ナル心也、笑ニ堪タル事ニアラズヤ、如シ又此人ノスルコト眞ノ事ニテ、己ガ智ニテ新タニ文字ヲ綴リテ書クコトアシクバ、古ノ人ノ新ニ綴リタルハ皆アシキカ、古人ノ新タニツバルハヨシ、今ノ人ノ新ニツバルハアシ、ト云バ、何ノ事ヤラ一向ニ合點ノユカヌコト也、然レバ如何スレバ智ヲ勵カスコト出來ルト云ヘバ、古ノ書ニハ皆心ヲ勵カス法バカリアリ、智ヲ勵カサズニ古人ノ語ヲ其儘守ルハアシ、トハ處ニヨル也、故キヲ溫テ新ヲ知ルハ人ノ師タルベシト云ヘリ、古キマ、ニテ用ルハ人ノ師タル

ニハタラヌト云コト也、文武ノ政ハ方策ノ書ニ載セテアレドモ、アシキハ用ニタズ、アリノマヽニテハ用ヒラレズ、生カシテツカフ人居ラネバ、書ハアリテモ其政ハ廢スルナリト云ヘリ、桓智ヲ養フ方、論語・中庸・孟子ノ言ヘル處盡ク此一事ナレドモ、段ドリヲシテ順ヲ立タルハ、老子・莊子・韓非ナド甚コトコマカ也、今コヽニ莊子ノミ段ヲツミタルハナシヲ載テオク也、莊子ノ第一ハ逍遙遊ナリ、此逍遙遊ノ執行出來上レバ第二ノ齊物論ヲ執行ス、齊物論出來上レバ養生主ヲ執行ス、此三段成就シテ人間ニ居レバ、平天下治國修行皆自由自在ナリト云リ、唯今マデノ註者註ノシヨウアシキ故、逍遙遊始メ何ノ事ヤラ知レヌ也、今コヽニクハシク述シ、サテ逍遙遊トハ浪人シテブラツクコトデモ、山ヘ引コミ世ヲ非ニ見ルコトデモナキ也、字面ニテハドフカソノヨウニモ見ユレドモ、篇目ノ議論ハナカヽ左様ノコトデハナシ、ヤハリ治國平天下ノ智ヲ養フ第一條也、又浪人隱居ノコトハ世外ノ喰ツブジノコトナレバ、此法アラフハヅナシ、如シ又浪人隱居ニナルカ賢智ナラバ、天下ノ人皆學ビテ、皆賢智ニナリタルホドナラバ、天下中喰ツブジニテ、遂ニハ天下ノ人飢寒ニセマリテ亂興ル理ニテ、天下ヲ亂ス書ト云ベシ、先逍遙トハ用事モナキニブラヽアルクト云コト也、心ニ掛ル用事アリテハ逍遙ニ非ズ、實ニ心ニ何モナキ時ニブラヽトブラツクコト也、遊ハアソブ也、心ヲモシロフテ何モ苦勞ハナヒト云コト也、スレバ逍遙遊トハ用事ノコトモ、心ニカヽルトモナキニブラヽトアルケバ、何カ心ヲモシロフテ苦勞ノ案ジゴトハ少シモナキト云フコト也、成程ザツト書ヲ見ル人、浪人隱者ヲ



勸ムル篇目ト見ルハツ也、莊子ノ心ハ左様ニテハナシ、智ヲ養フ第一ケ條目ノ稽古ノ始リ、智ヲ養ヒナラフトキニ、一番始ニ此逍遙遊ヲ修スルガヨキ心ト云心也、逍遙遊トアリテハ人々合點ユキカヌル故、鶴ハ莊子ガ意ヲ汲デ今一通リ名ヲツケタリ、逍遙遊ノコトヲ我觀我ト名ヅケタリ、是デハ愚人ニモヨク解スル也、己ガ己ヲ觀テコレヲ知ルコト也、ナゼニ又莊子ハ逍遙遊ト題シタリト云ニ、己ハ兎角己故量員目ガ出デ、全ク己ガ見ヘヌ也、古語ニ局ニ當ルモノハ述ブト云、此心ハ碁盤ニ向テ石ヲ手ニ取リテ相手ヲ向フニオケバ勝氣ニナル、勝氣ニナルガ即ヒイキ目也、己ヲ勝セント思心胸ヲ衝クユヘ、盤中クラフナリテ見ヘヌ也、八兵ト權兵ト碁ヲ打ツトキ、側ヨリ見テ居レバ能見ユルト云フコト也、コレヲヲカ目八目ト云、此ヲカ目八目ノコト也、側ニ見テ居テモ八兵ニ勝タセント思テ見テハ又見ヘヌ也、ヒイキ目アル故也、ソコデ用事モ何モナキニブラリトミルハ、八兵ニ勝タセント思フテハモハヤ用事也、八兵ガ勝テモ權兵ガ勝手が勝テモ、トント此方ノカマヒニナラヌト思テ見ル法故ニ逍遙遊ト字ヲ下セリ、ヲカ目八目ト云コト也、己ガ己ヲ見ルニハ又八兵ヲ勝タセント思ヨリモ切也、見ヘヌハツニテハ無キヤ、故ニ我觀我トツケレバヨフシレル也、己ガ己ヲヒイキ目ナシト見ルガ、智ヲ養フ始メノ第一階也、己デニ他人ト兩人並テ、此兩人ノ優劣ヲ論ズルコトハ、平ラカニ秤目ニカケタルヨフ、一分一厘マデモチガハヌヨウニ、八兵ガコレ／＼ガ權兵ニマサリテ、コレ／＼ハ權兵ニオトリテ居ル也ト、些細ノ末マデモヨフ知ル也、然バ貴公ト八兵トハドレガドフ／＼チガフトイ

へバ、是ハ一向ニ知レヌ也、平生他人ヲバヨフ見テ知テオル故ニ、他人ニ異見ヲ加ルコトハ出來ル、己ガ枉リハ見ヘヌ也、見ヘヌニ非ラズ、見ヨウト思フハ見ユルコトナレドモ、見ヌ故ニ見ヘヌ也、故ニ己ガ身ニ異見ヲ加フルコトトント出來ヌ也、是ハ暗夜ニ他人ヘハ灯燈ヲカシテヤリテ、己ガ身ヲバ暗中ヲアルカスヨフナルモノ也、先己ガ智ヲ養法故ニ己ヲ知ラネバ叶ハヌコト也、己ヲ己ト思フトヒイキ目出ル故ニ、己ヲ他人ノ如クニ見ルコトヲ稽古スルガ始也、先第一ニ人々己ガ面ヲ知ラヌモノ也、故ニ先己ガ面ヲ知ルヨリ始ル、他人ノ面ヲバヨフ見覺テオレドモ、己ガ面ヲ見覺ヘヌ證據ニハ、目ヲネブリテ扱ハ兵ヲ見ント思ヘバ兵見ユル也、權兵ヲ見ント思ヘバ權兵見ユル也、己ヲ見ント思フトキトント見ヘズ、是ハ平生己ヲ見ヌ故也、己ヲ見モセイデ扱己ハ美男ノツモリ也、智惠有顔ノツモリ也、愛キヨウモノ、ツモリ也、人ニモ憎マレヌカハヒガラル、顔ダチノツモリ也、故ニ他人ノ面ヲバ朝カラ晩マデ評判ヲスル也、誰ガ面ハ醜デ愚人ノ面ニテ、愛ソウノナヒ面ニテ憎ヒ面ニテト論ズレドモ、己ガ面ノ評判ハセヌ也、タマ／＼私ハ醜面・愚面・可憎面ナド、云トモ、是ハ謙退ノ禮辭ノ心ニテ、心ニテハ中々左様ニハ存ゼヌ也、唯己ガ面ヲ見ヌ故知ラヌナリ、故ニ唯々謙退スルガ禮ナリト思バカリナリ、鶴按ズルニ、兎角朝々ニ己ガ面ヲ鏡ニウツシテ見テ、目ヲネブリテ己ヲソコヘ出シテ見ルコト術也、如レ此ニ度々スレバ、後々ハ他人ヲ見ル如ニ己ガソコヘミユル也、扱如レ此シテ見レバ、始メ思フタトハ相違シテ、アマリ美男ニテモナキ也、智ラシキ面ニテモナキ也、愛キヨウモノナヒヨフ也、

憎ミモアルナリ、コレヲ己レガ面ヲ知ルト云也、己ガ面ヲ知レバ、自慢クサヒ面ヤ憎マレ面ハ止ム也、己ガ身ニ損ノタツコト故也、扱其後己ガ身ブリヲ知ルコト也、是モ人ノ身ブリハヨフ評判スル也、誰ガ頭ガ高ヒ、誰ハミスボラシキナリフリジヤ、誰ハアヲムイテ歩行ク、誰ハセグクマリテ歩行クト云ヘドモ、己ハドウシテ歩ムヤラ、ドノヨフナル身ブリヤラ一向ニ知ラヌナリ、先ハ己ハヨキツモリナリ、左レドモ目ネブリテ、己ガ歩行ブリ己ガ挨拶ブリヲ見レバ、ヤハリキズダラケ也、コレモ心ニ矜伐ノ心タエテ身ニ益ノアルコト也、扱己ガ聲モ知レヌモノ也、是モ他人ノ聲ヲバ評スル也、誰ハドフマレ聲ジヤ、誰ハフクミ聲ジヤ、誰ハ上ズリ調子ジヤ、誰ハ下劣ノ聲ジヤト云ヘドモ、己ハ何聲ヤラ又一向ニ知ラヌ也、是モ誰ガ聲ヲ心デキコフト思バキコユルケレドモ、己ガ聲ヲバキカヌ也、是ヲキキナラヘバ、シツトリトシタル上品ナル聲ヲ務ムル故ニ己ガ身ヲ失ハズ、扱面モ身ブリモヨウ目ニ見ヘ、聲モヨフ耳ニキコユレバ、是己ヲ他人ニシテ見ルコト出來ル也、己ガ心己ガ身ヲ出デ、遠クヨリ己ガ身ヲ見ルコト出來テ、後ニ己ガ身ニ指圖スルコトモ、己ガ身ニ異見ヲ加ルコトモ出來ル也、左レドモ己ガ身ヲ己ガ身ジヤト思ト、兎角ヒイキスル氣味アル故、兎角ニ己レガヨキツモリニナルハ、マダ〳〵己ガ身ヲ己ガ心ガ出タリト云モノニアラズ、故ニ莊子ハ逍遙遊ト名ツケシ也、實ニ己ヲヒイキニセネバ秤目ヲタシク掛ル也、己ガ智ガ五匁アリテ、他人ノ智ガ六匁アレバ、アノ人ノ智ハ我ヨリモ一匁多シト思也、如此ニスレバ一向ニチガヒナケレドモ、兎角ヒイキ目アルモノナレ

バ、先々ウチバニツモリテ、我智四勿トツモリテ、彼人ノ智七勿トツモル氣ニナレバ眞ノコト也、コレニテソソウアヤマリアロフハズナシ、是我觀我ノ術也、扱第二ケ條ヲ齊物論ト云、是モ又古來ノ註家ニヨフ解セタル明解ナシ、郭象ヲ始メ唯物我ヲ齊フストアリテ、物我ヲ齊シフスルト云ハ、ドフイフ氣味ヤラ知レヌ也、且物我ヲ齊シフスルト云ニハアラズ、齊シク物也ト云コト也、齊シク物ナリト云ハ、天地ヲ始メ蚊蠅ノ類ニ至ルマデ皆物ナレバ、別ニカハリタルヨウスナシト云コト也、唯齊物論トアル故ニ、世人ニ合點ユキカヌルナリ、鶴又名ヲ別ニツクリテ我爲物ト云、是ハ我身ヲ色々ニ物ニシテ見テ、其色々ノ情ヲ知ルコトナリ、是ヨロシキ術ニテ、是ニテ無ケレバ天下國家ノ世話ハヤケヌコト也、左レドモ順ハ我觀我ノ後ニ修サネバ修サレヌ術也、故ニ第二ニオケリ、其故ハ我爲物トナルトイヘバ、色々ノ物ニナリテ見ルコト也、他人ノ身ニナリ、年齢チガヒノ人ノ身ニナリ、位階チガヒノ人ノ身ニナリ、扱女ノ身ニナリ、扱獸ノ身ニナリ、鳥ノ身ニナリ、木ニナリ、草ニナリ、石ニナリ、水ニナリ、雲ニナリ、風ニナリ、氣ニナリテ見ル術也、故先我魂ガ我身ヲ遠ク離レテ、實ニ我魂ガ獨遊ヲスルヤウニナラネバ、物ノ中ヘウチコマレヌ也、物ノ中ヘ我魂ヲ打込マネバ、物ニナリテ見ルコト出來ヌ也、故ニ先逍遙遊、次ニ齊物論ト立タルモノ也、此齊物ハ別シテ古來ヨリアル術ナレドモ、誰モ書ヲコマカニヨマヌ故ニ知レヌ也、已ズニ正心トアレバザツト讀ンデシマフ、正心トハ心ヲタバスト云コト也、タバスモノモ心也、タバサレルノモ心也、然バ古來ヨリ我觀我ノ



法有ニチガヒナキコトナレドモ、早ノミコミノ儒者共正心ト云バカリニテ、ザツトシテ通ス故ニ、心ニ解サヌコトヲ解シタ顏ニテスマス也、今我爲物ハ先詩經ニ委ク此法アリ、寡妻ニ刑トリ以兄弟ニ至リ、以家邦ヲ御スト云ヘリ、詩人ノ思ニ一體上ノ人下民ヲ制御スルニ、下民ノ情ヲモ知ラヒデ御スル也、下民ハ已ニ下民也、然ニ下民ノ情ヲ推スニ、士君子ノ情ニテ推ス也、是民ヲ治メソコナフハズ也、扱他人ノ情ヲ推スニハ如何スレバ宜シキト云フニ、先第一ニ心ヤスキ知ヤスキ人ノ情ヲ推スコトニシクコトナシ、凡ソ人中ニテ己ガ妻ヨリ心ヤスキ人無シ、其喜怒哀樂ヲ己ガ心ニ寫シテ見レバ、己ハ喜怒哀樂セヌコトヲ、妻ハ喜怒哀樂スルコトアリ、己ハ門外ヲ務ムルモノニテ、妻ハ門内ヲ治ムルモノナレバ、大ニ目アテナドチガヒタルコトアリ、唯妻ハウチアケテ心ヤスキモノナレバ、情ヲ推シテソコナフニ腹ヲ立ルコトアリテモ、怨ムルコトアリテモ、宥ムレバ宥メラル、モノナレバ、人情ヲ推ス手習始ニハ妻ガヨキナリト云コト也、扱其ヨリソロ／＼己ガ身ノ外ノ人情ヲ推シ覺ヘテ、ソレヨリ兄弟ヲ推スベシ、兄弟ハ妻ホドニ心ヤスウハナケレドモ、少々ノ推ソコナヒアリテ怨怒ヲ蒙リテモ又解ル也、ソレヨリ國人ニ及ブトアレバ、一體ニ詩經ノ文ニテハ直ニ國人ト飛コトサヘ法度也、況ンヤ今ノ士大夫ハ他人ノ情ヲ他人ノ情ニテ推サズ、己ガ情ニテ推也、殊ニ位階チガヒノモノハ、大ニ隔テノアルコトナルニ、下民ノ士民ノ山ノ奥海ノ濱トモイハズ、ヤタラニ己ガ情ヲ以テ推ス、大ニ笑フベキコト也、今齊物ノ順ヲ委細ニ書述ブベシ、鶴案ズルニ、理ノ順ヲ以テ云ヘバ己ト同ジ位ナ

年位ナ同ジ役儀グラヒナ同流儀ノ人ヨリツロ／＼推始ムベシ、唯人心其面ノ如ク一々ニチガヒタルモノナレバ、同ジ心ノアロフハヅナキコト也、橘玄柳ト云男鶴ガ父ノ友ニテ、鶴ガ弱輩ノ時ニ時々ニヨビニヨコシテ鶴ト話セリ、鶴ヲ大ニ世情ニ達スベキ器ナリト云テ、大ニ愛シテ叔姪ニ異ナルコトナカリシ也、此玄柳ノ話ニテ鶴大ニ書ヲ讀ナラヒ、理ヲモ辨ヘ智ヲモ養ヒ習タルコトアリ、玄柳云、凡他人ト交ルニ五年己ヨリ長ジタル男ト、五年己トタラヌ男トハ、己レト大ニ嗜好チガフモノト知ルベシ、吾昔小兒ノ情ヲ知ラントテ、子供ヲ集テ庭ヘ出デ、遊シコトアリ、小兒ニ向フテ此ヘ山ヲ築フト云バ小兒大ニ喜ブ、コ、ヘ池ヲ掘フト云ヘバ又大ニ喜ブ、是小兒ノ情ノ是非ニ面白ガリテ、大人ノ面白フトモ何トモナキコトナレバ、コレホドニ大人ニナレバ、小兒トハチゴフコトナレドモ、小兒ノトキノ情ヲ忘レテ、動モスレバ小兒ノ情ヲ取ソコナフ、一體醫者ノ儒者ノト云モノハ、大名ノ世ツギ公子ヲ預ルモノナレバ、第一ニ小兒ノ情ヲ探リ知ルベキコトナルニト思ヒテ、人形箱ヲ取ヨセテ西行法師ノ人形ヲ取出シ、コレヲ池ノ端ヘオカント思フタレド忽ニ心ヅキ、又大人ノ情ニテ小兒ノ腹ヲ推スコト愚ナルヤト思ヒテ、考ヒテ見レバ小兒ハ理ノツマリタルコトハ感ゼズ、取テモツカヌコトガ其情也ト思テ、扱西行ノ人形ヲ子供ニ見セテ、是ヲコ、ニオカントテ山ノ巔ニ置ケリ、子供アマリ喜バズ、一人ノ小兒其西行ノ人形ヲトリノケテ、牛ヲ取出シ其牛ヲ山頂上ニ置タレバ、小兒皆大ニ手ヲウチ喜ベリ、是ニテ我モ小兒ノ情ヲ段々推シタルコトアリト云テ話シタルコトアリ、唯小兒ハ我ト多ク年ヲ隔テタル故

ニ推ニクキ也、上ヘ五年下ヘ五年ト云說面白キ話也、合テ九年也、書ノ九族ト云ヘルモ、禮ノ六世ニシテ親族絶ト云モ、皆九ノワリ也、イカサマ上ヘ五年下ヘ五年ノ内ノ人ハ眞ノ友也、上ヘ五年ノ外下ヘ五年ノ外、人ハ心ヲ用テ油斷セズニ、年齢ノコトヲ心ニカケテ突合フ友ナルモノ也、鶴ガ立タル法ニテハ年齢・官路・嗜好ヨフ合タル人ヨリ推シ覺テ、ソレヨリソロ／＼ト年齢チガヒテ、官路・嗜好ノ異ナル人ヲ推シ覺ル、ソレヨリ又ソロ／＼年齢・官路共ニチガフテ、嗜好同ジキ人ヲ推シ覺ル、ソレヨリ又ソロ／＼年齢・官路・嗜好共ニ異ナル人ヲ推シ覺ユレドモ、凡ソ嗜好ノ異ナル人ハ其面ヲ見ルモイヤナモノナレバ、容易ニ此場ヘ進ムコトヲ許サズ、ヨク／＼人情ヲ推スコト好キニナラネバ出來スコト也、凡ソ人ノ情ヲ推スニハ、心ヲ二ツニ分テ一ツヲ先方ノ腹ヘ打込、先方ノ心ニナルヲオキテ、一ツヲ我腹ヘ入オキテ、是ヲ無心ニシテ傍觀ノ狩師心ノサハイヲ受ル氣ニナラネバ、人ノ情ハ探レヌ也、扱半年モカ、リテ他人ノ情盡ク知リタラバ女ノ情ヲ知ル也、女ノ情ハ又々丈夫トハ大ニチガフ也、先大抵ハウラハラナルモノナリ、裏店ナドノ夫婦喧嘩ヲキクニドチラモ尤ナルモノナリ、ドチラモ尤ナレバ喧嘩スミソウナルモノナレドモ、スマヌハ亭主ハ男ノ情ニテ女ヲ推ス、女房ハ女ノ情ニテ男ノ心ヲ推ス故也、扱又芝居役者ナドハ別シテ女形美貌ナレバ、女形ニ女ノ客人多カリソウナルモノナレドモ、立役ニ女ノ客多キハ、女ハ女ノ容ヲ見テハ春情オコラヌ故也、丈夫ハ兎角女ヲ挑マントテ、髭ナドヲヌキ足ノ毛マデナフシタフ思ヒドモ、是モ己ガ情ニテ女ヲ推スノミニテ、女ニナリカハリテミタ

ル智ニアラズ、今妓ナドモ取チガヒ多シ、目出度カシクヲ止テ以上ト書ク、扱あつかハハヲ止テ様ト書クハ、己ガ平生目出度・カシク・あつかハハヲ書テ、是ヲ見テモ春情オコラズ、以上・様ヲ見レバ春情オコル故、己ガ情ヲ以テ男子ヲ推テスルコト也、男子モ此通也、目出度・カシク・あつかハハヲミレバ己ガ情ウゴク故、是ヲ以テ女ヲ挑ムコト兩方共ニ誤リ也、唯女ハ男ガメヅラシイモノ、男ハ女ガメヅラシイモノナレバ、兩方共ニ己ガモチマヘヲシテオル方ガ、春情ヲオコサヌニ違タルコトナラズヤ、今ノ妓今ノトリチガヒ皆是類也、海邊ノ人ハ筍・松茸ガ賞翫ナルニ、山ノ人海邊ノ客ヲ得テ鱗甲ヲト、ノフルハ、海人ノ腹ヲオサスコト也、海人又山ノ人ヲ呼デ鱗甲メヅラシカラズト云ハ、是又山ノ人ヲオサヌ也、唯己ガモチマヘヲ用ユルコト平カニテ、兩方共喜ブコトナラズヤ、凡ソ他人ノ情ヲオスニ、己トチガヒタル處是々ト見テ上下スベキ也、扱人ノ位ハ何段モ有モノナレドモ、アロウ分ハ貴人一階、中人一階、下民一階、禽獸一階ト分テ、禽獸ヘハ隣リ合セナルモノナリ、貴人ハ大名以上也、中人ハ士大夫也、下民ノ階コマカニ分ネバナラヌ也、甚チガヒノアルモノ也、先富豪ノ主人ハ身ハ下民ナレドモ、衣服飲食ハ貴人ニ異ナルコトナケレバ、今爰ニ下民ト云フハ、夫婦カケムカヒ位ヘ落タル處也、夫婦カケムカヒヨリ下ハ乞食也、乞食ヨリ下ハコモカムリ、コモカムリヨリ下ハ犬也、江戸ノ吹上ナドニ飼ハル、犬ハ、コモカムリヨリモ、衣服飲食ハ富デ居ル也、奥方ニカハル、狎猫ノ類モコモカムリヨリミレバ富デオル也、如レ此禽獸ハ人ニツバキタルモノ也、今猫ニヨク／＼云聞カセテ魚ノ番ヲサスルハ、コモカムリニヨ



クヨク云聞カセテ、錢ノ番サスルニテガヒタルコトナシ、チガヒモナフ盜マル、也、乞食ニモチト番ヲサセラレヌ也、十人ノ中デハ七八人グラヒマデハヌスムベシ、夫婦カケ向ヒノ人ニモ、十人ノ内五人グラキハタシカナル人有ベシ、士ト云人ニモ甚小身ノ人、不埒モノアツテタシカナラヌ人アルナリ、今大身ノ人政令ヲ出スニ、己ガ情ヲ以下民ヲ推ス故ニ、下民ヲ孝悌忠信ノ善人ニセント思ヘドモ、大無理ナルコト也、孝悌忠信ノ善人ニナラヌ故ニ下民也、猫ニ孝悌忠信ヲ教ルニ格別ニ違ヒタルコトナシ、ナゼナラバ、デキニ隣テ居ル位ナレバ、又孝悌忠信ニシテ己ハ安樂ニアソビナガラ、政事ヲ全フセント思テハ大ブシヨウモノ、大愚者也、猫ヲオトナシキ猫ニシテ、魚ヲ仕マハズニ出シ散シニオカフト思フハ、大ブシヨウモノ、大愚者也、猫ニ不屈ノ猫、上ノ政ヲマモラヌ猫、プタレタ、カレ鼻ヲコスラル、猫バカリ出來テ、オトナシキ猫十萬疋ニ一疋カ二疋ナラデハアルマジ、下民ヲ孝悌忠信ニシテ、盜ニモ入ラズ、人ヲモ殺サズ、喧嘩ヲモセヌ様ニシテ、法ヲ立ズ刑ヲ嚴ニセズバ、不屈ノ民、上ノ政ヲマモラヌ民、プタレタ、カレ首刎ラル、民バカリ出來テ、ヨフ守ル民ハ十萬人ニ三人カ五人ナラデハアルマジ、畢竟孝悌忠信ニナルハ中人ノコト也、恥ヲ知タル人ノコト也、今士大夫ニ不孝・不悌・不忠・不信、扱恥ヲ知ラヌ人イクラモ有テ、切腹仰付ラレ、遠流仰付ラレ、御改易或ハ揚座敷或ハ揚屋ヘ行ク人モ、三千石高位ノ諸大夫ヨリ以下二三百石取ル人々澤山アリ、然バ善人ニナル人ハ少ナフテ、不善人ニナル人ハ多キニチガヒナシ、況ヤ下民ノ獸ノデキ隣リ、又隣リ一間オキノ隣ノ人

ヲヤ、猫ヲ罪ニオトスマヒトナラバ、猫ノ情ヲ推スニシクコトナシ、戸棚ノ中へ魚ヲ入テ戸ヲヨクヨクタテ、アカヌ様ニシテ置バ、猫罪ヲ得ル道ナキ也、法ヲ立テ刑ヲ嚴ニスレバ民罪ニ陷ル道ナシ、畢竟今ノ罪人多ハ士大夫ノ己ガ廉耻ノ心ヲ以テ、猫ノ隣ノ下民ヲ推シテ政ヲ行ハル、故也、猫ニナリテ見レバ、今頭ヲ叩カレテモ先ヒソミテ見ルツモリ也、下民ニナリテ見レバ、今捕ヘラレテモ先ヅ盜デ見ルツモリ也、況ヤ一々ニ法ヲ自身ニ守ンヤ、且法ノ嚴ナルコトヲ見セネバ、民知ロウハヅナキコト也、法令剛禁ハ知レタコト、誰ガ知ラズニ居ラフゾ、誰ガオカシテ罪ニアフゾ、誰ガ耻ヲ知マヒゾト云ハ士大夫ノ心ノコト也、下民ノ心トハ一向ニチガヒタルコト也、下民ノ情ヲ頭カラ推シモセヒデ、下民ヲ養ノ使ノ仁スルノト云ハ大ニ笑フベキニタエタルコトニアラズヤ、畢竟人ハ同ジ仲間也、同ジ仲間デサヘモ位階チガヒバ如此推ニクヒモノ故、大位階チガヒノ大貴人ノ情ト、大下民ノ情トヲヨクヨク推テ知テ、ソレヨリ獸ヲ推シ禽ヲ推シテ見ルコト法也、孟子ニ能其性ヲ盡クシテ後ニ能物ノ性ヲ盡スト云ハ此コト也、孟子モ能己ヲ知リテカラ他人ガ知レル、他人ガ能知レテカラ禽獸草木以下ガ知レルト思ヘリ、凡ソ古ノ智者ノ言ハ皆同コト也、後ノ早合點ノ愚儒ノ了簡ニ獨達テ居ルト知ルベシ、扱獸ニナリテ見、禽ニナリテ見、草木ニナリテ見レバ大ニチガフ也、タトヘバ木ノ枝ヲオロスニ、老人ナドヨフ側ニ見テ居テムゴガルモノ也、ヤレノカハヒソウニ木ノ枝ヲ切テ、枝ハ人ノ手足ナリ、手ヤ足ヲ如此伐ラバ木ハ大ニ迷惑スルコト也ナド、云人アリ、人情ヲ以テ木ヲ推スノニテ、木情ヲ以

テ木ヲ推スニアラズ、木ノ方ニテハ枝ヲオロサル、ハ、人ノ手足ヲ切ラル、トハチガヒ、人ノ身ヨリ汚血ヲ取ル位ノ事ニテ、却テ氣ガ輕フナリテ心ヨキ也、或ハ木ハムゴキモノジヤ、花ノ時分ニ嵯峨ヘ行クコトモナラズ、松島ヘモ嚴島ヘモ行レヌ、一寸モウゴカレヌ、サゾウゴキタキコトナラント云人アリ、是人ノ情ニテ木ヲ推ス也、木ノ情ニナラヌ也、法ヲユルメテ人間ヲ善ニセント思ハ、下ノ情ヲ推サヌ也、中庸ニ舜ハ邇言ヲ察スト云ヘリ、至極近キ手本ニ面白キ理アルニ、遠クサガシテ近ヲ踈ニスルハ皆愚人ノスルコトニテ、聖人ハ却テ近キ處ヲヨク／＼吟味ナサル、コト也、世ノ愚儒共近キ處ハトント忘テ、遠ニ馳セネバ學問デハナキト思フコト悲ムニタエヌコト也、扱齊物稽古手ニ入テ、其後ニ養生主ノ註モ、古來註家ノ言大事ノ處ヲヌカシタル註ノシカタ也、ナルホド人一生涯世ノ中ニ住シテ外ニ用事モナシ、皆生ヲ養フ爲ヨリ出ルコト也、朝ヨリ晩マデノ用事ハ、上大貴人ヨリ下大賤民ニ至マデ、生ヲ養フコトニアラザルハナシ、然レドモ莊子ノ意ハ左様ニアラズ、是天理ニ合仕業カ、合ハヌ仕業カト云コトヲ目利ヲスル捷法也ト云コト也、三篇共ニ皆智ノフエル理ニテ、白湯デコガシヲ飲ムヨウナルタワヒモナキ言ニアラズ、頼ノオチルヨウナル旨ヒモノヲ喰フ様ナハナシデナケレバスマヌコト也、故ニ主ノ字ヲオケリ、此養生主ト云ハ成程面白キ理談也、莊子ノ工夫ニハ朝ヨリ晩マデ行フ事ゴトニ、一々コレハ生ヲ養フ理カ、是ハ己ヲ利スル理カト聞コト捷路ナリト云コト也、予故ニ名ヲ別ニタテ、皆利我ト名ヅケシ也、我心ガ皆我ヲ利スル心ニテ、一向ニ我ヲ利セヌコトバカリ行テ居

バ、畢竟アラツモリノウハ氣ヨリ出タルコトニテ、マタ〱逍遙遊ノ齊物ノ稽古スマネバ、此修行ハ出來ヌ事也、事ハ六ヶ敷モナフテ稽古積マネバ此修行出來ズ、又ナマキマリノ腹中ニテ此目利ヲスレバ大ニ害ヲ買フコト也、故ニ大事ノ條下トス、タトヘバ今ノ世ニ獄門・磔ニナル人甚多シ、凡ソ人ノ己ヲ惡ムウチニ己ガ身ヲ獄門・磔ニスルホド甚惡ムコトアルベカラズ、今己ガ金ヲ盜タル人ヲ捕ヘテモ、獄門・磔ニスル心ハナキモノ也、己ガ金ヲ盜タル人ホド惡キモノハナケレドモ、是ヲサヘ獄門・磔ニスル心ガナケレバ、己ガ身ヲ獄門・磔ニスルハ、己ガ金ヲ盜タル人ヨリ、己ヲ惡ムト云モノ也、左スレバ己ガ眞實ニ惡キ故ニ、ケ様ノ刑ニ合ハスカト云バ、一向左様ニテハナシ、己ヲカハユガル上ヨリ取ソコナヒタル仕業也、凡ソ人ノ心誰カ一人己ヲカハユガラヌ人ノアルベキヤ、皆己ヲバ人々第一ニカハユガレドモ、兎角己ヲバ動モスレバ刑ニ合セ罰ニ辱メ、逼塞閉門ニ遇セ、改易削地ニアハセ、アヤマリ證文迷惑達ニ遇ハセテイヤガラスコト、皆己ヲムゴヒ目ニ遇セルガ好キナルニアラズ、己ヲ愛セントテ却テ己ヲムゴヒ目ニアハス也、然バ事毎ニ己ニ問テ見ルホドアキラカナル事ナシ、人ノ藏ヲキルハ己ヲ愛シテ、己ガ腹ヲ肥サン、己ガ身ヲ煖メント思テスル業也、ドウカ他人ノ金ニテモアレ、是ヲ取テ旨ヒ物ヲ食ヒ、美ナル衣ヲキレバ、己ヲ愛スルヨフニ見ユレドモ、元己ガ手指ヨリワキ出タル金デナケレバ、天ノ理ニチガヒテ居ル故ニ、眞ニ己レガ手ニ入ラス也、天ノ理ニ合ガ己ヲ愛スル第一ノ捷路ナレドモ、動モスレバ天ノ理ヲ忘ル、故ニ是皆利我ト云ケ條ヲ立テ、己ニ問テミル也、



今ノ人藏ヲ切ルトキニ是ガ我身ヲ愛スル仕掛け、我身ヲ利スル理カト問也、トント我ヲ愛セヌ仕掛也、我ヲ利セヌ業也、コレニテ一々ニ天理ニ合ヤ否ヤヲ知ルコト也、主人ノ物ヲ私曲セントスルトキニ、是レガ我ヲ愛スル仕掛け、我ヲ利スル業カト問也、トント我ヲ愛利スルコトニアラズ、己ガブシヨウヲザラセントスルトキニ、コレガ己ヲ愛利スル理カト問テ見レバ、一向ニ愛利セヌ理也、又己ヲ困シムル様ニミヘ、己ヲコマラスヨフニミヘルトキモ問也、コレハ己ヲ困シムル仕掛け、己ヲコマラス理カト問ニ、却テ己ヲ愛シ己ヲ利スル理也、今雪中ニ草鞋ヲハキ革ザイフヲカタゲテ商ヒニ行ク人ハ、今ハ困ノヨウニミユレドモ、畢竟ノ處大安樂ニナル理ニテ、イケスヘ行ヤタラニ料理ヲ云付テ滿腹スルホドニ喰ヒバ、今ハ樂ノヨウニミユレドモ、畢竟ハ大ニ困シム理也、凡ソ苦樂ハ一事々々ニアルモノナレバ、ヨク／＼ニナラシテ見ルベシ、今ノ困シミ後ノ樂ミヲ取ルコトナラズバ困シミ損也、困シマヒデモヨキコトヲ困シムト云モノ也、後ノ樂今ノ困ヲツグナフコトナラズバ、困シムマジキコトヲ困シムト云モノ也、是皆過ノ類ニテ中ニテナキユヘ也、凡ソ過ト不及トハ皆己ガ身ニ損ノユク理也、天ノ理ニアラザレバナリ、過モ愚ニ屬ス、不及モ亦愚ニ屬ス、故ニ天理ホド中スミナルコトナシ、古語ニ一日ニ計テ有レ餘モ一月ニ計テ不足ナルコトアリ、一月ニ計テ不足アレドモ一年ニ計テ有レ餘コトアリト云コトアリ、是皆大目ヲキカスト云コト也、獄門・磔・逼塞・迷惑ハ皆大目ノ極々キカヌ男ドモ也、左レドモケ様ノ大ヒナルコトコソヨク知ル也、些細ノ小微ノ事ニ至テハ、士大夫ノ様ナ大目ノキク人

ニテモ、動モスレバツイニハ過不及アルコトアリ、此皆利我ノ條ノ戒ヲ一刻モ忘ルベカラズ、是ホドノ小事ハ是バカリノ末事ハトアラク取ハカラウコト甚毒也、朝夕不斷ニ是ヲ我ニ問テ見ルコト術也、此三ヶ條ヲ莊子三段智ノ養ヒ方ト云也、コノ三ヶ條トクト手ニ入テ而後ニ世ニ居レバ、世ノ中ハ自由ニナルト云コトニテ、人間世ヲコノ後次テタリ、又老子ニ三分一ニ分ツ養智ノ方アリ、是モ知ラズシテハ叶ハヌ捷法也、老子ハ凡ソ物一ツヲ三區ニ分チテ一ツヲ生、徒トス、生徒トハ福ナルコトノ類智ナルコトノ類也、一ツヲ空地ト定テ、此區ハ生ノ徒ニスレバ生ノ徒ニナル、死ノ徒ニスレバ死ノ徒ニナル活地也ト定ム、譬バ人ノ世ニ居ルニ福ヲ好マヌ人ナシ、禍ヲ惡マヌ人ナシ、餘リニ福ヲ好ム心甚シキ故ニ、禍ナシニ福バカリニセントテ、活地ニ居ナガラウロタヘテ、ワザ／＼禍方ヘ飛込ムコト常也、是ハ三區ニワタルコトヲ知ラヌ故也ト云ヘリ、如レ此三區ニワタレバ、福ハドウシテモ福ナレバ、格別ニ世話ヲヤカヒデモ福也、禍ハドウシテモ禍ナレバ、格別ニ世話ヲヤキテモ甲斐ナシ、是ヲ見切ルコトノ術、三區ノ中一區見切りテ、ソレホドノ福ヲ受ルヨリ外術ナシ、是ヲ余ハ見切ノ術ト名ヅケテ人ニモ授クル也、扱殘リ一區ハコレコソ心ヲ付テ禍ヘ入ラヌヨウニ世話ヲヤクコト也、心ヲ付レバ福ノ方ヘ入レバ、世話ノヤキ甲斐アルト云モノ也、又福ヲ福ニオトシツケテ、ヨロコンデウレシガラズ、禍ヲ禍ニオトシツケテ驚テアハテネバ、隨分活地ノ世話ヲヤクヒマアル也、此活地バカリハ心ヲ碎キ骨ヲ折テ、禍ノ方ヘ入ラヌヨウニ／＼ニト常々ニ思フコト也、然ニ世ノ人ウラハラヲ行フコト世

上一統ノ風也、譬へバ徳ヲ取ルコトアレバ、コノ徳ノトレルコトヲ心ニ一バイニ入レテ、ウレンガリテ忘ル、ヒマモナフ、徳ノトレンコナハヌヨフニ、ニト思ヒツバケルコト也、扱損ヲセネバナラヌ理アリテ損ノユクコトアレバ、コノ損ノユクコトヲ又心ニ一バイ入レテウラミ困シミ、苦勞困究シテ氣ヲクサラシテムシムシニシテ、怒氣ヲ含ンデ外ノコトハ耳ニモ入ラズ、唯其損ノユクコトガ腹立テナラヌ也、是大ムダヒマツブシト云モノ也、ドフシテモ徳ノトレルコトアラバ、ハテスデニ見切りテモヨキコトニアラズヤ、是ヲ世話ヲヤキテモ益モナキコト也、活地ト云ハ徳ノトレルコトヲウレシガリテ、外ニ利ニ就キ害ヲ避クルコトヲ忘ル、ト忘レヌト也、忘レバソレダケノ損、忘レネバソレダケノ徳也、是徳ノ方ヘ行モ損ノ方ヘ行クモ、此活地ヨリノ動出シ様也、故ニ老子ニ人ノ生ニシテ動ヒテ死ニユクモ三ツアリト云ヘリ、隨分生ノ方ヘ入ラフトサヘスレバ入ラル、コトナルニ、ワザ、死ノ方ヘ飛込ムコト世上ノ人ノ常也ト云コト也、徳ノトレルコトアルトキハ、ウツカリトシテ人ノ云コトモ耳ヘ入レズ、人ニ逢フテモ不アイソフニテ、唯己ガ心中ニヒマナフ徳ノトレルコトヲ喜デ居ル故ニ、ウテウ天ニナリテ氣ガヌケテ智ガ働カヌ故ニ、種々禍ノ來ルヲ避クルコトナラヌハツ也、是ヲ動ヒテ死地ニユクト云也、扱又損ノユクトキハ損ヲシテクヤシヒト云コト、張切レルホドカタマリテ居ル故ニ腹立ハヤク、人ニ逢フモ怒ノ面ヲシテブク、シテ、福ガブラツキテ居テモ是ニ就ク氣モナク、唯ウロタヘテ無理ナル工夫ヲメグラシテ、損ヲトリカヘサントスル故、又ウテウ天ニナリテ足元サヘ見ヘズ、

ウロタヘマワル故ニ又禍ノ方ヘ飛込ム、是ヲ勅テ死地ニ行ト云也、齊田單ハ是ヲ以テ見レバ古今ノ智者也、我邦ノ楠將軍トヨフ似タル行跡ナリ、多ハ孫臋ノ傳授ト見ヘタリ、孫子足ヲキラレテ田單ノ食客トナリテ、智ヲ授ケタルコト史記ニ見ヘタリ、是又三分一見切リノ方ニテ甚面白シ、古ノ智者ノ智ハ皆一同也、齊田單ハ公族大夫也、齊ノ諸公子ト馬ノカケクラベヲシテ千兩ガケ也、コレハ馬ヲテンデンニ三等ニワケテ上中下トシ、三度ノリクラベテ優劣勝敗ヲ分チテ右ノ千金ヲ得ル事也、孫臋コレヲ見テ是老子ノ三分一見切リノ術ヲ用テ田單ニ勝タセタリ、孫臋思ニハ、彼方上ノ馬ヲ出ス時ニ此方ニモ上ノ馬、彼レ中ナレバ我モ中、彼下ナレバ我モ下ト出スハ皆勝ツモリ也、三度トモニ勝利ヲ得ルツモリニテハ見切ノ術ニ違フ、故ニ勝敗アラカジメ知レヌ也、彼ノ見切リノ術ヲ用バ、三度ノ内一度ヲ見切ル也、彼レ上ノ馬ノトキ我下馬ヲ出ス、是ヲ見切ノ術ト云也、一度ハ負ト見切ル也、彼中ノ時我上ナレバ我勝理也、彼下ノトキニ我中ナレバ又勝ツ理也、一度見切リテ二勝ヲ取ハ即是老子ノ術也、今世人人ニ對シテ皆勝ソモリ故大敗ヲトル也、己アシキコトナフテ人ヨリヨキコトアリト云構也、是無理ナル理也、三ツニ一ツハ是非ニアシキコトアルモノニ相違ナシ、其アシキコトヲ見切テ早ウ打負テ人前ヘ出シテ仕マヒバ、殘リノ處ハ人ニ勝ツコトアルモノナレドモ、見切ナシニ皆勝ントスル故ニ、己ガアシキコトヲ人ニクリ出サレテ、大ニ敗ヲ取ルコト也、人ノ世ニ居ルニモ食ヲクヒツブシ、衣ヲ着切リ、住居スマヒクツシタルハ死地ト云モノニテ、是非ニ救ハレヌ處也、又ドノヨフナル男ニテモ、



一日ニ身ノ上相應ニ得ルコト無フテ叶ハヌコト也、手足耳目ノ備ラス人ニテモ、一日ニイカホドト云得ル位ハ、士農工商皆手指心思ヨリウミ出スハ、是生ノ徒ト云モノニテ身ニツキテアルモノ也、左スレバ三分一ト云理ハノガレヌ理也、譬バ錢百文ヲ三ツニ割バ三十三文ヅ、也、三十三文ハ世話ヲヤカヒデモ得ル三十三文也、三十三文ハ世話ヲヤキテモ費ベキ三十三文也、アトノ三十三文ハ德ノ方ヘ入レバ德ニナリ、損ノ方ヘ入レバ損ニナル三十三文ナリ、世話ヲヤカヒデモ取レル三十三文ハステオクガヨロシ、世話ヲヤイテモ取レヌ三十三文ハ捨テ見切ルガヨロシ、世話ヲヤケバ取レテ、世話ヲヤカネバ取レヌ三十三文ハ、唯三十三文ノコトナレバ、イカヨフニモ世話ヲヤキテ德ノ方ヘ入ルベキヨフニスルコト也、然レバ世話ヲヤケバ唯三分一ニテ、アトノ一分ハステオキテ取レル財、今一分ノハ見切ルベキモノナレバ、其ノ身モラクナルコト也、又皆九十六文共ニ取ラント云バ大ニ誤リ、天ノ理ニナキコトナリ、六十四文フエテ三十二文ヘルノガ眞ノフエルナリト心得ベシ、不<sub>レ</sub>殘得ル世話ハ皆過ニテ天理ニ違ナリ、三分一ハマケテ三分二勝ガ眞ノ勝ニテ、不<sub>レ</sub>殘勝ト云コトハナキコト也、天ノ理ニ違フ也、今身上ヲヨフスル人モ不<sub>レ</sub>殘取タルニアラズ、三分一ハ損ヲシテ三分ノ二フヤセシ也、今身上ヲアシフスル人モ皆急ニナフシタルニアラズ、三分一ハフヤセドモ三分二ヅ、ヘラシタル人也、是三分一見切ト云コトハ其捷路ニテ、人ノ合點ノユキヤスキコトナレドモ、行ヒガタキ處也、己ガ負ヲ見切リテ救ハズニ、表向ヘ出スコト田單ノ馬ノ如シタルホドナラバ、三分二勝チニナルト心得

ベシ、智ノ動キ働クコトハ下ノ活眼談ニテ見ルベシ

前  
識  
談  
終

諭

民

談





## 諭民談

面白キモノハ世ノ移變ナリ、世ハ活物ナレバ常態アロウハヅナキコトナリ、日々ニ移リ時々ニ變ズ、見トメラレモセヌモノナリ、孔子ノ語ニ、民ヲバコレニ由ラシムベシ、コレヲ知ラシムベカラズト云ヒタル心ハ、民ハ至愚ナルモノユヘニ、人ヲ愛スルガヨイト云ワケヲバ、一々知ラサル、モノデハナイ、ソコガ至愚ノ民ジヤユヘニノミコミニタヒモノジヤ、合點ノユクヨフニイヒトロフト思テモ、大ニモノヲイヒツクルヨフニテノミコマセラレヌユヘニ、唯人ヲ殺セバ討首ニスル、人ヲ愛スル人ニハ褒美ヲヤルトイフコトバカリ云フテ、ドフ云ワケデ人ヲ殺シタルモノハ討首、人ヲ愛スルモノニハ褒美ヲトラスルト云フワケハ、民ハシラヒデモヨキコトジヤ、犬モ人ノ家ヘアガレバ唯ウチノメス也、ドフ云ワケデ人ノ家ヘアガレバ討ノメスト云ワケヲバ、犬ニハ知ラサル、モノデハナイ、唯アガレバ討ル、ユヘニアガラヌガヨイト云テ、アガリサヘセネバヨキコト也ト云フコト也、孔子ノ時分ノ民ハコノ通りノ人柄ナリ、ヨキ人柄ノ民ニテ御シヨキコトナリ、今ノ木曾ノ山中カ、佐渡・隱岐ノハナレ嶋ノ民ノヨフニ質朴ナルモノデアリシト見ユルナリ、今ハ民ノ方ガ士大夫ヨリモヤツトスルドフテ巧捷智慧ナリ、コレヲ世ノ移變ト云ナリ、サレドモ一タイ土民ノコトナレバ、眞ノ哲敏ナルニアラズ、狡猾ナルナリ、

眞ノ敏哲デナフテモ、木曾ヤ島ノ民ヲアシロフヨニアシラフテハ大キニテガフナリ、ヤハリ知ラサ  
ネバ却テ政ヲ害スルコトアリ、知ラシテモ吞込スト云ヨフナ民デナキナリ、犬ノヨフデハナキナリ、  
理屈ガヨクワカルユヘニ理屈ヲイフナリ、理屈ヲイフモノヘハ、理屈ヲヤハリイフテ吞込マサネバナ  
ラヌ也、吞込セヒデモスム事ハナルホドイワヌガヨキ也、吞込サネバナラヌコトハ、其ツイデタヨリ  
ノ便ナルトキニ云フテキカスベキコト也、江戸ニテ三子ヲウミタルモノニハ、御扶持ヲ下サルコトア  
リ、江戸ニテハ御褒美ト覺エテオルコト也、モロフ人ハ土民ノコトナレバ、何ユヘト云ワケヲシラヒ  
デモ、御褒美ト覺ヘテオイテモドフデモヨキコトナレドモ、コレラノワケヲバワケノリントアル事ナ  
リ、且ツ上ノ御役人ハ定テワケヲモ知リテ入ラセラル、コトナルベシ、サレドモ下役中ハシラヌト見ユ  
ルナリ、ヤハリ御褒美ト覺ヘテオルトイフコト也、三子ニ扶持米ヲトラスルコトハ周禮ニアリ、コレラ  
ハ政ノ中ノ尤モ大セツナル肝心ノ事也、至極ヨロシキ理屈ノコト也、御役人モ御扶持ヲ下サルワケハ、  
知リテモアラセラルベケレドモ、周禮ノ意ノ處ハイカッアルヤラ、如シコノ三子ヘ御扶持ヲ下サル意  
ヲ知ラセラレタラバ、外々ノコトニ大キニワカルコトアルコトナルベキニト思ハル、也、下役中ノ御褒  
美ト覺エテアル人ハ、又一向ニ政ニ氣ノナキコト也、或曰、三子ヲ産ガルモノヘ御褒美ヲ下サルハ、  
大樹様御上洛アラセラル、時ニ牛車ニ召サル、也、コノ牛ヲ飼フモノハ三子デナケレバナラヌコトナ  
リト云、牛車ニノルコトハ江戸ニテコソマレナルコトナリ、京ニテハ牛車ニノルコトハ祭禮ゴトニ出

ル事ナリ、ツイゾ三子ノ飼フトインコトナキコト也、且ツ三子ヲウミタルハ功トイフモノニテハナキ也、功ナキモノニ大節ノ御米ヲ下サルコトツマラヌ事ナリ、八十九ノモノニ御米ヲ下サルハ、年ノヨルマデ死ナズニヲリタルヲホメテ下サルニハアラズ、長壽ノモノハソレダケ世ノ中ノコトニナレテ、聞キ知リタルコト多キユヘナリ、聞キ知リタルコト多キハ功ナリ、コノ功ヘ御米ヲ下サルコトナリ、コレサヘモ下役中ハ左様ニハ知ラヌ人モアル様子ナリ、年ノヨリタル御褒美ト覺ヘテアルヨウス也、役人ハ甚ダ輕キ役人ニテモ政ノテツダイヲスル人ナレバ、筋ハリント通りテヲラネバナラヌコト也、御褒美トイフハ少ニテモ政ノ名ニカ、ルコトナレバ至テ重キコト也、年ノヨリタルモノヘ御扶持ヲ下サルコトハ禮ノ王制ニアリ、百年ノ者ヘハ王公ノ方ヨリユキテ事ヲ問フコトナリ、是事物ノコトヲ知リテオルユヘニ御褒美ヲ下サルナリ、年ノ寄リタル御褒美トイフ御褒美ナシ、三子ヲ産タル御褒美決シテナキコト也、江戸ノ兩國ノ柳橋ニ若竹屋ト云舶宿アリ、鶴ガ二十餘ノ時ニ三子ヲ生メリ、三人トモニ男子ナリ、此旨ヲ町役人ヨリ言上シタルニ、例ニ依リテ御扶持ヲ下サレタリ、コレ若竹屋ハ柳橋デハ一番グラヒノ勝手者ニテ、下女モ兩人モ有リ、船頭モ六七人モアリテ、屋根船モ三ツモアリ、猪牙船ノ五ツモアル家也、コノ家ヘ御扶持米下サレタル時ニ、役人ハナニト云テイヒ渡シタルヤハ鶴知ラヌナリ、ナンデモ此家ニテ大キニイワヒタリ、扱遠方ヨリモ近方ハナオサラノコト、ヨロコビニユク人一日ニ百人モ二百人モアリ、扱見物ニユク人アリ、朝カラ晩マデ客ナリ、朝ヨリ酒ヲ出シテ夜ノ



フケルマデ、客ニテトン／＼ト云テ酒宴ヲスルコトニテアリシヨシ也、コレヲ見タルトキハ役人御褒美ト云タルヨフナリ、又ヨロコビニユク人ハ皆御褒美御頂戴自出度コトナリトイヒシ也、コレハ大キニ上ノ執政方ノ思召トハチガフコトナルベシ、イフテキカサネバナラヌコトヲイワヌ也、ヨキ便宜ユヘニゼヒ／＼ニイフベキニヌカシタルナルベシ、輕キ下役中ノコトナレバ知ラレヌハヅナリ、奉行イフテキカスベキコト也、奉行知ラズバ執政ノ方仰セラルベキハヅ也、凡ソ何事ニヨラズ、政事ノ上ノ事ハ合點ノユカヌ事ハ、其上役ニタヅヌベキハヅノコトナリ、下役中ハ合點ノユカヌコトヲバ其上役ヘ尋ヌベキハヅ也トイフコトヲモ知ラヌ人アルモノ也、シカレバ執政ノ人ヨリ兼テ下役中ヘモフシ渡シテ、執政ノコトニツキテ合點ノユカヌコトハ自分ヘ尋ネラレヨ、自分ニモ知レヌコトハ又其筋ノ人ヘ尋ヌルコトナレバ、即チ此方ノ學問ニナルコトナリトヨフナ觸レ御仕置御褒美ノ筋、凡ソ政事ニカカリテ御役ニテ取アツカフコトハ、トクト其元タチノ心ノ底マデ合點ノユキスマスマデハ、其上役ニキカネバナラヌコト也、合點ハユカネドモ、上役ヨリケ様ニイヒワタセトアルコトユヘニ、イヒワタストイフテ合點モユカヌコトヲイヒワタスコトアルマジキコト也ト、兼テ輕キ役人ヘハモフシワタシテヲクベキコト也、掬周禮ノ三子ヘ扶持米ヲトラスルハ御褒美デハ決シテナキナリ、理ヅメナリ、政ノスキマノナキ處ヲ見ルベキナリ、周ノ政トイフモノハヨフシマリタルモノナリ、凡ソ輕キ民ハ一夫一婦デ田百畝ヲ耕作ス、コレアテハメタルクラシカタナリ、經綸ニモ云タル通り、身上ハアラヒア

ゲテ上デ知リテオルナリ、奢侈ノデキヌヨフニ、又飢寒ヲセヌヨフニアテガヒタルモノナリ、下ノ飢寒スルハ民ノ上タル人ノ大辱ナリ、民ノ奢侈スルモ民ノ上タル人ノ大辱ナリ、飢寒ハ奢侈ヨリ出ルナリ、奢侈ハ飢寒ヨリ出ルナリ、奢侈スル人アルユヘニ、片々ニ飢寒スル人アルナリ、片々ニ飢寒スル人アルユヘニ、片々ニ奢侈スル人アルナリ、周禮ノ法ハ奢侈サセヌ法ナリ、飢寒サセヌ法ナリ、儒者孟子ノ愛民ヲ拘子定本ニトフヘテ治世ニ施スユヘニ、民奢侈スルナリ、奢侈スル民アルユヘニ、飢寒スル人アルナリ、大キニ政ノ害ヲナスコトナリ、三子ヘ扶持ヲ下サル處ニテ見ルベシ、小兒ノ乳ヲ飲デ育スルハ、イツデモ飲マサル、イツデモ飲マル、トイフテ飢ヌコト也、今母ノ乳ハ二ツナラデハナキ也、乳ハ二ツアリテ小兒ハ三人アレバ、是一人ノ小兒ハ飢ル理ナリ、三人ノ小兒ハ二ツノ乳デハヤシナワレヌコトナリ、小兒一人死ス理ナリ、民一人咎モナキニコロストイフハ國ノ貧ニナル理ナリ、民ハ十六以上ハ一人マヘノ口分田ヲウケ取リテ、一人前ノ御年貢ヲ納ムルモノユヘニ、民一人ヘリテハ上ノ御損ナリ、國ノ耗ナリ、ユヘニ御扶持米ヲ下サルコト例ナリ、今若竹屋ノゴトキハ下女ノ二人モアリテ、船頭ノ五人モアレバ、御扶持下サレヒデモ乳母ヲカヘラル、身上ナリ、コレヘモ御扶持ヲ下サルハ政ナリ、コトノワケヲ下ヘ知ラス便宜ナリ、御扶持ヲ下サルハ美政ナリ、美政トハ下ヲ愛スルト云コトニハアラズ、政ノワケヲ下ヘ知ラサル、ユヘニ美政トイフ也、如シ唯ナントモイワズニ唯下サレテハ政ノ害ニナリソフナルコト也トイフハ、民トイフモノハ唯モロフテモ、モラヒタガル

モノ也、ソノ上ニナンノワケモナキニ唯扶持米ヲ下サレバ、是イヨ／＼モヒラタガル理ナリ、唯ヤル  
ト云理ナキコトナリ、上タルモノハ常々コレヲ恐ル、コト也、唯ヤルハモロフタル方ハヨカルベケレ  
ドモ、ヤル米ハ民ノ丹誠シテ命ニカヘテ作り出セル米也、ナワシロニハ寒サニテ死ヌ、耕シニハ凍ヘ  
テ死ヌ、田ノ草トリニハ暑ニテ死ヌ、カリコミニハアツサニアタル、皆コレ民ノ命也、米ヲムダニム  
シヤ／＼クフハ、民ヲムシヤ／＼クフテクヒコロスニ格別チガフコトナシ、況ヤ民ノ父母タル人民ヲ  
ワザ／＼人ニクヒコロサセルト云ハ、不仁ノ至リナラズヤ、ユヘニ益ノアル人ニ米ヲヤラヌハ不仁ノ  
君ナリ、益ノナキ人ニ米ヲヤルモ不仁ノ君ナリ、民ハ愚ナルモノユヘニ、此理ヲワキマヘル人ナキハ  
其所ナリ、モラヒタガルハヅナリ、唯上ヨリハワケノナキモノハハラヌトイフコトヲセイ／＼民ニ  
知ラセテオカネバナラヌコトナリ、三子ヲ産タル褒美ト云フトキハモロフワケナキニモロフ也ト民覺  
ユルユヘニ、ワケナキニモラヒタガルナリ、ユヘニ政ノ大害ナリト云ナリ、鶴竊ニ案ズルニ周ノトキ  
ノアリサマヲ今日ニ見テ、三子ヲ産タル家ヘ扶持ヲヤルトキニハ役人ケ様ニイフベキナリ

何郡何村ノ誰三子ヲ産タル由村役人ヨリ申出ルニヨリテ、例ノ通御扶持下サル間、有ガタク頂戴ス  
ベシ、依テ見届トシテ檢使サシツカワサル、也 扱三子ヲ産タル家ヘ御扶持米ヲ下サル、コトハ、  
古ヨリノ掟ナレバ、此ヲキテノ趣ヨクヨクウケ玉ワリ、彌以家業出精、大ジニ御奉公仕ルベシ、ウ  
ツカリト存ジテ此趣ヲ輕ジ心得ルコトアルベカラズ、上ヨリ仰セ出サル、コトハ無理ナルコトノナ

キ處ヲヨクヨク承知シテ難<sup>レ</sup>有ク存スベシ、一體土民ハ夫婦カケムカヒナルモノニテ、夫婦兩人ノクラシカタダケナラデハナキモノナリ、小兒十六ニナレバ、口分田ヲタスコトナレドモ、又一人ダケノ御年貢ヲ出サネバスマヌコト也、カクノ如クキリツメタルクラシカタノモノナレバ、三子ヲモノコラズソダテマセイトハ仰出サレヌ、母ノ乳ハ二ツナラデハナキニ、三ツ子ヲノコラズソダテマセイトイフハ上ノ無理ナリ、又二人マデハ子ヲソダテラレルホドノ有餘アルヨフニシテクダサルコト也、三子ヲバ夫婦デハソダテラレヌユヘニ、御扶持米ヲ下サルコト也、アルベキカ、リヨリモオゴルモノハ、御吟味ノ上キツト罰ヲ仰出サル、コト也、又アルベキカ、リホドニデキヌモノモオゴリモノト共ニ御吟味アルコト也、アヤシキタクワヘアルモノト、ズルケテ貧ニナルトハ同罪ナレバ、コノ趣ヨク承知シテ大節ニユダンナフ渡世ヲイタスベシ、上ノ思召ハ罪ナキモノヲ見ゴロシニハナサレヌ、又罪アルモノヲ見ノガシニモナサレヌコト、此扶持米ノ通りナリ

コノ趣ニイフテキカスベキコトナリ、イフテキカセクフテモ便宜ナキユヘニイワズニオルコト也、今至極ノヨキ便リアルニ、コノ趣ヲイワヌノミナラズ、功ナキモノヘ御褒美下サルナドトイフコトヲイヒキカスコト政ノ大毒ナリ、モト米ヲソマツニ思フユヘ也、米ヲソマツニ思フハ民ノ一命ヲソマツニスルト云フモノ也、炮烙ノ刑モ朝涉ノ脛ヲキルモ同ジコト也、恐ルベキコトナラズヤ、サレバ下ノ養ヒヨフハ六ヶ敷モノナリ、スコシチガヘバ永々ニマチガヒヲノコスト云フモノナリ、マチガヒヲノコ



セバ政ノサ、ワリニナリテ、民ノ心イロイロニ變ズルナリ、民ノ心ハ上ノ政ノアヤツリヨフシダイニナルコトカクノ如シ、然ルニ立テカタワルケレバ、スコシノコトニテモウマウユカヌコトアリ、江戸ニテハ地面ヲモチタル町人ヲ地主ト云、地面ヲモチタルギリニテ、公邊ノ事ニハ一向ニカマワヌ也、公邊ゴトニ公儀ヘ出ルモノハ、右ノ地主ノカ、ヘテオク家來ナリ、コレヲ家主ト云ナリ、家主ハ役人ナリ、地主ハ役人ニアラズ、金持ナリ、家主ハ地ヲ持タル人デハナキ也、家ヲモモタヌ人ナリ、人ガラハ宜シフナキ人々也、扱家主ノ上ニ名主ト云モノアリ、名主モ地主ノカ、ヘテオクヨフナルモノ也、名主ハ名主給ヲ取リテオル、名主給ハ地主ヨリ出スナリ、家主ハ家守給ヲ取リテオル、家守給ハ地主ヨリ出スナリ、サレバ名主モ家主モ皆地主ノ家來ノヨフナルモノ也、名主ハ代々名主ナリ、地主ヨリ寄合フテ給金ヲ出シテカ、ヘテ、公邊ノコトヲ取リ扱フテモロフナリ、名主ハ時ノ上下一刀ナリ、家主ハ袴バカリ無刀ナリ、名主モ家主モアマリ君子ハナキモノ也、ユヘニ地面ヲ持チタル人々ハ、町内ノ用事モカマワズ、表向ノツキ合ヒモナキユヘニ、コレ又不行儀ナリ、江戸ノ町人ノコラズ不敬謹ナルハ、江戸ノ町ノマガリタルトコロモアリ、三角ナルトコロモアリ、蛇ト同ジコトナリ、モトオヒノ出来タルユヘナリ、コ、ヲ都ニシヨフトイフテコシラヘタル町デナキユヘ也、田地ヲソノマ、築キテハ家ヲ建テ、シタルモノナリ、ユヘニ路ハ田ノクロナリ、田ノ畔ハナルホドマガリタルモアリ、三角モアリ、丸キモアルモノナリ、自然デキノ路ナリ、豊臣公大阪ノ町ヲ京ノ通りニシタルハ、唯船場ト

島ノ内バカリナリ、中ノ島モ堂島モ西ワキモ西ワキモ皆田ノ畔路ナリ、ユヘニ江戸ノ路ノ通りナリ、町方ノ取ヅリモ自然デキナリ、地主ガ名主ヲカ、ヘル、家主ヲカ、ヘル、其マ、デオキタルハ自然出來ノ法ト見ユルナリ、扱町ノ法ハケ様ニ立テントイフテ、ナラシテ立テタル法トハ見ヘヌナリ、鶴竊ニ案ズルニ、町ノ法ハ京師ガ宜シキナリ、法ガ立チテオルナリ、先ヅ地屋敷ヲモチタル人ヲ町主ト云フ、扱其町主ガマワリモチニ年寄ヲモツコト也、年寄ハ江戸ノ名主ノ場ナリ、年寄ノ下ニ五人組トイフモノ三人アリ、此三人ハ年寄ノ見習ヒナリ、年寄ハ公邊ヘデ、彼是辯舌ヲモフルハネバナラヌモノナレバ、習ハネデデキヌナリ、五人組ノトキニ年寄ノ取ハカラヒ方ヲ見覺テオリテ、ソノ後二年ワリニナルユヘニ、萬事ウイ／＼シフナキ也、扱年寄ヲモツコト大テイ二年ホドヅ、ナリ、尤一年ヅ、ニテ辭退ヲスルナリ、町奉行ヨリヤハリ唯今ノ通り年寄ヲモツベシトイフ下知アリテ、一年モツナリ、扱年寄ヲモチテモ江戸ノ名主トチガヒテ一錢ニモアタラズ、唯ヲリ／＼物入アルノミニテ、一向ニ徳分ノユクコトナシ、唯年寄ヲモテバ榮耀ナリトシタルモノナリ、扱京ハ古町ト云フモノアリ、北古町ト云フモノハ甚權アルモノニテ、江戸ヘモ下リテ御目見ヘラスルコト也、御目見ヲスルモノハ其年ニアタリタル其町ノ年寄ナリ、扱町奉行ノツカフモノニ町代ト云モノアリ、江戸ノ町代トハ大キニチガフナリ、江戸ノ名主ノ上ノヨフナルモノナリ、町年寄ノ下ノヨフナルモノナリ、此町代ト云フモノハ、百町モ二百町モモチテオリテ、公邊ノ觸レナドヲ出スモノナリ、ザツト見レバ年寄ノ上ノヨフナルモノ

ナレドモ、古町ニテハ町代ヲ甚ダ賤シムコトナリ、常ノ町ニテハ町代ノ手代ガ來リテモ權アルモノナリ、町代自身ニ來レバ、年寄ヨリズツト上席ニ坐シテ甚尊大ナルモノナリ、古町ニテハ町代一向權ナク、古町ノ年寄ノ家來ノ如クアシロツモノ也、イカサマ京師ハ平安城立チ始リタルトキヨリノ町人アル所ナレバ、上ノ御役人ノイフコトニテモイナムコトアリ、ソレハドフモ理ナレバ、ソノ人ノ云フ通りニセネバナラストイフヨフナルコトアリ、ソコデ京ハ所司代始メ町奉行ニテモ、一向ニ我意ノフルヘヌヤウニシタルモノト見ユルナリ、ソコデ家柄ヲ重ンズルナリ、家柄ヲ重ンズルユヘニ、不行儀ナルコトハセヌコトニナルナリ、諺ニ江戸ハ一夜檢校ト云、家柄ニハカマワヌ今金ノアル處ガヨイト云コトナリ、イカサマ今金ノアル處ガ今ノ上席ナリ、天下一統皆ケ様ナレドモ、ソノ内ニ古町トイフモノヲ立テ、古町ハ家柄トイフコトヲ立タルハ妙計ナリ、ソコデ町人ノ人柄ハ京師ホドヨキ人柄ノ處ハナキ也、江戸ノ人三條ノ宿屋ニトマリテ、三條ノ宿屋ノ主人ヲ京ノ町人ナリト思フコト大キニソソフノコト也、宿屋ノ料理ヲ京ノ料理ト思フト同ジコトナリ、一向ニタワヒモナキコトナリ、凡江戸ハ皆一統ナリ、ハタゴ町ノ主人モ日本橋ノ一二町目ノ主人モ同ジコト也、家柄トイフコトナキユヘナリ、其心ヲ京ニテスイリヨウスル大マチガヒナリ、京ハ上京ハ上品トス、中京ハ商人多ケレバ、上京ノヨフニハユカネドモ中品ナリ、下京ヲ下品トス、大阪モノト似テオル氣味ナリ、不行儀ナリ、敬謹ナラズ、サレドモ家持人ハ年寄ガマワリテクルユヘニ、甚シキ不行儀ナルコトハナラヌ也、是皆年寄ノマ

ワリテクルユヘナリ、上京ノ年寄モ年寄ナリ、下京ノ年寄モ年寄ナリ、イヘバ同役ナリ、アマリ不敬  
謹ナルコト、デキヌナリ、扱年寄ヲ持タル家年寄ヲアゲクルハサキノ年寄ナリ、コノ前ノ年寄モ權ノ  
アルモノナリ、今ノ年寄其人ニアラザレバトリアグルナリ、ソコデ年寄ヲモツコト大ジノコトナリ、  
町主十人アレバ十人ナガラマンベンナウ年寄ヲモツユヘニ、京ノ地面家ヲ持タル人ハ、甚シキ不敬謹  
ノ人ハナキナリ、江戸ハ名主ハ代々モチニテ、地主ハ地主ユヘントント別ノモノ也、公邊勤メノナキ  
モノ也、ソコデ敬謹ヲスルコトイラストイフモノナリ、人間ノ交リヲセヒデモスムトイフモノ也、ユ  
ヘニ不敬謹ナリ、不敬謹ナルユヘニ、人品下劣ニテ辭氣鄙野ナリ、サレバ年寄ハマハリモチタルベキ  
ナリ、少シノウチデハ外ヘマワスベキコトナリ、年寄ヲモタスルハ町主ノ行儀ヲヨフスルタメ也、町  
主ノ行儀ヲヨフスルハ町々ニ變ノナキ爲ナリ、不埒モノナキヨフニスル法ナリ、村方ニモ色々ノ法其  
處々々ノシキタリアレドモ、庄屋ハ多クハ人材ヲエラミテ、コンドハ庄屋ハ誰レ々々ノトコロハマワ  
ルベシト云コト也、庄屋ヲマワリモチニスルハ、ヤハリ人ノ品下劣ニナラスヨフニスル法ナリ、京ノ  
法ニ擬シタルナリ、ユヘニ田舎ハ却テ江戸ノ地主ヨリモ人品ヨロシ、皆役ヲモツユヘナリ、江戸ノ地  
主ノ役ヲモタヌハ、風ノ上品ニナラス始マリナリト鶴ハ存ズルナリ、御城下ノ町ハイカバノ法ヤラ鶴  
知ラネドモ、京ノ法ヲ施コシタキコト也

川越ナドモ江戸流ニテ名主ノコトヲ庄屋トイフテ一生モチキリ也、アレニテハ町中ノ行儀宜シフユカ



ヌナリ、上京ノ行儀ノヨキコトハ別ノコト也、中立賣ノ室町西へ入ルトコロニ松葉屋ト云豪家アリ、大キナル身上ナリ、昔ヨリ大津ニ別業アリ、今ハ不用ナリトテコノ別業ヲ拂ヘリ、鶴ノ門人ニ大津ニ川村庄七ト云米屋アリテ此別業ヲユヅリウケシニ、庄七大ニ感心シテ鶴ニ話シタルナリ、京ヨリ手代下リテ受取ワタシヲスルトキニナリテ、川村ノ思フニハ、屋根ノトコモ銅ニテ作りタルモノナレバ、大カタハヅシテユクベキナリ、扱疊七十疊ホドアリ、コレハ船ニテモツミテドコゾヘ拂フコトナルベシト思フテ、疊ヲバノケヲキタリ、扱多葉粉盆モ十バカリアリ、吸物膳碗・火鉢・鍋・釜ナドモアルユヘニ、コレモカタヨセテオキテウケ取りワタシスミテ、庄七イフニハ、扱疊建具並家具ノ類ハカタヨセテオキタルユヘニ、大方御ハヅシナサレテ御モチナサル、コト、存ズルナリ、コノ方ニテハヅサセ申スベキヤ、御ハヅサセナサル、ヤト云テキ、タルニ、其手代云ニハ、疊モ甚以フルフナリ、見グルシケレドモ、クルシカラズバ御シキ下サルベシ、トコハモチロン家ニツケテ御ユヅリ申コトナリ、家具モ籠末ニハアレドモ、クルシカラズバ御用ヒ下サルベシ、建具ハ皆ツケテ御譲リ申タケレドモ、先達テ宜シキ分ハ京ノ住居ヘ引取タルユヘニ、當處ニノコシオキタルハ甚ノ籠物ナリ、コレ以テクルシカラズバ、御臺所ヘナリト其用ヒ下サルベシト云フ、庄七ビツクリシテイタミイリテ、ソレハアマリ、御丁寧ナルコトナリト云テ、皆モラヒウケタリト云ヘリ、コレニヨリテ庄七モ上京ノ人物ノ上品ナルニ感心セリ、室町ノ一條下ル處ニ薩摩屋ノ本家アリ、大借ニテ逼塞セリ、逼塞スルトキニ茶道

具ヲノコラズ賣拂ヘリ、コレモ圓山ノ茶屋ニテ大會ヲシテ拂フトキニ、道具ノ外室アマリ古ルビタリトテ、新タニマサメノ桐ノ箱ヲイヒツケテ作ラセテ、道具ヲウツシテ拂ヘリ、コレハ薩摩屋ノイフニハ、此方今度逼塞シテ道具ヲ拂フコトユヘニ見苦シフナキヨフニシテハラヒタキ也トテ、新タニ外箱ヲ作ラセタルナリ、中京ニ九ノ里平左衛門ト云茶人ノ豪家アリ、鶴ガ門人ナリ、此平左衛門ノハナシニテキ、シナリ、平左衛門モ上京ノ人ノ人物ニ感心シテ話セシナリ、扱道具ヲカヒ取りタル人イフニハ、コレハケ様ノ古代ノ名器ユヘニ立派ナル箱ナレドモ、新シキヨリモ古キ方ガシユシヨウ也トテ、薩摩屋ノ手代ニ内々サ、ヤキテ、何トゾ古キ箱ノマ、ガヨケレバ、新シキ箱ハ御返シ申テ古キ箱ヲ申受ケタシトイヒシニ、右ノ手代ノイフニハヤスキコト也トテ、古キ箱ヘウツシカヘテ、新シキ箱ヲモソヘテ、又此古キ箱ノ損ジタルトキニ御ウツシナサルベシトテ、新シキ箱ヲバクレタリ、ケ様ニ逼塞ヲスルホドノコトナルニ、ケ様ニキレイニ人品ヲ作ルト云フハ上京ナリトテ平左衛門鶴ニカタレリ、中京ノ人物ハ上京ヲ感心スレドモ、中京トテモ中々江戸ノ豪家ナド、ハ主從ホドチガフ也、下京ハ又中京ヨリモ下品ナレドモ、江戸ノ風ヨリ見レバ、ズツト敬謹ナルモノナリ、コレ皆年寄ヲマワリモチニスルユヘナリト存ズルコト也、上京ハトテモ江戸ノ三五萬石ノ諸侯ハ及バヌ人品也、スレバ御城下ノ町モ年寄ヲバ、地面ヲモチタルモノマワリモチニスベキコトナリ、ワカキモノ、心得ナリ、大キニチガフナリ、此方モオシツケテ年寄ヲモツ身ナリト思フユヘニ、敬慎ヲスル心ニナル、扱其親ガイケ

シヲ加フルニモ、其方モ今ニ年寄ヲモタネバナラヌ身ナレバ、オトナシフシテ人品ノ年寄ラシフナラネバナラヌコト也ト云ユヘニ、自然ニ敬謹風ニナルト存ズル也、年寄タルモノハ一町ノ政ヲ專ラニスルモノユヘニ、ワケノリント立ツコトヲ務ムルコトナリ、先年藤田大介ト云大盜、二條ノ御金藏ノ御金ヲオビタバシフ盜ミ取タルコトアリ、コノ大介ハ御飾屋ノ御用達ノ株ヲカンテ御用達ニテアリシ也、ユヘニ家屋敷ヲバカヒ取ルシラベニテ、京ノ唯中ノ立派ノ町ガラノ處ニテ、地面ヲ見立テカワントスルニ、其時ニ鳥丸通三條下ルトコニ四百兩ノウリ地面アリ、コレヲ相談セントテ右ノ町ノ年寄ノ處へ行テ、其屋敷ノ直段ヲ問フ、年寄四百兩ナリトイフニ、大介左ヨフナラバ四百兩ニテ調へ申スベシト云、扱其年寄イフニハ、猶父町内ノ五人組ナド、モ相談イタシテ御返答ニ及ブベシト云テワカレテ、扱町内ノ五人組凡ソ古キ町主ヲアツメテイフニハ、當町ノウリ屋敷ヲ飾師御用達ノ藤田大介ト云人望ミノ由ニテ、四百兩ノ屋敷ヲ四百兩ニテ、イヨ／＼買取ラル、ヨフニイワル、ケレドモ、ワシハ賣ルマイト思フナリ、斷リヲイフベキ也ト云フ、ソコデ五人組ナド口ヲソロヘテ、ナゼウラスコトゾ、此町ハ借金モアル町ナリ

町ノ入用ツバキテアレバ、町ノ借金トイフモノアリ、町ノ入り金多ケレバ、町ノダクワヘ金トイフモノアルナリ

四百兩ニテスグニ買フヨフニイワル、ニ、ウラスト云ハイカバノワケナリヤト云、年寄ノイフニハ、ソコノコトジャヤ人情デナキナリ、四百兩ノ家ナレバ三百兩ニマケテクダサレト云ハズ也、イヒ直段ガ四百兩ナルニ、スグニ四百兩ニテ買ント云ニハワケノアルコトナリ、アヤシキカヒヨフ也トイフモノナリ、ワシガ年寄ヲモチテオルウ

チハ左様ノ人ヘハウラスナリト云フ、五人組モ大キニワラヒテ、今北町ハ大借アル町ナレバ、少シニ  
テモ金ノ入ルコトヨロシキニ此家ハ町ノ家ナリ、町主町ノ金チカリテカヘサヒデ、ソノマ、己レガ家チ町ヘ入ルレバ、町ノ家トイフモノニナルナリシカルニウラ  
レスト云ハ腰ヌケノ年寄ナリナド、カゲニテソシリテオリタレドモ、年寄ガウラストイヘバシカタモ  
ナイ事ナリト云フテ、年寄ヲサン、ニワルフイマテウワサライヒタルコトノ由ナリ、大介モシカタ  
ナキニ又新町ニ三條下ル町ノ家ヲ買ハントスル、此家モ町ノ家ナリ、コレモ四百兩ナリト云、大介又  
四百兩ニテ譲リウケタシト云、ソコデ新町ノ年寄ハデキニウリテシマヘリ、新町ハ町ニ金モアル町ナ  
レドモ、新町ノ年寄ハ大介ニウリワタシタリ、ソコデ烏丸ノ年寄ヲバ烏丸町中ニテ大ニソシリテ、新  
町ノ町ハ金モアルニ年寄ウレリ、コノ町ハ借金ノアルニヨキカヒテニウラストイフハアホウノ年寄ナ  
リト云テサン、ニソシレリ、扱間モナフ縁ヲ買シメタルコトヨリ、大盗ナルコトアラワレテ大サワギ  
ニナル、扱家屋敷ヲカヒ取りタルコトヨリシラベニナレリ、コレハ御金藏ノ金ユヘニ、金ノユクヘヲ  
一々御吟味ナサルニ、町ヘ四百兩入リタルユヘニ、追々シラベニナリテ年寄ヲ大キニ叱リ、ナゼニ左  
様ノアヤシキモノニウリタルゾ、御フシンナリトテ三年逼塞ニテ、右ノ四百兩ヲ取上ラル、凡ソ町  
ノ入用千兩ホド入リタル由ナリ、ソノ時ニ烏丸ノ五人組モ古キ人々モ、手ヲ合セテカノ年寄ヲ拜ミタ  
ル由ナリ、烏丸ノ年寄イフニハ、町ニハ町ノ法アリ、法ヲ守リテ損ヲスルハ天ナリ、シカタナシ、法  
ヲ守リテ人ニソシラル、ハ天ナリシカタナシ、サレドモ年寄ヲ貴公方御持ナサレタラバ、御ウリナサ



ル、コトデアルベキニ、幸ニ私ノヨフナル不調法ニ法ヲ守ルモノモチテヲリタルユヘニ、首尾ヨフ今  
度ノ災難ヲノガレタリト云ヒシ由ナリ、此年寄ハワザ／＼奉行所ヘヨビ出サレテ譽ラレタリ、新町ノ  
年寄ハ古今ノ恥辱ニテ三年逼塞セリ、ケ様ノコトヲハゲミアヘバ人品ノクヅル、コトナシ、町家ノ人  
品宜シフナルモ、又御家中ヲ陶鑄スルユエンナリ、唯今ノ勢ハ御家中ト町家ト同ジツリ合ニナリテ、  
町家ノ人柄シダイニテ、御家中ノ人品ガ動クヨフニナルコト江戸ヲ始メケ様ナリ、武士ノ奢侈ハ町家  
ノマネヲスルユヘナリ、サレバ町家ノ奢侈セヌ計策ヲ處々ヨリマワサネバナラス也、町家ノ尊大ヲ好  
ムハ、又家中風ノ町ヘウツリタルナリ、町家ノ美衣食家中ヘウツルハ大キニアシキコト也、武家ノ尊  
大ガ町ヘウツルモ大キニアシキコト也、凡ソ諸侯身上アシフナレバ、内外ノ法ヲ立ルコトナルニ、今  
士大夫ハ法ヲ立ルホドノ力量ナキユヘニ、町家ヨリ金ヲ借りテ一寸ノガレヲスルコト世上一統ノ風ナ  
リ、城下ノ町人ヲカリタオシテ、果ハ恩ノ報ジヨフガナキユヘニ、格式ヲヤルコト又世上一統ノ風ナ  
リ、此城下ノ町人ヘ格式ヲヤルコト甚不計策ノコトナリ、町人格式ヲモラヘバ、平民タツトバネバナ  
ラス也、平民タツトムユヘニ尊大ヲ好ムヨフニナル也、尊大ヲ好ムハ武士ノ身ノ上ノ事ニテ、町人ノ  
身ノ上ノ事ニアラズ、町人ハイカニモ賤位ニオルガヨキナリ、高キ位ニヲレバ金銀ハナガレ出ル理ナ  
リ、卑キ位ニ居レバ金銀ハナガレコム理ナリ、海ハ第一ノ卑キ處ニ居ルユヘニ第一ニ水ニ富メリ、山  
ハ高キ處ニオルユヘニ、水ワケハデキニヒキ、處ニナガレ出デ、止ラズ、位タカキユヘナリ、町人ハ

海ノ位ニ居ルベキハヅナリ、然ルニ格式アレバ、萬端居リドコロ高フナルユヘニ、流レ出ルコト多フナルナリ、江戸ノ金座後藤庄三郎・吳服所後藤縫殿助ハ町人ナリ、格式ヲ賜ハリタルユエニツトメ、旒・出火帶刀襷斗目着用ナドト出タル故ニ、主人ハ何モ町人ラシキコトナシ、大名ノ通りナリ、居間ニオリテ近習ヲツカフテ他出ハノリモノ也、玄關ニハ玄關番アリ、門ニハ門番アリ、廐ニハ馬アリ、長屋ニハ家中アリ、コレ大名ノ所作ニテ町人ラシキコトナキユヘニ、兩家トモ貧窮カギリナシ、ナンボ外ヨリ金入リテモ、山ノ頂上ヘ水ヲウチアゲルヨフナルモノユヘニ、サツ／＼ト流レ下ルナリ、左レドモ江戸ニテ町人ヘ格式ヲ下サルハ又一ツノ計策ナリ、コレハ金銀ノコヅマヌヨフニシタルモノナリ、江戸ハ天下ノ民ガ皆江戸ノ民ユヘニ、金銀ハ一ツトコロヘコヅマズニスラリ／＼トメグリマワルガヨキ也、一城下ハ一城下ギリナリ、他領ヘ流レ出レバカハラヌナリ、何卒他領ノ金ノ自領ヘ流レコムヤウニトナラバ、城下ノ町人ヘ格式ヲヤルコトハアシキコト也、唯大名家ハワケモナフ江戸ヲ似セルユヘニ、種々ノマチガヒアルコト也、然レバ江戸ニテ町人ヘ格式ヲ下サルハ妙計ニテ、大名家ニテ町人ヘ格式ヲヤルハ愚計ナリ、ソコデ大阪ノ町人ハトント格式ハナシトシタルモノナリ、出入屋敷ヨリ格式ヲクレモトントカマワヌ也、唯ノ素町人ノシラベナリ、鴻池ノ善右衛門ト云ハ大阪第一ノ富豪ナルニ、雨天ニテモ駕籠ニノラズ、一僕ニテ高アシダヲハキテ勤メアリクコトナリ、コレデコソ金銀ハ流レコムナリ、凡ソ町人ノ行儀ハ臺處ヲ居間トシテ、見世ノツギヲ帳箱ノオキドコロトシテ、コレニ

主人坐スルコトナリ、飯ノトキハ下ノ者トヒトツニ飯ヲ喫スルコトナリ、榮モ下ノ者ノ惣榮ナリ、手代三十人、下女六七人、デツチ五六人アリテモコノ通りナリ、扱格式ヲ賜レバ、スコシ尊大ニセネバ君侯ノ御恩ヲ奉ゼヌヨフニ見ユルユヘニ、已ムコトヲ得ズ、飯ノトキハ臺所ノ次ノ間ニテ、下ノ者ト別ニ喫スルナリ、又格ヲマシ賜レバ帳箱ヲ奥ノ間へ入レル、又格ヲマシ賜レバ帳箱ニ離レテ、手代ニ帳箱ヲワクスト不經濟ニナルコト一トキ也、始ハ海ニ居リシガ川ニナリ谷ニナリ、山ノ裾ニナリ山ノ頂上ニナル勢ナリ、水ノ流レ出ルバカリニテオチコム來ナキ也、一體金ガ金ヲヨブナリ、コレヲ多錢善售ト云フナリ、城下ニ金持ガアレバ、他領ノ金ハ自領ヘナガレコム理ナリ、城下ニ金持ガナケレバ、他領ノ金ハ自領ヘ流レ出ル理ナリ、左レバ自領ノ海ヲ山ニシテ、水ノ乏キニクルシムコト愚ナルコトナリ、江戸ノ政ヲ城下ヘウツストキニハ、ヨク／＼公私ノ分ヲアキラカニシテ、内外大小ノ量ヲソロヘテ後ニ利不利ヲイフベキコトナリ、關東ノ民ヲ急ニ大阪ノ民ニセントシタレバトテ、急ニ化スルモノニテハナキナリ、唯見當ヲ大阪ト見テ、楫ヲ取リテソロリ／＼ト貨殖スル風ニ移ルヨフニスルコト也、大阪ノ仙場ニ御用金ノ仰セヲモ蒙リ、御買米ノ役ヲツトメタル列ニ何某トイフ豪家アリ、眞ニ貨殖ズキナル人ナリ、鶴此話ヲ三條ノ吳服屋小橋屋ノ主人ニキケリ、小橋主人モ大阪ニハケ様ノ人物アリトテ話セシナリ、鶴按ズルニ、京ハ上品ヲ好ム故ニ、大阪ノヨフニ貨殖スルコトナラズ、江戸ハ懶惰ユヘニ又大阪ノヨフニ貨殖スルコトナラヌナリ、大阪ハ人品ヲステ、スタ／＼働キテ貨殖スル

ユヘニ、忽チ富人トナルナリ、扱彼御買米列之富人ノオヤチ腰ガイタムトテ、有馬ヘ湯治ヲスルトイ  
フニツキテ、別家或ハ番頭ナドシカラバ駕籠ノ者ヲヤトフテナドトイフコトヲキ、テ、右ノオヤチ大  
キニ怒リ、此方ハ素町人ナリ、ナンゾヤ駕籠ニノルコトアルベキト云テ、木綿ノ布子ニ木綿ノ帶ニテ、  
ワランズヲハキテ有馬ヘ唯一人ユキタル也、是ハワカキモノニ激シテ規諫シタル事ナルベシ、サテ有  
馬ノ宿屋ニツキテ亭主ニイフニハ、ワタクシハ大阪ノ貧乏人ナリ、腰ガイタムユヘニ當所ノ溫泉ニ少々  
逗留仕リタキ也、貧乏人ノコトユヘニ、中々客トイフニハナラレヌコト也、臺處ヲ働キテ入湯スルツ  
モリユヘニ、何卒湯ハ御フルマイニ逢タキナリ、旅籠バカリニテ逗留仕リタシトイフ、宿屋ノ主人大キ  
ニ喜ビ、ソレハ千萬忝シ、此方無人ノコトユヘ、臺處ヲ氣ヲツケテ下サレト云フテオケリ、扱此オヤ  
チ骨髓ノケイザイズキニテ、ソノ臺所ノ始末凡ソムダナルコトヲセヌコト妙ナリ、食類ノキリキザミ  
カヒ上ゲ、魚ノカヒヨフニテモ秘術ヲツクシテ世話ヲヤクユヘニ、臺處ノ入用ズツト減ジテ甚ダ勘定  
ニ上ルコトナリ、扱宿ノ主人イフニハ、アノ人ハケシカラヌ勘辨者ナリ、ハタゴドコロデナク、給金  
ヲヤリテモオキタキ人也トイフテ、湯治客ニモハナシタルユヘニ、湯治客モソロ／＼ト彼オヤチヲ頼  
ミ、カレコレ逗留中ノ用事ヲト、ノフルニ、一向ニ妙ニ心ヤスタト、ノフコトユヘニ、アソコデモコ  
コデモヨビテハ相談ヲスル、飯ジブンニハ飯ヲフルマフユヘニ、宿屋ヘハ旅籠ヲハラフニオヨバズ、  
唯客モ主人モ彼オヤチニ慕シ方ノ勘辨ヲケイコシテ、妙智ヲ授カルコトニテ、扱隣リノ宿屋モ此コト



ヲキ、ツタヘテ、彼ノオヤヂヲ借シテ下サレトイフテ、アタリキンジヨヘカリラレル、終始二廻リオ  
リテ歸ルツモリナレドモ、宿屋デ留メテ今少シ經濟ノ奥意ヲ傳ハリタキトテ、アチコチヘ引ツレラレ  
テ唯働キズキ也、アマリ諸方ニテ珍重スルニ歸ラレモセズ、又一廻リオリテ、ゼヒ／＼留ルヲゼヒゼ  
ヒ歸ルニツケテ、宿屋ヨリ金二百疋禮ヲスル、湯治客ヨリ南鐐ヲ一片ヅ、ヤル、鄰家ヨリモ金百疋ヤ  
ル、カレコレ二兩アマリ錢別ヲモロフタルヲ、彼オヤヂ一向ニ取ラズ、別段ニ懷中ヨリ旅籠ヲ拂ハン  
トイヒタレドモ、宿屋決シテ取ラズ、ゼヒニ錢別ヲウケ取りテクレヒトイフ、カレコレヒラニジタイシ  
タレドモ、トフ／＼金一兩二朱ハムリヤリニフトコロヘ入ラレテ、是非ナクモロフテカヘレリ、扱大阪  
ニテモマチテオリタルトコロヘワランズデカヘリ、別家ドモモヨリ合フテ、今度ハ御入用ハドレホド  
カ、リマシタト問フ、彼オヤヂ唯一兩二朱ナリトイフテ一兩二朱ソコヘ出ス、コレハドフイフコトデゴ  
ザルト云フタレバ、オヤヂイフニハ、素町人ガ湯治ニユクニ此方ノ金ヲツカフトイフコト無キコト也、  
ヒマヲツヒヤシタルホドノ立マヘハトラネバナラヌモノ也、唯サキノ爲ニナルコトヲイフテキカセテ  
ヲシユレバ、サキニモ損ニナラズ、此方ニモ損ヲセヌガ渡世ノ第一ト云モノ也トイヒシヨシナリ、此  
オヤヂハ甚シケレドモ、慾心アルニアラズ、墨子ノ派ノ學問ナリ、大阪ノ貨殖ヲ好ムハ天性ナリ、鶴先年  
大阪ニオリシトキニ、灘目ヨリムカヘトラレテ文章ヲカキテヤリタルコトアリ、其時ニ鹽屋ノ清五郎  
ト云豪家、別業ヲ弓弦業ノスソニ作レリ、ソノ記ヲ鶴ニ頼ミテ其別業ヘユキタルコトアリ、メグリ二

町バカリノ大別業ナリ、千兩餘モカケテツクリタル庭ナリ、庭ノ中ニ福田舎ト云茶屋ヲ建タリ、右ノ福田舎ニテ鶴ニ酒ヲフルマヘリ、立派ナル馳走ナリ、扱手代ニ向ヒテ鶴イヒケルハ、今日ハ御主人ハコレヘハ御出ナサレスカト云フ、手代云フニハ、主人ハ日々酒藏ヘマエリオリマスルユヘニ、マダ藏ヨリ引取ラヌコトデゴザロフ、只今參ラレマスデアロフトイフ口上ナリ、鶴念フニ、コレホドノオゴリヲスル身上ノ男ガ、商賣トハイヒナガラ日々酒藏ヘユクコト感心ナルコトナリトモフテオリシ也、ヲシツケ澁染ノ長マヘダレヲシタル男一人來レリ、長マヘダレトハ、上ノ方ハ腹ガケノヨフニシテ、下ノ方ハマヘダレナリ、江戸ノ車ヒキノカケルモノ也、木綿布子・木綿帶・ワラゾフリナリ、腰ヨリ喜世留ヲヌキナガラ福田ヘ入來ル、喜世留サシハ皮ノサゲタバコ入り也、江戸ノ車ヒキノサゲテオルサゲタバコ入りナリ、福田ヘスト上ル、手代ヒロフシテコレガ主人清五郎デゴザルト云ヘリ、鶴ビツクリシテ、ハテサテケ様ノナリフリノ人ガ、コノヨフナケツコフナル別業ヲツクルト云ハ、ナントモ合點ノユカヌコト也ト思ヒシナリ、アトニテキケバ灘目ノ行儀デ、大阪ニスマヘバチキニ金持ニナル、ト云ヘリ、コレ又大阪ヨリモ灘目ハモツト勘辨ナルユヘ也、鶴其別業ヲ友霞洞トツケテ、友霞洞十景ノ記ヲ作レリ、勘辨スル處ハズツト勘辨シテ、奢ルトコロハズツト奢ルト云ガ灘目ノ氣象ナリ、關東モノハ奢ルコトヲスルデモナク、勘辨スルデモナク、唯ノズルケ民也、人一生長フテ百年、ズツトスルコトハズツトセネバ、生キタル甲斐ハナキモノナルニ、關東ハグズ／＼シタル風ナリ、周禮ノ

仕掛ケヲ見ルニ、民ヲノロケサセヌ仕掛ケナリ、民ノノロケラレヌ法ナリ、一體一匁働キテ一匁ノ衣食ヲスルコト天ノ理ナリ、一匁ノ食ヲカフニ一匁ノ銀ヲ出スハ天ノ理ナリ、賞ト罰トハ皆目方ダケノアタリマヘヲ得ルコトナレバ、インテ見レバ同ジコトナリ、一匁ノ食ヲ先キ方ヨリアトフルユヘニ、其恩賞ニ一匁アトフルトイヘバ賞ナリ、一匁ノ食ヲ先方ヨリ得ルユヘニ、其罰ニ一匁トラル、トイヘバ罰ナリ、皆天理ノ罰ナケレバナラヌ處トイフトコロニオツルコト也、唯天理ノアタリマヘデ、此方ノ勝手ノヨキ方ヘ寄セテ名ヲツクル也、鶴謹ンデ案ズルニ、衆ヲナツクルハ六條ノ法ガ妙ナリ、古ヘヨリ王公ノ衆ヲトリアツカフハ拙ナリ、ユヘニ六條ヘハ衆民アリガタガリテ金ヲ出スナリ、王公ノ下ヨリ引上グル者拙ナルユヘニ、衆民イヤガリテコゴトヲイヒナガラ取ラル、也、コレ取リヨフニ巧拙アルニチガヒナキナリ、賞モ罰モ皆目ノコザンヨフニテ、天理ノイヤトイワレヌ取カエノ法ニテ、コノトリカエノ法ノ名ヅケヤフニテ、賞ト云ヘバ賞ナリ、罰ト云ヘバ罰ナリ、六條ノ下ヨリ取アグル法ハ賞ト名ヅケテ取法ナリ、ユヘニ民ウレシガリテ出スナリ、王公ノハ罰ト名付テ取法ユヘニ、民イヤガリテ出スナリ、周禮ノ法ハ平世ノ法ユヘニ平カナル言バナリ、サレドモ系圖ハヤハリ罰ノ系圖ナリ、サレバ古ヨリ下ヨリ取リ上グル法ハ三十罰法ナリ、六條ハ却テ殷湯・周武ノシカケ也、民ヲナツクル仕方ナリ、周禮ノ法ハナツキテオル民ヲ働カス法ナリ、今ノ世ハ昇平ノ眞只中ユヘニ、周禮ノ法ヲ用ユルコトサモアルベキコトナレドモ、民ヲナツケル計策ヲ施スニハ、殷湯・周武流ヲ少シカリ用ヒネ

バナラヌ處モアルナリ、サレバ一體ハ周禮ニ本ヅキテ、言葉ハ六條流ヲマゼテユクベキ時ナリ、六條  
ニテハ賞ノ方ヨリ見ル流ナリ、士大夫ノスル處ハ罰ノ方ヨリ見ル流ナリ、征ト云税ト云フハ、君ノ土  
地ニ生キナガラヘテオルダケノ罰ナリト云ヘバ罰ナリ、周禮ノ立テ方モ罰ノ方ヘヨセタルモノ也、君  
ノ地ニハヘタル米ヲクフテ生テアル、其罰ハ米ヲ十分一トルト云フヨフ也、君ノ市肆ニテ商ヲナシ工  
ヲナス、其罰ニ金銀ヲ出シ器財ヲ出シテ上ヘ上ルト云フヨフ也、ユヘニ周禮ハ税・征・罰ナラベテ同ジ  
ヨフニ上ヘ取リ上ル事ナリトス、六條流デイヘバ、上ヘ米ヲ上ルカラ其賞ニ九分ハ民ヘ下サル、金銀  
器財ヲ上ヘ上ル、奇特ニ思召カラ九分ハ商工ヘ下サルト云フヨフナリ、是罰ノ方カラ見レバ盡ク罰ニ  
テ、賞ノ方カラ見レバ盡ク賞ナリ、言葉ノツケヨフ也、賞ト云フモ罰ト云モ同ジコトナレドモ、民  
ハ罰ト云ヘバイヤガリテ、賞ト云ヘバヨロコブハ下民ノ情ナリ、民ヲノロケサスマイト云フニモ、  
賞ノ方ヘヨセテモイワル、罰ノ方ヘヨセテモイワル、ハ、賞罰フタツナガラ天理ニテ、イヤトイワレ  
ヌアヤナルユヘ也、今ノ民ハ狂狷ニテ上ヲ怨ミオトシテ、上ヨリ分外ノ賜ハリモノヲ取ル心ユヘニ、  
チカニ周禮ノ通りニオシブチヨウツヨフニイフテハ、引上ゲノ法キカヌナリ、六條流ヲマゼネバナラ  
ヌナリ、一體武家ハ清盛・頼朝ノ二公ヨリ、京師ノ民ヲ我物ニシタルヨフニナリタルユヘカ、其以後  
ハ民ハ民、上ハ上トワカリテ二株ニナレリ、民ノ物ハ上ノ物ニアラズ、上ノ政ハ民ハアヅカラズトイ  
フヨフニナレリ、周禮ノ仕掛ケハ上ノ民ナリ、後ノ仕掛ケハ上ノ民ニアラズ、民ハ上ヲ欺キ、上ハ民



ヲヲソル、トイフヨフニナレリ、民ノ權ノツヨフナリテ、上ノ權ノウスフナリタルハ、全ク古制ヲ取り失フタルヨリ起リタル事ナリ、古制ノウシナヒタルハ、外ノ物ヲ我物ニスルヨリ起リタルコトナリ、秦ハ周ノ民ヲ我物ニシタル也、秦ハ周ノ民ヲ我物ニシタル也、其後ハ代數々カワリタルユヘニ、晋ニナルトチキニ六朝ニナル、一向民ニナジミノツカヌウチニ、天下ノ主カワリ、スルユヘニ、イヨク以テ上下ハタ／＼ニナリテ、オキテ作法ヲ定メルマモナキユヘニ、古禮ニ復セヌハズナリ、我邦ニテモ當御代バカリ、動カズ騷シカラヌコト二百餘年ナレバ、借りモノ、仕掛けニシテオキテハ、ドコカ理ニ合ハヌハズナリ、支那ハ秦漢ヨリ、我邦ハ平相國公ヨリ借りモノノシカケナリ、我物デナキモノヲ我物ニシテオク仕掛け也、ケ様ノ勢久シフツバケバ、下モケ様ナルハズノモノト心得テ、上ニテモコフシタモノト心得ルコトナリ、一家ノ中ニタトヘバ家ノ財器ハナフテ、カリタルモノバカリトスレバ、唯エンリヨガチナルモノ氣ノツマルモノ也、他家ノモノヲトウブン我物ニシテツカフトイフヨフナリ、諸侯ノ政皆此通りユヘニ、是周禮ノヨフニユカヌハズ也、チカニ周禮ヲ復サレヌハズナリ、ナゼニ六條流ヲマゼネバナラヌトイフニ、六條流ハ人ノ民ヲ人ノ民デオキテ、コノ方ヘナツケル仕掛けナリ、人ノ民ヲアシロフ法ニテアシラヘバアブナゲナキ也、今ハテン／＼ノ民ノヨフニテ、他人ノ民ノヨフナリ、左レバ周禮ト六條流ヲマゼネバナラヌコト宜ナルコト也、六條ノ法ハ賞カラユキテ民ノ後ニナル法ナリ、儒者ノ法ハ罰カラユキテ民ノ先ニオル法ナリ、民重カルハズナリ、今六條如シ罰ノ法

カラユキテ勸化ヲシタルホドナラバ、錢ハ一向ニアツマルマジキナリ、此方ノ祖師上人ノ御蔭デ極樂參リヲスルコトユヘ、其罰ニナンボ出セトイフテハ、出シテアルマジキナリ、他力ト云フ字ハ旦那トイフ字ト同ジコトナリ、寺カラ在家ヲサシテ旦那トイフハ財ヲ施スユヘナリ、在家ヨリ寺ヲサシテ旦那トイフハ法ヲ施スユヘナリ、寺ハ旦那ノ他力ヲマチテ飢寒ヲ免カレ、在家ハ寺ノ他力ヲ以テ後世ヲタスカルトスルコト面白キコトナリ、士大夫ノ法ハ他力ナシ、自力ナリ、上ハ上ノ自力デユキ、民ハ民ノ自力デユクコト也、ケヨフニテハ思ヒ合ハヌナリ、周禮ノ法ハ一人ノ身ノヨフニユクユヘニ、自力ガムマフユクナリ、秦漢以來源平以來ハ他人ノ身ニテ一人ノ身デナキユヘニ、自力ニスレバハタ／＼ニナリ、思ヒ合ハヌナリ、一人ノ身デナケレバ、他力デナケレバナラヌナリ、他力ノ仕掛ケデオリナガラ、自力ノ法ヲカタカシギニモチコタヘルユヘニ齟齬スルハズナリ、自力クラベト出ルハ、是レ讎敵ニ近カキモノナリ、タトヘバ土ノ出アリテモ、先ヅタマリテオル他領ノ金ノ自領ヘ流レコム理アリテモ、タマツテオル上ノミス／＼損ノユクコト、下デ見テモタマツテオルハ自力クラベト云フモノ也、カラノ他人ナリ、六條ノ法ハカラノ他人ヲ身内ニスル法ナリ、儒者ノ法ハ身ウチノモノヲ他人ニスル法ナリ、殷湯・周武ハ桀紂ノ民ハカラノ他人ナリ、カラノ他人ヲ身ウチニシタルナリ、桀紂ハ桀紂ノ民ハ身ウチナリ、身ウチヲ他人ニシタル也、金持ノダン／＼金ノタマルハ、金ハツキモノ、離レモノト見ルユヘナリ、金持ノ金ヲ見ルコト湯・武ノ民ヲ見ルガ如シ、コノ金ハワシガ金ジャト思フテハ

金耗ル方ナリ、金ハ他力ナリ、ツキモノ、ハナレモノ也、今此方ニオルカト思ヘバ、デキニマタ外ヘユク也、金ハトント常主ナキモノナリ、サレバ民ハトント常主ナキモノナリ、唯金持ハ金ガ此方ヲ見放シテ、外ヘ出ヨフカノト思フテアンジテアル也、湯・武ハ民ガ此方ヲ見ハナシテ、外ヘユカフカノト思フテ案ジテオル也、他力ノ法ナリ、金持ノ金ヲ大切ニ思フコト、湯・武ノ民ヲ大切ニ思フニチガフコトナシ、トント安心セヌナリ、年中安心セネバ民ハハナル、氣ヅカヒハナキ也、年中金ヲ安心セネバ金ハハナル、氣ヅカヒハナキナリ、シマイマデ己ノ金デハナイ、藏ノ中ノ錠ヲオロシテオク、金ハトント此方ノ金デハナイト思フテオルコト、即金ノ見ハナサヌ法ナリ、湯・武ハ一生民ヲ己レノモノデハナイト思フテ、コワゴワツキ合フテオリタル人ナリ、大節ニカマヘテニゲヌヨフニトカヘカヘシテヨリタルユヘニ、民此術ニ酔フテオリタルウチニ、子ノ代ニナリ孫ノ代ニナリテ、ジヨウブニ民ノニゲル氣ヅカヒナイヨフニナリテ、ソレカラ周禮ノ法ニジミ立タルコトナルベシ、今ハ亂世ヲ去ルコトモ遠ケレバ、トクニ周禮ノ法ニ組ナオシテモ宜シキコトナレドモ、成・康ノ時トモチガフユヘ、ヤハリ周禮ノ法ニ組カヘルコトハアシキト思フ御役人有リテ、カクナリキタルコトナルベシ、サレドモ古キコトナレバ、又ナレナレテ他力ノ法デモナキ也、民ハ我物トシタルヨフニテ、商工ヲ征セヌトコロハ遠慮アルヨフナリ、鶴竊カニ案ズルニ、表向ハ我民トセズニヲキテ、執政ノ人ノ心ハ我民トシテ膝ノ下ヘ加フルヨフニ見ユルコト、諸藩トモ皆此例ナリ、竊カニ考レバ裏向ニユク方ガヨ

サソフナルコトナリ、表向ハ民ハ我物トシテ執政ノ人ノ内心ハ、湯・武流ニユケバ民ハ上ヲ怨ムコトアルベカラズ、是レ表向ハ民此方ノ民ユヘニ、ドフデモ自由ニスルトイフ法ニシテヲキテ、内心ハ甚ダ恐レテ、如シニゲテハナラヌガ／＼トイフヨフニ、手負ノ介抱ヲスル心ニテアシラヘバ、民ヲコラズシテナツクハヅナリ、是周禮ヲ表向ヘ出シテ六条ヲ内心ニオク法ナリ、コノ法ヲ以テ民ヲアシラヘバ、見當チガヒナフテダン／＼周禮ニ復スル術ナリト存ズルナリ、民ハイツモ此方ニツキ従フモノジヤ、此方ノ土地ジヤユヘニ、コノ土地コノ民ハハナル、氣遣ハナイト思フコト甚オロカナル事ナリ、如シ土地ト民ガイツモキツト領主ヘツキテ離レネバ、革命ト云コトハナキハヅナリ、金持モ金ガ其人ニキツトツイテ離レネバ、身上ヲツプス人ナキ理ナリ、民ハハナレモノ、金ハハナレモノデモチタルモノ也、金ハハナレモノユヘニ、他領ノ金ヲ自領ヘ呼バフト思ヘバ呼ベルナリ、他領ノ金ガコノ方ヘクルユヘニ、是油斷ヲスレバ此方ノ金ハ他領ヘ出ル理ナリ、京ノ漆間屋ニ俄ノ大富家有、今ノ主人モ近江ノ日野ノ生レナリ、其親父ハ飛脚ナリ、其飛脚ヲシタル人ガ甚經濟家ニテ、急ニ大身上ニシタル也、今ハ何萬兩ト云大ブゲンニナリテオル也、扱此オヤチ大キニ富タルトキニ、用事有テ大阪ヘ下ル、同船ノ中ニマタ俄カ富豪ニナリタル人アリテ、話説ノ中ニダン／＼心ヤスフナリテ、物語ヲシナガラ大阪ヘ下ル、扱同船ノ豪翁漆間屋ノオヤチニキ、シ話アリ、コノ話甚ダ面白キ話ナリ、此漆間屋ハ今ノ主人ハ中井庄司ト云ナリ、コノ庄司ノ親父ガ大豪家ニテ、身上ヲ急ニ大キフシテ、一代ニ何萬兩ト



云金ニシタルユヘ、同船ノ人中井翁ニ問フニハ、扱貴公ハ名高キ經濟家ニテ急ニ金ヲ澤山ニ貯ヘラレタルガ、ドレホド貯ヘラレタルゾト問、中井翁答テ云ニハ、唯三十貫目ナラデハ貯ヘ申サズト云、彼同船ノ人云ニハ、ソレハケシカラヌコトヲ仰セラル、コトナリ、三百貫ヤ三千貫目ト云コトハナキ御身上ニナルニ、ナゼニサヨフニ仰セラル、ヤト問フ、中井翁云、ナルホド今私ノ藏ニアル處ヤ、他ヘカシツケテオキタル處ハ、イカニモヲビタダシキ金ナレドモ、アレハイツナクナル事ヤラ知レヌト云モノナリ、イツナクナルヤラ知レヌ金ハ、貯ヘテオル金トハ申サレヌナリ、私ノサイシヨリ寺院ヘ建立ゴトヲシタリ、或ハ人ノ金ユヘ一命ヲモ失ハントシタル人ニホドコシタル金ノカズガマダヨフノト三十貫目ナリ、寺院ヤ窮人ヘホドコシタル金ハモハヤトントハナル、氣ヅカヒガナキ金ナリ、サレバ眞ノ貯ヘヲ離レヌ金ト云ハ唯三十貫目ナリ、其餘ノ金ハ一向ニツキモノ、ハナレモノニテ、イツ出テユクコトヤラ知レヌナリ、イツ盜マレヨフモ知レヌ、イツヤケテシマオフモシレヌナリ、サレバ善根ヲシタル金バカリハナクナルコトノナキ金ナレバ、コレハ貯ヘテオル金ト存ズル也ト云ヒタルニ、同船ノ人此高論ヲキ、服シテ、金ノワケヲ知リタリトテハナセシ由ヲ、小橋屋ノ清兵衛トイフ人鶴ニハナシセシ也、扱此同船ノ人ノ金ノワケヲ知リタルトイヒタルハ面白キコトナリ、イカサマ金ノワケハ知リニクキモノ也、此ノ金ハワシガ金ナド、イフ人ハ金ノワケヲ知ラヌ人ノ語ナリ、水ノ月鏡ノ影ノ如ク暫時ヤドリテオルギリノコト也、金ハ出タガルモノナリ、散去シタガルモノナリ、取ラヘテヲクコトノ

ナラヌモノナリ、ソレヲトリトメテオクハ、手ニテ取ラヘテアルコトニアラズ、繩ニテ繋ギテオクコトニアラズ、入りカワリ立カワリ終始手前ニツキヌヨフニセネバナラヌモノ也、トント堅ク相カワラズデットシテオルトイフ事ナキモノ也、橋ノ上ヲ通ル人ヲ、橋ガコレハワシガ人ジヤト云フト同ジコトナリ、橋ノ上ニ人百人ヅ、始終通りテオレバ、ソノ橋ノ上ニ人百人アルト云モノナレドモ、離レズニツイテアルト云コトニハアラズ、人ハイロくニカワルナレドモ、イツモ百人ハタヘズアルハ、橋ノ人モチトモイフベキモノ也、金モチモ終始同ジ金ノアルニアラズ、通ル金ノタヘズアルハ金モチナリ、金ヲ離シテ徳ノユクコトナラバ離スナリ、是一ツノ金ヲハナシテ二ツノ金ヲ入カヘル理ナリ、徳ヲモ見ズニ金ヲハナスハ貧ヲ好ム人ナリ、又離サズニ居ラル、ニ離ス人ハ金ヲ好マヌ人ナリ、京ノ三條ニ永樂屋ノ伊七ト云大富豪家ノ隱居アリ、鶴ガ門人ニテ平生往來セリ、去ル醫者ノ隱居ト同道シテ伊勢へ參宮セリ、永樂屋ハ大富豪ノコトユヘニ、駕籠ニノリテユクベキニ、此隱居ハ駕籠ニハノラズ、草臥タルトキニ飛ノリニスルコトナリ、扱大津マデハ草履ニテユキテ、大津カラハワランズヲハク、扱家來ニイヒツケテワランズヲ二足カワスナリ、一足ハハキテ一足ハ兩掛ヘツケサセテユクコト也、ワランズハ兩方一度ニハキレヌナリ、ヒダリノ方ガキレ、バ、右ノ兩掛ニツキテアルワランズヲカタ／＼引ヌキテ、左ノ方バカリハキカヘル、又コンド右ノ方キレタルトキニカタ／＼ハキカヘルコトニテ、又一足カワセテ兩掛ニツケサセテユクコトナリ、扱永樂隱居、醫隱居ニイフテ云ニハ、私ノ身上ハ御

存ノ通りワランズヲ一足カフテモ、カワヒデモ、ソレデ勝手ガヨフナルワルフナルト申ホドノ小身上  
デハナケレドモ、凡ソマダ用ヒラル、モノヲスツルコト天ノ罰ヲ免カレザルコトナリ、且雪踏ナドハ  
カタ／＼ワルフナリテモ、兩方サゲテ家來ニデモツカワセバ、又家來修覆シテハクコトナレバ棄タル  
コトナシ、ワランズハ棄レバステキリ也、ゴモクニナル也、且久フ用ユルモノニモアラズ、一日ニハ  
二足モ三足モハクモノナリ、コレヲ左ノキレタルトキニ右モスツレバ、右ノワランズハ憐ムベキコト  
ニテハナシト云ヒタルトテ醫隱居鶴ニハナセシナリ、士大夫ハ棄ズトモスム金ヲ棄ルコト甚多シ、ナ  
ルホドコノ金ハ憐ムベキコトナリ、棄ラル、ト云ハ怨氣モアルコトナリ、金ノ怨氣アリテハ貧ニナル  
ハズ也、棄ネバナラヌ金ハ百兩デモステネバナラズ、棄ズトモスム金ハ錢一文ニテモ棄ルト云フコト、  
コノ錢ハ憐ムベキコトナリ、凡ソ貧富ノ堺ヲ立テナラベテ見ルベキコトナリ、誰ニテモ貧ハイヤニテ、  
富ハ好マシキコト人情ナリ、人情ニチガハヌヨフニ世ニ活キテオレバ、禍ヲマヌカレテ福ヲ得ルニチ  
ガヒナキコトナリ、唯平生ニ貧ハイヤナリト思フ心ノキヘヌヨフニシテオレバ、一生貧ヲスルコト  
アルベカラズ、大阪ニテハ豪富ノ家ニハ皆送窮ノ式アリテ、毎月毎月ツゴモリニハキツト貧乏神ヲ送  
ルコトナリ、是レ即チ貧ヲイヤニ思フコトヲワスレヌ爲ナリ、京ニモ江戸ニモコノ式ナシ、風ノ神ヲ  
送ルコトハアルナリ、風ヲヒキテワヅラフハイヤナルコトユヘニ風ノ神ヲ送ルナリ、貧ハ風ヲヒクヨ  
リモ又々ズツト人ノイヤガルコト也、然ルニ貧乏神ヲオクラヌハ貧ノ字ヲワスル、ユヘ也、ヤハリ貧

乏神ヲバオクルベキコト也、此功德キツトナクテ叶ヌコト也、貧乏神トイフ人アリテ、コノ人ヲオヒ  
出スト云ワケニハアラズ、心ガ貧ヲイヤニナル心ニナルユヘニ、何ゴトニツケテモ貧ニナリソフナルコ  
トハセヌ心ニナルユヘニ、自然ニ貧政行ハレヌナリ、士大夫ハ別シテ貧ヲイヤナリト思フ心ウスキ也、  
故ニツネニ貧ヲワスレテオル、貧ヲワスレテオルユヘニ貧ナリ、扱節季ニナレバ色青ザメテ、處々へ  
出デ、金ノ才角ヲスル、其時ノ勞困イフバカリナキコト也、扱節季モスミテシマヘバ、又貧ノ字ヲワ  
スレテヲル、又節季ニ色青ザメル、サリトハ不養生ノ事ナリ、壽命ノチハマル仕掛ケナリ、甚シキハ  
御役ノツトマラヌコトニナリテ、先祖代々ノ知行ニハナレル人又少ナカラズ、是中々風ヲヒキテ頭痛  
ノスルグラヒノチヨイトシタル小困ニアラズ、サレバドフシテモ送窮ハ行ヒタキコトナリ、大阪ニテ  
ハ其家ノ番頭自身ニ臺處へ出デテ焼味噌ヲ二ツヤク、焼味噌ハ貧乏神ノ好ム所ナリト云傳フルコト、コ  
レ又送窮ニハヨキ道具ナリ、マヅ焼味噌ヲ法度ニスルコト術ナリ、蕎麥ナドノトキニ焼味噌ヲヤカネ  
バナラヌトキニハ、庭ノスミナドニ出シテヤカスベキ也、ケ様ニ貧乏ヲキロフト云コトヲ人々ニ知ラ  
スル爲ナリ、扱大阪ニテハ焼味噌大法度ナリ、決シテ味噌ヲヤカヌコト也、焼味噌ノ臭ヲ貧乏神コノム  
トシタルモノ也、ソコデ月ノツゴモリニバカリ、臺所ニテ番頭ヤキミソヲヤキテ、貧乏神ヲ皆臺所へア  
ツメルト云術ナリ、ソコデ二ツヤキテ、扱一ツノヤキミソヲバノケテヲキテ、一ツノ焼味噌ヲ手ニテ  
ワル也、ワリテクチヲアケサセテ臺處中ヲ持テマワルコト也、臺所ノコラズ持テマワリテ、最終リニ



ヤキミソノクチヲ堅クシメテ、ソレヲ川ヘナガス也、扱一ツノヤキミソヲモ又手ニテワリテ、坐敷ヨリ、見世ヨリ、居間・次ノ間・女部屋・男部屋マデ持テマワリテ、最終リニ口ヲ堅クシメテ川ヘナガス也、其番頭衣服ナドヲヨフハタキテ、味噌ノ臭氣ノナキヨフニシテ家ニ入ル、是送窮ノ式ナリ、窮鬼ト云モノアロフハヅナシ、唯ケ様ニシテ手代初メデツチニ至ルマデ、貧ヲイヤニ思フコトヲ知ラスルタメ也、灘モヤハリ是レナリ、風ノ神送りモ是レナリ、送ルガヨキ也、送レバ身ニシミ<sup>く</sup>トイヤニナルナリ、諸藩トモ上ノ御經濟ニカ、ル人ハ、何トゾ窮鬼ノヨフナ人ヲバヨケルガヨキナリ、甚貧ヲイヤガル人ヲ用ユベキコトナリ、士大夫ハ貧ヲ好ムヲ自慢ニシテオル人澤山アルモノナリ、不忠不智ナルコト也、旦那此心ニテ事フレバ、チガヒモナク旦那ノ身上ワルフナル也、己レガ身ヘコノ心デ養ヘバ、キツトチガヒナフ己レガ身上ワルフナル也、旦那ノ身上ワルフスル人ハ不忠ナリ、己レガ身ヲ貧ニスルハ不智ナリ、不忠不智ノ人ハトント經濟ノワルフナルコトヲコノミテ、ヨフナルコトヲイヤニ思フ、セツカク富ムスジヘ楫ヲ取レバ、其人ツキクヅシテ、ワザ<sup>／＼</sup>ワルフナルヨフニシテ面白ガル、其人即チ窮鬼ナリ、貧乏神ナリ、貧乏神ヲ經濟ガカリニスルハ執政ノヌケ目ナリ、貧ヲイヤニ思ハネバ國ヲ富マストコロヘ心ノツカヌ事アリ、此間モ竹紙ト云コトヲハナシテ、竹紙トハ唯紙ノ名ニテアルベシ、竹ニテ紙ガスカル、モノナリヤト云ヒシニ、或人云、孟宗竹ノ筍ハ搗碎テ紙ニツクルトイヘリ、孟宗竹ハ紙ノ爲ニ作ルコトナリトイヘル人アリ、京ノ近處ニテハ別シテ孟宗竹ハヤリテ、伏

見ノ桃山ヨリ六地藏ノ方、山崎之邊マデオビタバシフ作り出スコトナリ、アレハ大カタ喰フタメナルベシト思ヒシニ、紙ニツクルコトハ一向ニ知ラザルナリト云タルコトアリ、忍ハ江戸ニ近キ所ニテ、荒川・利根川へ都合ノヨキ處ナレバ、イヅレモ孟宗ハ御ツクラセナサレテ江戸へ廻サセタキ事ナリ、コノ様ノコトハ大澤度支ヌケ目ナキ人ナレバ、ジヨサイハアルマジキ也、サレドモ紙ニツクリテ出スコトハ、大澤イマダ聞レヌ處ナルカモシラヌ也、孟子ニ善ヲ好メバ、天下ノ人善ヲキ、テ早々ニイフテ送ルユヘニ、善ヲ好メバ天下ニ優ナリトイヘルハナルホド面白キコト也、大夫ト度支トハ誠ニ天下ノ經濟ズキナリ、ユヘコソ鶴ナドチラリトキ、タルコトアリテモ進メ奉ルコトニナルハ、畢竟天下ノ經濟ニ宜シキコト、ノコラズ大夫へ進マルコト疑ヒナシ、況ヤ北宮經濟ヲ御好アソバサル由、眞ニ大富國ニナラセラル、瑞ナリ、モハヤカレコレ君侯御乗出シ前ナレバ、イカサマ積蓄ノ謀恐レナガラ第一ニ存ジ奉ルナリ、當時ノ中野ノ縣使ナドハイカバノ人物ニテアリヤ、參政勝君ヨリハ其後トント音信ヲ絶タリ、イカバナリシヤ、只今ハ城吏兼帶ノ御役ナルベシ、宜シフ御傳へ下サルベシ、北野ノ鏡今ニ鶴ノ書架ニ恙ナク存セリ、大澤へモ岡田へモ別ニ書ナシ、大夫ヨリ宜シフ願フ所ナリ、來年ハ大御法事・御祭禮・御手傳様ノコト御藩へハマエリモフサルヤ、公家・宮様方大勢ノ御下向ナレバ、御馳走澤山ツクコトナルベキ也、隨分御經濟ゴト專一ニ存ジ奉ルコト也

諭民談終

稽

古

談





## 稽古談卷之一

稽ハ禾ニ從ヒ、尤ニ從ヒ、旨ニ從ヒ、禾ハ同ジヨウナル長サニ、スラリトナラビテハヘテヲルモノナリ、其内ニ□□梅ノ禾ハヌキンデ、別ニ一本目立ヲ稽ト云、尤ハケヤケキモノナリ、旨ハヨロシキナリ、然レバ稽古トハ古ヘト今トクラベ合セテ見テ、古ヘノヌキンデ、ヨロシキコトヲ、カンガヘテ用ユルコトナリ、ユヘニ考ナリトモ、同ナリトモ、合ナリトモ註スルナリ、古ヘノ天下ノ治メ方ヲ考ヘテ、今ノ國ニテモ、家ニナリト、身ニナリトカンガヘ合セテ見ルベキコトナリ、禾ナドハイカサマニモ同ジナミノ地ニ、一シヨニハヘテオルモノナレバ、是一本別ニ長フヌキンデタルハ、ヨキ禾ナリト見ユルナリ、今ノ人ハ高サ長サヲクラベズ、土地ノ平ト不平トヲモカマハズ、ヤタラニ稽古スルコト、字義ニモアタラヌコトナリ、今日天下國家ノ政ノ話ヲスルニモ、ヤ、モスレバ孔孟ヲ引テ、カレコレト稽古スルトモ、孔孟ノ土地ト今日ノ土地ト、平不平アルヤラ、ナキヤラヲバトントカマハヌコトナリ、孔子ハ春秋ノトキナレバ、周二天子ハアレドモ、國土ハ皆諸侯押領シテオリテ、秦カラハ楚ヲ攻メ、齊カラハ宋ヲセメルト云世ノ中ナリ、孟子ノ時ハ周ハタヘノニナリテ、皆王僭號シテ互ニ天下ヲ掌握セント欲スルトキナリ、如レ此不平ナル土地ナリ、今日ハ昇平二百余年、干戈甲冑ハ唯用心

ノタメニ置クト云世ナリ、如レ此平ナル土地ナリ、コレヨヤタラクラベニクラベテ、政事ヲ論ズル故論合ヌナリ、漢ノ時モ儒ニテハ治ラヌユヘニ、黃老ノ術用ラレタリ、唐・宋ナドモ儒ハタゞ文章コトバカリニテ、政事ハ自ラ政事ナリ、文章ハ儒者デナケレバカケヌナリ、政事ハ儒者デナキ人ノトルコト多シ、儒者ガ政事ニアヅカルトキハ、先ヅ儒者ゴトハトリテノケテ政ヲセワヤクナリ、ナゼナラバ孔孟ノ論ハ治世ニアハヌユヘナリ、孔孟ハナルホドケヤケキ禾ナリ、サレドモ土地ノ平不平ガ今日トハチゴフユヘニ、上ヘヲ見テキワメレバ大キニ準繩チゴフナリ、孔子ハ政事ヲ巨細ニ語ラレズ、孟子ニ至テコマカニ語レルナリ、民ヨリトル年貢ハ十分一ニカギル、是ヨリスクナケレバエビスクニジヤ、是ヨリ多ケレバ桀王ジヤト云ヘリ、後ノ儒家ノ天下ノ政事ニアヅカリタル人多ケレドモ、誰一人十分一ニ取タル人ナシ、井田デナケレバナラヌトイヒタレドモ、誰一人井田ヲ復シタル人ナシ、是土地ノ平不平ヲモワキマヘズニ、上ハツラヲナデ、ケヤケキモノヲ考ヘ合セントスルユヘナリ、孔子ハ當時ノ君ヲシイシ、父ヲ弑シ、兄弟爭鬪スル等ノコトヲ救ハントスルコトヨリ、利ヲウトンズルヨフニ説ケルナリ、君父ヲ弑スルハ、利ヲムサボルヨリ起ルユヘナリ、孟子ハ殷・湯・周武ヲシテ天下ヲトルト云工夫ユヘニ、民ヲ目立ヨウニ、愛シスグルヨフニ、古ニナキコトニテモ、ナンデモカマヒナク、ヤタラニ民ニモノヲヤリテ、天下ノ民ヲ此方ヘヒツタクリテサヘシマヘバ、カマワヌトイフコトヲ説ケリ、孔・孟ノ定本ハコレナリ、コノ定本ヲ今日ニウツストキニハ、ナルホド合ヌハヅナリ、君父ヲ

弑シ兄弟爭鬪ハ先ハ今日ニナシ、アレバ至テカルキモノ、事ナリ、軍トイフコトガナキユヘニ、昔ノ君父ヲ弑シタルトハ大キニワケガチガフナリ、孔子ノ仰ラル、ハ、今日ノ親コロシノ事ニテハナキナリ、レキ／＼ノ大名ガ軍ヲオコシテ、國ヲハイチラコウコトヲ救イタルナリ、今日レキ／＼ノ大名ニ軍ヲオコシ、國ヲハイチラコウ人アロウハヅナシ、扱今日ハ唯江戸ヘ參勤交代シテ、御手傳モ首尾ヨウ勤メ、無理ナ金ヲモカラズニ、領分ニ百姓一揆モオコラズ、江戸ノ御同席ノツキ合ヲヨウシラレバヨキナリ、天下ヲ取ルノ、殷湯・周武ヲスルノト云コトハ亂心モノハシラズ、先ヅ／＼今ノ世ニハトント役ニ立スコトナリ、孟子ノ定本ニナラヌ證據ナリ、然ルニ今ノ儒者ヒジヲハリテ利ヲウトンズルガヨイ、孔子ガサヨウニ仰セラレタ、民ヲヤタラニ愛スルガヨイ、孟子ガサヨウニ説レタトイフハ、捧腹ニタヘタコトナリ、鶴謹シデ案ズルニ、今幸ニ周禮ホロビズ、賈公彥ノ考ヘニモ古書ノツモリナリ、班固ノ考ヘモ古書ノツモリナリ、孟子ニ諸侯ガ奢侈ヲスルユヘニ、古禮ガアレバ邪マニナルユヘニ、ヤキステ、シマフタトイヘリ、秦ノ始皇ハ百姓ノ愚ナルヨフニシタルユヘ古書ヲヤキタリ、漢ニナリテ武帝始メテ古書ヲ求メラル、成帝ノトキニヨウ／＼周禮ノ校合ヲ劉向父子ニ仰セツケラレタリト云事アリ、扱今周禮ヲ見ルニ、ナルホド周公ノ作トハ見ヘヌナリ、又眞ニカクノ如官ヲ立テタルコトヲ思スナリ、謝肇淪ノ考ヘニテ、周禮ハ周ノトキニハ中々行ハレヌ大人數ノ入ルコトナリト云ヘリ、吾國ノ令ノ義解、支那周禮ハ并ビニ眞ニ行ハレタルニハアルマジ、碁ノ定石、劍術ノオモテ、



馬術ノ手綱目六ノルイナリ、大ワリナリ、先ヅアノヨウニカツコフヲツケテオキテ見セタルモノナリ、古書デハナイトイフテモ、戰國以上ノ書ニチガイナシ、何ニシテモヨク出來タルモノナリ、尙書ノ周官ヨリヒロメタルモノト見ユルナリ、又戰國以上ノ書ナレバ、イヅレ傳聞モ多カルベシ、イヅレ結構ナル書ナリ、先ヅ第一ニ治世ノ書ナリ、今ノ世ニ大ニ用ニ立書ナリ、孔孟ノ土地トハ土地チガイナリ、今ノ世ト同ジ地形ノトキノ書ナレバ、孔孟ノ利ニ厭ヒ、民ヲ愛スル說ヲシバラク休ミテ、周禮ヲ立ルコト今ノ時ニシツクリ合フベキ也、後ノ儒者ハ皆下ヨリ運上ヲ取ルコトアシ、トイヘドモ、周禮ハ皆運上アリ、扱民ニ米錢ヲカシテ利息ヲ取ル法ナリ、後儒ハ皆孟子ノ殷湯・周武ノスル法ヲ今ヘ行ハネバナラヌコトジヤト思フテアルコト、ヲカシキコト也、天ノ定理ヲ信ゼズニ、孔孟ノ時ヲ救フ法ヲ定木ニスルコト、大キニ間違イ也、ステニ論語ニモ甯武子ノコトヲ載セテ、國ニ道ガアレバ智ジヤ、國ニ道ガ無レバ愚ジヤトイヘリ、孔子・孟子ノ時ハ無道ノ亂世ナリ、今ハ有道ノ治世也、今ノ世ニ孔・孟ノ言葉ヲカタカシギニ信ズルハ、甯武子ニトリテ見レバ、國ニ道ノ無キ時ニモ愚ニテ、道ノ有ル時モ愚ナル男也、後ノ儒者ヲ甯武子ニ見セタナラバ、サゾワロウコトナルベシ、利ハステベキモノニアラズ、民ハ愛シスグベキモノニアラズ、治世ニ利ヲステルハ天理ニアラズ、民ヲ愛シスグルハ天理ニアラズ、亂世ニハ孟子ノ世ノ如キ天理ニカナフナリ、今ノ世ニ孔・孟ノトキノ無道ノ世ヲ準トスルコト勿體ナキコト也、吉例ニアラズ、ヤハリ治世ノシカタヲ書タル周禮ヲ準トスベキコトナリ、宋ノ時ニ至リテヨキ儒者

澤山ナラビ出タリ、皆文章上手ニテ皆書ヲヨク見テ、ヨク讀タル人々ナリ、然レドモ皆政事ハ下手ナリ、ユヘニ歷代ノウチニテ第一ニヨワキ世ニテ、第一ニタワヒモナキツブレヨウナリ、タゞ王安石一人スサマジキ政事名人ナレドモ、其時ノ儒者程子兄弟、東坡兄弟ト甚ナカアシク、司馬光トハ火ヲスルヨウニ中アシカリシユヘニ、後世儒者ノ論ニテモ、王安石ハ惡人トキワマリタレドモ、儒者組ト流儀チガフタルユヘニ惡評ヲトリタルナリ、スデニ歐陽修ハ大キニ寵愛セリ、儒者ハ死物ヲ信ズル流儀ナリ、カタク孔・孟ノ言ヲ準トシテ、弁利愛民ヲ宗旨トシタルモノナリ、王安石ハ活意ニツキテ死物ヲ信ゼズ、サレドモ敵甚多ク、其上ニ敵タルモノ皆歷々ノ大儒ナリ、且下民ノ沙汰ニモ王安石ノウケアシ、是ハ民ヲ愛シスギタユヘナリ、扱大勢ノ大儒ト天下中ノ民トヲ敵ニトリテハ、ドウモムツカシイナリ、又王安石ノ方ニモワザ／＼司馬光ニアタルヨウナルコトモアリタルナリ、ユヘニ辭論ナキニモアラズ、カレコレスルウチニ、神宗崩セラレテ王モ廢セラレタリ、其後ハイヨ／＼棄利愛民ヲ儒者ノ宗旨ト定ムルコトニナレリ、扱司馬光出テクワラリト王安石ノ法ヲカヘタレドモ、宋ハホドナフツブレタリ、王安石ハ周禮ニモトヅキテ法ヲ組ミカヘタリ、法ハ周禮ノ法ナリ、ドレモ／＼ヨキ法ナリ、今ニ行ハレテアル法タクサンアリ、唯大敵ヲ引ウケタルユヘニ一世ト論チガフテ、バラ／＼トクヅレタルコト天ナリ、其トキ儒者ガナマナレ儒者ナラバヨカリシナリ、アマリスサマジキ儒者ドモユヘニ敵ツヨカリシナリ、王安石ハ漢ノ公孫弘ノヨウナル人ガラナリ、イナカクサウコシラヘテ石部金吉ト云

ナリタチナリ、東坡ナド、ハ合ヌハヅナリ、風流ダナキ人ナリ、ヤハラカミノナキ人ナリ、學問・記憶・才氣・文章・博識・堅志コノ六ツハ、古今一人ナリト後世マデモイヒ傳ル人ナリ、唯イナカクサキ人ユヘニ、世人ノ情ニウツカリシナリ、周禮ノウツシヨウガウマフユカザリシナリ、扱周禮ノ法ハ周公旦ノタテラレタルニナイニシタル處ガ、イヅレスサマジク經濟ニ達シタル男ノ、大國ノ政ヲ手ニトリテ行ナフテ見タル男ノ書タルモノナリ、ユヘニミナ眞ノコトナリ、今日デキニ取行フテ用ニ立コトナリ、儒者ノ論ハ唯ウツクシキコトヲイフバカリニテ、今日ニ取用ユベキコトニアラズ、皆孟子ノ天下ヲ丸キリ取ル術ノ、スコシノ間カリ行フテ、天下ノ民ヲ思ツカセルウチノカリノ術ナリ、漢ノ高祖秦ノ苛政ニシルシム民ヲスクウテヤルト云フ名ニテ、秦ヲツブシタルトコロハ、殷湯・周武ノ夏・殷ノ民ヲスクフト云名ト同ジコトナリ、唯法三章ヲ約スルト云蕭何ノ智ハ、ヤハリ孟子ノカリソメノ愛民ト同ジ事ナリ、漢ノ天下ニナリキリテシマヘバ、法三章デハ治ラヌナリ、法三章ト云ハ民ニオモイツカセル術ナリ、今日ニ漢ノ治メ方ヲ寫サンニ、法三章ハウツサレヌ、ヤハリ三章以後ノ法寫サネバナラヌ、孟子モ齊宣・梁惠首尾ヨク取レバ、民ヲ愛シスグル事ハ止メネバナラヌナリ、皆シバラク大願成就スル迄ノウチノ術ナリ、今日ノウヘニ孟子ノ言ヲウツサレヌ證據ナリ、漢ノ武帝ノトキスサマジキ人物朝廷ニ澤山アリテ、マコトニ賢者ゾロイノ世ナリ、扱元光ノ比ヨリ軍ヲ興シテ匈奴ノセメラレテ、物入夥シキコトナレバ財用乏シウナリテ、元狩四年ニハ役人中ヨリ申シ上ルハ、上ミノ御藏空虚ニテ

一向金銀不足ナリ、シカルニ富タル商人ドモハ、イヨ／＼大富ヲナシテ、金銀ヲ積ミカサネテ、貯ヘオルトモ、上ミノ御手支ヘトイフモノナリ、コレハ金銀吹カヘ並羽書・フリ手形ノ類ヲツクリテ、御勝手向ヲトリナオシ申サズバナルマイト云由ヲ申シ上ル、此ニヨリテ孔僅トイフ人ノ經濟家ノ心得アリテ、計策ノ達人ヲ大農丞トシテ、御勝手方御勘定奉行トモイフベキ役ヲイヒツケ、扱商人ノ子ニ桑弘羊ト云モノアリテ、算術ニ達シタル人ヲアゲテ、公卿コノ人々ニキ、テ御勝手取直シノ法ヲ施シ行フテ、ダン／＼金銀手マハルヨフニナセリ、サレバレキ／＼ノ賢臣鼻ヲソロヘテオリテモ、董仲舒、公孫弘ヲ始メ皆儒者出身ノモノドモナレドモ、御勝手取直シノコトハ一向ニ下手ナルコトト見エテ、桑弘羊ヲシンボウニタテ、ヨウ／＼トトリナヲシタルコトナリ、コノ方ノ物入ハ一向ニヤサシキコトニアラズ、匈奴ヘ出ル軍勢モ引カヘ／＼十萬二十萬モ三十萬モイヅルコトナレバ、御褒美金トテモ一向ニ仰山ナルコトナレドモ、コノ後ハ桑弘羊ノ工夫ニテ手ツカヘザリシナリ、匈奴ヨリ和睦ヲ乞フマデ攻メテ攻ツケテモ、勝手差支ヘヌホド取り直ストイフハ妙ナル手際ナリ、コノ内ニ魔法ツカヒ來リテ、仙人ニナル法ヲ申上ル、コノ法モ又スサマジウ物ノ入ル法ニテ、大ナルウテナ御殿所ニ御普請オビタシキ入用ナレドモ、ツバイテユキタルハ妙ナル手際ナリ、栢梁臺・承露盤凡ソ宮ヒツノ入用、仙人入用、軍ハ始終出入スル、使者ノ往來、匈奴ノ降人、漢ノ富タル處ヲ見スルトテ、唯金銀湯水ノ如クツカヘドモ、手マハルハ妙ナルコトナリ、行幸ノ入用自身ニ軍ヲヒキヒテ出ラル、入用ヲビタバシキコトユヘ



ニ、夷狄モコトヽク服シタレドモ、服スルニヨリテモ入用カ、ルケレドモ、手ヅカヘスコトナリ、桑弘羊モヤハリ周禮ニ因リテ、平準ノ法・均輸ノ法ナリ、昔ヨリイフ通り漢ノ人ヲ得ルコトヲビタビシキコトナリ、儒者ハ董仲舒・公孫弘・篤行ハ石建・石曼・冥眞・汲黯ト、式賢ヲ舉ルハ孔安國・鄭玄・時令ヲ定ムルハ趙禹・張湯・文章ハ司馬遷・司馬相如、滑稽ハ東方朔・枚阜、應對ハ嚴助・朱買臣、曆數ハ唐郁・洛下閭、協律ハ李延年、運籌、理財ハ桑弘羊、奉使ハ張騫・蘇武、將率ハカヅヘラレスト云ヘリ、<sup>(擅カ)</sup>コノ人々ハ外ノ人ニハ出來スコトヲスル人々ナリ、サレバ桑弘羊ノ計策ハスサマジキ智ナリ、然レドモ後世ニテハ惡人ノヨウニ云ナスハ、利ヲスツルコトヲ儒者ノ人物トスルユヘナリ、利ヲスツレバ貧ナリ、ユヘニ儒者ハ皆貧ナリ、吾邦ニテハ貴人・武人ハ利ヲスツルコトナリ、利ヲスツルト云コトナリトキコヘスコトナリ、人利ヲステヌラバ惡人ト云コトナリ、コレハオカシキコトノハヤルコトナリ、支那ニテモ同ジコトナリ、利ニカシキ人ヲ山師ナド、イフ惡名ヲツケテノ、シルコトナリ、下ヨリ運上ヲトルガ山師ナラバ、周禮ハ山師ノ書ナリ、民ニ米錢ヲカシテ利息ヲトルガ山師ナラバ、周公者山師ナリ、先ヅ一體事ハ其根元ヘユキテ見ルコト近シ、モト田ヲ民ヘワタシテ、民ヨリ米ヲアゲサスルハ何トイフモノゾヤ、何ノリクツデ民ヨリ米ヲ取ルコトナリヤ、セメテコノ理ヲ知タラバ、クワラリトワカルベシ、田モ山モ海モ金モ米モ、凡ソ天地ノ間ニアルモノハ皆シロモノナリ、シロモノハ又シロモノヲウムハ理ナリ、田ヨリ米ヲウムハ、金ヨリ利息ヲウムトチガイタルコトナシ、山ノ材木

ヲウミ、海ノ魚鹽ヲウミ、金ヤ米ノ利息ヲウムハ天地ノ理ナリ、田ヲステ、ヲケバ何モウマヌナリ、金  
ヲネセテヲケバ何モウマヌナリ、田ヲ民ヘカシツケテ十分一ノ年貢ヲ取ルハ、コレ一割ノ利ヲ取ルナ  
リ、周禮ニハ漆ノ木ハ二十五ノ五ト云ヘバ、是レ四朱ノ利ナリ、勿論利ヲウムニ、物ニヨリテ遲速ア  
ルユヘ、利息ニ多少ナフテカナワヌコトナリ、田ノ年貢モ、山年貢モ、海年貢モ皆息物ナリ、シロモ  
ノヲカシテ利息ヲ取ナリ、是利息ハトラネバナラヌモノナリ、山師ニテモ、何師ニテモナシ、天地ノ  
理ナリ、白圭ハ古ノ經濟家ナリ、孟子ニ白圭ノ云ニハ、ワシハ田ノ年貢ヲ十分一トロウト思ト云ヘ  
リ、國富テキタルユヘニ十分一トナリテモ、國用ハタツプリアルト云自慢ナリ、其時孟子ノ云ニハ、  
年貢ハ十分一トルベキモノジャ、十分一トルハエビスノ道ジャ、エビスハ城モナシ、御殿モナシ、  
禮樂モナイユヘニ、十分一トリテモ國用ニ不足ガナイガ、中華ハリツバナクラシ方ユヘニ、十分一ト  
ラネバタラヌトイヘリ、是レ田ハ一割カシツケネバナラヌ、五朱ニカシツケルハ、エビスノ道ジャ、  
五朱ノ利息ニテハ此方ガ引合ヌト云事ナリ、如是イヘバ、下々ノ商人ノハナシナリ、下々ノ商人ノハ  
ナシガアツキニアラヌ、古ヘヨリ君臣ハ市道ナリト云ナリ、臣ヘ知行ヲヤリテ働カス、臣ハチカラヲ  
君ヘウリテ米ヲトル、君ハ臣ヲカイ、臣ハ君ヘウリテ、ウリカイナリ、ウリカイガヨキナリ、ウリカ  
イガアシキコトニテハナシ、凡ソウリカイノコトハ、君子ノスルコトデナイト云ハ、皆孔子ノ利ヲイ  
トフコトヲ丸イミニシテ、ミコミソコナフタルナリ、君臣ハウリカイデハナイトイヒタルヨリ、

ツブシト骨折損ト澤山アリ、喰ツブシハ君ノ損ナリ、骨折損ハ臣ノ損ナリ、甚不算用ナルモノナリ、天地ノ利ニチガフテアルナリ、孟子ハ屨ニモ、絲縷麻絮ニモ、上・中・下ノ品ガアル、直段ハチガハネバナラヌ、同ジ直段デハナラヌ、スデニ屨一色ニセイ、大キナ屨ト少サキ屨ト同ジ直段ナラバ、誰レモ大キナ屨ヲツクルモノハナイ、皆小サイモトデノヘタ屨バカリ作りテアル理ジヤト云ヘリ、何デモ直段ハチガハネバナラヌ理ナリ、廣間ノ面番モ三百石、用人モ三百石ナリ、面番者木綿一反グラヒノシロモノナリ、用人ハ智ノ入ル役ナレバ、縮緬一疋グライノシロモノナリ、縮緬一疋ヲ三十匁ニカンテヤルハヤスキモノナリ、ウリテノソソナリ、木綿一反ヲ三十匁ニウルハタカキモノナリ、カイテノ損ナリ、ウリカイト利息トノ理、ハツキリトワケタキコトナリ、大モニ士ニ羞惡ノ心ヲス、ムル術ナリ、ウリカイハ君子ノイワヌコトトスルユヘニ、廣間ノ面番公然トシテ三百石トリテ、ハヅカシウ思ハヌナリ、一體天地ハ理ヅメナリ、ウリカイ利息ハ理ヅメナリ、國ヲ富サントナラバ、理ニカヘルベキコトナリ、理ニカヘリテ見レバ、周禮ハ甚ヨキ手ガ、リナリ、天子ハ天下ト云シロモノヲモチタル豪家ナリ、諸侯ハ國ト云シロモノヲモチタル豪家ナリ、コノシロモノヲ民ヘカシツケテ、其利息ヲ喰フテアル人ナリ、卿大夫士ハ己レガ智力ヲ君ヘウリテ、其日雇賃錢ニテ喰フテアル人ナリ、雲助ガ一里カツギテ一里ダケノ賃ヲトリテ、餅ヲ得酒ヲ得ルニ何モチガイハナン、聖人ノ御代ニハ下々ノ民マデ、路ニ捨テ拾ハズト云語ヲ見ルニ、面白キコトナリ、聖人ノ御世ニハ刑措テ用ズト云語ヲ見ルニ、

感心シタルコトナリ、聖人ハウリカイ算用ハツキリトキメタルト云ハ、形名參同ノコトナリ、形名參同ハ天地ノ理ナリ、民ニハツキリト理ヲ見スル、民モ何カシラ人理ヲ心ニヲカネバ、聖人ノ御世ノヨウニハイカヌナリ、王制ニハ死罰ノ罪人キハマレバ、ケ様ノ罪アルモノナレバ、死罪ニ申シ付ルト天子ニ申シ上レバ、天子ハ何トゾユルシテヤツテクレイト三度トメル、トメテモ役人キ、入レズ死罪ニスルコトアリ、是レ古法ナリ、死罪ノ人ヲ死罪ニスルハ、ウリカイ算用ハツキリトキマリタルナリ、天子トメテモ役人ガツテンセズニ死罪ニスルコトハ、天子ノ御意ヨリモ天ノ理ガヲモキユヘナリ、シカレバ天子ノ意ヨリモウリカイ算用ハヲモキコトナリ、形名參同ハヲモキコトナリ、死罪ヲ宥メテ流罪ニスルトイフハ、三十匁ニウルベキシロモノヲ十五匁ニウルナリ、十五匁ニカウベキシロモノヲ三十匁ニカウナリ、形名參同ニアラズ、路ニステ、アルモノヲヒロハヌハ、己レガトルベキワケナキユヘナリ、朝カラ晩マデフラリトアソンデイテ喰フ人ハ、喰フベキスジナフテ喰フ人ナリ、ケ様ノ人アリテハ、路ニステタルヲヒロハヌトイフ風俗ニハ、トントナラヌナリ、擬刑措テ用ヒズトハ、上ノ御政ユルサヌユヘナリ、ユルセバ民ガ刑ヲ犯ス、キツト刑スルユヘニ、民刑ヲオソル、ナリ、刑ヲ民ガヲソルレバ、刑ニアハヌヨウニスルナリ、民ガ刑ヲ犯ス上デキツト刑スル、是ウリカイ算用ハツキリトキワマリタルナリ、韓非ハ罪ヨリモ重クスルガ仁政ジャト云ヘリ、民ヲ一人モコロスマイト思ハハ、罪ヨリモ刑ヨグツト重クスルニシクハナシ、巾着切一向ニ引合ハヌナリ、ユヘニ巾着切リヲ止ル理ナ



リ、喧嘩ヲスル人ヲ死罪ニスレバ、是レ喧嘩ヲスル人引合ヌナリ、是天下ニ巾着切モ喧嘩師モナキ理ナリ、ウリカイ算用ハハツキリキマレバ、天下靜謐聖人ノ御世ナリ、ウリカイ算用ハ君子ノイヤシム處トスレバ、天下ハキマ、天下ニナリテ、不ソロイニナリタルト見タルユヘニ、周禮ト云モノヲカキテ、算用ヲシツクリ合セタルナルベシ、周禮ヲヤキタル人ノ腹中ヲ推シテ見ルニ、一割利息ト云算用ナリ、桑弘羊ガ漢武ノ勝手ヲナヲシタルモ、一割算用ヲ興シタルナリ、王荊公ノ新法ト云モノモ、一割算用ニツキテ取リ立タルモノト見ユルナリ、ナンデモ古ノ耕ス者十ガ一トイフハ、一割利息ノコトナレバ、□□皆一割ノ利息トイフガ、天地ノ理ト見ユルナリ、古ヘ天下ノ貴人御役人ノ、トントノ上席冢宰ト云役目ノ人ノ役ヲ王制ニモカキテアル通り、御勝手ノ出入ノコトヲシラベル役ナリ、君子ハウリカイ算用ニカマハズバ、古ヘノ冢宰出入ノコトニカマハヌハヅナリ、國ノ總體入高ヲ算用シテ、其惣入高ノ三分二ニテ國ノ入用ヲシマフヨウニシテ、三分一ヲバノコシテオキテ、タクハヘニスルコトナリ、是冢宰ノ役目ナリ、算用ヲバ算盤ノ達者ナル人ニイヒツケテサスレドモ、ツモリノク、リハ此冢宰ノスルコトナリ、是一割利息ノ算用ノク、リヲシラネバ出來ヌコトナリ、後ノ重役ノ人ハ一體根元ノ理ニウトキユヘ、大キナルコトヲフリマワスコトクルシキナリ、大キナルコトハナンボ大キウテモ、惣グ、リノ理ヲ心ニスベテオレバ、サワガヌ理ナリ、惣グ、リノコトハ、イヅレ一割利息ノ算用ナリ、周禮ノワリケ様ナリ、上デ取リスギレバ下デクルシムコトデ、取リスギネバ上デ苦シム、上

下トモニクルシムコトノナキガ天ノ理ナリ、上デハ上ノカツテノヨキヨウニシタガルハヅナリ、下デハ下ノカツテノヨキヨウニシタガルハヅナリ、上ノ勝手ニバカリヨキコトハ天理ニチガフテアルユヘ、ツマル處ハヤハリ上ノ勝手ニアシキコトニナル理ナリ、下ノ勝手ニヨキコトモ天理ニチガフテアルユヘニ、ヤハリ下ノ勝手ニアシキコトニナル理ナリ、下ハ智ノナキ愚ナル人々ナリ、下ノ勝手ヲササヌガ仁ナリ、上ノ勝手ヲセヌガ仁ナリ、マンナカラユクガ天理ナリ、今民ヲ愛スルトキハ、民ノ勝手ノヨキコトバカリサセント思フユヘニ小仁ナリ、罪ヲユルスハ小仁ナリ、大仁ニ大ニ害アルコトナリ、一割利息ニスベキ處ヲ、五朱利息ニスルモ小仁ナリ、大仁ニ害アルコトナリ、兎角民ノ働コトガヨロシキナリ、ユルヤカニ取リテヤレバ、ソレダケ民ガタクワヘレバ、算用ニアフコトナレドモ、民ハ不智ナルモノユヘニ、スクナフトリテヤレバ、ソノ餘慶ダケハムダニアソビテシマフナリ、王荊公ガ青苗ノ法ヲ立タルトキニ、蘇轍コノコトヲ難ゼルコトアリ、甚面白キ論ニテ、政ヲ執ルベキ人ノ心得ベキコトナリ、青苗ノ法ハ周禮ニアリ、春頒テ秋歛ムトイヘリ、春ハ百姓ドモノコヤシラスル時分ナリ、甚以テ金ガ入ルナリ、糞ヲ澤山ニ入レバ粟モ多フハヘルユヘニ、糞ヲ澤山ニ入レタケレドモ、金ガ入ルコトユヘニ見ス、糞ヲスクナフスルナリ、糞ヲスクナフスレバ、米ノデキカク、ソレダケスクナキナリ、米ノデキスクナケレバ上ノ損ナリ、ユヘニ春ノ代物ヲ民ヘ貸シテヤルナリ、民モ貸リテ糞ヲ澤山スレバ、米多ク出來ルユヘニ、貸シ米ヲネガフコトナリ、コレヲ貸スヲ青苗トイフナリ、周禮ノ

春頒秋歛ノコトナリ、利息ハ一割ナリ、周禮モ一割ナリ、王荊公モ一割ナリ、シカルニ蘇轍ノ難ズルハ、民ニ金ヲ貸シツケテ、秋ニナリテ一割ノ利息ヲツケテ取收ルコトハ、ヨロシカルマジキナリ、其ノワケハ民トモ云モノハ不智ナルモノユヘ、手ニ金ガナケレバ、ツカワズニアルケレドモ、手ニ金ガアレバ、ツイツコウテシマウ、既ニツコフテシマフテモ、秋ニナレバ是非々々ニ一割ノ利息ヲツケテ上納セネバナラヌトキニハ、民ニ罪人デキル理ナリ、ワザ／＼民ヲ罪ニラトスヨウナルモノナレバ、ヤハリ今マデノ通りガ宜シカルベシト云タルコトアリ、是蘇轍ガ論モ面白キナリ、ナルホド民ハ不智ナルモノナリ、手ニアレバツコフテシマフコトモアルベシ、是レモ周禮ヲカク人油斷アルマジキナリ、民ニツコフテシマフテ、コマル人ガアリテモ、來年カラコリ／＼トシテカセグ心ニナル人モアルベシ、始メヨリカクゴシテコフツ、シム人モアルベシ、民ハ愚ジャカラコウスレバ罪人ガデキル、ア、スレバ罪人ガデキルト云フテ遠慮スレバ、法ハ立ラレヌナリ、罪人ガデキテ民ヲ刑シテ、ソレデ民ノ行儀ノナラルコトモアルモノナリ、民ノ心ノチヤント氣ノツクコトモアルモノナリ、民ニ罪人ノデキルコトヲイトフガ善政デモナキコトナリ、蘇ガ論モ面白キ論ナレドモ、マダ／＼左様バカリデモナキモノナリ、ヤハリ春貸附テ秋ニ至リテ利息ヲ付ケテ上納サス方ガ、ナンデモ天下ニシロモノ、フエル理ナリ、青苗トハ春ハマダ苗青ケレドモコレヲアテニカシツケルユヘニ青苗ト云、兎角土地ヨリ澤山ニ物ノ出ルヲヨシトス、下デ德ヲトロフトモ、上デ德ヲ取フトモ、ソレニハカマワズニ、土地ヨリ物ノ澤山ニ出

ル方、富國ノ計策ナリト思フベシ、蘇ガ論ハヨケレドモ、コノ處ニチガフト云モノナリ、民ハ手ニ金ガアレバ、デキニツコフテシマフテ、秋ニナレバ大ニクルシミテ、テン／＼マイヲスルト云フ論ハ確論ナリ、コノ處ハ大キニ心得テイネバナラヌコトナリ、サレドモ一體ヲミバ、土地ヨリ出ルモノ一本モ多キガ天下ノ富ナリ、今青苗ノ法ヲ立ツルトキニ、百人ノ中始メハ七十人油斷シテ、三拾人出精シテモ、ツマルトコロハ三拾人ノ出精ダケ、天下ニ穀ノフエルト云フモノナリ、油斷シタルモノモ、テン／＼マイヲシテ、他借シテ先ニ上納ヲシテモ、來年モ又油斷スルト云人ハズルケモノナリ、民ヲクルシメマイトスルコト、アシキコトナリ、民少シクルシメテモ、始終ノ處ガ民ガ安樂ナルガヨキナリ、唯少シノ間民樂ヲシテモ、イク久ククルシミテハ、民ヲ安ンズルト云フモノニテハナキナリ、少シノアイダクルシメテモ、イク久ク民ヲ樂ニスレバ、民ヲ虐スルト云モノニテハナキナリ、蘇ガ論ハ姑息ノ論ナリ、民ノ情ヲバヨフ得ダレドモ、深カラヌ論ナリトイフベシ、王ガ論ハ民ヲ罪ニオトスヨフナルコト出來マジキモノニモナケレドモ、ツイニ民ノ樂ニナル、周禮ニ春頒秋歛ノ法アレドモ、天下デハ蘇ノ論優レリト云ハ、民ノ情之愚情ニ叶ヘルユヘナリ、民ノホメルコトハ、多ハ民ノメイワクニナル法ナリ、灸ヲスエルコトヲ小兒ニ相談スレバ、皆灸ハイヤナリト云フナリ、灸ハスヘサ、ヌガヨイトイフ人アレバ、小兒ハスヘサ、ヌ人ヲ仁人ナリトホムルナリ、灸ヲスエレバ一體小兒ノ徳ニナルコトナレドモ、小兒ハ今日ガツイユヘ、灸ヲイトフト云ヨフナル氣味、始終民ヲアツコウ人ノ入用ノコトナリ、凡



氣ハ陽ニ屬ス、形ハ陰ニ屬ス、陽ニ屬スルモノハ、皆上ノ方ヘノボルナリ、陰ニ屬スル物ハ、皆下ノ方ヘサガルナリ、人モ段々上ノ方ヘアガリテ、奢侈ニナリタガル物ナリ、手足ハ段々下ノ方ヘサガリテ、懶惰ニナリタガルモノナリ、民ナドモ少シ捨テオケバ心ハ奢侈ニナリ、手足ハ懶惰ニナルコト古ヨリ然ナリ、民ヲ愛スルハ小兒ヲ愛スルト同ジコトナリ、アマヤカスコト甚毒ナリ、□貧ニナル始リナリ、利息ナキ貨ヲカスベカラズ、民ズルケルナリ、利息アル貨ヲカシテ出精サスベキハヅノコトナリ、周禮ノ法ハ商物ニテモ一々運上アリ、運上ハ民ヲクルシムルト云ハ小仁ナリ、運上ハヤハリ利息ナリ、利息ハ取ルベキ筈ノモノナリ、天地ノ理ナリ、天地ノ理ト云モノハ、チヨイト見バドフカ不仁ノヨウナルコトモアリ、不義ノヨフナルコトモアリ、ケレドモツマル處ハ仁義ニ合フナリ、ユヘニ兎角大目ノキク人デナケレバ政事ノ相談ハデキヌ、周禮ノ法ハ役人甚澤山ニ入用ナレドモ、手ノトバキタルコトハ、ゴク／＼細ニトバキタルコトナリ、ユヘニ周公ノ法ニテハアルマジキナリト古人モ云リ、周禮ノヨフニ役人ヲ揃ヘルコトバ、周ノ時分ノ身分ニテハデキヌトイヘリ、後世ノ智者ケ様ニスレバ、ノコルトコロモナフ手ガトバクト云フテ書テ見タルナルベシ、ユヘニ手ノトバク處ハ、カヘツテ眞ノ周公旦ノ作ヨリモユキトバキタルコトナルベシト思フナリ、今周禮ヲウツスト云ハ、アノ通りニ官人ノ數ヲソコヘベシト云ニアラズ、運上ノ取ヨフ、利息ノトリヨフ、土地ノ開キヨフ、役人ノクバリヨフノ手本ニスルガヨキト云フコトナリ、今日ニ至テハ大國・中國・小國カズカギリモナキコトナレバ、

ウツサル、處モアルベシ、ウツラヌトコロモアルベシ、皆心イキヲトリテ、智ヲ周禮ヨリカリルコトナリ、桑弘羊ノ漢ヘウツシタルモ、王安石ノ宋ヘウツシタルモ、唯カゲヲウツシタルナリ、凡ソ國ノ貧ニナルハ、政ノシカタ理ニタガイタルコトアルヨリ始ルニチガヒナシ、一體天下中ノ仕掛ケ理ニタガワネバ、民ノ心ニ自然ニ理ガウツリテアルナリ、民ノ心ニ理ヲ入ヨフトスルハ、觸レゴトヤ、カキ付デハトントユカヌナリ、唯天下中ノ仕掛ガ理ナレバ、民ハ理ガクセニナルユヘニクセツクナリ、蓬ノ麻中ニハヘルハ、蓬モ我シラズニ直ニナラネバナラヌ理ニテ直ニナルナリ、畠中ガ皆麻ナレバ、其ノ中ニハヘル蓬ハ皆ナ直ナリ、天下中ノ仕掛ガ皆理ナレバ、其ノ内ニ生ズル民者皆ナ理ナリ、周禮ノ仕掛ヲ見ルニ、理デツメタルモノナリ、考工記ノ職人ノ寸法ニテミルベシ、弓一挺・具足一領ニテモ、皆ナ寸法ノワリ、シツクリト理ニアフテヲル、或ハ車ハ轅ヲ三ツニシタル一ツガ輪デ、輪ヲ二ツニシタルカ、何輪ヲイクツモヨセタルカ如何、トイフヨフニ理ヅメニシタル物ナリ、田ノ年貢ヲ一割利息ニ取モ利ナリ、天下ノ治メ方ハ車ヲ作ルヨフニ、皆寸法シツクリキマリタル物ナリ、車モコノ寸法ニチツトチガヘバ、ウゴカヌナリ、三味線ナドモ皆ナ寸法有テ、棹ヲ三ツニ割リタルガ胴ノ寸法、胴ヲイクツニ割リタルガ何ノ寸法、ソレヲイクツニワリタルガ胴ノアツサト云フヨフニ、チヤントキマリテオリテ、コノ寸法ニスコシチガヘバ、三味線ナラヌナリ、車ノヨフウゴカヌ理モ、三味線ノヨフナラヌ理モ、人ノ手足ノ働ク働カヌ理モ、天下ノ治ル治ラヌ理モ、皆ナ寸法ノシツカリキマルト、キマラヌト

ノ理ナリ、如此寸法ノキマリタル中ニ生ズル民故ニ、民ノ心チヤント寸法キマリテアルナリ、一分一釐ヌキサシナラヌ物ナリ、桑弘羊ノ法ヲ漢ノ民コバトヲ云フモ、王安石ノ法ヲ宋ノ民コバトヲ云モ、皆民ノ心理ニカマワヌユヘナリ、民ノ理ニカマワヌハ、畢竟天下中ノ仕掛ガ理ニチガイテアルユヘナリ、サレバ天下ノ法ト云物ハ、難<sub>レ</sub>有キ仕掛ノモノナリ、知レニクキコトニアラズ、三味線ノ作りヨフ、車ノ作りヨフハ難<sub>レ</sub>有キモノナリ、皆寸法キマリテオルナリ、然レバ天下ノ仕掛モ寸法キマリテオルナリ、此ノ寸法ハ周禮ニ有レバ周禮ハ難<sub>レ</sub>有モノナリ、鶴ハドノ諸侯ヨリモ合力ヲモラワズ、ツレユヘ身心ハラクナレドモ、又閑暇モナキナリ、ユヘニ周禮ノ寸法ヲウツシテ、合セテオクコトモナラネドモ、コノ一割利息ノ理ニツキテ、周禮ノ寸法ヲイフテキカセ申スベシ、衣食ノ資ヲ得タルスキマノニ、スコシヅ、コノヨフナルコトヲ書クコトナリ、コノ次ノ卷ヨリ周禮ノ意ヲサグリテ、年貢運上ノ理ニ叶ヒテ、シツクリト寸法ノアフテオル處ヲ見スベキナリ、是ウリカイ算用一割利息ノ永久ニ傳リテ、イツマデモカワラヌユヘナリ、堯・舜・禹・湯・文・武・周公ノ仕方ニテ治世ヲ治ムレバ治マルナリ、然レドモ後ノ儒者ノ堯・舜以下ノ話ハ、實話ニハアラザルナリ、孟子ノ堯・舜以下ノ話ハ、モハヤ孟子ノ己ガ勝手ノヨキ方ヘ引入レテコシラヘタルユヘ、又チゴフナリ、孔子ノ話ハ上古ヲバ引入タルコトナシ、自分ノ話ハ兎角利ニ近クハアシ、ト云話ナリ、是ヨリシテ其ノ時ヲ救フコトニナレリ、弑<sub>レ</sub>君弑<sub>レ</sub>父ヲ謀逆ヲ絶ツ仕掛ヲ第一トシタルヨフニ見ユルナリ、孟子ニ至リテハ、時ヲ救フ意甚急ナ

ルユヘニ、針ホドノコトヲ棒ホドニ云氣味アリ、タゞ愛民ヲ第一トシタルナリ、棄利ト云フモ、愛民ト云モ、其時ヲ救フ語ニテ、治世ニ用ユベキ定本デハナキナリ、故ニ亂世ヲ救フニハ、孔・孟ノ仕方ニスレバ救ヘルナリ、治世ヲ治ムル仕方ニテハナキト知ルベシ、書經ト春秋内外傳ニテ、孔孟以前ノ仕方ヲ見ルベシ、周禮以下諸子ノ語ニテ、一體治平ノ策ヲ見ルベシ、治平ノ策ヲ知ツテ、其後ニ孔・孟ノ其時ヲ救フ仕掛ヲミテ、其ノ時々ヲ救方ヲ知ルベキコトナリ、是寸法ノシツクリ合ヒタル話ニテハナシヤ、酷吏トイフ字奇ナル字ナリ、吏ハ酷ナルベキハヅノコトナリ、司馬遷ガ酷吏傳ヲ立テシキリニ酷吏ヲ毀テタルハ、己ガ李陵ノ禍ニヲチイリテ吏ニ下ガルユヘニ、其遺恨ヲ筆ニマカセテ書タルナリ、後儒ノ酷吏ヲ酸デサイラノム様ニ惡ムハ、孟子ノ愛民ノ說ト反スルユヘナリ、徂徠ハナルホド古今澤山ニナキヨキ學問ノ人ナリ、有徳院様ヨリ命ヲウケ政談ヲカキタル、政談ヲカキテ見レバ、コレイキタル天下ヲトラヘテ云ユヘニ、實語デナケレバナラヌナリ、實話ヲ語リテ見レバ、儒者ノ論トハ違フナリ、白石モ儒者ナリ、文昭院様ニ寵セラレテ御政ヲアヅカリキケリ、コレハスグニ眞ノ天下ヲトラヘテ云論ユヘニ、儒者ノ論トハチゴフナリ、凡ソ近來ノ儒者白石ト徂徠トハ、眞ノモノヲ前ニヲキテ論ジタル人、世ノ儒者ノ云コトトハ、ハルカニチガウテヨルナリ、今ノ儒者今ノ世之有様ヲ兎ヤ角イヘドモ、眞ノモノニカケテ見タレバ、ヤハリ今ノ人ノスルコトノ通りヨリ外アルマジキナリ、白石ト徂徠ハ世ニ稀ナル學問ノ人々ナリ、眞ノ物ヲトラヘテ論ジタレドモ、何モ外ニ違イタルコトナシ、



些細コサイノ末々ノ小ゴトヲヒネクリ廻スコト、ヤハリ今ノ人ニチガフコトナリ、今ノ世ノ仕掛ニチガフコトナシ、儒者ハ利ヲキラフコトナリ、サレドモ白石モ徂徠モ先御勝手ヲナラントテ、利ヲ得ル仕方第一ナリ、儒者ハ愛民ヲオモトスルコトナリ、サレドモ白石モ徂徠モヤハリ今ノ通りノ取方ニテ、今ノ通りノ刑罰ナリ、儒者ハ酷吏ハ大ギライナリ、サレドモ政談ニモ中山勘解由ノ酷ナルヲ譽テ、口ニモ入ヌ計リナリ、酷吏ト云ハ律ニクワシウテ、赦サヌ人ノコトナリ、赦シテハ律ニ合ヌユヘニ赦サヌナリ、赦サヌト云ハ、律ヲマゲヌ人ノコトナリ、律ヲマゲテハ律ニテハナキナリ、左レバ酷吏ハ眞ノ役人ナリ、赦ハ畢竟愛民ノ術ニテ、カリソメノ方便ナリ、治世ニ用ユベキ儀ニ非ザルナリ、罪有テ免ル、ハ、罪人ノ多フ出來ル理ナリ、罪有ハ決シテ免ヌト云ハ、誰々モ罪ニヲチソフナルコトハセヌナリ、免ル、ユヘニ罪ヲ罪ト思ハヌナリ、國語ニ羊舌職ノ言ヲノセテ、善人ガ政ヲスレバ國ニ幸民ナシト云リ、幸ハコボレ幸ト云コトナリ、小爾雅ニ其分デナフテ得ルヲ幸ト云ト云リ、得マジキ物ヲ得テ、免レマジキコトヲ免ル、ト云フ、右ノ善人ト云フモノハ、ヒドキモノナリ、得マジキモノヲバ決シテ得サセズ、免レマジキ罪ヲバ決シテ免レサセヌガ善人ナリ、ケ様ノ世ノ中ナレバ、人々得マジキ物ヲ得ヨウトオモハズ、免カレマジキ罪ヲ免レヨウト思ハヌナリ、如レ此ナラバ山師モナキ筈ナリ、盜賊モナキハズナリ、罪人モナキハズナリ、人ヲ殺スコトモ、イタメルコトモナキ筈ナリ、善政ト云ベシ、左レバ善政・善人・仁君・賢大夫トハヒドキコトナリ、ユルサヌコトナリ、メノコ算用、ウリカ

ヒ算用、一錢モ無理ナル徳モ、無理ナル損モセヌコトナリ、救ヌハ信デ、救ハ不仁ナリト云ハ、梁ノ武帝ガ佛法ズキニテ、放生會ヲ度々スル時ニ、拓跋魏ヨリ使者來ル、武帝仁者自慢ニテ、魏ノ使者ニ見セテ、夥シク生タルモノヲ放シテ魏ノ使ニ問ニハ、魏ノ國ニテハ生ヲ放コトハナシヤト問、魏ノ使者答テ云ハ、魏ノ國ニテハ生ヲ放スコトハナシ、又トラヘルコトモナシト云リ、コノ對ニ武帝大ニ愧ヂ入タリト云コト有、ナルホド放生會ト云モノハ、ヲカシキコトナリ、鳥ヤ魚ヲ捕ヘテコレヲ放スコトナリ、捕ヘネバ放スコトハナキナリ、捕ヘテカラ放セバ、コレ放生會ハ不仁ナルコトニテハナキヤ、ユルスト云フハ捕ヘテカラ救スナリ、捕ヘルト云フコトハ不仁ナルコトニテハナシヤ、聖人ノ政ハ捕ヘル者ノナキヨフニスルナリ、捕ヘル者ナキユヘニ、救スモノナキナリ、法ヨク立バ民ハ罪ヲ恐レテ、捕ヘラレヌヨフニスルナリ、捕ヘヌヨフニスルニハ、救サヌガヨキナリ、中山勸解由ト云人ハ、今ノ五萬石ノ黒田大和守殿ノ先ナルベシ、コノ人町奉行ノ命ヲ蒙リテ、唯救サバリシナリ、宥メザリシナリ、聖人ノ政ノ通リシタルナリ、町奉行ハ有司ナリ、上デ救シテヤリテクレロト御頼ミナサレテモ、救サヌハ三代ノ法ナリ、天ノ理ハ上意ヨリモ重キコトナレバ、ナルホドユルサヌガ有司ノ職ナリ、ユルサヌガ仁政也、サレバ中山ハ仁者ナリ、シカレバ酷吏ハ仁者ナリ、酷吏ハニクマシキト思ハハ、町奉行ハ勤メタガヨキナリ、歷代ノ天子三代以下ハ漢ノ文帝ナリ、酷吏ハ文帝ヨリ盛ンナリ、治世ニハ民アマヘルユヘニ、米金ヲ貸セバ利ノ付コトヲコバトヲ云、運上ヲ取コゴトヲ云、コレアマ

ヘルナリ、周禮ノ法ヲコバトヲ云ハ、天ノ理ヲコバトヲ云トイフモノナリ、ケヨフノ風俗ニヲチ入レバ、立直サネバナラヌナリ、立直スト云ハ、天ノ理ニ政ガアハヌエニ、天ノ理ニ政ヲ合セルト云コトナリ、天理ニ合スレバ、吏ノ天ノ理ニ合ヒタル、ユルサヌ男ヲ用イネバナラヌナリ、文帝ノ酷吏ヲ用ヒタルハ、政ヲ引オコシテ周禮ノ通りニ天理ニ合セタルナリ、イヅレ愛民ト云コトハ、孟子ノ時分ニハドウモイヘヌヨキ智ナリ、治世ニハサツバリ合ヌ論ナリ、周禮ニモトント合ヌナリ、富國ノ計策ニテハ無ナリ、天下ヲ早ク取術ナリ、トント今ニ用ヒラレヌコトドモナリ、下々ノアマヘルコト、今ノ世ホド甚キハ開闢以來アルマジキナリ、下々ノユルヤカニ奢侈ナルコト、今ノ世ホド甚キハ有マジ、下々ノコバトヲ云コト、今ノ世程仰山ナルコトアルマジ、下々ノ權ノ有コト、今ノ世ホドツヨキコト有マジ、下々ノ智慧有テ計策ヲ働クコト、今ノ世程カシコキコトアルマジ、鶴ガ如レ此論ズルコトハ、上ノコトヲ云ニハアラズ、下々ノ人ニ用心ヲナサレイト云コトナリ、漢武ノ時ヲ以テ考レバ、天理ニアフ有司ヲ用ヒラル、コトモ知レタユヘニ、今ヨリ其用心ヲシテ程ヲスギヌヨフニスルガ、目出度コトナルベシト云コトヲイフナリ、上ノ政ヲ評スルコトニテハサラナキナリ、下々ノ人ニ云テ聞セルナリ、京ノ民ハ江戸ノ民トチガイテ、人ノ云コトヲヨフ受ル風俗アリ、受テ見テ其後ニ取捨スルナリ、至極宜シキコトナリ、ナルホド先一ペン受テオキテ、其後ニ用ニ立コトハ取用イテ、立ヌコトハ捨テシマウベキハズナリ、是回事ニセイ心ツキタルコトハ、云テキカスガヨキナリ、江戸ノ

民ト云ハ風俗ヤラ人ノ云コトヲキクコトヲイヤガル智ノフヘヌ理ナリ、タゞ心剛ニテ氣モフリシヤリトシテ、人ノ云コトヲツネ付ハネノケルコトナリ、コレハイカサマ御入國ノ節ヨリ、シキリニ武風行ハレテ、一寸モヒカヌ、チツトモ人ニマケヌト云風ヨリ出タル風ト見ユルナリ、干戈動クトキ武士日ノ様ニ甲冑ヲ着シテ合戦スル時ハ、極々ヨキ風ナリ、少シモツヨキガヨキナリ、フリシヤリスルガヨキナリ、人ノ云コトヲモハネノケルガヨキナリ、唯腕節イカニモ達者ニテ、氣モ極々剛ナルガ勇士ナリ、今ノ時ハ干戈動カズ、合戦ハナシ、何モケ様ノ人計リ入用ト云世ノ中ニテハナシ、イカサマ武家ノコトナレバ、武備ハナケレバナラヌナリ、備ノ外ハ武風ニ及ヌ事ナリ、江戸ノ風ハ武風故ニ、民ニモ此武風移リテ皆剛ナリ、既ニ武ハ皆武備ヲセネバナラヌト云モノニテハナキナリ、サレドモ一統ニ武風ナルユヘニ、民云コトヲ聞ズ、ジヨウコワク、人ガ右ト云バ左ト云、左ト云バ、右ト云テ、喧嘩ヲカフコト矢張昔ノ男達風ノコリタルナリ、男達モ干戈サワギノトウザノ風ニテ、今ニナリテ見レバ、甚不禮・失禮・戾狠ナル惡風ナリ、江戸ハ民マデガ此風ユヘニ、ツイ諸國へ此風移リテ、城下々々ノ民ハトカク江戸風ノ男達ノ風ナリ、政右ナレバ民ハ左ト出ル、政左ナレバ民ハ右ト出ル、上ノ威ト闘テ勝氣ナリ、是惡風ガ諸國へ移リタルト云モノナリ、サレバ今諸國ニテモ其家中ノ武士ト城下ノ民トヲ制セントスルニハ、此旨ヲ定本ニ取リテ、家中モ城下ノ民モ些ユルヤカニ柔カニナルヨフニ、上ノ威光ヲ下デ恐ル、ヨフニシタキモノナリ、上ノ威光ヲ下デ恐ル、ヨフニトスルユヘニ、酷吏ニナルコト



理ナリト云ナリ、一體古ノ式ヲ見ルニ、諸省・諸府・寮ニ皆ジヨウトサツクワンヲオケリ、省ニテハ丞  
錄ナリ、府ニテハ尉吏ナリ、寮ニテハ允屬也、諸國ニテハ掾目ナリ、小サキ役所ニテモ必ズ此二役ヲ  
オキタルコトナリ、ジヨウハ今ノ元<sup>ベ</sup>役ノヨフナルモノナルベシ、サツクワンハ今ノ目付役ニ似タル  
モノナルベシ、江戸ノコトハ鶴一向ニシラヌナリ、諸國ノ大名家ノ役人ヲ置ヲ見ルニ、目付役甚少  
シ、元<sup>ベ</sup>役モ甚少シ、身上ノアシクナルハ元<sup>ベ</sup>役ノ少キユヘナリ、法ノクヅル、ハ目付役少キユヘナ  
リ、イヅレ民ノ上ノ威光ヲ恐ヌハ目付役少キユヘナリ、鶴ノカンガヘニハ諸役所ニノコラズ元<sup>ベ</sup>・目付  
ヲオキタラバ宜シカルベシト思フナリ、左レドモ今ノ役人ノ數ノ外ニ、元<sup>ベ</sup>・目付ヲオクコトニテハナ  
キナリ、キハリ今ノ人數ニテ宜シキナリ、タトヘバ廣間面番五十人アレバ、此五十人ノ内ニテ少シ經濟  
氣ノアル男ニ元<sup>ベ</sup>ヲイヒ付ルナリ、コレハ面番人ノ元<sup>ベ</sup>ナリ、少シ法ヲ好ム男ニ目付ヲイヒツクルナ  
リ、コレハ面番ノ目付ナリ、諸役所トモニ、皆如此、人數少ナキ役所ニハ、二役所モ、三役所モ、一ツ  
ニ<sup>タ</sup>バネテ、何役々ノ元<sup>ベ</sup>、何役々ノ目付ト云テ云付ルナリ、ケ様ナレバコレ古ノジヨウ。サツクワン  
ヲ復シタルナリ、扨此元<sup>ベ</sup>ハ勝手方家老ノ支配タルベキナリ、目付ハシヲキ方家老ノ支配ニシテ、何  
事ニヨラズ、スグニ面談スベキナリ、ケ様ナレバ諸役ニ家老ノ名代出テ居ルヨフナルモノナリ、箸ノ  
コロビタルコトモ、ジキニ家老ノ耳ニ入ルノ理ナリ、家老ドノヨフナル機密ノコトヲ談ジテモ、外ヘ  
モレヌ理ナリ、今ノ諸家ノ立法ニテハ、上ノコトモ一向ニ下ヘ知レズ、下ノコトモ一向ニ上ヘ知ヌ

ユヘニ、上ニテモ不謹ナルコト有、下ニテモ上ノ目ヲ拔コト出来テ、法モタ、ズ、經濟モ立ズ、アシキナリ、諸役所元々一人ヅ、目付一人ヅ、アレバ、ズツト取リシマル理ナリ、今ノ立方ニテハ人油斷ヲサセテ、ムゴヒ目ニ逢スルヤフナルコトアリ、人々ワザ／＼不儉約ヲサセテ、貧ヲスルヤフナルコトアリ、去トハ行トバカヌコトナリ、鶴ノミシバラク仕ヘタル大名家ニテ、坊主ノツメ所ニ大ダイスアリテ、火ヲオコシテヲクナリ、小納戸ノ詰處ヘモ、近習ノ詰所ヘモ、其火ヲ取ヨスル、家老用人ノ詰處ハヒルマデノコトナレバ、些細ノコトナリ、唯奥勤ノ面々ヤタラニ火ヲ取ヨセテアタルコトナリ、殊ニ坊主ノ中ニコレヲ引トル者多フテ、勝手方ノ用人大キニ困リテ、工夫ヲシテ上下トモニヨキ工夫ヲセリ、此計策ハ坊主ノ内ノ少シ年タケテ、小々坊主仲間デハ威光ヲフル者二人ヲ呼寄テ、隔日勤ノコトユヘニ、兩番ノ中一人ヅ、呼デ云ハ、扱炭ヲ年々御出入ノ炭屋ヨリ取寄ルコトナレドモ、近年炭ノ入用夥舗カ、ルコトナリ、一向ニ昔トハ違ヒテ澤山ニ入ルコトナリ、コレハタワイモナク、シヨ／＼ノ役所ヨリ貰ニヨコシテ、アタルコト見ユルナリ、一體處々ノ御役所ニハ其手當モアルコトナレバ、炭ヲ御坊主處ニモライニヨコサイデモヨキコトナリ、又諸所ヨリモラヒニヨコシテモ、急ニヤラスト云コトモ云レヌコトナルベシ、左レバ此度改メテチャント水ギワヲ立テ、仰出サル、コトナリ、先其方ドモ兩人ニ炭方ト云役ヲ仰付ラル、ユヘニ、何レデモ一冬ニドレホド、炭ヲ一秋ニ何ホド、一春一夏凡ソ一年ニイカホド炭ガアレハ、宜シトイフ數ヲ書テ出スベシ、扱其方ドモノ書出ス通りニ

炭ヲ渡スベキ間、如シ炭ノコルナラバ、ノコルダケヲバ其方ドモ兩人ヘ炭方ノ御褒美トシテ下サル、ユヘニ、兩人トモ隨分出精相ハゲミ、炭ノ御入用減ズルヤウニ仕ルベシ、扱諸役所ヨリ貰ニ來リテモ、此度御改法ニテケ様ニナリタレバ、炭ノ御無心ハウケタマワレズト云テ斷ルベシ、如シ聞入ヌ人アラバ、拙者ヘ申シ出ラルベシト急度云渡シタリ、此後ハ炭ハウキルコトユヘニ、如多フイレバ坊主兩人ニテアガナワネベナラヌコトユヘ、諸役所ヘモヤラズ、次向ヘモ右ノ段ヲ云テ、澤山ニタイテクレヌヨフニ云タルユヘニ、自然ニ入用ハ減ジテ、炭ノ入高大ニ昔トハ少カリシナリ、コレ則チ坊主ノ役所ニ元ヅヲオキタルナリ、ヤハリ坊主ノ中ニテ元ヅヲ勤サセタルナリ、始ヨリ坊主ノ役所ニモ元ヅト目付ヲ置バ、炭ノ分外ニ入ルコトハ出來ヌ理ナリ、江戸ノ番町ト云處ハ、御旗本バカリ澤山ニ集テオリテ、不用人ノ處ナリ、扱江戸ニハ組合ト云者ヲ立テ、御旗本何人ヨリ合テ番處ヲ一ツ置ト云コトニシテ、一町ニ一ツヅ、寄合辻番ト云物アリ、夜分ニハ右ノ辻番ノ番人棒ナドヲ引テ、不埒者ヲ制シ、盜賊ノルイヲ見出ス役ナリ、然ルニ先年市谷牛込ノ邊ノ土手ギワニテ、毎夜ノノヲイハギノ盜出テ、往來ノ人ノ懷中・衣服ナドヲ取コトナリ、辻番ニモ毎々キビシク云ツクレドモ、兎角右様ノコトアルユヘニ、隱密ノ役人ヲメシテ右ノ盜賊ヲ捕ヘテ見ルニ辻番人ナリ、盜ヲ防人盜ヲスレバヨンドコロナキコトナリ、目付ガ内々法ヲ崩シ、元ヅガ内々法ヲクヅシ引オイヲシテハ、ヤハリ辻番ガ盜ヲスルト同ジコトニテ、制シヨウナキコトナリ、左レバ元ヅト目付トハ甚人ヲ吟味セネバ、矢張法ノ崩ル、初

メ、不儉約ノ始ナリ、諸役所類役トキソウテ潔白ヲセネバナラヌヨフニスルコト第一ナリ、一體ハ城下ノ町ニモ、元バト目付トハアルベキハヅナリ、村方大庄屋・庄屋ノ内ニモコノ二役ハアルベキハヅナリ、決シテ法モ儉約モユキトバクベキナリ、今ノ世何レノ國ニテモ、唯儉約々々ト云ヘドモ、儉約ノ仕方行トバカヌユヘニ成就セヌナリ、一體ハ諸事トモニ本源ニユキテ、根本ヨリ正サネバ、末々ヨリイライマワシテモ、表皮ノコトユヘニ、ユキトバカヌコトナリ、國ノ貧ニナルスデト、富ニナルスデトアリテ、今ノコトハ今ニテ防ギ、一體事ハ一體ノ上ニテ心得テラクベキナリ、又江戸ノ政ト諸國大名ノ政ト、ウラハラノコト澤山アルナリ、是ヲ拔目無キ様ニ心ヲクバルベキコトナリ、今ヲ防グ術ハ次ノ卷ヨリ云ベシ、一體ノ心得ト云ハ即チ本源ノ論ナリ、本源ノ掟ハ骨組ノ立方ナレバ、其一事ノミナラズ、ドレデモ通シ見ルコトナリ、イウテミレバ、諸國城下ノ富豪ノ家ハ領主ノ用金ナドイダシ、主人ノ急ヲ救フモノナリ、其上ニ用金ニ出シタル金ヲモ、領主急ニモ返辨セヌ故ニ、其家ニ對シテハ領主ノイヒワケモ立ヌコトアリテ、富豪ヘ何カ恩賞ヲアタヘタキト思フトキニ、格式ヲ賜リ、或ハ紋付ヲ賜リ、或ハ帶刀ヲユルスコト世上一統ナリ、コレハ江戸ニテコソ行フベキコトニテ、城下ニテハ行ベキコトニアラズ、其ワケハ町人ノ富ハ、格式卑キニオリテ、貨財多キユヘナリ、武家ノ貧ナルハ、格式高ニヲリテ貨財少キユヘナリ、格式ト貨ト鈞合テクレバ、身上惡フモナラネバ、ヨフモナラヌ理ナリ、江戸ニテハ後藤庄三郎・後藤縫殿助ハトントノ貧ノ人ナリ、貧ニナリタルワケハ格式ヲ下サレタルユヘナ



リ、兩人トモニ馬上ニテ勤ムル、庄三郎ハ供ニ侍ヲツレルト云程ノ格ナリ、ユヘニ兩後藤トモニ年寄モアリ、用人モアリ、目付モアリ、近習モアリ、供中小姓モアリ、廐別當モアリ、馬役モアルナリ、如此家來大勢アルユヘニ、主人ハ算盤ト云モノハ見タルコトモナキナリ、算盤ヲ見タルコトモナキ町人ト云コトナキコトナリ、イヅレニモ居間ニ居テ、人ニ給仕サセテ飯ヲ喫フ男ハ、一體ノ格好武士ノカタシキユヘニ、利ニウツナルナリ、眞ノ金持町人ハ臺所ノ見ユル處ニテ飯ヲ喫フ、居間ニオリテ喰フコト出來ヌニアラズ、居間ニ居テ飯ヲ喰ヘバ、人ヲ呼ニモ手ヲウチテ呼ナリ、ケ様ノ仕掛ケニナルハ、金ノ出入モ自分ニセヌ様ニナルユヘニ、算用モ自身ハセスナリ、是算盤ハ見ヌハヅナリ、驕リ長ズルハヅナリ、萬事手高ニナルハヅナリ、ケ様ニナリテ貧ニナラヌト云コトナキハヅノコトナリ、ナゼニ臺所ノ見ユル處ニテ飯ヲ喰ハヌト云ニ、己ノ身ニ格式ナルユヘナリ、格式ヲ下サレタルニ、格式ノナキモノ、ヨフニスレバ、上ノ賜ヲ難有ガラヌヨフニ見ユルユヘニ、上ノ賜ヲ奉ズルト云心ニテ、手高ニスルコトナリ、手高ニサヘスレバ金銀ハバラ／＼ト散ルコト、兩後藤ニテ見ルベキナリ、江戸ニテハ天下中ノ町人ガ江戸ノ町人ユヘニ、ドレガコノ方ノ町人ニテ、ドレハ此方ノ町人デハナイト云ワケナキコトナリ、ユヘニ金銀ノコズマヌヨフニトスルコトユヘニ、金ノアリスギルトコロヘハ、格式ヲ下サレテヨキコトナリ、格式ヲ下サルハ貧ニスル仕掛ケ、貧ニスルトテ賜ル格式ナリ、然ルニ諸國ノ城下ノ唯二軒カ三軒ナラデハナイ富豪ヘ格式ヲ賜ワル日ニハ、愛スベキ大セツニスベキ富豪ヲ貧ニス

ルト云モノナリ、是江戸ニテ豪富ヘ格式ヲ下サルハ至極面白キコトニテ、大名ノ城下ノ町人ヘ格式ヲ賜ルハ吟味ノタラヌナリ、城下ニ富家アラバ、何卒其富家ノ貧ニナラヌヨフニ、ナホ／＼富ムヨフニスベキコトナリ、城下ニ富家アルホレ國ノ益ニナルコトハナキナリ、隣國近國之金ヲ吸トルハ富家ノ其領主ヘノ忠ナリ、上ヨリ富家ヘ格式ヲ賜ルハ、己レガ國ヲ貧ニスル仕方ナリ、コレ江戸ノ政ヲ大名家ヘウツスハ、心得チガヒアル證據ナリ、一體人情ハ人ノ己レニマサルヲ妬マシフ思フモノナリ、愚者ハ智者ヲ妬ム、醜婦ハ美人ヲ妬ム、貧人ハ富人ヲ妬ムナリ、智ヲ妬ムハ己レノ愚ニナルユヘナリ、富人ヲ妬ムハ己レノ貧ニナルユヘンナリ、武士ハ兎角町人ノ富ヲ妬ム、國貧ニナルユヘンナリ、役人ハ皆武士ナリ、皆町人ヲ困シメテウレシガルコト世上一統ノ風ナリ、極々ノ愚計極々ノ貧政ナリ、貧ナル民ヲ愛シテ、富メル民ヲ憎ムコト、古ヨリスズチガイナリ、町奉行ナドノ借金出入ヲ捌ニモ、借リ方ノ惡ヲスルヨフニ、借シ方ノ損ヲスルヨウニトサバクハ、武士ノ腹ニテ町家ヲ妬ミテ、町家ノ金ヲタメルコトヲヤメサスツモリノ妬心ナリ、韓非ハコノコトヲイヘリ、富メルハ出精シ勉勵スルユヘニ富ムナリ、貧ナルハ懶怠ニテズルケユヘニ貧ナルナリ、ズルケモノヲ愛シテ、出精スルモノヲ憎メ、土地ヨリ出ルモノダレ／＼少ナフナル理ナリ、國ニ金少フナレバ、金ノ多キ國ヘ吸トラル、理ナリ、大キナル愚ナルコトナリ、凡一家中ニテモ見ルベシ、家中ノ金ヲ持タル人ヲバ一家中ニテ憎ムナリ、何トゾ其人ノ損ヲスルヨフ／＼ニト計ル、少々己レガ損ヲスルコトニテモ、彼富タル人ノ損之行コト

ナラバ、ウレシガリテスルト云氣味ナリ、皆妬心ヨリ起ルコトナリ、此役處ニテハ外ノ役所ノシクジリニナルヨフニト計ル、相互ニシクジラソフ／＼トカ、ルコト奉公人ノ妬心ナリ、儉約ヲ云付レバ、外ノ役所ノ不儉約ナルコト有ルヨフニトスルコト、コレ儉約ノ届カヌハズナリ、己レガ役所ノ少々不儉約ニナルコトニテモ、他ノ役所ノ不儉約ニナルコトナラバ、ウレシガリテスルト云心ニテハ、儉約ユキトバカヌハズノコトナリ、今ハワリ儉約ト云コトハヤル、コノワリ儉約ト云コト面白キコトナリ、智者ノ工夫シタルモノナリ、ワリ儉約トハ一役處ギリニ儉約ヲ云付ルナリ、タトヘバ此役處ノ入用唯今マデノ入用ダカ一貫目ホドナラバ、一割ノ儉約云ツクル、一貫目ノ入用ノ役處ナラバ九百目ニテシマフナリ、コレヲカヨフニセイノ、此ヲバケ様ニセイノトイフ差圖ヲバセヌナリ、イヅレニモ其役處ノ役人ノ心ニテ一割ツメルナリ、何ヲドフシヨフトカマハズニ、唯一割ノ儉約ト云付ルギリナリ、コレモ矢張一役處ニ元ペヲオク法ナリ、一ト役處ニ人十人掛リテオレバ、十人寄合テ、ナンデモ一割入用ノツマルヨフニスルナリ、ドノ役處モ、其役處ギリノ一割ノ儉約ナレバ、是用十萬兩入モノナラバ、一萬兩ハ生出ス理ナリ、コレヲ割儉約ト云ナリ、江戸ノ御役名ノ元方御納方、拂方御納戸ト云御役アリ、コレ甚面白キ事ナリ、江戸ノ事ハ鶴知ズ、大名家ノ政事ヲミルニ、拂方計リノシラベアリテ、元方ノシフベハ至極ザツシタルモノナリ、拂方ハ出金ノコトナリ、元方ハ入金ノコトナリ、イヅレノ經濟ヲミテモ、出金ノセワバカリニテ、入金ノセワヤクト云コトヲ聞ヌナリ、割儉約ト云モ拂方ヲツメ

ル仕方ナリ、一體儉約ト云字モ拂方ヲツメルト云字ナリ、元方ノ役目ハ無モ同ジコトナリ、拂方ヨリ  
詰出ス金ヲ納メルバカリノ役ニテハ、拂方ハコトノ外ニ繁多ナルモノニテ、元方ハ一向ニ誰レデモ出  
來ル役ナリ、ゾウサモナキ役ナリ、一體元方拂方トワケテ役名ヲ付タル最初ハ、ケ様ニカタカシギノ  
コトニテハアルマジキナリ、拂方ハ出金ノコトナレバ、少シモ出金ノ少フナルヨフニトスル役ナルベ  
シ、元方ハ入金ノコトナレバ、少シモ入方ノ多フナルヨフニトセネバナラヌ理ナリ、拂方ハ買ノ字ノ  
役ナリ、物ヲカフ方ナリ、金ヲ出シテ物ヲカフ、金ヲ出ス故ニ拂方ト云ナルヘシ、元方ハ賣ノ字ノ役  
ナリ、物ヲウル方ナリ、物ヲウリテ金ヲ取ルユヘニ元方ト云ナルベシ、今諸國トモニ買ノ字ノコトヲ  
バ、ヨフカレコレトサワギ廻レドモ、賣ノ字ノコトヲバ、一向ニザツトシテオルナリ、コレハ武士ハ  
物ヲ賣ト云コトハナイト云意ナルベシ、物ヲウルコトナケレバ、カフコトナキ筈ナリ、カワネバナラ  
ヌ世ノ勢ナラバ、賣チバナラヌハヅナリ、武士ハ物ヲ賣ヌモノト云フコト、ヲカシキコトナリ、貧ニ  
ナル證據ナリ、物ヲ買フ金ハ何カラ出タルモノナリヤ、一體事ノ理ヲ責テ見ヌコト甚シキナリ、武士  
ハ物ヲ買コトヲバ辱トセズ、物ヲ賣コトヲ大耻辱トスルコト、カタカシギノコトナリ、コノ間違ヨリ  
シテ萬事グレハマトナレリ、武士ノ取モノハ米ナリ、何萬石何千石ト云テ米ヲ取ナリ、此米ヲ賣テソ  
レカラ物ヲカワネバ買ヌ理ナリ、濱運上ト云ハ濱ヲウリテ金ヲ取コトナリ、凡ソ入ト云ハ皆賣ノコト  
ナリ、租税ハ賣ナリ、物ヲ賣ラヌハ中間バカリナリ、中間ハ金二兩二步、金三兩トイフ金ヲ主人ヨリ



トル、物ノウラズトモスムナリ、一體己ガ力ヲウルコトナレドモ、賁タ物ヲバウラヌナリ、武士ハ米ヲ賁フユヘニ米ヲウルナリ、大名ハ濱ヲ賣、田畠ヲウリ、米ヲウリ、國產ヲウルナリ、何モ物ヲ賣ルコトガ耻辱ナルコトモナキコトナリ、武士ハ物ヲ賣ヌ物トスルユヘニ、國中ニシロモノフエヌナリ、入金多フナラヌナリ、大キナル了簡違イナリ、物ヲウルハ耻辱ナル事ハナキナリ、金ヲ町家ヨリ借テ返サヌガ大耻辱ナリ、サレドモ是ヲバ又耻辱トハセスナリ、五ヶ年元利斷リ、利金ハ永々斷リ、元金バカリ年賦ナド、イフハ、極々サモシキコトノ耻辱ナルベシ、金ヲ返サヌハ、人ノ物ヲ唯取リテ返サヌナリ、人ノ物ヲタバトリテ返サヌ人ノ名ハ、何ト云コトナリヤ、コレハ耻辱ト思ハズシテ、シロモノヲウリテ金ヲトルコトヲ耻辱ハ、ヲカシキコトナリ、其上ニ年々ニウリテヲキテ、ウラスト云コト何ノコトナリヤ、凡ソ賣ルコトヲ耻辱ナリト云論出テヨリ、國ハ貧ニナルコトナリト思フベシ、周禮ノ法ハ物ヲウル法ナリ、皆一割ノ利息ヲ取ル法ナリ、聖人ノ法ナリ、聖人ノ法ヲ耻辱トシテ、聖人ノ禁ジテ誅スルトコロノ、人ノ物ヲ唯トルコトヲバ耻辱トセスコト、トントサカサマナルコトニテハナシヤ、阿蘭陀ハ國王ガ商ヒヲスルト云テ、ドット云フテワラフコトナリ、サレドモ己レモヤハリ物ヲウリテ物ヲ買ナリ、物ヲ賣テ物ヲ買ハ世界ノ理ナリ、笑フコトモ何モナキナリ、世界ノ理ヲ笑ノコト勿體ナキコトナリ、人ノ物ヲタバトルハ世界ノ理ニ非ズ、天帝ノ御ニクミナサル、處ナリ、世界ノ理ニ非ルコトヲバ、公然トシテコレヲ爲テ耻辱、世界ノ理ヲバ跼々然トシテ笑フテ耻辱スルコト、扱々人ノ迷

ヘルコト甚イカナ、丹波ノ園部ハ二萬石ノ處ナリ、京ニ近キ處ユヘニ京屋敷アリ、勝手宜シカラヌユヘニ、種々ニアチコチト世話ヲヤキテ、近年家中ノ武士ニ才物アリテ、トクト考ヘテ見ルニ、武士ノ論ハ理ニ一向ニ合ヌユヘニ、武士論ニカマハズニ面白キ經濟ヲ工夫シテ、京都屋舗ニヲイテ園部ノ產物ウリサバキト云コトヲ始メテ、御勝手向モ是ニ准ジテ、今ハ段々トシデキタル由ナリ、一體國ヲ富スハ其ヨフニ六ヶ敷コトニアラズ、唯武士ノ目鼻ノツキヨフチガフテアルユヘニ、ワザ／＼貧ヲスルナリ、眞ノ面目ニサヘナレバ、デキニ富ムコトナリ、世話ヤキヨフユキトバカヌユヘニ貧ナルナリ、扱園部ハ多葉粉・菜種ヨリ松茸・青物マデ出ルナリ、唯今迄ハ皆百姓ノ納屋物ナレバ、イヅレモ至テノ小荷物ニテ、少々ヅ、テン／＼ニ京ヘ持出シテウリシナリ、小荷物ヲ百姓テン／＼ニモチ出テウリシユヘニ、ウマミハ間屋ヘトラレテ、アチラデハ蹴ラレ、コチラデハツキマワサレテ、甚ノ薄キ利分ニテ、丹波ニグズ／＼ト遊ンデオルヨリ、京ヘ出デウル方ガ少シヨイト云位ノコトニテ有リシナリ、彼才物武士コレヲトクト考ヘ工テ、百姓ト相談シテ、先ヅ町奉行ヘ園部產物ヲ京都屋舗ニ於テウリサバキタキ由ヲ君侯ヨリノ願ニテ出セリ、是ハ昔小濱侯御國產ヲ三條御屋敷ニテ御ウリサバキノ例アル由ナリ、小濱ハ京ヘ三十里ニ足ヌ處ナレバ、ナルホド鹽魚以下惣國產ヲ三條屋敷ニテウリサバキタバ、莫大ノ利ナルベキナリ、其後ニ彦根侯モ又小濱侯ノ例ヲ以テ、彦根國產ヲ京ノ屋敷ニテウリサバクコトニナレリ、唯丸太町ノ屋敷至テセマキユヘニ、今ハ御出入ノ町人ノ宅ニテウリサバケドモ、矢

張屋敷賣サバキノ例ナリ、園部ハ此兩家ノ例ニ依テ、京都屋敷ニテウリサバキノ願ヲ出セリ、此ハ御兩家ノ例アルコトナレバ、事故ナク願ノ通リスミタリ、扱右、才物武士園部ノ百姓ト相談シテ、右ノ多葉粉ノ類ヲズット園部侯ノカイ上ニシテ、園部ノ荷物ニシテ京ノ屋敷ニ廻シテ、扱仲買ドモヲ呼寄テ、屋敷ニテウリサバケル事ハ、皆主客ノ勢ト云モノ有テ、主ニナルト客ニナルトハ、勢大ニ違フモノナリ、今マデハ百姓ノ納屋物ナレバ間屋ヘ持出シテモ、此方ヨリ頼ミテ買テ貰タルナリ、コノ方ヨリ頼ミテ買テモラフテモ權ハ間屋ニ有リ、コレヲ客ノ勢ト云ナリ、今度ハ屋シキウリサバキノコトナレバ、仲買ヲ呼寄セテ、此方デウリテヤルト云モノナリ、仲買モ何卒ウリテ下サレト云ユヘニ、權ハコノ方ニアリ、是ヲ主勢ト云、相場ハ此方ニテ立ルト云モノナリ、昔ノ間屋ガ自由ニシタル通りニ、屋敷デ自由ニスルハ、ヒツキヨウ主客ノ勢クルリトマワリタルナリ、先最初ヨリ園部大キニ利ヲ得タリ、其後ハイヨ／＼百姓ヲセグリテ產物ヲ出サス、コレ百姓ドモ大キニ喜ブ理ナリ、百姓コロコベバ百姓ウカル、ナリ、己レガ勞ヲモウチワスレテ產物ヲヤタラニ出ス心ニナルユヘニ、產物多フ出ルナリ、一體土地ノ物ヲ出スハ土地ノ性ナリ、取レバヘルト云理ハナキコトナリ、取レバ取ホド出ルコトナリ、人ノ髮ヲ結ブ時ニ、髮ノオチ毛ノ出ルヨフナル物ナリ、髮ヲ結バズニオケバ、ヲチ毛出ヌナリ、髮ハ枯レテスクナフナルナリ、シバ／＼梳ケバ、オチ毛澤山ニ出ルナリ、左レドモ髮ハ益ヨフルナリ、髮ノ頭ニハヘルハ頭ベノ性ナリ、土地ノ物ヲ出スニチガイタルコトナシ、鶴南内ハ讃州マデ行

リ、北ハ越後マデ行リ、扱南海ハ魚甚多ク、北海ハ魚少シ、南海ハ魚ヲ取コト甚多ク、北海ハ魚ヲ取コト少シ、少ウトル方ハ魚少ウテ、多ノ取方ハ魚多キモ、髮ノ落毛ノ理ト見ユルナリ、土地ヨリ産スル物モ澤山ニ取ル處ハ澤山ニ出ル、トラヌ處ハ却テ出ヌ物ナリ、園部ナドモ百姓面白ガリテ、力ニマカセテ出シタルユヘニ、産物昔トハ何雙倍モフエタリト承ル、唯武士賣コトヲキラウユヘニ、土地出ルモノ出ヌナリ、土地枯タルナリ、髮ヲトカヌ隕ト同ジコトナリ、其上ニ民ヲコブス・術ヲ用イヌユヘニ、彌出ル物少フナル、産物ノ品少ナフナルユヘニ、其國エキ少フナルユヘニ、民ノ物ヲ買上テヤル力ヲモナキヨフニナル也、コレ好ミテ貧ヲスルナリ、皆賣買ハ天理ナリ、周禮ハ賣買ノコト也、聖人ノ法ハ賣買ナリト云コトヲ知ヌヨリ出タルコト也、鶴大坂ニテ産物廻シヲスル理ヲチラ／＼承ルニ、甚以テ面白キコトナリ、長州ノ蠟・紙・藝州ノ紙・豊後ノ多葉粉・鉛ナドハ大荷物也、藝州ノチリ紙ナドハ、茶船ノハシケ船ニ五艘モ七艘モマワル、此チリ紙ヲ受ルトコロハ、堂島ノ渡邊橋ノ北詰ノ何某ト云町人引受ルコト也、此町人ノ宅間口モ十五六間アリテ、コウ／＼トシテ大ヒナル家ナリ、チリ紙バカリノ間屋ナリ、産物廻ニ大ニ術アリ、オヒ／＼論ズベシ

## 稽古談卷之一終



## 稽古談卷之二

今ノ國ニ孟子ヲ證據ニ取リテ、治平ノ事ヲ教ルハ大キニ寸法チガイタルコトナリ、既ニ孟子ガ齊・梁ノ君ニ教ルニハ、文王ノ岐ヲ治メタルヲ證據ニトリテ説ケリ、文王ハ殷ノ紂王ノ大名ナリ、天下ヲ三分ニシテ其二ヲ有チテ、殷ノ臣ニナリオリテ、何トゾコノ天下ヲ此方ヘ取ウト思ヒテオリタリ、是ハ文王ノ祖父大王ヨリ殷ノ天下ヲ周ヘトルツモリニテ、文王ノ父王季モ只コノコトヲ成就セント思ヒテ文王ニ讓リタル身上ナリ、文王モ此謀シキリナレドモ、時至ラヌユヘニ子ノ武王之代ニナリテ、始メテ天下ガ周ノ手ニ入リシナリ、孟子ノ論ノ齊・梁ニ教ル寸法ノ、シツクリト合タルトコロヲヨクヨク見ルベシ、齊・魏モ周ノ大名ナリ、天下ヲ九ツニワリテ其一ツヲモチテオル國ナリ、扱何代モ以前ヨリ代々天下ヲトロフ取フト、思フテオリタルトキノ寸法シツクリ合フナリ、今ノ邦國ヘ孟子ヲ寸法ニシタリ、文王之岐ヲ治メタルトキヲ寸法ニスルコト、勿體ナキコトニテハナキヤ、文王ノトキハ殷ノツブレカ、リタルトキナリ、孟子ノトキハ周ノツブレカ、リタルトキナリ、此ツブレカ、リタルトキノコトヲ今ノ昇平ノ世ニ手本ニ取ハ、アマリタワケタルコトナリ、儒者ト云モノ、愚ナルコトカクノゴトシ、今ノ世ニ手本ニトルベキハ、禹ノトキナド宜シケレドモ、事ガラ詳カニハ傳ハラヌ故ニ、

周・武王ノ末年ナレドモ、コレハ台德院様ノ御初年ノカツコウナルベケレバ、成王・康王ノ時分ガヨロシカルベシ、是周禮ガシツクリアフ時ニテハナシヤ、漢ナラバ文帝・景帝・武帝アタリガ宜シカルベシ、古ヨリ興利ノ民ヲニクムコト、是又一ガイノ論ナリ、民ノトリカヲユルメヨフト思ヘバ興利ヨリ外ナシ、漢ノ吳王濞謀叛ヲ企ルトキニ、民ハ皆作り取りナリト云リ、田成子ガ齊國ヲ取フト思ヒタルトキニハ、小ナキ升ニテ民ヨリ取タリ、大キナル升ニテ民ヘヤリタリト云ヘリ、是文王流モ、吳王濞流モ、田成子流モ、皆同ジク民ヲ愛シスゴシテ、己レガ取りタイト思フ物ヲ取タメノ計策也、ドレモ／＼富マネバデキスコトナリ、以上ノ人々ハ必興利ヲ用ヒタルコトナルベシ、興利ヲ用ヒネバ大儉約ヲ用ヒタルコトナルベシ、今ノ世ヲ以テ見ルニ、上デ大儉約ヲ用レバ下ハツマルナリ、儉約ヲ用ヒズニ愛民ヲシヨフト云ハ、儒者ノ口上バカリニテ云コトニテ、眞ニヤツテミレバ出來ヌ理ナリ、眞ニ國家ヲ手ニトツテヤツテ見ヌ人ノ云コトナリ、扱田成子ハドウシテ富ヲナセシヤシラスナリ、吳王濞ハヤハリ興利ナリ、海ニツキテ鹽ヲ烹、山ニツキテ錢ヲ鑄タリ、是ヨキ工夫ナリ、ユヘニ吳王ノ金錢ハ、天下中ニコニモ吳ヘ取りニヤレズトモ、ドコデ吳ノ金ヲツカハフトモスキジャユヘニ、軍中ノ賞ハ其軍ノアルトコロノ吳ノ金ヲ用ヒテ賞スベシ、一味ノ諸侯日夜賞ヲアヌヘラレテモ、吳ノ金ノツキル氣ヅカイナキヤ、ト吳王ノイヒシコトヲ見レバ、吳王ハ甚經濟家ナリ、民ヲツクリドリニサセテ、其上ニ天下中ニ金ヲナラシテオクト云ハヨキ手際ナリ、今ノ大名ハ大儉約ヲシタフテモ、江戸ノ御役ヲツト

メネバナラズ、同席ノフルマイヲヤラネバナラズ、他出モセネバナラズ、一萬石十六騎ノ軍役ヲモソ  
ロヘネバナラズ、上野増上寺ノ豫參登城前對客ツキ合皆ソノ格ホドヤイアリテセネバナラズ、ソコデ  
身上ムツカシクナルナリ、興利ハ法度ニテ愛民ヲシヨフトカ、ル、興利ハ町家デイフ金儲ケナリ、愛  
民ハ町家デイフオゴリナリ、ハツ／＼ト人ニ物ヲトラスルコトナレバ、ジダラクナリ、町家ノ金モフケ  
ハ法度ニシテ、オゴリジダラクヲシヨフト云ハ無理ナルコトナリ、興利ニ二種アリ、眞ノ興利ハ周禮  
ノ法ナリ、吳王濞ノシワザナリ、下手興利ハ民ノ喉ヲシメテ、無理ヤリニ民ヨリ金ヲトルナリ、コレ  
ハ興利ト云モノニテハナシ、虐民トイフモノナリ、吳王ハ民ヲバ作り取りニサセテ、金ヲウントタメタ  
ルハ興利ノ上手ナリ、今ノ儒者ノヘラ／＼シヤベリチラスハ、老耄オヤデノネボケ論ナリ、亂心モノ、  
ネゴトヲキクヨフナルコトニテ、何ノ用ニモ立ヌノミナラズ、天下ヘ毒ヲ流スト云モノナリ、桑弘羊モ  
興利上手ナリ、サレドモ元來ガ士流ニテナキユヘニ、後人モカロンズルナリ、王荊公ハ立派ナル家柄ニ  
テ一代ノ儒宗ナリ、ソノスサマジキ力量ニテ興利ヲカネタル人ナレバ上手ナルハズナリ、唯世上ノ人  
情ニウトキキミアル人物ユヘニ、ヤワラカニユカスキミアリ、儒者ヲヒラツツブシニツブソフトスル  
キミアリタルユヘニ、敵大勢ナリシナリ、如シ周禮ノ法ヲ今ニ行ハントナラバ、王荊公ノシワザヲヨ  
ク心得テ、ヤワラカニ敵ノテキタハヌヨフニスベキナリ、幸ニ吾邦ニテハ讀書ノコト甚ハヤルト云ニモ  
アラズ、オシナベテ上下皆書ヲ讀ト云ニモアラズ、儒者ト云者ハズツトヒクキ格式ニ居リテ、政事ニ

タヅサワラヌユヘニ、王荊公ノ時ノ難儀ノヨフナルコトハナキナリ、支那ニテハ儒者ズツト高位ニ居  
リテ、宰相ハ大學士ヲ兼ルト云宋朝ノコトユヘニ、王ハ敵キワメテ多カリシナリ、今ノ世抔ハ儒者イ  
ヅカタニテモ政ニタヅサワラズ、唯ヨメニクキ字ヲヨムマデノ役ナリ、江戸ニテハ御儒者ハ論語ノ講  
釋書ニテ、クルリノ論語バカリ講ジテ濟ムナリ、評定所儒者ト云ハ、誓詞ノアトノ梵天帝釋ヲヨム  
マデノ役ナリ、梵天帝釋ハ楷書デカキテアルユヘ、外ノ人ニハヨメヌト云ホドノコトハナキナリ、唯  
武國ノコトナレバ氣ノツヨキコトハ、支那ナリヨリズツトツヨキ風ナレバ、オソルベキコトナリ、イヅ  
レノ國ニモセヨ、其家并ニ其民ガ敵タヘバ、大キニクヅレテ分レヌナリ、家中ノ武士ノ敵タワヌヨフ  
ニスルト云ハ、武士ノ情ニツキテツケコミ入ルナリ、コレモキマリタルコトハナケレドモ、大坂ノ升屋  
平右衛門ノ別家番頭ノ小右衛門ト云男ノ、サシ米ト云コトヲ願ヒタルナドハ妙々計ナリ、唯武士ノ情  
ヲウルコト第一ナリ、此升小ト云モノ工夫ニテ、サシ米ト云コトヲ願ヒタルワケハ、升平ハ仙臺侯ノ  
銀主ナリ、仙臺米ハ江戸ヘ廻ル、是モ東海廻シトイフコト甚便利ナレドモ、東海ニハ岩ナド多フテ、  
毎々破損スルト云コトニテ至テムツカシク、昔ハ十艘マワシテモ、二艘カ三艘ハ是非破損スルコトデ  
アリシガ、近來ハ船ノリ上手ニナリテ、一艘モ破船ナシニ江戸着スルコトニナレリ、江戸ハ本船町・伊  
勢町ヘハシケデ揚ルコトナリ、舟カ、リハ下總ノ長子ナリ、升平ガ仙臺米ヲ廻スハ莫大ノコトナレバ、  
仙臺ニモ・長子ニモ・江戸ニモ、改メノ役取ヲ立ネバナラヌコト也、三ヶ所ノ役所ノ物入又甚莫大ノコ



トナレバ、此物入ヲドコゾデカ出サネバナラヌ理ナリ、サレドモ凡ソ大名家ニテモ、上ミノ金ノ出ルコトハムツカシフテ叶ハヌナリ、是ハヒツキヤウ武家ト云モノハ、甚以不算用ナルモノユヘ、凡算用事ニツキタル相談ハ、トント出来ヌモノナリ、今仙臺廻米ノ事ニ付テ、三ヶ所ニ役所ヲ立ル物入ノ事ナゾイヒ立レバ、廻米ゴトハ是ニテ止メニナル勢ナリ、武家ハ算用ヲ知ラヌコトナレバ、今ドレホドノ物入カ、ルトイヘバ、イツデモソレギリニテ止メニナルコト昔ヨリ然ナリ、イツトレルカシレヌヨウニ取レバ、又一向ニサ、ワリナフ出来ルコト武家ノ常ナリ、イフテ見レバ、不知ナルコトナリ、算用ゴトニハ不功者ナリトイフガ武士ナリトバカリ思フテ居コトナレドモ、是ヤハリ不智ナルナリ、算用ゴトモ治國ノ一ヶ條ナリ、ヲロソカニスベキコトニアラズ、サレドモイヅレノ武家ニテモ、唯米ハ上ヨリ取ルベキハヅノコトバカリ思ヒテ、ザツト見テコマカナル算用ハセヌモノナリト云處ヘツケコミテ、此サシ米ト云コトヲ願フタルコトナリ、サシ米トハ米ヲ吟味スルトキニ、俵ヘサシト云モノヲサシ入テ、俵ノ中ノ米ヲ見ルコトナリ、サシトハ竹ノ筒ニテ作りテ、サキヲソギテ俵ヘ入りヨキヨウニ作りテ、俵ヘサシ入ル、モノナリ、此サシヲ俵ヘサセバ、竹ノ筒ノ中ヘ米入ルユヘニ、右ノサシヲヌキテ手ヘ米ヲウケテ見ルナリ、見テシマヘバ右ノサシヲ俵ヘサシ入ルレバ、米ハ又俵ノ中ヘ返ル、此時ニ米ヲチコボル、ナリ、大阪ニテハ右ノヲチコボル、ヲ箒ニテハキタメテ、袋ヘ入レテモチテカヘルモノアリ、乞食ノヨフナルモノニテ乞食ニモアラズ、輕キ町家・村方ノ□女々ドモナリ、是モ大阪ニテ

ハ株アリテ、其株ヲバウリカイヨスル由ナリ、イカサマ毎朝々々一人前米ノ四五升モ、チテカヘルコトナリ、扱大阪ニハ中仕ト云モノアリ、江戸ノ小揚ナリ、米ノ俵ヲ船ヨリ藏ヘハコブモノナリ、コノ中仕ワザト米ヲコボスヨフニシテ、右ノ米ヲ箒ニテハク者ドモヘトラスルコトナリ、扱米ノコボルハ、サシ米ヲスルユヘナリ、左レバサシ米ト云モノハ一向ニ米ノツイエヌヨフニハナラスモノナリ、サレバ升小ガ願ハ一俵ニ付一合ノサシ米ト云コトナリ、一俵ノ米ヲ三ヶ處ニテサシテ見ルユヘニ、一合ノヘリ米ヲ入ルヲサシ米ト云ナリ、コノ一俵一合ノヘリ米ヲ升平ヘ下サルヨフ願ヒタルナリ、一體武家ニテハ米ハ天カラデモフルヨフニ覺ヘテオルユヘニ、一體米ヲ甚ソマツニスルコト勿體ナキコトナリ、米ヲ主人ヨリモコフタルトキモ改テ見ルモノモナク、ナンボ入リノ俵ヤラ、何ヤラ一向ニシラズ、ソレガ眞ノ武士ジヤト思フテオルナリ、借金ノ出來ルハヅナリ、コレヘ升平ハトリ入リテ、一俵一合ノサシ米ト云コトヲ願フタルコトナリ、仙臺ハ別テ多キ土地ナレバ、一俵ニテタツタ一合バカリノコト、キレテモ、ヘリテモ、トントカマワヌ武士ノ事ナレバ、早速コノ願ニ叶フタリ、諸家中ニテモ何ノカ、ワリモナク相濟タリ、仙臺領ヨリ出ル米ハ皆一俵一合ノサシ米ヲ入ルレバ、一年ニ六千兩ノ金高ノ由ナリ、右ノ六千兩ニテ三ヶ處ノ役所ノ筆墨紙ノ入用、役所ノ役人給マデ、サシ米ニテ出シタルハ面白キ工夫ナリ、サレバ今コレホドノ御入用力、ルユヘニ、年々金二百兩御下ゲクダサルベシト云テ願ヘバ叶ハヌナリ、一俵一合ノサシ米ハ一年ニ六千兩ナレドモ、一俵一合ノサシ米トイフテ願ヘバ叶フト云コト

ヲ見ヌキタルハ莫大ノ智ナリ、唯武士ノ腹中ヲヨク推シタルナリ、サレバ事ハ取アツカイ次第ニテ、ヤワラカニユキヨウアルコトナリ、サゲ金ヲ願フハ下手ナルナリ、シラベ淺キナリ、マタ／＼素人ナルナリ、ヤワラカニ人ノウルサガラヌヨフニ言取ルコトハナンボモアルナリ、唯下手ナレバ民ノ氣ニアタリ、武士ノ氣ニサワリテ行レヌナリ、同ジコトニテモイヒトリヨフニテ、至極キレイニヤワラカニ行クコトナリ、皆武士利ニウトク、天理ニクワシカラヌユヘニ、物事ノ合點アシキユヘ、智惠ユキツカヘ、是外ニ仕方ナシト心ツマルユヘナリ、トントノツマリヲ云フテ見レバ、不學無術ナルヨリ出タルコトナリ、學問ト云フハ古ヘノコトニクワシキバカリノコトニテハナキナリ、今日唯今ノコトニクワシキガヨキ學問トイフモノナリ、古ヘニナキ智慧ガ今ノ人執行ニテ推シ出タルコト甚多シ、凡ソ今ノ時ニクワキハムダ學問ト云モノナリ、升小ハ學者ナリ、升平モヨキ學問ナリ、身上ヲヨフスルハヅナリ、武士ノ困窮ヲスルハ學問アシキユヘナリ、孔・孟ノ言ヲ意ヲ信ジテ信ゼヌヘナリ、ソノ上ニ武士ハ武士ノ情ヲ知ラスモノナリ、武士ノ情ヲヨク知リテヲルモノハ、ヤハリ町家ノ人ナリ、鶴ノ知リタル人ニ武士ヘ金ヲ借ス法ヲ工夫シタリ、ソノ法ハ彼男ノイフニ、凡ソ武士ハ十萬石ノ人ハ、十萬石ニテクラスモノナリ、千石トル人ハ、千石ニテクラス、百俵トル人ハ、百俵ニテクラスユヘニ、何ゾ外ニ入用ノコトアレバ金ヲ借ルナリ、金ヲ借レバコノ金ヲバ是非返サネバナラヌコトナルニ、翌年モ又ヤハリ己レガ取り米ホドノクラシスルユヘニ、金ヲ返スコトナラズ、利息ニ利息ガツクユヘニ、ツ

イニ大借トナリテ、奉公ノサワリトナルコト出來ルナリ、兎角ニ考テ見ルニ、武士ニハ返金ノアル金ヲ借スコト無術ナルコトナリ、返金セズトモスム金ヲ借スベキコトナリトテ、返金ノナキ金ヲ借ス工夫ヲシタリ、コノ金ハ一割五朱ノ金ナリ、一割五朱ニテ十二年カスナリ、月々ニ利息ヲ取り立ルナリ、シマイマデ前ノ利息ノワリデ取レバ、十二年カ、レバ一割ニマワリテ、元利トモスムト云算用ナリ、是レハ町家ヨリ武家ヘ借コトハ如何アラシヤ、中ゴロニテ□□ナドスレバ大ニ算用チガフコトナリ、大名家ニテ家中ノ貧ナル人ニ上ヨリ金ヲカスコトアリ、イツデモ返金デキズ、知行ニテ引カル、トキハ、金高多フナルユヘニ其人甚窮スルナリ、如シコノ法ヲ以テ借セバ、上下トモニ無難ナルベシト思フナリ、イヅレニモ武家ヘハ返金ノナキ金ヲカスベキナリトイフ論ハ的當ノ論ナリ、大阪ヘ出テ金ヲ借テモ、返金ノアテハトントナキナリ、ケ様／＼ニシテ法ヲ替ルユヘニ、ケ様ニシテ返辨スルト辯舌サワヤカニイヒケレドモ、トント注文ノ通りニユカヌハ、身上一杯ニクラスユヘナリ、冢宰ノ國人二分クラシニテ、一分ハ蓄ル法ヲセヌユヘナリ、サレバコノ返金ナキ金ヲ借スト云コトヲ工夫シタル男モ、武士ノ腹中ヲヨク／＼見ヌキタル男ナリ、然レバ家中ノアツカイヨフハ、随分ヤワラカニユク法アルコトナリ、昔ヨリ其主家ヲ家中ガ怨ミテ、公□シテ其主家ノ潰レタルタメシ甚ダ多クアリ、又民ノ徒黨シテ其主家ヲ怨ミテ、其ノ主家ノツブレタルタメシ又スクナカラズ、甚ヲソルベキコトナリ、サキノ好ミノトヨリニスレバユキタ、ズ、ヘシナヲサントスレバ、却テ其主家ノツブレニナル、



家中モ民モ甚アツカイニクキコトナリ、兎角ヤワラカニユカネバ上手ト云フモノニテハナキナリ、  
升小ハ仙臺ヨリ年々六千兩ヅ、取り上レドモ、民家デモ家中ニテモ、ブツ、リトモイワスハ仕方上手  
ナルユヘナリ、升小ガ工夫ニテ仙臺侯ノ御身上ズツト立テナホリタル由來ヲキクニ、米ノ切手ナリ、  
扱大坂ニテハ一體金ノ多キ上ニ、諸家ノ大名皆米切手トイフモノヲ作りテ、是レヲ以テ金ヲカルユ  
ヘニ、眞ノ金ノ外ニ米切手トイフ財貨アリ、扱振手形トイフモノアリ、爲替手形ノルイナリ、鴻池  
ノ店ヨリウケトルベキ金ヲ、金デ請取ズニ手形ニテ請取ナリ、或ハ飯ヘフル、加島屋ヘフルトシテ、  
右ノ手形ヲ飯ヘモチテユキテモ、加島屋ヘモチテユキテモ、金ニナルコトユヘニ、請取リタル入スグ  
ニ金ニセズニ、外ヘ金ヲヤルベキトキニ右ノ手形ヲヤル、金ヲ請取ベキ人モ右ノ手形サヘアレバ、イ  
ツデモ金ニナルユヘニ又外ヘヤル、是ヲフリ手形ト云、是金ノ外、米切手ノ外ニ、又フリ手形ト云財  
貨アルナリ、其外ニ又空米先納トイフモノアリ、コノ空米先納トイフハ、來年入津スル米ヲ今年切手  
ニシテ、是ヲ銀主ヘ入レテ金ヲカルコトナリ、手形ノ肩ニ來年ノ干支ヲカキタルモノナリ、イヘバア  
シキコトナリ、青田ウリナリ、是ニテモ隨分金子調達スルコトナリ、是眞ノ金米切手・フリ手形・空  
米先納コレホドハ皆通用ノ財貨ナリ、通用ノ財貨多キユヘニ金フヘルハズナリ、財貨ハ財貨ヲウムモ  
ノナレバ、大阪ノ財貨ウムモノ澤山アレバ、ズツ／＼トフエル道理ナリ、是皆利ニクワシキユヘニ、  
目ガヨウ見ヘルナリ、武士ハ目光リ一向ミジカシ、遠方ヲ照シ見ルコトナラズ、且江戸ハ極々ザツト

シタル處ナリ、ナニゴトモツマビラカニスルコトデキヌトコロナリ、ザツトヤツトオクユヘニ、目光  
リナヲ／＼ミジカシ、江戸ヨリ東北ハ皆江戸風ニテ、至テザツトシテオルナリ、仙臺ナドハ江戸ヨリ  
東北ニテ、大武國ニテ米穀澤山デ算用ウトキ處ナレバ、國ヲ富ニスレバ忽チ富ム理ガアルニ、ウツカ  
リヒヨントシテオル風トミヘルナリ、ソコヘ升平・升小ノ大智者ユキタルユヘニ、萬事ニツキテ手  
ノ届クヨウニシタルモノト見ユルナリ、國ノヒラケヌトコロ、今度ヒラケルコトユヘニ至極目出  
度ヨキコトナリ、升屋ハ當時流行ノ銀主ナレバ、出入屋敷オビタマシフアルナリ、東國ニテ澤山ア  
リ、仙臺・白川・川越ナド皆々出入ナリ、白川侯ハ大ノ經濟御名人ナリ、ソノ上ニ東國ノマダヒラケ  
ヌトコロナレバ、今ノ侯ニテズツトヒラケテ、御經濟大キニ立テナホリケリ、皆升屋ナドガスル處  
ヲヨク／＼御覽ナサレテ、アチコチ見合セラレタルコトナルベシ、扱升平ハ仙臺ヘ米手形ヲ作レリ、  
米札ト云ハ、ヤハリ羽書ノコトナリ、銀札ノコトナリ、唯銀札ハマヘ／＼ヨリヨクツカヒツケタル國  
ニテハ、古ヨリノ仕來リト云ニテ、別段ノ願モナシニ行フコトナリ、新規銀札取立ト云願ハ叶ハヌコ  
トニテ、新銀札ハ御制禁ナリ、ユヘニ升小ハ米札ヲ願フテラビタマシフ作リテ、仙臺ノ上ヨリ出ス金  
ヲバ皆米札ニテ出ス、米ヲバウリテ金ニシテ、ソノ金ヲバ出サズニ米札ヲ出スコトナレバ、金ハシタ  
タカニ餘ル理ナリ、其金ヲ不殘大阪ヘノボセテ廻スコトナリ、十萬兩ノボセレバ、五朱ノ利息ニシテ  
モ、五千兩ハ一年ニウクナリ、百萬兩ノボレバ五萬兩ヅ、年々ニフヘルコトナルコトナレバ、是ヲ以

テ古借ヲダン／＼ニカタヅクルコトナリ、一年二十萬兩ヅ、ノボレバ、十年二百萬兩ノボルト云モノナリ、大ヒナルコトナリ、米札ハ仙臺ニテハ利息ヲウメドモ、他國ニテハ仙臺ノ米札ハ利息ヲウマズ、眞ノ金ハドコニテモ利息ヲウムユヘニ、利息ヲウマヌ米札ヲ仙臺ニテ利息ヲウマセテ、利息ヲウム眞ノ金ヲ大阪ニテ利息ヲウマセタルナリ、是妙計ト云ベシ、トント是ガ仙臺ノ富ム始リナリ、產物廻シノコトナヅハ大ヒナルモノナレバ、マワセバ利ノ大ヒニ得ラル、コトナレドモ、金手マハラネバ產物ヲ買上ルコトナラズ、買上ルコトナラネバ民ヘ利ヲトラスコトナヅ、民利ヲトラネバ面白カラズ、民面白カラネバ物澤山ニ出ヌナリ、物ノ澤山ニ出ヌハ是出ベキモノノ出ヌナリ、米ノスクナフ出ルトチガフコトナシ、國ノ富マヌハヅナリ、他國ノ富ルヲ心ヲ付テ見コト術ナリ、皆國不相應ニ貧ナルト、アルコトアキラカニ見ユベキナリ、扱民ヨリトリテ、ヤワラカニユクモノハ講ナリ、無盡コウノコトナリ、タノモシ講ナリ、近年ハコノタノモシ講殊ノ外ニハヤリテ、京大阪ヘ持出シテ大名皆講ヲスルコトノ風ナリ、大阪ニハ別シテ澤山アリ、銀主モコノ講ヘ入ルコトヲキラハヌナリ、講ハ彼此トモニ勝手ヨキユヘナリ、先大阪ニテコノ講ヲ取立レバ、人數ノ六七十人モ入ルコトナレバ、大銀主ヲ此講ヘ入ル、コトナリ、コノ講ノ取立ヨフ、銀主ヲ催促シテ仲間ヘ入ル、コトハ、又コノヨフナコトヲヨフ心得テ、至極ナレテ功者ナル人大阪ニアリ、鶴ガ門人ノウチニモアルナリ、コノ功者モノサヘ大金持ナリ、一體大阪ハ利ノコトハ妙ニクワシキ處ナリ、扱此論モ甚ダ面白キ論ナリ、扱此功者モノカケ

リマワリテ、人數ヲコシラユルコトナリ、講出來上レバ、是講中ノ銀主ハ皆懇意ニナリテ、講仲間ト云モノナリ、扱金子調達ノセツモ、畢竟講ト云モノアレバ、銀主モツマル處損金ヲスルコトナキ理ユヘニ金モ出シヨキナリ、又外々ノ銀主モ大勢懇意ニツキ合フコトナレバ、内外ノ勝手モヨフ知ル、コトナリ、此方ノ勝手向ウチアケテ見スルコトナレバ、銀主モ安堵シテ欺カル、氣遣ナキユヘニ、調達モムツカシフナフテ出來ルナリ、扱コノ講ヲ領分ノ百姓ニサスルナリ、受ケ人ハ其領主ナリ、唯百姓モ武士ニ仍タルモノニテ、年々ニ地ヨリ産スルモノヲ取リテ、衣食ニスルモノユヘニ、衣食ハ土地ヨリ出ルモノナリト心エテ、別ニカセギ出ス心ナキナリ、ユヘニヤハリ利ニウトフテ、一年ギリノニクラスモノナリ、來年ハ又土地ヨリ出ルハトイフテヨルユヘニ、蓄貯ル心ナキ處ハ武士ト同ジコトナリ、ユヘニ講ヲカケルコトナゾハ大キライナリ、講ハタクハヘ金ヲコシラヘル法ナリ、蓄ル心ナキモノハ、メンドウガリテ講ニ入ラズ、一體クラシ方タクワフルニ及バヌユヘナリ、左レドモ武士カラミレバマダ百姓ノ方ハ些金ノウゴキアルナリ、土地ヨリ出ルトイフテモ、武士ノ寢テイテ知行ヲ取ヨウニハイカヌユヘ、少シハ金ヲ面白ガル氣味アリ、金ト云コトヲ言葉ニモ云ヌヲ眞ノ武士ト心得ルユヘニ、講ナドハ人間ノスマジキモノト思心アリ、貧ヲ好ムト云モノナリ、百姓ハソレホド大病ニテハナキナリ、ユヘニ講ヲカケルコトサヘ出來レバ、隨分講ニ入ル心アリ、サレバ講ノ掛銀ノ出來ル法ヲ教ヘテヤルコト衛ナリ、鶴ノ知リタル男ニ和州芝村ノ御用ヲキク人有、大智者ナリ、此人學問ナキ故ニ經濟



ノ大源ヲ知ズ、ユヘニ經濟家トハ云レネドモ、經濟ノ下役ニヤトフニハ甚ヨキ男ナリ、コノ芝村ニ講ヲ取立タル術妙術ナリ、凡ソ術ハ其マ、ウツスベキモノモアリ、又其術ヲ變化面白クカヘテ用ユベキコトモアルナリ、面白ハカワリテモ、ヤハリ心肝機密ハ同ジ道理ナリ、ユヘニ面白フナル話ハ、一ツモ多フキマデ居ベキコトナリ、コノ人ノ芝村ノ講ノ術ハ、百姓ニカセギマシト云コトヲ、上ヨリノ御賴ミト云コトヲ工夫シタリ、凡ソ百姓ニセイ、町人ニセイ、下ノ金ヲ上ヘスグトラントスルコト無術ナリ、一段ヅ、モ、二三段ヅ、モ段ヲトリテ上ヘ引上ルヨフニセネバ、下々怨ムルナリ、此カセギマシト云ハ、和州ノ芝村近處ハ、稻ノ穂ノ宜シキ處ニテ藁ノヨキ處ノ由ナリ、京・大阪ニテハ和州繩ト云テ、ワラ繩ノ名處ナリ、ワラノ繩ハ和州ヨリ廻ルハ、格別ニ強アウツクシキコトナリ、此人コノワラナワヨリ工夫シテ、カセギマシト云法ヲ工夫セリ、カセギマシノ法ハ芝村一萬石ノ物百姓ニタノミテ、人別ニ一日ノカセギヲシマイテ、後夜ナベニカセギヲマシテサスルナリ、一人マヘ錢六文ヅ、ノ繩ヲナフコトナリ、一萬石ノ口數五六千口モアルベキカ、十人ニテ錢六十ナレバ、百人ニテ六百、千人ニテ六貫、五千人ニテハ三十貫ナリ、一ヶ月ニ九百貫ナレバ、金百四十兩チカクノコトナルベシ、一年ニハ千五百兩ホドノ高ナリ、扱此一日ニ六文ノカセギマシヲ上ヘ取揚ルニテハナキナリ、コレヲ掛銀ニシテ講ヲ取立ルナリ、扱春ハ田ヘコヤシヲタツプリトシタキコトナレドモ各身力ニ及バズ、上ヨリ借シワタシタケレドモ、上モ御不如意ノコトナレバ、此講ノ銀ヲ借ルベキナリ、利足ヲツケテカ

ルベキナリ、此銀ヲカリテ利足ヲツケテカヘスカセギマシハ、ヲコタラズニスレバ見ルウチニ大金ニナル理ナリ、コレヲ處ノ庄屋ナド、云重キ役目ノ人ノ宅ヘ、十日目ノニ持參スル、重役ノ人村方ノカセギマシノナワヲ一ツニシテ、一度ニ大阪ニ出スコトナリ、其ウリ高ノ金ヲ役處ヘアヅカリテ、百姓ノ願イニマカセテ借シワタス、利足ヲモ又役處ヘ納メテ、一年ニ一兩度會ヲシテ、大庄屋ノ役處ヘ納メヲクトスルコトナリ、一萬石ノ身上ハ石一兩□□□リニシテ、四千四百兩バカリノ金ナルベシ、コノ金ノ上ヘ初年ニ千五百兩モカサガフエルト云フハ、大キナルコトナリ、二年目ヨリハ利息ヲウムユヘ、莫大ノ金ニナルコトナリ、他國他領ヘ利息ヲ出スコトナク、領内ニ金ノフエルコトナレバ、上ニテモコノ金ヲカリルコトモ出來ルナリ、銀主ヨリ金ヲカリルトモ違ヒテ、諸入用モカ、ラズ、領内ニ金有コトナレバ、調達モ出來ルナリ、唯芝村ハ小國ナリ、此人ハ學問ナフテ、末々ノコトバカリニテ、本ノシマリツカヌユヘニ、クワツト出シタルコトハナケレドモ、年ヲ積タラバ決シテ宜シカルベシ、凡ソ講ハ己レノ金ノフエルコトユヘニ、ヨクヨクノミコマスレバ百姓ハノミコムナリ、武家ニテモ其家ニ法立テ、喰ツプシヲ罪スル風ニナレバ、米ノ天カラ降ルト云心ハナクナリテ、カセギ次第ニテ喰ト云コト知タラバ、ヤハリ講ノ勝手ノヨキコト、合點ノユク理ナリ、講ノ宜シキコト合點ノユクヨフニナレバ、國貧ニハナラヌ、國ニ何千人何萬人アリテモ、武士ト百姓トハウツカリ物ナレバ、ヘラリノ喰フテシマフナリ、其上ニ財貨ノ本ハト云ヘバ百姓ト武士ナリ、百姓ヨリ作り出セル米ヲ武

士ガ取テ、ソレガ國中ヘ散ズルコトナリ、サレバ貨ノ本源ト云ハ百姓ト武士ナリ、コノ本ト云處デフヤサネバ、フヘス理ナリ、武士ニ喰ツブシノ出來ヌ法ナンボモアルナリ、樞密實ト云條下ニテイフベキナリ、扱此カセギマシトイフコトニツキテ考ルニ、陸ニテハ田・畠・山・林・海・川ニテハ魚・鼈、皆土地ヨリ生ズルモノニテ、民ノ手足サヘ動ケバ、ナンボモ出來ルモノナレドモ、民ノ手足懈怠ナレバ、出キスト云ハ無キニアラズ、出サヌユヘナリ、土地ヨリ出ルモノ多キヲ富ト云、富ノ字ハ民ノ手足ニアル字ナリ、唯民ト云モノハ己レガ腹サヘフクルレバ、ソレカラハ働ラカス心ニナルナリ、民ヲ働ラカサント思フニハ、甚術ノアルコトナリ、民ヲ鼓舞スルヨリ外シカタナシ、鼓舞スルハウカスナリ、ウカレテ働ケバ働タナリ、働ケト云テ働カズ、其上ヲ怨ルナリ、民ノ方カラ働ントス、ミテ働クガ、民ヲ働カヌ法ナリ、サレバ此カセギマシト云コトニツキテ見バ、凡講ガ第一ニヨロシキコトナレドモ、掛銀ヲ出スユヘニ民面白カラヌナリ、カセギマシモヨケレドモ、コレモ其ハジメニハ民アマリウレシガルマジ、先ノヨロコビデトリツクコトヲ最初ニ出シテ、民トリツキテノ上ニテカセギマシヲ出サバ、民最初ニムマミヲシメテヲキテノ上ノコトナレバ民進ミテスベキナリ、最初ニ出スベキシロモノ、無盡ト云コトヨロシカルベキナリ、タトヘバ海濱ノ民ハ魚ヲ捕ルコト業ナレドモ、スデニ衣食ニアテガフホド取レバ、モハヤコレニテヨシト思フユヘニ、跡ヲトル心ナキナリ、今シロモノムジンヲトリタテバ、民衣食ニアテガウタ上ヲモ又カセグベキアリ、シロモノムジントハ、海濱ナラバ魚

ヲムジンノ掛銀ニスルナリ、鹽魚・鮮魚ヲ時節ニヨツテカケサスナリ、右ノ掛白物ヲ一ツニアツメテ、其モヨリノ方ヘ船積ニシテ廻スナリ、ヤハリカセギマシノコトナレドモ、カセギマシト云名ハ、民ヘホネヲオラセキルト云名目ナリ、シロモノ無盡ト云ハ、民ノ爲ニ金ヲノバシテヤルト云名ナリ、一體江戸・京・大坂ヨリ以下ニギヤカナル處ヘ近キ在處ナラバ、鮮魚・青物・竹木・薪ノルイ、其在々ノ澤山ニアルモノニテ掛サセテ、會ノ圖ニテ金ヲ得サスレバ、是民ハ金ヲヒロイタルヤフニ思フ理ナリ、ウマミアルベシ、カセギマシヨリモ民ノノリヨロシキ理ナリ、凡ソ荷物ハ民ノ自身ニ己レガ荷物ヲ送ルヲ納屋物ト云ナリ、米ニテモ其領主ノ送ルハ大荷ナリ、御米・御物ト云テ、大坂ナラバ大坂ノ役所ヘ届ケテ廻ス荷物ナリ、自身ニ自分ノ身ヲ廻スハ、米ニテモヤハリ納屋物ナリ、納屋物ニシテ廻セバ、荷物ト稱スルニ足ヲヌ物ナレバ、問屋ニテモツキ廻シテ、相場モ引サガリテステウリナリ、大荷ナレバ立派ニトリアツコフコトナレバ、ステウリニナル理ナシ、蹴チラカサレル理ナシ、前借ノ出來ル理ナシ、コノ前借ト云モノ、ヲソロシキモノナリ、タトヘバ絹ニセイ、麻ニセイ、納屋モノハ飛キヤクガ問屋ヘ持參シテ、問屋仲ケ間寄合テ相場ヲ立ル時ニ、相場甚ヤスケレバ、其代金ヲ國ヘ持テカヘリテハ金不足スルナリ、納屋モノト云テモ、一人ヤ二人ノ物ニテハナシ、大勢ノ荷ナレバ、今度ハ金ガイカホド無レバナラヌト云テ、マチテ居トコロナラバ、飛脚ニセイ、代金オホキニ少ナケレバ、國ヘノ不働ノヨフニナルユヘニ困ルヲ、問屋デハ賞翫スルナリ、國ヘノ不働キニナラバ、金ヲカスベキホ



ドニ國へ持參セイト云ナリ、飛脚ハ至テ輕キ人ノコトナレバ、大目ノキコウ理モナシ、事ノワカロフ理ナキコトナリ、何デモ國へ少シモ多ク持テ歸ルガ働キナリト思ユヘニ借テカヘルナリ、來年ノシロモノニテ算用スル證文ナリ、扱又田舎ノ人ト云者ニテ、先令手ニトル金ガ少シモ多イガヨイト思フユヘニ歡ズ心ナリ、來年荷ノ着タル時ニ、又相場ヤスケレバ去年ノ金ヲカヘシ、去年ノ利ヲトラレ、又當年相場サガルト云モノニテハ、又飛脚國へノ不働キニ成ユヘニ又カリルナリ、問屋ハ借ナリ、借ユヘニ利ヲチャント算用スルナリ、如レ此ナレバタトヘ大キニヤスキ相場ニテモ、其間屋ヘウラネバナラヌユヘニ、相場ハナヲ〳〵易クナル、借金ハウントタマル、シマイニハシロモノヲ唯問屋ヘ送りテモ、足ヌヨフニナルコト必定ナリ、是田舎ヨリ都會ヘ登セテ都會ノ計策ニ落ルハ、田舎ノズルケヨリ起ルコトナリ、田舎ノ利ニウツキヨリ始ルコトナリ、田舎ノ不智ヨリ起ルコトナリ、左レバ荷物ハナルタケ上ノ荷ニシテ廻スコト仁心ナリ、サレバシロモノノ無盡ノコトハ、民利ノ外ノ利ニテ、民勞セズニ圖ニアタリタルモノ金ヲ得コトナリ、船ナドラモ自分ニウテバ、ナヲ〳〵利ノ厚キコトナレドモ、ズルケ風ノ衣食サヘアレバヨシト云風ニテハ、船ヲウツホド金タマラヌ理ナリ、今シロ物無盡ヲ取立テ、民大キニノリカケタナレバ、大カタ幾口モモツヨフニナルベシ、金ハ少シニテモタマレバフヘルモノナリ、自分デ船デモ打コトナドハ、格別大ソウナルコトモナキコトナレドモ、ズルケル風ニテハイツマデモ持ツコトハナラヌナリ、加賀・越中・越後ナドノ海濱ノ獵師ノウワサヲ聞ニ、海濱ノ民ニハ是非豪富

一村ニ二三軒アリテ、其富人ガ船ヲ持テヨル、網ヲモタクワヘテヨル、艀ヲモタクワヘ、楫棹ノルイマデモチテヲリテ、貧民ノ海上ヲスル人ニ貸スナリ、借ル人ハ高キ賃ヲ出シテカリル、海濱ノ海リヨウシハ多クハ水吞百姓ナリ、小作百姓ナリ、ムマミハ皆豪富ニトラレテシマフナリ、サレドモ彼豪富ナケレバ舟ヤ網ヲカス人ナシ、コノヨフナ網ヲ借ス人ナケレバ、リヨウヲスルコトナラスト云モノナリ、コレハ豪富ガ道具ヲ借シテ、フトコロデヲシテ飽暖スルモ、モトズルケヲ教ユルヨフナルモノナリ、小作リヨウシノ衣食ト、ノヘバ、アトハアソビテ仕マフモズルケ風ナリ、今シロモノ無盡ト云コトヲ始メテ、十ヒキ捕ル處ヲ十五ヒキ捕ヘテ、自分ノ掛金ニシタナラバ、舟モ網モ自分ニ作り出スヨフニ成ベシ、豪富ノフトコロ手ノ男モ、何カ身ヲ働カセ利ヲ得ルコトヲセズバナルマジ、領内ノ人テンデシニ自身ノ手足ヲ働カシテ衣食ヲ得ル程ナラバ、國大キニトマデ叶ヌコトナリ、サレバ民ヲ鼓舞スルホド富國ノ急務ハナシト知ベシ、民ハ一體智モ何モナキモノナレバ、ウツカリヒョントシタルモノナリ、鶴駿州ノ原ト云驛ニ久シク逗留セリ、植松ヲ姓ニシタル家二軒アリ、驛中唯コノ二軒富ミテ、アトハミナ貧ナリ、其由來ヲキクニ、コノ植松ハ二軒トモニ田地ヲ澤山ニモチタリ、サレドモ富士ノ根方ニテ、クワラリトウチヒラキテアル處ナレバ、見ヘタル通りノ田地ナレバ、一向ニツマリタル處ナリ、御代官ハ三嶋ノ葦山江川氏ノ支配ナリ、昔ハ當時ト違イテ、御代官ノ手代ナド、イフモノ皆賊吏ニテ、賄賂ハ行ハル、植松二軒モ一向ニクラサレスクラシカタナリ、第一ノ徳分ハ借シ物ナリ、二軒

トモニ大キナル藏ヲ立テ、夜具・蚊帳・膳・枕、何ニテモ旅籠屋ニテ入用ノ物ハ、皆植松ノ家ニアルユヘニ、原ノ驛ニハ金持ハ外ニハナシト云ヘリ、ソノユヘハ旅籠ノ屋共皆入用ノ品ヲ貯ヘズ、皆植松ニテ貸ナリ、ユヘニ一軒富人アレバソフ／＼貧ナルガ驛ノ風ナリ、皆ズルケヨリヲコルコトナリ、旅人ヲ留テモウケル錢ハ、半分ハ植松ニトラル、ナリ、少シ心ヲ用ユレバ器物モ買レル理ナレドモ、何分ニモズルケ風ニテ、損ヲシテカリテシマフテ、人ニ利ヲトラレテズルケシマフガ田舎ノ癖ナリ、民ズルケルハ其領主ノ損ナリ、民ヲバ何卒手足ヲ働スヨフニ鼓舞シタキモノナリ、鶴又川越ニモ久シフ逗留シテ門人多シ、河越ノ男ニ升小ノサシ米ノ傳授ヲシテ、又其上ニ趣向ヲツケテヤリタルコトアリ、一體川越ハ江戸ヨリ一里ニシテ近シ、扱荒川ト云川秩父ヨリ出ル川ニテ、コノ川江戸ノ隅田川ヘ落ル、此荒川即チ川越ノ一里バカリ東扇河岸ト云ヲ通ルユヘニ、江戸ヘノ船通路甚宜シキナリ、今京ニテイハマ、近江一國ハ湖水ヘヨレバ、大津ヘ船通路ヨキト云鹽梅ナリ、若州・越前ナドモ敦賀ヨリ七里山ゴヘアレドモ、一體大津ヘノ運送勝手宜シキナリ、川越ニテシロモノムジンヲ始メテ、扱一俵一合ノサシ米ヲ願ヲロシテ、其金ヲトント手ニ付ズニ、船ヲ打テ扇河岸ヘ浮ベテ、菜・大根・人參・牛房・大豆・小豆凡ソ川越ノ澤山アルモノヲ、シロモノ無盡ニカケサセテ、扇河岸ヨリ日々江戸ヘ廻シテ、其シロモノ、口錢ヲ取テ、船錢ヲ上ヘアゲテミルベシ、凡ソ百姓モ武家モ鼓舞セネバ動カヌナリ、ムマミヲ見セネバ、ドノヤウナケヅコウナル智ヲウリテヤリテモ用イヌナリ、ウマミヲミレバウカレルニ違

ヒナキナリ、ウカレサヘスレバ國ハキツト富ナリ、十五萬石ノサシ米モ一年ニ三百ホドアレバ、船ハ二艘モ先初年ニ作ルナリト云タルコトアリ、尤土地ノ勢ニテ青物ナドハ廻スウチニシナビル處モアルベシ、クサレル處モアルベキナリ、海濱ナレバシホ魚ナリ、シホ魚ハ日數少々ヘテモ宜シキモノナレバ、北海ニ領地アル御家ハ、先ヅ湖水ヘ自分船ヲ浮メテ、白モノ無盡トサシ米トヲ始ムベキコトナリ、扱シホハ人ノ一日ニテモハマズニ居コトノナラヌ物ナリ、信州・上州・飛州・美濃ハ鹽ヲクムコトハ、鶴ノ見タルウチニテハ備前・讃岐・小豆島ホド便利ノクミヨフハナシ、鶴加州ニ一年ノ餘モ遊ビテ、其國政ヲ見及ビタルコト有、加州ハ越中・能州・加侯領セラル、處ナリ、海ニ沿スルコト二百里ニチカシ、然レドモ鹽ヲ決シテ他國ヘ出スコトナラヌ法ナリ、奇ナル法ナリ、不勝手フシキ法ナリ、一體加州ノ政事ハ國初ノ時ニ始メテ立タル法ヲ改メズニ、ステ、ソノマ、ヲキタルナリ、ユヘニ今ノ世ニテハ一向ニ不勝手ナルコト澤山アリ、凡ソ國產ヲ他國ヘ出スコト法度ナリトシタルハ、最初加侯甚富ミテ金九億八千貫目アリタル由ナリ、扱政ヲバ金ノヘラスヨフニ、此金ヨリモフヘスヨフニ、ヘリモフエモセヌヨフニ立タル法ナリ、此金ヨリモフヤソフトスレバ却テヘルユヘニ、動カヌヨフニ持コタヘテオルヨフニシタルモノナリ、南ノ國境ハ大聖寺ノ關アリテ、出入ノ人ヲ吟味スル、荷物ノ出入ヲ吟味スルコトナリ、北ノ方ハ堺ノ關ト云モノヲオキテ、甚嚴密ニ守リテ、人ト荷トノ出入ヲ吟味スルコトナリ、米ヲ百萬石ヅ、大坂ヘ船ニテマハシテ、其金ヲバ國ヘハ取り寄セズ、スグニ江戸・屋敷ヘ廻



シテ、一年參勤ノ物入トスルコトナリ、如<sub>レ</sub>此ニシテ國中ニハ何モカモ有リテ、事ヲカケヌヨフニシタルモノナリ、藍玉・紅花マデアリ、疊ノ表ニテモ、縁頭・小柄・目貫ノ細工人サヘアルナリ、ナンデモナキモノナシ、コレニテ兩方ヘ關ヲスヘテ他國ノ物ヲ入ル、コト禁制、自國ノ物ヲ出スコト禁制ニスレバ、是トント金ノフヘモヘリモセヌ法ナリ、昔ハ其國人其法ヲ守リテオリタルコトト見ヘタリ、ユヘニ九億八千貫無<sub>レ</sub>恙アリシコトナルベシ、世ノ中移リ替ルニ從イ、國中ノ風俗モ變ジテ、今ハ衣類・扇マデモ京ヨリ入ルモノナリ、家一軒ニテモ自國ノ物少シ、人暮シカタモ自國ノ物ヲ用ユル處ハ、唯一色カ二色ノコトニテ、昔ノ自國ノ物計リニテ暮ストイフ風ハ、ドコヘカ拔テシマイタリ、ユヘニ日夜朝暮國ノ金他國ヘ出ルナリ、然ルニ國產ヲ他國ヘ出サズ、唯一ケ條バカリ國初メノ通りニ立テオル故ニ、他國ヨリ入ル金入ヌナリ、他國ヘ出ルコトハ出シテ、入コトヲ入ヌユヘニ、ズカ<sub>レ</sub>ト御勝手向アシフナリタリ、昔鹽ヲ他國ヘ出ダスコトヲ禁ゼラレタルハ至極宜シ、今日鹽ヲ他國ヘ出スコトヲ禁ゼラル、ハカタ手ウチナリ、カタ<sub>レ</sub>ヲバクヅシテ、カタ<sub>レ</sub>ヲバ崩サヌナリ、金ノヘル方ヲバ崩シテヘラシテ、金ノヘラヌ方ヲバ崩サズニ入ヌト云モノナリ、金ヲ入ズニ出シテハ、イカ程金有テモツヰカヌ理ナリ、コノヨウナル類諸國ニ澤山アルコトナリ、吟味セネバナラヌコトナリ、世ノ移ルニ從ヒテ、法ハ修覆ヲ加ヘネバ、世ト合ヌ法ハ皆勝手ノアシフナルコトナリ、其上ニ加州ハ大國ユヘニ、鹽ニテモ米ニテモ皆自國ギリノ相場ナリ、ナント他國トハ別也、鹽ニ相場アリ、運上アリ、相場甚ダヤスケレバ運

上ノ金高少ナフナルユヘニ、鹽ノ竈ヘ封印ヲツケテ、鹽ヲ燒コトヲ禁ゼラル、ナリ、コレモヲカシキ法ナリ、鹽ハ海ヨリ出ルモノナリ、海ヨリ出ルモノヲ禁ゼラル、ト云ハ、富ノ字ヘ封印ヲツケルナリ、扱右ノ如ク三ヶ國ノ鹽ハ飛州・濃州・信州ヘハ廻スコトナリ、加州ノ鹽ヲ飛・信・濃ノ三州ヘ廻シタルホドナラバ、大テイノ利ニテハアルマジケレドモ禁ナリ、オシキコトナリ、サレバ北海ニ瀕スル國ハ、此海ノナキ國ヘ產物ヲマワシタキコトナリ、鶴信州ニアリテミルニ、鹽荷ハ手ニツケテ、上州ノ新町ヨリ信ヘ廻スコトナリ、上州ニハ坂東太郎ト云大河アリ、奥州・越後ノ堺ノ山ヨリ出テ、下總ノ長子ヘ落ル河ナリ、上州ハ烏川・碓冰川ト二ツ流アリテ、コノ川新町ヨリ坂東太郎ヘ落ルナリ、ユヘニ東海ヨリ此川ニ逆ニ上リテ新町マデ上ルナリ、新町ヨリハ倉ヶ野・高崎・板鼻・安中・松井田ヲヘテ碓氷嶺ニ上ル、三日モ四日モカ、リテ、牛背ニテ信州ヘ鹽ヲウルコト大ソフナルコトナリ、地マヘヨリ廻サバ大キニ近カルベシ、尤越後ノ柏崎・高田ノ近邊ヨリモ信州ヘ鹽ヲ廻スコトノヨシナリ、越後ノ敦賀ヨリハ濃州ノ關ガ原マデ一日路ナルベシ、濃州ノ鹽ハ敦賀アタリヨリ廻ルコトナルベシ、鹽ノ利ハ大ソフナル物ナリ、漢ノ時權ト云コトアリ、今ノ座ノコトナリ、金座・銀・朱座ナゾノ仕掛ナリ、權トハ元ト一本橋ノコトナリ、タトヘバ十里ノ川ニ橋一ツ有レバ、兩方往來ノ人自由ニ制セラル、ナリ、座モコノ理ナリ、權ヲヘヌ人ハ往來出キズ、座ヲヘヌシロモノハ通用セヌト云コトナリ、加州ニテハ他國ヘ物ヲ出サヌ法ナレバ、何物ニテモミナ權スルナリ、權シテモ出ベキ品ヲバ出セバ自國ヘ金

ノ入コトナリ、樵スルハ出サヌタメナリ、然ラバ金ヲヨセツケヌヨフニシタル法ナリ、凡ソ他國ノコトヲキクハ自國ノタメナリ、是ラハドコニモアルコトナレバ、コ、ニ委細ニ記スルナリ、扱讃州ナドニテ鹽ヲ汲ニハ、先土地ヲ平ニナラシテ、砂ヲシキテ鹽田トスルコトハ、他國ニ違イタルコトナシ、他國ニテハ擔ヒ桶ヘ潮ヲ汲デ、鹽田マデハコビテ、扱其潮ヲ鹽田ヘマキテ、其上ニテ鹽、砂マジリナルヲ集メテ、タレテソレヲ汲デ燒クコトナリ、讃ニテハ鹽田ヘ渠ヲイクスジモ、掘込デ、其渠ヨリスグニ柄杓ニテ汲ミテ鹽田ヘマク、他國ノ勞百分ノ一ナリ、モトデ百兩、利分百兩、船ノカリ賃百兩ナリト云リ、船ヲ自分ニ作レバ、一廻シニ二百兩ノ利ナリト云リ、鶴右ノ鹽船ニノリテ大坂ヘカヘリタリ、船頭ノ云ニハ、如レ此鹽ヲ積テ大坂ヘユクウチニ、苦鹽ガ船底ニ一バイニタマルコトナリ、コノ苦鹽ハ豆腐屋ノカフモノニテ、豆腐ヲカタマラセヨスルハ、苦鹽デナケレバナラスト云ヘリ、コノ苦鹽モヤハリウレルモノナリ、扱北海ノシホハキカストミユルナリ、南海ノ鹽ハ味甚冽ナルベシ、京ニオレバ四方ヨリ鹽藏ノ魚ヲ贈ルニ、北海ノ鹽藏魚ハ丹後・若狹・越中・加州・能州・越後マデ盡クヨロシ、魚ノ味モリントモチテ甚ムマシ、南海・西海ノ鹽藏魚ハ一向ニ鹹ク、魚ノ味ドコヘカユキテ氣ヌケテシマフハ、鹽氣強キユヘナルベシ、北海ハ鹽氣淡ナルユヘニ、魚ヲ藏スルニハ至極ヨキナリ、コレヲ以テミレバ、鹽モスルフテ品宜シカラヌナルベシ、鶴越後ノ海邊ヲ通りテ鹽ヲ汲ムヲ見ルニ、至テ勞セルコトナリ、且鹽ノ色灰色ニテ、阿波・播磨以西ノ鹽トハ様子大ニ違フナリ、加州ニテ諸色ヲ皆樵スルトモ拔ケ荷

甚多シ、拔荷ハ上下トモニ損ナルコトナリ、上ニハ運上ヲ取ラヌユヘニ損ナリ、下ニテハ拔下ノコト  
ユヘニ、船ヲ出ス時カラシテ倍ノ倍物入ナリ、扱ウリサキニテ代物ノ滞リ有テモ、拔荷ナレバ表向ニ  
スルコトナラズ、賣先ニテモ是ハ拔荷ナリト知リテアルユヘニ、蹴チラカシテカフナリ、鶴越ノ新潟ニ  
遊ビタルコトアリ、新潟ノ富家當銀屋ノ某ガ家ニ居レリ、主人酒ヲ好ミテ日々酒宴ヲナス、美酒二色  
アリ、一ツハ出羽ノ大山ト云酒ナリ、今一ツハ能登ノ七尾ト云ナリ、越後モ随分酒ノ宜シキ處ナレド  
モ、七尾ハ又拔群ニテ大ニ賞シテ、日々コノ七尾ヲ酌ムコトナリシナリ、加州へ來リテ酒ノコトヲキク  
ニ、御領主ノ御定直段ト云モノアリ、一升一匁ナリト云リ、ソレヨリ高キ酒ハナキヤト問フニ、夏ヨリ  
ヲヒ／＼火ヲ入ル、コトノ由、一杯入ルレバ一度ヅ、高フスル、五ヘンマテイル、ユヘ、シマイニハ  
一匁五分ニナルトイヘリ、扱大身ノ人ノ處ヘユキテ酒ヲフルマハル、トキ、ソノ七尾酒ノ美ナルコト  
ヲ云タルニ、其主人七尾ノ酒ヲトリヨセルコトハ、ナンノゾフサモナキコトナリ、次ノ會日ニハ七尾  
ヲ献ズベシト云リ、扱次ノ會日ニ七尾出タレドモ一切ヨロシカラズ、コレハ眞ノ七尾ニテハナキナリ  
ト云ヘバ、用人出デ、眞ノ七尾ナリ、先生ニハドレデ七尾ヲメシアガラレタルヤト問フ、新潟ニテ飲  
タルトイヘバ、ソレハ他國へ此酒ヲ出スコトハ禁ナルニ、出スハ拔荷ナルベシ、直段ハイカホド、聞  
タルヤト問ニ、三匁位ノ由ナリト云タルトキニ、右ノ用人扱ハ拔荷ナリ、此酒ハ定直段ノ酒ナリト云  
リ、イカサマ一匁ニテハ克キ酒ヲパウラス筈ナリ、凡定直段ナド、云コト甚ムツカシキコトナリ、孟



子モ物ニ上・中・下ノ品有ルハ物ノ情ジヤト云リ、直段唯一ト通ニスレバ一品ニナルユヘニ、上・下ノ人ノ飲食同等ト云モノナリ、乞食ノ飲酒モ一匁、五萬石ノ大夫ノ飲酒モ一匁ト云ハ、物情ニサカラヘル法ナリ、ケ様ナル法ハ是非スラ／＼トハイカヌナリ、拔荷アルハヅナリ、運上ハ極々少フシテ、キツトトルガ宜シキナリ、拔荷ハ法ヲオカスト云物ナレバ、キツト罰セネバナラスモナリ、品ハ上・中・下アルガヨキナリ、無理ナル法アリテハ法ハ立ヌナリ、法立ネバ國治ラヌナリ、大事ノコトナリ、米ナドハ相場トント外ト違ヘバ、ツイ他國ノ米モ、自國ノ米モ出ルナリ、皆拔荷ナリ、大ガイ世上ノ相場ヲ合セテ立ネバナラス證據ナリ、拔荷ノ出來ヌヨフニセネバナラスナリ、如シ米ニテ利ヲ得ントナラバ、藝州ノ津開ト云法ヨリヨキハナシ、是ハ備中・備後ノ邊ニハ小身ノ大名・小名ゴタマゼニ領分ニ入込テオルユヘニ組立タル法ナリ、津開ハ出來秋ニナレバ、藝侯ノ領内ヨリ納ムル米ヲバ藏入レヌナリ、藏ノ前ニ出シオクコトナリ、扱藏ヲバカラニシテヲキテ、扱他國ノ米ヲ相場ヲ立テ買コム也、他國ノ米トハ彼小身ノ大・小名ノ米ナリ、コノ小身衆ハ一人立テ、船ヲ出シテ大坂ヘ積ミテ賣テモ、トント引合ヌナリ、ドフシテモ理屈アシキ荷ナリ、故ニ近處ノ藝州ノ津ナレバ、小船ニテ小運ニシテモヨキト云モノナリ、ユヘニ近邊ノ小身衆ノ米皆藝州ヘ賣サバクナリ、藝侯ハ富國ユヘニ相場ヲ立テテデキニ仕切ヲモ出ストイフモノユヘ、コノ藝州ノ津開ハヤルコトナリ、扱近邊ノ小荷物ヲズツトカイコミテ、其米ヲ藏ヘ入レルナリ、ササマジフ積込コトノ由ナリ、扱大坂ノ相場ヲ見合セテ、藝州米

ヲノコラズ大坂ヘソロヘテ廻スナリ、凡ソ家中ヘノ下サレ米ハ、皆カイ込米ノ由ナリ、又町家・在家  
ニテモヤスイ米ヲカフテクロフテ、己レガ米ヲ高フウロフト思フモノハ、皆コノ開津米ヲカフテ、  
己ガ米ヲバ上ノ米一シヨニシテ上ヘウルコトナリ、コレニテ彼小身衆モ勝手宜シ、在町ノ者モ勝手ヨ  
ロシ、藝侯モ大キニヤスフ米ヲカフテ、大ニ高フ米ヲウルト云モノナリ、凡ソ貨財ハ多キ方ヘアツマ  
ルコトナリ、大坂ノ金ノ多キハ、物ヲヤスフ買テ高フ賣ルユヘナリ、子貢ナドノ術モ此外ナシ、是ヲ  
以テミレバ津開ハドコデモ出來ルコトナリ、又米ニカギラスコトナリ、鹽デモ魚デモナンデモ、ヤス  
フ買テ高フウレバ、其國ノ上下トモニ利ヲ得ルコトナリ、以上ノ計策ハ皆其利ニカシコスギタルコト  
ニテ、儒者ナドガ聞ケバ大キニイヤガルコトナリ、ナルホドリニカシコスギタルコトハ、人品ノヨ  
キト云モノニテハナキコトナリ、サレドモコノ方ニテ上品ニ人柄ヲツ、シミテヲレバ、他國ニテデ  
キニ始テ此方ノ國ヘ損ヲカケル世ノ中ナリ、スコシモ早フカシコキコトヲ始タル方が貧ヲ免ル、ナ  
リ、貧ヲ免レズトモヨケレバ、カシコキコトヲセズニ、上品ニシテオルガヨキナリ、貧ハイヤナリト  
思ハバ、津開ニテモ、買賣ニテモスルコト計策ナリ、天下一統ウツカリヒヨナレバ、ヨキコトナレド  
モ、段々諸國ニテカシコキコトヲシテ、コノ方バカリ上品ニ古例ヲ守リテヲレバ、皆アトヘレ／＼ニ  
ナルコトナリ、扱黃蓮ハ加賀ノ白山ノ麓ニ産スルモノヲ上品トス、即加賀黃蓮ト云ナリ、加賀ニテハ一  
向ニウツカリトシテ、黃蓮ハコノ方ヨリ外ニハナキトバカリ思テオルニ、唯直段日々ニサガリテ、ラチ

モナキヤスウリヲセネバナラスヨフニナレリ、ソレヲ知ラズニオリシナリ、鶴京・大坂ノ藥種屋ニコ  
ノワケヲキクニ、藥種屋云ク、昔ヨリ加賀黃蓮ト云テ、黃蓮ハ加賀デナケレバナラスヨフニイヒタル  
ニ、近年丹波ヨリ黃蓮ヲビタマシフ出テ、今ハ丹波ノ黃蓮ハ加賀黃蓮トシテウリカイヲスルコトナリ、  
一體加賀ノ白山ノ麓ニ自然ニハヘタル黃蓮ナリ、シカルニ丹波ニテハ黃蓮ヲ作ルコトニテ、黃蓮ヲ作  
ルコトハ此節ノ出來ゴトナリ、昔ハナキコトナリ、今加賀黃蓮ハ皆丹波黃蓮ナリ、故ニ此節ニ至リ  
テハ加賀黃蓮ノ直段ズツトサガリテ、相場大ニ下直ニナリタレバ、全ク丹波黃蓮ノ作り宜シフ出來ル  
ユヘナリ、扱々由斷ノナラスコトナリト云リ、鶴則此ワケヲ加賀ニ云テヤリテ、白山ノ麓ニテ黃蓮ヲ  
作ラスル仕掛ニシタリ、凡ソケ様ニカシコキ世ノ中ナレバ、己ガ國產ヲジマンニシテオルウチニ、デ  
キニワキ方ニテ其國產ヲ作ルナリ、コヽニオイテ眞ノ物ハ直段サガリテ、其國ヘ財寶ノ入ルコトスク  
ナフナルコトナリ、皆油斷シテウツカリヒヨントシテオルユヘニ、人ニセンヲトラル、コトナリ、人  
ニセンヲトラレマイト思ハバ、諸國ノ話ヲキ、テ、カシコキ計策ヲタツネ出シテ、見合セテ智ヲハゲ  
ムベキコトナリ、古例ヲノミ守リテオレバ、皆人ニトラレテ自國ノ貧ニナルコトナリ、天下一統ニケ  
様ノ計策ハ用イヌ世ノ中ナラバ、古例ヲ守リテ上品ニシテオルホドヨキコトハナキナリ、天下一統古  
例ヲ守ラズニ、策ヲ用イル世ノ中ナラバ、此方ニテモ用イネバ、此方一軒貧ヲ好ムデスルト云モノナリ、  
ユヘニ諸國ノ策ヲバ何ンデモ一色モ多ク聞キ出シテ、自國ノ油斷ニナラスヨフニスベキコトナリ、油

斷ト云ハ拔目ヨリ起ル、拔目ト云ハ唯ウツカリトシテアルコトノミニ非ズ、ズイブンウツカリトセイデモ、カタ／＼ニバカリ氣ヲトラレテオレバ、カタ／＼スケルト云コトナリ、是ウツカリトセイデモスケ目アルコト甚多キユヘ也、莊子ニ生ヲ養フコトノ上手ナル人ハ、羊ヲ牧スルヨフナモノジヤ、後レタル羊ニ鞭ベキハヅジヤト云タルコトアリ、コノ譯ハ大勢ノ羊ヲ飼テ、野ニ草ヲクワセニツレテユクトキニ、三十疋モ四十疋モ一處ニ唯一人ニテセワヲヤキテツレテユク、扱羊ヲチガアカヌユヘニ追テ往クトナレドモ、一疋ノ羊ニ目ヲツケテオレバ、後ノ羊ガスケルナリ、ツレテユク羊ハ三十モ四十モアリテ、ツレテ往人ハ唯一人ナリ、此大勢ノ羊ヲ一時ニアルカセヨフトスルニハ、一疋ヤ二疋ノセワヲヤイテオリテハナラヌ故ニ、羊ノ一バン後カラ往テ、第一アトノ羊ヲ鞭ツガヨイ、其羊ガ先ヘユキタラバ、又コンド第一アトニイル羊ヲ鞭ツナリ、イツデモ第一アトノ羊ヲ鞭テバ、大ゼイノ羊ノコラズイソイデユクト云モノナリ、或人思ニ、病ハ兎角心ニツカヘルユヘニ生ル、病イ生ズレバ死スル、養生ニ第一ハ心ニ心ツカヘノナイヨフニスルガヨイト云テ、山ヘ引込ミテオリタルユヘニ、心ヲバ大ニヤシナイタレドモ、虎ガキテ其人ヲ喰シナリ、又或人ハ身ニ暖カナルモノヲ衣テ、腹ニムマキモノヲクヘバ、中ノヤシナイガヨキユヘニ長壽スルト云テ、日々アチコチツトメ諸侯ノ内ヲ遊ビアルク、ナルホド内ノヤシナイハヨケレドモ、心ヅカイヲシ病ガ發リテ死セリ、此人々ハカタ／＼ニ目ヲツケテ、カタ／＼カタ／＼ノスケ目アルトコロニ、日ガトバカヌユヘニ死セリ、後タル羊ニ鞭ヲウタナンダユヘナリト云シトアリ、コ



レガ至極智者ノ心ヲ用ユベキ所ナリ、ユヘニ聖人ノコトバニハ公私ト云コトアリテ、何事ニモ公ト私トアリ、公トハ天下ハレタコトナリ、私ハ内シヨフサ、ヤギノコトナリ、公ハ天下ヲ一統ニ見タルコトナレバ、大目ノキ、タルナリ、一疋ノ羊ニ目ヲ付テヲルハ私ナリ、大勢ノ羊ニ目ニツケテヲルハ公ナリ、大目ノキ、タルナリ、大目ノキ、タル男デナケレバ智者トハ云レヌナリ、カタ／＼ノヌケルハ、皆大目ノキカヌユヘナリ、經濟ノコトナゾハコトオホキコトナレバ、□□ヌケ目ノナキデナケレバ、マコトノ經濟デナキナリ、古例ナゾト云處ヘバカリ目ヲツケテオリテハ、一向ノヌケ目アルハヅナリ、古例ニ目ヲ付テオリテハ、ヌケ目アルト云コトヲ知リテ、古例ニトシトカマワズニ、今ノ用ニ足コトヲスルコト、當時ハヤリモノナレドモ、大目キカヌユヘニ、思イモヨラス處ニサ、ワリアリテ行ワレスコト、世ニ多クアルコトナリ、思イモヨラスト云コト智者ノ無コトナリ、智者大目ヲヒラキテ、隅ノスミノスミ／＼マデモ見テ、ミテ見拔ユヘニ、思イモヨラスコトナキハヅナリ、思イモヨラスコトアルハ、マダ／＼隅ズミマデミヌユヘナリ、況ヤチイサキ處ヘ目ヲツケテ、ソレハナラス、コレハナラスト、タワイモナキコトヲ云テサルウチニ、貧ニナルコト目前ナリ、國ヲ富サント思ハバ、ネバリタル、ヒツ、キタル心ヲアライテシマイテ、ズツト目ヲ天ヘアゲテ、高ク遠キ處ヨリ、一目ニ下ヲ見クダスツモリデミネバ、拔目アル也、ヌケ目アリテハ思イモヨラスコト是非アル也、思モヨラスコトアレバ、觸ニモ觸レソコナヒアルハヅ也、手チガイアルハヅナリ、觸ト手チガイトハ皆目ノ光リミジカウテ、ユキトバカヌユヘナリト思ベシ、目

ノ光リノミジカキハ己レガ心ヲ寄スル處アルユヘニ、其心ノ寄タル處ヨリ外ニハ見エヌナリ、藝ノマ  
人ハ藝ニ心ヲ寄スル故ニ、藝ノ外ガ見エヌナリ、書ヲ讀人ハ書ニ心ヲ寄スルユエニ、書ノ外ガミエ  
ヌナリ、智ノアル人ハ智ニ心ヲ寄スルユヘニ、智ノ外見エズ、智ノ外見エネバヤハリ智トハイワレヌ  
ナリ、古風ヲ守ル人ハ古風ニ心ヲヨスルユヘニ、古風ノ外見エネバ、コレ古ニオルニハヨキ人ナレド  
モ、今ニ居ニハヨフナキ人ナリ、カタキ人ハカタキ處ヘ心ヲヨスルユヘニ、カタキ外見ヘズ、世ノ中  
堅キジブンニハヨキ人ナリ、世ノ中變ジテ計策ガハヤル時ニハ、用ニ立タヌ人ナリ、コノウチ尤情コ  
ワク、タ、キテモ、ヘサヘテモゴクノノイカヌモノハ書ヲヨム人ナリ、書ヲ讀人ハ己レガ定木ヲ持  
チテオル人ノツモリユヘニ、他人ノ定木ニツク心ナキナリ、大キニシクジリテ、大ニ敗北シテノマイテ  
初メ心ヅク、扱々ザンネンナリトイヘドモアトヘンナリ、兎角跡ヘン・後悔・拔目ノナキヨフニスルコ  
ト第一ナリ、鶴上州ノ旗ノ輪トイフ處ニ遊ビタルゴトニ、質屋ニテ作り酒屋ヲイタシ、田地千石ホド持  
タル男ノ招ニテ其家ニ逗留セリ、其主人チツクリ學者ニテ、大ヤボ學者ナリ、唯鶴ニ酒ヲフルマフテ文  
法ナリヲ問、コノ酒ヲ飲デミルニ、東海道ナドニテ鬼殺シトイフ類ニテ、糟臭アリテ一品ナル酒ナリ、余  
聞テ云ク、足下ノ藏ノ酒ハ此一品ナリヤ、此一品ナラバ是ハ大キナル油斷ナリ、酒ノ風ヲ替ベキハヅ  
ノコトナリ、江戸ヨリ西ノ方ハ武州ノハヅレマデモ、ケ様ノ古風ノ酒ヤハアラズ、ミナ伊丹ノ風ナリ、  
今此風ノ酒ヲ仕込ヘハ、流行ニヲクレタルコトナリ、且火ノ入レ用ヘタナリ、火ヲ入ルト云ハ六ヶ敷

コトナリ、火ノ入用ハ酒ヲ大釜ニテワカシテ、樽ヘサシタルモノナルベシ、古風ナルコトナリ、火ハ湯センニスベキコトナリ、大釜ハ湯ヲタギラセテ、瀬戸モノヘ酒ヲ入テ火ヲ入ナリ、或ハ瀬戸物ヲ大釜ノ中ヘ仕込テワキタルトキニクミ出ス、イヅレ鐵ノ釜ニテスグニ酒ヲクミ出シテハ、火クサフナリテハヤラスナリ、一日モハヤウ湯センノ法ヲ用ユベシト云タレドモ、コノ男ヤボ學問者ユヘニ、吾家ハ昔ヨリ此酒ヲウリ來リテヨフウレルユヘニ、改ムルニ及バズト云、鶴云ルハ、昔ハ此風ノ酒ハヤリタルユヘニ、此酒ハヤリタルモノナリ、今ハ此風ノ酒ハヤラネバ、ヤハリ此風デナキ酒ヨキ理ナリ、足下ノ先祖其時ニ合セテ此酒ヲ作りタルナリ、サスレバ足下ノ先祖只今在世ナラバ、今ノ風ニアフ酒ヲ作ラル、理ニテハナシヤトイヒタレドモ、ソコガヤボ學者ノコトユヘニ、鶴ガ云コトヲ用ヒズ、ヤハリコノ酒デヨキナリトシテヲハリテ聞ヌユヘニ、其儘ニステ、ヲケリ、箕輪ノ西松井田ノ上ニ永濱ト云在處アリ、コノ村ノ木暮ヲ氏トシタル人アリ、コレハ書ヲモカクベツコノマネドモ、智惠ズキノ男ニテ、鶴ヲ招テ老子ヲ講ゼシメリ、扱此男モ作り酒屋ニテ、手作ノ酒ヲフルマフニ、コノ酒ハ一向ニ箕輪ノ酒トチガイテ宜シキ酒ナリ、是ハヨキ酒ナリト賞スルニ、主人ノ云ニハ、コノ酒ハドコノ酒ニテアルヤト云、鶴答テ伊丹ノ酒ニ似タルナリト云、主人手ヲ打テ感心スルコトヤ、久フテ、扱伊丹ハ何ト云酒ニ似タルト聞、鶴答テ三國山ト云酒ニ似タリト云、主人大キニ悦ビ、早速酒藏ヘユキテ、酒トフジラ呼デ來リテ此鶴ニ逢セテ、扱コノ男ハ伊丹ノ三國山ヲ作ル家ニイタルトフジナリ、三國山ハコノ男ノ作り

タル酒ナリト云フテ大ヒニ喜ベリ、鶴モトフジヲホメテ、サリトハヨフ法ヲトリウシナワズニ作リタ  
リトテ賞セリ、トウジ大ヒニ悦ビ、酒藏へ鶴ヲ呼テ酒ヲフルマヘリ、其時ニ藏ノシカケヲ大キニ自慢  
シテ云リ、藏ノ仕カケハ藏ノコシマキダケ土ヲ落シテ、金網ヲハリタルモノナリ、コレハ風ヲスクタ  
メナリ、コレニテ酒ノアジヲ變ズルコト甚多シ、酒ヲ火ヲ入ルトキニ、外ノ家デ二三ベインイレルトキ  
ニ、一ベインイレル計ニテヨフ持コタユルナリト云リ、火ハ勿論湯センニテ入ルナリ、此男ハ伊丹ノ生ノ  
者ユヘニ、酒ノ一マキニ付テハシラスコトハナキナリ、伊丹ノ酒藏ハ皆ケ様ニコシマキダケ金網ニス  
ルコトナリトイヘリ、扱木暮ノ酒追々ハヤリテ、日光街道・木會街道・遠方マデ皆木暮ノ酒ヲ買コトニ  
ナレリ、其上ニ木暮王人智者ノコトナレバ、伊丹ヨリ江戸へ廻ス通リニ樽ヲ作ラセテ、琉球ツ、ミニ  
シテ、靜樂ト云名ヲ付テ處々へ廻スコトナリ、今ハ木會街道・日光街道ニテモ、田舎ノ小樽ヲ四□ス、  
矢張伊丹ノ面ノ四斗樽ヲナラベテ、居酒ヲスルコトニナレリ、皆木暮主人ノ智ナリ、扱其後ニ箕輪ヘユ  
キタルニ、酒トウジヲイトマヲ出シテ、トウジヲカヘタル由ナリ、其譯ヲキケバ箕輪ノ酒一向ニウレ  
ズ、コ、ニヲイテ始メテ鶴ガ云處ヲ感ゼリ、鶴云、酒ノウレヌハトウジノ罪ニアラズ、足下ノ流行ニ  
ヲクレタユヘナリ、トウジヲカ、ヘバ、伊丹ノトウジノシクジリタルヲ抱ユベシ、田舎トウジハ百萬  
人カ、ヘテモ無益ナリト云、箕輪主人始メテ鶴ガ言ヲ入テ、伊丹ノトウジヲ抱ヘタリ、此主人ハジメ  
ニ鶴ガ諫メヲキカバ、イツマデモウカリノト、ナゼウレヌ知ラントバカリ云テ居ルトコロナリシナ



リ、凡ヤボ學者ニテモ、ジヨウコワキ老翁ニテモ、己レガ心ヅキタルコトハ諫ルコトナリ、先方ニテハ用イヨフガ、用イマイガトントカマワヌコトナリ、此方ノ知リタルコトニテ、先ノ人ノ知ラスコトナラバ、云フテキカスガヨキナリ、ゼヒ／＼用ニ立イデハ叶ハヌコトナリ、箕輪ノ主人ヤボ學者ナレバ、キツト鶴ガ諫ハ納ヌト云コトハ、曰ノ始メニ知テオルコトナリ、知オリテモ諫メルハ術ナリ、跡ニテ大キニ心ヅクコトノハヤリコトニナルナリ、一體人ニ諫メヲイル、トキニ、自分諫ヲ用イサセント思フコト甚アシキコトナリ、無理ナルコトナリ、鶴ハケ様ニキメテオクナリ、人ト云モノハ諫メハイレスモノナリ、納ヌガ人ノツネナリ、若諫ヲイルレバ珍ラシキコト也、奇ナルコトナリトキメテオクナリ、唯諫ヲ終ラヌコトハザンネンナリ、腹中ニアルタケ云テシマワネバ、コレハ甚クヤシキコトナリ、又心デハ喜ビテオレドモ、口吻ニテハネヂツケル人アリ、コレラハズイブンシヅカニハネノケラレテモノ／＼、タリカヘシ／＼云コトナリ、心ニモハネノケ、口吻ニテモハネノケル人ニモ諫メヲバイフコトナリ、其トキハハネノケテモ、一ペン耳ヲ通リタルコトバノコトナレバ、ドコカ腹ノ方スミニ其辭ハノコリテアレバ、大キニ其人ノ心得ニナルコトナリ、唯甚ハネノウル人ハ、モハヤ此方ニテ一言モイワレヌヨフニイフナリ、ソレデモカマワズニイヘバ、其座ヲ立テ奥ニ入ルナリ、奥ヘ入シマヘバ、是此方ノ諫半分云テ、半分イワヌト云モノナリ、先ノ人モ半分キ、テ、コレハクニタラスト思フコト、ソ、ウナルコトナリ、皆言セテミテ其上デ用ニ立ヌコトハ、眞ニ用ニタ、ヌナリ、イヅレ半分キ、テ、皆マデ

ノ善惡ヲイフコトアシキコトナリ、サレドモコレモ仕方ナキコトナリ、先鶴ハコレモケヨフニキメテ  
オクコトナリ、人ト云モノハ諫ヲ半分キ、テ、皆マデハ聞ヌモノナリ、皆マデキク人アレバ、珍ラシ  
キ人ナリ、奇ナルコトナリ、ケ様ニキメテオキテサヘ、マダ〱人ヲ怨ルコトアリ、自分癩ニサワル  
コトアルモノナリ、故ニ又ケ様ニキメテオクナリ、凡ソ人ヲ諫テモ先方ノ人ノ諫ヲキカヌガヨキナリ、  
先ノ人此方ノ人ノ諫ヲ納レバ、コハキコトナリトキメテオクコトナリ、コノ譯ハ昔扁鵲齊ノ桓公ノ坐  
ニアリテ、扁云ク、君ノ身ニ病アリ、早フ藥ヲ用ヒラレタラバ病除クベキト云、桓公病ナシト云フテ  
キカヌ、其ノチ五日タチテ又云、病アリ早フ藥ヲ用ラルベシト云、桓公コタヘズ、其後五日ニハ桓公ヲ  
ミルト忽チカヘリテシマヘリ、桓公云ハ、醫者ト云モノハ、病モナイニ藥ヲ飲セテ己ガ名ヲ養フ、ワルキ  
計策ナリト云テツシレリ、其後桓公忽チ病大キニ起リ、扁鵲ヲサガサセタレバ、扁ハ秦ノ國ヘユキテ  
逃ゲタリ、桓公死セリト云コトアリ、コレヒツキヨフ桓公ガ諫ヲ入ヌユヘ、扁鵲ガ功ガ顯タルナリ、  
若シ始メ桓公扁ガイフ通りニ藥ヲ服シタルナラバ、病ハ起ルマジ、病起ラネバ扁ハ名ヲウルタメニ藥  
ヲアタヘタルカ、何カシレヌト云モノナリ、桓ガ諫ヲイレヌノハ、則扁ガ名ヲヤシナフテヤリタル也、サ  
レバ、此方ノ諫ヲ入ヌ人ガ、此方ノ名ヲコヤシテクルル人ナリ、且此方ノ諫ヲ納テヒヨツト萬々一諫  
メノトヨリイカヌコトハ、大キニ此方ノ名ヲ汚スコトナレバ、兎角コノ方ハ諫メルガ德、イサメヲバ人  
ガ入ヌガコノ方ノ德ナリ、サレドモ半分云カケテハネラレルガイヤユヘニ、書付テ人ニ見セルコトニシ

タ、扱凡ソ儒者ハ大名大夫ノ間ヲ即答スルコト、孔孟ヨリ以下皆然ルナリ、鶴ハ大キライナリ、大名大夫ノ聽コトモ知ニクキコトヲ聞ナリ、其ヨフニソク答ノ出來ルト云ハ、スサマジキ才物ナリ、鶴ニハ出來ヌナリ、又即答ヲセズトモヨキコトナリ、宿ヘカヘリトクトカンガヘテ、書ツケテ即答ヲヤスベシトイフテモ、愧ニモナラスコトナリ、且口上ニテハ云タルハ消テシマフモノナリ、問人モケ條ガキニシテ問フガヨキナリ、コタヘル人ハケツシテ書ツケテ答ベキ筈ノコトナリ、孔孟ノ即答デカラガ鶴ハアマリ有ガタクハ思ハヌナリ、況ンヤヘチマノヨフナアホフドモヲヤ

### 稽古談卷之三

扱大坂ノ銀主ノ腹中ヲ人一向ニシラズニ、對談スルコト甚不調ナルコトナリ、コレヲ即答智恵ト云ナリ、大名ヤ大夫ノ問ヲ即答スル、大名ヤ大夫ヲ見クビリタル仕方ナリ、大名ヤ大夫ハ大アホフモノナリト見タル仕方ナリ、儒者己レガアホフヲ棚ヘアゲテ、大名ヤ大夫ヲ見クビルコト憎ムベキノ甚キナリ、若シ見クビラズバ即答ハセヌハヅナリ、能々練リテ答ベキコトナリ、コレハ孔子ノ齊ノ景公政ヲ問フ、對テ曰ト、孔子ハイッデモ即答ユヘニ、孔子ノマテヲシテ即答スルトミヘタリ、齊ノ宣王問フ、對テ云ト、イツデモ即答ナリ、孔孟ノ即答シタル時バカリノ話ヲ書キ留タルコトナルベキナリ、孔孟トデモヨク／＼カンガヘテ、宿ヘカヘリテ思惟シテ見テ答ヘラルベキハヅナリ、大坂ヘ調達ニ下ル役人調達ヲイヒツケラルレバ、デキニノリ出ス、シラベモナニモナフ即答ナリ、其君其大夫モ安心シテ、即答男ヲ大坂ヘ出スコト、又ヲカシキコトナリ、大坂ニテ銀子ヲ調達スルコト、甚以六ヶ敷コトナリ、六ヶ敷トハデキスト云フコトニアラズ、費用ヲモカケズ、ナンボモヨキ仕方アルニ、ヤタラニノリ出シテ大坂ヘユクハ、是即答ナリ、大坂ヲ見クビリタルナリ、大坂ヲ愚ト見テ、己レヲ智ト見タル仕方ナリ、大坂ノ銀主ノ腹中ヲモ知ラヒデ、遊説ニ出カケルコト笑フベキノ甚キナリ、凡ソ即答智恵ト云モノハ、



事ノ害ヲ爲ストモ、利ヲナサヌモノナリ、先ヲ見クビルユヘナリ、調達役人ノ心ハケ様ニ思フナリ、大坂ノ銀主ハ民ナリ、民ユヘニ愚ナリ、此方ハ士ナリ、士ユヘニ智ナリ、智士ガ愚民ヲアツコウコト、ナシノザフサモナキコトナリ、辯舌ヲ以テ説テ、説キフセテ金ヲ出サスベシ、何ノコトモナキナリ、如シ利害ヲ説キテキカセテ、其レヲ承知セズバ、此方ノ智ニテダマシテ出サスベシ、智士ガ愚民ヲダマスコト、何ノコトモナキコト也、先ヅケ様ニキメタルモノ也、サレドモコノ論、孟子ノイリユル本ヲヒドシフセズシテ末ヲクラブル論ナリ、ナルホド調達役人ハ智ナルベシ、智ナル處ハ文武ノ學問ノコトナルベシ、金銀カリカシノコトハ、士ノウトキトコロナリ、士ノ一向ニ知ラストコロナリ、合點ノユカストコロナリ、大坂ノ民モナルホド民ナレバ愚ナルベシ、愚ナルトコロハ文武ノ學問ノコトナルベシ、金銀カリカシノコトハ、先祖代々ノ金カシナリ、金ヲカシテソレヲ業ニシテオル男ドモナリ、生レオチヨリ金銀カシカリノコトニノミ心ヲユダネテオル男ナリ、日本國中ノ武士ノ腹中ヲバ、朝カラ晩マデアツコフテヨルコトナレバ、ヨフナレテオリテ、中々武士ナゾニダマサレテ金ヲカシ、武士ノ辯舌ニノリテ損ヲスルナド、云フコトハ、ユメサラノナキコトナリト、コノ國ノ國風ニテモ知テオルナリ、知リヌキテオレドモ、ダマサレタル顔ヲセネバ談シデキヌユヘニ、ダマサレタル顔ヲシテ相手ニナリテ、トリアツカフテオルコトナリ、即答男ハ生レテカラ金銀ノイキサツ知ラヌ男ナリ、大坂ノ銀主ガ武士ニダマサレソフナモノカ、ダマサレソフニハナイカ、夢々知リモセイデ、ヤミクモニデカケルト云フハ、

メツボウカイナルコトナリ、今大坂ハ愚ニテ此方ハ智ナリト云コト、論ハ文武ノ學問ヲクラベノル論ナリ、今主君ノ用向ハ金ヲ調達スル用事ナリ、金銀ノイキサツノコトナリ、大坂ノタケタル、此方ノシラストコロノ論ナリ、此方ノ至テ愚ナル、大坂ノ至テ智ナル處ノ用向ナリ、是レ至愚ヲ以テ至智ヲダマサントスルタクラミナリ、一向ニシラス人ガ底ノ底マデモ見ヌキテ知リテオル人ト、智愚クラベヲスルシカケナリ、扱一向ニシラストイフ題ヲ出シテ、大坂ヘウチマカセテ、丸デ智惠ヲトント出サズニ、大坂ノスル通りニシテ、調達スル人ハ巧者モノナリ、智惠ヲヒラメカシテ、ダマシテ用向ヲトトノヘントスル人ハ、二度手間ノ大マハリ道ノ、大ニ費用ノカ、コトナレドモ、十人ガ九人マデハ即答智惠ノ男ナリ、又其屋舗ニテモ智惠ヲヒラメカス即答智惠ノ人ヲヨリテ、ヨリ人ト云テ出坂サスコトナリ、皆大坂ノ腹中ヲサガスコトヲウチワスレテ、ヤタラシヤベリテ勝利ヲ得ルツモリナレドモ危キナリ、且費用ノ多クカ、リテ大損ナルコトナリ、ユヘニ大坂ヘ出テ調達ヲシテ見ルニ、案ニ相違シタルコトバカリナリ、役人ダマセバ銀主ダマサレルナリ、ダマサル、トハ、眞ニダマサレルニハアラズ、ケ様ナル顔ヲセネバ談シ手間ドレルユヘナリ、モハヤ出來タリト思ヘドモ、グレカヘリトシテ出來ヌナリ、始メニ出來タリト思フハ、銀主ダマサレタル顔ユヘニ出來タリト思フナリ、サレドモソノ仕方デ金ヲ出シテハ銀主引合ヌユヘニ、又談シヲアトノ方ヘモドスナリ、三ベンモ五ヘンモモドシテハ、積ミカヘリセネバ、チヨウドノトコロニユカヌナリ、初メノ談シニテハ役人ノ思通りナ

レドモ、役人ノ思フ通りハ屋敷ノ勝手ノ至極ヨキコトノ、銀主ノ勝手ノアシキコトナリ、是コノ通り  
デ出來ルワケガナキナリ、ソレヲ役人ハ己レガ辯舌ニテ銀主ヲダマシタル心ニナリテ、エイヤツトダ  
マシヌラバ、又アトモドリガシテ埒ガアカス、扱々オシキコトナリト思ヘドモ、一體ハダマサレタルニ  
アラズ、コレヲダマシタル心ニナル人ヲ即答役人ト云ナリ、早合點ナリ、早吞込ナリ、智恵自慢ナリ、  
ケントウチガヒナリ、ツマルトコロハ先キ方ノ腹中ヲ一向ニシラスナリ、ヤミクモト云モノナリ、今  
銀主ノ腹中ヲアラマシ書留メテ示スベキナリ、先銀主トイフモノハ、金ヲカシテ利息ヲトリテ、ソレ  
デクラシテオルモノナリ、銀主金ヲカサズニオレバ飢ヘ死ヌ理ナリ、ユヘニ金ヲカシタキナリ、金ヲ  
バカシタケレド、利息ガアマリヤスウテハ銀主引合ヌナリ、扱アヤウキ處ヘカセバ返ラスナリ、元金  
返ラスモヨキナリ、イツマデモ屋敷ヘ留リテオレバ、ナオヨキナリ、利息ヲ法ノ通りニヨコセバヨキ  
ナリ、モト金ヲカスハ利息ヲ取ロウトテカス金ノコトナレバ、利息ヲサヘヨコセバ、元金ハヤハリ納  
メテオキタキナリ、利息トテモイツマデモ始メ出シタル時ノワリニ取ルニモ不<sub>レ</sub>及、シカレドモ大名ヘ  
出ス金ガ、皆其銀主ノ貯ヘテアル金ニテハナシ、振込金多シ、扱此振込金ト云ハ、大坂ニテハ相互ニ  
合ヲ入レ合フコトナリ、外ノ家ヨリ入リテアル金ヲ振込ミト云、外ノ家ヘ己レガ金ヲ入ル、ヲモ振込  
ト云ナリ、唯銀主トシ振込バカリニアラズ、儒者デモ醫者デモ畫カキニテモ、乃至其近ジヨノウラヤ  
セドヤノデババ、ニテモ、閑暇ノ金ヲバ持參シテ、アヅケテオクコトナリ、スベテ振込ト云フナリ、

如レ此他人ノ金ヲアヅカリテ、其金ヲ屋敷へ出スコトナレバ、利息ハソノヨウニヤスフハ出サレヌナリ、振込ミタル方ヘハキツト利息ヲハカラネバナラヌコトナレバナリ、扱大坂ヲ一向ニ知ラヌ人ハ、大坂ハ金ノフルヨウニ取レルモノジヤト思フテオル、コレモ又大キニ了簡違ナリ、利息ハ甚ウスキコトナリ、凡少シキ金ヲ澤山ニ積ミタル金ガ大金ナリ、一トキニクワツト取レル金ハ、大金ニハナラヌモノナリ、世人ノ言ニ吳服屋ハ百分ノ一ノ利ナリ、八百屋ハ十倍ノ利ナリトイヘリ、茶道具屋・唐物屋ハ大身上ナシ、利多キモノユヘナリ、米屋・吳服屋ニ小身上ナシ、利ウスキユヘナリ、伯樂ガ弟子ニ馬ヲ相スルコトヲ教ルコトヲ韓非子ニノセタルコトアリ、伯樂ハ愛スル弟子ニハ小荷駄馬ヲ相スル法ヲ教ヘウ、憎ム弟子ニハ千里ノ馬ヲ相スル法ヲ教ユ、駑馬ハ毎日々々十疋モ二十疋モ相スルユヘニ、謝物ヲ澤山ニトル、千里ノ馬ハ十年ニモ百年ニモ、一疋ハ出ルカ出ヌカト云モノユヘ、謝物一向ニ取レスト云ヘリ、ドカモフケヲスル商ハ、常ニハモフケナキナリ、薄キ利ノ商ヒハ、テリテモフリテモアルモノナレバ、利積ムコト多シトイヘリ、大坂ノ銀主ノ金ヲトリアツコフハ、利至テホソキモノナリ、其ホソキ利ノ澤山ニツミタルガ大銀主ナリ、扱金ヲ大名ヘ出ス心ガ、トント武士ナゾノ心得トハ大キニチゴウナリ、江戸ノ町人ノ心得トモ違ナリ、武士ヤ江戸ノ町人ノ金ヲモタヌガ、何ヨリ早キシヨウコナリ、是武士ヤ田舎ノ町人ガ大坂ヘ出テ金ヲ才覺シテモ、金ノ出来ヌイワレナリ、先ヅ武士ハ褒美ノ金ヲモラヘバ、コレハ別ノ物ナリ、知行ノ外ナリト思フテ、魚ヲカヒ酒ヲカヒ、芝居ヘユキ、青樓ナドヘノボリテツ



カウテシマウ、アタリマヘノ外ノ金トシタルモノユヘニ、ツカフテシモウナリ、江戸ヨリ京・大坂ヘ詰ル大御番ハ、オリカヘシノ高ニ取ルコト例也、二百俵ノ人一年大坂ヘ詰レバ四百俵取ルナリ、四百俵ノ人ハ八百俵トルナリ、御番頭ハ五千石ニテオリカヘスユヘニ、一萬石ニテ詰ルナリ、御番衆マデガ知行ノ外ト見ルユヘニ、バツ／＼トオゴリテシマウナリ、來年ハ上方年ジヤトイフテ、其前年カラハヤオゴリテシマフ人、十人ガ八九人マデハコレナリ、皆外物トミタルモノナリ、コノ外物トミタルコト、一向ニ大坂ノナキトコロナリ、先大坂ハ金ヲカシテ其利デ渡世スルコトナレバ、利息ノ入ルハアキナヒナリ、扱金ヲ出シタル屋敷ヨリハ扶持米ヲヨコス、箸ノコロンダニモ目六ヲ送ル、伏見ヘ御目見ヘ出ル、目六ナリ、扱紋付ノ上下。時服・扱端物・扱國ノ產物・扱四時ノ付屆・寒暑ノ見舞ナリ、コレハ利息ノ外ナリ、是ヲ武士ナラバ外物ナリトバツ／＼トツコフテシマウ理ノモノナリ、江戸ノ町人モ武士ニチガフコトナシ、利息ノ外ニモロフタモノハ外物モノナリトイフテ、バツ／＼トオゴリチラスナリ、コレハ皆利ニウトキユヘナリ、大坂ノ算用銀主ノ腹中ハ、一向ニソノヨウナルコトニアラズ、皆元金トミタルモノナリ、利息ヲモ元金トミルナリ、ナンデモソノ屋敷ヨリ入ル金、ソノ屋敷ヨリスルシロモノハ、皆元金ノ内カヘリトミルナリ、一體大名ヘ金ヲ出スハアブナキモノナリ、先ハ取ラレルカ知レスナリ、ユヘニ取ラレヌ法ヲセネバナラスナリ、金ヲ取ラレテモ取ラレス法ヲセネバナラスナリト云コトヲスルニハ、コノ法ヨリヨキハナシ、何モカモ皆元金カヘリタルト見ルユヘニ、元金ノカヘ

リタルヲツカフト云コトナキコトナリ、外カモノニアラズ、元金ナリ、利ヲモ元金トミテ元金ノ方ヘ積ムナリ、扶持米モ元金ナリ、端物モ紋付モ皆元金ナリ、或者コノ銀主茶ヲ好メバ、唐津・井戸・ト、ヤ・ハンス・イラボナド、イン名器ヲ屋敷ヨリ送ルナリ、コノ名器ヲ元金ト見ルナリ、ズイブンヤスフ踐テ直段ヲ入レテ元金ヲ引ナリ、凡今ハ金ノ利大坂ニテハケシカラズ上リテ、ムカシトハ大キニチガフナリ、新規借り入レハ一割二三米ナド、イフコトナリ、大國ハ大金ヲ借ル、年限十年カ十二年ナリ、利モ七八米ナリ、コレハ年限中ハ七八米ノ利ヲキツト一年ニ三度カ四度ニ算用スル、七八米トイフ金ハ數代借りツケタル家デナケレバ出サヌナリ、扶持米モ澤山ニトリテオル、付届進物モ澤山ニトリテオル、扣ヘ屋敷ニ火災アリテモ、材木ヲ進物ニスルト云ヨフナ懇意デナケレバ、七八米ト云金ハ出來ヌナリ、銀主ノ方ニテハ格別ノチガイハナシ、何モカモ元金ヘイレルユヘニ、皆十年ヲ待ズシテ元金ハカヘリテシマフナリ、新規ニ出ス金ナドハ六年ホドニ元金ヲトリテシマフ、ソレカラ借り入レタル屋敷ヨリ利サゲヲ談ズルナリ、扱元金ヲトリテシモフテモ、屋敷ノ方マダ元金ハ丸デカリテオルナリ、元金スミテシモフタ上ハ、アトハ外物トシテモヨサソフナルモノナレドモ、コレヲモ又ツカフコトナラヌナリ、コレハ今度屋敷ヘ出ス用意ノ元金ナリトシテ積ムコトナリ、扱又返込金モアルコトナレバ、コノ利金ガ丸デ己レガ方ヘ入ルデモナキナリ、又元金ト云モノモ皆己ガ金デハナキナリ、己ガ金ヲ少シ出シテ扶持進物ノ立派ナル屋敷ヘ出セバ、己ガ元金ハタチマチ返ル理ナリ、尤相互之コトナレバ、ケ様ナ

ケレバナラスコトナリ、コノ元金引キト云法ホド宜シキ法ハナキナリ、イツカ元金ハ取リテシモフ法ニテ、バツノトツカフ金ハナキ法ナリ、外物ト云金ナキ法ナリ、武士ニラモ不意ニモロフタル金外物金ハ來年ノ知行ヲ早フ取リタル算用ニシテ、前借金トミテ其心得ニスレバ、一年位ノ知行米ハウクハヅナレドモ、武士大坂ノ元金引ノ法ヲ知ラヌユヘブラリトシテ心ヲ用ヒズ、大御番ナヅハオリカヘシナレバ、二タ在番ニハ知行一年ブリハウクハヅナリ、皆外物ト見ルユヘニ、コノ術出來ルナリ、大坂ハ至テ利ニカシコキ地ナリ、心ノ用ヒヨフチガフナリ、一體武士利ニウトキノミナラズ、理ニウトシ、先江戸ヨリ諸大名ヲ御アシラヒナサル、法ヲ誰モ知ラヌナリ、凡江戸ニテ諸大名・諸御旗本・諸御家人ヨ御アシラヒナサル、法ハ、即チ初卷ニイヒタル一割利息ノ法ナリ、コノ一割ノ利息ヲ御取リナサル、法ハ知レニクキカト云ヘバ、至テ知テアルナリ、知レテアレドモ、武士利ニウトキユヘニ、凡ソ算用事ニナレバ、ウツカリヒヨントシテオルナリ、周禮ノタテカタトハ大キニチガフナリ、至テ知レヨキナリトイフハ、誰レニテモ小普請金ハ百石三兩トイフコトハ田舎モノハ知ラズ、苟モ江戸ニ生レタル人ハ知ヒデハ叶ハヌコトナリ、百石三兩トハ御役ヲツトメズニオル面々ハ唯喰フテオルモノナレバ、御城ノ小普請ノ御手傳ナスベキハヅナリ、御手傳金ト云ハ即一割利息ノコトナリ、三斗五升俵百俵ハ現米三十五石、一石ニ金一兩ト見テ三十五兩ナリ、三十五兩ノ一割ノ利息ユヘニ三兩トシタルモノナリ、小普請金百石三兩トハ、是一割利息ノコトニアラズヤ、石ト云モ俵ト云モ同ジ事ナリ、石トハ草高ノ

コトナリ、俵トハ粃ヲスリテ米ニシタル名ナリ、米ノ一石上ル處ヲ百姓ニアヅケテ、ソレヲ三ツ半ダケトルヲ云フナリ、三千石以上ト布衣以上ノ御役ヲツトメタル人ノアト、ハ、小普請ニ入ラズシテ寄合トナル、寄合金ヲ出ス、寄合金又百俵三兩ナリ、九千九百俵マデハ寄合ナリ、一萬石以上ノ人ハ、コノ方様ハ小普請デモナシ、寄合デモナイユヘニ金ハ出スト覺ヘテオルコトオカシキコトナリ、萬石以下ハ喰ツブシナラヌ、萬石以上ハ喰ツブシデモヨロシイトイフコト、アロフハヅナキコトナリ、御三卿様御三家様ヲノゾクノ外ハ、皆一割ノ利息ハ出サデ叶ハヌコトナリ、十萬石以上ノ人ハ身上十萬石入ルコト、ツキツメ身上ト云ベシ、ツキツメ身上ナレバマダヨロシケレド、十萬石ノ人十萬石ニテクラスハ、十萬兩ノ金ヲカリタル人、十萬兩ギリアルヨウナルモノナリ、元金バカリアリテ利息ダケ不足ナリ、十萬兩ノ金ヲカリタル人ハ、十一萬兩ナケレバ一年ノクラシ出來ヌ理ナリ、三千石ノ人ハ一ワリハ寄合金トイフテ除ケル也、三百俵ノ人ハ九兩ハ小普請金ト云フテ除ケル也、サレバ十萬石ノ人ハ一萬石ハ御役金トシテ除ケネバナラヌ理ナリ、ソレヲ除ケヌトキハ、無利息ノ金ヲカリタル人ノシラベ也、一割ノ利息ノツク金ヲカリテ、無利息ノ金ヲカリタルシラベニスレバ、借財ノフヘル理ナリ、大名ヲバ金ニテ取ラズニ、御役ト云テ取ルナリ、年々ニ取ラズニ、三年モ五年モタメタイチドキニ取ルナリ、平生一割ノ利ヲ除ケテオケバ、サワガヌハヅナレドモ、平生シラベガチガフテオルユヘニ、川々御手傳或ハ御堀サラヘト云モ、大キニサワグコトオカシキコトナリ、御門番ハ半役ナリ、ユヘニ御奏者ノ人ハヤハ



リ勤ルナリ、御門番モ西ノ大手桔梗ハ格別、御當家様へ親シキ家ニテ勤ムル、外櫻田ハ其次ナリ、皆一ト番手一日ニ五兩ホド入ルコトナリ、一年ニハ七八百兩ノコトナリ、五萬石ノ人ハ五千俵ノ入用スベキハヅナレバ、是一割利息ハ是非々々ノケネバナラヌハヅナリ、十萬石ノ人ハ九萬石ニテクラシ、扱王制ノ法ヲ以テ見レバ、一年ニ別ニ三萬石トリテ、六萬石ニテクラスベキハヅナリ、今ヲ以テ見レバ、大キニクルシキコトナレドモ、コレヲスルガ良藥ヲ吞ム心ナリ、瞑眩ハカクゴノマヘノコトナリ、ケ様ニキリチビメ、キリヒロゲレハ、又其代リニコノ一割ノケ金ヲ大坂ヘアヅケテ、フヤスニハ妙ナリ、今白川侯ナドハ升平ヘ御預ケ金モアリ、御借用金モアリケルナリ、イヅレ大坂ヘハ金ヲアヅケテオキテ、カリルコト計策ナリ、アヅケテヲキテカリレバ、利息ナドハ大キニヤスフカスナリ、三朱アヅケテ五朱ニカリ、五朱ニアヅケテ六朱ニカル、皆少シヅ、ノ利息ニテスムナリ、タトヘバ一萬兩アヅケル、二萬兩カル、コレ一萬兩アヅケ金アルユヘニ、二萬兩ヤスフカルナリ、ユヘニ大名ハスコシ經濟ナオレバ、スツ／＼トナオルナリ、又身上モスコシ工夫メグラセバ、デキニナオルコトナリ、唯大坂ノ法ヲヨク／＼見ルベキコトナリ、扱大坂ノ風俗ヲヨクキクベキナリ、武士ノ一向ニシラスコトナリ、コノ風俗ヲモシラヒデ才角ニ出ルコト、大キニ損スルコトナリト知ルベシ、一體元金引キノ法ヲ知りテ、扱随分銀主ヘ損ヲカケヌヨウニスルニト術ナリ、損ヲカケヌト武士ニイフテキカスレバ、元利ソロヘテチャント返スコト、思フコト、又々大キニチガフナリ、江戸ニテハ利息ヲヤルコト元金ト同高ニナリ

タル金ハ、金主ノ損トサワグコトノ由ナリ、利息一割ニテ十年ノ間利息無<sub>レ</sub>滞<sub>レ</sub>ワタセバ元金ヌムナリ、  
ユヘニ江戸ニテハ二十五年以前ノ金ハ、元金引ト云事出ルコトアリ、皆利金ヲ元金ト引合セテ見ル法  
ナリ、大坂ノ元金引モ是無理ナラヌコトニテハナシヤ、利息ヲトルコト元金ノ金高ニナレバ、訴訟シ  
テモ叶ハヌユヘナリ、是利息ヲ外物ニ見ヌユヘンナリ、銀主ヘ損ヲカケヌト云コトヲヘンナ解シヨフヲ  
スレバ、一向ニ今ノ世ニハ出来ヌコトナリ、利サゲヲ頼ムモヤハリ損ヲカクルナリ、年賦ニシテモロフ  
モヤハリ損ヲカクルナリ、今イフ損ヲカケヌトハ、元金引ヲシテ見テ、ソノウチノ入用諸費ヲモ算シ、銀  
主ノメイワクニナラヌヨウニト算スルコトナリ、中々銀主ハ損ヲスルコトニテハナキナリ、此方ヨリ無  
算用ニソロバンヲ入レバ、ヤタラニ損ヲカケルヨフニ見ユレドモ、ソノヨウナル銀主ハヒヨロヅイタル  
コトニアラズ、ユヘニ始メニモダマサレル氣ヅカイナキナリ、始メニモダマサレズ、後ニモ損ヲセヌガ  
大坂ナリ、始メニダマサレタル顔ヲスルモ、後ニ損ヲシタル顔スルモ、皆品ヨウカシ借りヲシテ、大  
名ヘモ銀主ヘモヨキヨウニト計リタルユヘナリ、武士ヲアザムクニアラズ、武士ノミコモミアシキユヘ  
ニ、ケ様ニハカロフコト大坂一統ノ風ナリ、ユヘニ大坂ノ風ヲヨクノ心得ベキコトナリ、管子ニ之  
ヲ思ヒ之ヲ思フ、之ヲ思テ通ゼザレバ鬼神之ヲ通セントストイヘリ、大坂ノ貧ヲニクミテ富ヲコノム  
コトハ天性ナリ、富ム法ニクワシキコト、ナルホド人間ワザデハナキヨフナレドモ、一體ハ唯一ツニ  
貧ヲイトフ心ヨリ、鬼神タスケタルコトナルベシ、貧ヲニクムユヘニ、利息ヲモ進物扶持米ヲモ、元金

へ入レルコトナリ、元金ノ耗ルハ貧ナリ、ユヘニ元金ノヘラヌヨフニスルユヘニ、錢五文ニテモ、三文ニテモ、何萬兩ト云元金ノ中ヘカヘシテオクコト巧ナルモノナリ、武士ハ貧ヲイヤガラズ、貧ヲ好ム法ヲスルナリ、己レガ家ニ貧乏神ヲ呼ビコムハ、マダモ罪アサキコトナリ、君ノ家ノ貧乏神ヲステオキテ逐出サズトイフハ、イカニモ忠ニナキコトナリ、大坂ニテ貧乏神ヲイヤガルコト甚シキモノナリ、先銀主ノ家ニテ毎月晦日ニハ貧乏神ハラヒトイフコトヲスルナリ、其法ハ其家ノ番頭タルモノ、先ヅヤキミソヲ大キフ作リテヤクナリ、コレハ貧乏神ハ甚ヤキミソヲ好ムトイフコトユヘニ、ヤキミソヲ作リテコレヲヤキテ、其ニホヒ家内中ヘユキワタルヨウニシテ、家内中ノ貧乏神ヲノコラズ右ノヤキミソノ處ヘ集メテ、ヤキミソノ中ヘ入ルトシタルモノナリ、扱貧乏神ヤキミソノ中ヘノコラズ入リタルト思ジブンニ、右ノヤキミソヲアゲテ、又新タニヤキミソヲ割リテ、口ヲワントアクヨフニシテ、口ヲヒロゲテ旦那ノ居間ヨリ奥向坐鋪・小坐鋪・見世・臺處ヲハシリマハリテ、其間ノ貧乏神ヲノコラズヤキミソノ中ヘイレル法ナリ、家内ノコラズハシリマワリテシマヘバ、其ヤキミソノ口ヲシツカリトシメテ川ヘナガスコトナリ、是甚兒戲ノヤフナルコトナレドモ、貧乏神ヲ甚ギロフトイフコトヲ、家内一統デツチ下部ニ至ルマデヨク／＼知ラスル法ナリ、家内ニテモ此家ハナルホド貧乏神ハ嫌ヒジヤト云コトヲ知リ、下女下男マデモコノコトヲヨク／＼シレバ大キニ計策ナリ、先第一ニ家來トイフモノハ、旦那ノトリタテルモノナレバ、何トゾ旦那ノ氣ニ入りタキト思フコト奉公人一統ノ心ナリ、如レ是

旦那ハ貧乏神ヲキラフテ、金銀ノフヘルコトヲ好マル、ト思ヘバ、何ヤカニツケテモ旦那ノ費ヲハブク心ニ自然ニナルナリ、忠ヲスル心ハナフテモ、立身ヲスル心ナキモノナシ、立身ヲスルニハ旦那ノ氣ニ入ラネバナラヌ、旦那ノ第一ニ好ムモノハ金銀ニテ、第一ニイヤガルモノハ貧乏神ナリト思バ、是日夜朝暮箸ノアゲオロシニモ、此事胸中ニアルナリ、サレバ算用ゴト損徳ゴト、入金ノ多ナルヨフニトスルコト、出金ノスクナフナルヨフニトスルコト、心ニヤムコトナキユヘ、家内一統皆貧ヲ嫌フト云フ家ニナルナリ、ケ様ニ家内ヲシナシテヲイテ、扱共上ニテ家ノシマリ、出入屋舗ノ役人ノアツカヒヲスレバ、兎末ナコトハナイトシタルモノナリ、扱又今橋ノ井池ニ井筒屋ノ何某ト云モノアリ、コノ人又豪傑ナリ、コノ人ノ思フニ、昔ヨリ大坂ニ諺アリ、箒ノ柄ヲ一寸キリテ、鍋炭デ燈心ヲウレバ、身代ハナヲルトイヒ傳ル、ナルホド面白キコトナリ、面白キコトナレドモ、誰モ今是ヲ行テ見タル人ヲキカズ、コレハ一ツ行フテ見タキコトナリ、此事ヲ行ハハナルホド旦那ハシマツ人ナリト家内ニテ思フベシ、サヨフニ下々マデ思ヘバ、自然ニ下々マデシマツニナルコトナリトイフテ此事ヲ行ヘリ、先箒ヲカヘバ柄ヲ一寸ヅ、實ニキルナリ、ヒツキヨウ棕櫚箒ナドノ損ズルハ、下女箒ヲ杖ニツキテ話ナゾヲスルユヘニ、掃除ニモ長ツカ、ルナリ、扱箒ノ先キジキニイタミテ損スルナリ、一寸キレバ甚短フナルユヘニ、杖ニツクコトナラヌユヘニモ、中ニモツテオルカ、曳ズリテオルカセネバナラヌユヘニ、話ナゾスルコトナシ、早フ掃除ヲシマイテ、手ヲヤスメル趣向ニナルユヘニ、掃除モ早フスムナリ、箒



モ損ゼヌナリト云計策ナリ、大坂ノ貧ヲイトフコト甚シキユヘニ、心ヲセメテ心ニ求ムルナリ、心ニ求メテ心ニ得ルコトハ、古ノ賢者ノ治ヲ欲シテ治ヲ得ルモ、大坂モノ、富ヲ欲シテ富ヲ得ルモ、チガヒタルコトナシ、楚ノ莊王ノトキ孫叔敖相タリ、扱楚ノ民車ノヒキ、ニ乗ルコトハヤリテ、楚國中ノ車ガヒク、ナリタルトキニ、楚王ノ思フニハ、車ノヒキ、ハ馬ノクルシムコトニテ、馬ノ損スルコトナレバ、何トゾ民皆車ヲ高フスルヨフニト思ハレテ、觸ヲ出シテヒクキ車ヲ制禁ニセント思ハレタルトキニ、孫叔敖ノイフニハ、凡ソ國ヲ治ムルモノハ觸ヲタビく出サヌコトナリ、タビく觸ヲ出セバ民ガウロタヘサリグ、政ノ下手ナルナリ、如シ車ヲ高フセント思ヒ玉ハ、村々ノ門ノシユフクヲ高フセイトイヒツケルコト宜シ、門ノシユフク高フセイトイフハ、民ノウロタヘヌ、サワガヌコトナリトテ、村ノ門ノシユフクヲ高フサセタリ、扱車ニノル人車小サフテハ、村ノ門ヲマタゲヌユヘニ、皆小車ヲヤメテ高キ大キナル車ニノレリトイフコトアリ、コレ心ニ求メセメテ得タルナリ、掃除ヲ早フセイ、箒ヲ損サスナナドイフイヒツケハ、ウルサキイヒツケナリ、箒ノ柄ヲ一寸キルハ、ナンノコトモナイコトニテ、下女モウツカリト思フテ掃除ヲ早フスルナリ、楚ノ民モウツカリト思フテ車ヲ高フスル、皆下ヲ御スル術ナリ、扱々鍋炭ト燈心トカヘル法ハ、行燈ハ下女ノ司ドル處ナリ、然ルニ燈心ヲ下女自由ニ入ル、コトナラスナリ、燈心ハ見世ノ番頭ガウルナリ、番頭ガ下女ヘ燈心ヲウルトキニ、鍋炭ニテ賣ナリ、鍋炭ヲ秤目ニカケテ、何処ニ何本トシテウルコトナリ、燈心ハ毎夜ナケレバナラスナリ、ユ

ヘニ鍋炭ヲ三度ヅ、コソゲネハ、燈心ガ手ニ入ラスナリ、ユヘニ閑暇ナルアカリハ、下女ガ忽チニ吹消シテオクナリ、油ノ入用大キニチガフナリ、扱鍋炭ノ尻ニ炭タマラスユヘニ、スコシノ薪ニテモチキニ煮ルモノ煮ルナリ、薪ノ入用大キニチガフナリトイフ計策ナリ、此ノ二ヶ條ハ昔ヨリ大坂ニテ金ノビル法ナリ、言傳ルコトナレドモ、實ニ行フテ見タル人ハ此井筒屋計ナリトイフテ、或人ノハナシニキケリ、扱鶴ノ會ニ出席スル男ノ内ニ大工ノ棟梁アリ、此大工ノ話シニ、今勘辨ノ上手ナル人ハ井筒屋ノ主人ナルベシ、今度ノ普請ハ即チ某ガ仕タリ、屋根ノ上之物干シト云物ハ、上ニ屋根ノナキモノユヘニ、雨ザラシナリ、ドノヨフナルクサレタ木ニテ作りテモ、久シフモタヌモノナリ、スコシ腐ルレバジキニ拵ヘ直ネバ、アブナキモノナリ、ユヘニ勘辨ノシニクキノナリ、井筒屋ノ考ヘニハ、物干ノキリクワセノ所ゴトニ、銅ヲマキタラバ腐レハ入ルマイト思フナリ、右ノ銅ハ一ペンギリニテ用ニタ、ヌトイフモノニハアラズ、物干ハ何ベン拵ナラシテモ、銅ハ一ペンギリナレバ、平均シテ見レバ大キニ勘辨ナルコトナルベシトテ、算盤ニテ割リテ見ルニ、只今迄ノ半分ノ入用モカ、ラヌナリト云フテ、井筒屋ヲ感心シタルコトアリ、凡大坂ノ利ニ精シキハ淺キコトニアラズ、十年モ二十年モ平均シテ見ルコト常ナリ、武家ナドハ年々ニ取リモノアルユヘニ、ナルホド利ニ精キニ及バヌコトナリ、左レドモ今大坂ヘユキテ、利ニ精キ人ト談ゼネハナラス用事アレバ、利ニ精シキ男ノ腹中ヨフ知ラネバナラヌナリ、下々ノ惡風俗ハ君子ノ知ルニ及バヌコトナレドモ、只今下々ノ惡風俗ノ民ヲ治メン

トスルトキニハ、ヤハリ惡風俗ヲクワシフ知ラネバ治メラレヌナリ、盜人・山師・ウソツキ・輕薄モノ  
ノコトハ、君子ハ知ルニ及ビソノモナイモノナレドモ、第一ニ知ネバ拔目アルナリ、油斷アルナリ、  
盜人ハ敵ナリ、山師ハ敵ナリ、ウソツキハ敵ナリ、輕薄モノハ敵ナリ、コノ敵ヲ此方ヘ降參サセテ、心ヲ  
改サセヨフトシテモ、先敵ノ腹中ヲ知ネバナラヌ理ナリ、下々ノ惡風俗ヲ治ルトハ、惡風俗ヲ止メサセ  
ントスルナリ、ヤハリ敵ニ心ヲヒルガヘサセテ、此方ヘ降サセントスルニチガヒタルコトナシ、惡風ノ  
下々ハ上ノスキマヲネライテ欺カントスルナリ、欺カレマイトスレバ、是戰ヒナリ、人ノ損シテ名ノ  
汚レテ事ノ成リカヌルユヘンナリ、大坂ヘ出ル役人ナンデモ大坂ヲナヤシテ、金ヲカリント思ヒテ謀  
計ヲメグラシテ、此方ノ言通リニセントスルハ、ヤハリ敵ニ降參サセンニチガフコトナシ、故ハ相手  
トイフコトナリ、對シテ言語ニテ此方ノイフコトヲ用ヒサセント思フヨリ外無シ、然ルニ大坂ヘ出ル  
役人、一向ニ敵ノ陣ヲモシラズ、ヤタラゼメニセメテ此方ヘ降參サセントスルコト無理ナルコトナリ、  
老子ニモ敵ヲ輕ンズルホド不智ナルコトハナシ、依テ敵ヲ輕ンズルハ吾寶ヲ失フニ近シト云ヘリ、況  
ヤマタ敵ヲハカリタルコトモナフテ、ヤミクモニユクハ空ナルコトナリ、其上ニ儒者ハ事ノ理ノワカラ  
ヌモノナリ、惡人ノ情ヲ知ルコトヲ法度ニスルコトガ、トント合點ノユカヌコトナリ、甚シキニ至リテ  
ハ、民ノ情ヲモ知ルコトヲ禁ズ、下賤ノ人ノ情ヲ知レバ下賤ニナル、惡人ノ情ヲ知レバ惡人ニナルト  
覺ヘテオル様子ナリ、大キニタワケナルコトナリ、善人ハ此方ヘ害ヲナスコトナシ、此方ヘ害ヲナス

コトノナキ人ノ情知リテモヨシ、知ラヒデモ此方ノ害ニナラスコトナリ、第一ニシラネバナラヌモノハ惡人ノ情ナリ、ヒヨツトオシソコナイ、ヒヨツト抜目アレバソコヘツケコミテ此方ノ害ニナルコト出來ルナリ、コレ第一ニ知ラネバナラヌ證據ナリ、扱君子ハ理ヲヨフ嚙ミワケテオルモノナレバ、此方ヨリ理ヲイフテキカスレバ、合點スルモノナリ、下賤ノ人ハ理ガ己レガ業デナキユヘニ、理ニカマワヌナリ、ドノヨフナメツボフカイナコトヲスルカ知レスナリ、君子ヲ治ルハ理デ治ルユヘニ、格別骨モ折レヌナリ、下賤ノ人ヲ治ルハ、下賤ノ情ニツキテオシテ見ネバシレスナリ、是第一ニ知ラネバナラヌハ下賤ノ情ナリ、後ノ儒者ノ言フコトヲ戰ヒニウツシテ見レバ、敵ノ謀計ヲ知ルコトヲ法度ニスルナリ、敵ノコトヲバ何事ニヨラズ、知ラヌガ君子ジャ、知ルト言ハ君子ノセヌコトジャ、是大タワケノ論ナリ、下賤ノ人葛天無懷ノ民ノヨフニ極々愚ニテ、木ヤ石ノ様ナ民ナラバ、ナルホド知ルニモ及バヌコトモアルベシ、後世ノ奸猾ノ民上ノスキマヲネラヒテ、欺カントスルモノドモノ情ヲ知ルコト法度ト云ハ、是唯欺カレタホド欺レテ、ウカト危地ニ至ルコトナルベシ、孟子ニ曰、先己レガ情ヲ推シテ知ルガ始リジャ、己レガ情ガ知レバ人ノ情ガ知レル、人ノ情ガ知レバ物ノ情ガ知レル、物ノ情ガ知レ、バ天ノ理ガ知レルト云ヘリ、然レバ古ヘノ聖賢ハ唯情ヲ知ルヲ學問トス、後ノ儒者ハ情ヲ知ルコトヲ禁ズルコト治平ニナラヌ種ナリ、君子ハ理ヲ持マヘニシテオルユヘ、諭シヨイトイフタレドモ、君子モ君子ニヨルナリ、君子ハキツト理ヲ持マヘニスル人バカリアルニアラズ、又理ニクワシキ



ホドナラバ、諭スニモ及バヌコトナレドモ、諭スト云ハ先方ノ心得チガフテオルユヘ諭スナリ、心得  
ノチゴフテオルト云ハ、是ウソツキカ、輕薄者カ、惡人カ、愚ハカナリ、此人ヲサトス時ニハ、此人ノ  
心ヲ知ネバサトセヌナリ、サレバ惡人。愚人ノ心ヲ知ルガ第一ノ急務ナリ、狂人東ニ走レバ追者モ亦東  
ニ走ルトイフテ、氣ノチガイタル人ヲツカマヘテコヨフトスルトギニハ、先ヅ狂人ノハシリテユク方  
ヘユカネバナラヌナリ、今西ノ方ヘ狂人ヲツレテユカフトイフトキニ、狂人東ノ方ヘ走ル、是東ノ方  
ニ用事ハナケレドモ、今狂人ガ東ヘハシレバ、ヤハリ先ヅ東ヘハシリテ狂人ヲトラヘテ、ソレカラ西  
ヘツレテユカネバナラヌナリ、惡人。愚人ヲ善人ニシヨフト思フニ、惡人。愚人ハ惡ノ方ヘハシル、愚  
ノ方ヘハシルユヘニ、惡ヤ愚ニ用事ハナケレドモ、先此方モ惡ヤ愚ノ方ヘ走リテ、惡人。愚人ヲトラ  
ヘテキテ、ソレカラ善ノ方ヘツレテユカネバナラヌナリ、サレバ武士ノ愚惡ヲ知ラネバ諭スコトナラ  
ヌナリ、先武士ノ面々ハ先祖代々共旦那ヨリ米ヲ一年々々ニトリテオルモノユヘニ、米ヲトルベキハ  
ヅノモノジヤト思フテオルナリ、ドフイフワケニテ米ヲ旦那ヨリ賜ル、ドフイフワケニテ家來ハ米ヲト  
ルト云本源ヲ知ラヌ人多シ、多クハ旦那ノヤツカイモノニナリテオル心持ナルモノナリ、ワケハナケ  
レドモ、因果ヅクニテ旦那ガ米ヲ損ヲシテ、家來ヲハゴクムト云ヨフニ、中ズマシニスマシテオルナ  
リ、ユヘニ其旦那モワケヲ推シテ見ズ、唯家來ヲハゴクムト覺ヘテオルナリ、ハゴクムトハ飢寒ヲサセ  
ズニ、一生ヲスゴシテヤル名ナリ、ワケナフテハハゴクムト云コトナキコトナリ、天ノ理ハ皆算用ノア

イタルモノナリ、ドフイフワケデ賜ル、ドフイフワケデ受ルト云フ、ワケガナフテカナハヌコトナリ、ワケヲ知リテカラ賜リ、ワケヲ知リテカラ受ルト云フ風ニナレバヨキナリ、凡世祿ノ人トイフモノハ、此ワケヲシラベヌモノナリ、甚天ノ理ニソムキテ、天ニニクシミヲウクルコトナリ、又ナゼニ此ワケノワカラスコトニナリタルト云ニ、堯ノ舜ニ譲リ舜ノ禹ニ譲ルマデハ、此ワケワカリテアリタレドモ、禹ガ子ノ啓ニアタヘタルヨリ、代々子ニアタフルコトニナリタルガ始リナリ、堯ノ舜ニアタヘタルハ、アタフルワケアリテアタヘタルナリ、堯ハ天下第一ノ智アル人ナリ、天下第一ノ智アル人、天下第一ノ富貴ニ居ルハ、天理ニシツクリトアイテオルナリ、堯天下ヲ見ルニ、舜ガ天下第一ノ智アル人ユヘニ舜ニアタヘタリ、舜モ受ルワケガアルナリ、舜ノ禹ニアタヘ、禹ノ舜ニウケタル、皆其ワケナキニウクルコトニアラズ、一體家來ガ吟味セズニ、取ルベキモノヲ取ルヨフニ覺ヘテアルハ、其旦那モ其氣味アルユヘナリ、サレバ旦那タルベキモノモ此ワケヲ知リテオレバ、朝夕ノ奢侈モ少シハ氣ニカルハヅナリ、旦那ガ朝夕ノ奢侈ヲ氣ニカクレバ、是家來モ亦此ワケヲ氣ニカケネバナラヌ勢ニナルナリ、扱此算用ガ胸ニアレバ、一向ニウツカリシタルコトガナキユヘニ、旦那モ家來モシツクリト算用ガアフデハナケレドモ、心ニ算用アレバ、先賜リモノヲ龜末ニセヌ心アリ、扱セメテハ骨キリ働キデモシテ、算用ヲ合セタク思フ心ニナルナリ、左レドモコノ算用ノコトヲ上ヨリ觸レルコト又下手ナリ、自然ニ心ヅクヨフニスルコト法ナリ、是則天ノ草木ニ花サカセルシカタナリ、先方カラ心ヅキテ、先

方ヨリ其心ニナルヨフニ鼓舞スル仕方ナリ、コノ術ハ樞密賞ト云コトヨリ宜シキハナシ、樞密賞ト云コトハ古ヘニモナキコトナリ、名モ鶴ガ付タル名ナリ、樞密賞ト云コトモナシ、名モナケレドモ、コレデ下々ノ行儀ヨフナレバヨキコトナリ、世ガ古ヘノ通りニテヲラヌモノユヘ、治メ方モ古ヘノ通りデオケバ不足ナリ、古ヘニナキ風俗ヲ治メントスルニハ、古ヘニナキ法デナケレバ治ラヌ理ナリ、今ノ蹈車ト云モノモ、絲クリト云モノモ、稻コギト云モノモ、古ヘニハナキモノナリ、古ヘニナキモノハ、皆邪法邪道ナリト云コト儒者ノイフコトナリ、ソレハ仁義禮智ヲ止メテ外ノコトニシヨフノ、君臣・父子・兄弟ヲ止メテ外ノ順ニシヨフノトイフトキニイフコトナリ、五常五倫ナドハナルホド天ノ理ニツキテ、聖人ノ建立シタルコトナレバカヘラレヌナリ、封建ヲ郡縣ニシタルヲバ、秦以下皆古ヘニソムキテ郡縣ニセリ、況ヤ五常五倫ノ行ハル、ヨフニスルコト、古ヘニナキ法ヲ組立ルコト、少シモクルシカラスコトナリ、此樞密賞ト云コトハ家中ヘ用ヒテモ、村方ヘ用ヒテモヨキコトナリ、寺子屋ガ寺子ノ業ニス、ムヨフニスルニモヨキコトナリ、此法ハ一體旦那ノ知行高ト、世ノ中ノ奢侈ト寸法合ストイフヨリ出タル工夫ナリ、權現様御時代ハソノハズノ事ナリ、台徳院様モマタ御入國當分ノ事ナレバ、ソノヨフニ不思議ノコトニモ思ハヌナリ、大猷院様ノ時ヨリトント別ニカワリテ、先公卿補任トイフモノヲ御ハズシナサレテ別ニナリ、諸大名ヲ御家來ニナサレテ四位ヨリ進ム、コレヨリ武家ノ立派ニナリタルコトドコヘモサシカマヒナキコトニナリテ、ソロソロ奢侈ニナリタルナリ、奢侈ニナリ

タル處ガ今日ニクラベテ見レバ、至テ儉約ノコトナリ、ソレヨリ御代々々ゴトニ、スツ／＼ト風俗ス  
スミテ上ルナリ、衣服・家居・飲食・遊嬉ノコトハ昔二十倍モ二十倍モセリ、スデニ大猷院様ノ時ノコ  
トヲ今日キケバ、一向ニウソバナシトナラデハ思ハレヌナリ、嚴有院様ノトキモウソノヨフナリ、  
常憲院様ノコトハスデニ□□時分ノコトナレバ、近キコトナレドモ、今日ニテアリテ見レバ、一向  
ニ合點ノユカヌヨフナルコトアリ、文昭院様・有章院様ハスコシノ間ノコトニテ、有德院様ノトキニ文  
昭院様ノ御奢侈ヲ儉素ニ立ナオサレタルコトナリ、去バ文昭院様ノ奢侈ハドレホドノコトナリト云ニ、  
今ニ在テ見レバ、何モ奢侈ラシキコトモナシ、且下々ノ風儀ニテアリシユヘニ、天下中ノ奢侈ト云モ  
ノニアラズ、唯御本丸様ギリノ奢侈ナリ、惇信院様ヲヘテ俊明院様ニ至リテハ、上ノ御奢侈モ風カワリ  
テ、一體ニ唯大ソフニナリタルノミニテ、御奢侈ト云ニモ當ラヌナリ、文昭院様ハ御奢侈ナリ、ケレ  
ドモ風俗ハ奢侈ナルコトナキユヘニ、有德院様御立オホシナサレバ立テナオリシナリ、是ハ上御一人ノ  
奢侈ユヘニ、上御一人御行儀ヲ改メラルレバナオルト云モノナリ、俊明院様ヨリ天下一統ノ奢侈ノ風  
ト云モノニナリタルユヘニ、上ノ御奢侈ハ一向ニナケレドモ、下々ノ奢侈甚キユヘニ、トリナヲスコ  
ト甚六ヶ數コトナリ、奢侈ガハヤレバ、人々智ヲ爭巧ヲ闘、奸猾ニナルコト歴代カハルコトナシ、奸  
猾ニナラネバ奢侈デキヌユヘナリ、奸猾ニナリテ奢侈ヲスルモノハ工商ナリ、此工ト商ト恣ニ奸猾ニナ  
リタルユヘニ、農ヘモソロ／＼ウツリ、種々ノ物ヲ植ツケ作り出シ、山ノイタバキ迄種ヲマキテ、扱



役人ノ目ヲクラマシテ入り金ノ多キヨフニスルコトユヘニ、近年ノ町方ノ立派、村方ノ立派ト云コト、月々日々ニ進ミテ止メドモナキ様子ナリ、サレドモ昔ヨリ入金ノ多イヨフニシテ奢侈スルユヘニ、自分不相應ニ立派ヲシテモデキルナリ、扱リツバラシテモ、コレハ入金ノ多クナルヨフニシテ奢侈スルユヘニ、奢侈ガ出來ルハ天ノ理ナリ、奢侈トハ出金ノ多キコトナリ、出金ノ數ト入金ノ數ト合ヘバ、刑罰ニモアハスコトナリ、然ルニ今武家ト云モノハ、權現様・台徳院様ノトキニ取りタル知行ノマヽニテ、世ノ流行ニツレテ取ルコトノマスト云コトナキモノナリ、農・工・賈ハ流行ニツレテ取り物マヌユヘニ入金多シ、入金多キユヘニ出金多クナリテモ、ツヂツマモ合フナリ、武家ハ取り物ハ昔ノ通りニテ、出金ハ世ノ流行ニツレテ多クナルユヘニ、ツヂツマ合ハスナリ、是大名ハ借金多クナル毘ナリ、家中ノ人ハ旦那ヲ怨ミル理ナリ、今家中ヲスクフ計策ハ樞密賞ニシクハナシ、農家モ工商ノヨフニハイカヌユヘニ、農ニモコノ樞密賞ヲ用ユルコト宜シトイフナリ、扱ナゼニ工商ハ世ノ流行ニツレラレテ、農ト士トハ流行ニツレラレルコトナラスト云ニ、働キヨフヲ知ラヌユヘナリ、農ト士トニ働キヨフヲ教ルニハ、働ケト下知スルコトアシヽ、一體士ハ旦那ヨリ年々米ヲモロフテオルユヘニ、奢侈スルコトハナラネドモ、飢ルコトモナキナリ、農モ田地ヨリ出ルモノヲ食フユヘニ、是レモ飢ルトイフコトハナキコトナリ、飢ルトイフコトナキユヘニ、出精ジテ働クコトヲタイギナルコトニ思フナリ、韓非子ニモ此事ヲイヘリ、今ハバノ一間ホドモアル谷ニテ、モシコレヘ落レバヂキニ死スルトイ

フ谷ヲ越サセント思フニ、何モヤラズニ唯飛越セトイフテハ、千人ガ千人ナガラ飛越エヌナリ、トビ  
越タルモノヘハ金百兩賜ルトイハバ、千人ノ内五十人カ六十人ハ飛越ユベシ、如シ後ヨリ狼ナド口ヲ  
ヒラキ來ルカ、猪怒リテ來ルカアレバ、何モヤラヒデモ、千人ガ千人ナガラ飛越ベキナリ、サレバユ  
ルヤカナレバ出精セヌハ人情ナリ、急迫ニナレバ出精スルモ人情ナリ、マヅ飢ルコトナケレバ出精セ  
ヌモノナリ、工モ商モ無精ナレバ、デキニ飢ルナリ、飢ルハ狼ナリ、猪ナリ、デキニ死ヌナリ、死ノ  
字ガ後ロヘツメクルユハ、一間アル谷デモ飛越スナリ、死ノ字ガ後ロヘツメカケネバ、三尺ノミゾデ  
モコユルコトハイヤニ思フコト人情ナリ、サレバ無精ナルモノヲ出精サセント思フニハ、刑ヨリヨキ  
ハナシ、賞ハ其次ナリ、刑賞オコナハズダマツテ居ルハ恩義ノナイト云フモノナリ、今ノ世ハ刑ヲ甚  
ダキラヒテ、イヤニ思フ世ノ中ナレバ、世ノ風ニチガヒテ刑ヲ用ルモ、世ニカラカイテワルシ、コト  
ニ世ノ評甚ダ以テ大節之事ナリ、一體ハ刑ト賞トハ當分ニ用ユベキハヅノコトナレドモ、世ノ風ト云  
モノアレバ、賞ニテ刑ヲスルコトヨロシ、是ハ賞ニテ刑ヲ行フモ、刑ニテ賞ヲ行フモ同ジコトナリ、  
刑ニテ賞ヲ行フト云フハ、罪ノアル人ヲ刑シテ、罪ノナキ人ヲ刑セヌナリ、罪ノナキ人ヲ刑セヌハ則  
チ賞ナリ、賞ニテ刑ヲ行フト云ハ、功ノアル人ヲ賞シテ、功ノナキ人ヲ賞セヌナリ、功ノ無キ人ヲ賞  
セヌハ即刑ナリ、韓非子ニハ刑ニテ賞ヲ行フコトヲ、孔子ノ魯ノ火事ヲ救フトキノハナシニテ書ケ  
リ、コレカラカンガヘテ見ルニ、賞ニテ刑ヲ行フコトヨロシト思フナリ、樞密賞ハ賞ニテ刑ヲ行ナフ

法ナリ、扱樞密賞ト云ハ、家中へ行ハント思ハ、先ヅ側用人ノ末子カ、近習ノ末ノ弟ナドカラ始ルナリ、側用人ト云役モ、近習ト云役モ、皆奥勤ト云役ナレバ、内々ノハナシガ出來ルナリ、樞密賞ノ用事ナレバ、内々ノハナシノ出來ル人デナケレバ、組合コトガ出來ヌナリ、組合ネバ行ハレヌコトナリ、扱側用人ノ末子カ、近習ノ末ノ弟ノマダ目見モセズ、何モトラズ、何ノ助役ニモツカヌト云人ノ中ニ、キヨウナル人アルモノナリ、器用ナル人ニ樞密賞ヲ以、内々矢ヲハガセルカ、弓ヲウタセルカ、弦ヲ作ラスカ、凡ソ武具ニテモ、馬具ニテモ作ラセテ、扱目付ニ樞密方ノ組合ヲ勤ムル人アルベシ、凡ソ側用人・近習・目付ナド、云モノハ、旦那ノタバサシ向ニテ、内々バナシヲスルコトノ出來ルモノユヘニ、樞密方ノ用事ヲイヒツケラル、ナリ、扱樞密方ノ目付右ノ武具馬具ヲ見出シテ、大ニ感心シテコレヲ旦那ヘ云上ベキナリ、旦那ハ此コトヲキ、テ、右ノ馬具・武具ヲ取り寄セテ見ルベキコトナリ、見テ大キニ感心シテ、武士ノ武器ヲ作ルハ至極尤千萬ノコトナリ、籠城ナドヲシタルトキカ、或ハシバ／＼出陣ナドヲスルトキニ、職人ニ一々云付ラル、モノニアラズ、且古ノ武士ハ武具モ馬具モ大カタハ自身ニ拵ヘタルモノナリ、武士ハ武具・馬具モ自身ニ作り、馬スソ拵モ自分ニスベキコトナリ、當時ハ何モカモ職人ニ云ツケテ作ラセテ、自身ニ作ルモノナシ、不嗜ノコトナリト云書付ヲソヘテ、右ノ武具・馬具ヲ作ル男ニキツト賞ヲアタヘベキコトナリ、コレヲ樞密賞ト云ナリ、扱其後ニ右ノ品ノヨフ出來タルコトヲ賞シテ献上サスベキナリ、然而其品ニヨリテカヒ上ルヨリハ、

下直ニアタルホド褒美ヲトラスルナリ、目付モズイブン氣ヲ付テ、足輕小役人ノ細工ニテモ、武具ノ分ハ皆旦那云上テ献上サスベキナリ、孟子ニモ上好ムモノアレバ、下甚キモノアリト云ヘリ、四五人モコノ樞密賞ヲ行ナヒタラバ、一家中ニテモ此コト大キニハヤルベシ、實ニ武家ハカクアルベキハヅナリ、一々ニ職人ニ作ラセテ、取リヨセルト云コト、フガイナキコトナリ、軍中ワランズナリ、サレバワランズヲモ武士ハ作り覺ヘテオラネバナラヌモノナリ、今ノ武士ハ唯治世ノ武士ニテ、亂世ノ武士ニアラズ、治世ニハ武士ハ入ラヌモノナリ、亂世ノ武士ハ亂世ニ用ニ立ツナリ、治世ノ武士ハ破魔弓ナリ、破魔弓ハ治世ノ武器ナリ、治世ノ武器ハ亂世ノ用ニ立ヌモノナリ、唯御祈禱ノ爲ニ破魔弓ヲ床ノ間ヘカケテオクバカリナリ、床ノ間ヘ盜人入りテモ、敵攻入りテモ、御祈禱ノ破魔弓ハ用ニ立ヌナリ、今ノ武士モ見セカケノ御祈禱バカリノコトナリ、一體ハ破魔弓武士ハ眞ノ用ニ立武士ニアラズ、徂徠ノ鈴錄ニ、山縣流ノ軍術ニ挾箱持・草履取ト云モノアリ、ツマラヌコトナリ、軍中ハワランズヲハクコトナレバ、草履取アロウハヅナシ、挾箱ト云モノハ近來出來タルモノニテ、大名ノ登城スルトキニ、旦那ノ合羽ノ持セヨフガナイユヘニ、合羽ヲタミテ、竹ヲワリテ竹ニハサミテモタセルヲ挾箱ト云、其後ニ箱トナリタルユヘニ挾箱ト云、是軍中ニ挾箱又アロフハヅナシ、然レバ山縣流ハ眞ノ山縣ガ作りタルモノニテハアルマジトカキタリ、コレハ治世ノ軍學ト云ベシ、治世軍學ハ眞ノ用ニ立軍學ニアラズト云ベシ、徂徠ハ死後モカレコレ百年チゴフナレバ、軍中ヲ去ルコト未



ダ百年ニタラス時ノコトナリ、ソノ時デサヘモハヤ如此軍中ノコトヲ忘レタル世ニナリタルコトナレバ、其時カラハ又百年モ立バ、ナヲ／＼武士ノ行儀、武士行儀デナフナルハヅノコトナリ、武備ハヲトロヘヌヨフニシタキコトナリ、武士ノ武備ノナキハ、刃モノ、刃ノナキヨフナルモノナリ、刃モノト云名ノミニテ用ニ立ヌ器ナリ、其上ニ我ハ武士ナリト云テ文學ノコトヲツトメズ、治世ノワザニモ不丹鍊ナリ、治世ノワザニ不丹鍊ニテ、亂世ノコトニモウトフテハ、是無用ノ物ナリ、今樞密實ヲ行ハバ、追々眞ノ武士出來スベキコトナリ、扨獻上ノ武器タマリタラバ、武器藏ノツメカヘヲスベキコトナリ、ドノ屋舗ニモ陣弓ト云テ重藤ノスリ木ノ弓アリ、矢モアリ、アルト云名ノミニテ、ツイゾツカイタルモナキ屋舗多シ、借シ具足。借シ馬具。長柄ノ鎧ナドモ皆古物ナレバ、眞ノ用ニ立ツカ、タ、ヌカ知ラス屋舗モ多シ、今武器藏ノツメカヘヲシテ、今マデ入リテアル武器ヲ順々ニ拂フベシ、人ノカワヌヨフナル器ハアリテモ、用ラレスト云モノナリ、用ラレル器ハ人モズイブンカフベシ、左レバ職人ヨリカイ上ズニ、武具家中ニテ出來レバ、是職人ヘ出ルホドノ金ニテモ、家中ニ止マルト云モノナリ、家中ノ人モウツカリトアソビテオライデヨキコトナリ、セメテハ天理ヘノモフシワケ立ベシ、一體人ハヒマデオルコトアシキナリ、食ヒツブシナリ、小人間居シテ不善ヲナスト云ヘリ、君子ハ間居セスモノユヘニ、君子ノ間居トハイワスナリ、今武士番ヲスル外ハヒマナリ、間居ナリ、ロクナコトハ考ヘ出サスナリ、夏ノ日長ケレバ退屈シテ、日ノクレルヲ待オルコト、天ヘ對シテモ勿體ナキコトナリ、

日ノ長キヲ患フルハ、己ガシワザナキト思フユヘナリ、シワザナフテ生テオルハ、喰ツブシナリ、國  
ニ喰ツブシ多キハ、國ノ貧ニナルハヅノコトナリ、古語ニ寶ハ地ニ棄レンコトヲバニクムガヨイ、己  
レガ爲ニナラヒデモ、寶ノスタリテシモフハ、ヲシキコトニテハナキカト云コトアリ、今途中ニテ錢  
ノ一文オチタルヲ見タルトキハ、ヒロヒテ乞食ニヤル、是則寶ノスタレンコトヲニクミテ、己レガ爲  
ニセズニステヌナリ、コレ誰ニテモスルコトナリ、力ハ身ヨリ出サバランコトヲニクムコトナリ、力  
ハ己レニアル寶ナリ、是ヲ出シテ用ニ立ベキハヅノコトナリ、ソレヲ出サズニヲクハ、是寶ヲスツル  
ナリ、己レガ爲ニナラヒデモ、寶ノスタルハオシキコトニテハナキカト云コトアリ、今人ノ爲ニ智ヲ  
モミテ、事ヲカンガヘテ工夫シテヤルハ、又誰ニデモスルコトナリ、是己レガ智ヲステ、シマワズニ  
用ニ立レバ、己ガ爲ニナラヒデモ、己ガ智ヲ練リテ後來ノ執行ニスルツモリナリ、凡ソ手ニテモ、足  
ニテモ、智慧ニテモ、海ニテモ、山ニテモ、寶ノ出ルヨウニシタルモノナリ、寶ノ出ベキ理ナルモノ  
ナリ、井ノ水ノルイナリ、ツカワズニオケバ、寶スツルニアタルユヘニ、ツカワズニオケバ生ゼヌナ  
リ、腐ルナリ、手ハ瘻ルナリ、ツカフベキハヅノモノヲツカワヌユヘニ、瘻タル手之人ニチガフコトナ  
シ、ユヘニ天ヨリ瘻病ヲ下スナリ、足モカクノ如シ、ユヘニ步行セズニ、他出スルニモ駕籠ニバカリノ  
リテ往來スル人ハ、道之三里モ步行スレバ、ハヤ疲レテアルケヌナリ、ツカレテアルケヌハ是瘻タル  
ナリ、天ヨリ瘻病ヲ下シタルニチガヒアルマジキナリ、智モツカワズニヲケバ、智力カレテ死人ノ心ノ

通りニナルユヘニ、天ヨリ死ヲ下スナリ、海モ山モ物ヲ生ズベキニキマリタルモノナリ、山ヲモ海ヲモステ、オキケレバ物出ヌナリ、井ノ水ヲ汲ズニラケバ水出ヌト同ジコトナリ、至極ヨキ水ノ出ル井ニテモ、汲ズニオケバ井アシフナル、サレバ智ノケツコフナル生レツキノ人ニテモ、ツカワズニオケバアホフニナル、是天ノ意ナリ、至極キヨフナル人ニテモ、手ヲツカワズニオケバブキヨフニナル、至極足ノタツシヤナル人ニテモ、アルカズニオレバコシヌケ同前ニナルコト、愚者ト云ヘドモ知リテ居ルトコロナリ、今武士上ヨリ取ル米ヲウツカリトムシヤ／＼ト喰フテシマフテ、ナンニモセズニオルコト、アホフ・ブキヨフニナル理ナリ、其旦那モ智賢ノ家來ヲ見ス／＼愚不肖ニシテツカフト云フモノナリ、ヤハリ寶ヲステルト云モノニテハナシヤ、コレ旦那モ寶ヲスツルナリ、ヲシキコトナリ、旦那ハ大身ナレバ智ナルハヅナリ、家來ハ小身ナレバ愚ナルハズナリ、愚者ヲバ智ガタスケテヤルベキハヅノコトナリ、家來ノ唯ムシヤ／＼ト喰テ日ノ長キヲ退屈スルハ、愚ナルユヘニ知ラヌナリ、知ラヌモノヲステ、オキテ知ラサヌハ、畢竟愚ノユキトバカヌナリ、扱ナゼニコレヲ知ラサズニオクト云ニ、家來カヘツテ上ヲウラムユヘナリ、上ヲ怨ムコトハ又ナルホドコハキモノナリ、古ヘヨリ家來ガ旦那ヲウラミテ、徒黨シテ強キ言上ナドヲシテ、家ノツブレル人多クアリシナリ、ユヘニコワキユヘステオク、是術ナキコトナリ、家來ヲ叱リテ法令ヲトゲントスレバ、家來ガ怨ムユヘニステ、オクト云ハ、術ナキコトナリ、法令ヲ出サズ叱ラズシテ、家來ノ手足ノ動クシカケヲ工夫セズニ、唯家來ヲオソル

ルコト、サリトハ學問ノ用ニ立ヌコトナリ、鼓舞スルト云ハ即チ先王聖人ノ民ヲ叱ラズニ、強テ法令ヲ遂ントセズニ、法令ノ行ハル、仕方ナリ、金ヲ上ヘ卷上デント思ヘバ、下ヘ強テ法令ヲ出シテ、金ヲ上ヘ上ロト云ヨリ外ニシカタナシト思フハ術ナキコトナリ、下ノ金ヲ上ヘマキ上ル術ハ、水ニ潤下ト云、火ニ炎上トイフ條下ニテ委細ニ辨ズベシ、樞密ゴトナリ、樞密賞ハ即チ鼓舞ノ術ナリ、扱ケ様ニ家中ヲ養フ日ニハ、家中ノ人武具ヲ作りテ、賞セラレトフ思ハネバナラヌ理ナリ、コノトキニ側用人ノ末子、近習ノ末弟ヨリ序デヲコヘテ呼出シテ中小姓ニスベシ、コンドハ誰ガ順ト順々呼出セバ、呼出サレベキハヅデ呼出サレルヨフニ思フユヘニ、ムシヤ／＼喰ニ氣ガツカズニシマフナリ、ウツカリジマイナリ、人ノ心ヲ死心ニスルト云モノナリ、心ヲチャント持ツヨフニ、活心ニナルヨフニ養フベキコトナリ、コレガ即旦那ノ下ヲ思スルト云モノナリ、思スルトハ家來ノ手足ヲ働カセズニ、心ヲ骨ヲ折ラセズニ遊バセテオクコトナリト思フハ、大キニ間違ナリ、ソレデハ下ヲムゴイ目ニアハスト云モノナリ、不仁ト云モノナリ、孟子ノ言ニ吾身仁ニ居、義ニ由ルコトアタワズトイフ、是ヲ自フ暴ト云ト云ヘリ、暴ハ鮮魚ヲ日ナタヘ出シテ、クルシマセルト云フコトナリ、ムゴイ目ニアラスト云コトナリ、人ニ仁義ヲセヌハ即仁ナリ、仁義ヲサセレバサセヨフアルニ、サセヌハ即不仁ナリ、人ヲ暴スト云モノナリ、家來ヲステ、オキテ愚不肖ニソダツルハ、己レガ子ヲステ、オキテ愚不肖ニソダテ、アゲクノハテハ餒凍サスル不仁者ノシワザナリ、是旦那ノ不仁ニチガイアルマジキナ



リ、扱右ノ如クニ法ヲ立レバ、是働キ次第早フ官ヲウルト云モノニナルナリ、是ガ則人ノ心ヲ活心ニスル法ナリ、其上ニ依怙ヒイキデナキコトアキラカニ知レテ宜シ、武士ガ武具ヲ作リテ、其武具ガ上ノ用ニ立ユヘニ、上ノ用ニ立人カラ先ヘ官ヲ授ル、コレ公然タルコトナリ、アレハ家老ノ子ジヤカラ、アレハ用人ノ子ジヤカラトイフハ、功デナシニ官ヲ授ルト云モノナリ、功デナシニ官ヲ授レバ、人功アリテモ功ガ己レノ爲ニナラヌト云モノナリ、功デ官ヲ授レバ、功ガ即己ノ爲ナリ、功ガ己ノ爲ナレバ、功ヲ立ル心ニナルコト是又人情ナリ、下ニ功ヲ立サスハ旦那ノ仁恩ナリ、下ノ爲ナリ、上ニテモヨケレバ、下ニテモヨキコトナリ、扱廣間面番杯ト云モノハ、手足心意ノトント閑暇ナルモノナリ、閑暇ナルモノユヘニ、當番日ニモタワヒモナキアソビヲシテ、日ヲクラス工夫ヲスルコト諸藩一統ナリ、アソビト云モノハ少シヅ、ナリト、錢ヲ入レネバ遊ベヌモノナリ、何事ヲシテアソビテモ、タバアソベヌモノナリ、左レバ閑暇ナル役所ハ當番ニ武具ヲ作ルコトヲ免スベシ、江戸ノ廣間杯ハ客來・參上ナドアリテ、ハレガマシキモノナレドモ、客或者參上ナドアリテハレガマシキコトアラバ、チヨイトカクシテモ、武具ナレバ一向ニハヅカシキコトナシ、却テ來レル客モ參上モ感心スルコトナルベシ、且十人ガ十人ナガラ、チャントスワリテオルモノニアラズ、十人ナラバ五人ナラデハ張り詰ヌコト、是又諸藩一統ナリ、半分ハ廣間番ノ支度處ナドヘ入リテ、アソビテオルモノナリ、ズイブン武具ヲ作ルヒマハ澤山アルナリ、國ハ江戸トハチゴフテ客ナシ、アレバ百日ホド前カラ知レルコトナリ、客ハ

ナフテ唯閑暇ナルモノナリ、家中ノ者ナラデハ往來スルモノナシ、廣間・諸書院・番頭・物頭・留守居・小納戸・小姓・近習ナドハ兎角貧ナルハ、アソビニ錢入ルユヘナリ、凡閑官ハ貧ニテ、劇職ハ貧ナラスハ此ワケナリ、扱テ武人ノ分ハ先ヅアラマシケ様ナリ、ケ様ニ法ヲ立レバ、武藝ギラヒデ文事ズキノモノ又怨ムナリ、文事ズキノモノ、怨マス法甚アルコトナリ、凡武家ハ皆武人ナリ、三代モヤハリコノ氣味ナリ、禮樂・射御・書數ハ、小兒ノトキニ文官武官ヲイワズ、男子タルモノハ是非ニスルコトナリ、武人ハ射御ヲスルニ及バスト云コトナキナリ、吾國家ハ一體武家ト云タルモノユヘニ、一生平生セネバナラスコトニナリテアルナリ、然レドモ家老・用人・目付・小納戸・元ベナドヲ始トシテ皆文官ナリ、サレバ武藝ギラヒデ文事ズキナルモノ、又大キニ大入用ナリ、天下ニテモ文官ハ武官ノ十倍アルユヘニ、諸藩ニテモ文官多シ、唯文ト云ヘバ四角ナ字ヲ讀ムト心得ルコト、是又マチガイナリ、トント四角ナ字ヲ讀マヒデヨキコトナリ、旦那ノ身上ノヨフナルコト、旦那ノ家法ノタツコト、土地ヨリ產物ノ出ルコト、家中ノトリ締リノコト、儉約スチ、凡費用ノハヅケル仕方ナリ、他國ノ金ノ自國ヘ入ルコト、城下ノ民ノ風ヲナラス仕方ノコト、村方百姓ノ風ヲ養フ仕方ノコト、大坂ノ銀主ノ吞込ム仕方ノコト、大アラマシハコノクライノコトニテ、小ワリヘユキテハ、馬ノウリカイ、竈ノ立方、極々些細ノ事ニテモ、皆文官ノモチマヘナリ、凡武藝ギラヒデ文事ズキト云人物ニテ、封事ヲ上ルコトヲユルサルベシ、封事トハ書付ヲ封ジテ印ヲ押シテ、他人ノ見ヌヨフニ

シテ出スコトナリ、人ノ惡事ヲ言上スルコトハ目付ノ役ナレバ、人ノ惡ヲ云コトヲバ禁ゼネバサワギ立ナリ、唯上ニイフ數ケ條ノコトニテヨキコトナリ、人ノ惡事ヲイワント思フ人ハ、コレモ忠臣ナリ、ナルホド惡人アリテハ事マチガフユヘニ、人ノ惡事ハ一バンニキ、タキコトナレドモ、惡事ヲ封事ニスレバ甚騒々鋪ナリテ、鼓舞スル邪魔ニナルコトナリ、ユヘニキビシク人ノ惡事ヲ封事ニスルコトヲバ禁ズベシ、サレドモ人ノ惡事ヲ知リツ、上ヘキカセヌハ不忠ナリ、罪ハ惡事ヲスル人ト等シキ罪ナリ、ユヘニ人ノ惡事ヲバ目付ヘ封事ヲ出スベシ、目付ハ惡事ヲ上ヘ言上スル役ナレバ、目付役人ガ惡事ヲ言上スレバ、人々怨マスコトナリ、騒々シフナラスコトナリ、ユヘニ上ヘノ封事ハ、決シテ人ノ惡事ヲイフコト法度ナリ、イヒタクバ目付ヘイフベシトイワネバ、封事ト云モノハイヤラシフ、氣味ワルフキコエルモノユヘニ、衆ノ安堵スルヨフニ、騒々シフナラスヨフニスル仕方ナリ、扱上書ヲ漢文デカキタガル人ハ、漢文デカ、セルヨキナリ、一體ハ和文デカクベキコトナリ、サレドモ或ハ儒者文章ジマンノ人ハ、漢文ニテカクコトズイブンクルシカラズ、コレハ智慧ヲ試ルノミナラズ、文筆デ舉ベシ、文筆ハ吾邦ニテ常用ノモノニテハナケレドモ、古ヘノ事實ナドヲ知リタキトキニ掌故ニ宜シキナリ、是又一藝ナリ、漢文ニテ封事ヲカク男ハ、極メテ書ヲ看ルコトノスキナル男ナリ、三代ノ儒者ハ皆智慧アリタレドモ、後ノ儒者ハ智慧ハトントアテニナラズ、先ヅハ無キ方ナリ、智慧アリテ博識ナレバ、所謂鬼ニ金棒ナリ、ソレホドヨキコトナン、ソノヨフナ人ハ百人ニ一人モナキモノナリ、

漢文ニカキテ其上ニ封事ノ趣甚面白ク、是家老ニモ用人ニモツカワル、人ナリ、大キニ取立テ用ユベキ  
人材ナリ、文章ハ達者ニカキテモ封事ノ趣甚タワヒモナキコトナラバ、コレ智慧ノナキ人ナリ、智慧ハ  
ナケレドモ、掌故ニ備ルニハヨシト思ヘバ、コレ儒者ナドニシテヨキ人物ナリ、凡一體和漢トモニ役  
柄ニ貴賤ヲツケルコトハアシキコトナリ、王荊公ノ上書ニコノコトアリ、此方ニテモ左様ナリ、支配  
勘定ガ御目見勘定ニナリテ、ソレカラ御勘定組頭ニナリテ、ソレカラ御勘定吟味役ニナリテ、ソレカ  
ラ御勘定奉行ニナルハ、是御役筋ガアキラカユヘニ、ダン／＼貴フナルト云モノユヘ、同ジ藝ニテ同  
ジ局ニイテ貴ナルユヘニヨキナリ、御勘定奉行デ手柄アレバ大目付ヘナルト云ハ、大キニチゴフタ處  
ヘユクコトナリ、況ヤ御先手御弓頭カラ御目付ニナリテ、日光奉行ニナリテ、御作事ニナリテ、御番  
頭ニナルハ、黒キトコロカラ出テ、青キトコロヤ、白キトコロヤ、黄トコロヤ、一向ニ似ツカヌ色ノ  
トコロヲウイ／＼シクマワリテ、又元ノ黒キトコロヘクルナリ、王荊公ノ考ヘニハ、其役ニナレルト  
ハ他ノ役所ヘユキ、又其役筋ヲ吞込ムトハ又他ノ役所ニユキテハ、功者ニナルコトナシ、御先手ニテ  
大キニデカシテ御目付ヘヤリタクバ、御目付格トシテ、ヤハリ御先手ニオキテ、御足高御目付ノ通り  
ニ下サルベシ、日光奉行ヘヤリタクバ、又日光奉行格ニシテ御先手ニオキ、又御作事奉行ヘヤリタク  
キニ、二千石ニ御足高ヲシテ、御作事奉行格ニシテ、ケ様ニドコマデモツミテ御番頭ニナレバ、コレ組  
子ノアシライ方、戦法・軍法・團練ノコト、年久シフシテ御番頭ニナルユヘニ、業甚専ラナリト王荊公



ノ説ナリ、ナルホド諸藩トモ臺所奉行ヨリ取次ニナルトカ、馬屋別當カラ納戸役ニナルトカイフヨフニ、其役ニテ功アル人ヲ、トツテモツカヌ役ニ轉役サスルコト、オシキコトナリ、其役ニテ功ノアルハ、是レ其人ノ人物智慮其役ニヨフ叶ヒタルナリ、其叶ヒタル處ヲ奪ヒテ、ナレモセヌトコロヘヤルコト、下手ナルコトナリ、格ヲアゲ高ヲアゲテ、ヤハリ其役ニオクコトヨロシト云ヘリ、漢ノ専門ノ學ハコト通りナリ、ヒトツモノヲ何千遍モ何萬遍モ讀ムユヘニ貫通スルナリ、アレハ勘定奉行ノオアル男ナレドモ、家老ノムスコユヘニ、勘定奉行ヲバイヒツケラレヌト云フコトアルコトナリ、用人ナラバヤラル、ト思ヘバ用人格ノ勘定奉行、又出來シタラバ大目付ノ勘定奉行、又功アリタラバ番頭格ノ勘定奉行、ソコデ大デカシアラバ、是勝手方ノ年寄役ヲイヒツケレバ、始終同ジコトヲ練リ込ムトイフモノユヘニ、専門ノ勘定奉行トイフモノナリ、左スレバ誰ヲ儒者ニシヨフトモ、大ヤニ貴キ人ニ輕キ役ヲイヒツケヨフトモ、大キニ賤キ人ニ重キ役ヲイヒツケヨフトモ、スキシダイニナルコトナリ、是家中ノ樞密賞ノアラマシナリ

## 稽古談卷之三終

## 稽古談卷之四

扱農ノ樞密賞ト云ハ、是又國ノ富ム仕方ナリ、凡ソ國ノ富ハ土ノ出ノ多キガ其國ノ富ナリ、其國ノ富ハ天下ノ富ナリ、鄰國ノ貨財ヲ其國ヘヒキヨセ、他國ノ貨財ヲ自國ヘスヒトルナド、云コト、チガヒテ、一體地ヨリ出ベキモノヲ、地ヨリ出スコトナレバ、天ノ意ニモ叶フテオルベシ、他國ノ貨財ヲ自國ヘスヒコムモ、霸道ニテ智ノ株シキナリ、自國ノ土ヨリ物ノ生ズルコト多クナルハ、王道ニテ仁ノ株シキナリ、今ノ世ハ鄰國ニモ油斷セラレズ、自國ヲモ油斷ナフ養ハネバナラヌ時ナリ、鄰國ニモ油斷ナラスト云ハ、亂世ノ攻伐ノ類ニ非ズ、賣買損徳ノ事ナリ、鄰國ニ心付ズ、ウツカリトシテラレバ、鄰國ニテ此方ノ貨財ヲアチラヘスイコム計策ヲスルユヘニ、油斷ナラスト云ナリ、自國ヲモ油斷ナフ養ハネバナラストイフハ、鄰國ニテ土ノ出ノ多ナルヨフニスルニ、此方ノ國ニテ工夫セネバ、鄰國ハ富テ此方ノ國ハ貧ニナルナリ、鄰國富テ此方貧ナレバ、金銀ハ富タル方ヘナラデハ流レヌモノナリ、ユヘニ此方ノ國ヲバ富サネバ、他國ハ富ハ流レユキテシモフナリ、以テノ外ノ事ニテハナキカ、一向ニウツカリトシテラルベキ時ニアラズ、サレドモ又ケ様ノ世故ニ此方ノ國富メバ、又隣國ノ金銀ハ日夜ニ此方ヘナガレコムナリ、今大坂ノ富日々月々ニ倍スルト云ハ、大坂ニハ金銀多キユヘナリ、大坂ハ

富ミテオルユヘナリ、管子ニモ倉廩實テ禮節ヲ知ルト云ヘリ、國人ノ行儀ヲ正シフセントナラバ、先  
ヅ富マスニシクハナシ、衣食足テ榮辱ヲ知ルト云ヘリ、惡人ノデキヌヨウニ、罪人ノナキヨフニセン  
トナラバ、先ヅ富マスニシクハナシ、富ムガトント始リナリ、後ノ儒者孟子ノ陽虎ガ曰、爲<sub>レ</sub>富不仁ト  
云コトヲ讀ソコナフテ、富ハワルイコトジヤトイフタルガ始リニテ、兎角富ハ小人ノスルコトニテ、  
君子ハ富ハキライナリト云フヨリ間違ヒ出シテ、今以テ君子ハワザ／＼貧ニナリテ、貧ヲ自慢シテ富  
ヲニクムコトニナレリ、事ノマチガフテ變ノ出來ルコト皆コノ類ナレバ、古書ヲ讀ソコナフヨリ、オ  
ソロシキコトハナキナリ、孟子ノ陽虎ノ語ヲ引タルハ、惡人ト云モノハ口ヨリ出ルコト皆惡ナモノジ  
ヤ、心ガ君子トウラハラユヘニ、言語ハトント君子トウラハラジヤ、先ヅコノヨウナコトヲイフト云  
フテ引キタル語ナリ、「爲<sub>レ</sub>富不仁」ト云ハ、理ノウラハラナリ、「爲<sub>レ</sub>仁不<sub>レ</sub>富」ト云フモウラハラナリ、仁  
ハ富ヲナス德ノ名ナリ、ユヘニ孟子ノ語ハ仁ハ富道ジヤトイヒ、陽虎ノ語ハ仁ハ富マズトイフ、是<sub>レ</sub>孟  
子トウラハラナリ、是陽虎ノ惡人ニテ惡人ナル證據ナリ、コノ陽虎トイフ大惡人ノ語ノ、孟子ノウラハ  
ラヲイフ男ノ語ヲ引キテコレヲ守ルハ、是惡人ヲマナブト云モノナリ、又富ヲニクミテ貧ヲ好ムトイ  
フハ人情ニアラズ、後世ノ儒者ノタワケナルコト如此、孟子ノ此章ニ陽虎曰ノ二句アルハ錯簡ナリ、  
コ、ヘ入ルマジキ語ノ入リタルナリ、其證據ハコノ陽虎ノ語コ、ニアリテハ、本文ツヅカヌナリ、一二  
三四(半)五六トツヅキタルヲバ、誰ニテモ半ノ字ハコ、ヘ出ベキ字デハナイト、イフテスクベキナリ、

此陽虎曰ノ此章ノ中ヘ入リタルハ、此半ノ字ニチガフコトナシ、アルマジキトコロヘ入リタルナリ、是故ニ賢君ハ恭儉ニシテ下ヲ禮ス、民ニ取ルニ制アリ、夏后氏ハ五十ニシテ貢ストイフツバキナリ、賢君ハ民カラ取リ上ルニ、ホドラヒガアル、其ホドライトイフハ、夏ハ五十畝ヅ、アテガヒテ、シヤウ□□ニシタルモノジヤトイフツバキノハナシナリ、コノアイダヘ陽虎ガ曰ガ入ルワケナキナリ、然レバコノ陽虎曰ハドコニアルベキハヅジヤトイヘバ、コレハ惡人ガ惡言ヲイフナラビニアルベキナリ、今辱ヲニクンデ不仁ニ居ルハ、猶醉フ事ヲニクンデ酒ヲシユルガ如シ、陽虎曰トツバケバキコユルナリ、醉フハイヤジヤ／＼トイヒナガラ、無理ニ酒ヲ飲メバ、ヤハリヨフナリ、仁ハセヌガヨイ、富ノジヤマニナルトイフテ不仁ヲスルユヘニ、富ムコトナラヌ、富コトノナラヌドコロデハナク、殺サレテ家モツブレテシマフ、家ノツブレルハイヤジヤトイヒナガラ、仁ハセヌガヨイトイフ、愚人ノ情、不仁者ノ情、カクノ如クアホフモノジヤトイフコトナリ、富ハワルイトイフコトニテハサラ／＼ナキナリ、富字之系圖ハ仁ノ字ヘヒイテアルナリ、ユヘニ爲仁安、富尊榮ナリ、爲不仁危、貧卑辱ナルハヅノコトナリ、ソレヲ陽虎ナド、云フ惡人ハ、サカサマニ覺ヘテオルト云フテ引タル語ナリ、後儒ノヨミツコナヒ、コノ類多シ、聖人ヲ語レバ、イヅレ富ミハ天下ヲ有ツト云、富貴ハ人ノ欲スルトコロナリト孔子モ仰セラレタリ、ナンゾ富ヲニクムベキヤ、コ、ノワケハ鶴ガ著述ノ文法披雲ト云書ニクワシウ出シテオケリ、搜凡ソ樞密賞ヲ行ントナラバ、勝手方ノ役人ニ樞密方ヲ兼帶サスベキナリ、左様ニス



レバ家老ニ一人、用人ニ一人アルベシ、扱目付ニ一人、勘定奉行ニ一人アルベキハヅナリ、村方ハ外官ノ司リナリ、外官ハ外官ニテ樞密方ヲコノ人ニテイヒツケベキナリ、代官ヲ本トシテ大庄屋ニ一人、村庄屋ニ一人樞密方ナケレバ、計策行ハレヌナリ、農方ノ樞密費モ、庄屋ガ己レガ支配ノ百姓ノ内ニ、百姓ノスベキ業、スベテ田畠ズキナル男ヲ見出シテ、何ゾウヘツケサスルカ、山ノスツヲキリヒラカスルカ、用水・惡水ノ溝ヲ工夫サスカシテ、ソレヲ大庄屋ヘ知ラセテ、大庄屋ヨリ代官ヘ表向ニテイヒ上ゲテ、右ノ百姓ニ賞ヲアトフルナリ、出精シテ多クノ田ヲ一人デ作ル男ナド、或ハ内職ニ夜繩ヲナフ男、凡ソ己レガ働キノ外ニ働ク男ヲ賞スルナリ、コレモヤハリ働クコトノスキナ男ニ吹込デ、ケシカラズ働ラカセテ賞ヲアタヘルガヨキナリ、目ニ立ツヨフニシテ賞スルナリ、何ゾ植付タル男カラハ、新植物ヲ上ヘ上ゲサスベシ、新タニ渠ヲ開キテ、用水・惡水ノ爲ニヨキコトアル場處出來タル時ニハ、郡奉行デキニ見分シテ、デキニ賞スベキナリ、他人ヲ勸ムルユエンナレバ、大ソフニ賞スルコトヨロシキナリ、今マデ多葉粉ヲ作ラス處ヘ、今度新タニ多葉粉ヲ作ルト云ヨフナコトハ、多葉粉ヲ献ゼサスルナリ、凡ソ百姓トイフモノハ、ナント云フテモ愿懸ナルモノナレバコソ、其領主ノメシ上ラレタル箸デ物ヲクヘバ、瘡疾ナドハ即坐ニオチルコトナリ、コレホド領主ノ靈威アルモノナレバ、植付タルモノヲ領主ヘ御覽ニ入レタレバ、名前ヲカキダセト仰セ出サレタトイフテモ、有リガタガリテ泣クモノナリ、況ヤ手ヅカラ下サルホドノコトデモアレバ、命ヲカケテモ出精スル心ニナルハ百姓ナリ、越

王勾踐ガ何卒吳ヲ伐ント思ヒテ、必至ノ人ヲホシフ思ヒタルユヘニ、車ニノリテ出ラレタル時ニ、鼃ヲ見ルト忽チニ車ノ上ニテ拜セラレタリ、車ニソヒテ供ヲスル人々問フニハ、君王ニハ何ヲ拜セラルルコトゾト云フ、越王云フ、怒鼃ニ拜スルナリ、鼃ハ怒リテ胸ヲドキ／＼シテ死ヌコトヲ、ナントモ思ハストイフハ、スサマジヒコトジヤ、ワシハコノヨフナ有ガタイコトハナイ、カハユイモノハ怒鼃ジヤ、サテ／＼スサマジヒ怒氣ジヤ、丈夫ハア、コソアルベキハヅジヤ、サテ／＼勇氣ナコトジヤト云フテ、甕角ニ拜セラレタリシカバ、國中ニ勇氣ハヤリテ、其年ニ自身ガ頸自身ニキリテ越王ニ獻ジタル人アリ、コレカラ吳ヲ伐チタルユヘニ、越ノ兵ハ何卒リツバニ討死ヲシテ、君王ヲヨロコバセントシタルモノユヘニ、一人ガ百人ニアタリタルユヘニ、ナンナク吳ヲ亡セリ、是下々ノ勇氣ヲ鼓舞シタル例ナリ、鼓舞セネバ下々ハウカレヌナリ、鼓舞シテヨウ術ノキクハ、トシワカキモノドモナリ、子供ナリ、百姓ハ子供マデ田畠へ出テ働クモノナレバ、子供カ二十位マデノモノヲ賞スルコト術ナリ、コレハイカホド働ラキテモ疲レズ、且ウカレルコトノ甚キモノナリ、ユヘニ二十マデノモノハ猶ヨロシキナリ、工夫ニテ賞ヲ受ルモノハ老人ガ宜シ、凡ソ田へ水ヲ引入ルミゾヲ用水ト云、ケツコウナル水ト云コトナリ、扱又田へ水ヲシヨセテ稻ヲカラスコト有リ、コノ時ニハ此用水ヲ抜キテ、ワキヘヤラネバナラマナリ、コノ拔出ス水ヲ惡水ト云、稻ヲ害スル水ト云コトナリ、用水ヲモ惡水ヲモカネタル渠モアリ、渠ノホリヨウニテ甚ダ損徳アリ、左リノ村へ徳ナレドモ、右ノ村ニハ大キニ損ナルコトモ

アリ、甚智ノ入ルモノナリ、用水・惡水トテ水ニ別アルニアラズ、水スギタル田ノ水ヲ引キテ、水ノナキ田ヘヤレバ、コレ惡水ガ用水ニナルナリ、大キニ工面ノアルモノナレバ、智ノアルオヤヂナヅハ、平生トモニアノ渠ハコウ引ガヨイノ、コノ渠ハコウ導クガヨイノト考ヘテヤルモノナリ、一度渠ヲヒラキテ賞ヲ得タルコトヲ聞ケバ、處々ニテ利害ヲ考ヘルコトハヤル、越王ノ怒龍ヲワスルベカラズ、扱川ノ中ヘゴモクタアリテ島デキテ、畠ニナルコト甚以テアシキナリ、凡福ノ字ヘ目ノツキタル時ニハ、左ノ手デ福ノ字ヲフウリトヲサヘテ、右ノ手ニテ禍ノ字ヲシツカリト握ルコト術ナリ、禍ノ字ノ來ル時モ、禍ノ字ヲフウリトウケテ、福ノ字ヲシツカリト握ルナリ、ケ様ニスレバ、福ヲ見テモウルタヘテ取ラズ、禍ニオリテモ心甚クルシカラヌナリ、福ヲ見テウルタヘテ取ルユヘニ、川ノ中ヘゴモクタアリテ島ニナレバ、新田ニスルコトアリ、コ、ヘ新田ト云福ノ字ヲキレバ、ドコゾニ禍ノ字アルハヅジャガト思フテ、禍ノ字ヲサガスコトナリ、凡ソ川ノ中ヘ島デキレバ、其上ニ水損ノアルハ必定ナリ、水損ノ損ヨリ新田ノ益多クバ、是福ノ字ノ重ガ、目方勝ツト云モノナリ、新田ノ福ノ字ヨリ水損ノ禍ノ字ノ目方勝テバ、是ハセスコトナリ、水損ノ禍ノ字ヘ目ヲ付レバ、福ノ字ノ方ヲ詮議スルユヘニ、心サワガヌナリ、下々ノ人ハ一ガイナルモノユヘニ、チヨツト島ヲミレバ、マタラニウレシガリテ新田ヲモフケタルヨウニ思フコト、智ノタラヌ處ノ致ス處ナリ、左レバ樞密賞ヲ行フテモ、ヨクノ禍福ヲ見定メテ賞ヲ行ハネバ、賞シソコナフト云モノナリ、大セツノモノナリ、扱川ノ兩傍

ニハ堤ヲ築ク、コレヲモ工夫シタルナラバ、面白キ法アルベシ、堤ノ上ニ土ヲ置クヲ、カサオキト云ナリ、笠置ト云コトナリヤシラズ、上ヘカサ高二置クコトナリヤシラズ、堤ノ幅ヲ廣クスルニハ、堤ノ横手ヘ土ヲ付ル、是ヲ腹付ト云、則チ腹付ナリヤシラズ、堤ノ腹ノ肥ルヨフニスルユヘニ、ハラツケト云ナルベシ、堤ヘ竹ヲ植ルハ堤ヲ堅固ニスルコトナリ、竹ト云フモノハ筍モ出ルモノニテ、利ノ厚キモノナリト云フ、堤ガ堅フナリテ利ガ生レバ、兩方ヨキナリ、或曰、堤ノアマリカタフナルハ、アシキコトモアリ、切レテ水損ノ少キコトモアルナリト云フ人アリ、余越後ノ蒲原縣ヲバ所々ヲ歩行キテ見タリ、蒲原ノ内一ノ木戸ト云處ニ、上州ノ高崎侯ノ御加増高二萬石アリ、高崎侯モ頼智豆州侯ノ子ニテ、三千石ヨリトリ上タル人ナレバ、知行處一所ニハナキナリ、コノ一ノ木戸ト云ハ、三條ト云處ニツヅキテオル、三條ハ村上侯ノ陣屋アル處ナリ、五十嵐川ト云川東ヨリ來リテ、一ノ木戸ノ前ヲ通りテ千曲川ヘ落ル、千曲川ハ三條ノ前ヲ通ル川ナリ、五十嵐東ヨリドツト來リテ、千曲川ヘ落ントスレドモ、千曲大河ニテ水ガサ多ケレバ、五十嵐・千曲落ギワニテ大ニ鬭イテ、互ニモチアグルナリ、ユヘニ一ノ木戸ニテハ、平水ヨリ高キコト一丈五尺ナド、云フコトニナル時ニハ、堤ノイタゞキ迄水ノリテ、水張リヒロガルユヘニ、堤ハフワ／＼シテ今ニモ切ントスル勢ヒニナル、此時ニハ堤ハ水モレテ、堤ノ内ヘサワ／＼イフテ川ノ如クニナルナリ、堤ノ水ノモレルハ、手桶ナドノ腹ノ板ノスキマヨリ水ハシルゴトク、ハシルモノナリ、オソロシキモノナリ、水ノ高サハ平地ヨリモ七八尺モ高シ、



此堤キレ、バ村人皆魚腹ニ葬ラル、コトナリ、村中ノサワギ中々近火ナドノヨフナルヤサシキコトニアラズ、疊ヲノコラズカヒ上ゲテ、繩ニテカラゲテ兩テンビンニシテ、堤ヘマダガセルコトナリ、疊ニ石ニテモ木ニテモク、リ付テ、重サヲ取り水ニ入レ防グナリ、此時ニ鶴云、コレハ堤ダイヘ水ノモレルヨウニシテヨクコト、平生ノフタシナミナリ、平生堤ヲカタウシテ、水ノモレヌヨウニシテヲクベキハヅナリト云ヘリ、土人云、ソレハ一向ニ堤トイフモノ、ワケヲ知ラヌ人ノ云コトナリ、堤ノキレヌハ此水ノヨリテ、水勢ノ氣ノヌケルユヘナリ、堤ハモルガヨキナリト云ヘリ、コノヨフナル思ノ外ナルコトアリ、ユヘニトントコノホフヨリ見ハカラヒテ、コレハ福、コレハ禍ナド、キヌルハ、マダ、ヤハリ智ノタラスコトナリ、其土人ノ巧者之人ニキカネバ知レヌナリ、家中ノコトヲ家老ガ捌クトハ、トント類ノチガフテルコトナリ、又土地ニヨリテハ水ノモラヌヨフニスルガヨキ處モアルベシ、土ニネバリアルモアリ、カレタルモアルベシ、余一年大坂ヨリ兵庫ヘ歩行ニユキタルコトアリ、湊川ノキレタル翌々日ニテアリシナリ、湊川ハ弓弦羽ヨリ出デ、源甚チカシ、ユヘニ急ニ出テ急ニヒク水ナリ、堤キレタルユヘニ、堤上ノ松堤トモニ土手ヲスリヲリテ、倒レタルホドノ大水ニテアリシナリ、土人云、堤ノキレルハ奇ナルモノニテ、堤ノ上ニ水モリ上リテ、水ノ堤ヨリモ高キコト七八尺ナリ、サレドモ堤キレズ、唯水ノ堤ノ上ヲコヘテ溢ルレバ、忽チニ堤キレルナリト云ヘリ、凡ソ堤ナゾノキレヌ工夫ハ、其土ニモヨルコトナレドモ、シカタナンボモアルベキコトナリ、越後ハ千曲川ニソフ

タル國ユヘニ、年々ノヨフニ水損ノアルトコロニテ、土人モ水ノ事ニハ甚巧者ナリ、兎角智ノ上練トイフハ聞ナリ、聞クハハデニナラスコトナリ、知ラスガハチナリ、堤之事ハ越後人ニキ、タラバ、サゾノ巧者アルベキナリ、左レバヨク他國ヲスル人越中ノ富山ノ反魂丹ウリ、越中ノ冰見ノ鏡トギノ類ノ商賣國々ニアルモノナリ、唯他國ヲフラノアルキテカヘルコト、ツイヘナルコトナリ、智者ノモスコトナリ、其領主モ又領分ノ者ヲ他國ヲマワラセテ聞セヌコト、又其領主ノ油斷ナリ、是ハ其庄屋年寄ナドヘ一體國ノ堤ノ類、凡ソ田畑ウヘモノニツキテ難儀ナルコトヲ、平生ケ條書ニシテ渡シテ置キテ、何事ニヨラズ他國ノ便利ナルコトヲ、キ、出シテ來ルヨフニイヒツケテオクベキナリ、駿河ノ龍瓜山ノ三叉草ニテ紙ヲスクコト、談ニイヘル通りナリ、唯一人駿河ヲ通ル人ノ三叉草ヲキ、出シテ、自國ヘ三叉ヲ植テ紙ヲスイテ便スル人ヲキカズ、輕キ下賤ノ人ハ氣ガツカズニフラノ通ルコトナリ、今樞密賞ノ法ヲ行ヒテ、一人何ノ國ヲ通ル時ニ、何ト云在處ニテケ様ノノ事ヲキ、出シテ參リタリト言上サセテ、其コトガラノコトニヨリ、國益ニナルコト多少ニヨリテ賞ヲアタヘタラバ、追我モノト聞出シテ來タルベシ、大キニ國益ニナルコトアルベシ、己レガ智ヲムダニセヌバカリノコトニテハナシ、人ノ智ヲ人ノムダニセヌヨウニスルコト、智者ノ巧者モノナリ、コレラガ大ガイ農ノ樞密賞ノ仕方ナリ、一體足輕ナド、イフモノハ年々江戸へ交代ヲスルモノナリ、途中ヲノロノトムダニアリクコト、ヨシキコトナリ、足輕ヘハ其物頭ヨリ急度イヒツケテ、何ゾ國益ノコトヲ他國ヨリ

キ、出シテクルヨフニイヒツケテ、デキニ急度賞ヲヤリ、扱智者ナラバ小役人ニテモ取立テヤルコト  
術ナリ、凡ソ足輕ニカギラズ、家中ノ又モノ城下ヘ出デ不行儀ヲスルコト、是又諸藩一統ナリ、甚ア  
シキコトニテ、城下褻微スルコトナリ、城下褻微スルハ國ノ貧ナリ、セイムモフシツケテ不行儀ヲ  
禁ズレドモ、兎角止ヌハナゼヤマヌゾト、止ヌ根源ヘカヘリテ見ルコト法ナリ、ナゼニ不行儀ナルト  
イフニ、閑暇ナルユヘナリ、食ハ其旦那ヨリモロフユヘニ、飢ニセマラスユヘニ、ブセフヲシテノロ  
ケル、城下ノ町ヘ出テ飲食セント思ヘドモ、錢ガナキユヘニ不行儀ヲシテ、飲食ヲシタル上ニテモ又  
口論ナドシカケテ、ユスリカタルノルイヲシテ、無錢ニテ飲食スルコトヲ自慢スルコト甚惡風ナリ、  
サレバ閑ノナキヨフニ楫ヲトルコト、鼓舞スル術ナリ、然レバコレハ武具ニカギラズ、何ニテモ内職  
ヲサセテ、物頭ヨリイヒ上ゲサセテ賞ヲ行フベシ、内職ノ品ハ上ヘカヒ上ルコト法ナリ、ドフデカワ  
ネバナラスモノハ、カワネバナラスモノユヘニ、足輕カ又モノ、シタル品ヲカヒ上ルコト、ヤスフ買  
上ルトイフモノナリ、又内職ヲスルモノモ町方ヘヤスフ、ステウリニスルヨリハ大キニヨキナリ、是  
上下トモニ利ヲウルコトナリ、賞ヲアトフルハ鼓舞ノ術ナリ、今ノ時内職ノ尤大ナルハ川越平ナリ、天  
下一統夏袴ハ川越平ナリ、一體川越平ノ起リハ、今ノ川越侯ノ家中ノシタルコトニアラズ、秋元公今  
ノ山形侯ノ家中ノシダシナリ、今ノ山形侯ハ川越侯ヨリ山形ヘウツリタルナリ、川越ヘウツラセラル  
ル以前ハ、甲州ノ谷村ニ居城ナリシナリ、今ハ谷村ト云町バカリ殘リテ廢城ニナリシユヘ、城墟ノミ

アリテ人モオラズ、鶴ムカシ甲州ニアソビシ時、谷村ニハ二月バカリモ留ラレテ書ヲ講ゼシナリ、谷村ハ富士山ノ中腹ナリ、世ニイワユル郡内ナリ、コノ邊マデモ木ナド多クハヘスナリ、田畠モ多クハナク、ハゲ山ニテハナケレドモ、原ノヨフナル處處ニアリ、扨其空地谷村ノ南北ノウラ、コトヽク桑ナリ、寒地ガ宜キナリ、オビタバシキ桑原ナリ、扨荒屋・小治・谷村トダンヽニ富士ノ山下ルヨフユキテ、ヒクキ處ヲ谷村ト云、ケ様ニ桑多キユヘニ、三ヶ村トモニ蠶ヲスルコトナリ、蠶ノ寒地ニ多キハ桑ノ寒地ニ宜シキナリ、ユヘニ蠶ノ寒地ニ多クアルナリ、扨富士ニ無間ノ谷ト云谷アリ、大谷ナリ、コノ水四方ヘウカレ流レテ人ヲ活スナリ、其流レノ内一流ハ路ノ真中ヲ流ル、ナリ、雪ノ水ユヘコノ上モ無ク潔ナリ、コノ水ニテ蠶ヲ烹ル、凡水ハコノ水計ナリ、ユヘニ郡内ノ絹ハ光リアリテ、地合他國ノ絹トハ大キニ違フナリ、秋元公谷村ニ居城ノ時ニ、家中ノ内職ニ夏袴ヲ織リタルガ郡内ヒラナリ、其後川越ヘ移ラレテ、家中内職ニ又夏袴ヲ織ル、コレ川越ヒラナリ、今山形ヘウツラル、家中又袴地ヲ織ル、コレ仙臺ヒラナリ、是ガ家中内職ノ冠タルベシ、谷村ノ時モ、川越ノ時モ、山形ニテモ、家中ノ内職在町ニウツリテ、今ハ三ヶ處トモニ其土地ノ產物トナレリ、鶴又川越ニアソビテ見テ見ルニ、夏袴ノミナラズ、種々ノ織物デキ、今ハ甚結構ナルモノヲ織リ出ス、川越モ寒キ處ユヘニ、川越ヨリ北、厩橋・館林・桐生・皆赤城山ノ裾ニテ、桑ノヨフデキル處ユヘニ、川越ナドニテモ蠶ヲバスル人アリ、北邊ヨリ澤山蠶ノワタヲウリニ來ル處ナリ、川越平ノ大雙ニナリタルハ、秋元公ハ七萬



石ニテ、川越公ハ拾五萬石ナルユヘナリ、サレバ家中ノ人ノ多少ニヨリテ、產物ニ多少アルコトナレバ、是家中ノ内職ヲサスルコトヲハヅル家アリ、愚ナルコトナリ、内職アレバ人々イソガシク、自他出モセズ、錢モデキテ風俗モ宜シキ事ナレバ、イヅレ足輕又者ハゼヒニ樞密賞之法ヲ以テ、大鼓舞シテ内職ヲ始メサスベキコトナリ、凡ソ賞モ刑モアラハナルハアシ、外ノコトニヨソヘテスルコト術ナリ、刑モヤハリ樞密ニテ刑罰スルコト宜シ、凡ソ下ノ金ヲ上ヘ引上ルニ術アリ、見ヘテハ民イヤガルナリ、見エスヨウニスベキナリ、コノ理ハ水ニ潤下ト云、火ニ炎上ト云フ條下ニテ委ク説クベシ、擬一體吾國家ニハ利ヲケガラシトシテステル風ナリ、ユヘニ贖刑ト云コトナシ、キレイナルコトナレドモ、下ノ金ヲ上ヘマキ上ルニハ勝手甚アシ、コレハ天地ノ理ニテ、下ノ金ヲ上ヘ是非々々上ヘ卷キ上ゲネバナラス理ノモノナリ、理ニハヅレ、バ、ドコカ勝手アシフナリ、譬ヘ萬々鉅々ノ金ヲ積ミテモ、マキアゲキカネバ下驕リテ、上貧ニナルコト理ノ當然ナリ、唯マキ上ルニ法アリ、贖刑ハ其處ナリ、吾國家ニハ贖刑ナク、賣爵ナク、其上ニ一々御買上ゲト云法ニテ、金ノ上ヨリ下ヘサガルバカリナリ、唯過料一ケ條アリ、サレドモコレハ甚サ、イナルコトニテ、中々上ヘマキアゲルト云フ萬々分ノ一モ用ニ立スコトナリ、大名家ニテモ國家ノ制ニナラワネバナラスコトユヘニ、外ニマキアゲル法ヲ立ルコトナラズ、唯過料バカリナリ、此過料ノイロ／＼ニシテ用ヒバ、贖刑ノヨフナルベキナリ、鶴去ル國方ニ伊勢參ノ、スケマイリハヤリテコマルト云テ、鶴ニ云タルニ答ヘタルコトアリ、伊勢ハ

我大廟ノコトナレバ、大廟ヲ拜スルコトヲ禁ズルコト、大ニ民ノ心ヲ取り失フコトナリ、鶴ノ考ヘニハ、コノ禁ノ字ノマウラカラユクナリ、其大意ハ一體ニ御領分中ノ百姓ヲバ、上ヨリ勢州ヘ參宮ヲスルヨウニ御世話ヲヤカレテ、參ラセタフ思召スルコトナレドモ、御領分ハ百姓ドモニ一々路錢ヲ下サルコトナサレガタタ、左レドモ我大廟ノコトナレバ、何トゾ百姓ドモノコラズ參宮仕ルヨフニ思召スコトナリ、サレドモ村々ヨリ一ドニ參宮仕リテハ、第一ニ國空虛ニナリテ不用心ノコトナリ、ユヘニ一村ニ一人ヅ、毎年ツカワサルベシ、コレトモ大ゼイノコトナレバ、路錢タツプリト下サルコト、又ナサレガタキトコロナリ、上ヨリハ錢一貫文ヅ、下サルナリ、扱下ニテハ働キ増ヲシテ講ヲ取立テ、少シヅヤ掛銀ヲイタシテ、順番ヲ圖トリテナリトモイタシテ、一ケ村ヨリ一人ヅ、毎年參ルベシ、一ケ村ニ年々一貫文ヅ、下サルベシト云テ、先始メニ一貫文ヤルナリ、扱承ルニスケマイリト號シテ、村ノ長ヘモ沙汰ヲセズニ、カケオチヲシテスケ參リヲ致ス由相聞ユルナリ、是モシユシヨウノコトニテ、我大廟ノコトユヘニ、カケ落ヲシテ、スケ參ヲスルコト、キトクナルコトナリ、サレドモ村ノ長ニ沙汰ナシニイヅルコトハ、國法ニサカルコトナリ、扱第一ニ勢州ハ關東ヨリユケバ、尾州・紀州ノ御領分ヲゼビ／＼通ラネバユカレヌナリ、如シゼビ何ゾコトノアリタルトキニ、其領主ノ名ノ出ルコトナリ、尾・紀ノ御兩家ハ格別ノ御家ナレバ、不埒ノモノアレバ、ウチコロスコトモアリ、御留ナサレテ御カヘシナサラスコトモアルナリ、タトヒ此方様ノ御領分ノ百姓ハ實體ニオトナシウテ、喧

嘩口論ナゾヲモセヌコトナルベケレドモ、喧嘩ノ席ニオリテモ、マキゾヘニアフコトナリ、喧嘩ヲ見物シテモ、捕手ノ人トラヘレバ、シカタガナシ、御領分ノ百姓一人ニテモ難儀ノ目ニ遇テハ、上ノ思召ニチガフコトナレバ、向後ヌケ參ノ分ヲ急度停止仰セ付ラル、ナリト云フテモ、吾大廟ノコトナリ、サレバヌケ參ヲスル輩モアルベキコトナリ、サレドモ上ノ思召ニチガフコトナレバ、法令ニハヅスト云フモノナリ、法令ニハヅレタルモノハ、罪スルコト古ヘヨリ常法ナリ、左レドモ重キ御仕置ニアワスコト、是又上ノ思召ニアラズ、ユヘニ過料ヲ仰付ラル、ナリ、過料一貫文出スベシ、上ヨリ下サル路錢一貫文ナレバ、過料モ一貫文タルベシト云書付ナリ、扱ヌケ參ヲスル、デキニ過料ヲ名主庄屋ヨリ上ゲサスルナリ、ヌケ參リハ法度タルニ、ヌケマイリアルハ、是庄屋ノ支配ユキトバカヌユヘナリ、ユヘニ庄屋ヨリ出スベシトスル時ニハ、庄屋ガフセギテ、ヌケ參ヲサセヌ理ナリ、コレニテ大テイ上ヨリ下サル路錢ハ、過料ニテアマルホドアルベキハヅナリト考ヘタリ、其後果シテコノ令ヲ出シテ、ヌケマイリヘリテ、スクナクナフナリタリ、上ニハ餘程餘慶ニ運上上リ、其餘金ヲ積ミテ又參宮路錢ヲコシラヘテオクユヘニ、後ニハ村ヘ參宮講働キ増シノ講ノ掛銀ニナリテ、別ニ上ヨリ錢ヲ出サズニスムヨフニナレリ、是等ハ樞密刑トモイフベキモノナリ、上ヨリ言フテ出ルコトハ至極ニ知レヨキ理ニテ、上ノスルコトハ、トント下ヘ知レヌガ經濟ノ上手ナリ、民ガクセツケバ六ケ敷コトニテモ知ルナリ、クセツカネバヤスイコトニテモ民サトラヌナリ、クセツクト云ハ、朝飯・晝飯・夕飯ト三度

喰フヨシナルコトナリ、古ヘハ二度喰フコトト見ヘテ今ニ朝ト云フナリ、今ニテハ晝飯ガ第一ニナリテ、御大家サマヨリ晝御膳ガ主ナリ、尾州ナゾハ三度二汁五菜ナリ、十萬石以下ノ家ハ晝ハ一汁五菜、朝夕ハ一汁三菜ナリ、アマリ朝夕膏粱ヲ喰フコトハ、アシキコトナリ、朝ナドハ飯ヨリモ粥ヲクフコト養生ナリ、晝ハ家ニヨリテ二汁五菜ナリト、一汁三菜ナリト喰ベシ、扱夜食ハズイブン輕キモノヲ喰フベキナリ、田舎ハ一向ニ法ノチガフコトナリ、余富士ノ根ノ今泉トイフ處ニテ留ラレテ、書ヲ講ゼシコトアリ、今泉ハ古ヘノ鎌倉街道ニテ、兩傍ニ列松並木アリテ、鎌倉マデ東海道ノ通リナリ、京ヨリ吉原マデユキテ、吉原ヨリ大宮ヘ上ル、大宮ヨリ今泉・呼阪・十輪木・茱萸澤・竹ノ下・小田原ト出ル道ナリ、古ノ街道ニテリツバナリ、余ノ逗留セシ處ハ醫者ナリ、離レ座敷モアリテ甚ダ度屋ナリ、村ハ千戸アリ、即イワユルセコ千軒トイフ所ナリ、賴朝卿富士ノ狩ノ時ニセコニ出タル家ガラナリ、扱朝オキルト飯ガデル、鶴江戸者ナレバ、オキタテハ飯ガクヘヌナリ、サレドモ朝飯後ヨリ書ヲ講ジテ晝マデカ、ルコトナレバ、朝飯ヲバゼヒ澤山ニクハネバナラヌナリ、ユヘニタツブリタベリ、コノ朝飯ハ茶ヅケニテ、香ノモノノバカリニテ加飯ノ品ナシ、扱箸ヲ膳ニオクヤイナヤ又飯出ル、コンドハ立派ナル飯ニテ、汁モ平モ坪モ燒物モアリ、コレハ何トシタルコトヤラト思ヘドモ、一向ニ腹モハリテクヘズ、ユヘニ少シクツテシマフ、扱書ヲ講ジテシマフト又飯ナリ、又茶漬ナリ、鶴思フニ、朝飯ヲ立派ニシテ晝飯ヲ略スルナリ、晝飯ヲクヘバ又書ヲ講ジテ日暮マデ至レバ、ヒダルフナラスヨウ



ニ、クワネバナラスナリ、又タツブリトクフテ、箸ヲ膳ニオクヤイナヤ又本膳、コンドハ朝飯ヨリモ  
ナヲく立派ナル膳部ナリ、鶴又腹ハリテロクくヘズ、大ニ悔タルコトナリ、後ニ主人ニキケバ、  
起キタテノハ茶ノコト云フモノ、由、晝飯マヘノハ小晝飯ト云フモノナリトイヘリ、以上五度飯ヲクウ  
コトナリ、夜モチトオソフナレバ又飯ヲクフコトナリ、江戸ナドノ人ハドノヨフニ働ク人ニテモ、三  
度ヨリ外ハクワスコトナリト云フタレバ、主人大ニヲドロキ、ソレハナラスコトナリトイヘリ、今泉  
ノ五度モ六度モクフモ、クセツキタルナリ、京・大坂・江戸ナドノ三度ヨリ外クワスハ、クセツキタ  
ルナリ、其民ハ名々ウツカリトシテ知ラズニオルコトナリ、三都會ノ民ハ五度クフハ、クルシキコ  
トナリ、**本泉**ノ民ハ三度クフハ又クルシキコトナリ、コレガ恩ニテ、コレガ慘ト云フコトナシ、クセ  
ニナリテウツカリトシテオルナリ、クセノツケヨウニテ、ドフトモナルモノナレバ、民ノ養ナヒヨ  
ウハ面白キモノナリ、急ニケ様ニセイト云フテ、ヘシツケニサスコトハアシ、成ラスコトナリ、ゼ  
ンくニクセツケバ、ドフトモナルモノナリ、蝦夷ノ人ノ風俗ヲ京ニテ考ヘレバ、一向ニ合點ガユカ  
ヌヨフナルモノナリ、蝦夷ハ士・農・工・商ナシ、テンくカセギナリ、朝オキレバ弓矢ヲモチテ山  
ヘユキ、鳥ヲ射テ喰フナリ、鳥ヲ得ネバ海ヘユキテ魚ヲ射テクフ、魚モ得ネバクワズニオル、是人間  
カラ見レバ、トント合點ノユカヌコトナリ、或人鶴ニコノワケヲ問フ、鶴對テ云、凡ソ人間ト禽獸ト  
草木トクワラリトキガフト思フテハ、智シボレスナリ、公卿大夫ト商賈ト乞食トクワラリトチガフト

思フハアシ、公ヨリ乞食ニ至ルマデ皆人ナリト、ヒトツニ一トタバネニスルナリ、人間ヨリ草木マデ、氣アルモノト又一トタバネニスルナリ、一トタバネニ算用シテミルナリ、先禽ナドハ朝オキテ何ヲクフベキヤ、雪ニテモフレバ、二日モ三日モクワズニオラネバナラヌナリ、クセツキタルアリ、禽ノ方ニ朝飯・晝飯・夜食トイフキマリタルコトアロウハヅナキナリ、蝦夷ハ遠方ヘ行ク時ニハ、カラサケヲ二三本腰ヘハサミテ出ル由ナリ、コレニテドコヘデモユクナリ、ツカルレバ木ノ根ナドヘ寢ル、オキテ又行ク、人ノ方ヨリモ獸ノ方ヘ近シト思フト解セルナリ、凡ソ氣アルモノハ皆同ジコトニテ、飲食セネバナラスモノナリ、ズツト性ノモロイ、ズツト飲食ノムツカシイ、ズツトアブナイモノヲ人ト立ルナリ、人ノウチニテズツト甚シキモノヲ公卿・大夫・士ト立ル、ソレカラ商賈・士農・乞食・非人・非人ノ下ハ犬ナリ・鳥ナリ・草ナリ・木ナリ、カヨフニクムト、皆飲食シテイキテオルモノドモニテ、皆アモテタノシミ、ウヘテ患ルコトハ同ジコトナリ、尤飲食ノ得ヤスキモノハ木ナリ、雨露サヘ天ヨリ降レバヨキナリ、第一ニツヨキモノナリ、雨露モ十日ヤ二十日フラズニオリテモクルシマズ、ユヘニ患ノスクナキモノト、タノシミノ多キモノナリ、ソノ次ハ禽獸ナリ、コレモ一日ヤ二日飲食セヒデモヤムコトナシ、ソノ次ハ非人・乞食ナリ、コレモ一日バカリクワヒデモ平凡ナリ、朝飯ヲ日暮ニクフコトモアルベシ、又朝飯ヲ三度モツバケテクフコトモアルベシ、ソレデモ疾モデズトイフハ、ツヨキコトナリ、患ノナキコトナリ、ソノ次ハ農・工・商ナリ、ヨホドヨワキモノナリ、木ノ根ナド

ニ一夜寐レバ、デキニ風ヲヒク、センキガオコル、患ノ多キ、クルシミノ少ナキモノナリ、其次ハ士・大夫・卿ナリ、公卿ナドハ一里モアルクコトナラズ、ワランズヲハケバ、デキニ足ハレイタム、ヒヤ飯ヘ茶ヲカケテ、ヤキシホデ喰フコトモナラズ、新米ノタキホシヲ喰フ、デキニ大病ナリ、ソノモロキコトイフベカラズ、チツト肌カゲンガチガフト、デキニアタル、是患ノ多フテ、タノシミノスクナキコトトイフベシ、皆クセツキタルナリ、クセヅクコトハ、少シモ下ヘサガル方が患ノスクナヒ、樂シミノ多方ナリト思フベキナリ、行儀ノナレコガ、禽獸ノ方ヘヨル方が、患ノスクナフナル方ナリ、サレバ形ハ各其業アルモノナレバ、別ニシカタナシ、心ヲ遊バシムル處ハ、ドコデ遊バシメヨフトモ、スキニナルコトナリ、シカンバ民ノ心ヲ上デアヤツリテ、民ノ遊バセヨフ甚心得アルベキコトニテハナキヤ、民ノ心ナレバ、驚キソフモナキコトニモ驚ク、驚キソフナルコトニハ一向ニ驚カスコトアリ、皆クセツキタルナリ、貴キ人が賤キ人ノ通りナルシワザヲスルハ、常ニコトナル様ナコトニテハナキヤ、サレドモ今身ニ患ノナイ、樂ミノ多イヨフニトナラバ、乞食非人ノ方ハ近ウナルヨフニセイトイフナリト云ハ、人々皆驚ケドモ、人々皆クセツキテ、目ガヒトツトコロヘ、ヒツツキテオルユヘ、目ヲ轉ズルコトガナラヌユヘナリ、民ヲ養フナド、トイフモノハ、民ヲフリカヘルコトニテ、カシコイ民ヲオトナシイ民ニシ、奢侈ノ民ヲ儉素ノ民ニシヨフトイフ工夫ユヘ、トント目ヲ別段ノコトニシテ、ハナレキリテ見ネバシレヌモノユヘニ、目ヲヒツツケズニ見ネバナラスナリ、トント目ヲハナシテ見

レバ、公卿ハクルシキモノ、アブナキモノ、モロキモノニテ、非人。乞食ハラクナルモノ、ツヨキモノ、ヤスンジタルモノト立ルコトモ出來ルナリ、目ニナレタルコトニハ、驚ソフナルコトニモ、オドロカヒデ、耳ニナレヌ言ハ、理ヲイフテキカセテモ驚ク、サレドモコ、ガ至極ヨイトコロナリ、ナレヌコトニオドロクユヘニ面白キナリ、今民儉素ハメヅラシフテ、見ナレヌユヘニアヤシム、奢侈ハナレタルコトユヘニ、メヅラシカラヌコトニ思フテ驚カスナレバ、此民ヲ鼓舞シテ儉素ニ驅リテ、儉素ガ常ニナレバ、又奢侈ヲイカナルコトニオモヒテ、奢侈ニオドロクニチガヒナキナリ、民ノ行ギハ上ノアヤツリシダイナリ、民ノ心ハ上ノ鼓舞シダイナリ、儉素ニナレテオドロカヌ證據ヲイフベシ、今ハカヨフノ奢侈ノ世ナレバ、何モカモ目ニミユルトコロハ、皆奢侈ニナリタレドモ、第一ニ儉素ナルコトノ、民ノアヤシミソフナルコトヲ一向ニアヤシマヌコト多シ、大府ノ御鷹野ナリ、鶴ワカキ時ニ雁ノ間諸侯ニ儒者奉公ヲシタルニ、西ノ丸ノ大手ノ御門番ナレバ、遠御成ニハ終日御門へ舊君自身ツメラル、御供ノ相公ヲ始ノ登城ノ時ニ、相公ノ道具見ユルヤイナヤ、御門々ニテ呼ビツギ、下ニオレノト呼デ、留メサツシヤイト呼デ、御門ノ内外寂々肅々トシテ、皆ツ、シミテ息ヲセズニオルヨフナリ、立派ナルモノナリ、扱相公大ゼイノ供マワリ、威風凜々トシテ乘輿ヨリ出タマフ處ガ、木綿ノ羽織。木モメンノハンテン。木綿ノモ、ヒキナリ、御門々ヒシト下坐シテ拜伏スレドモ、一體イフテ見ヨフナラバ、奇妙ナルコトナリ、木綿ノ羽織。ハンテン。モ、ヒキトイフナリハ、人間ノウチノ第



一ノ下賤ノ人ノ服ナリ、中間。足輕ノ形チナリ、コレコソ民ドモ大キニ驚キソフナルコトナレドモ、民一向ニビツタリセヌナリ、下坐拜伏ヲスル人モ、中間。足輕ノ形ノ御方ニ拜伏シテ、ナントモ思ハヌハ、儉素ナルコトコレヨリ甚シキハナケレドモ、コレヲ儉素ト思フ人一人モナシ、ナレタルユヘナリ、扱平日ヲイフテ見レバ、相公御同道御下リナド、インモノハ立派ナルモノナリ、御城ヒツソリシテ、オソロシキホドニケツコウナリ、サレドモ相公ハ四人ナガラ唐棧留ノ御上下ナリ、棧留ハ木綿ナリ、木綿ノ上下ナリ、上下ハヒタ、レナリ、ウワオソヒナリ、木綿ノウワオソヒトイフハ賤者ノコトナリ、中間。足輕ノ服トイフウチニ中間ノ服ナリ、中間ノ服ヲメシタル御方、誰一人仰デ見ル人モナフ、拜伏シテ御威靈ヲイタバクコト、是又ナレタルユヘ、オカシフナキナリ、一體イフテ見レバ、ソノヨフニ萬人ガ萬人ナガラ拜伏スル御方ニテハナケレドモ、ナレタルユヘニ誰一人アヤシムモノモナキナリ、是民ヲ儉素ニ鼓舞スレバ、民又ウツカリト鼓舞サレテ、知ラヌ證據ナリ、ブセウノ民ヲ働ク民ニ鼓舞移轉シテモ、民ウツカリトシテ鼓舞サレテ、知ラス證據ナリ、マダ／＼ズツト甚シキコトアリ、鶴河内ニ門人アリテ、度々河内ヘユキタルコトアリ、淀ノ城下ヲ過ルコトナリ、淀ハ大橋ノ北詰ニ組屋敷アリ、夏ノウチハ鐵炮ノケイコヲスルナリ、組同心ノ長屋ノウラハ皆的場ナリ、組同心ノ赤子ヒルネヲシテオルニ、雷ノオツルヨフナル響ニテ鐵炮ヲウチケレドモ、右ノ赤子ハオドロカズシテ、スヤ／＼ネテオル、トント合點ノユカヌヨフナルモノナレドモ、ナレタルナリ、人心ノナレルトイフ

モノハ、妙ナルモノナリ、ナレル日ニハヨホド奇ナルコトニテモ奇トハ思ハズ、ヨホド大キナルコトニテモ大キニモ思ハズ、ヨホドクルシキコトニテモ、クルシキト思ハヌコト人ノ情ナリ、然レバヨホドラクナルコトニテモ樂ト思ハズ、ヨホドアリガタキコトニテモ、アリガタイト思ハヌコト又人情ナリ、今ハ民ノ昇平ニナレテ、アリガタイト云フコトヲウチワスレ、煖衣飽食ヲシテモ樂ト思ハヌハ、ナレテナレコニナリタルナリ、ソコデ民ハ箸ノアゲオロシニモコバトヲ云フ、不足ヲ云フ、怨ムコト平生ナリ、上ノアヤツリヨフ、ソコデ大ジナリ、天下ノコトハ鶴ノ知ラストコロナリ、城下ノ民ノコトヲイヒ、不足ヲイヒ、怨ムハ、其城主ノアヤツリノアシキユヘナリ、民ガコバトヲイヘバ、民ノコバトヲイワヌヨフニスルガヨカロフト思フユヘニ、民ヲユルメル算用ナリ、コレ大ニ間違ナリ、ユルメレバ又ユルキガ常ニナル、常ニナレバ民又コバトヲイフナリ、是レヲ民ヲ進ムルトイフナリ、今日ヨリ明日ヘス、メルナリ、今マデ木綿ノ衣ヲキテオルヲ絹布ヲキセタラバ、コバトヲイフマイト思フテ絹布ヲキセル、絹布ニナレル、又民コバトヲ云フナリ、民ノコバトヲイワヌヨフニトハ、トントナラヌナリ、ナゼニトナラバ、進ムルユヘナリ、ムカフヘトス、ムルユヘニ、イツマデモ民不足ガルナリ、民ヲバアトノ方ヘシリゾケルヨフニスルガヨキナリ、アトノ方ヘトスレバ、又民アトノ方ガナレルナリ、ナレテ見レバ又クルシキコトモナキナリ、サレドモ觸ナドニテアトノ方ヘ退ケトイフコトニテハナキナリ、民知ラズニアトノ方ヘユクコトナリ、今マデ民ウツカリト進ミテキタルユ

ヘニ、又民ウツカリト退カネバウマフユカスナリ、民ノコバトヲ云フガシヨウシサニ、ダン／＼ス、ミテキタルナリ、ダン／＼ス、ミニス、ミテ、又ス、ミス、ミスル、ソノトントノユキアタリヲ見ルベシ、公卿ト云トコロヘユクハヅナリ、又ダン／＼サガリニ、ハ又サガリ／＼シタルトントノユキアタリヲ見ルベシ、草木ト云フトコロヘユクハヅナリ、日アテハ草木トイフ處マデヤロフトキワメルナリ、草木ハ大キニラクニテ患ノナイモノナレバ、アソコヲ目アテトスルナリ、今マデノ目當トウラハラナリ、今マデノ目當ハモツト立派ニ、モツト美飲食、モツト美衣服ト、ダン／＼ス、ミニス、メテモ、民ヤハリコバトヲ云フナレバ、民ヲ皆公卿ニシテ、中間ガ乗物ニノリ、大工ガ十萬石トリテモ、コバトヲ云フニチガヒナシ、且中間ガ乗物ニノリタルトキニ、誰ガコノ乗物ヲ昇クコトゾ、其昇人又コバトヲ云フ、如此ノボリ／＼テ、トント怨ミテノタヘルトイフコトアルベカラズ、シカレバ民ガコバトヲ止ルカトイヘバ、ドノヨフニ富貴ニシテヤリテモ、富貴ガ常ニナレバ、又コバトヲ云フコトナレバ、年中怨ミラレテオルコト、チガヒナキコトナリ、シカレバコノ時ニハイカバ鼓舞スルコトノクセツカセルコト、イカバスレバクセツクゾ、イカバスレバ退クト云フモノゾト云フニ、昇平ヲヨフモチコタヘタル人ノスルコトヲ見ルベシ、漢ノ高祖天下ヲトリテ、蕭何ナニモカモ治具ヲ建テ、建テソロヒタルコト、今日ニコトナルコトナシ、蕭何ハ曹參トハ中アシフテ、スレアフタリ、サレドモ蕭何ノ死スル時ニ、アト役ニハ曹參ハイカバアロフゾト惠帝キカレタル時、帝之ヲ得タリトイヘリ、蕭何ノ曹參ヲス、メ

テ、安堵シテ死シタルモ、スサマジキ遠見ナリ、扱曹參政ヲトル時ニ、先ヅ第一ニ下役ヲハジメ、役人ノ智アル人ヲコトククニトリテノケタリ、グズト用ニタラスヨフナ人ヲヨリテ役人ニシテ、トント蕭何ノシタル通りニシテ、トント政ニセワヤカズ、何一ツ觸モマワサズ、ダマツテ遊ンデオリシナリ、一向ニサワガスナリ、惠帝アヤシミテ曹參ノムスコニ言フクメテ、曹參ヲ諫メサセタラバ、曹參大キニ怒リテムスコヲ鞭タリ、天下ノコトハ中々ソノ方ナゾノ知ルトコロデハナイトイフテ、唯酒宴ナドヲシテ、トントナンニモイワズ、天下靜謐ニテ、曹參一生ハナニゴトモオコラザリシナリ、コレ曹參ハ民ヲサメルコトニカ、リテオリタルナリ、民ノオチツキテ心ノサワガスヨフニ、シヅマルヨフニト鼓舞シタルモノナリ、曹參モシ長壽ニテ惠帝天死セラレズバ、古今ノ大政オコルベシ、曹參ハ老子流ノ學者ナリ、老子ノ書ヲ嗜ミテ、老子ニテ治メタルコトナリ、民ヲ上古ノ方ヘツレテユカントシタルモノナリ、其後ノ執政ハ皆民ヲ立派ノ方ヘツレントスルコトナリ、曹參ノ流ハ民ヲ草木ノ方ヘヤル流ナリ、アトノ執政ハ民ヲ公卿ノ方ヘス、メントスルユヘニ、民イヨク怨ムナリ、不足ガルナリ、コバトヲ云フナリ、曹參流ハ民ウツカリトシテ、コバトヲ云フコトヲワスレルト云キミアリ、怨ムコトヲワスレルト云フキミナリ、曹參ハ心ノウチハザワ／＼色々ニ思フコトアルベシ、ハツハト思フコトモアリタリ、ゾツトシタルコトモアルベケレドモ、トコロヲコラヘテ黙シ、コノモコラヘテ手ヲダサズ、唯民ノウツカリトスルヨウニトバカリ、ハカラフタルコトナリト見ヘタリ、奢侈ノ



頂上ハ酒池肉林ナリ、民皆酒池肉林ヲオキテモ、コバトヲ云フニチガヒナシ、是民ノコバトノ止ムト  
イフコトアルベカラズ、コバトヲイワヌヨフニトスルヨリモ、コバトヲワスル、ヨフニトスベキコト  
ナリ、酒池肉林ニテモ民コバトヲイフト云フ證據ハ、台徳院様・大猷院様ノ時ノ民ト云モノハ、ズツ  
ト古風ナルモノト見エタリ、下々ハ大カタヒエ團子ナルベシ、嚴有院様・常憲院様ノ時ノ民俗ニテ知  
レシナリ、徂徠ノ政談ニ伽羅ノ油ト云フモノ近年デキテト云フコトアリ、油ノデキヌジブンハ、紙  
ノコヨリニテ髪ヲアツメテク、リテオキタルコトノヨシ、元結トイフモノモ徂徠ナドノ覺ヘテデキタ  
ルコトノ由、徂徠ノ子ドモノ時ハカツラビン水トイフモノニテ、徂徠ノ母ノ徂徠ノ髪ヲイヒタルト云  
フコトアリ、鶴ハ幼少ノ時ヨリ已デニ浚明院様ノ御治世ナリ、シカレドモ鶴ノ幼少ノ時ニモ、ヤハリ  
カツラヲ髪ヘツケテ、母ノ鶴ガ髪ヲイフテタレラシナリ、是ワヅカ五十年前ノコトナリ、徂徠  
ノ幼少時ハ伽羅ノ油ガナフテ、元結ハナキ時ナリ、是嚴有院様ノ時ニハ油モ元結モナカルベシ、サレ  
バ衣服飲食モサヅ／＼ザツトシタルコトニテ、今ノ田舎ノ村方ヨリモマダ／＼樸質ナレバ、今ノ山ノ  
中ノ民グラヒナルベシ、コノ時ニハ民今ノヨフニコバトヲイヒシコトモキカズ、鶴ノ幼少ノ時ニハ新錢  
始マリタレドモ、今ノヅク錢ノヨウナルモノニアラズ、今ヲ以テ見レバ、リツバナルモノナリ、民モ  
アマリコバトヲイワザリシナリ、其後ニ四文錢二朱銀出來タレドモ、今ノ民ノヨフニコバトヲイフコ  
トヲバシラザリシナリ、衣服飲食ハトイヘバ、今ノ民カラ見レバ一向ニザツトシタルモノニテアリシ

ナリ、コレヲ以テ推セバ、徂徠ノ時ノ民ハマダコバトワイフ氣モツカザリシナルベキナリ、今ノ民ハ  
生洲料理茶屋ヘユキテ料理ヲイヒツケテ、高金ノ料理ヲ喰ヘドモ、兎角氣ニ入ラズガチナリ、今ノウ  
ナギハ一向ニアシキ鰻鱺ナリ、今ノ吸物ハアンバイアマリアシフテ、高瀬川ヘステ、シマフタユヘニ、  
コンドハズツトアンバイノヨイノヲ、セメテ一杯スフテカヘリタイトイフ、其クルシキコトイフバガ  
リナシ、高金ヲ出シテ鰻鱺ヲカフテモムマフナシ、吸物ヲカフテモステ、シマフ、其クルシミイワン  
カタナシ、何トゾ心ヨフ一杯吸物ヲスオフトスレドモ、ソレガデキストイヘバ、極々ノナンギノコト  
ナリ、髪ヘ油ヲツケズ、元結ナシニ紙ノコヨリデク、リテオキタルトキニ、何トゾ生洲ガアロフゾ、  
何トゾ料理ガアロフゾ、何トゾ高金ヲ出シテ飯食ヲイヒツケヨフゾ、ソノヨフナコトハ知ラザリシナ  
リ、吸物ノ、ウナギカバヤキノトイフコトハ、下々ハ知リタル人モアリシヤナキヤ、知ラスホドノコ  
トナリ、此民ニ今ノ生洲料理茶屋ヲ見セタラバ、酒池肉林ナルベシ、サレバ寶永ノ民ノ酒池肉林ハ、  
享和・文化ノ民ハ喰ヘストイフテコバトワイフ、左レバ眞ノ酒池肉林アレバ、コレ其時ノ民ハ肉林酒  
池ヲコバトワイフニチガヒナキナリ、コバトノイヒヨフハ、ダン／＼多フナリテ、飲食衣服ハダンド  
ン立派ニナル、立派ニナレバ其立派ヲコバトワイフ時ニハ、トント立派トイフコトハナキナリ、ムマ  
キ飲食トイフモノハナキナリ、文化ノチソフヲ寶永ノ民ニスレバ、大チソウナリ、文化ノ馳走ヲ文化  
ノ民ニスレバ、コバトワイフ、是コノ後ニ其當時ノ上ノナキ飲食ヲサセテモ、其上ノナキ飲食ヲ又コ

ゴトヲイフニチガヒナキナリ、コバトノアンバイハ今ヨリモ又多キ算用ナリ、皆ナレコニナリテ、常ニナリタルユヘナリ、寶永ノ民ハ寶永ノ飲食ガ常ユヘニ、文化ノ飲食ハ馳走ナリ、寶永ノ民ニ寶永ノ飲食ヲサスルモ、文化ノ民ニ文化ノ飲食ヲサスルモ同ジコトナリ、唯寶永ノ民ハコバトヲイフコトヲ知ラズ、文化ノ民ハヤカマシフ、コバトヲ云フトコロガチガフテオルナリ、サレバコノ後ス、メバスムホド、コバトヲイフコトナルベシ、立派ニスレバ立派ニスルホド、コバトヲイフコトナルベシ、莊子ニ足ヲワス、ルハ屢ノカナヘルナリ、腰ヲワスル、ハ帶ノカナヘルナリトイヘリ、ホメルコトヲモ、ソシルコトヲモ忘レテ、ウツカリトシテシマフハ、マコトニ宜シキアンバイアルナリ、兎角民ノ忘ル、ヨフニト、忘ル、トコロヲ的ニ見ルコト、曹參ノ民ヲ御スル術ナリ、鶴今ノ天下ノ勢ハ夢々知ラスコトナリ、曹參ノ民ヲ御スル法ニツキテイフテミレバケ様ナリ、今ノ世ヲ證據ニトリテ古ヘヲ論ズルナリ、鶴ハ儒者ノコトナレバ、兎角古代ノ治亂ヲ平生ニ説キテオルナリ、唯人ガ今ノ人ニ説クユヘニ、今ノコトヲ證據ニトルナリ、今ノ世ヲ論ズルニテハサラ／＼ナキナリ、諸大名ノ城下ノシカケハ鶴ズイブン言フナリ、天下ノアリサマハイフタルコトナシ、イヘバ證據ニトル時ニイフナリ、扱歴代漢・唐ヲ始トシテ世盛シナレバ、民ノ風俗奢侈ニナルコト、昔ヨリ一統ノコトナリ、扱何ユヘニ民ノ風俗奢侈ニナルトイフトコロヲ推スガヨキナリ、民ノ風俗ノ奢侈ニナルハ、下ニ金ガ多キユヘナリ、鶴今ノコトハ知ラズ、歴代ノ奢侈ハ金銀ガ下ヘ多クサガリタルユヘナリ、コノ金ヲ上ヘアゲル

ト云フコト面白キコトナリ、洪範ニアリ、洪範ニ水ニ潤下トイヒ、火ニ炎上トイフト云ヘリ、コレガ  
金ヲ上へ上ル法ナリ、聖人ノ智トイフモノハオソロシイヨフナレドモ、聖人ハ唯理ヲカタル、理ハド  
フデモツカヘルモノユヘニ、オソロシフオボユルナリ、金ハ上へ上ラネバナラヌ理アリ、上ガルヨフ  
ニセネバ天ノ理ニハヅル、ユヘニ、上ノ方ヘ卷キアゲルヨフニシカケタルモノナリ、扱水ノ潤下トイ  
フトハ、凡ソ天地ノ間ノ形チノアルモノハ、皆下ノ方ヘサガルモノジヤトイフコトナリ、水トハ水ノ  
コトバカリニテハナキナリ、凡ソ形チノアルモノ、符牒ナリ、火ニ炎上トイフハ、形ナフテ氣バカリ  
ノモノ、コトナリ、火ノホノホノルイナリ、雲烟ノルイナリ、雲モ烟モホノホモ、形ハナフテ氣バカ  
リナルモノナリ、氣ハ天ニ屬ス、天ニ屬スルモノハ皆上ノ方ヘアガル、形ハ地ニ屬ス、地ニ屬スルモノ  
ハ皆下ノ方ヘサガルコトハ自然ノ理ナリ、コノ理ニツキテ行フナリ、理ヲ外ヘノケテ行フコトハナラ  
ヌコトナリ、ヤリソコナフコトナリ、ヤレヌコトナリ、理ノ通りニナラデハユカヌナリ、金銀ハ形ア  
ルモノナリ、形アルモノユヘニ下ノ方ヘサガル、日夜ニ下ヘサガル理ナリ、コレ理ヲ以テ上ヘ卷キア  
ゲネバナラヌコトナリ、マキ上ゲズニオキテハ、彌以テ下ノ方ヘ下ルニチガヒナキコトナリ、コレモ  
儒者ハ洪範モトリテノケ、周禮モトリテノケテ、唯孔孟ノ亂世ヲ救フ法ヲ治世ノ目當ニスルユヘニ、  
下ノ金銀ヲ上ヘ卷キ上ゲテハワルカロフト思フテ、仁ノ字ヲモ讀ソコナフテ、ヤタラ下ヘ金銀ヲサゲ  
ルガ仁君ジヤトイフ、仁君ツバキテ御出世ナラバ、上ハ貧ニナルニチガヒナシ、下ハ奢侈ニナルニチ



ガヒナシ、孔孟ノ亂世ヲ救フコトハ前ノ卷ニクワシ、今ハ治世ウチツバキテ、下ニバカリ金銀サガリサガリシタル時ナリ、扱歴代ノ下ノ奢侈ニナルヲ上ヘ卷キ上ゲベキヲ、ドコカシカケノゼンマイチガフテ、卷キ上ゲノキカヌガ桀紂ノ時ナルベシ、酒池肉林ハ此時ノ奢侈ノ頂上ト見ユルナリ、上如レ此酒池肉林ヲ作リタルコトナレバ、下モヤハリ奢侈ニナリタルコトナルベシ、桀紂ノ亡ビタルハ、桀紂ノアシキユヘナルベシ、奢侈ノ頂上ニナリタルハ、役人ノアシキユヘナリ、卷キ上ゲキカヌユヘナリ、卷キ上ゲヨフキケバ、奢侈ニナラヌハツナリ、奢侈ニナラネバ、下ニテ上ヲ怨マヌハツナリ、下ニテ上ヲ怨マネバ、湯武ハオコラヌハツナリ、湯武ノオコリタル所ヲ見レバ、下ガ上ヲ怨ミタルナリ、下ガ上ヲ怨ミタルトコロヲ見レバ、下ガ奢侈ニナリタルナリ、下ガ奢侈ニナリタルトコロヲ見レバ、下ニ金銀サガリテ卷キ上ゲガキカヌノナリ、扱感心スルコトハ夏・殷・周トモニヨキ役人ツバキテ出タルコトナリ、ヨキ役人ツバキテ出デ、卷上ゲノ法ヲ油斷ナフヤラネバ、六百年七百年八百年トハツバカヌ理ナリ、七八百年モ金銀下ヘツバキテ下ルニ、ソレヲ卷キ上ゲノスルハ、ヨキ手ギワナリ、夏・殷ノマキアゲノ法ハ、今ニナリテハ、ドフシテマキアゲタルヤラ知レネドモ、周ノ法ハ周禮ニノコリテアルコトナラバ、周禮ノ法ハマキ上ゲノシカタ現然トシテ今ニノコレリ、扱マキ上ゲノ理ハ全ク洪範ニアレバ、コノ水ニ潤下トイヒ、火ニ炎上トイフト云ノ語ニツキテカンガヘラル、ナリ、周禮ヲ梯子トシテ洪範ヘ上リテ見レバ、ドフヤラコフヤラノボラレヌ理ハナキコトナリ、水ニ潤下トイフトアレバ、

形ノアルモノハ下ヘサガレドモ、火ニ炎上トイフコトアレバ、コレマキ上ゲテアガラヌコトハナキコトナリトシタルモノナリ、先ヅ水ニテイフテ見ルベシ、天地ノ間ニアルモノハ、フエルコトモヘルコトモナキ理ナリ、水ハ炎ニアヘバ煮ツマリテヘルト覺ヘルハ、理ニ達セヌコトナリ、天地ノ間ノ物ハヘルト云フコトモナク、フヘルトイフコトモナキ理ナリ、ドコヘカユキテモ、天地ノ間ニアルニテガヒナキコトナリ、ナクナリテシマフトイフコトハナキコトナリ、水ノ煎ジツマルハ、水ノ氣トトモニ天ニカヘルナリ、湯ノヘルトイフモノ、上ノ方ヘアガリテ、コレガ雲ニナリテ又下ヘ下ツテ、ソレガ又日輪ノ陽氣ニムサレテ、又氣トトモニ天ヘアガリテ、又雲ニナリテ、又雨ニナリテ下ヘサガリ、扱山ヘオツル、雨ガ川ヘナガレ、又ソレガ海ヘナガレ、土中ヘシミコミテ、又ダンノ山ヘ上ル、山カラ又雲ニナリテ上ノ方ヘアガル、又雨ニナリテ下ル、アガリテハサガリ、サガリテハアガルノミニテ、ナクナルト云フ理ハトントナキコトナリト云フコトヲ、水ニ潤下トイフ、火ニ炎上トイフト云ヘリ、如レ此形アルモノハ下ヘサガルハヅノモノナリ、氣トトモニ上ノ方ヘアグレバ上ル理ナリ、天地ハ何萬年モツバキタル天地ナリ、昔ヨリ雨ガフレバ久シフシテ、上ノ方ニハ雨ハ盡クルハヅナリ、下ノ方ヘサガリテ久シフスレバ、下ニハ水ガアフル、ハヅナリ、下ニアフレズ、上ニツキヌハ、物ハサガレドモ氣ガマキ上ルユヘナリ、上下イツモ等分ニユクナリ、三代ノ役人ハコノ機密ヲヨフ行ナフテ調子ヲハズサヌハ、決シテヨキ書アリタルナルベシ、ゼンタイ洪範ノ水ニ潤下トイヒ、火ニ炎上トイフ

トイフバカリニテ、形アルモノハ皆氣ニヨリテマキ上レバ、アグルモノナリト云フコトナリトハ、サトリニクキコトナリ、サレドモ理ニツキテ推シテ見レバ、水ノ天ヘアガルホドハ、是氣ノマキアゲラル、理ナリ、又マキアゲネバカタカシギニナル理ナリ、カタカシギニナルハ天地ノ理デハナキトイフコトモ洪範ニアルナリ、極備ナレバ凶ナリ、極無ナレバ凶ナリ、サリトハ洪範ハアリガタキ書ナリ、水ガ下ヘバカリサガレバ、上ハ極無ニナリテ、下ハ極備ニナル、如此カタカシギニナルハ凶ナリ、水ガ上ノ方ヘバカリ上リテ下ヘサガラネバ、下ガ極無ニナリテ、上ハ極備ニナル、凶ナリ、等分ニユクデモチタルモノナリ、氣ハイツデモマキアゲタガルコトハ、形ハイツデモ下リタガルニチガヒタルコトナシ、氣ノチカラト形ノチカラトハ又等分ナリ、一向ニカタカシギナルコトナシ、カタカシギニナルハ天ノ理ニアラズ、是金銀ナゾモ等分ニユクベキナリ、マキアゲスギレバ下ガ極無ニナル、凶ナリ、マキ上ゲキカネバ上ガ極無ニナル、凶ナリ、凶ナルハズナリ、凶ナル證據ニハ、小ナル處ニテ見ルベシ、夏ノ旱損ハ水ガマキアゲスギテ、下ガ極無ニナリタルナリ、春秋ノ水損ハ下ガ極備ニナリカシギタルナリ、コレ水一色ニテモ上下等分ニユクヲ天ノ理トシタルモノナリ、扱一ガイニ下ノ水ヲ上ヘマキ上ルトイフコト、天ノ理ニハナキコトナリ、順々ニイツトナフ氣ニツレテ上ルコトナリ、又一ガイニ上ノ水ヲ下ヘバカリ下タルト云フコト、是又天ノ理ニナキコトナリ、順々ニ下ヘサグルナリ、儒者ノイワユル仁君ハ洪範ニハトント合ハヌナリ、仁君ハ上下等分ニスル人ノコトナリ、前ニモイフ通り、

仁トハ人ノ天地ノ理ニ合ヒタル人ノコトナリ、上ヨリヤタラニ下ヘ賜フハ湯武ノスル藝ニテ、治世ニ  
テスル藝ニアラズ、上ヨリ下スハ山ヲ下ルヨフナルモノナリ、甚デキヨキコトナリ、誰レニテモ出來  
ル藝ナリ、下ヨリ上ヘマキ上ルハ甚六ヶ敷コトナリ、メツタナ人ニハデキヌコトナリ、デキニクキコ  
トナレドモ、セネバナラスコトナリ、セネバ天ノ理ニチガフコトナリ、儒者ハ誰レニテモ出來ルコト  
ヲス、メテ、六ヶ敷コトヲバ、シヨフヲ知ラスユヘニ人ニ教ヘヌナリ、教ヘヌニハアラズ、教ヘタフ  
テモ知ラスナリ、教ヘルコトヲ知ラスナリ、教ヘベキハヅトイフコトニ氣ガツカヌナリ、ソレデハ洪  
範ヲヨミタルカヒハナキトイフモノナリ、ヤタラニ下ヘ賜ハレトイフ、天ヘス、メテヤタラニ雨  
ヲソラセラレイトイフヨフナルモノナリ、是水損ノ始マリナリ、且順々ニ下ヘサガラネバナラス理  
ナリ、イツサガルトモナフサガルガ洪範ノ法ナリ、聖人ノ傳授ナリ、天理ノ自然ナリ、下ヨリマキ上  
ルモ、又イツ上ルトモナフ上ルガ洪範天理ノ教ヘカタナリ、孟子ニ堯舜ハ性ノマナリ、湯武ハコ  
レニカヘルナリト云ヒシハ、ナルホド智ノコマカキ人ナリ、堯舜ハ天理ノ通りニ下ダシテ、天理ノ  
通りニマキ上ルナリ、湯武ハ桀紂ヲ亡ボシテ天下ヲ取ルトイフ工夫ナリ、ユヘニヤタラニ賜ハル、  
目ニ立ツヨフニスルコトハ天理ニアラズ、一體ハ天カラ雨ノフルヨフニ下スベキハヅノコトナリ、目  
ニ立タヌヨフニ下スベキハヅナリ、地カラ氣上ルヨフニマキアゲベキナリ、目ニ立タヌヨフニマキ上  
グベキハヅノコトナリ、下スニ目ニ立ツハ、下シカタノ下手ナルベシ、マキ上ルニ目ニ立ツヨフニスル



ハ、マキアゲヨフノ下手ナルナリ、天地ノヨフニ下シタリ、上タリスベキハヅノコトナリ、天地ハ人ノ父母ナリ、人ノ師ナリ、天地ニナラフテ國家ノセワヲヤクベキハヅノコトナリ、外ニ師ヲ求ムルニ及バヌコトナリ、天ノ理ノ見ヨフハ洪範ニアリ、孟子云、餘ノ師アラント云ヘリ、人ハ小天地ナリ、人ノ身ガ即チ天地ナリ、人ノ身ヲ師ニスベキコトナリ、後ニイワユル仁君ハ、甘キモノバカリクフテオルヨフナルモノナリ、身ノ大毒ナリ、食事ノスギルハアシ、極備ナリ、不足ナルハアシ、極無ナリ、ドコヘユキテミテモ同ジコトナリ、ナンデモ後ノイワユル仁君トイフモノハ、カラクリチガフテオルナリ、殷ノ湯王ガ葛伯ニ犧牛ヲ進物ニシタルハ、葛伯ヲ愛シテヤリタルノカ、コトパデ、ヲ取ロフトイフテヤリタルノカ知ラヌナリ、己レガ百姓ヲヤリテ作りヲサセテ、童子ニ食ヲハコバセタルハ、葛伯ニ殺セルツモリナリヤ、殺サセヌツモリナリヤ、殺サセヌツモリナレバ、湯王ハ甚不智ナル人ナリ、殺セルツモリナレバ、甚ダ不仁ナル人ナリ、一世ヲスクフ功百目アレバ、童子ヲ殺ス不仁ハ一刃カ五分グラヒノコトナルベシ、湯武ニ不仁ナシトイフ論ハカタカシギノ論ナリ、不仁アリテモヨキコトナリ、一世ヲスクフ大仁成就スレバ、小仁ハナフテモヨキコトナリ、一世ノ人ヲイカセバ、童子一人グラヒ殺シテモヨキコトナリ、仁者ハ一向二人ヲ殺サズト思フコト間違ヒナリ、湯武ノスルトコロヲ今ニウツスコト、ケシカラヌ間違ヒナリ、孔孟ノイフコトヲ今ニイフ間違ヒナリ、天ノ通りニスベシ、天ノ平常ノ時ノ通りニスベシ、早損モ亂世ノ小ナルナリ、水損モ亂世ノ小ナルナリ、水旱ノ無キ時ノ

天ノ平ナル時ガ、昇平ノ小ナルナリ、ヨイホドニマキ上ゲテ、ヨイホドニ下ルト云フガ、天ノ平常ノ天ナルベシ、然レバマキ上ルニハ、イカバスルガヨイトイフニ、一割ノ利息ニテ田地山海ヲカシツケテ、利分ヲ滯リナフ取リ上ルコトト見ヘテ、周禮ガケ様ナリ、唯後世ハ上ガ奢侈ユヘニ、一割利息ニテハ不足スルカ、又ハ田畠山海ノ利息ガ一割ニユカスカナルベシ、民カラデカニ吸ヒ上グル法アリ、贖刑・賣爵ノ二種ナリ、コノ二種ノ外ハ皆天ノ御定ノ一割ノ利息ナリ、田地・山海・市陌ヲ民ニカシツケテ、一割ノ利息ヲ滯ナフ取レバ、金銀ハグルリ／＼トマワリテ、タリヒヅミナフメグリテオルヨフニシカケタルモノト見ヘテ、水ニハ潤下ノ理ヲ云ヒ、火ニハ炎上ノ理ヲ云フコトハ、全ク循環端ナキヨフニ、貨利メグルト云フコトヲ教ヘタルモノナリ、扱三代ノ盛ナル時ハ書記ニモナキコトユヘニ、委細ニハ知レネドモ、商賈ノ民ハ富ミテ、本業ノ民ハ貧ナリト云フコトヲキカズ、唯管子ニハコノコトアリ、管子ハ僞書アルベシ、管夷吾ノ作ニテハアルマジケレドモ、戰國ノ間ニ成リタルモノナルベシ、コノ時ニハ兎角商賈ハ富テ、本業ハ貧ナリト見ユ、シカレバ末業ノ富ニナリテ、本業ノ貧ナルコトハ古ヘヨリ然ルコトト見ヘタリ、是ハ全ク周禮ノ法ノ亡ビタルユヘナルベシ、周禮ノシカケハ、凡ソ諸民ヨリノコラズ一割ノ利息ヲ取ルシカケナリ、周禮ノ運上ハ□布・總布・質布・罰布・廩布コレダケハ農ノ十分一ノ外ノ十分一ナリ、紵布ハ百工ノ運上ナリ、今司空ノ屬缺タレバ、ドフシテ取リタルコトヤラ知レヌナリ、總布ハ升座秤座ナリ、質布ハ手形證文ノ日限ノオクレタルモノ、運上ナリ、罰布ハ市中

ノ町法ニソムキタルモノ、運上ナリ、塵布ハ諸シロモノ、運上ナリ、布ハ泉布ナリ、錢ノコトナリ、運上金ヲ取リ上ルコトコレホドナリ、是自然ニ金ヲ上ヘ卷キ上ル法ナリ、管仲ノ時分ハコノ事亡ビタルカ、管仲ノ時ハアリタレドモ、管子ヲ僞作シタル人ノ時ニハ亡ビタルカ知ラズ、且管子ニハ此法ヲ立ントイワズシテ、外ニシカタヲ工夫シタリ、農民ヲ富マシテ商賈ヲ貧ニシヨフト思召サバ、濩洛ノ水ノ堤ヲキリオトスガヨキナリトイヘリ、其時桓濩公洛ノ水ヲ決シタレバ、忽チニ農民富ミテ商賈貧ニナリタリ、コレハドフイフイワレナリヤト桓公問フタレバ、管仲ノ云ハ、濩洛ノ水ヲ決スレバ其邊ガ水ビタリニナル、水ビタリニナレバ雁ヤ鳧ガオリル、雁鳧ガオリレバ、富ミタル商賈共ハ弓矢ヲモチテ鳥ヲ射ニ出カケル、如此ナレバ其邊ニハ農家ヨリ飲食ヲ出シテ賣ルユヘニ、末業ガ貧ニナリテ本業ガ富ムトイヘリ、是甚マワリクドキ智ナリ、且國ニオキテハ毒ナリ、本末トモニヒマヲツブスコトナリ、且スコシバカリノ處ヘ行フベキコトニテ、大キナル處ヘ行フベキ工夫ニアラズ、且管仲ラシフナイ智ナリ、コレハ如シ周禮アリタラバ、周禮ヲ復スベキコトナレドモ、全ク周禮ナカリシユヘニ、ケ様ノマワリクドイ工夫ヲシタルモノナルベシ、孟子ノ時ニハアチコチ少シノコリテオリタル様子ナリ、市塵ノ征セズ法シテ塵セザル時ハ宜シケレドモ、今ハ兩方トモニ征スルユヘニ、征シスグルユヘニ、湯王ノ葛伯ヲ伐シヨフニユカヌナリ、少々ハ理ニチガフテモ、澤山ニ民ニハツハツトヤリチラスガ、天下ノ手ニ入ル法ナリト云ヘリ、朱注ニテハ、塵トハ居室ノ運上、征トハシロモノ、運上、法トハ運

上ナシニ市法ヲ正シフスルコトナリト注セリ、コ、ラモ孟子ハ周禮ト合ハスナリ、關ハ譏シテ征セヌガ  
ヨイトアレドモ、周禮ニテハ關ニテモ運上ヲトルナリ、塵ニハ夫ノ里布ノナイゴイトアレドモ、周禮  
ニテハ園ニ桑麻ヲウエヌ人ニハ、一閭ニ十五家ノ閭運上ヲトルトアリ、扱周禮ニハ此、紵・總・質・罽・  
塵ノ運上ノ外ニモ、穢多カラ運上ヲ取ルコトアリ、皮角筋骨ヲ取ルナリ、又市ノ見世ザラシニナリテ、  
ウレノコリタルモノヲバ、ヤスク御買上ゲニスルコトアリ、コレホド取リ上ゲネバナラヌコトナリ、今  
百姓バカリハ一割ノ利息ヲトリテ田地ヲカシツケテ、諸シロモノハ無利息ニテ賣買スルコト古法ニタ  
ガヘリ、無利足ニテ其土地ニ居ルモノアリテハ、是マキアグベキ金銀ガアガラズ、ユヘニ循環ノ如ク  
ニグルリノトハユカヌナリ、唯孟子ハ民ヲ猶ナデゴヘニテアマヤカシテ、皆此方ヘヒツタクルツモ  
リユヘニ、兎角ニ民ヘ賜リスギルコトニナレリ、賜リスギテモスコシノマジヤ、天下サヘ取リテシマ  
ヘバドフトモナル、今ハナンニモカマワズニ、唯民ノウレシガルヨフニシテ、天下中ノ人ガ皆此方ノ  
國ヘヒツツクヨフニスルガヨイトイフユヘニ、周禮ノ昇平ノ法トハチガフテオルナリ、サレドモ孟子ノ  
法ハ昇平ニハ甚合ハヌ法ナリ、且孟子ノイワル、コト或理合ハヌ處アリ、天子ハ萬乘ニテ千里四方、  
諸侯ハ千乘ニテ百里四方トイヘドモ、萬乘ニテ千里四方ナラバ、千乘ニテハ三百何十里四方トイフモ  
ノデナケレバ算用アハスナリ、千里四方ハ百里四方ヲ百アツメタル數ナリ、千ハ萬ヲ十二ワリタル數  
ナリ、ソレヲ千ニ百ヲ取リ、萬ニ千ヲ取ルハ、取リヨフガ一體多イ、多イニ又主殺シヲシテ其上ヲ取



ロフトインハ、ツマラヌトイハレタリ、千里四方ト百里四方ナラバ百分一ナリ、多ヒコトハナキナリ、少キナリ

稽古談卷之四終

## 稽古談卷之五

又魯ガ慎子ヲ將軍ニシタル時ニ、魯ハ周公ノ時ニハ百里ニタラヌ國ジヤト云ヘリ、甚少サキ國ナリ、天子ハ千里四方ニテ、畿内ノ土地ハ役人ニバカリツケテ、周公ノ、太公ノトイフ大役人ヲバ畿内ニオカヒデ、ソレデ千里四方ナリ、周公ハケニモ、ハレニモ、タツタ百里四方ノウチバノ國ニテ、家來ヲバノコラズ其内ニテ知行ヲヤル時ニハ、天子ノ知行トハ二百ワリノ一ツホドナルベシ、然ルニ成王ハ伯禽ヘ天子ノ禮樂ヲ賜リタリ、二百ブ一ノ身上デ、二百倍アル禮樂ガドフシテ行レヨフゾ、周禮ノワリ方ハ孟子トハチガフテオルナリ、周禮ニハ諸公ノ地ハ方五百里、諸侯ノ地ハ方四百里、諸伯ノ地ハ方三百里、諸子ノ地ハ方二百里、諸男ノ地ハ方百里トアリ、孟子ノ時ニハ齊・楚・秦皆方二千里ニテ、魯ハ七百里トアリ、五百里カラ七百里マデトリタスト云フコトハアリソフナリ、百里ヨリ七百里ニトリテハ、五十倍<sup>(七カ)</sup>フヘタルナリ、アマリ不算用ノヨフナリ、孟子ノ書モ孟子ノカ、レタルニハ相違アルマジケレドモ、實錄ニテハアルマジキナリ、梁惠・齊宣不算用ナル人ニテモ、唯ハイ／＼ト返事ヲシテ、アヤマリテオルト云フハ、アヤシキコトナリ、扱周禮ノ法ハ王制孟子トハチガフテオレドモ、理ニハシツクリト合フナリ、左レバ唯今イカバシタラバ、周禮ノマキ上ゲノ法ガ行ハレヨフゾ、今急

ニ商賈へ運上ヲイヒツケルコトカトイヘバ、一向ニサヨフナルコトニアラズ、凡ソ政ハイヒツケルナ  
ドイフコト、家來ニ對シテモ下手ナルコトナリ、多クハ自然ニヒトリデニユクベキコトナリ、商賈上  
ナドハ智ノ取りマハシ、士ヨリモヤツトツヨキモノ澤山アリ、其ノ智ノカバヤク商賈ニ、新規運上ナ  
ドヲイヒツケタラバ、大キニサワグベシ、コバトドコロデハアルマジ、大キニ怒リテサワグコトナル  
ベシ、以ノ外ノコトナルベシ、鶴江戸ノ大政ハ一向ニ知ラヌトコロナリ、諸藩ノ政ヲ見ルニ、ステ、  
オケバ上ガ貧ニナルナリ、マキアゲスギレバ下ガ貧ニナルナリ、マキアゲスギルサヘアシ、況ン  
ヤ此方ヘヨコセトイフテ取レバ、一向ニ術ノナキコトナリ、サレドモ計策ニテマキアゲネバナラヌナ  
リ、老子ニモ朝甚ダ除スレバ田甚ダ蕪シ、倉甚虛ストイヘリ、コレ朝廷ノ間アマリ立派ニナレバ、下  
ノ田アレチニナリテ、下ノクラガカラモノニナルト云ヘリ、コレマキアゲスギルハワルイト云フコト  
ナリ、又民利器多フシテ國家滋昏シト云ヘリ、王注ニ民強キトキハ則チ國家弱シト云ヘリ、コレ民ノ  
方ニ便利ノ器ガデキレバ、民ノ利スルコトガ多キユヘニ、金ガ下ノ方ヘ下ル、金カ下ヘサガレバ民ガ  
ツヨフナル、民ガツヨフナレバ、上ノ金ガ民ノ方ヘ吸ヒ取ラル、ユヘニ、上ガ貧弱ニナルト云フコ  
トナリ、コレマキアゲベキニマキアゲズ、ユヘニワルイト云フコトナリ、サレバ潤下・炎上トイン  
ハヨキ定本ナリ、水ノ上ヨリサガリテ、又下カラ上ルハヨキ目アテナリ、今上下共ニヨイヨフニシ  
ヨフトナラバ、周禮ノ法ガヨケレドモ、管仲ノ時分カラシテ、スデニ周禮ノ法タヘテ、マキアゲノ

カラクリ、サン／＼ソソンジテ、商賈富ミテ本業ノ民貧ニナリタレバ、今中々商賈ヲ急ニ金ノウゴク  
ヨツニトハナラヌナリ、鶴江戸ノ大政ハシラズ、イワズ、諸藩ノ政ヲイヘバ豊臣公ノ朝鮮セメノシ  
カケ宜シキ法ナリ、公吾邦ノアリサマヲ見玉フニ、東西南北相攻メテ戰鬪止ムトキナシ、ソコデ外國  
ヲ攻ルコトヲ始メ玉ヘリトイヒツタフ、日本ヲ一ト味方ニシテ、外域ヲ敵ト見ル法ナリ、今下ノ金ヲ  
マキアゲントスルト、下ハ上ヲ敵ト見ルナリ、上下交々相敵トスルハ、コレ甚ダ下手ナルコトナリ、  
豊公ノ故智ヲ以テ見レバ、一國一ト味方ニナリテ、他國ノ金ヲ吸ヒ取ルトイフ法、甚宜シカルベシ  
ト思フナリ、ケ様ニシテ一ト味方ニナリテオキテハ、少々過料ヲトリスギテモ、少々贖刑ヲ行ナヒテ  
モ、民怨ムマジキナリ、一國一ト味方ニナリテ、他國ノ金ヲ吸ヒ取ルトハ、產物マワシガ其機密ナリ、  
今幸ニドコノ國ニテモ、產物マワスコトヲ、セワヲヤカズニオルコト甚ヨキ手ガ、リナリ、上ニテ  
產物マワシノセワヲヤケバ、是民ト一ト味方ニナリテ、他國ノ金ヲ吸ヒ取ルナリ、產物マワシノ法ハ  
周禮ノ地官ニアリ、周禮ノ地官ノ產物マワシノ法ヲ寫シテ、產物マワシヲシテ、民ニマフケサセテヤ  
ルコトヲ題ニシテ、取リカ、ルコトナリ、凡ソ始メヨリマキアゲノ理ハ、トント民ニハシラサレヌコ  
トナレドモ、順々ニマキアゲル趣向ニナルベキナリ、今マデノ通りノスガタニシテオキテ、運上ヲ取  
ロフトスルユヘニ、誰ノ目ニモデキニ見ユルユヘ、民承知セヌナリ、水ノ潤下、火ノ炎上ノゴトクニ、  
イツノマニマキアゲタルカ、一向ニ民ニハ見エヌトイフガ上手ナルナリ、今民ト一ト味方ニナリテ、



自國ノ產物ヲ他國ヘマワシテ、民ノ爲ヲシテヤルトイフニ、民怒ル理ナキコトナリ、擬又今マデ納屋物ニシテ、民ノ自分ニテマワシツケタルシロモノ多カルベシ、コレヲモ上ノ荷ニシテヤリテ、先キ方ノシキリヤスイ時ニハ上ニテカイアゲテヤリテ、大荷物ニシテ外ノ所ヘマワシテヤルベキナリ、モト先キ方ニテ相場ヲヤスフ仕切ルハ、民ノ納屋物十荷物ユヘニ、問屋デモ蹴ルコトナリ、又納屋物トナレバ、途中モテン／＼入用、テン／＼雜用ノコトナレバ、大キニ費用カ、リテ損毛ナリ、產物マワシノ法ハ前ニイヒタル丹波園部ノ法ヲ用ユベキナリ、又品ニヨリテハ大荷ニシテ、大坂ヘマワスベキコトナリ、大坂・京・大津ノルイバカリガウリハラヒ場ニテ、外ニハナキニアラズ、大都會ニテハドコトデモ引合フコトデキルナリ、且外ノ都會ト引キ合ヘバ、此方ノシロモノヲ賣リ拂フノミニアラズ、其都會ノ物ヲヤスフシイレテクルコトモ出來ルナリ、又自國ノ物ヲ他ヘウリ、他ノ物ヲ自國ヘカイ入ル、ノミニアラズ、他ノ物ヲ他ヘウリテモヨキコトナリ、アキ人ニアキナヒヲサセルコト、國ノハチニモナラヌコトナリ、所詮米ヲウラネバナラヌ武家ノコトナレバ、物ヲウリタリカヒタリスルコト、又甚ノ醜行トイフコトニモアラズ、先ヅ上ハ德ノユクコト多カラヌガヨキナリ、大イブン下ノ德ノトレルヨフニシテ、下ノ少シヨロコビタル時ニ、ソロ／＼ト法ヲ建ルナリ、今民ノヨロコビモセヌコト、コバトヲ云テオルトコロヘ、法ヲ建テヨフトスルト、民イヤガルナリ、民ハ家中ノ家來トハチガフテ、督スルコトナラヌモノナリ、ヤワラカニ導クヨリ外シカタナシ、家來ナレバ法ヲ建ルコトヲイヤニ思ヒテモ、先ヅ承

知スルコトナレドモ、民ハ法ヲ建ルヲイヤニ思ヘバ散去スルナリ、士ハ散去ニレバ、飢ルユヘ散ゼスナリ、散ゼヌニアラズ、散ズルコトアタワザルナリ、民ハ散ジテモ、ドコヘユキテモ、飢ヘヌモノユヘニ、トントツヨフハアタラレヌナリ、扱民ノ產物ヲマワシテヤリテ、上ニモソノマワシテヤル入用ヲ納ルト云コトガ、マキアゲ運上ノ始マリナリ、コレニテ一體上下トモニ勝手ヨキコトナレバ、是レ法ノ建ツ方ガ民ノ勝手ニモヨキトイフモノナリ、法ノ建ツ方ガ民ノ勝手ニヨキトイフヲニナレバ、至極ヨキコトナリ、ソレヨリハ自國ノ市ノ目付ヲツケテ、市ノシラベヲスルコト、是又周禮ノ法ナリ、一體ハ市ニ目付ガナイユヘニ、カレコレトイフ喧嘩口論アルナリ、周禮ニハ市ノ酒殺ヲクヒニ出デ、飲食ヲスルコトヲ禁ズル役アリ、ナルホド市トイフモノハ、諸方ノ人ノアツマルコトユヘニ、飲食ノ見世ニ、市ノ日ニハカザリタテ、飲食ヲウルナリ、市人ガ飲食スルハ其爲ノコトナレバ、クルシカラヌコトナリ、ソコヘ飲食ノ爲ニ出テ來リテ飲食スルハ、是市ノ邪魔モノナリ、城下々々ハ別シテカロキ人々、或ハ家中ノ又モノナド出テ來リテ、飲食スルコト甚イワレナキコトナリ、コノ爲ニ市目付ヲオクコト又前人ノヨロコブコトナリ、凡ソヨロコブ處ヘツケコミテ、法ヲ建ルコト術ナリ、法立テバモハヤマキアゲノ理ヘ甚チカフナルコトナリ、又上ニテモ唯役人ヲ出シテ、市人ノセワヲヤク理ナキコトナリ、如レ此セメヨスレバ、平生町方ヲメグリテ武家御家ノ賣買ノ邪魔ヲスル人ヲ禁制スルコトモ、是役人ヲツケテヨキ理ナリ、チヨイト何ニツケテモ、役人目付ヲツケテ、民ヲカバフテヤルトイフ名ニテ、

ソロ／＼トマキアゲノ事ニシヨセルコト宜シキ理ナリ、マキアゲルコトナレバ、在町トモニトント知ラヌヲ第一トス、在町ノ内ニ一人此コトヲ知ル人アリテモ、法忽チニクヅルナリ、ユヘニ樞密トイフ、古ヘヨリ周禮ノ通りニマキアゲ來リテオレバ、民ウツカリトシテ法令ニ從ヒテオルナリ、其證據ニハ今農家ニテ十分一ヲトルコトハ、民コバトヲモイワズニ、上ノ法令ニ從フテオルナリ、氣ガツカヌナリ、商賈ハ年久シフ十一ノ税ナケレバ、今急ニ始ムルハ民大キニ變ナルコトニ思フ、農ノ十一ヲバ變ナルコトニ思ハヒデ、商賈ノ十一ヲ變ナルコトニ思フハ、ナレタルナリ、耳目ニナレテアルユヘナリ、耳目ニナレテアルユヘニ、十一ノ利息アルコトヲモクルシフ思ハズ、十一ノ利息ナキコトヲモ樂ニ思ハヌナリ、ナレルト云フモノハ面白キモノナリ、然レバナレサスルニシクハナシ、馴ルトイフハ急ノコトニアラズ、久シフナレコニナリテノ後ノコトナレバ、急ニスレバミナシソコナフナリ、ユルリトセネバ成就セヌナリ、扱ドノ國ニモセヨ、ユルリトシテオルコトノナラヌホドノ不勝手ニナリタルコトユヘ、大坂ノ引合ヲ物ニセネバナラヌナリ、今マデ何モカモオクレテオリタルユヘニ、修覆ノシドキノスギタルナリ、今又修覆セネバ、又々オクル、ナリ、一日モ早く修覆ヲスル國ハ大貧ニ至ラズニ、ドフカコフカ身上ヨフナルベシ、先ヅ利息ノヤスヒ金ヲ借り出シテ、古借ヲ品ヨフキリテ、扱國用ヲ節シテ下民ヲ鼓舞シテ、國ヘ金ノ入ルコトノ多イヨフニシテ、借財ノ患ヲ消スベキナリ、古ヘノ貨財ヲ循環端ナキヨフニ、クルリ／＼トマワシテ融通スルコト、周禮ノ定メハアラマシケ様ナリ、然レバ

外ハ大坂ノ金銀ノ應對ニテ、内ハ產物マワシ、此二品ハ只今ノ急務ナリ、產物ハナニガアルヤラ、其國ヘユキテ見ネバ知レヌコトナレドモ、土地ヨリ產スルモノハ、ドコモ／＼大ガイ同ジヨフナルコトナルコトナルモノナリ、唯サバキヨフニ巧拙アルコトナリ、サバケアンバイアシケレバ民面白カラズ、民面白カラネバ、出精シテ上ノ出ヲ多フセヌナリ、上ノ出多カラネバ、サバケモアシキナリ、兎角ニ民ヲ鼓舞ノ仕方第一ナリ、甚物ニ心得タル人ヲヤリテ、大坂ニセイ、京ニセイ、大津ニセイ、至極ムマフ取組ネバ民拍子ツカヌナリ、大津ハ鶴ノ懇意ノ人大ゼイアリ、面白キ所ナリ、近年ハ大キニ開キテ、大坂ノチイサイヨフナル所ニナレリ、大坂ハ大海ノ船ノツクトコロユヘニ、事ノ大イナルコトナリ、金モ多クオチル所ナリ、大津ハワヅカ湖水ノ船ノツクトコロナレバ事ノ大ヒナル所ヘハユカネドモ、少々ニテモ米マワレバ、金子ノ調達ノデキルトコロナリ、且調達ノ費用カ、ラズ、常々雜用ノカ、ラストコロニテ、大坂ヨリモ便利ナルコトアリ、芝居町トイフ花街アリ、四ノ宮モ娼樓アリ、コレヲ見レバ、昔ヨリ振舞ナゾアリタルコト見ユルナリ、高觀音ノ梅樹軒トイフ料理茶屋ハ近年出來テ、鶴ナド始メヨリ知リテオルコトナレバ、鶴ガ知リテカラ又大津ハ繁昌ト見ユルナリ、大津ノ繁昌ナルハ、諸侯ニ大津調達多フナリタルユヘナリ、鶴大坂ニ住セシコト、トリアツメテ兩年バカリナルベシ、大坂モ鶴ガ覺ヘテモ又繁昌ニナリタルナリ、昔ハ大坂調達ヲセヌ諸侯モ、近年ハ大坂調達始マリタルユヘナリ、凡ソ金子調達ノ出來ルトコロノ繁昌スルコト、鶴覺ヘテモ十倍モ二十倍モ繁昌スルヲ見テ、



上ニ金ノナフナリタルコトヲ察知スベキコトナリ、上ニ金ノナフナリタルヲ見テ、下ノ金ノ澤山ナルコトヲ察知スベキコトナリ、奢侈ノ風ニナラヒデ叶ハヌ理ナリ、天下ニ統奢侈ニナレバ、田舎ヘモ奢侈ウツラヒデ叶ハヌコトナリ、鶴昔壬子癸丑ノアイダニ越後ニ遊ビタルコトアリ、其後甲子ニ又再遊セシニ、昔年トチガヒタルコト、一向ニ雲泥ノタガヒナリ、少々ノコトニテハナキナリ、癸丑ニ越後ノ蒲原郡ノ内、一ノ木戸トイフ所ニ遊ベリ、一ノ木戸ノ大庄屋小林某ト云人、鶴ヲムカヘテ逗留サセテ、文法ナドヲ講ゼシナリ、癸丑ニユキシ時ニハ、女ノ分ハ皆ムスビガミナリ、衣類ハ皆腰キリアリテ、細キ帶ヲシメテ、頭ニ手拭ヲハチマキニシタル人多シ、多クハハダシニテ糞ヲ脊ニ負テ往來ス、扱々蝦夷人ヲ畫ケルヨフナル様子ナリ、鶴主人ノ家ニ到レバ、主人袴ヲ着テ自身ニ余ガ飯ヲ給仕ヲシテ、膳ヲ眉ニ齊シフ捧ゲテ來ル、余再三御家來ニ仰セ付ラレトイヘドモ、主人敬謹ニテ自身ニ給仕ヲスルコトナリ、扱主人膳ヲ持出ス途中ニテ、シバノ平皿ノフタヲナオス、ナオセバ又デキニ蓋ヌメリトオチル、又シナオセバ又オチルコト五六度ナリ、余平皿ヲ見ルニ、盛リヨフ甚多ユヘニ、フタノスベリテオチルナリ、コレハスサマジイモリヨフカナト思ヒテ見レバ、平皿ノ中ニ品々モレリ、先大根・人參・牛房・ツト豆腐・アララケ・シイタケ・ナスビ・コンニヤク・鮭ノキリミ・アユ鴨ナリ、余ノ曰、コレハスサマジイ御馳走、オビタマシキ品數ナリトイフタレバ、主人云、江戸ヨリハルハ御入下サレタレバ、何ゾ上ベキハヅナレトモ何モ御馳走ナシ、平皿モ唯十一イロヨリ外ニハナシトイフ、余曰、ケ

様ニゴタマゼニ煮テハ、御世話ノコトナリ、且味モ専ラナラヌコトナリ、鶴へ御馳走ナラバ、一イ  
ロヅ、煮テ、十一品ヲ十一度ニ仰セ付ラレタラバ、猶ヨロシカラニトイヘリ、主人云、イヘ／＼左  
様ノソマツノコトハナリマセヌ、御遠慮ナシニ召上ラレテ下サレイト云ヘリ、萬事コノシカケデアリ  
シナリ、カヘル時ニ彌彦トイフ驛マデ三四人見送りテ來レリ、鶴ハ四十年ヨリ駕籠ニテ遊歴セリ、コ  
ノセツハ三十七八ノ時ユヘニ、ワランズヲハキテ、書物ヲセオイテアリクコトナリ、扱彌彦ニテ遠ク  
送りテキタル人ニ酒ヲノマセント思ヒテ、彌彦ノ酒屋ヘヨリテ酒屋ノ書付ヲミルニ、並酒一升八十文、  
上酒一升百十文トイフ札ヲハレリ、鶴見テ主人ニ酒ヲウリテ玉ハレトイフ、主人イカホド入用ナリヤ  
ト問フ、鶴イフハ、少シバカリノ入用ナリ、一ノ木戸ヨリ送ル人アリ、今アトヨリ來ル、寺泊ヘトマ  
ルコトナレバ、ユルリト寺泊ニテ酒宴ヲ催ス、コ、ハ唯明神ヘ拜スルマデノコトニテ、立テオリテ一バ  
イ飲ムコトナレバ、上酒ノ方ヲ三合バカリ買タキナリトイフ、主人大ニ驚キ、ソレハ澤山ニ入ルコト  
ナリ、何人ホドノ送り人ナリトイフ、鶴云、三四人ナリトイフ、主人左ヨフナラバ、一合ニテ宜シ、  
一合ニテ澤山ナリト云フ、鶴思フニ、一合ニテハ一向ニタラヌコトナリ、立テイテノミテモ、中々ソ  
ノグラヒニテハタルマジ、ソシテ一合ハナンボナリト問フニ、主人イフ、一合ハ三十二文ナリト云フ、  
余云、上酒一升百十文ニテ、一合三十二文ト云フハ算用アハヌコトナリト云ヘバ、主人云、ソレデモ  
一合ハ三十二文ナリト云、余ソノ器ヲ見タシトイヘバ、器ヲ見スルニ、親腕ノ如キモノ、柄アリテ持

ツベキモノナリ、六合ばかりモ入ルモノナリ、ソノウチニ送ル人來リテ大ニ笑フテシマヘリ、凡ソ越後ノ一升トイフハ、一升三四合モアリト云フ、此時米一升ハ二十四文ト云フコトニテアリシナリ、ソノ一升ガ右ノ如クヤスキコトナレバ、米ハ甚ヤスキコトナルニ、其後四五年タ、ズニ、越ノ小林某京へ上リテ、余ガ家ニ來リテイフニハ、一體越後ハ先生御存ジノ通米ノヤスキ處ナリ、ユヘニ米ニテ大阪へ廻シテ、大阪ニテウリサバクコトナリシニ、一兩年大阪ノ相場甚ヤスフテ、越後ノ新潟ノ相場甚タカキユヘニ、新潟ニテ米ヲウリテ、金ニシテ大阪へ持參スルコトユヘニ、年々ニ越後ヨリ金子ヲ持テ上ルコトニナレリ、昔ノ越後トハ大キニチガフテ、升目モ眞ノ升目ニナリテ、米直段モズツト高フナリ、金ハ一向ニフツテイニテ、奢侈ハ日々ニ甚シフナル様子ナリト云ヘリ、其後ニ鶴江戸へ下リテ、又越後ノ招キニテ越後へ下リタリ、コノ年ハ甲子ナレバ、昔下リシ時カラハ十三年ブリナリ、十三年間ヲオキテ下リテ見ルニ、昔トハ又大キニチガフテ、ケシカラヌ奢侈ナル風ニナレリ、ソノ時越後へ下リテ見ルニ、女ハ皆髪ヲユフテ、緋縮緬ノ板ジメノ帶ヲシテ、甚ウルワシフ粧フテ、一向ニ昔ノ越後ニテハナキナリ、先小林ノ家ニ着スレバ、茶室へ通シテ干菓子ヲ出シテ、釜ハチン／＼トタギリテオル、扱淡茶ヲ飲セテ、ダン／＼様子ヲ見ルニ、一向ニ昔トハチガフテ立派ナリ、暫クスレバ主人先早速ノコト、カケ合ヒヲ上マスト云フ、カニナメ折敷ニ異風ナル形ノ椀ナリ、鹽魚ノセシバニナド、イフキレイナル料理ニテ、一向ニムカシノ十一種ノ平皿ノ様子トハ雲泥ノ相違ナリ、ケ

様ニモカワルモノカトイフテ、主人トハナシヲスルニ、米ノヤスキトキハ貧デアリソフナルモノナルニ、米ノタカフナルニ順フテ貧ニナルト云フハ、イカバノワケナリヤト問フ、鶴答ヘテ云フ、貧富ハ米ニカ、ワルコトナシ、時ニカ、ワルコトナシ、皆ソノ人々ノ取ルトコロナリ、米ノヤスキユヘニ富ミテ、米ガタカフナリタルユヘニ貧トイフコトハ、一向ニナキコトナリ、初ニハ質朴素儉ニテアリシユヘニ、ケツコウナモノハ、入用ニテナカリシユヘニ、ケツコフナル道具ハカワズ、ケツコウナル衣服ヲ着ズニオリシナリ、米ガタカフナリテ、金ノ手ニ入ルコト多フナリタルユヘニ、ケツコウナルモノヲカヒ取りタルガ貧ニナル始メナリ、昔ノ富ミタル時ノ家居・衣服・飲食ヲスレバ、今ニテモ富ムナリ、昔富タル時ニテモ今ノ家居・飲食ヲスレバ貧ナリ、貧富ハ家居・衣服・飲食ニ在リテ米ニモ時ニモカマワヌコトナリ、唯米ニカギラズ、一體諸色ノ貴フナルハ、世ノモチアガリタルナリ、昔ハ越後ノ世ガ沈ミテオリタルユヘニ、貧ノ來ルスデミチノナキナリ、今ハ越後ノ世ガモチアガリテオルユヘニ、富ノ字ハ又ヒクヒ處ヘ流レテユクナリ、富ハ金ナリ、金ハ物ナリ、物ハ下ヘサガルガ性ナリ、ヒクヒトコロアレバ、其ヒクヒ處ヘ流レオツルコト水ノ通りナリ、質朴素儉ハヒクイトコロナリ、奢侈淫佚ハ高イトコロナリ、越後ノ都會ガ奢侈ニナレバ、金ハ山ノ奥、谷ノ間ノ質朴素儉ナル所ヘ流レテユクナリ、其山ノ奥・谷間ガ又高尚ニナレバ、金ハ他國ヘ流レ出ルナリ、金ニハ常住ノ所ナシ、ヒクキトコロヘユクナリ、米ガタカフナレバ、貧ニナルハ、米ノタカフナルユヘニ奢侈ニナルユヘナリ、



扱人ノ身ニモ苦樂ナシ、苦樂ノ常住ト云フコトナキコトナリ、昔ハダシデアルキタル時ハ、ハダシデアルクガ常ナリ、ハダシデアルクガ常ナルニ、ハダシデアルケバ是苦ナルコトハナキナリ、今ハウラツケ雪駄デアルク、ウラツケ雪駄デアルクガ常ナリ、ウラツケ雪駄デアルクガ常ナレバ、是樂ナルコトハナキナリ、一體ノ位ガ上ノ方ヘアガルユヘナリ、ユヘニモチアガルト云フナリ、昔ハ常ニテクルシカラズニ、クラシタルモノナリ、今ハ常ニテクルシフテ、ドフモコフモナラヌ日ニハ、是昔ハヨキ世ノ中ナリ、ヨキ世ノ中トイフハ、ドノヨフナモノデゴザルトイヘバ、膝キリノ木綿衣服ヲキテ、芋ノ煮コロバシデ、ヒヤ飯ヲクフコトナリ、クルシイ世ノ中ノ、今ノヨフナセツナイ世ノ中ハナイトイフ世ノ中ハ、ドノヨフナモノデゴザルトイヘバ、釜ヲカケテチン／＼トタギラセテ、ケツコウナ干菓子デ淡茶ヲノミテ、絹布ノ衣類デ立派ナ家ニイルコトナリ、昔キタナキ家ニウツカリトイテクラシタルハ、是レハ己レガ分相應ジャト思フテオリタルユヘニ、氣モツカヒデウツカリトクラシテオリタルナリ、今立派ナ家ニウツカリトイテクラスハ、是レハ己レガ分相應ジャト思フテオルユヘナリ、然レバ昔ハ分相應ノ家ニイテ、クルシイコトモナククラシタルナリ、今ハ分相應ノ家ニイテ、クルシミ／＼テ苦勞スルコトハ、タワケナルコトナリ、タワケナルコトナレドモ、世ノモチアガリテ來タルナレバ、ヨンドコロモナキコトナリトイフモノナリ、又己レ一人リキミテ昔ノヨフニクラソフトイフテモ、世ノ波ガチガヘバ勤メ向キニモサワレバ、人モツキ合ハネバ用事モタラネバ、トント一人

ノケモノニナラネバナラスコト也、ノケモノニナリテモ、平ラ百姓ナレバヨケレドモ、大庄屋トイフモノハ役儀ガアリテ、陳屋ヘモ不斷ニ出入リヲセネバナラズ、支配下ノ百姓ニモ諸事セハセネバナラスモノナレバ、ノケモノトイハレテハ役儀ニサワルナリ、ソコデ表向ハ世ノ波トトモニ波タチテイテ、内シヨノ所ヲ法ヲ立テ、儉素ヲ守リ、扨家ヘ金ノ入りメ多キヨフニシテ、借金ノ出來ヌヨフニセネバナラスナリ、昔トハ大キニ智ノ入ルコトナリ、働キノ入ルコトナリ、昔ノ通リニ智モフラリトシテ居リ、働キモセズニ、内シヨノ法ヲモ立テナヲサズニオレバ、是トフ／＼世ノ波ニウチタオサレテシマウトイフモノナリ、是ハ唯越後バカリノコトニアラズ、天下中ノ國皆是レナリ、唯大庄屋バカリノコトニアラズ、大名・小名皆是レナリ、大庄屋ハマダ／＼クルシミトイフテモ、小サキクルシミナリ、借金ト云テモ、少シバカリノ借金ナリ、大名ノクルシミイフバカリナシ、大名ノ借金口ニアマルホドノ數ナリ、世ノモチ上ルコトハ、越後ノヨフナルコトニテハナシ、世間ノ勤メムキ、登城・廻勤。客ヲシタリ、客ニユキタリ、家來ノサバキ方越後ノ大庄屋ノヨフナルコトニテナシ、スルコトハキツトセネバナラズ、サレバ又大名ノクルシミハ、中々越後ノ大庄屋ノヨウナルコトニテハナキト思フベシ、サレバ法ヲ建テ、修葺シ、國ヘ金ノ入ルシカケヲセネバ、四鄰ノ國ニテ皆油斷ナフ出精スルニ、此方バカリセネバ、是四方ヘツケドリニ逢フトイフモノナリ、外ヘトラレマイトスル、内ノ法ヲ建テナオソフトスル、金ヲヤスフカリ出シテ、御名目ルイノ金ヲ返ソフトカ、ル、國ノ產物ヲ他ヘ出シテ利ヲ

得ヨフトカ、ル、相互ニハゲミ合ヒ、モミ合ヒスルコト、今ノ時ホド甚シキ古來ナキコトナリ、越後ナドハ北國ノハヅレノカタエンジヨユヘニ、世ノモチ上リガズツトオソフ來リタルナリ、田舎ニテモ早フマワルトコロハ、今日ニ至リテハ妙ナル計策ヲ出シテ、勘定ナルコトヲスルコトナリ、今日甚クルシフテナラヌユヘニ、少シユルメテホシイト思ヒ玉ハ、諸國諸方ノ計策ヲ澤山ニキ、タメテ、見合セテ考ヘ玉フベシ、内ノ法ヲバ諸方ノ法ヲ建タル人ノ話ヲヨクキ、テ、ソレニツキテ法ヲ組立ラルベシ、一時モ一時モ油斷スベカラズト云フヲキカセタル時ニ、此小林某手ヲウチテ感心シテ、ナルホド面白キコトナリ、此村ニ六之助某トイフモノアリ、昔ハ小舟ニノリテ渡シモリノヨフナルコトヲシタル男ナリ、コノ翁當時ノ時勢ニツキテ、ダン／＼カンガヘテ、處々ヲアリキテ、ヤスキシロモノヲカヒ出シテハ高フウリ、相場ノアガリソウナルモノヲカフテハ利ヲ得テ、新潟ヘシバ／＼ユキテ交易賣買ヲスル、家法ヲバヤハリ渡シモリノ通りニシテクラスウチニ、メキ／＼ト身上ヲシアゲテ、此節ハ候ヨリ紋付ヲ賜ハル、他所ユキハ帶刀ヲ免ゼラレ、大庄屋ノ上席トナリテ、夥シキ金ヲフリマワスコトニナレリ、金ハネヅミザンノモノナレバ、借金モ見テオルウチニフヘル、蓄積スルコトモ見テオルウチニ仰山ニナルヲ、今ハ凡ソ此邊ノ豪家トナレリ、唯元ト不學無術ノモノユヘニ、百姓ヲ虐シテ不測ノ罪ニカ、レリ、所謂ヨク終リアルコトスクナシニテ、學才ニテモアリタラバ、今古ノ例ヲ點見シテ、禍ヲ避ケ福ニ就クベキニ、始メノシワザトハ、終リニハ大キニチガハリト云ツテ話シタリ、サレドモ一

體侯ノ身上ヲモ一旦ハユルメ、金ナドヲモヤスフ借リタルコトユヘニ、百姓ヲ虐シタル罪ヨリモ功多カリシヤ、仕置モナク唯免サレテ、平百姓ニナリテ唯富タル翁ニナレリ、コノ翁學才ナキユヘニ罪ニオチイリタリトイフハ、此小林某ノ論ノタラヌナリ、ワタシ守ノ翁ナレバ學才ハナキハヅナリ、又此翁ガ執政ノ用ニタ、フヨフノナキコトナリ、コレハ上ニ此翁ヲツカフ人ノナキユヘナリ、上ニ此翁ヲツカフ人アレバ、キツト役ニタツ男ナリ、凡ソケ様ノ人ノ罪ニカ、ルハ、上ノアシキユヘナリ、ツカヒヨフアシキユヘナリ、巴豆ハヨキ藥ナリ、烏頭モヨキ藥ナリ、ツカヒヨフアシケレバ、人ヲ害スルコト少カラズ、此翁ハリツバナル藥物ナリ、醫者ノツカヒヨフノアシキナリ、本ト國ヲ富ストイフハ、一人ヤ二人ノチカラデ成就スルモノニアラズ、トントノ上ニ君アリテ、其下ニ大臣アリテ、掎其大臣ガ大ゼイノ人ヲツカツテ、國ノ富ムヨフニスルナリ、大臣ノ下ニハ國ニヨリテハ何千人モ何萬人モ人アルコトナリ、人ニ不自由ハトント無キナリ、醫者ガ病ハヨフスレドモ、藥ガナイトイフ醫者ハ、醫者ノ下手ナルナリ、藥ハ不自由ナフアレドモ、ツカヒヨフガアシケレバ病ナオラヌナリ、國ノ一タビハ富ミ、一タビハ貧ナルハ國ノ情ナリ、國ノ貧ナルトキヨリ、ダンノ富ム時ガ六ヶ數ナリ、オソロシキコトハナキナリ、唯ムツカシキナリ、掎大ニ富國トナル、コノ富國トナリタル時ニオルコトハ、ムツカシキコトハナキナリ、オソロシキナリ、貧ニナル始マリハ富ム日ニ起レリ、富ム日ニオルホド氣味ノワルキ、オソロシキコトナシ、修覆スベキ時分ニ修覆セネバ、救ハレヌコトニナルコト易ノ泰



ノ卦ニアリ、秦ノ初九ハ秦平ノ始マルトコロナリ、下ニ居ル賢者タチガ出デ、秦平ヲ始ムルトコロユヘニ、コ、ハズツトヨキトコロナリ、花ナレバ荅ノ場處ナリ、今開カントスル處、甚サカンナル處ナリ、九二ハ周公旦・傳説・伊尹ナドノ場處ナリ、大臣ガ政ヲウケトリテ、旦那ノ身上ニ目鼻ヲツケル場處ナリ、一體秦平ノ世トイフモノハ、人々干戈ヲモワスレテ、秦平ノ化ニホコリテオルユヘニ、此秦平ノ時ニ居テ大臣タルモノ、心得ヲイヒタル爰ナリ、九二ノ辭ニ「包荒用馮河、不遐遺、朋亡、得尚于中行」ト云ヘリ、荒トハアレ地ノコトナリ、役ニ立ヌ土地ノコトナリ、包荒トハ役ニタ、ス人ヲモオヒダサズ、振ヒノケストイフコトナリ、今天下ノ人秦平ノ化ニナレテ惰リ弛ミテ、法度モクヅレテオルトコロナレバ、急ニテキハキト陟黜ヲスルハ、先ヅルヒトイフコトナリ、コ、ハ腹中ノ度量ヲヒロフシテ、コセ／＼トコセツタ場所デハナイ、ノツシリトシヅカニオチツキテ、カ、ルトイフコトナリ、馮河ヲ用ユトハ、馮河トハ河水ヲ步行ニテ渉ルコトナリ、大井川ノヨフナ瀬ノ早イ川ヲナントモ思ハズ、グヒトワタル心ニナリテ、ムツカシイコトニ取リテカ、ルニハ、勇氣ナケレバナラズト云フコトナリ、秦平ノ世トイフモノハ、人々皆マヅ今日アンラクユヘニ、カリソメ心ニナリテ、取テカカル氣ノナキモノナリ、先々ステ、オケ、法クヅレテモ先ソレナリニオケ、コトヲ改ムルハムツカシイコト ज्या、デキヌコト ज्या、今マデノ通りニツバイテアラタメスユクガヨイトイフテ、勇氣ナク怯憚ニテ、何事ヲモ恐レテコソガリテ、姑息ノコトガクセニナリテ臆病ナルコト、秦平ノ世ノスガタナ

リ、ケ様ニアレモ延引、コレモ延引ト延引シテオルユヘニ、病大病ニ及ブナリ、ユヘニコ、ハ剛ナル心ヲ出シテ、果斷ヲ主トシテ深イ水ヲワタルヨフニ思ヒキリテ、シソヲマクリテ、クルシイ藝ヲ始ル心モチニナラネバナラスト云フコトナリ、遐キヲ遣レズトハ、ケ様ノ大業ヲクワダテ、今度身上ヲナオソフトイフ場ユヘニ、スミノスミ迄モ目ノ光リガトバカネバナラストイフコトナリ、人ガナイトイフテイテハ、イツデモ人ハナキナリ、賤イ官ヲ勤メテオル人ニ、役ニ立ツ人アルモノナリ、他所モノトントハナレタ所ノ、田野山林ナドニ賢人アルモノナリ、コレモ今亂世カナドノ時ニハ、急ニ智者入用ナレドモ、今ハ泰平ノ時ナレバ、ソシナムツカシイ遠方ノ人ヲ、ワザノ頼ムニ及バスコトナゾトイフテ、グズノトトフザマカナヒヲシテ、日ヲ暮シテオルモノナリ、左様ナルコトニテハ、中々コノ中興デキヌコトナリ、ユヘニ遠方ノ人ヲワスレヌヨフニ、泰平ノ人ノワスレテオル所ヘ氣ノソクヨフニトイフコトナリ、朋亡フトハ、朋ハ朋黨ナリ、朋黨トハヒイキヲスルコトナリ、ヒイキノ心アリテハ、大公トイフモノニテハナキナリ、公トハオホヤケトイフコトナリ、ヒイキハオホヤケデナキナリ、コレハ旦那ノオト、ジャカラ、コレハ先ノ旦那ノ姉ジャカラ、外ノ人ヘハキビシイ儉約ノフレヲモマツサルレドモ、アソコラヘハコノ觸レハヤラレマイナゾトイフハ朋ナリ、ヒイキナリ、ドコデモ一統ニキリソロヘネバ中興ノ主、國ヲ富マス君トイフニハナラレヌナリ、國ヲ富マストイヘバユルヤカナコト、國ノタオレソフナノヲ救フトイフコトナリ、大國小國トモニ君ト大臣トソロハネバナラヌ

コトヲ、天地ノ理ニ合セテ、其順ヲナラベテ見セテ、其弊ヲ救フ仕方ヲ又天地ノ理ニテ推シテ見セテ、ケ様ニ救ハネバ救ヘヌトイフコトヲ述タルガ泰ノ卦ナリ、凡ソ易ハ皆戒メナリ、コノサキガ知レルトイフコトニテハ、サラ／＼ナキナリ、コノサキノ知レヨフ理ノナキコトナリ、コノサキノアルキヨフヲ教ヘタルモノナリ、コフアルケバコフナル、ア、アルケバア、ナルト云フコトヲ、コマカニワケテオシヘタルナリ、ユヘニ易ニハヨイ卦トイフ卦ナシ、ワルイ卦トイフ卦ナシ、アルキヨフニテ、ドノヨフナ苦シイトコロヲモスケラルナリ、仕方アリドノヨフナ、ケツコフナトコロヲモトリハズシテ、苦シイ目ニアフ仕方モアリテ、歩行ヨフノ路案内ヲスル書ナリ、富ヘ行ク路モ、貧ヘ行ク路モ、安ヘユク路モ、危ヘ行ク路モアルナリ、千里モ二千里モ遠方ヘユク路ノヨフナルモノナリ、左リヘユクベキ時モアリ、右ヘユクベキ時モアリ、アトノ方ヘカヘルヨフナル時モアリ、山ヘノボリムツカシヒ谷ノ上ノボリ路ヲアブナフ通ルヨフナル時モアリ、大井川ノヨフナ川ヘユキアタリテ、ゼヒワタラネバナラヌコトニナリタルユヘニ、勇氣ヲ出シテザンブリトハイル時ノヨフナルコトモアルナリ、唯此宜シキ路ガ一トスデ路ナレバ、ウツカリト鼻歌ナドニテアルキテモ迷ハネドモ、四ツ辻ヤ八ツ辻ノヨフナルコトニテハナシ、千辻萬辻トアリテ、ドコヘイツテモユク路アキテヲルユヘ、酔ニ乗ジ鼻歌ナドニテ、ラク／＼トアルケバ、トツテカヘラヌ路ヘアルキテユク、オソロシキコトナリ、トントヨリニヨリテタシカナル路ニ、戦々兢々トシテアルクコトナリ、世ニハ治亂ナシ、治ムル人ノ心ニアルナリ、國ニ貧富ナシ、

政ヲスル人ノ心ニアルナリ、路ニ善惡ナシ、アルク人ノアルキヨフニアルコトナリ、事ニハ智ナル筋  
ナンボモアリ、行フ人ニアルコトナリ、世ニハ智ナル人イクタリモアリ、吟味スル人ニアルコトナリ、  
諺ニ親ハ苦ヲスル、子ハ樂ヲスル、孫ハ乞食ヲスルト云フコト、易ノ理ニヨフ合フタルコトナリ、親  
ノスル場ガ中興ノ人ノスル場ナリ、子ガ樂ヲスルユヘニ孫ガ乞食ヲスルナリ、子ノ居ル場所ガ秦平ノ  
民ノ居ル場ナリ、コ、デ子ガ樂ヲセネバ、孫ガ乞食ヲスルニ至ラヌナリ、コレ子ノ居ル場所ハオソロ  
シキ場處ナリ、ウツカリト姑息ヲシテオル場所ニアラズ、今ノ大名ハ子ノ居ル場處ナリ、御先祖ガ血  
マブレニナリテ、危フキトコロヲ功名ヲシテ、鑓先キニトリタル知行ナリ、二十萬石ニセイ、三十  
萬石ニセイ、命トツリカヘニ取リタルナリ、コレヲウツカリト樂ヲシテオルコト、愚ナルコトナリ、  
又功名モナキニ二十萬三十萬ノ主ニナルト云フコト、理ニ一向ニナキコトナリ、詩經ニモ狩セズ獵セ  
ズンバ、何ゾ汝ノ庭ニ縣鶉アルヲ見ントアリ、狩ヲモセズニ鳥ノ臺所ニアルト云フ理ナキコトナリ、  
骨ヲ折リテ狩ヲシテカラ、鳥ハ臺所ニアルベキハヅノコトナリ、莊子ニモコノコトアリ、唯己レガ居  
間ニ豚ガ一疋アリタラバ、サヅ／＼ウスギミワルイコトニ思フベシ、骨ヲ折ラズニ二十萬三十萬ノ地  
ニ食ムコトホド、ウスギミワルキコトハナキ理ナリ、豚ノ死ンダルノガ居間ニコロリトアリテサヘ、ウ  
スキミワルイ、況ンヤ豚ヲ吸物アンバイニシテ、トリザカナニコシラヘテ、酒ノカンガチヨフドヨイ  
ホドニデキテイテ、唯飲食スルバカリニシテ、居間ニナラベテアリタラバ、大キニコワキハヅノコト



ナリ、秦平ノ世ノ人ハ唯飲食スルコトばかり知リテ、骨ヲ折リテトルコトヲバ、何トモ氣ガツカズニ  
オル、是オソルベキコトヲオソレヌトイフモノナリ、天地ノカラクリニハヅレテオルナリ、骨ヲ折テ  
國ノ修葺ヲナサレイトイヘバ、シユフクハセヌガヨイトイフ、是レ時ヲトリソコナフテオルナリ、曹  
參ガ蕭何ノ後ヲスル意ヲウツサズニ、事ヲウツストイフモノナリ、曹參ノ心ノウチヲ知ラズニ、上ハ皮  
ばかり見テオルナリ、川ノ中ニ洲アリテ、洲ニスマイヲシテオル人ハ、水ノ出ソフナトキニハ地形ヲ  
高フセネバ、水ガツキテオラレスナリ、親ガ此廬ヲカケテオリタルユヘニ、親ノスルトオリニシテ、  
トントウゴカズニオルガヨイトイフテ、ダン／＼水ガ高フナリテクレバ立テオリテ、地形ヲ築キ上ルコ  
トヲセズ、地形ヲ築クハ却テオソロシキコトニ覺ヘテ、働カズニ居ル心ハナントイフ心ナルヤ、マタ水  
ガマシテクレバツマ立テ居リ、又水ガマシテクレバ二階ヘアガリ、屋根ヘ上リテ、先ヅ水ノツカヌヨ  
フニシテオルツモリナリ、ケ様ニシテオリテモ、水ハダン／＼マセバ、仕方アルマジキナリ、只今ニ  
ナリテハ地形ヲツカフトイツテモ、築クコトナルマジキナリ、世ノ腋ハ水ヨリモ防ギガタキモノナリ、  
掘日々夜々ニス、ミテマスモノナリ、水ハダン／＼ニ益スニ、築クコトヲセネバ廬ハ沈ム理ナリ、廬  
ノ沈ムヲ見ナガラ、ステ、オクコトアブナキコトナリ、オソロシキコトニテハナキヤ、左レバ今ハ地形  
ノトコロヘハユカズ、唯先ヅ水ヲセキトメフセギトメテオキテ、暫ク水ノナキ處ニシテオキテ、ソレ  
カラ急ニ地形ヲ築キタシテ、土地ヲ高フシテ、廬ハ水ノツカヌヨフニスルヨリ外ナキコトナリ、水ヲ

モ防キトメズ、土地ヲモ築キタサズ、ステオキテ、己レガセイノ高フナルヨフニセントシテモ、人ノセイノ高サハ知レタルモノナリ、別ニ高フナル理ナキコトナリ、己レガセイヲ高フスルヨリ、己レガ居ル處ノ地形ノ高フナルガヨキ理ナリ、他人モ同ジ地形ニ居ルナリ、他人ノ地形高フナレバ、是レ水ハ己レノ廬ヲヒタシ流ス理ナリ、是ヲモマタセイノビヲシテ、先今ノトコロヲ暫クノガレテオルトイフハ、眞ノ姑息ノ計策ニテ、トント永カラヌコトナリ、外カラ見レバ、アブナキコトカギリナシ、如シ水中ノ廬ヲ守リテオリテ、心クルシフ覺ヘル人アラバ、水ノ濱ニ立テオリテ外カラ見テ居ル人ニ、チト見テモロフテモヨキコトナリ、コトニ他ノ廬ノ流レ沈タルコトヲ見ヌニモアラズ、左右ノ廬ノ沈ミ流ル、ヲ見ナガラ、黙シテ己レノ廬ヲ救ハヌトイフモ、アヤシムベキコトナリ、己レノ廬ヲ救フ法ヲ得ズバ、廣ク問フテモ是レハ耻辱ニモナラヌコトナレドモ、己レヲ愧ルコト一統ノ世ノ凡ナリト見ユルナリ、耻テソレニテ事スメバヨキナリ、事モシスマヌ日ニハ、廬ハ見テ居ルマニ沈ムベシ、諺ニオカ目ハ日トインコトアリ、外ニ見テオル人ハ平心ニテ見テオルナリ、廬ニオル人ハハツハツトシテオルユヘニ、心モ智モノボリテ、ウロタヘサワグ理ナリ、ウロタヘサワガズニナル人ハ、廬トウチジニヲスルツモリノ人ナリ、廬トウチ死ヲシタルトコロガ、廬ニハスコシモ益ナキコトナリ、助ケ無キコトナリ、ウチ死ヲシタルトコロガ、先祖ノ一向ニウレシガリモ、ナニモセヌコトナリ、且ウチ死ヲスルナド、クルシサイフベカラズ、眞ノ水ゼメナリ、金革ヲ衽ニシテ討死ヲスルハ、勇ナルコト立派ナルコトニテ、

後世ニモ譽聲ヲ傳タルコトナルベシ、水ノダシクニツクヲ、其防ギヲモ怠リテセズ、ズルケ／＼テ犬雞トトモニ溺レ死スルハ、後世ニモ譽聲モ傳ハラズ、大ニ笑フベキコトナリト云フコトヲバ知リツツ、先ズルケ／＼シテオルガ泰平ノ世ノ民ノ風ナリ

海保子曰、老子ニ柔ハ剛ニ勝テドモ世人ハ剛ガ柔ニ勝ツト思フテオル、退クガ進ム道ナレドモ、

世人ハサカサマニ覺ヘテオル、人ノ迷フコト其日久シト云ヘリ、然レバ世ノコトノサカサマナルコ

トハ、老子ヨリ以前カラケ様ナルコト、見エタリ、其内最モオカシキコトハ、和尙ハ出家トイフテ、

家ヲステ、出レバ宿ナシナリ、食ハ鉢ヲモチテ城市ヲマワリテ、モロフテクフ乞食ナリ、身ニハ小

ギレヲ拾ヒアツメテ、ツバリテ體ヲマトフ、シカルニ金襴ノ袈裟トイフコトアリ、小ギレヲ拾ヒアツ

メテ、ツバリ合セタルガ金襴ニテハ、ツマラヌモノナリ、コレホド本意ヲ失ナヒタルコトハアルマ

ジト思フニ、ソノヨフナコトニテハナヒコトアリ、儒者ハ伊尹・傅説・管仲・晏子ヨリ皆天下國邦ノ

治亂ヲ任トシタルモノナリ、孔子・孟子ハ浪人モノナレドモ、語ルトコロハ皆國ヲ治ル仕掛ケナ

リ、然ルニ今ハ儒者ガ治國ノコトヲイヘバ、儒者ニ似合ハヌコトナリトイフ、金襴ノ袈裟ト對句ナ

リ、コレホド甚反シタルコトハナキナリ、鶴ガ父ハ角田市左衛門トイフテ、本トハ青山侯ノ代々家

老ナリ、鶴ガ祖父ハ角田五郎太夫トイヘリ、此五郎太夫君ハ海保儀平トイフ人ノ子ニテ、角田ノ家

ヘ養子ニユケリ、海保儀平君ノ父ハ海保三吉トイフ、大府ニツカヘテ大御番ヲ勤ム、其時ハ伏見ニ

マダ御城アリテ、御番城ニテアリシユヘニ、御番頭ニツキテ三吉君ハ伏見ニ在番セリ、在番中ニ相番ト相撲ヲトリテ戯レシニ、甚強力ニテ相番ヲ投コロセリ、コレニヨツテセツ腹仰セ付ラル、御改易トナル、其子儀平ハ上總ヘ引コモリテオレリ、海保ハ里見ノ一族ニテ、上總・下總・房州ハ其舊領ユヘニ、上總ヘ引コシタルナリ、儀平長ゼラレテ、外ノコトニテ御改易ヲ蒙リタルニモ非ズ、必竟武士ノ戯レ力クラベヨリ人ヲ殺シタルコトナレバ、怨氣ノアルコトモナク、互ニ讐怨モナキコトナレバ、御本丸ヘ御詫ヲ申シ上ゲテ、再ビ御當家様ノ米ヲ食マント大願ヲ發シテ、男子三人ヲツレテ、江戸ヘ來リ、所縁ヲ求メテ此事ヲ願ントスルウチニ、儀平君ハ病死セリ、必竟浪人モノ、子ナレバ、三人ノ男子ノシカタナフテ、何者ガセワラヤキタルコトヲ知ラズ、惣領ノ子ヲ青山侯ノ家老角田市左衛門トイフ人ノ養子トセリ、長ジテ五郎太夫ト稱シテ家老役ヲ勤メタリ、青山侯此時ハ攝州尼ヶ崎ノ城主ニテ、後ニ丹後ノ宮津ニウツレリ、五郎太夫君ハ名ハ克寛、字ハ公綽トイヘリ、十八般ノ武藝其極ニ至ラズト云フコトナシ、書ヲモ讀ミテ廣フワタリタル人ナリ、鶴ガ先人ハ名ハ朋、字ハ公熙トイヘリ、別號青溪先生、コレモ武藝ノ達人ニテ、公綽君ヨリハ又文事尤優レリ、叔青溪先生家督ヲツギテ、家老ノ末ニ列レルニ、青山家ニ内々ノ奇事アリ、一體鶴ガ養方ノ曾祖角田市左衛門ハ、角田石見守トイフ人ノ孫ナリ、石州ハ丹波ノ龜山ノ城主ナリ、信長ノ奉行役ニテアリシニ、織田家滅シテ明智ニ領知沒收セラレテ、武士ヲヤメテ隱遁セリ、今猶龜山ノ古瀬トイフ處ニ宗福寺トイ



フ寺アリテ、角田家世々ノ菩提寺ナリ、宗福寺ノ後ノ溝ハ、即チ石州ノ城溝ナリ、石見堀ト今ニイ  
フナリ、今ノ城ヨリハ南ニヨリテアリ、角田家丹波龜山ノ舊家ニテ今ニタヘズ、扱市左衛門君ハ丹  
波ナレバ、尼ヶ崎近所ノコトユヘニ、家柄トイフコトニテ青山家ヘ仕ヘタリ、是ハ市左衛門君ノ父  
ノ時ノコトニテ、市左衛門君ハ家老役ニナレリ、扱市左衛門君ニ女子一人アリテ男子ナシ、青山侯  
ハ南部侯ヨリ奥方入興アリ、右ノ女子ハ右ノ奥方ノ至テ寵愛ヲ蒙フレテ、妹ノ如クニシテ始終奥ニ  
バカリ在セシニ、南部ヨリ入興ノ奥方死セラル、死ニ臨ンデ此市左衛門君ノ女子ヲ繼室ニ立ベシト  
云ツテ、遺言シテ死セリ、青山侯モ家老ノ娘ノコトナレバ、妾ニハセズニ繼室トイフコトニシテ立  
テタリ、此女子ノ腹ニ出來タルハ播磨守殿・因幡守殿ナリ、播州侯ハ家督ニ立タレタリ、因州侯ハ  
本家ノ家督ヲ繼タリ、今ノ御老中ノ野州侯ノ祖父ナリ、扱一人ノ女子ヲ君侯ヘ進メタルユヘニ、海  
保儀平ノ子ヲ養子ニシテ、五郎太夫ト稱シテ嗣トス、右ノ繼室後ニ尼トナリテ正受院殿ト稱セリ、  
コノ正受尼公ハ公綽君ノ姉ノ分アリ、鶴ニハ大伯母ニアタル、青溪先生ノ伯母ナレバ、播州モ因州  
モ青溪先生ノ從兄弟ナリ、播州侯ノ嗣ハ大和守殿ナリ、宮津ニ居城ノ時ニ、青溪先生家老ノ末ニ列  
セリ、コノ時ニ宮津侯ノ貧ナルコトイフバカリナシ、因州侯ハ甚氣ノ毒ニ思ハレタレドモ、家士ノ風  
アシク、若州ノ小濱ニ何ノ源十郎トイフ名前ヲコシラヘテ、源十郎ノ金ヲ借り入ル、トイフ名ニテ、  
實ハ青山家ノ家士ノ金ナリ、宮津ヲ青田ガイニシテ、キビシフ取立テ、家中一統組合ヒテ君侯ノ勝手

ヲアヅカリテ收納米ハノコラズ若州へ廻シテ、源十郎トイフ名前ノ藏へ入レルコトニナレリ、家士ノ  
贓金ハ夥シキコトナレドモ、君上ハ一向ニ手ツカヘ、江戸へハ一向ニ米ヲ廻サズ、江戸ノ家中一統  
ニ飢寒セマレドモカマワズ、且和州侯ハ大病身ニテカンシヨフナリヤ、芝居役者ナゾヲ抱ヘテ、酒  
宴ヲシテ病ヲ養ヒ玉フ、因州ハ和州ノ叔父ナリ、大ニ怒リヲ發セリ、青溪先生ハコノ以前ニ役義ヲ  
辭セラレテ、番頭ノ末ニ列シテオレリ、和州君ヲ諫ルコトモナラズ、オシコメラレテオル同前ノコ  
トニテアリシヨシナリ、コノウチニ和州君病氣増長シテ、甚大府ノ法ニサワルコトナゾ多カリケ  
ルユヘニ、因州怒リヲ發セルナリ、依レ此因州ヨリキビシフ沙汰アリテ、先病氣ト稱セラレテ引籠ラ  
ルベシトイフコトニテ、因州侯ヨリオシコメラレタリ、扱勝手方ノ役人ヲ因州呼寄せ、センギヲセラ  
ル、ニ、甚ツマラスコトバカリアリシヨシニテ、コレニヨリテ青溪先生ヲ呼出シテ、勝手方家老ヲ  
因州ヨリ命ゼラル、コノ因州ハ御奏者番ヨリ御加役ノ命ヲ蒙セラレテ、コノ時ハ寺社奉行ナリ、後  
ニ大坂城代ニナリテ、大坂ニテ卒去ナリ、扱青溪先生ハイマダ三十餘ノ時ユヘニ、一人ニテ引受ケ  
テモ、如レ此敵大ゼイニテハ、變出來タル時ニシニクシトイフテ、宮津ノ家老小出彌左衛門トイフモ  
ノヲ同役ニ願ヒテ、二人ニテ勝手ノトリナオシヲセラル、小出ハ宮津ニオリ、先生ハ江戸ニオリテ、  
ダン／＼詮議スルニ、一向ニ不シラベナルコトニテ、帳面ノ分ハノコラズ宮津へ取り上ゲテ、小出  
ニモ先生ニモ見セストイフヨフナルコトニテ、コノ間ノコト危キコトカギリナシ、因州ハ先生へ命

ゼラレ踐コンデ致スベシ、ドフモデキヌトキニハ暇ヲトリテ浪人スベシ、吾永々救フテ子孫ニ寒飢  
サスマジキナリトイフ約束ニテ、三年ノ内ニ勝手ノコラズサラヘアゲテ身上ナオレリ、御老中ヲ招  
請スルシラベ出來上リタルホドノ勝手ニナレリ、扱青溪先生ノ勝手方ノ命ヲ蒙ラレヌ以前ニ、江戸ヘ  
米ヲ廻サヌユヘニ、江戸ノ家中大ニ困シミタルウチ、足輕ニ某ト云フ人アリテ大キニ憤リ、五間バ  
カリアル書オキヲシテ七才ノ娘ヲ一人モチタルニ、コノ娘ヲ刺シ殺シテ死セリ、欠落人ハ數ヲシラ  
ズ、ヨホドノ騒動ユヘニ、因州怒ヲ發セルナリ、扱青溪先生ノ勝手方ヲ蒙リタル以前ニ、彼諂諛ノ  
輩君侯ヲ迷熒シタルヤカラ、ヤタラニ金ヲ借り入ル、ニツケテ、河邊次郎右衛門トイフ金持浪人ヲ  
遊説シテ、今五百兩出金シタルナラバ、百五十石ニテ勘定奉行ヲイヒツケベシトイフテ約束セリ、  
此河邊モ勘定奉行ニナレバ、己レガ金ヲ取扱フコトナレバ、クルシカルマジト思ヒテ五百兩調達セ  
リ、コレハ彼徒黨人ノ謀計ナリ、五百兩トリシマフト河邊ニハカマワヌナリ、百五十石トイフ名ハ  
アレドモ、米ハ一向ニ手ニ入ラズ、勘定奉行トイフ名ハアレドモ、勝手向ノコトニハ一向ニ手ヲ出  
サセズ、大ニ困シミテ、扱青溪先生ヘモ扇子箱ヲ持テ謁見ニ來レリ、先生其扇子箱ヲモカヘシテ、  
且ツ此方ハシバラク出仕ヲセズ、役儀モ斷リテアル身分ナレバ、御進物ハ一サイウケヌヨシヲ、口  
上ニテイワセテ逢ハレザリシ由ナリ、扱先生勝手方ヲ蒙ラレテキケバ、馬ニ喰ハスル飼葉ガキレテ  
馬ウヘタレバ、別當大キニコマリテ、今マデ飼葉コヌハ、全ク前ノカケヲ拂ハヌユヘナリ、今役所

へ訴へテモ、ラチノアカヌコトナレドモトイフテ、勝手方ノ用人へ此コトヲイヒタレバ、用人モ大ニ窘リテ、今ニナリテ飼葉ノコトヲイツデモ、飼葉ノナイトイフコトモアルマイ、ケンドンノ蕎麥ヲ馬ニクワセテ、先ヅシノグベシトイヒタルコトアリタル由ナリ、扱先生勝手方ノ命ヲ因州ヨリ受ケテ歸宅シテ、デキニ右ノ河邊次郎右衛門ヲ呼ニヤリテ謁セラル、河邊ハ地獄ニテ佛ニ逢タル心ニテ、感涙ヲ流シテウレシガリシ由、其時ニ先生云、扱コレカラハ貴公ヲバワシガツカフコトナルガ、ワシニツカワル、心カト尋ネラル、河邊一命ヲカケテ相働キモフスベシト云フ、コ、デ先生云ハルルハ、ワシハ勝手方ヲクワリトカヘルツモリナリ、トント古方ヲクワリトカヘネバ、立テナオラスコトナリ、新法ヲ立ルニハ金千兩入ルコトナリ、明夕マデニ金千兩調達相ナルヤト尋ラル、河邊カシコマリタル由ヲイフテ、明日ノ晝時ニ千兩持參シタル由ナリ、扱先生令ヲ出シテ云、今迄ハキビシキ儉約ヲ云ヒ渡シタレドモ、今日ヨリ拙者ニ御勝手ヲ御預ケナサル、拙者御勝手向ヲ御預リモフス上ハ、今迄ノ法ヲサツバリトリカヘテ、新面目ニスルコトユヘニ、先ヅ唯今ヨリ御儉約ハ止メニスルナリ、何年何日以前ノ掟ニ定メカヘルコトナリ、何レモトント新シフシラベカヘテ、拙者ノ新法ヲ守ラルベシ、別段ニモフシ渡スニ及バズ、何年以前ノシラベノ通りナリ、扱今當用ノカヒモノ方ノ拂ノトバコフリタル方ヲ呼ニヤル、當分ノカイガ、ノノ分ハノコラズ拂フテ、アトノ用事ヲタスベシトイヒツケベキナリ、扱コザ、シタル借用金ハ、此度ノコラズ返辦スルホドニ、



コザ／＼ノ銀主ニ證文持參シテ、金子ウケ取モフスベシトイヒ渡ス、コザ／＼カリノウチニハ座頭金モアリタレバ、三兩一步ノ金ガ十口アリタル由ナリ、三兩一步トイフハ金三兩ノ利息一ヶ月ニ金一步ナリ、三月カキカヘトイフテ、借リタル月ヲ入レテ三ヶ月目ニカヘス約束ノ金ナリ、其約束ノ月ニ金ヲカヘサネバ、ソノ月ハ二ヶ月分利足ヲ出スコトナリ、一ペンカヘシテ又借リルシラベユヘニ、ソノ月ハタ、ミテカル理ユヘニ、二ヶ月分ノ利足ナリ、一割トイフハ金二十五兩カリテ、一ヶ月ニ金一步ノ利息ナリ、三兩一步ハ八割ノ利ナリ、タ、ミテカル算用ヲ入ルレバマダ高キ金ナリ、是ハ江戸ニテモ御法度ノ金ナリ、ユヘニ證文ニハ金二十五兩ニ一步ノ利息ヲカクナリ、扱前利トテ利息ヲバサキヒキテワタスナリ、三兩アレバ二兩三步ワタスナリ、ケ様ノ不シダラナルコトニテアリシ由ナリ、扱ケ様ノ金ヲバノコラズカヘシテシモフテ、カイガ、リモナキヨフニシタラバ、用事ニ差支モナフテ、諸役人モ太キニ安堵シテ、スラリ／＼ト政行ハル、其後ニホドヘテ宮津ノシラベニカ、ル、此時ニ彼河邊次郎右衛門ヲ宮津ヘツカワセシニ、宮津ノ家中ハ以ノ外富ミテ居ルコトナレバ、家居ノヨフスナド、クラシカタノヨフスナドヲ、ソノマ、ニ江戸ヘイヒアゲテハ、因州ノ怒リニフル、コトナリ、殊ニ小濱表ノ源十郎名前ノコト、青田ヲカヒタルコト、賊金ノコトナドモ知レテハナラスコトナリトテ、一家中イヒ合セテ、河邊ヲ捕ヘテ牢ヘ入ル、コトニナレリ、河邊ハ牢中ヨリ種々ニイヒワケヲイフテ、決シテ他言セマイトイフ起請文ヲカキテ漸ヤクユルセリ、河邊ハ牢ニ居

ルウチ、十日餘朝夕ノ飯ヲクワズ、毒アランコトヲ恐ル、ユヘナリ、扱宮津ヲ早々ニ立チテ、ロク  
ロク用事ヲモ辨ゼズ、シラベルコトヲモシラベズカヘルナリ、歸ガケニ京ヘヨリテ六條ヲ拜セシ由、  
是ハ一向宗ユヘノコトナリ、宮津ノ人追々相談ヲスルニ、兎角河邊ヲ江戸ヘ返シテハ、因州ノ怒リ  
ニフル、コト必定ナリトイフテ、又捕手ノ役人ヲ京ヘマワシテ、六條ノ御門内ニオキテ河邊ヲ捕ヘ、  
高手小手ニカラゲテアシガルツキデ網乗物ニノセテ、宮津ヘツレカヘリテ入牢サセタリ、扱河邊以  
前ニ出牢シタルジブンニ、青溪先生ヘツブサニ此コトヲ書狀ニカキテ送り、又入牢ノ様子ヲイヒツ  
カハスユヘニ、彼正受尼公ヨリノ命乞トイフコトニシテ、袈裟衣ヲ宮津ヘ下シテ、漸宮津人ユルセ  
シヨシナリ、コレニテ先生モシヨ、セン行ハレマイト覺悟シテ、因州トモ相談サレシ由ナリ、凡ソ勝  
手方ヲ勤メラル、コト三四年ニシテ又事ヤブレタリ、ソノワケハ右河邊次郎右衛門又江戸ヘヨビ  
ニヨコシテ、河邊下ラズバ、御月番御老中ヘ馳込テ、角田五郎太夫・河邊次郎右衛門家法ヲ變革シテ、  
不忠ノ心ヲサシハサミ、私曲ヲ仕ルト云フ訴狀ヲ認メテ、差出スツモリナリトイフト聞ヘテ、因州  
ノ耳ヘモ入リタレバ、因州大ニ驚キ、早々青溪先生ヲバ引取り、追テ隱居願ヒヲ出サセテ、小出大  
夫一人ニ勝手方ヲモタセテ、先生ハカゲニテ經濟ノセワヤカレシヨシナリ、鶴家督ニナリタルハ二  
歳ノ年ナレバ、是ハ寶曆六年ナリ、同八年ニイトマノ願ヒ差出ス、青山侯ノ別封青山美濃守ハジメ、五  
千石以下三四軒ノ君侯ハ、足輕ノ人數ニ大ゼイ先生ノ屋敷ヘヨコシ、白晝ニ引取ルベシ、警固ヲスル

人數ハ此方ドモヨリ差出スベシトイフテヨコサレタル由、ソレホドニ宮津ノ人々ヲ別封方マデ惡ミタルコトナリ、コレハ尤因州へハ公ムキ心ニテモアルベケレドモ、一體ノ勢ヒケ様ナリ、先生ハ君ノ惡ヲアラワスコトヲイトフテ、夜分ニ因州ノ中屋敷へ引取ラレタル由ナリ、因州先生へハ二十人扶持ニ金百兩ヅ、年々送ラレテ、因州ノ屋敷内ニ隱居サセテ、掎宮津侯ノ經濟ヲヨソナガラ相談シテ、オヒ／＼ニ所々借財ナドヲ毛片付ラル、此時ハ因州御城代ニテ、大坂へ先生ヲヨビテ色々相談アリ、此時大坂ノ町奉行興津能登守トイフ人ニテ、此又先生ノ懇友ナレバ、大坂へ出デ青山家ノ借財ノワケヲモホドヨフツケジレテ、鶴ガ十七ノ時ニ尾公ヨリ先生ヲ召サセラル、鶴モ尾公ノ御目通り仕リタリ、此時ハ尾ハ大納言様ト、源孝公子トイヘル中將様ニテアリシナリ、ソノ後ニ鶴ヲ留書トイフ役ニ召サレタレドモ、鶴學問サイチウユヘニ辭シテ就ザリシナリ、一體青山家ヨリ先生へ送ラル、扶持米ノコトハ、先生一生ハ相カワラズ送ラル、コトユへ、鶴遊學シテモヨケレバ、先生モ鶴ノ名ヲ養ハントテ、鶴ガ氣儘ニ學問スベシトイヒ付ラル、掎鶴舍弟一人アリ、鶴トチガヒテ甚敬謹之性質ナリ、青山家ヨリ一人ハ此方へモラヒタシ、行々ハ大夫ニモ取立ベシトイフコトナリ、此時鶴先生へ願ヒテ云、何卒青山家へハ鶴ヲツカワサレ下サルベシ、鶴ハ尾ニオルコトハ望ミニナシ、大名ノ家來ガヨキナリ、又イツ暇ヲトリテモ、他家へユキタキトキニユカント自由ナルユヘニ、ヤハリ青山家ガヨキナリ、舍弟ハ敬謹家ニテ、且幼少ヨリアマリ他所へモ出ズ、多クハ兩親ノ側ニ給仕セリ、鶴ハ幼

少ヨリ他處へ出デ、友達ハ多シ、諸名家之中ニ長ジタルモノナレバ、中々尾藩ナド風トハ叶ハヌコトナルベシト思ハル、由ヲイフテ、遂ニ尾公ノ御目見ヲ差上テ、青山家へ儒者奉公ニ出デ、鶴ガ仕ヘタルハ今ノ御老中野州侯ノ御隱居左兵衛佐殿ナリ、左兵衛佐殿其節ハ下野守殿トテ、雁間御詰衆ノフルキ顔ナリ、御妾服ノ男子二人アリ、伯君ハ春橋トイフテ、二男ハ今御老中、幼名久之助ト云ヘリ、兩君トモニ幼少ナレバ、講書ヲシテキカスベシトイフコトニテ、鶴ハ始終サイシヨリ奥勤ニテ、春橋殿家督立レテ伯耆守殿ト云ヘリ、鶴格別ニ懇意ニテアリシナリ、久之助殿モ長屋ズマヒデアリシヨリ、素讀ヲモ鶴ガ授ケタリ、伯耆守殿卒去シテ今ノ侯立レタリ、鶴青山家ニ仕ルコト始終七年ニテ、祿ヲ辭シテ遊學セリ、尤罪モナキ身ナレバ、翌日ヨリヤハリ懇意ニ出タリ、左兵衛佐殿ハ淺草ノ屋敷ニ隱居シテ、平生ニ鶴ヲヨビテ文義ナド諮問セラレタリ、鶴ハ生レテドコヘモ出ズ、唯一ペン伊勢へ代參ニ參リテ、箱根ノ西ヲ見タルコトナリ、コノヨフナルコトニテハ文章ノ業成ズト思ヒテ、祿百五十石ヲ辭シテ出カケテ、扱京へ上レリ、在京中ニ青溪先生卒セラル、鶴晝夜喪ニ奔リテ喪ヲ勤メテ畢リテ、コンドハ北ノ方へ出タリ、越後・信濃へ遊ブ、カヘリテ母ヲ喪セリ、喪ヲ畢リテ再ビ西遊ス、北ハ丹波・南ハ紀州・西ハ讃岐・備中マデ、ユクトコロニハ必ズ逗留シテ書ヲ講ゼリ、大坂ニ兩年スミテ、京ニ六年スミタリ、尾藩ノ細井甚三郎大病ニテ、月並ノ講書ノ人不足セリトテ、江戸へ下ラネバナラヌワケニナリテ下レリ、又御目見ヲ仰セ付ラレタリ、三年勤メタレドモ、江戸ノ水七鶴アハ



ズ、數大病ヲヤミタレバ、又無理ニ御目見ヲ差上テ江戸ヲ出タリ、御目見ヲ兩度差上タル人ハ鶴一人ナリトテ、ムツカシカリシケレドモ、段々イヒワケアリテ此事叶ヘリ、コンドハ越後ニ遊ビテ一年オレリ、時ニ鶴五十ナリ、翌年加賀へ遊ベリ、加州ニ又一年之餘遊ベリ、立山ナドヘノボリテ大キニ養ヒタリ、ソレヨリ京ニ再遊セリ、凡ソ東海道ヲ往來ニテハ十ペン通レリ、木曾ヲ二ヘン、北陸道ヲ一ペン通レリ、滯リテアソベルトコロハ三四十ヶ處、山へ登リテ見タルコト大小數百ナリ、始終妻ヲ置カズ、妻ヲ買ハズ、ユヘニ子ナシ、角田ノ家ハ舍弟繼デオルコトナレバ、鶴用事ナシ、舍弟今ハ尾公ノ先手物頭三百俵ヲ賜ハル、鶴ハ海保姓ニ復シテ文章ヲ業トセリ、海保姓ニ復シタルハ、何モ高キ議論ノアルコトニモアラズ、文章家ハ姓ノアマリ俗ナルモクルシキユヘニ、海保ガ雅ナル姓ニテ、復姓ニヨキ字ナルユヘニ復シタルナリ、鶴當癸酉ニ五十九ナリ、先今マデハ飢寒ニモ迫ラズニ、氣儘ニ文章ヲカキテ遊ビタレバ、何モ心ニ苦シキコトモナシ、子孫ノ謀ヲスルニモアラズ、面白キ身ノ上ナリト思フテオルナリ

昔青山家ニ居リシ時ニ、左兵衛佐殿鶴ヲ呼テ、掇其方ノ親ハ日比谷ノ身上ヲ一たび興シタル大忠大才ノ人ナリ、其方モ儒者ノコトナレバ、此家ノ經濟ノコトニツキテ、心ヅキタルコトヲ書キテ見スベシトイヒツケラル、鶴退キテ四五十枚ノ書付ヲト、ノヘテ青溪先生ニ見セタルニ、先生云、コ、ニテハナシ、大キニケントフチガフテオルナリ、カキナオスベシト云ハレタリ、又カキナオ

シテ見セタルニ、先生云、前ノヨリハ少シマシナレドモ、マダコ、デモナキナリ、又カキナオスベシト云ハル、鶴今度ハ儒者ノ論ヲトントヤメテ、身上ノヨフナルスデヲ、チカドラマヘニシテ、今日入用ノコトヲカキナラベテ見セタルニ、先生大キニヨロコビ玉ヒテ、其極コレナリトテ父子難シ合イ間ヒ合イテ、經濟ノコトヲ研究セリ、世ガチガフテオルユヘニ、事ハ追々チガヘドモ、意ニチガフコトナシ、先生ハ始メハ春臺門人ノ大鹽與右衛門トイフ儒者ノ門人ナリ、後ニ澗水先生宇佐美惠助ノ門人トナリテ、徂徠派ノ儒者ナリ、鶴ハ十バカリノ時ヨリ宇佐美先生ノ門人ニテ、鶴ガ二十二ノ時先生卒セリ、鶴ハ唯文章ズキニテ、何派ノ學問ナド、イフコト大キニキラヒナリ、ワカキ時カラ何派ノ學問デモナシ、即鶴ガ一家ノ學ナリ

## 文化癸酉冬

海保皐鶴筆記

稽古談卷之五大尾

升  
小  
談





## 升小談

江戸ニ居テ江戸者ノスルコトヲスレバ、江戸者ダケナラデハ金ハモフカラヌ也、京ニ居テモ京者ノスルコトヲスレバ、京者ダケナラデハ金ハマフカラヌ也、京ニ居レバ京者ノ外ノ智恵ヲ出シ、江戸ニ居レバ江戸者ノ外ノ智恵ヲ出サネバ、京ノ拔群ノ金モフケ、江戸ノ拔群ノ金モフケハ出来ヌナリ、京ニモセヨ、江戸ニモセヨ、昔ヨリ身上ヲ仕出シテ一家ヲ興シタル人ヲ見ルニ、皆存ジモヨラヌ事ヲ工夫シテ、大金ヲモフケタルモノ也、扱其存ジモヨラヌ工夫ハ、何レヨリ聞キ出シ見出シタルトイフニ、唯其國其所ニ無キコトニテ、他國ニハアル事ナリ、其時分其コロニハ無キ事ナレドモ、昔ニハナンボモアル事ナリ、其通リナルコトハ無レドモ、似寄リタル事ハアルコト也、然レバ他國ノハナシ昔ノ話ヲ澤山ニ集メタル書キモノヲ常々ニ見テ、其趣キヲ取リテ今ノ用ニ用ヒラルヨフニ修覆シテ、活シテツカフガヨキ也、外ノ人ヨリ見レバ存ジモヨラス工夫ノヨフニ見ユレドモ、皆取リテ來レル源ノアルコト也、コノ源ヲ探リツケテ取出シテ、作リカヘノスルユヘニ、他人ノ目カラ見レバ存ジモヨラヌヨフニ見ユルナリ、鶴去年十月大阪へ下リテ見ルニ、大阪ノ風俗昔トハ大キニテガフテ、見テガヘルヨフニ見レリ、此節升屋平右衛門ノ番頭ニ小右衛門ト云大豪傑出デ、升屋ノ身代ヲ甚大キソセ

リ、升平ハ仙臺ノ梶木町、淀屋橋筋ヲ東へ入ル南側ナリ、小右衛門ハコノ升平ノ肩入レ番頭ナリ、仙臺・南部・白川ナドモコノ升平ノ仕送りナリ、今ハ仙臺モ升平ニナリテ段々富國ニナレリ、先仙臺ノ金ノフヘタル始メヲ此へ舉テ記スベシ

銀札ヲ國へ作ルハ至テ便ナルモノナリ、無利息ノ金ヲツカン法ナリ、一割ノ利ニシテ十萬兩ニ一萬兩ノ利ナレバ、銀札ヲ十萬兩作レバ、一年ニ一萬兩ノ益ト云フモノナリ、近年ハ新規ニ銀札ヲ作ルコトヲ停止仰セ出サレテ、今ハ新タニ銀札ヲ作ルコトナラヌユヘニ米札ヲ作ル、米札モ名ハカワレドモ、銀札ト何モチガフコトナシ、矢張銀札ノ通りニ米札ニテ通用スル也、唯銀札ハ何処トイフ、米札ハ石・斗・升ノ名ニテ、何品ヲト、ノヘルニモ米札ニテト、ノヘラル、也、仙臺ニハ昔ヨリ銀札ナキユヘニ、升小ノ工夫ニテ米札ヲ作り、ソロリ／＼ト金ヲ引上ゲテ、米札ヲ下ヘワタスヨフニシテ、扱右ノ金ヲ殘ラズ大阪へ取り寄セテ此金ヲマワス也、此金ハ利息ヲ生ムコトユヘニ、年々ニ國ノ金ハ大阪ニテフヘテユク也、扱仙臺侯ノ借り入レタル古借ヲビタバシフアル故ニ、今迄ハ仙臺ヨリ古借ノ利ヲ大阪ヘマワスコト夥シキコトニテアリシ也、今ヨリ後ハ大阪ニテマワス金ノ利分ニテ古借ノ利息ヲナシ、其上ニ元金ヲモ入レテ、段々ニ古借消ヘテシモフコトニナレリ、一體大阪ニテハ借シタル金ヲ、元利ソロヘテ殘ラズ取立ント云フニモアラズ、一割ノ金ヲカシテ十年利ヲ取レバ元金ハ濟ムナリ、其内ノ屋敷ヨリノ付ケ届ケ、合力ノ扶持米ハ取りタルダケノ徳分ト云モノナリ、ユヘ二十年以後ノ金ハ無利

息ニシテ元入レ少々ニテモ、ソレダケノ徳分ナリ、一體江戸ハ金ノ動カヌ所ユヘ、金ヲカルコトモ下手ナリ、貸スコトモ下手ナリ、金ノ利ヲ取レバ金ノ利ナリト思フテ、湧キタル心地ニナリテ居ルユヘニ、利ハソレギリニ消テシモフト云氣味アリ、扱元金ヲゼヒニ取ラネバ、己レガ金ガ耗ルト心得テオルナリ、大下手ナルコトニテ金ヲ扱ヒツケヌ人ノ心得ナリ、大阪ニテハ一向ニ左様ナルアホウラシキコトニアラズ、先始メ大名ヘ金ヲカストキニ、元金ハトラヌ工夫ナリ、扱大名ヨリ利息ヲ送レバ、是ヲ利息トハセヌ也、是ヲ元金ト見タルモノナリ、サテ四季ノ付届ケ、産物ニテモ、反物ニテモアレ、江戸ニテハ是ハ屋敷ヨリノ進物ト見テ、又天カラ降タルヨフニ思フテ、眞ノヨケイモノト思フ氣味アリ、是又大下手ナルコト也、大阪ニテハ左様ノアホフラシキコトニ非ズ、是モ元金ト見ルナリ、サテ屋敷ヨリ合力扶持ヲクレル也、是ヲモ江戸ニテハ唯取タルモノト思ヒテ、米ハアリモノト思フ氣味アリ、是又大下手ナルコトナリ、大阪ニテハ左様ニハ心得ヌナリ、是レヲモ元金ト見ルナリ、扱進物ヲモ元金ト見テ、元金ヘ入レテ元金ヲ引クナリ、利息ヲモ元金ト見テ元金ヲ引クナリ、扶持米ヲモ元金ト見テ元金ヲ引クユヘニ、元金ハサツノトカヘルシラベ也、サテ江戸ニテハ利息ヲ外カ物ト見ル、進物ヲモ外物ト見ル、扶持米ヲモ外カ物ト見ル、ユヘニ此三品ノ内ヲツカヒスツルコトハ、心ヲモ痛メズ至極ツカウテ苦シカラス調べナリ、故ニ錢ツカヒモ荒ク、タイコモチニモ無益ノ金銀ヲヤルナリ、サテ人ニヤタラニ衣服ヲヤルハ浮キ物ヲヤル心ナリ、アマリモノヲ施スコ、口也、サテ客デモナイ、何



シノ益モナイ人ニ飯ヲフルマフ、乞食ニモアマリデモナイモノヲトラス、扱アマリ金ノツモリニテ物ヲカフ也、如此利息・進物・扶持米ヲ外物ナト思フテハ、バツ／＼トステルユヘニ、是非々々元金ヲ入手セネバナラヌ理ナリ、大名元金ヲカヘサネバ、其家ツブレテ逼塞シテ、カスカナル暮シ方ニナルコトナリ、大阪ニテハ利息ヲ元金ヘ引クユヘニ、人ニヤル金ハナキナリ元金ナリ、アマリ金ハナシ元金ナリ、アマリ米・ナシ元金ナリ、第一始メニ元金ヲ引クユヘ、元金引取ルマデハアマリ金ハナキコトナリ、サテ利息・進物・扶持米ニテ、元金ヲ引クウチニ又大名ヘ金ヲ出ス、凡ソ金ヲ出スト曰ニハ、金ヲステル心ナリ、ステタル金ヲ段々ニ取りカヘス趣向ユヘニ、他ノ大名ヘ新タニ金ヲ出セバ、是新タニ金ヲステタルトイフモノ也、コノ新出入ノ大名ヘステタル金ヲ、舊出入ノ大名ノ方デ取返スツモリ也、ユヘニ舊出入ノ大名ノ元金スミテモ、又新出入ノ元金ヲ引カネバナラヌ理ナリ、如此算用ヲシタルモノユヘニ年中閑ノ金ナシ、餘リ金ナシ、人ニクヲセル米ナシ、人ニ投ル反物ナシトスルナリ、皆元金ナリ、元金ヲ引キタル金ナリ、浮キ金ニアラズ、ソコデ古借ヲカヘス大名ヲバ甚大事ニスル也、大事ニハスレドモ、コノ古借ノ返金モ浮キ金ニハ非ズ、皆新出入ノ元金ナリ、元金ヲ仕ヒステテハ、誰ニテモ面白カラズ、畢竟江戸者金ヲ仕ヲ面白ガルハ、浮キ金ヲツカフ故面白キナリ、大阪風ニスレバ浮金ハナキナリ、浮キ金ナキユヘニ、金ヲツカフ事面白カラズ、心クルシキナリ、苦々舗面ナリ、是ニテ身上ヲ仕ヒ潰ブス人アル理ナキナリ、唯大名ヘ金ヲ出ストキニ、元金ステノ趣向ナルユヘ、

アト／＼如レ此理屈ヨロシフユクナリ、此一條ナドハ子々孫々ニハ傳ヘテ此法ヲ守ラシムベキコトナリ、凡ソ家ノ帳面ヲ作ル時ニ、元金ヲキメオキテ、日々ニ入ル金ヲ元へ入レテ見ルコト大秘事ナリ、米ヲアキナフテモ、大豆・小豆・胡麻ノアキナヒニテモ皆元金へ入レルナリ、元金へ入レテミレバ、モフケモノ、餘リモノ、浮キモノナドト云事ナキ理ナリ、如レ此ナレバ後ニハ代口物バカリノコリテ、金ハ一錢モノコラヌ理ニナルナリ、是ヲ大代口物・大身上・大仕入ト云フナリ、金デアルハ甚アシキコト也、大阪ハ金ガ代口物ナリ、大阪ノ金ハ江戸ノ金トハ大ニチガヒテ皆代口物ナリ、ツカフテハナラヌ金ナリ、譬ヘバ米屋ノ米、呉服屋ノ呉服物ノ通り也、己レガ宿ニテ用ユベキモノニアラズ、是ヲマワシテフヤスモノナリ、利息ヲウマスルモノ也、江戸ニテハ借ス金ハ代口物ト云フ心モチアリ、利息・進物・扶持米ハ決シテ／＼代口物トハセヌ也、代口物デナキ故ニ自由ニスル氣味アリ、大阪ニテハ利息・進物・扶持米ヲモヤハリ代口物トスルユヘニ、亭主ノ自由ニスルコトナラズ、ユヘニ自然ト始末宜シフテ、江戸ノ様ニカハリ／＼スルコトナシ、金ノ仕ヒアンバイハ、江戸モ格別ニ大阪ニ違ヒタルコトナケレドモ、心ハ大キニ違フナリ、江戸モノハ小兒ノヨフナリ、馬鹿者ノヨフナリ、甚初心ナリ、金ヲ延スコトニハ甚不鍛鍊ナリ、江戸ハ金ハモフカル地ナリ、唯マフケル人無キナリ、五畿内ハ金ノモフケニクキ地ナリ、マノケル人ハ甚澤山ナリ、故ニ五畿内ノ智恵ニテ江戸デマフケレバ、ツカミドリニ取ルヨフニ取レル理ナリ、是仙臺ノ金ヲ江戸ニテ廻スモ同ジ事ナリ、一體伊勢町・本船町ハ仙臺

米ヲ取り扱フ地ナレバ、外ハシラズ仙臺ノ金ハ伊勢町・本船町へ取ヨセテヨキ理ナリ、唯江戸者ノイカニモ金ノ理ニ疎キ故ニ、此金サヘモ大阪へ取ラル、也、イハゞ残念ナルコトナリ、恥辱ナルコトナリ、江戸ハ元金ヲ皆取ラントスルユヘ也、大阪ハ元金ヲステ、シマフ、此二ツノ分レニテ、仙臺ノ金江戸へ廻ラズニ大阪ヘマワル也

遠州ノ掛川ニ大庭大介ト云人アリ、折々上京スル人ナリ、去年モ登リテ鶴ヲ訪ヘリ、此男ノ工夫ニ面白キ金ノ廻シ方アリ、借り手ノ罪ヲ得ヌヨフニ、借シ方モ損ヲセヌヨフナル工夫ナリ、此法ハ一割半ノ利息ニシテ十二年カスナリ、一割半ニテ十二年借セバ、利息バカリニテ元利濟ム仕カケ也、一割ノ利ニテ元金ヲノコラズカヘスモ、十二年一割半ノ利足ヲ出スモ同ジコト也、如レ此スレバ元金ヲカヘサズニ、元金シセンニ濟ム也、此レハ武家ヘ金ヲカス法ニテ至極ノ理屈ナリ、武家ハ日本國中皆江戸風ナリ、アル金ヲ貯ルコトノナラヌ性ナリ、アレバ無フナリテシモフ也、故ニ金ヲ借ツハ借レドモ、返スコトハ甚六ヶ敷ナリ、月々ニ利ヲ拂ハ少々ヅ、ノ事ユヘ、ドフカコフカ拂フナリ、カタメテ大金ヲ返スコトハ出来ヌナリ、是江戸ノ風ナリ、アレバ終仕フテシマウ、無レバ仕方ナシニ仕ハズニ居ルナリ、スレバ武士ニハ返スベキ金ヲ借セバ、武士罪ニカ、ルナリ、返サズニ濟ム金ヲ借スコト甚便利ナリ、大體ノ工夫ハ返ヘサズニ濟ム工夫ニテ、武士ヘ借スニ甚ヨロシキ金ナリ、凡ソ江戸ハ町家職人ト云トモ、此武士ノ風ウツリテ金ヲ貯ヘルコトナラヌ風ナリ、是ハ土地ノ風ニテ江戸ニ混ジテ居レバ、是ガ人間

一統ケ様ナルモノト思フテオル也、鶴ナドモ江戸生レナレバ、今ニヤハリ此風ナリ、目ニタ、ズ散財ヲスルナリ、五畿内ノ風ハ日ニハツキリト見ユルヨフニスルト也、譬バ江戸ニテハ客ガアリテモ、汁ト平皿トニテ飯ヲ喰、唯獨飯ヲクフ時モ汁ト平皿トニテ飯ヲクフナリ、五畿ハ獨リクフトキハ茶漬ヲクフテ、客ノアル時ハ焼物・猪口マデ附テクフト云氣味アリ、ユヘニ客ヘノ馳走モアリテ立派ニ見ユルナリ、江戸カラ見レバ甚立派ニ見ヘテ、物入ハ却テ江戸ホドカ、ラヌハ此譯ナリ、サレドモ今ノ急ニ江戸ヲ五畿ノ風ニスルコトハナラヌコトナリ、唯一軒ノ家ニテモ江戸デハ五畿ノ風行ハレヌハ、下々ノモノドモノ腹中チガフ故ナリ、思ヒソロハヌユヘナリ、マダ都ノ開ケヌ故ナリ、田舎風ノナオリキラヌ故ナリ、ズルケ風ナリ、ズルケ風ユヘニ、有ル金ヲバ仕ハズニ居ラレヌ也、節季ニ入ル金ニテモ、今有レバ先仕フト云氣味アリ、ケ様ノ風ニテハ金ノ融通アシキハツナリ、金ガ江戸ニ止マラヌハツ也、皆ズルケ風ユエナリ、サレドモ智者ハ物事ニ付テ究ラヌガ智者ナリ、ズルケ風ユエニ金ハ貸サレヌト云テ、金ヲ貸ズニ居ルハ智者デハ無キナリ、ズルケ風ナレバズルケ風ニ付テ、工夫シテ夫デ徳ヲ取リテ行ヲ智者ト云ナリ、殊ニ江戸ハ金ノ集ラヌ所ニ非ズ、隨分金ハ寄ル所ナレドモ、金持<sup>モタ</sup>ヘノ風ユヘニ金ノ留ラヌ所ナリ、入ルカト思ヘバ出テユク也、故ニ金ヲ設ケルニハ勝手ヨロシキ所ナリ、唯江戸流ヲシテ居テハ金ハ止ラヌ也、凡ソ江戸ヲバケ様ニ積リテ、其日暮シノ人ヲアシラフテ金ヲ取ル積リニ工夫スベキコト也



凡ソ智者事ニツケ物ニ付テ、其透キマ、其不足ノ所、其行届カヌ所ヘ、目ヲ付テサシコム事第一也、言テ見レバ人トシテ金ヲマフケントセザルモノハナキ也、天下中ノ人皆金ヲ設ケタガルコトナレバ、面ハ親シミ睦マジキ體ニテモ、心中ハ相互ニ競ヒ爭フナリ、競ヒ爭フハ角力ヲ取ルニチガヒタルコトナシ、角力ハ向フノ人ノ透マヲネラヒテ差込ムコト第一ナリ、故ニ江戸ノ透間ヲ見ルコト專一ナリ、江戸者皆々我等遠フシト云流儀ニテ、江戸ホド善地ハナキトノミ思フテオル也、江戸ホド事物ノソロフテ、油斷ノナキ所ハナシト思フテオルユヘニ、江戸ノ不足ノトコロ、江戸ノ透間ヲ見付ルコトデキヌ也、江戸ホド不足ノコト澤山アル地ナシ、江戸ホド透間ノアル風ナシ、唯江戸人ズルケテブセフナルユヘ、不足スキマヲ見出サヌナリ、江戸ハアラキ所ナリ、物事ニヨラズ精シフスルコトノナラヌ風ナリ、細カニ精シフスル人ヲイヤガリテウルサガルコト江戸ノ風ナリ、故ニ江戸ニハ抜目澤山アリ、透間澤山アルナリ、行届カヌ所甚多シ、是ヲ見付テ差込ムコト智ナリ、藥種ノ内ニ黃蓮ハ加賀ノ白山ヲ上品トス、加賀黃蓮ト云フテ、格別ニ他所ノ黃蓮ヨリハ、直段モヨロシク取扱コト也、近年丹波ヨリ黃蓮出ル、然レドモ加賀黃蓮トハ格別ニ下品ナリ、ナレバ直段モ直ナリ、然ルニ畿内近所ノ人ハ畿内人半分雜ゼニテ、丹波ナドハ畢竟京ニツキテオレバ、龜山ナドハ纔京ヨリ五里ノ所ナリ、愛宕山モ半分ハ丹波ナリ、如レ此京ニモ近キトコロナレバ、心マメヤカナル風自カラシミワタリテ、透間ノ無キヨフニナレリ、サテ彼黃蓮ニコヤシヲシテ作ル事ヲ始メタリ、年々ニ黃蓮ヲ植ヘ殖シテ今ハ甚澤山ニ

出ル、其上ニ追々工夫ヲシテ養ヒ培ヒテ、加賀黃蓮ノ通りニ出來ルコトニナレリ、今ハ丹波黃蓮ヲ加賀黃蓮ニシテ賣ルコトニナレリ、是ニ依テ加賀黃蓮直段甚サガリテ、丹波ノ荷ノミヨフハケルコトトハナリタリ、是ハ畢竟加賀ハ田舎風ニテ、ブラリトズルケテ、ウツカリヒヨントシテ居タル故ニ、丹波ニ透間ヲ見出サレテ差込マレタル也、川越領ハ原モ多キコトナリ、空地棄地ノ多キトコロナレバ、何物ヲ植付テモ棄地ヘ植付ルコトナレバ、唯取りニナル理ナリ、飯能山・岩殿山ナドモ御領分ト覺ユ、原ト山トハ唯ハ置ヌナリ、畿内ニハ足トハ存知ノ通り原ハナシ、原ノナキニアラズ、原ハトクニ畠ニナリテシマヒタル也、山ハ透間モナク花ヲ植木ヲ植テ、一尺四方ノトコロモ錢ニナラヌトコロハナキヨフニナレリ、黃蓮植付ナドハヨリ／＼藥種屋ニ問合セ、サテ飯能・岩殿・扇原・子安原ナドノ人ニモ問合セテ、植付ケル法ヲ心ニカクベキコトナリ、サテ又凡ソ土地ヲ開キ物ヲ植付ルニ、大キニ心得アルコトナリ、己レバカリ德ヲ取ラントスルコト甚小サキコトナリ、己レハ智恵ヲ揮ヒテ、德ハ人ニ取ラスル心ニナリテ、智恵ヲ揮ヒタル禮金計リ取ル氣ニナルベシ、人ニ德ヲ取ラスマヒトスルハ甚狭キコト也、土地ヲ開クハ其地ノ人ニ開カセテ、德ハ其地ノ人ニ取ラス覺悟ナリ、藥種植付ハ藥種屋ニ德ヲ取ラス覺悟ナリ、如此スレバテン／＼ニ得手ナルコトヲ働クユヘニムダナルコトナシ、其土地ノコトハ土地ノ人案内ナリ、其植物ノコトハ藥種屋ガ案内ナリ、ユヘニムダナルコトナシ、夫ヲ己レ獨リ儲ントシテ不案内ノ土地ヲ開キ、不案内ノ藥種ヲ植付ルユヘ、引合ハヌコト多キナリ、銀主ヲシタ

ガル人ニハ銀主ニサスルコト宜シ、此方ハ唯惠ノ禮金バカリトル心ニテ、二三ヶ條モ心ミニ智ヲ働カ  
スコト術ナリ、二三度モ其土地ノ人ノ土地ヲ開ク法ヲ見、藥種屋ノ植付ルノ法ヲ見テ、トツクリト己  
レニ合點ノ行キタル時分ニ、己レ獨リデ德ヲトル術ナリ、加賀ニテ此前明禁・硫黃ヲ山ヨリ取り出シ  
タルコトアリ、後人少シモ多ク利ヲ取りテ上ヘ忠臣ヲセント思ヒテ、其近村ヘ夫役ヲ云付テ、人夫ヲ  
出サセテ、サテ何ノ明禁・硫黃ヲ見タルコトモナキ下役ヲ引キ連テ、山ノ奥ヘ入リテ明禁・硫黃ヲサ  
ガサセテ出サセタルコトアリ、近村ノ者山中ノ案内ヲ知ラズ、下役ノ者藥種ノアリ所ヲシラズ、サテ  
辨當・湯水ヨリ休息所マデモ皆不案内ダラケニテ、コト々後先ニナリ、サテ鍬・鉏・鎌ノ類モ一向  
ニ始メテノコトナレバ、ドノヨフナモノガ入用ヤラ知レヌナリ、ドンチヤント唯人バカリ大勢ニテ用  
ニタツ人ハ一向ニナシ、扱賢コキ者ハ何ノ間ニカ見付テ盜ム、其レヲ制スル唯罪人バカリ出來テ、繩  
目ニ逢フテ辨當ヲ喰潰スモノバカリ澤山アリテ、三日四日大ニサワギテ、彼是物入バカリカ、リテ、  
代口物一向ニ少ナク、大キニ上ヘ損毛ヲカケテ止メタルコトアリ、其後ニ鶴加州ニ遊ビテ仕方ノ大キ  
ニ違ヒタルコトヲイビタルコトアリ、一體初メハ大阪ヘ出デ道修町ノ藥種ヤヘ引キ合フテ、藥種屋ノ  
コウシヤナル番頭ヲ一人連テ、明禁ノ出ル事ヲ見セテ、サテ丸切ニ賣コトナリ、三十日イカホド、六  
十日イカホド山ヲ賣ナリ、隨分下直ニ賣ナリ、サテ大阪ノ道修町ノ藥種屋ノ番頭ナレバ、一向ニ油斷  
ナシ、鍬・鉏ノ類デモ、辨當デモ、山ノ休息所デモ、湯水ノ取りヨフデモ、寸分費ノ行カヌヨフニ工

夫シテ掘出ルナリ、夫ヲトツクリト役人見スマシテ、胸ノ中ニ趣向ヲコシラヘテ、頓ト違ヒモナフ徳分ノ有トコロヲ會得シテ、夫カラ白國ニテ取ラスルコト法ナリト云ヒシナリ、何レニモ其事ニ工者ナル人ヲ仕フコト智惠ノ第一ナリ、凡ソ植付ハ黃蓮ニ限りタルコトナシ、黃蓮ニ限りタル事ナキノミナラズ、藥種ニ限りタルコトナシ、孟宗竹・桃・梅ノ類ハ金カサナルモノ也、花ハ花デ賣リ、實ハ實デウル、原ヘ孟宗ヲ植テ竹ノ子ヲ江戸ヘ廻シ、桃・梅ヲ仁ヲトリテ藥種屋ヘ廻サバ、原デ置トハ百倍ノ利ナルベシ、三又ハ紙ニ漉ケル草ナリ、此草ハドコヘデモ生ヘル草ナリ、駿河ノ龍爪山ニ又ヲ種ヘタル話ハ談ノ内ニ書ケリ、凡ソ鶴ガ足下ヘ書キ付ケテ進上スルコトハ、此事ヲ此儘ニ用フレヨト云デハナシ、此書ヲ讀メバ智惠ノ働キデ、外々ノ事迄胸ニ浮ブ故、面白キ工夫湧キ出ル事ナリ、此書ニ黃蓮トアル故ニ、黃蓮ヲ植付ルガヨカラント思フハ、甚智ノ働カヌコトナリ、黃蓮ノ話ニテ外ノ事ニ心ノ付ルヲ、此書ノ意ヲ得ルトスルナリ、植付ノ話デ吳服物ノ仕込樣ガ知レテ來タト云樣ニ、智ヲ働カスコト第一ナリ、此書ガ直ニ用ニ達ニ非ズ、此書デ外ノコトノ合點ノ行事第一也

天子ノ天下ヲ治ムルモ、諸侯ノ國ヲ治ムルモ、庶人ノ身ヲ治ルモ、寸法コソ違ヘ仕方ニ違フコトナシ、法ト云フモノヲ立テ、人皆此法ニ付テ働ケバ治マルニ違フコトナシ、法ヲ外レテ働ケバ亂ル、ニ違ヒナシ、升小ガ升平ノ家ヲ興シタルハ、家法ヲ立テタルガ始マリ也、今ハ升小ノ法ヲ諸家ニテ寫シ取リテ、鴻池・加島屋ヲ始トシテ皆升小ヲ師トシテ法ヲ立ル事ナリ、升小ノ法ハ目附役ヲ一人見世ノ者ノ中ニ



テ、堅キ老輩ニ云付テ、何モカモ此目附役ノ意ヲ背カヌヨフニスル事ナリ、目附ハ執法ナリ、法ヲ手ニモチテ法ノ邪マヌヨウニ潰レス様ニ、チヤント立テ、置ナリ、天下ニセイ、身ニセイ、法ガ無テハ治ラヌト云所ヲ、升小ガ見タルユヘニ目附役ヲ立タルナリ、今迄モ目附役ハ家々ニアレドモ、法ガ究ラス故ニ目附ノ權輕シ、目附ノ權輕ケレバ法ヲ犯ス人アリテ罪人出來ルナリ、升小ノ工夫ノ目附ハ今迄ノ目附ト事カハリテ居ルナリ、今迄諸家ニ立タル法ハ甚嚴シキ法ナリ、ユヘニ目附ガ宥免シテ見遁シニスル事ナリ、是法ハ嚴シウテ、法ヲ執ル人ハ一向ニ涙モロキ人ナリ、升小ノ工夫ハサカサマ也、法ハ甚ユルヤカナル法也、誰レニテモ守ラル、ヨフニシタルモノナリ、目附ハ一向ニ嚴敷人ナリ、一分一釐ニテモ法ヲ背ク人ヲバ、直ニ捕ヘテ詮議シテ決シテ宥免セヌナリ、法ノ通り掟ノ通りニ仕置ラスル也、サテ諸家ニテハ目附ガ目附役バカリハ持タヌ也、皆兼帶シテ目附ヲバ片手間ニスル也、法ヲバ嚴シクシテ立テ、法ヲ執ル人ヲバ片手間ニ兼帶サスルガ故ニ、目附モ法ヲ身ニシミテハセス也、ソコデ見遁ニスルナリ、宥免スルナリ、目附ガ見遁ヲシテ宥免スル故ニ、ナヨ／＼人ガ法ヲ犯スナリ、人ガ法ヲ犯ス故ニ法ヲ段々キビシクスルナリ、法段々嚴シクナル故ニ、目附モダン／＼見ノガシニスルナリ、目附ガダン／＼見ノガスユヘニ罪人多シ、是レヲ升小見ツケテ法ヲ緩フ立テ、目附ヲ甚キビシフシタルハ、誠ニ最上ノ治メ方ナリ、且目附ハ目附バカリノ役ナリ、外ニハ役ヲ兼帶セヌナリ、目附一役ギリナリ、一體大名家ニテモ法ヲ嚴シフ立テ、目附ヲ緩ヤカナル男ニ云付ル故ニ、家中ノ行儀宜シ

カラズ、家中テン／＼ニ思ヒ、ムキ／＼ノ事ヲシテ法ヲ犯ス、ユヘニ國貧ニナルナリ、目附ガナケレバ家中一致セヌナリ、大名一軒ハ一人ノ身ナリ、家中ノ人々ハ目ヤ耳ヤ口ヤ手足ノヨフナルモノ也、目ハ目デ己レガ氣儘ヲナシ、耳ハ耳デ己ガ氣儘ヲスル人ハ貧ドコデハナシ、乞食ニナリテ餓死スル理ナリ、耳・目・手足一致シテ、身ヲ大事ニアケテ身ノ爲ニ働ク故ニ、身ハ死ナズニ活キテ居ルナリ、庶人ノ身ハ見世ノ手代・デツチ・コモノ一致セネバ、身上ハ大キウナラスナリ、升小ガ目附ヲ立テ、見世ノ者ヲ一致サセタルハ甚面白キコト也、法ハ甚緩ヤカナリ、見世ノ手代共一月三日ヅ、墓マイリヒマヲヤルナリ、朝カラ夜マデドコヘ行テ遊バフトモ勝手次第ナリ、サテ夜ハ四ツ時ヲ限リテ歸ルナリ、四ツガ過テモ仕置ナク、サレドモ朝カラ四ツ迄腹一バイ遊ブ事ナレバ、四ツヲ過ギテ歸ル人一人モナシ、是法ガ緩カナレバ守ラル、證據ナリ、嚴ケレバ破ル、證據ナリ、サテ朝出ガケニ目附ニ逢フテ出ル、夜歸リテ目附ニ逢フナリ、サテ毎夜々々夜四ツ時ニ目附ノ前ヘ、手代ノコラズ呼寄セテ印形ヲ取ルナリ、手代ノコラズ自身ニ印形ヲ持チテ、目附ノ前ニテ自身ニ印形ヲスルコトナリ、是ラハ就レ中面白キコトナリ、唯是ニテ法ノ字ヲ忘レズ、目附ノ面ヲ忘レズ、仕置ノコトヲ忘レヌ理ナリ、是ニテ見世中ノ者ヲ自由自在ニ仕ハルコトナリ、是皆一致シテ法ヲ守ル故ナリ、江戸ノ諸家ノ店々ヲ見ルニ、唯法ヲバ甚嚴シク立テ三日法度ナリ、アレデハ下々一致セヌ故ニ、何事モ成就セヌナリ、今度仙臺・金廻シヲ大阪ヘ取ラレタルハ、伊勢町・本船町ニ目附ナキ故ナリ、法ノナキユヘ一致セヌユヘナ

リ、家軒ニテ金千兩ノ働キ出ル家アリテモ、唯千兩ギリナリ、十軒一致スレバ一萬兩ナリ、二十軒一致スレバ二萬兩ナリ、仙臺ニテモ金ヲ預ケテモ、急用アリテ唯今十萬兩調達セイト云トキニ、江戸ニテハ十萬兩ノ調達ハ決シテ／＼出來ヌナリ、十萬兩ノコトハ措テ一萬兩ニテモ、五日ヤ六日ノ内ニ調達スルコトアルベカラズ、江戸ガ大阪ヨリ小サキニアラズ、一軒ヅ、ニテ一致セヌヘニテナキヤ、一致セヌハ江戸風ニテ大ニ損ナル事ナリ、見ス／＼金ヲ取りソコナフコトナリ、一家ニテモ見世中一致スルト一致セストハ、大キニ損徳ノアルコトナリ、一致セヌハ其旦那ヲ憎ムト云ニ非ズ、旦那ヲバ隨分愛スレドモ、己レガズルケテ法ヲイトフ心アル故ニ、テンデンバラ／＼ニナルナリ、ズルケヲ立テ直スハ法ヨリ外ニナシ、法ハ隨分緩ヤカナル法ハ善ナリ、法ヲ緩カニシテオキテ宥免セヌヲ善政ト云、仁政トモ云ナリ、京都ノ三條東洞院西へ入ル所ニ近江屋ノ彦右衛門ト云吳服屋アリ、鶴ガ門人ニテ年々ニ大豪富ニナル人ナリ、見世ノ手代・デツチ三十人モアルベシ、一ケ月ニ一度酒日ト云モノヲ立テ酒ヲ飲マスコトナリ、立派ナル殺ヲコシラヘテ、見世ノ人ヲ立派ニ振舞ナリ、一年ニ兩度ヅ、茶碗蒸日ト云モノヲ立テ、見世ノ人ニ茶碗蒸ヲ立派ニ振舞フコトナリ、如レ此ニ緩メテ置テ、サテ法ヲ潰サスヨフニスルナリ、世ノ中ハ如レ此ニ巧ミニナル也、見世ノ者一致シテ旦那ノ爲ヲスルホド強キモノハナキト見ユルナリ、唯法ト云モノハ大事ナルモノ也、ドコノ見世ニモ法ノナキ見世ハナケレドモ、法ヲ守ル見世ハ一軒モナキナリ、是ハ法餘リ澤山ノ箇條ニテ嚴シキ故、所詮守ラレズト下デモ棚へ上デ

テオキ、上デモ法ノ通りニスルモノガアロウハヅハナイト云フテ居ルユヘニ、是法ハアルモナイモ同ジコト也、法ヲ甚ユルヤカニ立テオキテ、法ニ違フタル人ヲバキビシフ仕置ラスベキコトナリ、是時ニ遠慮ヲシテ涙モロフテハ法ノ行ハレヌ也、故ニ始メニ誰レデモ守ラル、様ニ、背ズニスムヨウニ法ヲ組ミ立ルナリ、法ヲユルヤカニ立ルハ、法ヲ潰スマイトスルユヘナリ、升小ノ墓參日、近彦ノ酒日ナドハ、如何ニモ法ヲ大事ニシタル仕掛也、貴家ノハ見世モ吳服ト米ナレバ、并ニ氣テンノキ、タル手代ガ無レバナラスコト也、氣テンノキ、タルモノハ兎角ニ法ヲ破ル人多シ、氣テンノキ、タル男ノ罪ニカ、ラヌヨウニ掟ヲキメルガヨキ也、ソレホドニ緩カニ法ヲ立テ、其ヲノリコヘル男ハ是公儀ノ繩目ニモ逢フベキ男ナリ、公儀ノ繩目ニモ逢ベキ男ヲカ、ヘテ置ハアブナキモノナリ、又世ノ中ノ手代ト云モノニ、公儀ノ繩目ニ逢ハヌ請合ト云フ人ハナキ也ト云フ人アリ、夫デハ法ノ立テヨフハナキヨフナルモノナレドモ、ソレホドニ惡人多フテ、智者少ナシトモ云ハレヌナリ、又法ハ急度守レドモ、智ハ一向ニナキ人アリ、コレハ又役ニタ、ス人ナリ、故ニ法ヲ立ルハ六ヶシクト云フナリ、アホフモノデナケレバ守ラレスト云法ハ、下手ノ立テタル法ナリ、働キノアル人ハ守レメト云法ハ下手ノ立テタル法ナリ、故ニ法ハ中ヲタツトム也、中トハ圍シフモナク、又樂スギモセスヲ云フ、餘リユルヤカニスギレバ見世ノ爲ニナラス也、餘リキビシケレバ下々ニテ破ルユヘニ、罪人多フテ人々怨ルナリ、見世ニ損モユカズ、人ガ怨ミモセスト云ホドナルヲ中ト云、手代ヲ罪シテモ他所ニテ尤ジャト云ハ、



是仕置ノシアテタルナリ、手代ヲ罪セスホド宜シキコトハナシ、何トゾ下代ヲ罪セスヨウニ法ヲ立テ  
ヨフト、是ヲ目アテニシテ法ヲ組ミ立ルコト術ナリ、法ヲ立テタル後ニハ、必々法ヲヘンズルコト  
アシキ也、故ニ始メニ法ヲ立ルトキニ、吟味ノ上ニ吟味スルコト也、サテ何レ目附ハナフテナラヌコ  
トナリ、目附ナケレバ法ヲ行フ人ナシ、旦那ガ自身ニ法ヲ行フハ下手經濟ナリ、ユヘニ目附ト云役ヲ  
一人コシラヘテ、此目附ニ法ヲ行ハスルガ升小ノ工夫ナリ、法ヲ立テハ立レドモ、法ヲ犯シタル人ノ  
アルトキニ、誰レカ仕置ヲスルゾト云ニ、旦那ガ自身ニ仕置ヲスレバ、旦那ガ仕置ヲスルゾト云フモ  
ノ也、云バ輕キナリ、目附ガ仕置ヲスルハ、法ガ仕置ヲスルナリ、故ニ旦那ヨリ重キナリ、旦那ハ  
一代ノ旦那ナリ、法ハ末代ノ法ナリ、コノ法ハ旦那ト云ヘドモ、法ニハ叶ハスト云フガ眞ノ法ナリ、  
旦那ノ氣ニ入りノ手代デモ、法ヲ犯セバ仕置キナリ、旦那ノ氣ニ入ラヌ手代デモ法ヲ守レバ、褒賞ヲ  
ヤラネバナラストシタルモノナリ、故ニ旦那ヨリモ法ヲコハガルト云フ家ハ、決シテ富サカヘテ、天  
下ニ名ヲ成ス大福者ニナルニ相違ナキコト也

今升小ノ仙臺ノ大身上ヲ一人ニテ引受ケテ、吞込ミテ富國ノ法ヲ立テ、奉リテ、他國ノ遠國ニ居テ  
大國ヲアヤツルコトハナルホド大腹中ナリ、江戸ナドニハケ様ノ大腹中ノ人ヲバ鶴ハアマリ見ヌナ  
リ、升小モナルホド大豪傑ナレドモ、一タイ大阪ノ土風此一事ニオキテハ、ナントモ思ハヌコトナ  
リ、追々大阪ニテ大諸侯ノ身上ヲ丸キリニ預リテ、所存一バイニ取リハカルフ、升平唯一軒ニ非ズ、

升小唯一人ニアラズ、其ノ他國ノ遠國ユヘニ、大キニ取ハカライノシヨキコトモアルナリ、升小ガ仙臺ノ城下ノ民ニテ、升平ガ仙臺ノ城下ノ町家ナラバ、決シテ丸キリニ預ルコトハセマジキナリ、仙臺ニテモ丸キリニ預ケハセマジキナリ、タトヘ升小ガ法ヲ奉リテモ、仙臺ニテモ用ユマジキナリ、大阪ニ居テ仙臺ノ御世話ヲ申上ルユヘニ、升小モ一バイニ取リハカラヒ、仙臺ニテモ升小ノ法ヲ守ルコトナルベシ、是ハ大阪ニカギリタルコトナリ、大阪ノ大豪傑ドモハ、毎々大諸侯ノ身上ヲ丸キリ預リテ、グイト富國ニスルヲ、天下ノ人モ皆見テ知リテオルユヘニ、大國ニテモ疑フ心モナク、町人ニ身上ヲ預ケルコトナリ、今升平・升小ガ仙臺ニ居レバ預ルコト叶ハズ、扱又京都ニ居テハ、又々大國ニテ預ケヌナリ、ユヘニ江戸モノナレバ猶々アヅケヌ也、京モ江戸モ大金調達ノ出來ヌ地ナリ、大國ノ法立ナドモ出來ヌ地ナリ、京ハマダシモ離レテ居ル地ユヘニ、大國ニテモ預ケマイモノニモアラズ、江戸ハ大名ノ常住ノ所ナレバ、國元ニ何モ左マデチガフコトナシ、ユヘニ仙臺ノ町人ニ仙臺デ身上ヲ預ケネバ、江戸ノ町人ニモ仙臺ニテ身上ヲバ預ケヌ理ナリ、又米札ヲ作リテ仙臺ノ金ヲ江戸ヘ殘ラズ取寄セテモ、此方ノ法ヲ守リテクレネバ、大國ノ身上ハナホラヌナリ、身上ナホラネバ金ハ調達サレヌナリ、スレバ所詮江戸ニテ仙臺ノ身上ヲ丸キリ預カリテ、法ヲ奉リテ此方ノ法ヲ守ラスコトハナラヌコトト見ユルナリ、コノコトハナラズニカタヅケテシマフガヨキナリ、扱仙臺ノ法ハ升小ヨリ出ル、升小ヨリ出ルトキハ、所詮伊勢町・本船町ノタメニヨキヨフ

ニトハカル理ハナキコトナリ、大阪ノタメトハカルニテガヒナキコト也、スレバ伊勢町・本船町ノ仙臺へ出タル金ハ氣ヅカヒハナイト云フモノナリ、金ノカヘラヌノミナラズ、以來與ニ仙臺ニテ、伊勢町・本船町ノウルホフ理モナキコトナリ、是レハ智者ノ默シテ居ストコロナリ、今伊勢町・本船町ヨリ、此事ヲ鶴ニ頼ミ來タルナラバ、鶴決シテ請負テ昔仙臺へ入レタル金ノ少シヅ、ナリトモカヘル仕方ヲ授クベシ、且ツ此上伊勢町・本船町ノ仙臺ニテウルホフ仕方ヲ教ユベシ、鶴ガスレバ出來ルコトナリ、一タイ大阪ノ人心ハ妙ナル所ナリ、兎角理ニ叶フヨフニ、天道ニ叶フヨフニセネバ、金ハマフカフヌトシタルモノナリ、ユヘニ當時大阪ニハ實意借リト云フコトアリ、コノ實意借リト云フコトヲ知ラネバナラスコトナリ、智者ト云モノハ、何ニツケカニツケテ、心ヲツケテ唯通サヌヨフニスルコトナリ、實意ガリトハ、茶屋振舞モ、船遊山モ、何モナシニ實意ニテ、相違ノナイト云フ處ヲ互ニ見スマシテ借シ借リヲスルコトナリ、コレヨ實意ト云フトキハ、花ヤカニ振舞ヲシヤイテ借リ借シヲスルハ虚ナリ、ウソナリト云フコトアリ、謀計ヲ以テ大阪ヲダマシテ借ロフトスルヲ虚ト云フナリ、大阪ハ先祖代々ノ金カシナリ、田舎カタギノ者ニテ、ダマサレヨフノナキコトナリ、サレドモサキ方ヨリ實意ニセズニ虚デクルユヘニ、銀主ハダマサレル顔色ニテ、ダマサレタル分ナリ、ユヘニ諸付届・諸合力カラ皆元金へ入レ、チヤント損ヲセヌヨフニク、リアゲテオク也、是天理ナリ、實意ガリガヨキコトナレドモ、金借り役人ハ花ヤカニ遊ブガ面白サニ虚ニ出デ、

屋敷へハ銀主ヲダマシテ、ヨフ／＼ニ調達シタルコトヲ見セルナリ、實ニクレバ實ニテ受ケ、虚ニクレバ虚ニ受クルハ天理ナリ、コレデ天道ニ叶フトシタルモノ也、コノ實意虚辭ト云コトヲトクト味フテ、大阪ニテ無理ヲセヌコトヲ會得スベシ、天道ニ叶ハネバ大富ヲ得ルコトナラヌトキメテオルコトヲ會得スベシ、扨此心ニツキテ見レバ、決シテ伊勢町・本船町ノ難儀ヲ此方ヨリ歎クヨフニシテ、大阪へヒツツクヨフニシテ、升小へウチアケテ頼ムヨウニシテ、大阪ト伊勢町・本船町トヒトツニナリテ、親類分ニナルヨウニシテ、實意ヲ以テナゲカケテ談ジタルホドナラバ、決シテ宜シキ談合アルベシ、大阪ハ右ノ如デ天道ニ叶フヨフニシテ、大富ヲ得ルコトヲ專一ニ心ガクルトコロナレバ、人ノ難儀ヲ見テハ居スト云フコトヲ出精スル地ナリ、唯此段ハイカニモ實意ニシテ虚ノナキヨフニ談ズルコト實ナリ、タトヘバ伊勢町・本船町ヨリ金子ヲ調達シタケレドモ、仙臺デ取リテカヘサヌユヘニ、調達シニクキト云フ氣味ナレバ、今度ハ升平へ金ヲ出シテ、升平ガ借り主ニナリテ借レバ、借シテモ大丈夫ナルモノナリ、イフテ見レバ以來調達ノ三分一ハ、伊勢町・本船町ヨリ升平迄サシ出ソウユヘニ、廻米ノウチドレホド／＼ハ伊勢町・本船町ヘ廻ルヨフニシテクダサレトイフヨフナル談ジモ出來ルコトナルベシ、唯江戸ハ金・働キ甚アシキトコロユヘニ高利ナリ、高利ノ金ヲカスハ金高スクナキユヘナリ、高利ハ大金ヲマウス法ニアラズ、サレドモ當時ハ大阪モ利高フナリテ、振舞ナドノ調達入用ノ方ヲ減ズルコトニナレリ、一タイ世ノ風ガダン／＼實意カリノ方



へアユンデユク方ナリ、升平ノ金ハ大タイ九朱ナリ、九朱トイヘバ一割ニ甚近キ金ナリ、サレバ伊勢町ヨリ升平へ金ヲ出シテモ、八朱ナレバアヅカルニチガヒナシ、又大阪ノ勝手ノヨキコトヲ伊勢町デシテヤルヨフニスレバ、ヤハリ九朱ニテアヅカルベシ、凡ソ振リ込ミ金一イフモノハ何レアヅカリ手ノ方デ、少々ハ口錢ヲ取ルモノナンドモ、今伊勢町ニテ大阪ノ爲ヲスルノミナラズ、大阪ト一ツニナリテ親類分ニモナレバ、徳ノユクコトナフテモ、損ノユクコトデサヘナケレバ、大阪デ伊勢町ノ爲ヲシテクレルハヅナリ、ソコガ天道ニ叶フヨフニスル處ナリ、今仙臺ノ身上ヲ丸キリ升平ガ預レバ、升平ハ即チ仙臺ナリ、仙臺ノ米ハ即升平ガ米ナリ、升平へ金ヲ出スハ即チ仙臺へ金ヲ出スナリ、升平承知シテ仙臺ノ米ヲ伊勢町河岸へ廻セバ、是レ伊勢町河岸ハ昔ノ繁昌ナリ、升平へ出シタル金ハ返サネバ、升平ノ身上ヲ此方へ取ルユヘ大丈夫ナルモノ也、升平モ又十萬ヤ二十萬ノ金ヲネルト云フコトハナキナリ、サレバ升平へ出シタル金ハ甚丈夫ナルモノナリ、伊勢町ノ金丈夫ニテ少シモネラレズニマワレバ、即チ是レ伊勢町ハ昔ノ富ナリ、伊勢町ノ昔ノ通りニ繁昌シテ、昔ノ通リノ富ミニカヘルコトハ唯此一舉ニアルコトナリ、伊勢町・本船町一致シテ此事ヲ始メント云フコトナラバ、鶴宜シキヨフニ談ジテヤルベシ、其事ハ甚仕方ノアルコトナリ、コノヨフナ談シハ又江戸ノ人ノトント知ラストコロナリ、去年ヨンドコロナキ方ヨリ頼マレテ、金談ヲ大阪ヘイヒコシテヤリタルコトアリ、鶴思フニ、鶴ハ儒生ノコトナリ、コトニ金談シツケスコトナレバ、金談ヲ引キ

合ハスコトハ自由ニナレドモ、談ズルニハ事ノワカル人ノ功者モノガ宜シカラント思ヒテ、事ニナレタル功者ノ老人五十バカリニナル、モットモラシキ人ヲ中ヘ入レテ、其人ヲ大阪ノ内人ノ方ヘヤリタリ、委細ハ手紙ニクワシフアレドモ、猶又中ノ談シラレヨトイフテヤリシニ、先方ヨリノ返事ニ、アレデハ談シ出來ズ、凡ソアノヨフナ事ニナレタル人ヲバ甚大阪ニテハキロフナリ、山師ラシフテ甚イヤガル也、ヤハリ鶴ニチヨツトクダレト云フテ來レリ、コノワケハ鶴ハ年モヨリテ、大ガイ諸國ノ人モ鶴ガ名前ヲモ知ツテオルコトナレバ、山師デナキコトガ明白ニシレテヨイ、談シハブコウシヤデモ、人物ノ丈夫ナルガイイト云フ心ナリ、ユヘニ頼ミタル方ヨリワザ／＼鶴ニ下リクレヨトイヒテ頼ムユヘニ、ヨンドコロナフ下レリ、扱ハナシヲキクニ、鶴ガ下ルコトガ甚ヨイトイフテ、談シモト、ノフテ大金ノ出來タルコトアリ、皆彼實意借リノ方ナリ、鶴ノコトユヘ振舞モ遊山モナク、生洲ヘ一ペンイキタルキリ也、ソレニテ大金ト、ノフ處ヲ見レバ、是レ實意ホドヨキコトナシト見ヘタリ、鶴ガ頼ミタル男ハ

丹波龜山ノ用達

上福島ノ取ツギ也

富 永 宗 助

コノ男ハコノ人ノ親要右衛門ト云人ヨリ鶴ガ門人ナリ、要右衛門ハ甚豪傑ニテ大キニ身上ヲシイダシタリ、コノ家ハ龜山侯ノ用達ニテ銀主ノ用事ヲタス家ナリ、扶持モ二十人扶持取リテ、龜山ノ家來ノ列ニテ、他所ヘ出ルトキハ大小鍵ナドニテ出ルナリ、左レドモ大阪ノ奉行所ニテハ富永屋ト稱

スルナリ、大阪ニテハ町家ナリ、イフテ見レバ只ノヨキ口入ナリ、大坂ニハケ様ノ品ノ人澤山アリ、皆銀主ツキ合ヒヲシテ、唯金銀ノ事ニばかり掛リテオルモノ也、大阪ニテハ銀主ト云フ家一段アリテ、一段サガリテ口入ト云フ家ガラアリ、口入ニモ甚富タ家アリ、銀主ニモ甚不勝手ナル家アリ、金ノ多少ニテ銀主ト口入トワケタルニアラズ、家柄トイフヨフナルモノ也、銀主ハ自身ノ所持ノ金ヲ出シテ借ス、口入ハ他人ノ金ヲマワスト云フコト也、御買米分限帳ニモ、一萬石ノ部ニ口入モアリ、又千石カフコトモナラヌ銀主モアルナリ、扱此富永ハ鶴ガ二代ノ内人ニテ別シテ心安ク、大阪へ下リテモ此男ノ家ニ逗留スルナリ、此家ニ逗留スルハ物入大キニ入ルコトナリ、旅籠ヤニトマリテ上下二人ノ飯料茶代ヲ出シ、一日ニ六七匁デ事スモコト甚手輕キ也、此男ノ家ニイルハ世間ヘノ外聞ナリ、土産ニバカリモ二百匹モ入ル、カレコレ甚物入ナリ、凡ソ大阪へ下リテ五日逗留スルニ金三兩入ルモノ也、江戸ハ手輕キトコロニテ、ドコヘ行クニモバツチニテ、獨ブラ／＼ユクコトナレドモ、上方ハ一向左様ナソマツナコトハハヤラヌ也、鶴ハ伏見マデハ駕籠ニノリ、兩掛モナヲ別ニカヒ、草履取ヲ別ニツレテユクコト也、貧ナル體ニテ行ケバ、大阪ノ内人ハナレル氣味ナリ、如シ右ニイヒタル鶴ノ智ヲ用ヒテ見ヨフト、伊勢町・本船町一統ニイワル、事ナラバ、イツデモ鶴下阪シテ談ジテ進ゼ申スベシ、伊勢町ノ義助子ハ鶴モチカヅキニテ豪傑ナリ、談シモヨフワカル人ト覺ユルナリ、此趣ヲハナシテゴランアルベシ、左レドモ江戸ハ人ニアヤマルコトノキライナル流

儀ユヘ、升平ノ下ニツクヨフニテハ外聞アシ、ト思ハル、モ知レヌコトナレドモ、全ク升平ノ下ニ  
ツクニアラズ、升平ヲモ又江戸カラ助クルコトアリ、升平モ又江戸ヲ助ケルコトアリ、南方ノ勝手  
ニナルコトナレバ、ドチラガドチラノ下役トイフニモアラズ、唯升平ハ江戸ガ一ツニナレバナヲヨ  
シトイフ家ナリ、江戸ハ升平ガ一ツニナレバ、一ト河岸昔ノ通りニ繁昌スルコトナレバ、升平ヲナ  
デコミテ下手ニナリテ、米ヲ伊勢町河岸ヘ呼ブコト便利ナルベキナリ、鶴ガ工夫如此、ヨク／＼  
カンガヘテ義助子ト御談ジアルベキコト也、但仙臺ハ江戸ヨリハワヅカ八十里ノ處ナレバ、升平モ  
江戸ニ同腹中ノ人アラバ、サヅ／＼便利ノコトアルベシ、其上ニ伊勢町ハ多年仙臺ニカ、リテオリ  
タル處ナリ、大阪ハ昨今ナレバ、何カ升平ヘ心添ヲイヒテキカスコトモサヅ／＼アルベキ事ナレバ、  
升平デハ大キニウレシガル理ナリ、ウレシガリテ世話ヲヤカネバ、世話行キ届カヌモノ也、世話ヲ  
ヤイテモロウホウニテモ、少シモ恩人ヘ爲ニナルコトヲシテ、其上ニテ世話ヲヤカスル方安心ニテ、  
心グルシフナフテヨキ理ナリ、コレラノコトモ折々シラベテオクベキ事ナリ、義助子ヲ始メ大阪ヘ  
ツクコトハイヤジヤ、タトヘ伊勢町繁昌シテモ大阪ト一統ニ取結ブコトハ、江戸ノ耻辱ジヤナド、  
イフテ、此事ヲハジメル心無キカモ知ラス也、ソレデモコノシラベハシテオクベキコト也、又々世  
ハ色々ニカワルモノ也、リキム事ノハヤルトキハリキム事ガハヤル、リキマヌコトガハヤル時ハリ  
キマヌコトガハヤルシ、今ハ京モ大阪モリキマヌコトガハヤル也、リキムハ損ナリ、リキムヲ辱ル



ヨリモ、不繁昌ヲ辱ルコト理ナリ、リキマネバ繁昌スル、リキメバ繁昌セスト、トツクリト見サダムルコト今ノ急務ナリ

大阪ニ空米先納トイフコトアリ、コレ甚面白キコトナリ、大阪ニテハ國元ヨリ諸產物上レバ、其屋敷ノ藏ヘ入レサセテオクナリ、是カラハ藏方ノ役人ノ預カリナリ、扱其屋敷ニテハ切手ヲ作リテ、留守居・目附以下諸役人ノ印形ノスワリタル切手ヲ、千枚モ二千枚モ作リテ、元々役ノモノ預リテオルナリ、入レ札アリテモ、又ハ其拂ヒヲカフ家ガラキマリテカフ人ニテモ、金ト右ノ切手ト取カヘルナリ、扱切手ヲ藏方ヘ出セバ、諸侯人ヘ達スルニ不<sub>レ</sub>及、切手ヲ證據ニ藏内ノ品ヲ其人ニ渡スコトナリ、コレハ國元ヨリ產物上ルユヘニ、米ヲ始トシテ上リタル代ロ物ノ高ニ合セテ切手ヲ作ルコト也、シカルニ貧ナル屋敷ニテハ、當年廻リタル米ハトクニウツテシモフテ、今藏ニアル米モ其代金ハトクニトリテシモフテオル、サレドモ今金入用ナレバ、來年クルハヅノ米ノ切手ヲ今ワタシテ、代金ヲ先納サスヲ空米先納ト云フナリ、コレハ甚丈夫ナルモノ也、アリモセヌ米ノ切手ナレバ、是ボウハンノヨフナルモノ也、ユヘニ奉行所ヘハ出サレヌ切手也、出セバ渡シタル屋敷ノ罪ニナルコトナリ、ユヘニキツト其切手ハ取りモドサネバナラヌ也、故ニ大丈夫ナルモノ也、コレハ江戸ニテ座頭ガ家中ヘ金ヲ借ストキニ、ワザトボウハンヲサセテ借スト同ジ傳ナリ、スデニ空米先納トイフ名アレバ、コレ借り方借シ方モ承知デスルコトナリ、コノ空米先納ハ甚便利ナルモノニテ、家中ノモノ

ナドモヤリクリヲスルニ大キニ便利ナリ、借シ方モ切手ヲ取リテオキテカスユヘニ丈夫ナリ、鶴ガ  
門人ノ内ニ忍ノ家中アリ

江戸忍惣勝手掛家老忍勝手

加藤市之丞

忍勘定奉行忍勝手

大澤久藏

此兩人ハ甚懇意ニテ、今以テ日々ノヨフニタヨリヲスル人々ナリ、忍ハ鴻ノ巢ニアタレバ、川越ヨ  
リハ五里カ六里ノ處ナルベシ、扱忍ノ域下ハサミシキ城下ト見ユ、今ハ忍侯ハワカヨニテ勝手取ナ  
ヲシノ最中ナリ、家中ハ御役アトノコトユヘ、ヤハリ錢ツカヒモアラキ様子ナリ、貴家ハ米屋ノコ  
トナレバ、此空米先納ノ法ヲヲシヘテ、忍ノ家中ヘ金ヲ用立ツコトイカバトアルベキヤ、ソノワケ  
ハ忍ハ秩父ガ領分ナレバ、川越領トチガヒテ山甚澤山アリ、何品植付テモ出來ルナリ、扱又秩父ノ  
絹ハオビタバシキコトナリ、扱貴家ハ吳服屋ナリ、サレバコノ秩父絹ニツキテハ、甚面白キコト澤  
山アリ、鶴加賀ノ絹ヲシラベタルコトアリテ、加賀絹ト秩父絹ノコトハ、京ノアンバイ甚工者ナリ、  
京ノシカケニヨリテ秩父ニナンボモ徳ノトレルコトアリ、貴家ハ川越ノ吳服屋ナレバ、川越平・川  
越紬・川越八丈・川越本綿ナドニ大キニ趣向アルコト也、凡ソ江戸ナドモ大キナル所ナレドモ、大  
荷ヲ仕切ル家ハ一向ニナキ也、京ニモ吳服物ヲ仕切ルコト大ソウナルコト也、三井・大丸・夷屋・北  
絲・白木・岩城升屋ノルイ數百軒アリテ、一致シテ仕切ヲ出スコト何ソ十萬兩トイフ金高ナリ、大阪

ニテ紙・蠟・藍玉ナドノ仕切ヲ出スヨリモ金ガサナリ、凡ソ江戸ハ一致スルト云フコトノナキ所ユヘ、ミス／＼損ヲシテ人ニ德ヲトラル、ナリ、一タイハ江戸デ仕切リテ京へ出セバ、大キニ江戸ノ益アルコトナレドモ、ソレハ出來ヌコトユヘ、京ノグアヒヲアンバイヨフ引キ合フテ、荷ヲ送ルコト甚宜シ、今マデハ織元ヨリテン／＼バラ／＼ニウルユヘニ、上方ヨリモ買手下リテ、申買ヨリ買上ル荷ヲ京ヘマワシテモ、凡ソシツカリトシタル店ノ取り調ベナキユヘニ、唯ユキナリホウダイ也、ユキナリホウダイナレバ、仕切ル人ノ心次第トイフモノ也、是織元ヘ德ノユク理トントナシ、德ノユカスノミナラズ、荷ヲ蹴ルナリ、ケルユヘニ金高甚少ナフナリテ、國在所ヘ歸ラレヌコトニナルナリ、少々ノ金ヲ持チテハ國ヘハカヘラレヌト云フ日ニハ、金ヲ借りテ數ニタシテ返ラネバナラヌ理ナリ、且荷ヲ持チテ來ル男ハ飛脚ナリ、織元自身ニクルニハアラズ、飛脚ノ手前ニテハ唯金ノ數ヲ合セテ持テ行ケバヨキ也、故ニ借りテ數ヲ合スル筈ナリ、尤千萬ナルコトナリ、扱仕切ル方ニテハ借シタキナリ、ユヘニサツ／＼ト借スナリ、ヒアヒヲモ高フ借スナリ、ヒアヒ高フテモ、飛脚ノコトナレバ借ルナリ、來年又金高合ハヌユヘ又借ル、又借スナリ、如此年々借スユヘニ、年々日アヒ多クタマリテ、其古借ニハ利足ヲツケ、其前借ニハ利足ヲツケテ、後ニハ唯代ロ物ヲトラル、ヨフニナルハ必定ナリ、川越絹モ關東絹ノウチナリ、凡ソ京ニテハ加賀絹ト關東絹トイフハ別ナリ、加賀絹ハ四軒問屋アリテ、井筒屋ノ善四郎ヲ始メトシテ仲間四軒トキメテ、仲間ハ一致シテ唯加賀

ノ織元直段ヲヒクメル工夫ヲスルコトナリ、關東絹ニハ上ヘ拔タル問屋ナシ、私ノ問屋ナリ、扱コ  
ノ私問屋トイフモノハ甚彼是物入ノ多キモノ也、凡ソ問屋株トイフモノハ權威ノアルモノニテ、其  
問屋ノ外ニ賣リ捌クモノアレバ、奉行所ニテ吟味シ、御制禁ヤブリト云フモノニナリテ、重罪ニナリ  
テ、過料ノ十貫文モトラレテ、五十日ホド商賣ヲヤスミテ免サル、モノ也、私問屋ヒツキヨウ内々  
ナレドモ、奉行所ノアチコチノヒツバリニテ、眞ノ問屋ノ如ク外ニ賣捌クコトナラズトシタルモノ  
也、私問屋ニテ眞ノ問屋ノ如クニ威勢ヲフルフコトユヘニ、物入夥シフカ、ルハヅノコト也、ユヘ  
ニ代口物ニカ、リテ代口物ハ年々ニ高フナル、織元ハ年々ニ利少ナフナル、タワヒノナキ所ヘ金ガ  
引ケルユヘニ、一向ニ織元ツマリ、代口物高フナルユヘニ、賣レハ大キニワルフナリテ、タワヒモ  
ナイ所ヘ金ハヒケテシマウ也、ユヘニ秩序絹上所ニナリテ調べツケルコト甚妙計ナリ、秩父絹ノ  
中ハ川越織ヲ入レルコトナンノコトモナキコト也、コレハ彼忍ノ勘定奉行ノ大澤久藏ト云フ人ヘ、  
私内人ト名乗リテ近カ付ニナリテ、内々話シテゴランナサルベシ、大澤ヘハトクニイフテヤリタル  
コト也、大澤ハ近頃マデ中野ト云フ所ノ代官ナリ、中野ハ大阪ノ西北ナリ、伊丹ノ西ナリ、コ、ニ  
忍侯ノ領分二萬石アリ、其代官タリシガ大才物ニテ見出シニアヅカリテ、今度忍ノ勘定奉行ニナレ  
リ、コレラノ話ハ内々ノ話ナレバ、淺キ交リニイフベキニアラズ、ユヘニ唯交リヲ結ビテ後ニ發ス  
ベキカ



扱御當家様ハ御家門ノウテニ、別シテ貴キ御家筋ノコトナレバ、マダ／＼ズツト宜シキ工夫アリ、今甚ノ智恵ナリ、丹波ノ園部トイフハ、織田某侯ノ領分ワヅカニ二萬石バカリノ大名ナリ、此屋敷京ニアリ、扱園部ハ京ヨリハワヅカ十里ニタラス所ナレバ、園部ノ產物ヲ前々ヨリ京ヘマワシテ賣捌クコトナリ、然ルニ彼前借ノ傳ニテ、ダン／＼京ハ借金フヘテ、代口物ヲバ唯トラル、ヨフニナレリ、コレコソシツカリトシタル店トイフモノモ無レバ、調ベル人モナキユヘニ、ペラ／＼トテンテンバラ／＼ニウリテハ借リ／＼スルユヘニ、後ニハ園部領一統ノ難儀トナリテ、大キニ困シキコトニナレリ、此時智者出デ工夫シタルハ、コレハ京ノ屋敷ニテ、園部領ダケノ物ヲ賣リサバク願ヲ出シテ間屋ヘカ、ワラズ、屋敷ヘ仲買ヲスグニ呼ビテ賣ルコト便利ナリト考ヘタル男アリ、即チ此趣ヲ願書認メテ奉行所ヘ差出シテ、願ノ通りニ事濟ミテ、今以テ園部屋敷ニテ多葉粉・紙ヲ始メ野菜ニ至ルマデ、市ノ日ヲ立テ、仲買ヲ呼寄セテ相場ヲ立テ、役人見届ケテ自分ニ賣捌クコトユヘニ、外ヘモ利ヲトラズ、無益ノコトナシニ園部ヘ德分餘慶ニトレテ、今ハ大ニ園部ノ經濟宜シフナレリ、コレハ第一領分ノ金ノヘラス金ノフヘル仕掛け也、國ノ大經濟ナリ、扱貴藩ハ國主ノ大諸侯ニテ御高モ大イナレバ、御國ノ代口物ヲ京ヘマワシテ捌クニハ大キニ仕方アルコト也、川越様ハ御屋敷ナレドモ、今ノ御留守居ノ御役宅ニテ、御賣捌キトイフ名目ニテ其實ハドコデ賣捌キテモスムコト也、鶴ガ内人ニ彦根侯ノ用達アリ

大宮通三條上ル東側

近江屋喜兵衛

コレハ彦根侯格別ノ御由緒ノ町人ニテ、十人扶持三十石下サレテ、萬端彦根ノ御用ヲキク男ナリ、彦根ノ領内ニ長濱ト云フ所アリ、北國海道ニテ鶴モ通リタル所ニテ、戸數モ三千餘アリテ大都會ナリ、此地ハ昔ヨリ縮緬ヲ織リ出ス、世上ノイヰユル濱縮緬ナリ、扱縮緬ノ長濱ヨリ京へ上ルコト夥シキコト也、其縮緬ノ奥印ヲスルハ此近江屋喜兵衛ノ家督ナリ、公儀へモ拔ケタル眞ノ問屋ナリ、濱縮緬ニ近喜ノ印形ナキハ法度モノニテ、スケ荷ニ立ツユヘニ大罪ヲ蒙ルコトナリ、一疋ニツキ三分ヅ、ノ印形料ニテ押スニ、一年ニ百兩ニテカキ金ヲアゲルコトニテ大ナルコトナリ、先年ヨリ彦根侯ニテモ園部ノ法ヲ用ヒラレテ、彦根屋敷ニテ賣捌キノコト御願ヒナサレテ、御屋敷ニテ賣捌ク分ニテ、近喜ニテ賣捌クコト也、今ニ相分ルコトナシ、京ノ問屋へ荷ヲ送ルトハ大キニテガヒテ利ノアル事ナリ、如シ川越ノ織物御屋敷ニテ御賣捌ノコトアラバ、又此レモ大キニ傳授ノアルコト也、仲買ドモノアシラヒ甚功者不功者ノアルコトナリ、ツキソヒテオル役人ヨリ賣捌ノ場所印形ノシカタ皆近喜甚功者ニテ、鶴ハ外ノ國ノ絹ノ屋敷賣捌ノコトヲ世話ニシテ甚熟シタリ、又急ニ屋敷賣捌キノハシニクキコトアル時ニ、ハヤリ今迄ノ通り問屋ニ渡シテ、別ニ一軒見合セ問屋トイフモノヲ置ク法アリ、此見合セ問屋トイフモノモ又甚巧ミナルモノ也、コレハ今迄ノ問屋ヲ敵ト見テ、味方ノ問屋ヲ一軒ヲクナリ、コレハ別ニ其屋敷ノ用違ト云フヨフナル家柄ノ家ヲ問屋ノ部へ入レ

ア、同ジク間屋ニイヒ付ルナリ、此見合セ間屋一軒ハ間屋ノ目付ナリ、味方ヨリ敵ヘ入り込ミテ敵ノ謀計ヲ見ル役ナリ、此見合セ間屋アレバ、今迄ノ間屋モ甚シキ謀計ハデキヌ也、關東絹ハ上ヘ拔タル間屋モ無キユヘニ、猶以見合セ間屋ヲバ入レヨキナリ、上ヘハ拔ケネドモ、關東絹ヲアツカツテ眞ノ間屋同前ニシテ、印形ヲスル家左ノ通り

御池通車屋町東ヘ入

糸屋長左衛門

コレハ北糸ナリ、北糸ノ店ハ本宅ハ柳馬場姊小路

東洞院御池下ル

一文字屋庄左衛門

御池通車屋町東ヘ入

美濃屋忠右衛門

コレハ大丸ノ糸店ナリ、本宅ハ柳馬場二條下ル

東洞院御池下ル

綿屋勇藏

コレハ夷屋ノ糸店ナリ

右四軒ニテ關東絹ヲ仕切ル也

關東絹會所

二條通高倉西ヘ入

コレハ眞ノ會所ニアラズ、四軒ノ糸ガ、リノ手代ドモ寄合ニテ荷ヲ改メ、相場ヲ立テ、仲買ドモト談ズル場所ナリ、酒食ノ費。東邊會合ノ費ヲビダ、シフカ、ル、其費用ノ出下コロハ絹ヨリ出ルナリ、

ユヘニ織元ノ相場ハ年々ニ下ル、世上ヘカヒト、ノフル直段ハ年々ニ上ル、此上ニ抜ケタル間屋デ  
ナキユヘニ、西邊ヘツケトバケヲビタバシフカ、ル、其常用モ絹ヨリ出ルナリ、是損ヲスルモノハ  
織元ト買手ニテ、中ニテ金ノ役ニモ立ズニ、耗リテシマフコトオビタバシキコト也、御屋敷ハ御權  
威モアルコトナレバ、關東絹ノウチ川越絹上リ方。捌ケ方ノ御調べアラバ、ズツト處々ノタメニナ  
ルコト出來スベシ、織元モ買手モイキカヘルヨフナコトアルベシ、足下今ハ呉服屋ノコトナレバ、  
イカニモ此段御サリヤクアリテ仰セ立ランテ、川越ノ織物ノ惣調べ方ノ仕法書ヲ作り御出シナサレ  
タラバ大忠ナルベシ、如シ御屋敷御一軒様ニテハ御手張りナサルコトモアラバ、忍ト組合フコト宜  
シ、忍ハ唯ノ御譜代大名ナリ、御屋敷ハ御家内ノ事ナレバ、忍ハ此方ノ下役ナリ、忍モ十萬石ナレ  
バチイサキコトモナキ大名ナリ、且秩父ノ絹ハ加賀ヨリモ多キトモ少ナキコトハナキコトナレバ、關  
東絹ノウチ秩父・川越ノ兩品調べツケバ、實ニ大キナルコト也、秩父絹ハ二三萬兩ノコトナリ、  
大ソウナルコト也、右ノ調べ追々ツケバ、川越ニテモ又々織元出精スベシ、秩父トハリ合フテ織出  
スヨフニナレバ、乍レ憚川越様ノ御經濟ノ多分御益ニナルベキコトナリ、又如レ此御二軒様ニテ御調  
ベアラバ、決シテ上州縮緬・桐生絹・館林アタリカラモ、此方ノ手下ニツキタガル理ナリ、是ハ甚大  
キナルコトノ國益ト云ヒ、世中ノ爲ニ甚仁恵ナルコトニテ、大阪ニテ云フ天道ニ叶ヒ、神佛ノ思召  
ニ叶フ理ナレバ、大富大名ヲ得ルコトハ此一舉ニアルコトナリ、扱多葉粉ハ薩摩・丹波・上野ヨリ



上品ノ葉出ルナリ、鶴先年上州箕輪・高崎ニ久々逗留シテ、厩橋へ行テ見物セリ、凡ソ厩橋邊ノ多葉粉尤ヨロシ、高崎近邊ニテハ一ノ宮・藤岡・七日市邊多葉粉多キトキロナリ、多葉粉ナドモ近邊ノ多葉粉ヲ皆御屋敷ノ荷ニシテ、御威光ヲ以テ畿内へ廻ス工夫アルベキコト也、丹波多葉粉ハ品ハイカニモ甚ダ結構ナレドモ出ル數甚少シ、荷高スクナキナリ、上州ハ品ハ中以下ナレドモ出ル數多シ、兎角大キナルコトハ、品ノ上下ニカマワズ澤山デナケレバ利潤多カラヌナリ、御國ノ產物御屋敷ニテ賣捌キノコト始マラバ、第一ニハ川越並上野ノ織物、第二ニハ多葉粉ヨロシキ也、川越領ノ多葉粉ハ至テスコシバカリニテモ宜シ、上州ノ多葉粉ヲ引入ルナリ、織物モ川越ノ織物ハ至テ少ナフテモ宜シキナリ、上州ノ織物ヲ引キ入ルナリ、上州ノ織物ニテモ、上州ノ多葉粉ニテモ、川越様ノ御荷物トナレバソレデヨキコト也、近邊ノ產物ヲ御買上ゲナサレテ、上方ニテ御賣捌キアリテ宜シキコトナリ、代口物ハ雜物ニテモ數多キヲ以テ大經濟トスルナリ、代口物ケツコウニテモ、數少ナフテハ金高アガラヌナリ、大阪ノ田蓑橋ノ北詰ニ藝州ノ屋敷アリ、大キナル屋敷ナリ、屋敷ノ東ノハヅレニ大島長兵衛トイフ藝州ノ名前入ノ用達アリ、御買米分限帳ニハ七千石ノ所へ出テ居レドモ、居宅ハ甚大キナルモノナリ、一町四方ホドアリテスラリト藏ナリ、扱今迄ハ藝州ヨリ出ルキリ紙ハ、西横堀大坂屋吉兵衛ニテ賣捌キタルコロ、三四年以前ヨリ此大島ニテ捌クコトニナレリ、凡ソ國產ヲ大阪ニテ賣捌クニ二種アリ、問屋トイフハ上へ拔ケテ株ニナリタルモノ也、又一種ハ問屋トイ

フテ上へ拔ケテキマリタル家ハナケレドモ、前々ヨリ大阪へ積ミ上セテ賣捌クモノアリ、是ヲ納屋物トイフナリ、藝州ノチリ紙モ納屋モノナリ、ユヘニ大島へ引取り捌ク、宇治川ヨリハシケデ茶船ニテ大島ガ濱へ着船ス、凡ソ二三船モアル様子ナリ、外ノ紙ハナシ、皆チリ紙バカリナリ、サレバチリ紙ナド、イフモノハ品ハアシキモノナレドモ、多ク積ミ登スコトユヘニヲビタバシキ金高ナリ、一タイ紙ハ外ノ代口物ヨリ見レバ利ウスノモノナリ、サレドモチリ紙ナンゾウトカゾヘルハ大キナル金高ナリ、鶴先年秩父ノクチモトノ小川トイフ所ヘユキタルコトアリ、素麵ナドヲ製スル所ナリ、ソレヨリ平村トイフ所ニトマリタルコトアリ、此邊ニテハ紙ヲビタバシフスコト也、イカサマ楮ノ木ナド澤山アル地ト見ヘタリ、アノ邊ノチリガミナドハドコヘ卸スコトナリヤ、多クハ江戸ナドヨリ紙屋下リテ買フコトナルベシ、凡ソ江戸近在ハ船ツゴフノアシキ所ユヘ、四國・西國・中國ヨリ大阪へ積ミ上スヨフニ便利ニハユカスト見ヘタリ、ユヘニ江戸ニハ問屋物・納屋物凡ソ仕切物ノ大金ヲ出ス家ナキナリ、船ツゴウアシキノミナラズ、秩父ノフモトナドハマダ〳〵別シテ開ケヌ所ユヘ、ドウスルガヨキコトヤラ知ラヌナリ、金ニナルモノヲ捨テ、シマウコトモアルベシ、高クウレルモノヲヤスフ捨テ賣ニシテシマウコトモアルベシ、作レバツイデキルコトナルニ、作ラヌコトモアルベシ、蒔ケバツイ生ズルモノヲ、マカズニオクコトモアルベキ也、マダ〳〵開ケヌユヘナリ、江戸トイヘドモヤハリ開ケヌ所アレバ、在ハナヲ〳〵アルベキ筈ナリ、鶴先年厩橋ヘユキタルトキ

ニ利根川ヲワタレリ、其後ニ又箕輪ヨリ越後ヘユクトキニ利根ヲ木工ニテ渡レリ、ナラビニ利根ノ川下ナリ、厩橋ニ遊ビタルトキハユルリトシタルユヘニ、河原ニテ石ヲ拾ヘリ、硯材ノ宜シカラヌ品ハ澤山ニアリシヨフニ見エタリ、中ニテ一ツ二ツ割リテ見ルニ、宜シキ硯材デハナケレドモ、ズイブン硯材ニナル石アリ、其前ニ伊加保ヨリ山田ヘユキタルトキニ、荒町ニテ山田川ヲワタリタリ、アレハ硯材モナニモナキ川ナリ、山田川ヘ木工ヨリモ上ニテ、利根川下ヒトツニナル、利根ハ奥州・上州ノサカヒ沼田ノ邊ガ源ト見エタリ、木工ヨリ三四里モ上ヘユキタラバ、決シテヨキ硯材アルベシト思フナリ、厩橋ノ川ニモヤクザ硯ニナル硯材ハアルベシ、足下如シ厩橋ヘ御出ナサラバ、氣ヲツケテゴランナサルベシ、如シ宜シキ品出レバ御屋敷ノ長久ノ御益ナリ

洪

範

談





## 洪範談序

夫鑄鏡者、鍊土而作模矣、鎔金而成器矣、琢之磨之、以照萬物也、一毫半點、莫不寫焉、故天下得而寶之、人之於智亦然、推兩儀五大之理、以作模矣、鎔繁思多慮之動、以成心矣、琢之磨之、以照人事、千轉萬變、莫不明焉、蓋洪範者、成心之模範也、故箕子傳之、武王奉之、雖然、後世讀洪範者、不能詳盡其意所有焉、爲之傳注者、亦猶隔雲霧視日月也、故聞其說者、渺漫茫荒、非徒無益、而又屬之無用物矣、嗚呼悲哉、吾及聞青陵先生之說、而後疑雲忽晴、得觀眞之天日矣、仰之喜之、至忘飲食、余春生武田義卿、嘗以國字、筆所聞於先生、而秘之於篋中、余謂義卿曰、漢晉以下之人、方之於三代、猶邊鄙村落、不如都會民也、所以然者、無他焉、琢磨之功不足也、後之讀書者、唯務論字句篇章之末、而不思活用於實事、自今而後、若有能熟讀此書者、則雖寒鄉乏師友之徒、其智豈不可琢而磨乎哉、昔子夏謂司馬牛曰、四海之內皆兄弟也、兄也弟也、何隱之有乎、宜公之於天下、以與衆人寶之、豈啻明鏡乎哉、義卿曰、善矣、於是以其所筆、再請正於先生、遂授之梓人、刻成而示之於四海之兄弟、其照與

明、則在琢磨之功、先生命路、題之首端者如此

上 保 路 撰

## 洪 範 談

### 題 言 二 則

一 辛未、余遊京師、謁青陵先生、因得見其國字書、富貴談、變理談、善中談、天王談、萬屋談、前識談、養心談者、皆是天地自然之理、人世必用之機、培養智慧、揣摩頴利、大有益於生民焉、余乃遂問下理機所以由出之本、先生云、洪範、理之淵源也、老子、機之活動也、易、即窮其變也、太甲、說命、論語、孟子語其迹也、余因先受洪範、隨得隨筆、輯爲三卷、亦國字記、皆倣七談之例、故名曰洪範談、余家世世業農、而勞賈於京師、故先生之所授、余之所受、盡不出農賈間事焉、然富身猶富家也、富家猶富國也、則用之家、用之國、其何不可乎、理之所以純一不雜也

一 先是三谷公器、筆受先生屬文之法、名曰文法披雲、諄誘懇訓、詳悉備具、無所不至矣、以故大行于世、然至蘊奧幾微之極、則僻邑之民、總角之童、或猶恨於難輒得焉、今余所記、則活

機之動、所謂無狀之狀、無象之象者也、唯恐有<sub>レ</sub>所未<sub>レ</sub>盡、而不能<sub>レ</sub>無<sub>レ</sub>遺憾焉、此篇之所<sub>ニ</sub>以鄙俚褻劣、反復千萬、不<sub>レ</sub>憚<sub>レ</sub>煩也

文化癸酉秋

中越 竹坡 武田 尙勝 義卿 父 識

## 洪範談小引

堯・舜・禹・湯・文・武ハ天意ヲ受ケテ學ビタル人ナレバ、ヤハリ學者ナリ、伊尹・傳說・周公・孔子ハ聖意ヲ受ケテ傳ヘタル人ナレバ、ヤハリ儒者ナリ、以上ノ人々ハ皆治亂ヲ以テ己レガ任トシタル人々ナリ、ユヘニ古ヘノ書ハ皆治國平天下ノ爲ニカキタルモノナリ、今日ニ至リテハ昇平極治ノ御世ニテ、下々ニオル者共ハ皞々驩<sub>ニ</sub>處トシテ、安樂ニ世ヲ送リテ遊ブコトナレバ、治平ノ策ナド彼是トリアツコフベキ時ニアラズ、唯庶民匹夫ノ迷ヲヌヨフニ、天ノ理ノイヤトイワレヌスチヲ書キ述ベテ、カタイナカナドノ都會ナドヘモロクノニ出ヌ輕キ人々ノ迷ヒヲサマヌガ、セメテモ書ヲ讀ムコトヲ業ニシテオ



ルモノ、冥加ナルベシト思ヒテ、今日マデモ文章ヲカク片手間ニ、國字ニテ書キタルモノ數十卷アリ、越中ノ武田義卿來リテ國字ノ書ヲ寫シトリテ、扱猶又思慮ノ安ズル仕方ヲ問ユヘニ、洪範ニヨソヘテ天理ヲ心ヘウツス仕方ヲ講ゼルニ、義卿ソノマヽニ書付テ一部ノ書ヲナセリ、余ガ説キタルトコロハ、士民ノ迷ヒノサメル仕方ナレバ、士大夫以上ノコトハイワズ、治平ノコトナゾハ猶以テイフベキニアラズ、下々ノ人々ノ合點ノユクヨフニイヒタルユヘニ、譬諭モ多クハ鄙劣ナルコトニテ、下々ノ人ノウケトリヨキヨフニシタルナリ、扱又篇中ニ後儒トカキタルコト多クアリ、此ハ支那ノ漢以下今ノ清朝マデノ人ノウソサナリ、吾邦ノ歷代ノ大儒、當今ノ碩師先生ノコトニテハナキナリ、鶴ハ儒者ノ家ニ生レタルモノナレバ、吾邦ノ古ヘノ書ナド見タルコトナシ、ユヘニ歷代ノ衣冠ノ大儒先生ナドノコトハ御姓名サヘ知ラヌナリ、又鶴少キ時ヨリ文章ヲ好ミテ書キテ、世ノ中ヲ避ケテ多クハ門戸ヲ出デズ、書齋ニトデコモリテ筆ヲトリテオリタルコトナレバ、世ノ中ノ碩師先生ニモ心ヤスツ交リタルコトナシ、凡ソ吾邦ノ古今ノ儒先生ノ著述ヲ見ル閑暇ナキユヘニ見タルコトナシ、一切知ラヌナリ、鶴十歳バカリノ時ヨリ、徂徠ノ門人宇佐美瀧水ノ門ニ入りテ書ヲ讀メリ、鶴二十三ノ年ニ瀧水先生沒セリ、瀧水ノ教ヘハ秦・漢以下ノ書ヲ見ルコト法度ナリ、古書バカリ注疏ヲカケテ研究スルコトナリ、ユヘニ、吾邦ノ儒先生ノ書ナド見ヌハヅナリ、鶴二十グラヒヨリシキリニ文章ヲカキタルニツキテ、漢・晉・唐・宋ノ文章ノ書ヲ見タリ、ヨリテ發悟シタルコトモアリ、凡ソ人ハ天地ノ理ヨリ生ズルモノ

ナレバ、コノ天理ヲマモリテタガヘネバ治平ナルハヅナリ、安樂ナルハヅナリ、聖賢ノ心モ唯治平安樂ニナサント世話ヲキタルモノナレバ、六經ハ即チ天理ノ註傳ナリ、扱易ノ十翼・春秋ノ三傳・韓非ノ解老・論老ハ名ハ註傳ナレドモ、仕方ハ後儒ノスルトコロトハ別ナリ、字句ニカ、ワラズ、意ヲ解シタルモノナリ、毛萇・孔安國・馬融・鄭玄マデニ、ダン、サガリテ仕方別ニナレリ、コレヨリ後ハ人々書サヘ少シ讀ム人ハ、皆古書ノ注ヲカクコトニナレリ、左レドモ唯字ノコトニテ、意ノコトニハカマワスナリ、天理ハ棚ヘアゲテカマワスハヅナリ、唯韓愈ハ論語筆解バカリ註傳ノ名ニテ、其外ハ序・記・論・議等ノ文章ノ中ニ古書ノ意ヲ注シタルモノナリ、註傳ノ名ハナケレドモ、ヤハリ註傳ナリ、是レ古法ナリ、後儒ノスル所ハ、註傳ノ名アリテ註傳ノ實ナシ、洪範ノ意ノ後世ニ傳ハラヌハ、人々註傳ノ名無レバ、註傳デハナイト思フユヘナリ、シラズ註傳ノ名アルモノハ、皆註傳ノ實ハナシト云フコトヲ、文章ト註傳トハ別々ナリト思フハ、皆六經ハ天理ノ註傳ナリト云フコトニ心ヅカヌユヘナラズヤ

海 保 阜 鶴 識

## 洪範談卷之上

青陵先生祕授 門人 武田尙勝筆受

洪ハ大ナリト訓ズ、バツトシタルコトナリ、バツトシテトレテ方角モナキコトナリ、水ナドノ出デ、ド  
コガ山ヤラ丘ヤラトラヘ處ノナキヲモ洪水トイフナリ、範ハ則ナリト訓ズ、ノリト云フコトナリ、丸キ  
モノ、ノリハアンマハシ規ナリ、四角ナルモノノノリハマカリガチ矩ナリ、手本ナリ、定本ナリ、洪範ハ凡ソ天地ノ間  
ノ萬物ト萬事ノ規矩ナリ、ケ様ニナラデハイカスモノ、ケ様ニスレバケ様ニナルト云フ、一體ノ物ノ  
情ト事ノ情トヲ、天地ノ理ニテ責メタルモノナリ、物ハカギリモナキ多キモノナリ、事ハカギリモナ  
キ變化アルモノナレドモ、天地ノ間ノ事物ナレバ、天地ノ理デ推シテ推セヌコトハナシ、左レドモバ  
ツトシタルモノナレバ、何カ定本ヲ取テコレカラ推シ出サネバ、手ガ、リナキコトナリ、此手ガ、リ  
ヲ書キノベタルガ洪範ナリ、掇學問ハ天地間ノ萬物ノ情ヲ知ルコト第一ナリ、後世支那學問ハ書ヲ  
讀ムコトナリトオホヘテ、唯文字ノ吟味ノミヲスルコトニナレリ、古ノ書ヲ讀ム人ハ、書ニ天地間ノ  
萬物ノ情ガ載セテ述ベテアルユヘニ、コレヲ知ロウトテ書ヲ讀ムコトナルニ、後世ノ支那文字學ニナ

リテハ、事物ノ情ヲ探ルコトナキユヘニ、何ノ役ニモタ、ヌコトニ骨ヲ折リテ、丁寧ニ讀マネバナラヌモノヲバ却テヌカシテ讀マスコトアリ、此ノ洪範ハ武王ガ箕子ヨリ傳ハリタル大秘傳ノ大ニ結構ナル書ナリ、キツト難有モノナリ、大ニ骨ヲ折テ讀マネバナラス書ナレドモ、後ノザツトシタル儒者ハ、眞ノ學問ノコトニハ氣ガツカズ、心ヲモ用ヒヌユヘニ、洪範ハ何ノ爲メニ書タルモノヤラ知ラスナリ、聖人ノ思召ヲモ探リテ見ヌナリ、班固ハ後漢一代ノ大儒ナリ、左レドモ洪範トイフコトサヘ知ラズ、班固ガ考ヘニハ、夏ノ禹王ガ洪水ヲ治メタルトキニ、洛水ヨリ書ガ出タルコトガアルカラ、洪トハ洪水ノコトデアロフ、扱洛書ニノリトリテ書タルモノユヘニ、範トイフデアロフナド、イフ説ナリ、ケ様ニ洪範ラザツト見タルモノナリ、マタ洛書ニ法リテ禹王ノカ、レタルニセヨ、何ノ爲メニカ、レタルゾトイフコト知レズ、此レヲ武王ガ授リタレバ何ノ役ニタツコトゾ、箕子モコレヲ重々ト武王ニ傳ヘタルハ如何ノ所存ジャ、此ノ文ホド難有妙ナル傳授ハナキニ、ソレヲ一向ニタワヒモナキ解ヲスルハ、聖人ノ秘傳ヲホロボシテシマフモノナリ、孔安國ノ傳デ讀ミテ見テモ、蔡沈ノ注デ讀デ見テモ、孔穎達ノ疏ヲカケテ讀デ見テモ、一向ニ面白クモ何トモナキモノナリ、ケ様ニ面白クナキモノヲ、ナゼニ箕子ガ大事ソウニ武王ニツタヘタルゾ、ナゼニ武王ガ難有ガリタルゾ、一向ニ合點ノユカヌコトニテハナシヤ、余ハ此ノ洪範ヲモ小兒ノトキヨリ何遍モノノ人ニ講ジテキカセタルニ、余モ何ノ氣モツカズ、孔傳ノ通り、蔡注ノ通りニ、タワヒモナキコトヲイフテシマイシナリ、聽ク人モ



又何ノ心モナク聽テシマフ、誰一人不審ガル人モナシ、余モ不思議ナコトジヤトモ思ハザリシナリ、此二十年ホド以前、四十近フナリテ解セタリ、一タイ老子ヲ講ズルニ、四大トイフコトヲ講ズ、天・地・人・道ノ四ツナリ、是ヲダンクワリツケテイフテミルニ、兎角數ハ三ツナリ、天・地・人ノ三ツガ動カヌカズナリ、動カヌ數トハ、天地自然トイヤトイワレス數ノコトナリ、上ト下ト中トハ動カヌ數ナリ、早ト遲ト中トハ動カヌカズナリ、内ト外ト中ト、濃ト淡ト中ト、前ト後ト中ト皆三ツナリ、コレヲ動カヌ數トイフナリ、老子ノ四大トイフハ、此三ツノ數ノ外ニ、又一ツ活キタルモノヲ入レテ四ニシタルナリ、タトヘバ天ト地ト人ト、今一ツ氣トイフモノヲ入レテ、天氣・地氣・人氣トシテ、コノ氣ハドコヘモ動クモノナリ、天・地・人ハスワリタル物ナリ、氣ハスワラス活キモノ、ドコヘモツクモノ、キマリタル居所ノナキモノトキハメタルナリ、天地間ノ物ヲ皆ノコラズ四トミテ推ス時ハ、推セヌコトハナキナリト云フコトヲイフニツケテ、此五行トイフコト始メテ解セタリ、老子ノ四大ヲ何百遍モ講ジテ、漸ク四大ハ即五行ナリトイフコトヲ知レリ、スデニ左傳昭公十年ニ、五行ノコトヲ五大トカケリ、掇天地間ノ事物ヲ皆ノコラズ四トワシルトハ、タトヘバ仁トイフ德、德ノ中ノ第一ナルモノナリ、此仁ハカワユガルコトジヤト思フヲ一ツト見ルト云フナリ、仁ハカワユガル、是タカワユガル一ツナリ、コレヲ一ツト見ルトハ、カワユガルノハヤハリニクガルノジヤト思フコトナリ、老子ニ天カラ雨露ヲ降シテ草ヲカワユガラシヤル、ソコデ草ガウレシガリテハヘル、是仁ハカワユガ

ルト見タル人ノ意ナリ、扱シカルニ鹿トイフモノヲ出シテ、コノ草ヲムシヤ／＼ト喰ハセルトイフハ、草ヲニクムノジヤト云フハ、是ニクムト見タル人ノ意ナリ、扱人トイフモノヲ出シテコノ鹿ヲウチコロシテ喰セル、人ニハヨキ食ヲアタヘレドモ、鹿ニハムゴイコトジヤ、鹿ニハヨキ草ヲアタヘテ喰セレドモ、草ニハムゴイコトジヤ、ムゴイトイフガカワユガルノジヤ、カワユガルトイフガムゴガルノジヤト云ヘリ、ユヘニムゴガル、カワユガルト、此二ツノ中ニイテ調合シテ行クノガ仁ジヤト云フ人ハ、中ヲ合セテ三ツト見ル人ナリ、三ツト見ル人ハ智者ナリ、一ツト見ル人ハ大愚ナリ、二ツト見ル人ハヨホドヨシ、コレヲ老子ハ四ツト見ルト云フハ、右ノ如ク上一ツ・中一ツ・下一ツト位ヲ三ナラベテ見テ、此三位ヘ自由自在ニ飛アリクコトナラネバ、眞ノ大智ト云フモノニアラズト云フコトナリ、心ニハスコシニテモカワユガルノ、ニクガルノ、兩方マゼ合セノトイフ心ナシニ今ノ用事ヲタストコロヘ、飛アリク心一ツアリテ、ドコヘデ行クナリ、タトヘバ東町ニ婚禮ガアル、ヨロコビニ行ク、極々日出度顔色ニテユク歸リガケニ西町ヘ悔ミニユク、又極々衰ヒ顔色ナリ、其門ヲ出ル、加増ヲ取タル人ニ遇フ、眞ニヨロコブ、宿ヘカヘル、家政ヲ取行フ、此時ニハ心ニ少シモ喜ノ字モ、怒ノ字モ、哀ノ字モナンニモナキ人ハ、心處々ヘ飛アリク人ナリ、自由自在ニ心ヲスル人ナリ、ユヘニ上ト中ト下ト、飛行ノ心ト合セテ四ナリト云フコトナリ、孟子モ四トイヘリ、子莫ハ中ヲ取レリ、是子莫ハ三ツト見テ此中ヲ執タルナリ、左レドモ中ヲ執リテ權ナキハ、一ツヲ取ルガ如シト云ヘリ、權トハ秤ノオ

モリノコトナリ、秤ノオモリハ居ドコロニヨリテ、重フモカ、レバ、輕フモカ、ル、時ニヨリテ自由ニナルモノユヘ、時ニヨリテ感光ノアルモノヲ權トイフ、タトヘバ葉公ガ孔子ニ問フニ、此方ノ村方正直モノガゴザル、其父ガ羊ヲ攘タレバ、スグニ役所ヘウツタヘマシタトイフタレバ、孔子ノ云ヘルハ、父ノ攘タル時ニハ子ハカラスガヨイ、僞ヲイフガ正直ナリト云ヘリ、是孔子モ四ツナリ、正直モノトモ、僞モノトモ、中ノマジリモノトモツカズニ、其時ニトリテ權ノアルトコロニ居ネバ、眞ノ正直モノデハナイト仰ラレタリ、ナルホド子莫中ヲ執テモ權ガナケレバ、マダ一ツヲ取ルモ同ゼンナリ、是三ツノ外ニ飛行ノ者一ツアリテ、時ニトツテノ權ニオラネバナラヌコトナリ、左レバ老子モ孔子モ孟子モ四ツト見タリ、其後ニ佛書ヲ見ルニ、釋子ハ四大種トワケタリ、大種トイフモ、洪範トイフモ同ジコトナリ、ヤハリ物ノ理ヲ推ス手ガ、リノ大法ナリ、其後ニ桂川氏ニキケルハ、歐駱洲ノ大法ノリ、四元行トイフヨシ、元行トイフモ、洪範トイフモ同ジコトナリ、老子ハ天・地・人・道トイフ、釋氏ハ地・水・火・風トイフ、地ハ中ナリ、火ハ上ナリ、水ハ下ナリ、風ハ彼飛行ノ者ナリ、歐駱ハ水・火・土・氣ト云フ、水ハ下ナリ、火ハ上ナリ、土ハ中ナリ、氣ハ彼飛行ノ者ナリ、コ、ニテ五行トイフコトヲ解シタリ、五行トイフユヘニシレニタキナリ、五行モヤハリ水・火・土・氣ナリ、氣ヲ二ツニワリテ、陰・陽トワケタルユヘ五ツトナレリ、定位ハ三ツ、飛行ハ二ツトワケタルハ又委シキモノナリ、コレヲ水・火・土・陰・陽トイワイデ、水・火・土・金・木トイヒタルハ、凡ソ智ハ機密ノコ

トユヘニ、バツトシレヌヨフニシタルモノト見ユ、四大ナリトスレバ、智湧出ルナリ、五行トイフ時  
ハ、何十年見テモ智ノ湧クコトアルマジキナリ、今洪範ノ談ヲコマカニイフテ、洪範ノ四大ナルコト  
ト、四大ノ智ノ湧クコトトヨカタルナリ、五行ハ四大ニテ、四大ハ智ノ湧クユエニナラバ、箕子モ秘  
スルハヅナリ、武王モ難有ガルハヅナリ

惟十有三祀、王訪于箕子

惟ハ發語ノコトバナリ、有ハ又ト同ジ、其上ニトイフコトナリ、祀ハ年ナリ、周ノ世ヨリ以下ハ年ト  
イフ、殷ノ世ニテハ祀トイフ、ヤハリトシトイフコトナリ、此十三年トイフコト、ムカシヨリヤカマ  
シフイフコトナリ、コノ年ハ周ノ武王ノ殷ノ紂王ヲウチテ、天下ヲ取りタル年ナリ、掇ムカシカラ文  
王崩ジ玉ヒテ、其喪ノウチニ紂ヲウチタリト云フ、即チ文王ノ位牌ヲ車ニ載セテ、文王ノ存生ノ通りニ  
シテ軍ヲ起シタリトイフ説、古ヘヨリイフコトユヘニ、此ノ十三年トイフコトムツカシフイフナリ、舊  
説ノ通りナレバ、去年文王崩ゼラルレバ、武王家督ヲツギタル年ナリ、十三年トイフコトナキコトナリ、  
又或説ニ、文王ガマダ周ノ國ノ大名デアリシ時ニ、殷ノ紂王惡逆ニテ、諸大名ハ殷ニ歸服セズ、何ゾ  
争ヒゴトデモアレバ、周ノ文王ノ處ヘユキテ争ヲ判斷シテモロフ、コレガモハヤ天下ノ周ノ手ニ入ル  
瑞ソウニテ、コノトキ虞ノ國ト芮ノ國ト堺ノ田地ヲ争フテ、二國ヨリ周ヘ訟ヘニ出タルニ、周ノ國ノ  
堺ヘ入りテ見レバ、周ノ民ハギヨウギノヨキコトニテ、男女左右ヘワカレテアルキ、耕ヘスモノハコ



レハ御手前ノ土地デゴザルトイフ、ムカフカラハイヤノコレハ御手前ノ田地デゴザルト相互一デギヲシアフ、其様子ヲ虞。芮ノ人見テ、今此方ノ爭ハコレハ此方ノジヤ、イヤコレハ此方ノジヤトイフハシタナイ爭ヒジヤ、扱モ周ノ國ノ人柄ハケツコウナ人柄ジヤ、ハヅカシイコトデハナイカトイフテ、訟ヲヤメテカヘリタルコトアリ、此年ヲ文王受命元年トシテ、ソレカラ十三年目ニ武王ガ紂ニカチタルユヘニ、十三年ナリト云フ説モアレドモ、皆タワヒモナキ説ナリ、ヤハリ武王家督ヲツギテ十三年目ナルベシト歐陽永叔ノイヒタルガ尤ナリ、扱訪トハ此方ヨリサキ方ノ家ヘユキテ問フコトナリ、ユヘニ人ヲ見舞コトヲモ訪トイフナリ、箕子ハ殷ノ賢人ナリ、紂ヲ諫メタルユヘ、紂箕子ヲ囚ヘテメシウドニシテアリシヲ、武王ノ紂ヲ討シ日ニ、早速ニ箕子ヲユルシテ朝鮮ヘ封ジタリ、是ハ箕子ハ殷ノ大名ナレバ、武王ニツカヘテハ敵方ヘ降参スルニナルユヘ、箕子モ武王ノ臣ニナラズ、武王モ箕子ヲ臣ニセズ、ユヘニ中國ノ外ノ朝鮮ニ封ジテ臣ニセヌナリ、問ヒタキコトアルユヘニ、ワザワザ武王ガ箕子ノ宅ヘユキテ問タルナリ

王乃言曰、嗚呼箕子、惟天陰隲下民、相協厥居、我不<sub>レ</sub>知其彝倫攸<sub>レ</sub>叙

乃ハソコデト譯ス、コ、デハ端ヲアラタムル辭ナリ、ヲモノト問フコトユヘニ、別段ニウケ玉ワリタイコトガアルト云ノテ、イヒ出セシナリ、嗚呼一歎ズル聲ナリ、陰ハヒソカニナリ、カゲデト云フコトナリ、内々ト云フキミナリ、隲ハキワメルコトナリ、サダメテウゴカスコトナリ、下民ハ天下ノ

大勢ノ人々ナリ、相ハタスクルナリ、テツドフコトナリ、協ハカナフナリ、ニアフコトナリ、似合トハ、其人ダケニサヅケルナリ、チヨウドソノアタリマヘダケト云フコトナリ、厥ハ其ナリ、居ハオリドロナリ、善ニオレバ天ヨリ福ヲ降ス、惡ニオレバ禍ヲ降ス、其オリドロコニヨリテ、其人ダケノアタリマヘノコトヲ、天カラテツダヒテ似合フヨフニシテ下サルト云フコトナリ、舜ハツネト訓ズ、アルベキカ、リナリ、武士ハ弓馬ニ達スベキハツノコトナレバ、弓馬ニ達スルハ武士ノツネナリト云フ類ナリ、偷ハトモガラト訓ズ、ムレトイフコトナリ、官人ハ官人ノムレアリ、百姓ハ百姓ノムレアリ、其トモガラノムレノアタリマヘヲ驛偷ト云フナリ、叙ハ次第ナリ、ナラベタテルナリ、聖人ノ次ハ賢人、賢人ノ次ハ君子ト云フハツイデナリ、順ナリ、位ノ高下ナリ、攸ハトコロナリ、扱武王ノ箕子ニ聞ハル、ニハ、凡ソ人ハ君トナリ臣トナリテ、ウツカリト氣モツカズニ、貴人トナリ賤人トナリテ、其貴人賤人トナルワケ合ヒヲシラスモノジヤガ、ヨク、カンガヘテ見ルニ、天カラ其人々ノフルマヒニヨリテ、其人ノスルトコロヲ手傳ヒ助ケテ、天カラサダメテオカル、ヨフニ思ヒマス、今紂王ハ人ノ君ニナラレヌマルマイヲナサレタユヘニ、亡ビタルコトニテアルベシ、紂王ノ行ヒ善ナラバ、天ハ善ヲタスケテ日出度榮ヘフレヨフ、不善デアツタモノユヘニ、天ハ不善ヲタスケデ亡ブルヨフニナサレタコトデアロフ、然レバ天カラ下ノ人ヲ所作ニヨリテメテオカル、コト、ミヘル、ヒツキヨウ人々ノオチツキ所ニヨルコトトミユル、然レバウツカリト君ノ位ニオレコトモ、臣位ニオレコトモ、

農工商ニオルコトモ、皆人ノ心得ニテ天ヨリタスケテ下サルナレバ、天子ヨリ商賈ニ至ルマデ、皆順  
ノトホリニ心得ノルベキコトナリ、コノ下民ノ人々ノ心得ハイカゞスルコトゾ、何ヲ手本ニ何ヲ本  
源ニシテ推テ知ルコトデゴザル、此本源ヲ知リ、此手本ヲ知リテ天下ノ人ノセワヲヤカズバ、又天ノ  
意ヲ受ケソコナフテ、紂王ノヨフニ亡ビルコトデゴザロフ、何トゾ一タイ天ノ意ヲウケルコトヲ知リ  
テ、扱天下ノ大勢ノ人ニモコノコトヲ守ラセテ、天下ノ人ノコラズ無事ニ天命ヲオソルヨフニシタイ  
モノデゴザル、ソノ次第コ、ロヘノ順ハイカゞナリヤト問フタルナリ

箕子乃言曰、我聞、在昔鯀陞<sub>ニ</sub>洪水、汨<sub>レ</sub>陳<sub>ニ</sub>其五行、帝乃震怒、不<sub>レ</sub>畀<sub>ニ</sub>洪範九疇、彝倫攸<sub>レ</sub>斁  
在昔ハムカシナリ、鯀ハ禹ノ父ナリ、陞ハフザクナリ、水ノ流ル、ヲ土手ヲツキテサ、ヘトゞメタル  
ナリ、汨ハミダスナリ、コンザツサスルナリ、ゴタマゼニスルコトナリ、陳ハツラスト調ズ、ナラベ  
ルナリ、順ヲタテ、ナラブルナリ、帝ハ天帝ナリ、天帝トハ天ノ理ノコトナリ、天ハ空處ナリ、天帝  
トイフモノアロフハヅハナシ、唯天ノスヂアリテ、水ハヒクイトコロヘヨリ外ハナガレヌトイフ類ノ  
スヂメ、チヤント立テ變ゼヌモノアリ、コレヲ天意トイフ、シカレバ天ニ意ハアルナリ、スデニ意ア  
リテソノ意甚カタク、甚タクマシク、甚ヤワラカニ、甚リチギナルモノユヘニ、此意ヲサシテノイヒ  
ヨフナキユヘニ、天帝トイフナリ、震ハウゴキフルフナリ、怒ハイカルナリ、天帝トイフ人アリテ、  
人ノ如クニイカルニアラズ、天ノ理ニチガフテハ、トントイカヌコトハ愚人ニテモ知リテオルコトナ

リ、知レテオリナガラ、ソレヲ無理無體ニ天理ヲオシマゲテ自己流ニヤロフトスレバ、必ズシクジリ  
猶々多クナリテ、イヨ／＼イカヌコトニナルハ、天ノ意ヲムリニマゲントスルユヘニ天意合點セヌナ  
リ、合點セヌトイフハ、怒ノ字ノコトナリ、ユヘニ怒ヲフルフテトイヒタルナリ、男ハアタフルナリ、  
人ニ物ヲ賜ルコトナリ、九疇トハ、疇トハタグヒト訓ズ、モト田ノシキリナリ、アゼクロナリ、コノ  
シキリマデハ權兵衛ガ田、コノシキリマデハ八兵衛ガ田ト、田ヲワケルタメノアゼナリ、シキリナリ、  
權兵衛ガ田八兵衛ガ田トオナジ田地ニテ、ワカリテオルユヘニ、トモガラト訓ズルナリ、九疇トハ天  
ノ理ヲワケテ筋メヲ立テ、シキリヲ入レテ見レバ九シキリアルユヘニ、九疇トイフナリ、九ハ數ノ  
キワマリナリ、ナゼ數ノキワマリナリト疑フコトヨロシ、後世ノ人ノ言フニハ、十モ百モ一モ同ジコ  
トジャ、九ハ十ノマヘ、百ノマヘユヘニ、物ノ極々ノ頂上ジャ、十ヘクレバ又一ヘカヘルノジャ、百  
ヘクレバ又一ヘカヘルノジャトイフナリ、ナゼ九デ一ヘカヘルト疑フコト宜シ、世人ハ九ハ數ノ極ト  
イフテシマフユヘニ、智慧ノタシニナラヌナリ、九トイフ數ノイヅルコトヲイフテ見レバ、自然ノ數  
ノイフコト知レルナリ、或ハ己レガ身一ツアリテイヘバ、己レガ上ハ上ナリ、己レガ下ハ下ナリ、己  
レハ中ナリ、是ヲ自然ノ數トイフ、己レガ左リハ左リナリ、己レガ右ハ右ナリ、己レハ中ナリ、如レ此  
萬物皆三ツニワカルハ萬物ノ情ナリ、此三ツ又三ツニワケレバ、自然ニワカルナリ、上ノ上・上ノ中・  
上ノ下・扱中ノ上・中ノ中・中ノ下・扱下ノ上・下ノ中・下ノ下、如レ此ニ三ツヅ、ニワクレバ、ドコマデモ



自然ノ數ナリ、ユヘニ三々ノ九、九々八十一トイフハ、皆一ツヨリ生ズル自然ノ數ナレバ、何物ニヨラズ、何事ニヨラズ、皆ケ様ニワリツクレバ、天地自然ノ理ニチガワヌユヘニ、智者ハ始メニ先萬物萬事ヲ皆三ツニワケテ、其三ツヲ又三ツニワケルコトナリ、ユヘニ九トナルナリ、コレヲ智ニ用ユル法ハ、下ノ一ニ曰クヨリ九ニ曰クマデニテ云フナリ、數ハ敗ナリ、ヤブル、ト訓ズ、ソコナフコトナリ、成ノ字ノウラハラナリ、成ハジヤウジユスルコトナリ、デキアガルナリ、敗ハデキソコナフナリ、扱箕子モ又ハシヲアラタメテ、然ラバ其事ヲカタリテ御聞ニ入レマセフ、扱ワタクシガ承ハリ傳ヘタルニハ、昔禹ノ父鯀トイフ人、堯ノ命ヲウケテ洪水ヲ治メシニ、水ノ流レヨキヨフニトミチビクベキヲ、水ヲフサギテトメタルユヘ、水ガサカサマニナガレテ、水上ヘ／＼トムセブ、天下イヨイヨ洪水ニクルシメリ、是ハ天ノ理ニクラキユヘニ、如此ノフテギワラシタリ、水ノ情ヲシラスユヘニ、水ノ情ニサカラヒタルナリ、天地ノ間ノ物ハ皆土・水・火ヨリ生ズ、土・水・火ハ天地間ノ萬物ノ本源ナリ、土ハ總本家ナリ、上ノ方ヘアガルモノハ火ナリ、下ノ方ヘサガルモノハ水ナリ、是己レトヒト下トノ自然ノ定數ナリ、ユヘニ水・火・土ノ三者ノ情ハ知レヨキ情ナリ、水ハ下ヘ／＼ト流ル、モノナルニ、今鯀ハ水ヲフセギ留ントスルコト、水ノ情ニ通ゼスコトナリ、ソレヲ無理ニ留ントスルハ、天ノ理ニサカロフトイフモノナリ、是天意ヲカマワズニ、己レガ自己流ニテ天ヲマゲントスルナリ、ユヘニ天理ノ怒リニアフ理ナリ、五行ノ四大ノ順ヲクルワシ、水ヲサカサマニ流シテ、四大

ノ順ニチガヒタルユヘニ、天理怒ヲ發シテ洪範ノ九ヶ條ノシカタヲアタヘスナリ、アタヘストハ鯨ノ  
智ニ智ヲ授ケ玉ハヌナリ、天ヨリ人ノ賜モノヲ受ルモノハ心智ナリ、心ニ水ノ情ノ合點ノユカヌハ、  
天ノ鯨ヘ智ヲ賜ハラヌユヘナリ、ユヘニ始ニモ相<sup>オス</sup>ケ協<sup>カキ</sup>フトイヘリ、下民ノ智ヲ天ヨリタスケ手傳フテ、  
大智ニシテ下サルナリ、智バカリニアラズ、凡ソ人ノ禍福モケ様ナリ、出精スル人ハ仕合セガヨイ、  
不精ナ人ハ仕合ガワルト云フハ、人ハ出精スルヲ天カラ手傳フテ、福ヲクダスガ天ノ理ナリ、不精  
ナル人ニハ天カラ手傳フテ禍ヲクダスコト亦天ノ理ナリ、植ヘ付ケヨフノヨキ苗ハ實ガ多フナル、植  
付ケヨフノアシキハ、實ノナラスモ天ノ理ナリ、植付ハ人ナリ、實ノナルハ天ナリ、天ハ人ノシワザ  
ヲ手傳フテナサルト云フ氣味ナリ、シカレバ鯨ガ先ヅヨク植付レバ、天ヨリ實ヲナラセテ下サルナリ、  
水ノ情ヲ知リテ導ケバ、天カラ水ヲヒカセテ下サルナリ、鯨ガ水ノ情ニサカウヘバ、天ハワザ／＼水  
ノアフル、ヨフニナサルト云フガ天ノ理ナリ、中庸ニハ栽ルモノハ培ヒ、傾ク者ハ覆ヘスト云ヘリ、  
天ノ理ヲカタリタルナリ、人ガヨクツトムレバ榮ヘルヨフニシテ下サル、傾ムケテカマワネバ、一向  
ニクツガヘシテ枯レサセルナリ、是傾ケテカマワネバ、天ガ怒リテ枯ラヌナリ、ユヘニ鯨ニハ洪範九  
疇ノ智慧ノ根本ノ手ガ、リヲ考ガヘタル心ヲ、取リ上ゲテ賜ワラスト云フモノナリ、天ノ常徳常體  
ノ次序ミダレタルユヘニ、本根ノ手ガ、リデギソコナフテ、後世ニ知レヌヨフニナル理ナリ、又誰ゾ  
聖人出デヨク植付ル人無タテハ、此四大ノ彝倫ノ取り立トリナオラヌ理ナリ、天ノ彝倫ノ四大ヲヤ

ブリタル人ハ鯨ナリト云フコトナリ、コレ皆心ノ智ヲ以テ天ノ意ヲ受ルコトヲ云ヘリ、天ノ意ヲ受ルハ素讀ノ師匠ニ素讀ヲオソワルヨフニ受ルコトニアラス、ユヘニ受ル人デナケレバ受ケラレヌナリ、受得ヌ人ハ何萬人ヨリ合フテ居アモ、受ルコトナラヌナリ、ユヘニ中庸ニモ文武ノ政ハ書ニノセテアレドモ、受ル人ガ無レバ受ケラレス、文武ノ政ガヤミテシマフト云ヘリ、天ノ意ニテモ、聖人ノ意ニテモ、受ケルガ六ヶ敷ナリ、況ンヤ受ケテ條立ヲシテコマヤカニ分ケテ見ルハ、大聖人デナケレバデキスコトナリ、鯨ハシクジリタレドモ、幸ニ其子ノ禹ガ聖人ニヨフ受ケタレバコソ、洪範傳ハレリ鯨則殛死、禽乃嗣興、天乃錫禹洪範九疇、舜倫攸叙

殛ハ誅ナリト注ス、セムルナリ、又コロスト調ズ、仕置ニアフテコロサレタルナリ、嗣ハ父ノ家督ヲツグナリ、錫ハタマフト調ズ、上ヨリ下サル、コトナリ、扱右ノ如ク鯨水ノ情ニサカラヒテ、ヤタラニ土ヲウメテフサギタルユヘニ、水イヨ／＼盛シニナリタルハ天意ノ怒リナリ、ユヘニ鯨ハ九年カ、リニ水ヲミチビキタレドモ、一向ニ水治マラズ、其内ニ堯ハ舜ヘ天下ノ政ヲマカセテ治サセタルニ、舜ノ思ハルハ、鯨ハ水ノ情ヲ知ラヌユヘニ、九年カ、リテモヤハリ治マラヌ、不屈ナリトテ鯨ヲ羽山トイフ所ヘ流シモノニシテ、羽山ニテ死タリ、其子ノ禹ハ聖德ノアル人ユヘニ、舜ハ禹ニイヒツケテ、其父ノ治メテ治ラヌ水ヲ治サセタリ、扱禹ハトクト考ヘテ、水ノ情ヲサグリテ治メタルニ、凡ソ禹貢ノ趣キヲ以テ見レバ、禹ハナルホドヨキ工夫ナリ、其工夫ノ智ノ出ルハ、是天ガ禹ノ己レヲセメ

テ出精丹誠シテ考ヘウレタルヲ、手傳フテタスケカナヘテ水ヲ治ムル智ヲサヅケラレタルハ、即チ洪範九疇ヲ授ケラレタルナリ、舊説ニハ、河圖洛書ト云フコトナリ、論語ニハ唯河圖ヲ出サズトバカリアルナリ、扱此河圖洛書ノコト一向ニオカシキコトナリ、今ニ河圖ノコトアリ、河ヨリ出タル書、今ノ傳ハリタルヨフナルモノニテモアルベシ、唯河水ノホトリノ民家ニデモアリテ、民家ヨリ獻上シタルコトナルベシ、洛書モソノ通りナリ、ソレヲ世上ノ説ニテハ、龍馬ガ背ニ書ヲ負フテ出タノ、龜ガ甲ニ圖ヲ負フテ出タノトイフハ、タワヒモナキコトナリ、水ノ中ニテ圖書ヲカキテ、龍馬ヤ龜ニ負ハセテ出シタトイフハ、オカシキハナシナリ、唯河洛ヨリ出タトイフニ尾ニ尾ヲツケタルハナシナリ、河洛ノ邊ノ民家ニモチツタヘタ古書ナルベシ、扱コレヲ禹王ガ見テ、四大ノ工夫ノガテンガユケバ、ナルホド天カラ下サレタルヨフナモノナリ、イヅレニモ禹王ノ智ハスサマジキ智ナリ、四大ヲ立テ、天・地・人ノ理ヲ推シテ推シキハメテ、天下ノコトニ合點ノユカヌコトハナク、天・地・人ノ治メヨフノ手ガ、リヨ見ツケ出ストイフコトハ、聖人デナケレバ出來ヌコトナリ、禹ノ水ノ情ヲ知リテ治メラレタル工夫ハ、水ノズツト水下ノトント海ヘノ落チ口ヨリ、治メテユカレタルナリ、海ヘオチルオチクヲヤタラニヒロゲタルナリ、海ヘノオチクチ甚ヒロフナリテカラ、段々水上ヲソロ／＼トヒロゲテノボリタルナリ、水ノ海ヘオチルトコロユルヤカニナリタルユヘニ、水上ノ水ハ下ヘ／＼トクルコト水ノ情ナリ、水上ノ水ガ水下ヘ／＼トクレバ、水ハダン／＼カサビク、ナル理ナリ、カサヒク、



ナルニ從フテ、段々水上へく、ト水ノ幅ヲヒロゲタルモノユヘ、天下ノ水ヲラノトヒキテ海へオチテシマヘリ、是莫大ノ智慧ナリ、水ノ情モ、火ノ情モ、土ノ情モ、人ノ情モ、同ジ天下ノ萬物ナレバ理ハ一理ナリ、一ツヨクワカレバアトハ分ル理ナリ、コノ分ル手ガ、リガ三ツニ分ケテ、又三ツニ分ケテ九トケ條ヲ立タルモノナリ、是ガ即チ洪範九疇ナリ、スレバコノ洪範ヲ讀メバ、事物ノスデヲ推ス手ガ、リシレル理ナリ、コレニヨリテ君ハ君タル理ヲ知り、臣ハ臣タル理ヲ知り、父ハ父タル理、子ハ子タル理ヲ知ルユヘ、天ニカラコフコトナシ、天ノ理ノ通りニ行クユヘニ、天下泰平ナル理ナリ、豐年モツバキ、萬物モ繁昌ニ、天下ノ萬物人ヲ始メトシテ皆其所ヲ得テ、ラクくト一生ヲスゴス理ナリ、左レバ大工ハ大工ノ理ヲ得レバ、サクワンハサクワンノ理ヲ得テ、天ノ理ヲ得テ天ノ理ニサカラワネバ、是其細工ニ無理ガナキユヘニ、出來上リモヨフト、ノフテ、デキゾコナヒモ無イ理ナリ、タトヘバ木ヲウエルニモ、鳥ヲカフニモ、木ノ性鳥ノ性アリテ、コノ性ニソムケバ木ハ枯レル理ナリ、鳥ハ落ル理ナリ、スレバ木ノ性モ天理ナリ、鳥ノ性モ天理ナリ、天理ヲ知レバ木ノ性鳥ノ性モ知レルナリ、ユヘニ天理ニ詳ナル人ハ、木ヲウヘテモヨフツク理ナリ、鳥ヲカフテモヨフソダツ理ナリ、コノコトハ孟子ニ有ルナリ、孟子ニ人ハ人ノ性ヲ能推シキワメテ知ルガヨイ、人ノ性ヲ知ロフト思フナラバ、己レガ性ヲ己レガ推スガ甚近イデハナイカ、己レガ心ヲ己レガ推スハ手前モノナリ、手前モノカラハジムルガヨイ、己レガ己レノ性ヲ推スハ、カクベツムツカシイコトデモナイ、己レ性ヲ知レバ、他人ノ

性ガ知レル理ナリ、他人ノ性ガ知レバ、獸ヤ鳥ヤ蟲ノ性モ知レル、ソレカフ木ヤ草ノ性ガ知レル、ソレカラ石ヤ山ヤ水ヤ雲ノ性ガ知レルト云ヘリ、コノヨフニ萬物ノ性ガ知レバ、萬物ヲ治ムルコトハ、是掌ノ上ニオキテ自由自在ニスルヨフニナル理ナリ、皆コノ四大カラ知リ始ルコトナリ、己レガ性ヲ知ロフト思フニモ、手ガカリナケレバ知レヌナリ、何カ手ガ、リヲ取りテ、ソレカラ推シナロフコトナリ、カケオチモノヤ盜賊ヲセンギスルヨフナルモノナリ、己レノ性ヲトラヘヨフト思ヘドモ、バツトシテトラヘドコロガナキモノナリ、ドレカラサガシカケテヨカロフヤラ知レヌモノナリ、是己レガ性ヲ己レガトリニガシテオルナリ、己レヲトラヘヨフトスレドモ手ガ、リガナキナリ、盜賊ヤカケオチモノナドヲサガスニチガイタルコトナシ、何カスコシニテモ手ガカリヲサガシ出スコト第一ノ最初ナリ、スコシニテモ手ガ、リ知レ、バ、ソレヲタグリテソレカラ筋ニトリツタナリ、筋ニトリツキアタレバ、ドフカコフカサグリテ、トフトトラヘルナリ、己レガ性モ今己レガ取失フテオルユヘニ、先ヅ己レガ性ヲサガス手ガ、リヲサガシ出スコト第一ナリ、ソノ手ガ、リヲ四大・四元行・四大種・五行トイフナリ、下ノ五行ノ解ニテ萬物ノ理ヲトラヘル手ガ、リヲ見ルベシ、五行ガ九トユク理ハナキコトナリ、三行ガ九トユカネバナラヌナリ、實位ガ三ツナリ、天・地・人ノヨフナルモノナリ、上・中・下ノヨフナルモノナリ、空位ガ一ツアリ、氣ナリ、風ナリ、飛行ノモノナリ、ソレヲ陰・陽ノ二ツニワクルユヘ五行トイフナリ

初一日、五行

五行ガ總シメク、リノ根本ナリ、天地間ノ物ハ皆コノ五行ヨリ出ルユヘニ、天理ヲ見ントナラバ、五行ニツキテコレヲ目當ニシテ推スコト近カ路ナリ、ユヘニ先第一ニ五行ヲ置クナリ、五行ハ五事ヤ八政ナドノナラプベキモノニアラズ、格式ノズツト高キモノナリ、理一ツノウチニ五行アリ、五行ノウチニ五事ヤ八政ヤ、五紀ヤ何ヤカヤアルナリ、タトヘバ越中ノ國ヲ世界一ツト見レバ、五行ハ郡ナリ、五事ヤ八政ハ山ヤ川ノヨフナルモノナリ、郡ト山川トハ格式チガフタルモノナリ、山ト川トハ同格ナリ、五事ハ八政トハ格チガフ、五事ト八政トハ同格ナリ、五事ハ八政ナドハ五行ノ中ノイレコナリ、ユヘニ五行ニハ唯五行トバカリイフテ、大綱領ヲ舉ゲタルナリ、五事ニハ敬トイヒ、用トイフ、コレニテ格式ノチガフトコロヲ見セタルモノナリ、コレヲ同格ニ説クユヘニ、何カトント知レヌナリ、掇前ニイヒタル通り、五行ハ實ハ四行ナリ、四行モ飛行ノモノヲ入レテカゾヘル數ナリ、定數ヲイヘバ三ナリ、水・火・土ナリ、氣ヲ加ヘテ四行トスルナリ、其又氣ヲ分ケテ陽氣・陰氣トシタルナリ、水・火・土・氣トイワヒデ、水・火・土・陰・陽トイヒ、水・火・土・陰・陽トカゾヘズニ、水・火・土・金・木トイヒタルハ、人ニツイチヨツト知レヌヨフニシタルモノナルベシ、凡ソ智ハ上ヘバカリ取リアゲテオカネバナラヌユヘニ、他人ノ解セヌヨフニ水・火・土・金・木トハイヒタレドモ、一體ハ三ツニテ、其外ニ飛行一ツアリテ、其飛行二ツニ分ルトイフコトハ、下々ノ五事ヨリ以下ニテアキラカニ知レル

ナリ、且易ニテヨフ分リテアルナリ、ユヘニ洪範ヲバ易トヲシナラベテオキテ説クベキハヅナリ、易ハ來ヲ知ルモノト云フコトヲ知リテ、洪範ヲ來ヲ知ルモノト云フコトヲ知ラスハ、洪範ガ讀メヌユヘナリ、來ヲ知ルトハ筮者ノイフヨフナルコトニアラズ、洪範モ易モ天地ノ理ヲ述タルモノナレバ、理ヲタシカニイヒタルモノナリ、タトヘバ一人京ニタチテ居ル、東ヲムキテアルイテ居レバ、コレハ奥州ヘユクトイフ、西ヘムキテアルケバ、長崎ヘユクト云フルイナリ、ナルホド東ヘヅカトイツマデモユケバ奥州ヘユクナリ、西ノ方ヘイツマデモユケバ長崎ヘユクナリ、サレドモ人ノ了簡ハカワルモノナレバ、東ヘムキタル人又北ヘムクコトモアリ、コノトキニ理ヲイヘバ、加賀・能登ヘユクトウラナフナリ、其人又南ヘムケバ、コレハ阿波・土佐ヘユクト云フナリ、人ノ了簡ハアラカジメイワル、モノニアラズ、筋ハイハル、ナリ、筋ト云フモノハ通りテアルモノナレバ、東ヘムケバ奥州スデ、南ヘムケバ阿州・土州ノスデナリ、洪範モ易モコノ筋ヲイヒタルモノナリ、人ノ了簡ガシレルト云フニハアラズ、易ニテト筮ヲシテアタラスハ、其人ノ了簡サイシヨトチゴフユヘナリ、最初トチガワネバキツトアタルナリ、東ヲムイテアルイテオルユヘ奥州ヘユク人ナリト云フナリ、是此人ノ了簡イツマデモカワラネバ奥州ヘユクナリ、ソノ筋ナレバナリ、人ノ了簡ノカワルハ、洪範ヤ易ノツミニアラズ、先易ノアラマシ如此モノナリ、筋ヲイヒタルモノナリ、物事ノ成就スル、成就セヌ、人ノナリユキ皆筋アリテ、筋ハズツト通りタルモノナリ、コノスデトイフモノ、萬ニモ千ニモワカリテアルヲ、其サ



キヲアキラカニ見テ取ルヲ智者トイフナリ、事物ノスデヲアキラカニ知リテアツコフヲ智者トイフナリ、事物ヲ己レガ自由自在ニトリマワスハ、自由ニナルベキモノヲ自由ニスルナリ、自由ニナルマジキモノヲ自由ニスルニテハナシ、タトヘバ一步ノ金ヲ一兩ニスルトハ、コノ一步ノカネニテ物ヲカフテ一步ニ朱ニウリテ、其一步ニ朱ニテ物ヲカフテ二步ニウリテ、如此シテ一兩ニスルヲ筋ト云フナリ、一步ノ金ガ即坐ニ一兩ニナルト云フハ盜賊スデナリ、筋ニナキコトナリ、筋ニナキコトハデキズ、筋ナルコトハドノヨフナルコトニテモ出來ル、モツトズツトムツカシキコトニテモ、ソノ筋サヘアルコトナラバ、ナンデモ出來ヌコトナシトシタルモノナリ、筋サヘアレバナンデモ出來ルヲ智者トイフナリ、此筋ヲ見ルニハ、是天カラ推サネバナラヌナリ、是天ノ内ノ極々本源ノ物カラダン、ニ末ノ方ヘ推シテ、今ノ用事ヲ推シ考ヘテアテガフテハカルコトナリ、ユヘニ筋ハ天ニアリ、筋ヲ取り分ルハ人ニ在リ、筋ノ分ケヨフガ洪範ト易トノヨミヨフ、スマシヨフノ大ジノコトナリ、扱易ノ分ケヨフモ四大ナリ、易ハ四大トセズニ三ト立ル、是ハ定位ノ三ツアルユヘニ三ト立ルナリ、扱三ツヅ、ニ組立ル、扱上ノ三爻ヲ上體トイフナリ、下ノ三爻ヲ下體ト立ルナリ、ユヘニ三爻兩體ナリ、コレヲ五ツトシタルモノナリ、四大ニシテカンジャウスレバ、三爻ト體ナリ、天・地・人ト氣ナリ、易ニテハ第一下ノ爻ヲ第一爻ト立ル、是ヲ地ノ位トス、第一ノジキニ上ヲ第二爻ト立ル、是ヲ人ノ位トス、第三爻ヲ天トス、天ハ上ニアリ、地ハ下ニアリ、人ハ中ニアリ、扱是ハ下體ナリ、又上體ノ第四ヲ地、第五ヲ人、第六

ヲ天トス、是レハ上體ナリ、如、此三ツヲ根本ト立テ、二ヲツギタシタル數トス、ヤハリ水・火・土ヲ根本ト立テ、陰・陽ヲソヘモノト見タルト同ジコトナリ、水ハ下・火ハ上・土ハ中ナリ、陰・陽ハ飛行ノモノ、居所キワマラズニアルキマワル活位ナリ、是ヲ陰陽トイワズニ金・木トイフ、ユヘニ知レニクキナリ、水・土・火・陰・陽トイヘバ五ナレドモ、其實ハ四ナリ、是第一ノ根本ナリ

次二曰、敬用ニ五事

敬ハウヤマフト訓ズ、カリソメニモ心ヲウツクシフシテ、ソマツニセスコトナリ、天ノ理トイフモノハ、萬理ヲソナヘタルモノナレバ不足ナルコトナシ、皆天ヨリ生ズルモノナレバナリ、如、此何物ニヨラズ、何事ニヨラズ、皆天ヨリ生ズルモノニテ、皆天ニ其理ガ具足シテアルユヘニ、人ヨリ見レバ手ガ、リナキナリ、ユヘニ其理ノウチヨリ大ワリヲ引出シタルトコロガ、九ツノシキリナリ、九ツノシキノウチデ、手ガ、リヲナラベタテ、イフナリ、是九ツトイフモ又三ノ數ナリ、三ナリトイフハ何物ヲイフテモヨケレドモ、先ヅ天・地・人トワリツケテ見ルベシ、コノワリツケハ五行ヲ天トワル、五事ヲ人トワリツクル、八政ヲ地トワリツクル、是ニテ上體ナリ、又五紀ヲ天トワル、皇極ヲ地トワル、三徳ヲ人トワル、是ニテ中體ナリ、又稽疑ヲ天トワル、庶徵ヲ地トワル、五福ヲ人トワル、是ニテ下體ナリ、是三ノ數ナリ、此五事ハ人ノスルコトナリ、ユヘニ敬ヲオモトシテ、人ノ理ヲコマカニワクルナリ、人モコノ理ノ通リニユケバ、壽モ長ク、病モナク、富ヲキワメ、貴ヲキワメル理ナリ、スルコトナス

コト一々ニ天ノ理ニアフユヘニ、人ノヨキコトハ皆アツメテモテル理ナリ、是ヲ天理トイフナリ、天ノ筋ナリ、人ノ生テオル筋ト、天ノ筋ト同ジコトユヘニ、生テオルニ天ノ筋ニ合セテ生テオレバ、是人ノ中ニテ第一ノヨキコトバカリアツマルハヅナリ、一イロニテモ缺タルハ、是レ生テ居ヨフガ天ノ理ニ一イロチガヒタルナリ、一イロニテモ天ノ理ニ合フテカワル、トコロガ無レバ、缺タルコトハナキハヅナリ、中庸ニ大徳ハ必ズ其位ヲ得、必ズ其祿ヲ得、必ズ其壽ヲ得ルト云フハ即コノコトナリ、是左ナケレバナラヌ理ナリ、敬セネバナラヌ證據ナリ、如シヤリバナシニ、イキリナリホウダイニシテウヤマフ心ナケレバ、天ノ理ニ合ハフヨフナキコトナリ、其アワセヨフハ下ニ詳ナリ

### 次三曰、農用ニ八政一

農ハ食物ヲ種ヘツケルコトナリ、ユヘニ食ノコトニナル、人ノ生テオルユエンハ、地カラモノガデキルヲ食フテオルユヘナリ、サレバ地ノモチマヘハ食事ヲ出スガオモキナリ、三八地ナリ、ユヘニ地ノコトライフ、扱人ノ生テオルワケハ八ツアル、コノ八ツノマツリゴトヨコトム、クト、ノヘネバ、天ノ理ニアハヌナリ、政トハ正ニ從ヒ、支ニ從フ、正シカラヌモノヲ正シフスルコトナリ、天ノ理ニ從ハヌモノヲ矯テ直フシテ、天ノ理ニアワスガ政ノ字義ナリ、天ノ下ノアラユルモノ、性命ヲ、天ヨリ賜ハリタルヨフニ天命ヲ終ラセント思ハバ、政トイフ掟トケ條トヲ立テ、人民ノ理ノ外ヘ出スヨフニ世話ヲヤカネバナラヌナリ、天下ノ世話ヲヤクトイフハ、天下ノ人ヲ天ノ理ニチガワヌヨフニクラ

サスガ、天下ノ世話ヲヤクト云フモノナリ、ユヘニ天下ノセワヲヤクケ條ヲ政トイフナリ、世話ハ第一ニ食ノコトナリ、人民食ニトボシケレバ、天理ニモトリテ盜ミヲスル、人ヲコロス、ケンクワヲスルナリ、食乏シフナケレバ、人民ノ心オチツイテアシキコトヲセヌナリ、食事ヲ第一トスルユヘニ農ト云フナリ、扱余ガ考ヘニハ、五ト云自然ノ數ハドコマデモナシ、三ト一トカ、三ト二トカイヘバヨキナリ、五ツ同ジ位ニナラベ立ルコトナキナリト云フ證據ヲコレニテ見ルベシ、五事ハ三ト二ナリ、視ト聽ト思トヲ三トス、貌ト言トハトント別ノコトナリ、視・聽・思ハ活事ナリ、貌ト言トハ死物ナリ、扱コ、ニハ八政トアリ、八トハ何カラ出クル數ヅヤ、八政ノ本文ヲヨメバ三ツヅ、二ツト、別ニ二ツナリ食・貨・祀是三ツナリ、司空・司徒・司寇、是三ツ別ノコトナリ、賓・師是又二ツ別ノコトナリ、是ニテ五ト云フ數ハナフテ、皆三ナリトイフコトヲ知ルベキナリ

次四曰、協用ニ五紀

又天ノアタリマヘナリ、協ハユリ合セテ、チヨウド似合フヨフニスルコトナリ、タトヘバ日ト月トハ別々ノモノナリ、ユヘニ日ヲオモトシテ日計リニテ數レバ、月ニカマワヌモノユヘニ、三日ニハ月ノ出ル時モアリ、月ノ出ヌ時モアル、十五日ニハ月ノ丸イトキモアリ、月ノ三日月ノヨフニホソキトキモアルナリ、コレヘ月ヲユリ合セテ、組合セテユサリヲ閏月トスレバ、是春・夏・秋・冬モデキテ、ウヘツケ時或ハタネマキドキ、或ハカリコミ時モキワマリテ、タネオロシノ時モタガヘヌト云フモノナリ、



紀ハ大綱ナリ、天地ノ始マリヨリ天地ノ窮盡ニ至ルマデ、相モカワラズツト一トスデヒキワタシ、ヒキハリタル大キナルキマリアリ、此キマリヲ紀トイフナリ、天ノ大キナルキマリハ日ト月ト歳トナリ、是モ五紀トハイヘドモ三ツト二ツナリ、星辰ト曆數トハ別ノコトナリ、扱コノ日・月・歳トイフモノハ、天地ノ始マリカラ天地ノオハリマデ同ジヨフニ、グルリ／＼トマワリ／＼テ、ズツトワタリタルモノユヘニ紀トイフナリ、聖人ノコノワタリタル五紀ニヨリテ、ユリ合セテ日・月・歳ヲカナヘルヲ見テハ、ナルホド今日世ニ生キテ居ルウチハ、日々ニ日々ノ食ヲ得ルデハナキナリ、百目取ル日モアリ、一ヌモトラヌ日モアレドモ、一年ニユリ合セテチヨウドニ似合フトコロハ、ヤハリ天ノ理ナリトイフコト知レルナリ、凡ソ洪範ノ手ガ、リトイフハ皆コノ様ナル類ナリ、詳ナルコトハ下ノ五紀ノ條下ニアリ次五曰、建用ニ皇極一

コレハ地ノ部位ナリ、始ニハ天・人・地トオキ、二度目ニハ天・地・人トオキ、三度目ニモ天・地・人トオケリ、コノ順ノチガヘルワケハマダカンガヘ見ヌナリ、イヅレニモコノ皇極ハ地ノワリツケナリ、建ハタテ、オクコトナリ、大ゼイノ人ニ見セ示スヨフニ立ルコトナリ、ユヘニ建立ト云フ、タテテオキテ人ニ示スコ、ロナリ、皇極トハ、皇ハ君ナリ、大ナリ、即チ天理ナリ、極ハ目當ナリ、見テ手本ニスルモノナリ、君ノ目當ハ天理ナリ、天理ハ即チ大極ナリ、コノ天理ノ目當ガ無レバ、何ヲ目當ニ天下ノキリモリヲシヨフゾ、扱此日當ガチガヘバ、極ニフレルトイフモノナリ、極ニフレルトハ、

天理ノ通りニユカスト云フコトナリ、人ハ性ヲ天ニ得タルモノナレバ、天理ト人情トハ同ジコトナリ、  
ユヘニ天理ニフルレバ人情ニアワヌナリ、人情ニアワヌコトハ民人ガ合點セヌナリ、民人ノ合點スル  
ト合點セストハ、民人ノ氣儘ノ通りニセスト、氣儘ノ通りニスルトノコトニハアラズ、イフテ見ヨフ  
ナラバ、灸ヲスユルガ人情ニ合フトイフヨフナルモノナリ、灸ヲスユレバ病ガナイ、病ハ民人ノ大キ  
ライナルコトナリ、灸ヲスユレバ病ガナイユヘニ、民人ガ灸ヲスユルナリ、灸ハアツキモノナリ、ア  
ツキコトハ民人キライナリ、アツキコトハ民キロフユヘニ、灸ハスヘヌガヨイトイフハ、民人ノ情ニ  
アワヌトイフモノナリ、灸ハアツイモノナレドモ病ガナフナルユヘニ、スユルガヨイト云フガ民人ノ  
情ニアフナリ、ナゼナラバ、ツマルトコロガ民ノ願ニ叶フユヘナリ、アツイノハ民ノ願ニアラズ、病  
ノナイヨフニナルハ民ノ願ヒナリ、ユヘニ天理ノ人情ニアフト云フハ、アツイコトラバセスト云フ類ニ  
アラズ、病ノナイヨフニスルト云フ類ナリ、ユヘニ皇極トイフモノヲ立テ、是ヲ目當ニセネバ、人情  
ニ合フト合ハヌトガ知レヌナリ、ヤタラニ民人ノウケノヨキガ人情ニ合フタルニハアラズ、灸ヲスヘル  
ハアマリ人ノウケノヨフナキモノナリ、ヨフナケレドモ、トクトカンガヘテ見レバ、己レガ爲ユヘニ  
スルナリ、人君ノ天理ノ目當モコノヨフナルモノニテ、始メハウケガヨフナケレドモ、民人ヨク／＼  
考ヘテ見レバ、己レガ爲ニナルコトユヘニ難有クナルガ、眞ニアリガタクナリタルナリ、灸ヲスヘサ  
セヌノハ、今ハウレシイヨフナレドモ、ソレデ大ニ病ニクルジメバ、却テ上ヲウラムヨフニナルナリ、ユ

ヘニ人君ハチヨツト見ニテキワメレバ大キニチガフナリ、人君ガ民人ヲ養フモ、人ガ己レヲ養フモ同ジコトナリ、チヨツト見ニ己レガウレシイヨフナルコトハ、ヨク／＼考ヘテ見レバ、己レノ爲デハナキモノナリ、ユヘニ天理ハ難レ有モノナリ、天理ハトントチヨツト見トハチガフモノナリ、ヨク／＼カミシメテ見ネバワカラスナリ、ユヘニ一令ヲ出スニモ、チヨツト觸レヲ出スニモ、皇極ノ目當ヲヨク／＼見ネバ、メツタニハ出サレヌコトナリ、己レガ己レヲ養フニモ、メツタニハ己レニ差圖ハナラスハヅノコトナリ、ユヘニ大地上ノ民人ノコトヲオモニイフユヘニ、地ノ部位ナリトイフナリ

次六曰、又用ニ三德

是ガ人ノ部位ナリ、又ハ治ナリ、天子諸侯ノ大ゼイノ民ヲ治ムル仕掛ナリ、ユヘニ人ノ己レヲ治ムルシカケモ同ジコトナリ、治ハ病ヲ治ムルトイフ治ノ字ガ、至極治ノ字ノ意ニアタルナリ、アシキモノヲ取り除ケテシマフテ、ヨキモノヲ新規ニ取立コシラヘタテル心モチナリ、療治スルト云フコトバガ、ヨフ治ノ字ニ合フナリ、凡ソ天下ノ事ニモセヨ、物ニモセヨ、コジナオスト云フヨフナル、トリタテルトイフヨフナルトキニハ、コノ三德ヲ用ユルガヨキナリ、徳ノ古字ハ恵ノ字ナリ、直心ナリ、天ヨリ賜ハリタルマ、ノ心ヲ恵トイフ、自己流ノナイコトナリ、天ノマ、ニテ人ノコシラヘ心ノ入ラスヲイフナリ、直ハナホシト訓ズ、マガラスコトナリ、天ヨリ賜ハリタルマ、ノ心ハ、一向ニ人作ナキユヘニマガラヌナリ、甚直キナリ、天理ノ通りナリ、ユヘニ人ノスルコトナスコト、皆天理ニ叶ヘル心ノ人ヲ

有徳ノ人トイフナリ、イヲツケタルハ後世ノコトナリ、イハ行トイフコトナリ、直心ノ人ノ行ヲ徳ト云フコ、ロナリ、此處ナドハジカニ天理ノ通りニ三ト出シタルユヘ、ゴタツカヒデ至極キコヘヨキナリ、中ヲ正直ト云ヒ、ヒドキヲ剛ト云フ、火ノ位ナリ、ヤワラカキヲ柔ト云フ、水ノ位ナリ、ウゴカヌヲ正トイフ、土ノ位ナリ、即チ水・火・土ナリ、此處ナドハ別シテ智者ノヘイゼイ入用ノコトナリ、ダシク説コマコフナルユヘニ、下々ノ人常々入用ノコトニナルナリ、此末ハ次第ニコマカニナリテ、ダシクワシク入用ノコト多クナル、一向ニウツカリト讀ベキモノニアラズ、皆今日ニ親切ニアタルコトドモナリ、三徳ノツカイ方ハ下ニ詳ナリ

次七日、明用<sub>ニ</sub>稽疑

是天ノ部位ナリ、明ハアキラムルナリ、何トモ知レニクキコトヲ決斷スルコトナリ、クラキトコロヘアカヒモノヲ持出シテ、照シテ見ルヨフニスルユヘニ明トイフナリ、稽ハカンガフルナリ、クラベテ見テ考ルヲ稽ト云フナリ、ツキ合セテ見クラブルコトナリ、疑ハウタガヒナリ、ウタガワシキコトアレバ、天ノ意ヲウカバワネバナラヌナリ、天トイフモノハ前モイフ通り空位ナルモノユヘニ、ウカバイヨフナキモノナリ、ユヘニト筮ニヨリテ決斷スルナリ、ト筮ニテ決斷スルハ此方ノ御圖モ同ジコトナリ、後ニハ擲錢トイフコトアリ、錢ヲナゲテ卦ヲ得テウラナフナリ、凡ソ表裏アルモノハ皆疑ヲ決スルニ用ユ、表ガデレバヨイ、ウラガ出レバワルイトイフヨフニキワムルハミナ同ジコトナリ、ユヘニ



表裏ノアルモノデサヘアレバ決斷ハズキルユヘ、何ニテモウラナハレルナリ、況ンヤ易ハ萬物ノ理ヲ  
コメタルモノユヘニ、ウラナヒニ用ユルハ妙ナル道具ナリ、ト篋ヲコト／＼シク龜ヲ吟味シ著ヲ詮議  
シテ、大切ニカマヘテ大キエサワイデ、大ゼイノ役人衣冠シテナラビテ、ソレカラトヲ始メ篋ヲ始ム  
ルハ、民ニ疑ヲ決セシムルユヘナリ、凡ソ疑ヲ決スルハ、疑ハシキコトヲ決スルユヘニ決トイフ、今  
ノ人ハ疑シフナイコトヲ篋スル、コレハ先王聖人ノ大禁ナリ、ユヘニ諸役人モナラビ、天子諸侯モイ  
クニチモ精進潔齋シテ、身ヲ清メ水ヲアビテ、オモ／＼ト行フナリ、今ノ人一日ニ何度モウラナフ、  
多葉粉ヲ飲ヨフニウラナフハ、ト篋ノ儀ニハチガフテオルナリ、舊天ハ空位ナリ、何モナキ處ノ名ナ  
リ、天ノ御指圖トイフコトアロウハヅナキコトナリ、天ノ理ヲタ、イテ見ルコトナリ、天ノ理ヲタ、  
イテ見ルハ、實々ニドチラガヨイカ知レヌトキノコトナリ、タトヘバ人ヲ欺キダマシテ金ヲ得ントス  
ルトキニ、コノ金ガ取レルカ、取レヌカトイフテ篋スルハ、疑ハシカラスコトヲ篋スルト云フモノナ  
リ、何デモ人ヲ欺キダマスコトハアシキニチガヒナシ、天ノ意ニアワヌニチガヒナシ、天理ニモトル  
ニトントチガヒナキコトナリ、是疑フコトモナクセヌガヨキナリ、コノ類ハ疑ハシカラスコトヲウタ  
ガフトイフモノナリ、決シテアルモノヲ決スルナリ、甚天理ヲケガスコトナリ、今ウカヰフ先キ方ハ  
天理ナリ、天理ニ惡事ヲウカガフコト、一向ニ天理ヲシラスコトナリ、マツスグニテマガラヌモノヲ  
天理トイフナリ、今マガリタルコトヲ天理ニウカヰフハ、是何トイフコトゾヤ、タトヘバ天ヲ祭ル日

ヲ占フ、扱イク日ニ祭リマシタラバ福ヲ得ルデゴザロフト占フ、是等ハキツトウラナハネバナラヌナ  
リ、天子諸侯皆天ヲ祭リ、先祖ノヨリ出ルトコロヲ祭ルコト、皆福ヲ求ルト云フテ祭ナリ、天ハ空位  
ナリ、空ナルトコロナリ、先祖ノヨリ出ルトコロノ人ハ、千年モ三千年モマヘニ死ンデシマフテ、其  
シヤレコウベサヘキヘテ無クナリタル空物ナリ、コレヲ御馳走ヲシタレバトテ、何ゾヤ天ヤ先祖ガウ  
レシガリテ福ヲサヅクルトイフコトアルベキヤ、是ヲウヤ／＼シク祭ルコト發狂ノルイナリ、サレド  
モ聖人ハ實ニマガホニナリテ懇懃ニ祭ル、祭ルノミナラズ、其祭ル日ヲ丁寧ニトスル、其上ヲ筮スル、  
大サワギヲ入レテ働クナリ、コレハ畢竟天ヲ祭リテ雨・風・旱・水ノナキヨフニ、豊年ナルヨフニト  
祭ルコトナリ、雨・風・旱・水ハ天ノ一向ニシラスコトナリ、先祖ノ一向ニシラスコトナリ、サレドモ  
コレヲセネバナラヌハ、民百姓ガ疑心ヲ決スルタメナリ、如シ大水ガデタルトキニ、此方ノ旦那ガ  
祭ラシヤラスユヘニケ様ノ水ガデル、祭リテモ目モエラマズ、ヤタラニソマツニ祭ラシヤルユヘニ、  
ケ様ノ旱魃ガアルナド、イフテ民怨ムナリ、今年ハ旦那ガ身ニシミテナンベンモ日ヲウラナヒ、祭リ  
ヲモ丁寧ニナサレタカラ、豊年ニチガヒナイトイフテ、民ウチコミテ耕ヘシヲセネバ五穀ミノラスナ  
リ、ユヘニ丁寧ニト筮スルコト古法ナリ、扱凡ソ洪範ノ九疇ハ稽疑トイフテモ、キツト稽疑バカリノコ  
トニアラズ、畢竟世ノ中ノカラクリ活物ヲトリアツコフ智ニ用ユルコトナレバ、唯心イキヲフワリト  
イフタルモノナリ、コノ稽疑ニテ歌ヲヨム法モ、鑢ヲツカフ法モ、カンガヘツクヨフニシタルモノナリ、

表裏ノアルモノデサヘアレバ決斷ハデキルユヘ、何ニテモウラナハレルナリ、況ンヤ易ハ萬物ノ理ヲ  
コメタルモノユヘニ、ウラナヒニ用エルハ妙ナル道具ナリ、卜筮ヲコトフシク龜ヲ吟味シ蓍ヲ詮議  
シテ、大切ニカマヘテ大キエサワイデ、大ゼイノ役人衣冠シテナラビテ、ソレカラトヲ始メ筮ヲ始ム  
ルハ、民ニ疑ヲ決セシムルユヘナリ、凡ソ疑ヲ決スルハ、疑ハシキコトヲ決スルユヘニ決トイフ、今  
ノ人ハ疑シフナイコトヲ筮スル、コレハ先王聖人ノ大禁ナリ、ユヘニ諸役人モナラビ、天子諸侯モイ  
クニチモ精進潔齋シテ、身ヲ清メ水ヲアビテ、オモ／＼ト行フナリ、今ノ人一日ニ何度モウラナフ、  
多葉粉ヲ飲ヨフニウラナフハ、卜筮ノ儀ニハチガフテオルナリ、舊天ハ空位ナリ、何モナキ處ノ名ナ  
リ、天ノ御指圖トイフコトアロウハヅナキコトナリ、天ノ理ヲタ、イテ見ルコトナリ、天ノ理ヲタ、  
イテ見ルハ、實ヤニドチラガヨイカ知レヌトキノコトナリ、タトヘバ人ヲ欺キダマシテ金ヲ得ントス  
ルトキニ、コノ金ガ取レルカ、取レスカトイフテ筮スルハ、疑ハシカラヌコトヲ筮スルト云フモノナ  
リ、何デモ人ヲ欺キダマスコトハアシキニチガヒナシ、天ノ意ニアワヌニチガヒナシ、天理ニモトル  
ニトントチガヒナキコトナリ、是疑フコトモナクセヌガヨキナリ、コノ類ハ疑ハシカラヌコトヲウタ  
ガフトイフモノナリ、決シテアルモノヲ決スルナリ、甚天理ヲゲガスコトナリ、今ウカヰフ先キ方ハ  
天理ナリ、天理ニ惡事ヲウカガフコト、一向ニ天理ヲシラスコトナリ、マツスグニテマガラスモノヲ  
天理トイフナリ、今マガリタルコトヲ天理ニウカヰフハ、是何トイフコトゾヤ、タトヘバ天ヲ祭ル日

ヲ占フ、扱イク日ニ祭リマシタラバ福ヲ得ルデゴザロフト占フ、是等ハキツトウラナハネバナラスナ  
リ、天子諸侯皆天ヲ祭リ、先祖ノヨリ出ルトコロヲ祭ルコト、皆福ヲ求ルト云フテ祭ナリ、天ハ空位  
ナリ、空ナルトコロナリ、先祖ノヨリ出ルトコロノ人ハ、千年モ三千年モマヘニ死ンデシマフテ、其  
シヤレコウベサヘキヘテ無クナリタル空物ナリ、コレヲ御馳走ヲシタレバトテ、何ゾヤ天ヤ先祖ガウ  
レシガリテ福ヲサヅクルトイフコトアルベキヤ、是ヲウヤ／＼シク祭ルコト發狂ノルイナリ、サレド  
モ聖人ハ實ニマガホニナリテ慇懃ニ祭ル、祭ルノミナラズ、其祭ル日ヲ丁寧ニトスル、其上ヲ筮スル、  
大サワギヲ入レテ働クナリ、コレハ畢竟天ヲ祭リテ雨・風・旱・水ノナキヨフニ、豐年ナルヨフニト  
祭ルコトナリ、雨・風・旱・水ハ天ノ一向ニシラスコトナリ、先祖ノ一向ニシラスコトナリ、サレドモ  
コレヲセネバナラヌハ、民百姓ガ疑心ヲ決スルタメナリ、如シ大水ガデタルトキニ、此方ノ旦那ガ  
祭ラシヤラスユヘニケ様ノ水ガデル、祭リテモ日モエラマズ、ヤタラニソマツニ祭ラシヤルユヘニ、  
ケ様ノ旱魃ガアルナド、イフテ民怨ムナリ、今年ハ旦那ガ身ニシミテナンベンモ日ヲウラナヒ、祭リ  
ヲモ丁寧ニナサレタカラ、豐年ニチガヒナイトイフテ、民ウチコミテ耕ヘシヲセネバ五穀ミノラスナ  
リ、ユヘニ丁寧ニト靈スルコト古法ナリ、扱凡ソ洪範ノ九疇ハ稽疑トイフテモ、キツト稽疑バカリノコ  
トニアラズ、畢竟世ノ中ノカラクリ活物ヲトリアツコフ智ニ用ユルコトナレバ、唯心イキヲフワリト  
イフタルモノナリ、コノ稽疑ニテ歌ヲヨム法モ、鑑ヲツカフ法モ、カンガヘツクヨフニシタルモノナリ、



詳ナルコトハ下ニテイフベシ

次八曰、念用ニ庶徴一

是地ノ部位ナリ、地ノ草木ヲ養フニ用ユルヲ主トシテ組立タルナリ、コレモ前ニイフ通り、地ノ草木ヲ養フニカギリタルコトニアラズ、萬事ニツキテ入用ノ智ナレドモ、説クニ何ゾニヨラネバ説ケヌユヘニ、ケ條ヲワケテイロノニ筋ヲ立テ、イフナリ、念ハ今ニ從ヒ、心ニ從フ、今思フベキコトヲ胸ニハナサズ、胸ニヲキテ思ヒツケルナリ、ユヘニ念トイフナリ、庶ハモロノナリ、イロノノコトヲナラベタテ、ト云フコトナリ、徴ハシルシト訓ズ、證據ノコトナリ、キザシノコトナリ、下ニ赤イモノガアレバ、上ベニ赤イ色ガウツル、上ベニ赤イ色ガアルハ、下ニ赤イモノアル證據ナリ、下ニ赤イモノガアルユヘニ上ベニ赤イモノウツル、是シルシナリ、下ニ赤イモノ、アルキザシノ上ベニ出タルナリ、モロノノキザシヲ見テ、草木ノ世話ヲヤカネバ豊年ニナラスナリ、此庶徴ナドハ別シテ今日ニ用ユル智ニ親切ナルモノナリ、此ケ條ノウチニモ雨モヨイモノジヤ、ヨケレドモアマリ雨スギルハワルシ、扱ト云フテ雨ガナサスギルモワルイトアリ、ナルホド今日ニタトヘテイハバ、飯モヨイモノナリ、ヒダルイノガヤメニナリテ、壽命ノツバクモノナリ、左レドモアマリ喰スギルト食傷ヲシテ、甚シケレバ死ンデシマフテ壽命キレルナリト云フテ、喰ハズニオレバ飢シヌナリ、世ノ中ノコト多クハ不及ニテシクジル、過ニテシクジルモノナリ、コノ弊ヲスクワンカタハ此庶徴ノ工夫ヨロシキナリ、

不及ノコトハワルヒトイフテ、一向ニ不及ノコトノナキニアラズ、コノアシライノシヨウアルコトナリ、コレキザシヲ見テ過ニスルハ、過ナルニアラズ、能吞込テ居テ見スマシテ不及ヲスルハ、不及ナルニアラズ、ヤハリ過デ中ナリ、不及デ中ナリ、コレラノ氣味合ハヨホドコミ入タルコトナレドモ、コノ手ガ、リヲ組立テ言ヒホドキタルハ、洪範ト易トバカリナリ、過不及トイフ處バカリ目ヲツケテオルト間違ナリ、ソコデイヒトリニクキナリ、理ヲ大事ニスルコトナレドモ、理ヲ大事ニスルトイフト間違ナリ、理ヲ大事ニセスコトモアリ、理ヲ大事ニセスノデ理ガムマフユケバ、是理ヲ大事ニセスノガ大事ニスルニアタル、是等ハ甚ダ入クミタル理ナリ、ソノ鹽梅ヲイヒトリタルハ此庶幾ノ條下ナリ、人ヲムゴヒ目ニアハスノガ愛スルニナルコトアリ、甚愛スルノガムゴイ目ニアハスニナルコトアリ、徳ヲスルノガ損ニナルコトモアリ、損ヲスルノガ徳ニナルコトアルモノナリ、凡ソ理ハヒトヘニ見ルベカラズ、幾重モ／＼重ネテスカシテ見ネバ、眞面目ハ見ラレスナリ、老子ニハコレヲ襲明トイフテアリ、襲ハシタガサネト訓ズ、同ジユキタケノ衣類ヲカサネテキルコトナリ、此襲明ノシカタ至極面白キコトナリ、コレモ天下ノ萬物ヲアツコフコトユヘニ、コレガコフトキワマリタルコトハナケレドモ、譬ヘバアノ男ハ憎イ男ト思フ目方ニタトヘタイヘバ、五匁ホドノ目方ノ憎サナリ、左レバ人トイフモノハ、コノ方ノ氣ニ入ル入ラヌハアレドモ皆人一人ナレバ、憎イ男トイフ男ハナキナリ、此方ノ氣ニ入ラヌ男ユヘニ憎イト思フナリ、憎ミガ五匁アレバ、可愛ミモ五匁アルハツナリト思フテ、愛スベキ目方

コト一々ニ天ノ理ニアフユヘニ、人ノヨキコトハ皆アツメテモテル理ナリ、是ヲ天理トイフナリ、天ノ筋ナリ、人ノ生テオル筋ト、天ノ筋ト同ジコトユヘニ、生テオルニ天ノ筋ニ合セテ生テオレバ、是人ノ中ニテ第一ノヨキコトバカリアツマルハヅナリ、一イロニテモ缺タルハ、是レ生テ居ヨフガ天ノ理ニ一イロチガヒタルナリ、一イロニテモ天ノ理ニ合フテカワルトコロガ無レバ、缺タルコトハナキハヅナリ、中庸ニ大徳ハ必ず其位ヲ得、必ず其祿ヲ得、必ず其壽ヲ得ルト云フハ即コノコトナリ、是左ナケレバナラヌ理ナリ、敬セネバナラス證據ナリ、如シヤリバナシニ、イキリナリホウダイニシテウヤマフ心ナケレバ、天ノ理ニ合ハフヨフナキコトナリ、其アワセヨフハ下ニ詳ナリ

次三曰、農用ニ八政ニ

農ハ食物ヲ種ヘツケルコトナリ、ユヘニ食ノコトニナル、人ノ生テオルユエンハ、地カラモノガデキルヲ食フテオルユヘナリ、サレバ地ノモチマヘハ食事ヲ出スガオモキナリ、三八地ナリ、ユヘニ地ノコトイフ、扱人ノ生テオルワケハ八ツアル、コノ八ツノマツリゴトヲコトククト、ノヘネバ、天ノ理ニアハヌナリ、政トハ正ニ從ヒ、支ニ從フ、正シカラヌモノヲ正シフスルコトナリ、天ノ理ニ從ハヌモノヲ矯テ直フシテ、天ノ理ニアリスガ政ノ字義ナリ、天ノ下ノアラユルモノ、性命ヲ、天ヨリ賜ハリタルヨフニ天命ヲ終ラセント思ハ、政トイフ掟トケ條トヲ立テ、人民ノ理ノ外ヘ出スヨフニ世話ヲヤカネバナラスナリ、天下ノ世話ヲヤクトイフハ、天下ノ人ヲ天ノ理ニチガワヌヨフニクラ

サスガ、天下ノ世話ヲヤクト云フモノナリ、ユヘニ天下ノセワヲヤクケ條ヲ政トイフナリ、世話ハ第一ニ食ノコトナリ、人民食ニトボシケレバ、天理ニモトリテ盜ミヲスル、人ヲコロス、ケンクワヲスルナリ、食乏シフナケレバ、人民ノ心オチツイテアシキコトジセヌナリ、食事ヲ第一トスルユヘニ農ト云フナリ、扱余ガ考ヘニハ、五ト云自然ノ數ハドコマデモナシ、三ト一トカ、三ト二トカイヘパヨキナリ、五ツ同ジ位ニナラベ立ルコトナキナリト云フ證據ヲコレニテ見ルベシ、五事ハ三ト二ナリ、視ト聽ト思トヲ三トス、貌ト言トハトント別ノコトナリ、視・聽・思ハ活事ナリ、貌ト言トハ死物ナリ、扱コ、ニハ八政トアリ、八トハ何カラ出タル數ゾヤ、八政ノ本文ヲヨメバ三ツヅ、二ツト、別ニ二ツナリ食・貨・祀是三ツナリ、司空・司徒・司寇、是三ツ別ノコトナリ、賓・師是又二ツ別ノコトナリ、是ニテ五ト云フ數ハナフテ、皆三ナリトイフコトヲ知ルベキナリ

次四曰、協用ニ五紀

又天ノアタリマヘナリ、協ハユリ合セテ、チヨウド似合フヨフニスルコトナリ、タトヘバ日ト月トハ別々ノモノナリ、ユヘニ日ヲオモトシテ日計リニテ數レバ、月ニカマワヌモノユヘニ、三日ニハ月ノ出ル時モアリ、月ノ出ヌ時モアル、十五日ニハ月ノ丸イトキモアリ、月ノ三日月ノヨフニホソキトキモアルナリ、コレヘ月ヲユリ合セテ、組合セテユサリヲ閏月トスレバ、是春・夏・秋・冬モデキテ、ウヘツケ時或ハタネマキドキ、或ハカリコミ時モキワマリテ、タネオロシノ時モタガヘヌト云フモノナリ、



紀ハ大綱ナリ、天地ノ始マリヨリ天地ノ窮盡ニ至ルマデ、相モカワラズツト一トスデヒキワタシ、ヒキハリタル大キナルキマリアリ、此キマリヲ紀トイフナリ、天ノ大キナルキマリハ日ト月ト歳トナリ、是モ五紀トハイヘドモ三ツト二ツナリ、星辰ト曆數トハ別ノコトナリ、扱コノ日・月・歳トイフモノハ、天地ノ始マリカラ天地ノオハリマデ同ジヨフニ、グルリ〱トマワリ〱テ、ズツトワタリタルモノユヘニ紀トイフナリ、聖人ノコノワタリタル五紀ニヨリテ、ユリ合セテ日・月・歳ヲカナヘルヲ見テハ、ナルホド今日世ニ生キテ居ルウチハ、日々ニ日々ノ食ヲ得ルデハナキナリ、百目取ル日モアリ、一ヌモトラヌ日モアレドモ、一年ニユリ合セテチヨウドニ似合フトコロハ、ヤハリ天ノ理ナリトイフコト知レルナリ、凡ソ洪範ノ手ガ、リトイフハ皆コノ様ナル類ナリ、詳ナルコトハ下ノ五紀ノ條下ニアリ次五曰、建用ニ皇極

コレハ地ノ部位ナリ、始ニハ天・人・地トオキ、二度目ニハ天・地・人トオキ、三度目ニモ天・地・人トオケリ、コノ順ノチガヘルワケハマダカンガヘ見ヌナリ、イヅレニモコノ皇極ハ地ノワリツケナリ、建ハタテ、オクコトナリ、大ゼイノ人ニ見セ示スヨフニ立ルコトナリ、ユヘニ建立ト云フ、タテオキテ人ニ示スコ、ロナリ、皇極トハ、皇ハ君ナリ、大ナリ、即チ天理ナリ、極ハ目當ナリ、見テ手本ニスルモノナリ、君ノ目當ハ天理ナリ、天理ハ即チ大極ナリ、コノ天理ノ目當ガ無レバ、何ヲ目當ニ天下ノキリモリヲシヨフゾ、扱此目當ガチガヘバ、極ニフレルトイフモノナリ、極ニフレルトハ、

天理ノ通リニユカスト云フコトナリ、人ハ性ヲ天ニ得タルモノナレバ、天理ト人情トハ同ジコトナリ、  
ユヘニ天理ニフルレバ人情ニアワヌナリ、人情ニアワヌコトハ民人ガ合點セヌナリ、民人ノ合點スル  
ト合點セストハ、民人ノ氣儘ノ通リニセヌト、氣儘ノ通リニスルトノコトニハアラズ、イフテ見ヨフ  
ナラバ、灸ヲスユルガ人情ニ合フトイフヨフナルモノナリ、灸ヲスユレバ病ガナイ、病ハ民人ノ大キ  
ライナルコトナリ、灸ヲスユレバ病ガナイユヘニ、民人ガ灸ヲスユルナリ、灸ハアツキモノナリ、ア  
ツキコトハ民人キライナリ、アツキコトハ民キロフユヘニ、灸ハスヘスガヨイトイフハ、民人ノ情ニ  
アワヌトイフモノナリ、灸ハアツイモノナレドモ病ガナフナルユヘニ、スユルガヨイト云フガ民人ノ  
情ニアフナリ、ナゼナラバ、ツマルトコロガ民ノ願ニ叶フユヘナリ、アツイノハ民ノ願ニアラズ、病  
ノナイヨフニナルハ民ノ願ヒナリ、ユヘニ天理ノ人情ニアフト云フハ、アツイコトヲバセヌト云フ類ニ  
アラズ、病ノナイヨフニスルト云フ類ナリ、ユヘニ皇極トイフモノヲ立テ、是ヲ目當ニセネバ、人情  
ニ合フト合ハヌトガ知レヌナリ、ヤタラニ民人ノウケノヨキガ人情ニ合フタルニハアラズ、灸ヲスヘル  
ハアマリ人ノウケノヨフナキモノナリ、ヨフナケレドモ、トクトカンガヘテ見レバ、己レガ爲ユヘニ  
スルナリ、人君ノ天理ノ目當モコノヨフナルモノニテ、始メハウケガヨフナケレドモ、民人ヨク／＼  
考ヘテ見レバ、己レガ爲ニナルコトユヘニ難有クナルガ、眞ニアリガタクナリタルナリ、灸ヲスヘサ  
セヌノハ、今ハウレシイヨフナレドモ、ソレデ大ニ病ニクルシメバ、却テ上ヲウラムヨフニナルナリ、ユ

ヘニ人君ハチヨツト見ニテキワメレバ大キニチガフナリ、人君ガ民人ヲ養フモ、人ガ己レヲ養フモ同ジコトナリ、チヨツト見ニ己レガウレシイヨフナルコトハ、ヨク／＼考ヘテ見レバ、己レノ爲テハナキモノナリ、ユヘニ天理ハ難レ有モノナリ、天理ハトントチヨツト見トハチガフモノナリ、ヨク／＼カミシマテ見ネバワカラスナリ、ユヘニ一令ヲ出スニモ、チヨツト觸レヲ出スニモ、皇極ノ目當ヲヨク／＼見ネバ、メツタニハ出サレヌコトナリ、己レガ己レヲ養フニモ、メツタニハ己レニ差圖ハナラスハヅノコトナリ、ユヘニ大地上ノ民人ノコトヲオモニイフユヘニ、地ノ部位ナリトイフナリ

次六曰、又用ニ三德

是ガ人ノ部位ナリ、又ハ治ナリ、天子諸侯ノ大ゼイノ民ヲ治ムル仕掛ナリ、ユヘニ人ノ己レヲ治ムルシカケモ同ジコトナリ、治ハ病ヲ治ムルトイフ治ノ字ガ、至極治ノ字ノ意ニアタルナリ、アシキモノヲ取り除ケテシマフテ、ヨキモノヲ新規ニ取立コシラヘタテル心モチナリ、療治スルト云フコトバガ、ヨフ治ノ字ニ合フナリ、凡ソ天下ノ事ニモセヨ、物ニモセヨ、コジナオスト云フヨフナル、トリタテルトイフヨフナルトキニハ、コノ三德ヲ用ユルガヨキナリ、德ノ古字ハ惠ノ字ナリ、直心ナリ、天ヨリ賜ハリタルマ、ノ心ヲ惠トイフ、自己流ノナイコトナリ、天ノマ、ニテ人ノコシラヘ心ノ入ラスヲイフナリ、直ハナホシト訓ズ、マガラヌコトナリ、天ヨリ賜ハリタルマ、ノ心ハ、一向ニ人作ナキユヘニマガラヌナリ、甚直キナリ、天理ノ通りナリ、ユヘニ人ノスルコトナスコト、皆天理ニ叶ヘル心ノ人ヲ

有徳ノ人トイフナリ、イヲツケタルハ後世ノコトナリ、イハ行トイフコトナリ、直心ノ人ノ行ヲ徳ト云フコ、ロナリ、此處ナドハジカニ天理ノ通りニ三ト出シタルユヘ、ゴタツカヒデ至極キコヘヨキナリ、中ヲ正直ト云ヒ、ヒドキヲ剛ト云フ、火ノ位ナリ、ヤワラカキヲ柔ト云フ、水ノ位ナリ、ウゴカスヲ正トイフ、土ノ位ナリ、即チ水・火・土ナリ、此處ナドハ別シテ智者ノヘイゼイ入用ノコトナリ、ダシシテ説コマコフナルユヘニ、下々ノ人常々入用ノコトニナルナリ、此末ハ次第ニコマカニナリテ、ダシシテクワシク入用ノコト多クナル、一向ニウツカリト讀ベキモノニアラズ、皆今日ニ親切ニアタルコトドモナリ、三徳ノツカイ方ハ下ニ詳ナリ

次七日、明用<sub>ニ稽疑</sub>

是天ノ部位ナリ、明ハアキラムルナリ、何トモ知レニクキコトヲ決斷スルコトナリ、クラキトコロヘアカヒモノヲ持出シテ、照シテ見ルヨフニスルユヘニ明トイフナリ、稽ハカンガフルナリ、クラベテ見テ考ルヲ稽ト云フナリ、ツキ合セテ見クラブルコトナリ、疑ハウタガヒナリ、ウタガワシキコトアレバ、天ノ意ヲウカバワネバナラスナリ、天トイフモノハ前モイフ通り空位ナルモノユヘニ、ウカバイヨフナキモノナリ、ユヘニト筮ニヨリテ決斷スルナリ、卜筮ニテ決斷スルハ此方ノ御圖モ同ジコトナリ、後ニハ擲錢トイフコトアリ、錢ヲナゲテ卦ヲ得テウラナフナリ、凡ソ表裏アルモノハ皆疑ヲ決スルニ用ユ、表ガデレバヨイ、ウラガ出レバワルイトイフヨフニキワムルハミナ同ジコトナリ、ユヘニ



表裏ノアルモノデサヘアレバ決斷ハデキルユヘ、何ニテモウラナハレルナリ、況ンヤ易ハ萬物ノ理ヲ  
コメタルモノユヘニ、ウラナヒニ用ユルハ妙ナル道具ナリ、ト筮ヲコト／＼シク龜ヲ吟味シ蓍ヲ詮議  
シテ、大切ニカマヘテ大キエサワイデ、大ゼイノ役人衣冠シテナラビテ、ソレカラトヲ始メ筮ヲ始ム  
ルハ、民ニ疑ヲ決セシムルユヘナリ、凡ソ疑ヲ決スルハ、疑ハシキコトヲ決スルユヘニ決トイフ、今  
ノ人ハ疑シフナイコトヲ筮スル、コレハ先王聖人ノ大禁ナリ、ユヘニ諸役人モナラビ、天子諸侯モイ  
クニチモ精進潔齋シテ、身ヲ清メ水ヲアビテ、オモ／＼ト行フナリ、今ノ人一日ニ何度モウラナフ、  
多葉粉ヲ飲ヨフニウラナフハ、ト筮ノ儀ニハチガフテオルナリ、舊天ハ空位ナリ、何モナキ處ノ名ナ  
リ、天ノ御指圖トイフコトアロウハヅナキコトナリ、天ノ理ヲタ、イテ見ルコトナリ、天ノ理ヲタ、  
イテ見ルハ、實々ニドチラガヨイカ知レヌトキノコトナリ、タトヘバ人ヲ欺キダマシテ金ヲ得ントス  
ルトキニ、コノ金ガ取レルカ、取レヌカトイフテ筮スルハ、疑ハシカラスコトヲ筮スルト云フモノナ  
リ、何デモ人ヲ欺キダマスコトハアシキニチガヒナシ、天ノ意ニアワヌニチガヒナシ、天理ニモトル  
ニトントチガヒナキコトナリ、是疑フコトモナクセヌガヨキナリ、コノ類ハ疑ハシカラスコトヲウタ  
ガフトイフモノナリ、決シテアルモノヲ決スルナリ、甚天理ヲケガスコトナリ、今ウカマフ先キ方ハ  
天理ナリ、天理ニ惡事ヲウカガフコト、一向ニ天理ヲシラスコトナリ、マツスグニテマガラスモノヲ  
天理トイフナリ、今マガリタルコトヲ天理ニウカマフハ、是何トイフコトゾヤ、タトヘバ天ヲ祭ル日

ヲ占フ、扱イク日ニ祭リマシタラバ福ヲ得ルデゴザロフト占フ、是等ハキツトウラナハネバナラスナ  
リ、天子諸侯皆天ヲ祭リ、先祖ノヨリ出ルトコロヲ祭ルコト、皆福ヲ求ルト云フテ祭ナリ、天ハ空位  
ナリ、空ナルトコロナリ、先祖ノヨリ出ルトコロノ人ハ、千年モ三千年モマヘニ死ンデシマフテ、其  
シヤレコウベサヘキヘテ無クナリタル空物ナリ、コレヲ御馳走ヲシタレバトテ、何ゾヤ天ヤ先祖ガウ  
レシガリテ福ヲサヅクルトイフコトアルベキヤ、是ヲウヤ／＼シク祭ルコト發狂ノルイナリ、サレド  
モ聖人ハ實ニマガホニナリテ慇懃ニ祭ル、祭ルノミナラズ、其祭ル日ヲ丁寧ニトスル、其上ヲ筮スル、  
大サワギヲ入レテ働クナリ、コレハ畢竟天ヲ祭リテ雨・風・旱・水ノナキヨフニ、豐年ナルヨフニト  
祭ルコトナリ、雨・風・旱・水ハ天ノ一向ニシラスコトナリ、先祖ノ一向ニシラスコトナリ、サレドモ  
コレヲセネバナラスハ、民百姓ガ疑心ヲ決スルタメナリ、如シ大水ガデタルトキニ、此方ノ旦那ガ  
祭ラシヤラスユヘニケ様ノ水ガデル、祭リテモ日モエラマズ、ヤタラニソマツニ祭ラシヤルユヘニ、  
ケ様ノ旱魃ガアルナド、イフテ民怨ムナリ、今年ハ旦那ガ身ニシミテナンベンモ日ヲウラナヒ、祭リ  
ヲモ丁寧ニナサレタカラ、豐年ニチガヒナイトイフテ、民ウチコミテ耕ヘシヲセネバ五穀ミノラスナ  
リ、ユヘニ丁寧ニト筮スルコト古法ナリ、扱凡ソ洪範ノ九疇ハ稽疑トイフテモ、キツト稽疑バカリノコ  
トニアラズ、畢竟世ノ中ノカラクリ活物ヲトリアツコフ智ニ用ユルコトナレバ、唯心イキヲフワリト  
イフタルモノナリ、コノ稽疑ニテ歌ヲヨム法モ、鑑ヲツカフ法モ、カンガヘツクヨフニシタルモノナリ、

詳ナルコトハ下ニテイフベシ

次八曰、念用<sub>ニ</sub>庶徴<sub>一</sub>

是地ノ部位ナリ、地ノ草木ヲ養フニ用ユルヲ主トシテ組立タルナリ、コレモ前ニイフ通り、地ノ草木ヲ養フニカギリタルコトニアラズ、萬事ニツキテ入用ノ智ナレドモ、説クニ何ゾニヨラネバ説ケヌユヘニ、ケ條ヲワケテイロノ<sub>ニ</sub>筋ヲ立テ、イフナリ、念ハ今ニ從ヒ、心ニ從フ、今思フベキコトヲ胸ニハナサズ、胸ニヲキテ思ヒツケルナリ、ユヘニ念トイフナリ、庶ハモロノ<sub>ニ</sub>ナリ、イロノ<sub>ニ</sub>コトヲナラベタテ、ト云フコトナリ、徴ハシルシト訓ズ、證據ノコトナリ、キザシノコトナリ、下ニ赤イモノガアレバ、上ベニ赤イ色ガウツル、上ベニ赤イ色ガアルハ、下ニ赤イモノアル證據ナリ、下ニ赤イモノガアルユヘニ上ベニ赤イモノウツル、是シルシナリ、下ニ赤イモノ、アルキザシノ上ベニ出タルナリ、モロノ<sub>ニ</sub>ノキザシヲ見テ、草木ノ世話ヲヤカネバ豐年ニナラスナリ、此庶徴ナドハ別シテ今日ニ用ユル智ニ親切ナルモノナリ、此ケ條ノウチニモ雨モヨイモノジヤ、ヨケレドモアマリ雨スギルハワルシ、扱ト云フテ雨ガナサスギルモワルイトアリ、ナルホド今日ニタトヘテイハバ、飯モヨイモノナリ、ヒダリイノガヤメニナリテ、壽命ノツバクモノナリ、左レドモアマリ喰スギルト食傷ヲシテ、甚シケレバ死ンデシマフテ壽命キレルナリト云フテ、喰ハズニオレバ飢シヌナリ、世ノ中ノコト多クハ不及ニテシクジル、過ニテシクジルモノナリ、コノ弊ヲスクワンカタハ此庶徴ノ工夫ヨロシキナリ、

不及ノコトハワルヒトイフテ、一向ニ不及ノコトノナキニアラズ、コノアシライノシヨウアルコトナリ、コレキザシヲ見テ過ニスルハ、過ナルニアラズ、能吞込テ居テ見スマシテ不及ヲスルハ、不及ナルニアラズ、ヤハリ過デ中ナリ、不及デ中ナリ、コレヲノ氣味合ハヨホドコミ入タルコトナレドモ、コノ手が、リヲ組立テ言ヒホドキタルハ、洪範ト易トバカリナリ、過不及トイフ處バカリ目ヲツケテオルト間違ナリ、ソコデイヒトリニクキナリ、理ヲ大事ニスルコトナレドモ、理ヲ大事ニスルトイフト間違ナリ、理ヲ大事ニセヌコトモアリ、理ヲ大事ニセヌノデ理ガムマフユケバ、是理ヲ大事ニセヌノガ大事ニスルニアタル、是等ハ甚ダ入クミタル理ナリ、ソノ蘄梅ヲイヒトリタルハ此庶幾ノ條下ナリ、人ヲムゴヒ目ニアハスノガ愛スルニナルコトアリ、甚愛スルノガムゴイ目ニアハスニナルコトアリ、德ヲスルノガ損ニナルコトモアリ、損ヲスルノガ德ニナルコトアルモノナリ、凡ソ理ハヒトヘニ見ルベカラズ、幾重モ〳〵重ネテスカシテ見ネバ、眞面目ハ見ラレスナリ、老子ニハコレヲ襲明トイフテアリ、襲ハシタガサネト訓ズ、同ジユキタケノ衣類ヲカサネテキルコトナリ、此襲明ノシカタ至極面白キコトナリ、コレモ天下ノ萬物ヲアツコフコトユヘニ、コレガコフトキワマリタルコトハナケレドモ、譬ヘバアノ男ハ憎イ男ト思フ目方ニタトヘテイヘバ、五匁ホドノ目方ノ憎サナリ、左レバ人トイフモノハ、コノ方ノ氣ニスル入ラヌハアレドモ皆人一人ナレバ、憎イ男トイフ男ハナキナリ、此方ノ氣ニ入ラヌ男ユヘニ憎イト思フナリ、憎ミガ五匁アレバ、可愛ミモ五匁アルハヅナリト思フテ、愛スベキ目方



ヲ又五勿カケテ、其人ノ可愛キ處是非五勿アルハヅナリト思フテ、其人ノヨキコトヲサガシ出スコトナリ、憎ミト愛ミト同ジ日方ニカケテ見ルユヘニ、是レ同ジユキタケニ衣類ヲシタテ、カサネテキルヨフナルモノナリ、ユヘニ襲トイフナリ、カサネテ見テ、スカシテ見テ、人ヲ評スレバ評シチガヒハナキナリ、人ニカギラスコト、何品ニテモ、何事ニテモ、コノ通りナリ、禍福利害モ同ジコトナリ、後世ノ人ハ皆カタ／＼日方ニカケテ、今カタ／＼ヨバ秤ニモカゲズニ、カタ／＼ギリデ評判ヲスルユヘニ、愛ル人ニハ歎カレ、憎ム人ニハ謀ラレルコト常々アルコトナリ、皆襲明セヌユヘナリ、又襲明シテ見レバアマリ憎ムベキ男モナキモノナリ、アマリ愛スベキ男モナキモノナリ、甚愛セズ甚憎マヌハ、心ノウゴカス人智ノアル人トイフモノナリ、心ウゴカネバ先ハシクジリナキモノナリ、シクジリハ多クハカシグユヘナリ、詳ナルコトハ下ニテ説クナリ

次九曰、需用ニ五福、威用ニ六極

是人ノ部位ナリ、需用ハムカフト訓ズ、ウクルト云フコトナリ、其事ヲウケントテス、ミテ來ルナリ、ユヘニムカフト訓ズルナリ、福ハ示ニ從フ、示ハ即祇字ナリ、神祇ナリ、神事ナリ、ユヘニ凡ソ天ノコト、神ノコト、祭ノコト、皆示ニ從フ、日出度コトナリ、晷ハ偏ナリ、逼ナリ、セマルナリ、セマルトハ高クアガリテ、トントノ上マデツキセマルコトナリ、日出度コトノトントノ頂上トイフ字ナリ、ユヘニサイワイト訓ズ、威ハ威光ノコトナリ、刑ナドノ見テモ聞テモゾツトスルヲ威トイフ、頭ノア

ガラスモノ、コトナリ、一言モナキヨフニ光リ來リテ、己レヲオシフセルモノ、コトナリ、威光ナリ、威勢ナリ、極ハキワマリト訓ズ、ツマリタルナリ、ツマリテ先ヘス、マレヌコトナリ、困窮ナレバ明日マデハイキテイラレストイフヨフニ、ツマリタルヲ云フナリ、ヨキコトノツマリモ極トイフ、ツマルト云フコトユヘナリ、扱褒美ノ品々ヲ飾リタテ、オキテ、人ニ出精ヲサスルヲ勸ト云フ、刑罰ノ道具ヲナラベタテ、オキテ、人ニ怠懈サセヌコト懲トイフ、勸懲ハ即嚮威ナリ、是ハ天下ノ人民ヲ出精サセテ怠懈サセヌ爲ナリ、天下ノ人民バカリニアラズ、己レヲ己レガ養フモケ様ナリ、心ニ日出度コトガクルデアロフト思フテ樂ムハ、己レガ己レノ心ヲ勸ムルナリ、コレハオソロシイコトジヤト思フテ、心ニオソロシイコトヲナラベタテ、コノオソロシイコトガクルデアロフト思フテ、患フルハ己レノ心ヲ懲スナリ、如レ此ヤハリ己レガ心ヲス、メタリ、コラジタリセネバナラヌナリ、己レバカリニアラズ、箱ヲ一ツサスニモ、ス、メテツカフコトアリ、コラシテツカフコトアリ、萬事萬物皆コノ手ダテニテ事成就スルコトナリ、前ニモイフ通り、洪範ハコ、ロイキノミヲイフ、早フイヘバ、智慧ノ骨組ナリ、骨組トハ骨バカリニテ、皮ハテン、己レガ勝手ノ物ヲ張リテツカフトイフコトナリ、タトヘバ團扇ノ骨組アレバ、赤キ團扇ニシヨフトモ、白イウチワニシヨフトモ、此方ノスキシダイナリ、家ヲ立ル骨組ヲ知レバ、亭ヲ立テヨフトモ、門ヲ立ヨフトモ、スキシダイナリ、歌ノ上手ナル骨組ニテ、鍵モ上手ニナルナリ、凡ソ五行ヨリ以下ノ九疇ハ皆コノ骨組ナリ、路案内ガ田舎同社ヲツレテアルク

ヨフニクワシキコトハナラスナリ、眞ノ心イキナリ、ユヘニコレヲヨクシツカリト嚙ミ留ル人モアリ、又折角骨組ヲ授ケテクレテモ、一向ニカミトメエヌ人モアルナリ、コレヲカミトメント思フナラバ、己レガ一生ノ業ニスルモノヲ、皮ニハリテ見ルコト傳授ナリ、中庸ニモ此コトアリ、其次ハ曲ヲ致ス、曲則チ識ナリト云フハ即此コトナリ、曲トハヒトツヾト云フコトナリ、聖人ノ大道天ノ理ヲ天ノ理デ吞込ム人ハ、極々スサマジキ人ナリ、人々スサマジキモノニアラズ、ドフモ天ノ理ノ吞込メヌ人アルトキニ、其人ニ教ヘテ吞込マス法ナリ、何事ニモ理ハアルモノナレバ、何事ニテモ一色ノ理ヲ推スヲ曲ト云フナリ、或ハ弓ガスキユヘニ弓ノ師匠ニナリタル男ハ、命ニカケテ弓ノコトガスキナリ、飯ヲクワイデモヨイカラ、弓ノコトヲキメタイト思フナリ、コレホドニ思ヒコンダルコトデナケレバ、曲ヲ致スコトハナラスナリ、致トハイタシキワムルコトナリ、吟味シテ詮議シテ、サガシツメルコトナリ、唯一色ノコトヲセンギシツメルユヘニ、曲ヲ致ストイフナリ、アレモ面白イモノジヤト云フヨフナ、ナマニンジヤクノ好ミヨフニテハ、詮議シツメル人トハイワレスナリ、藝ニヨラズ、商ガスキトカ、金ノタマルノガスキトカ、位ノタカフナルノガスキトカ、人ハ天ノ理ヲ受ケテ生ル、モノユヘニ、是非々々ニコノ命ニカヘテ好ムモノガ、一色ナクテ叶ハヌモノナリ、人々己レヲ知ラスユヘニ、己レノ好ムモノヲ知ラスナリ、先第一ニ己レノ好ムモノヲ知ルベシ、扱己レガ身ノ好ムモノヲ、己レガ心ガサガスコトナレバ、知レイデ叶ハスコトナリ、好ムモノ知レタナラバ、其好ムモノヲ紙ト見テ、洪範

ノ骨組へ張付テ見ルナリ、テン／＼ノ好ムモノデナケレバ合點ガユカヌナリ、テン／＼ノ好ムモノナレバ、是非ニ今マデ疑フテオルコトモアルベシ、マタ己レガ發明シタルコトモアルベシ、コレヲ洪範ヘワリ付ケテ見タナラバ、骨組ヘワリ付ケル仕方知レルハヅナリ、一二ケ條ワリ付ヨフガ知レ、バ、アトハクワラリト分カルハヅナリ、福ニモイロ／＼アリ、大ワケニワタレバ五ツナリ、極ニモイロイロアリ、大ワケニワクレバ六ツニ分ルナリ、ユヘニ五福・六極トイフナリ、錢ノモフケヨフニモイロイロアリ、大ワケニワケテ、五ツニクバリツケテ見ルヨフニスルコト、骨組へ我紙ヲ張ル稽古ナリ、錢ヲ損スルノモイロ／＼アリ、大ワケニワケテ、六イロニクバリツケテ見ルベシ、コレモ何事ニヨラズ、天地間ノコトハ皆表裏ノ二ツアルモノナレバ、福ト極トナクテ叶ハヌコトナリ、錢金ノコトナゾハ、誰モ錢ヲモフケルハ好キナルモノナレドモ、ワケテ好ム人デナケレバワリ付ケヌナリ、錢ヲ損ヲスルコトハ、誰モ／＼コレコソ眞底イヤナリ、又一タイ德ヲスルハヨキコトナリ、センギセイデモ、不意ニモフケアリテモ、シラベオトシアリテモヨキモノナリ、損ヲスルコトハアシキコトナリ、センギセネバナラヌコトナリ、不意ニ損毛アリテハ大キニギヨウテンスルナリ、甚シキハ一命ニモカルモノナリ、シラベオトシアレバ、コレコソ大事ナリ、コレヲ先六極ヘワリツケテミルコトシ、如レ此ニ何事ニヨラズ、洪範ヘワリツケレバ、筋ハツキリト見ヘルユヘニ、禍ヲマスカレテ福ヲ得ルコト出來ルナリ、智トハヨフ福ヲトリテ、ヨフ禍ヲマスカル、コトナリ、付ヨフハ下ノ處ニ詳カニ語ルベシ



コレハ九疇ノケ條書キ綱目録ナリ、コノ下ニ其氣味アイ委細ニアルトコロヲ説クベシ、後世ノ人唯書ヲスラ／＼ト讀ミテ、今日ノ手ニ取リテ行フコトニカケテ見ヌユヘ、ケツコウナル書ヲザツト見テオクナリ、タトヘバサハリノナベヲ犬ノゴキニ用ヒ、金ノマロカセヲ鐵砲ダマニ用ユルヨフナルモノニテ、易ヲウラナイノ書ジヤト思ヒ、洪範ヲツクリツケノ法ジヤト思フハ、勿體ナキコトナリ

## 一五行

行ハ一トクダリニタクダリトイフ、クダリト云コトナリ、ケ條ナリ、人ノ智ヲ運用スル運用ノ仕方ヲ語ルハ、取リ付端ノナキモノユヘ、先ヅ人ノ世ニ生レテ出ルヨリノ理ヲナラベテケ條ヲバタツルナリ、是天地ノ間ノカラクリナリ、其カラクリノ仕掛ケトイフモノハ、作リコシラヘタルモノニアラズ、天地自然ノ理ナリ、ユヘニ天地自然ノ理トイフモノヲ知レバ、智ノ組立テヨフガ知レルナリ、天地自然ニアルモノ、内、第一ノ根本ヲ立テ、見レバ、水ト火ト土ト氣ナリ、今氣ニ陽ト陰トヲワケ、水・火・土・陰・陽ノ五ツヲ根本ニ立ネバナラヌユヘニ、此ヨリ天地自然ノ理ノ行ハレ方ヲトキテ見スベシ、先大ワリ五ツトシタルモノナリ

## 一曰、水

是其位ハ上ヘニ居リテ、下ヘクダルモノ、總本家ナリ、此ヲ理トイフハ、ドフモ下ヘクダラネバナラヌモノナリ、ドフモソフセネバナラヌワケデ、ソフスルヲ理トイフナリ、然レバトフモソフセネバナ

ラスモノヲ、ソフセズニ無理ニヤロフトスレバ、出來ソコナフニチガヒナキ理ナリ、然ラバ凡ソ天下ノ物ノヤワラカナモノ、貫目アルモノ、グナリトシクモノハ、人ニテモナニ、テモ、皆水ノ氣デ出來タルモノナリ、人ニモヤハリ水ノ氣ノカチタルモノハ、水ノ心ノ通りナリ、凡ソ天地間ニ大物ハ水・火・土ト三色アレバ、此三色ノ氣ノコリカタマリタルモノガ物ニナルナリ、物トハ人ヲハジメ禽・獸・草・木凡ソ天地間ニアルトアラユル物ナリ、水・火・土ノ氣ヲ等分ニ受タル人モアリ、水氣カチタル人モアリ、火氣カチタル人モアルナリ、凡ソ天地間ニアルモノ皆左様ナレドモ、今此書ヲトクニハ、人ノ心ヲ知ルコト第一ナレバ、人ニテイフベシ、人デイフニヘニ、大工ハ此書ニテ木ノコトヲ會得スベシ、鍛冶ハ此書ニテ金ノコトヲ會得スベシ、鳥屋ハ鳥ノコト、歌ヨミハ歌ノコト、鑪ツカイハ鑪ノコトニヨセテ合點スベシ、天地間ニ水・火・土ノ氣ヲ受ケ生ジタルモノハ、人ガ第一大イナルモノユヘ、人ノ心ニテイヘバ、アトハ皆ワカルナリ、扱人相ヲ觀ル人ガ、人ノ面ヘ五行ノ符牒ヲツケテ、其入ノ心ヲ推スコトアリ、アレガ甚近キコトナリ、唯金・木ヲ入レルユヘニ、シツクリトユカヌナリ、已デニ八卦ハ伏羲ノ作ナリトイヘリ、文王・周公・孔子モコノ八卦ヲ述テ萬物ノ心ヲ推シ、其吉・凶・禍・福ヲ推ストイヘリ、是モヨキ證據ナリ、如シ五行トワケタルガ、ウゴカヌワケヨフナラバ、五行デ推スハヅナリ、コレヲ八卦デオス、八卦ハ即四大ナリ、四大種ナリ、四元行ナリ、天ト風トハ氣ナリ、澤ト水トハ水ナリ、雷ト火トハ火ナリ、山ト地トハ土ナリ、是地・水・火・風・山・澤・雷・天ヲ注ノヨ

フニ加ヘタルナリ、人ノ面ヲオサバ四大ニ符牒ヲ付ケベキナリ、人相家ニテイフ金形ハ即チ氣形ナリ、木形ハヤハリ土形ナリ、扱水ノ氣ヲ多クウケタル人ハ柔ラカナリ、退クコトスキナリ、怒ルコトハ甚スクナシ、然レドモイカリタル日ニハ、火氣ノ人ヨリモ怒ルナリ、人ニハデキニアヤマレドモ、又デキニ己レガ意ヲ立ル、ヤハリ水ノ切レバ切レドモ、切リシマヘバ又デキニ切レズニオルヨフリ、如レ此皆水デオスナリ、物ヲ生ズルコトモ生ズレドモ、コロスコトモ殺スナリ、氣ノヤワラカナルユヘニ器用ナリ、ウツリハオソキヨフナレドモ、ナンデモデキル、人相家デ婦人ニハ水形多シトイフ、イカサマ女ノモチマヘナリ、陰ナリ、女ニモ火氣ノ女アリ、男子ニモ水氣ノ男子アリ、木ニモ草ニモ鳥モ獸モ、此三形ノ物ハツキリワカリテアルハ、天地間ノカラタリ、ゼンマイノ本源ガ水・火・土ノ三ヨリ出ルユヘナリ、扱物バカリニアラズ、事ニモ此三種アリ、喧嘩ナドニモ水形ノ喧嘩アリ、火形ノ土形ノ喧嘩アリ、談ジゴトニモ此三種アリ、天氣ニモアリ、國風ニモアリ、音イロニモアリ、何ニモカニモ皆アリ、コレヲダンク推シオボヘテ推ストキハ、智ズツト働クナリ、マダ面白キコトアリ、水ハナルホドステ、オイテハ、下ノ方ヘナラデハナガレヌナリ、サレドモ激シテアレバ、上ノ方ヘモユカヌデハナシ、水ノムマレツキガ上ノ方ヘアガル、ムマレツキトイフデハナケレドモ、仕掛ケニヨリテ上ノ方ヘヤル仕掛ニスレバユクナリ、人ニテモ草・木・禽・獸ニテモ、喧嘩・口論・用談ニテモ、水形ノ用談ガ火ノヨフニアガルコトモアルハ、水ノ激スル鹽梅ジヤト思フベシ、火トハチガフナリ、

水ノ上ノ方ヘユキタルナリ、水ヲヤメテ火ニナリタルニハアラス、激シテ上ミノ方ヘナガレタルナリ、  
激勢ツキレバ又元トノヨソニ下ノ方ヘ流ル、ナリト思フベシ、チヨイト見テ、是ハ水ノ談シ、是ハ火  
ノ談シトハヤフキメルハ危キコトナリ、ヨク／＼本源ヲ知りテアシロフベシ、サレバ本源ヲサヘヨク  
サダリテ、其氣ノウケドコロヲサヘ知レバ、ドフデモナル理ナリ、本源ガ水ナルニ、火ニアシラヘバ  
シゾコナフナリ、其氣ヲ受ル多少ヲ知ルコト第一ナリ、又マジリタル氣ヲ受タルモアリ、一タイ天地  
間ノ氣ノコリカタマル本源ガ水・火・土ノ三種ナレバ、全ク水ノ氣ヲウケタルモアリ、水ヲ五分、火  
ヲ五分ウケタルモアリ、水三分・火三分・土三分ウケタルモアリ、七分三分ニウケタルモアリ、至テ  
ヤワラカナル男ガ、酒ニエヒテツヨフナリタルハ、水ノ激シタルヨフナリ、ツヨキコトハケシカラズ  
ツヨフテ、事物ヲ碎クコト根コンザイ、流シテシマフト云フヨフニツヨケレドモ、酔ノサメタル日ニ  
ハ、水ノ落ルヨフニ急ニ怒氣ヒキテシマフ、一タイツヨイ男ノヨフニハ誰ニテモアシラワスハ、ヤハ  
リ水ノ激スルヲアシロフアシラヒ方ニスルユヘナリ、人ハウツカリトコレヲ見テオルユヘニ智肥ヘ  
スナリ、今コノヤワラカキ人ノ酒ニヨヒタルトキニハ、水ノ激スルヨフナルモノユヘニ、其アシライ  
ニスルガヨイト心ガツケバ、又大キニ此人ノ心ヲズツト此方ヘ取りテシマフコトモデキルナリ、且人  
ハ人ノアシラヒトインコトバカリ知リテ、物ノアシラヒモ、事ノアシラヒモ、ヤハリアシライヨフガ  
アルト云フコトヲ知ラスモノモアルナリ、是レハ天地間ノ本源ノ氣ノ所々ヘワケテユキタルガ、是ヲ



ウケタル物ト事トジヤトイフトコロヘ心付ヌヘナリ、漢ノ高祖ノ天下ノ取リヨフハ水ナリ、蕭何モ水ナリ、此方ニテハ楠モ水ナリ、大石モ水ナリ、賴朝。信長ハ水ニ乏シキ人ナリ、凡ソ勝敗アルモノニカ、リテ勢ヲトルハ、皆火心ノ人ニヨロシ、水心ノ人ニハヨロシカラズ、元逆ナレバナリ、火ハ逆ヲタスクルシワザ多シト知ルベシ、老子。釋迦ナドガ氣ト云ノモノナルベシ、自由自在ナリ、周ノ武王・孔子ナドハ土トイフ者ナルベシ、事モ物モ水。火ノ二種ハ多フテ、土氣ノ二種ハスタナシ、氣ハ天ナリ、土ハ地ナリ、二位ハ尊キ大イナル位ナリ、水。火ハ其ツギナリ、天アリテ後ニ地アリ、天。地アリテ後ニ水。火アリ、水。火ハ淺シ、ユヘニ見エヤスシ、土ハ深シ、大イナリ、氣ニ至リテハ變化ハカラレズ、變ナシ、ユヘニ別シテ氣ヲ推スコト心ノユルヤカニナル法ナリ、智ノワク法ナリ、水。火。土ノ心イキ一チ度ニハイヒツクサレズ、ダン。ニイヒトクベシ

## 二曰、火

火ハ陽ニ屬スルモノ、水ハ陰ニ屬スルモノナレバ、火ハ上席ニテ、水ハ下席ニ居ソナルモノナレドモ、水ガ上席ナルハ、高キヨリ卑キニ流ル、ハ理中ノ順ナリ、下ヨリ上ヘノボルハ理中ノ逆ナレバナリ、山ヘノボルハ骨オレテ、下ルハ骨オレスハ、理中ノ順ナレバナリ、順ハ宜シフテ、逆ハアシキトイフニハアラズ、順ハ易フテ多ク、逆ハ難フテ少シ、イフテ見レバ、怠惰ニハナリヤスク、勉勵ニハナリガタシ、然レバ人情ハズルケルガモチマヘニテ、ツトムルハ別ニ心ヲハツキリト持テバナラスコ

トナリ、ユヘニ水ハ退ク方ニテ、火ハ進ム方ナリ、優劣アルニアラズ、唯水ノ威光ガツヨキナリ、頼  
ユヘナリト思フベシ、ユヘニ陰陽ト云ヒ、地。水。火。風ト云ヒ、水・火・土・氣ト云フ、皆水ヲ上席ニ  
オキテ、火ヲ其次ニオクハ、理ヲ語ルトキハ、頼ヲ上ニ立ルユヘナリ、扱歐駱ニテハ國ニヨリテ四元  
行ヲ甚大切ニ立ル所多キ由、兩土ナドニテハ五行ノアリガタキコトヲサヘ知ラズ、印度ニテモ四大  
種ヲ重ズルコトヲ、國中ヘ知ラスルデモナキト見ユルナリ、歐駱ノ内ニハ四元行ヲ今日ノ用ニ立テ  
ルヨフニシタル所アル由、桂川氏ノ物語リナリ、至極ニヨキ工夫ナリ、扱四元行ヲ今日ノ用ニ立ル趣  
向ハ、水・火・土・氣ノ四ツノ内ニテ、己レガ氣ニ入りタルモノヲ一ツ定ムルナリ、或ハヤワラカナル  
コトヲ好ム男ハ、ワシハドフカンガヘテ見テモ、水ガスキジャ、水ハ至極面白ヒモノジャ、ワシハ水  
ガヒイキジャト思フハ、是コノ人ノ生ル、トキニ、水ノ氣ヲ多クウケタル人ナリ、ユヘニ其人ノ智ガ  
水ナルナリ、智ガ水ナルユヘニ、何事モ水ノ通りニヤルコ、ロナリ、唯平生ウツカリトシテイテ己レ  
ガ性ヲ知ラヌユヘニ、サガス手ガ、リナキナリ、歐駱ハコレヲ考ヘテ、己レガ面白イト思フモノヲ一  
ツキメルナリ、是レ己レガ性ヲ知ル工夫ナリ、扱ソレカラハ何事ニツケテモ、水ヲ己レガ性ノ手本ニ  
スルナリ、其手本ニナラヒテ今日ノ事ヲ取リ行フユヘニ、火キニ手ミジカニ行ヒヨフテ、事物ノトリ  
アツカヒヨフガヨフ知レテ、事モ必ズナルナリ、火ノスキナル男モ、土ノスキナル男モ、氣ノ好キナ  
ル男モ、コノ通りナリ、テン／＼ニオノレガスキナルコトヲハメテ、コレヲ定メニシテ行フテ見レ

バ、他人ト交リテモ大タイ少々言語シ、一日ト半日ト話談ヲシテ見レバ、人ノ流儀モヨフ知レルナリ、  
ユヘニ相互ニヨフシリ合フテイテ、喧嘩モデキヌ理屈ナリ、扱其人ガ死ンダルトキ、水ズキノ人ヲバ水  
葬ニスル、火ズキナル人ヲバ火葬ニスル、土ズキナル人ヲバ土葬ニスル、氣ノスキナル人ヲバ大木ノ  
枝ヘカケテオク、氣ヘ葬ルナリ、コレホドニ好ムコトデナケレバ、其一事ノ眞底ガ知レヌナリ、極々ノ  
スキナルコトデナケレバ、其事ヲサガス心ニモナラヌナリ、ユヘニ命ニカヘテ好ムコトヲ、四ツノ内  
ニテヨリドル、是レニヨリテ己レガ智迷ハズニ、各其好ムトコロノ元行ニテ、何事モ成就スルナリ、  
扱無理ヲヤラヌナリ、無理ニヤロフトスルハ筋ヲシラヌユヘナリ、水ノ筋ハケ様ニナラデハユカヌモ  
ノジヤ、火ノ筋ハケ様スルガヨイ、土ハケ様氣ハケ様トワケルハ、皆其各ノコロムトコロヲ知リタル  
ユヘナリ、コロムトコロハ即其人ノ性ナリ、己レガ性ヲ己レガ知リテ、其筋ヘミチビクユヘニ、ムマ  
クイカイデハ叶ハヌコトナリ、人ニ此四ノ性アルコトヲ知リテ、四元行ヲ手本ニシテミチビケバ、無  
理ナシニ成就スルト云フコトヲ知ルナリ、物ニモ此四ツノ性アルコト知レルナリ、又コレニツイテミ  
チビケバムマフユク理ナリ、事ニモ又此四ノ性アルユヘニ、コノ手本ヲ定本ニシテ取り行ヘバ、ムマ  
フユクトイフコト知レル、天下ノ人ト物ト事ノスヂ道ヲカリテ、其アシラヒヨフ上手ニナルヲ智者ト  
イフナリ、是四元行ヲ今日ノ用ニ立ル、至極ノ面白キコトニテハ無シヤ、凡人物事共ニ火ノ性ヲウケタ  
ルハ、火ノアシラヒニテアシラヘバ、一向ニチガフコトナキナリ、己レヲ火ノ性ヲウケタリト思ハバ、

火ヲ養フ心モチニテ養ヘバチガフコトナシ、兎角他ノ人物事ニテモ、己レニテモ、無理ニヤラヌヤフ  
ニスルコト第一ナリ、ヘシマゲ、ヘシツケスルコト其性ニチガフテアシ、別シテ火ノ性ヲウケタル  
ハ、ヘシツケレバナヲ／＼サカンニナルキミアリ、譬ヘバ火ハ水ニアヘバシヅマリキユルナレバ、火  
ノ性ヲウケタル人ノ怒リタルハ、コノ方ノシカケヲ水ニサヘスレバ、火ノ人ヨワルナリ、己レ火ニテ  
怒ル時ハ、水ノ男ト話スレバ、己レガ怒リシヅマル、是等ハ世人ノ随分知リテオルトコロナレドモ、  
平生ウツカリトシテコレヲ用ユルコトヲシラヌハ、無理ヘサヘニヘサヘントスルユヘナリ、ヤハリマ  
ワリ路ナリ、コノ五行ヲ知リテヤルコトヲセヌユヘナリ、木ヲウヘ魚ヲカフモ、皆其ノ氣ヲウケタル  
筋ヲ知リテ養フベキナリ、大工ガ木ヲツカヒ、鍛冶ガ金ヲツカフ、皆コノ理ナレドモ、唯ウツカリト  
知ラズニスルコトユヘニ本源ナシ、ユヘニ勇ナラズ、此レニチガヒナイト思フテスルト、大カタコノ  
ヨフナコトデアロフト思フトハ、勇怯大ニチガフユヘニ、成就ノ遲速アリテ、成敗盡クワカル、コレ  
智ノ働キシソムル稽古ナリ、智者ハ智ヲ養フト養ハヌトハ、己レガ損ト徳トアルコトナリ、萬事・萬物、  
萬人皆智ヲ養フコヤシヲ大セツニスベキナリ

三曰、木、四曰、金

萬物ノウチニテ一項別ニテ、物ノ大將ヤクヲ勤ムルモノヲ五ツナラベルホドナラバ、風ヲ出スベキハ  
ヅナリ、金。木ヲ出スナラバ、石ヲ出サネバナラヌナリ、金モ木モ石モ同格ナリ、風ハ其上席ノモノ



ナリ、コノ金。木ヲ金ト本ナリト思フテ解スレバ、聖人ノ意ニハ合ハスナリ、ニヘニコノ以下皆三ト二トフタカワニワカレチアルナリ、コノ金。木ハ氣ノ字ヲ二ツニワケテ、陰陽ヲカタドリタルモノナリ、木ハウルオヒアリテ陰ナリ、金ハカワキテ陽ナリ、木ハ光リナフテ黒シ、金ハヒカリアリテ、白シ、木ハヤワラカナリ、金ハカタシ、皆陰陽トハ氣ノ名ナリ、氣トハ活キテオルユエンノモ<sup>ヒカルコトナリ</sup>ノヲ指テイフナリ、心トイフヨフナルモノ、カロキモノナリ、心ハ思惟シテ考ヘルモノ、名ナリ、氣ハ一イキナルモノナリ、アタ、カキ氣アルユヘナリ、ツメタキハ、ツメタキ氣アルユヘナリ、草木ノノビルハ、ノビル氣アルユヘナリ、此レ心トイフ字ノカロキ字ナリ、クワシタイヘバ、氣ハカロシ、心ハオモシ、一トタバネニイヘバ皆氣ナリ、イキテオルユエンノモノヲ指シテイフ字ナレバナリ、イキテオルトイフハ、死生ノ生ノ字ニアラズ、死セルモノニハ死セル氣アリ、腐レタルモノニハ腐レタル氣アリ、氣味トイフコトナリ、氣質。氣風ナドイフ氣ノ字至極ヨロシ、ユヘニ風ガ氣ノトントノ大將ナリ、天地間ノ物ハ皆形アリ、形アルモノハ皆氣アリ、唯氣ハ形ナキモノニモアルコトアリ、カリソメニモ形アレバ形ノ心アリ、石ハ石ノ心アリ、木ノ皮ハ木ノ皮ノ心アリ、枯魚ハ枯魚ノ心アリ、石ヤ枯魚ガ生テオルトイフニハアラズ、枯魚トイフモノハ心アレバ、是枯魚ノ心イキテオルヨフナルモノナリ、箱ハ箱ノ心アリ、石燈籠ハ石燈籠ノ心アリ、箱ハ木ノイキテアルノデハナキナリ、石燈籠ハ石ノイキテオルノデハナキナリ、箱ダヅレテ用ニ立タヌユヘ、垣根ニスレバ垣根ノ心アリ、垣根ハ箱ノ心アル

ニアラズ、其形ニナレバ、形ニヨリテ心其形ニ居住スルナリ、石燈籠クヅレテ用ニタ、ネバ、香ノ物  
ノ重シニスル、香ノ物ノ重シノ心ナリ、ユヘニ氣ハ魂トイフコトナリ、魂ハ形ニヨリテ居住スルナリ、  
魂ガ大名ニ入レバ大名ノ魂ナリ、樵ニ入レバ樵ノ魂ナリ、ユヘニイキテオルユエンナリト云フ、風ハ  
氣ノ大將ナリトイフハ、風ハ天地ノ氣ナリ、天地ノハダカ氣ナリ、ハダカ氣トハ、物ニヨラヌ裸體ノ  
氣トイフコトナリ、物々皆氣アレドモ、目ニミヘヌモノユヘニ、人ニ知ラセニクキナリ、風ハヒトリ  
ダチタル氣ナリ、ユヘニコレガ氣トイフモノジヤト、指シテイフテキカサル、ナリ、擧物アレバ必氣  
アレバ、氣ハ又水。火。土ヨリモズツト大イナルモノナリ、ユヘニ老子ニハ水。火。土。氣トイフ所ヲ天。  
地。人。道トイフ、天ハ火ニアタリ、地ハ水ニアタリ、人ハ土ニアタリ、氣ハ道ニアタルナリ、水。火。  
土ハ實位ナリ、氣ハ空位ナリ、天。地。人ハ物ナリ、氣ハ事ナリ、ユヘニ氣ヲ支配スルトコロ甚多シ、  
人ノ體ハ物ナリ、心ハ氣ナリ、體ハ心ノ家來、心ハ體ノ君ナリ、心ノアヤツリ次第ニテ、體ハ貴ト  
モナリ、賤トモナリ、福ヲモ取り、禍ヲモ取ルユヘニ、コノ下ニ金。木ハ自由ニナルト云フコトヲ  
述タリ、氣ハ物ヲ自由ニスルモノニテ、自由ニナルモノユヘナリ、今水デ物ヲアロフハ、水ノ體ヲ  
ツカフナリ、水デ車ヲマワシテ米ヲツカスハ、水ノ氣ヲツカフナリ、水ノ體ヲツカフカラ見レバ、  
水ノ氣ヲツカフハ巧ナルモノナリ、毒藥ハ皆草木ノ氣ヲ使フシカケナリ、足ノスコヤカニナルモ、心  
ノ疲レヌモ、腹ノヘラヌモ、息ノキレヌモ、皆物ノ氣ヲカリテスルコトナルベシ、人ノ目ヲク라마ス

モノ、人ノ物ヲスレヲスルヨフニスルモ、ウツカリトサスルモ、皆物ノ氣ヲカリテスルコトナルベシ、  
今ノ忍ビノ術ナド、イフハ、世ニモ眞ノ術ヲ得タル人ナケレバ、鶴モナラヒタルコトモナケレドモ、  
多クハコノ氣ヲツカフコト、見ユルナリ、毒トハ氣ノコトナリ、一體ハ毒ガ本字ナリ、艸ニ從ヒ、土  
ニ從、母ニ從フ、草ガ土ニハエテ母ノ氣ヲウケテ、甘フモ辛フモナルト云フ字ナリ、ユヘニ鄭玄ハ毒  
ハ草ノ辛苦ナルモノト解セリ、辛モ苦モ氣ツヨキモノユヘナリ、古ヘノ高僧ノ奇ナルコトヲスルハ、  
氣ヲツカヒタルモノ、ヨフニ見ユルナリ、智ノ極々クワシキナリ、扱世ノ申ニ居ルニモ、ヤハリコノ  
氣トイフモノヲ知リテツカフコト甚早シ、忍ビノ術ナドハ今ノ人ノイラスコトナリ、骨ヲ折テサガス  
ニ及バヌコトナリ、今ノ氣ヲツカフトハ、人ノ心思ヲ此方ノ心思デカヘルコトナリ、己レガ心思ヲ己  
レガ心思デカヘルコトナリ、是第一ノ入用ナリ、隣家ノ翁ガ後妻ノ子ヲ愛シテ前妻ノ子ヲ憎ム、コレ  
コノ翁後妻ノ氣ニアタリタルナリ、コノ氣ヲサマヌニハ、ズツトツヨキ氣ヲモツテユカネバサメネド  
モ、デカニモツテユケバツキカヘス、ヤワラカナレバキカズ、極々ツヨキ氣ヲ至テヤワラカニ入ル、  
コトハ、皆心ノアヤツリナリ、或ハ隣家ノムス子大山師ニダマサレテ、父ノ身上ヲクヅサントスル、是山  
師ノ氣ニアクリタルナリ、或ハ隣ノムスコガ大ニアホフデ、ベラリ〜ト父祖ノ業ヲラチモナフ無ク  
ス、是ハ氣ノ不足ナルナリ、コレヘハ氣ヲ入レネバナラヌナリ、藥ヲ飲スルモヨロシ、イヅレ氣ノ  
コトナリ、氣ノネデレタルハ、氣デナオサネバナオラスナリ、或ハ己レガ心ガドフモ傾クトコロアリ

テ、片カシギニ好ムコトアリ、惡ムコトアリテ、中ニナラヌト思フ時ハ、氣ノカシギタルナリ、ユヘ  
ニ又氣ヲ以テ其カシギヲ嬌メ直サネバナラヌナリ、以上ハ皆人ノ氣ヲツカフ仕掛ケナリ、氣ヲ使フニ  
ハ氣ヲ知ラネバナラヌナリ、氣ヲワケテ見レバ、イクツニモ分レドモ、大ワケハ二ツアリ、コレヲ陰・  
陽ト云フ、陰・陽ハ符牒ナレバ、コレガ陰、コレガ陽トハツキリト見ユルトイフヨフナモノニハアラ  
ズ、天デイフテミレバ、夏ノ、晝ノトイフハ、陽氣ナリ、冬ノ、夜ノトイフハ、陰氣ナリ、サレドモ符牒  
ノコトナレバ、キマリタルコトナシ、夏ノ水ハ陰氣ニテ、冬ノ湯ハ陽氣ナリ、燭ノ一バイツキタル夜  
ノ座敷ハ陽氣ニテ、土マヘヲウチタル晝ノ中ハ陰氣、イクエモ、イレコニナリテオルナリ、人  
デイヘバ、喜ト怒トハ陽ニテ、哀ト懼トハ陰ナリ、左レドモ喜怒ノ中ニモ陰アレバ、哀懼ノ中ニモ陽  
アリ、聖人ノ氣ヲツカフハ又上手ナリ、心ガ氣ヲツカフナリ、喜怒ノマタ心中ニ發セヌヲ中トイフト  
イヘリ、コレハ心ノ字ノ解ナリ、心ニハ喜怒ハナキナリ、靜ナルヲ心トイフ、動クヲ氣トイフナリ、  
扱發シテ節ニアタルヲ和トイフトイヘリ、和ハ鹽梅ヨク入レアフテ、吸物アンバイノ醬油ト水ト一ツ  
ニナリテ、ジユンジユクシタルコトナリ、喜怒スベキトキニ、喜怒スベキホドニ喜怒シテ、ホドヨク  
ユクトイフコトナリ、コレ心デハ喜怒セズニ、氣ヲツカヒテ心ガ氣ニカリソメニ喜怒サスルナリ、コ  
レハ己レガ氣ヲ己レガ心デツカフ法ナリ、己レガ心ヲ己レガツカフハ、ツカヒヨサソウナルモノナレ  
ドモ甚六ヶ敷モノナリ、兎角心ガ氣ノ方ヘ引コマル、モノナリ、腹ノタツハ氣ナリ、腹ヲ立ツマイト



思フハ心ナリ、タツマイト思ヘドモ、ドフモ立ツハ心ノ氣ノ方ヘ引コマレタルナリ、コレヲダシム、シユギヨウスレバ、少々ツ、心ガ氣ヲツカフヨフニナルナリ、人ノ氣、物ノ氣ヲツカフハ、ゼンタイ己レガ氣己レガ心トハ別ノモノユヘニ、引コマル、コトハナケレドモ、又己レガ物デナキユヘニ知レスナリ、凡ソツカフ方ハツカハル、モノヨリハ、倍ノ餘モ大キフナケレバナツヌ理ナリ、倍ノ餘モ大キフテモ、無理ニヘサヘツケテツカワントスルコト甚ワロシ、家來ハ主人ノ權ノ十分一ノモノナレドモ、主人無理ニヘサヘツケレバ、家來合點セスナリ、養フテツカヘバ、家來ハ主人ノ自由ニナル、チカラヅクデハ自由ニナラヌト云フキミアリ、況ンヤ心ト氣トハ、上役ト下役トチガフホドノチガヒナリ、ヤ、モスレバ氣ガ心ヲツカフナリ、今大願ヲ發起スルハ心ナリ、人々大願ナキモノナシ、或ハ天下ニ名ヲアゲタイトカ、或ハ田地ヲ澤山ニフヤシタイトカ、或ハ金ヲスサマジフ持タイトカ思ハヌ人ナシ、コノ心即根本ノ心ユヘ、心ナリ、左レドモ或ハ金銀財寶ノ爲、或ハ婦人女子ノ爲ニコノ心ヲトグズ、或ハ飲食遊逸ノ爲ニコノ心ヲトリ失フトイフハ、皆氣ガ心ヲヘサヘツケテ、己レガ權ヲフルフタルナリ、ユヘニ氣ヲバズイブント養フテ、氣ノ怒ラスヨフニスルコト第一ナリ、孟子ノ養氣トイフハコレナリ、孟子ノ養氣モ智ノ湧クシカケナリ、心ヲ大セツニスルユヘニ、氣ヲ養ヒテ心ノジヤマヲセスヨフニスルコトナリ、氣ヲ養フ法ハ下ノ三德ノ條下ナドニ委細ニアレドモ、大タイハ氣トイフモノハ、養ヒヨフデ又ミチビキヨフノナイデモナキナリ、タトヘバ今朝夕ノ飯ヲ喰フニ、氣ノ思フ通りニシテオケバ、

イツデモ大テイハ氣ニイラスナリ、飯ト汁デ喰ヘバ、ヒラザラガホシイト思フ、ヒラザラガアレバ、  
燒物ガナイカラワルイト思フ、燒物ガアレバ、吸物ガホシイ、二ノ膳ガホシイト思フテ、限りモナフ  
不足ガアルナリ、コレハ氣ナリ、コレヲ心ガ養フニハ、極々ノ貧ナル人ヲコ、ヘダシテクラブルナリ、  
平生ニヤフヤク香ノ物バカリデクフテ、ウレシガル人、或ハ鹽ヲナメテ粥ヲクフテ、ウヘテ死ナスヲウ  
レシガル人ナドヲコ、ヘナラベテ見スルナリ、或ハヒダルフテモ喰フコトノナラヌ男ナドヲ、コ、ヘ  
ズラリトナラベテオキテ氣ヲ見スルナリ、コノ人々ナドカラ見タラバ、難有フテ涙ガコボレルホドナ  
ルベシ、今マデハ汁ト飯ガイヤデナラナンダノガ、難有フテ涙ノコボル、ヨフニ變ズルハ、畢竟心ガ  
氣ヲ養フテ、如此ニカヘタルナリ、或夜行ナドスルニ、急雨ニ逢フテ大キニ窘ルトキハ、氣甚ダ困苦  
スルユヘニ怒ルナリ、木ノ下ナドヘ雨ヤドリヲスレドモ雨霽レズ、ハキモノナドモスギ、尻ヲカラゲ  
テモスレル、猶々怒リテ唯怨ムナリ、怒ルモ怨ムモ氣ナリ、コレヲ心ガ養フニハ、畢竟人ノ世ニ居ル  
ハ皆困苦ナリ、唯其困苦ヲトリマワシテ、困苦ト思ハヌヨフニスルガ智ナリ、困苦ヲ困苦ト思ハヌハ、  
困苦デナキナリ、スレバ世ニ困苦ハナシ、世ノ中皆困苦ニテ、皆困苦デナキナリ、ツマルトコロハ執  
行ノタルト、タラストナリ、暗夜ニ急雨ニ逢フハヨキ執行ナリ、ワザ／＼暗夜ニ急雨ニ逢ヒニ出ラル  
ルモノニアラズ、フトケ様ニ逢フハ、執行ノ積ムトコロナリ、兎角困苦ノコトニ逢ハネバ、困苦ニツ  
キマワサル、ナリ、困苦ニツキマワサレヌハ、平生困苦ニ逢フテ狎レタルナリ、困苦ニ狎レバ困苦ナ

シ、困苦ナキハ目出度コトノ頂上ナリト思ヘバ、怒怨ノ氣ドコヘカユキテ、今少シツヨキ雨ノ雷ナドノマジリタル、ヒドキ困苦ヲ執行シタキ心ニナルナリ、又怨怒シタルトコロガ、何モ困苦ニ救フトコロアルニアラズ、怨怒ハタワケノコトナリト思フハ心ナリ、是心ガ氣ヲ養フテ、惡事ヲ善事ニカヘタルナリ、コレヲ己レガ心ガ己レガ氣ヲ養フトイフナリ、人ノ氣ヤ物ノ氣ヲツカフモ、コレニコトナルコトナシ、皆ステルモノヲ役ニタ、ス法ナリ、天下ニハ棄物ナシ、コレハ棄物ナリトイフハ、マダマダサガシテ見ヌユヘナリ、コレハ養ヘストイフハ、マダ〱養ヒヨフヲサガサスナリ、アノ人ハツカヘストイフハ、マダ〱理ヲザツトヤツテオクユヘナリ、ナヲ又下ノ條下ニテ委細ニ見ルベシ、人相家ニテ金形ニハ敗レナシト云フコト面白キコトナリ、金ハ水・火・土ヨリ見レバ、ズツト下席ノモノナリ、水・火・土ニ敗アリテ、金ニ敗ナキコトアルベキヤ、上ニモイフ通り、金形トイフユヘニ解シニクキナリ、氣形ナリ、氣ハ形ナキモノユヘニ敗レナキナリ、火ハ水ニマケ、水ハ土ニマケ、土ハ又水ニマケ、火ニマケル、解ルモ、煎ヘルモ、自由ニナルナリ、唯氣ハマケルコトナキユヘニ、氣ニハ敗ナキナリ、スデニ五行相克トイフモノニ、金ハ火ニマケルトイフテアリ、火ニマケルモノガ何ノ敗ナキコトアラシヤ、氣ノ敗ナキトイフトコロハ至極ヨフ見タリ、唯氣トイフベキヲ金トイヒタルハ、大キニ人相家ノ五行トイフ名ニマヨヒタルナリ、凡ソ人相家ニカギラズ、醫家ヲ始メ諸ノ技藝家、五行トイフユヘニ用ニタ、ヌナリ、四元行・四大種・四大トイフタラバ、クワラリトワカルコトナルベ

シ、ユヘニ今金、木ノ二ツヲ合セテ陰・陽ノ氣トス、氣バカリハ陰・陽トワケネバツカフトキニツカヒガツテアシクテ、早く合點ユカヌユヘナリ

# 五曰、土

コノ篇ノ立カタハ水・火・氣・土ト立タリ、四元行・四大種・四大トモニ水・火・土・氣ト順ニ立ツ、水・火・土ハ實位ナリ、上・中・下トイフモ同ジコトナリ、氣ハ空位ナリ、活物ナリ、上・中・下ノ間ヘハサマルベキモノニアラズ、水・火・土・氣ト立レバ至極ウケトリヨフテヨシ、扱土ハ中ノ位ナリ、火ハ下ヨリ上ル理ヲサシテイフ、水ハ上ヨリ下ル理ヲサシテイフ、土ハ中ニイテ動カヌ理ヲサシテイフ、コレニテ理ノ大アラマシハスムナリ、氣ハトント外ニイテ、上・中・下ノウチヲ自由自在ニカケマワリテ、其ノ時々ノ當用ノタルヨフニ働クモノ、理ヲサシテイフタルモノナリ、コレニテ靜・動トモニ理ヲ括盡シタルモノナリ、火モ水モ小手ノキ、タルモノナリ、土ハ一向ニ小手ノキカヌモノナリ、ドツサリトシテウゴカヌモノナリ、小手ノキクノハ才子ラシキモノナリ、ドフカ見タルトコロハ智ラシキモノナリ、小手ノキカヌハズンドオソクサヒモノナレドモ、シマヒニシラベテ見レバ、小手ノキカヌホウガ勝利ヲウルモノナリ、是ハ土ニテ、モトハ此水・火ヲ兩方トモニタクワヘ持テオルホドノ大イナルモノ、トコロナルベシ、ユヘニ土ノ性ヲ受ケタルモノヘ、小手ノキクコトヲ強ルハ無理ナリ、下手ナリ、己レガ土ノ性ヲ受ケタリト思ハバ、小器用ナル小手ノキクコトヲスルコトハ、大キ



ニヒマツブシナリ、出來ヌナリ、水ヤ火ノ物ニツクコトノ早フテ、チラリ／＼トヌケ目ナク働キマワ  
ル所ト、土ノウゴクコトモナラズ、チラクラト働クコトモナラズ、物ニナジマヌトコロナドヲ、ヨ  
クヨク合セテ見ルコト術ナリ、ソノカワリニドツシリトシテウゴカヌトコロ、大キナルトコロ、物  
ヲ生ズルトコロヲ見ベシ、是水ヤ火ノチラクラト働クハ、全ク土ト云フモノ、アル御蔭ナリ、イフテ  
ミヨフナラバ、働ク人ヲツカフニハ至極ヨロシ、己レガ出テ働クニハ、甚勝手アシ、ト云フヨフナル  
氣味ナリ、物ナラバ器用ニツカフ心ニテハトント用ニ立ズ、ドツサリトシタル方ヘツカヘバヨロシキ  
ナリ、手ヲツカフヨフニツカヘバツカワルレドモ、猫ヤ鼠ヲツカフヨフニツカヘバ、何分ニモジレタ  
キバカリデ、自由ニナラヌト云フキミナリ、今日ノ用事ヲタス上ニモ、ナンボモアルコトナリ、火形  
ノ用事モアリ、水形・氣形・土形ノ用事アリ、其用事ノ目キ、ヲ始メニトクト見テ、キメテオキテカ、  
レバ驚クコトナク、退屈スルコトナク、手ハヅノチガフコトナシ、ユヘニ智者ハ心常々活キテオルナ  
リ、心ブラリト死ンデオリテハ、何事モトリハズスナリ、後世ノ儒者ニハ或ハ心ヲ書物ニアツケテ、  
智ヲ文字ニアツケテオク人モアリ、書ハ死物ナリ、文字モ死物ナリ、書ニノベテアル意ガ活キテオル  
ナリ、文字ニフクミテオル意ガ活テオルナリ、死物ヲカタク守リテオルヲ學者トオボユルユヘニ、儒  
者ニハ用ニタ、ヌ人多キナリ、活キタル意ヲトル人ヲバ、カヘツテ奸智ノ、佞人ノトイフテ、聖人ノ道  
ニソムタ人ナリトイフハ、オカシキコトナリ、カタク書ト字トヲマモリテ、活キタル意ニカマワヌ人

コソ、聖人ニジムキテオルナリ、其モトハト云ヘバ、死物ヲマモルハ誰ニテモデキル、ゾウサモナキ  
コトナリ、活キタル意ヲ汲ムト云フハ出来ニクキコトナリ、出来ニクキ方ヲステ、出来ヨイ方ヲス  
ルハ無性ナルナリ、無性デハ智ノ詮議ハ出来ヌナリ、後世ノ儒者ノ五行ナドノ合點ノユカヌハ其ハヅ  
ノコトナリ、心デ汲マネバナラヌコトナリ、唯五行トイフテ五ツナラベテイヒテオキテ、ソレデソノ  
マ、ニヨミテオキテ、何ノ爲ニカキオキタルコトヤラ知ラヌト云フハ、タワヒモナキコトナリ、箕子モ  
骨ヲ折リテコレヲ武王ニ傳ヘ、武王モ大ニ喜ビテコレヲ箕子ニツタワリテ、大祕書大寶物ニシテ、後  
世マデイタヅキテ、コノ洪範ヲヨミテ、ソノワケハシレヌト云フテヨカラシヤ、一向ニタワヒモナキ  
コトナリ、皆意ヲ以テムカヘテ汲ムコトナリ、ハヤクイヘバ、水トハ水ノコトデハナシ、火トハ火ノ  
コトデハナキナリ、コ、ロイキガ水ノコ、ロイキジヤトイヘバ、活キテオルナリ、水トイヘバ水ト心  
得、火トイヘバ火ト心得ルハ、皆書ト文字トニク、ラレテ、其外ヘウゴカシテ見ルコトノナラヌ人  
ノ云フコトナリ、ウゴカシテ見ルコトガナシネバ、範トイフモノニアラズ、範トハ一ツカタニテ、イ  
クツモデキルトイフコトナリ、外ヘウツセバウツサル、ト云フ名ナリ、人ノ土性モ、物ノ土性モ、事  
ノ土性モ、皆土ト云フコトニハアラズ、其範ナリ、イガタナリ、天地間ノ氣ヲ三ツニワケテイフ、大  
範ハ三ツアルユヘニ、コレヲ水・火・土ニ配シタルナリ、凡ソコノ後ノトコロヲヨムニモ、工夫思慮  
ノヒツツカヌヨフニヨムベシ、心ヲ死物ニセズニ、心ヲ活カシテオキテ、ウゴクヨフニ、スワラスヨ

フニシテ、イロ／＼ノ事物ヘ心ヲハシラセテヨムベキナリ、天地間ノ人・事・物ノコトナレバ、其マ  
チ／＼ナル所ハイヒツクサル、コトニアラズ、ミナヨム人ノ心デ、己レガハコビテ、己レガ範ヲイロ  
イロニウツシテ見ルコトヲ執行スベキナリ、コマカキコトハ後ノ條下ニテ見ルベキナリ

洪範談卷之上終

## 洪範談卷之中

水曰ニ潤下、火曰ニ炎上、木曰ニ曲直、金曰ニ從革、土爰稼穡

勢州ノ四日市ノ本陣ノ主人ニ易ヲ讀ム人アリ、其人ノイヒシコト今ニオボヘテオルナリ、面白キハナシナリ、其人ノ知リタル人川ヲワタル、前夜ニ易ヲトリテ見タルニ、大川ヲ渡ルニ利アリトイフ卦ヲ得テ、其翌日川ヲワタリタレバ、中流ニテ大キニ難儀ナル目ニ逢フテ、ヤフヤクカラキ命ヲ助カリテ、向フノ岸ヘハイ上リタリ、此人ハ易ヲシラヌ人ナリ、大川ヲ渡ルト云フハ、大川ヲ渡ルコトニテハサラノナキナリト云ヘリ、又其人ノ知リタル人、友ダチニ相談スルコトアリテ易ヲトリタルニ、西北ニ朋ヲ得トイフ卦ヲ得テ、己レガ家ヨリ西北ニアタリタル友ダチノ所ヘユキテ相談ヲシタルニ、其友大キニ欺キテ莫大ノ損金ヲシタリ、西北ニ友ヲ得ルトハ、西北ニ友ヲ得ルト云コトニテハナキナリトイヒタルコトアリ、甚面白キコトナリ、世人ノ書ヲ讀ムハ、皆コノヨフナル類ナリ、コヽロイキヲトルト云コトヲ知ラズ、書ニアル通りニ心得ル人多シ、其人ノヨフニ易ヲ讀ミテハ、大キニチガフナリ、凡ソ洪範ヲ讀ムニハ、コノ本陣ノイヒタルコトヲ少シモワスルベカラズ、皆浮ケテコヽロエテイネバナラヌナリ、扱潤ハウルヲナリ、潤下ハ水ノ性ナリ、扱ト云フト云フハ、水トハ潤下ノ物ヲサシテ



イフコトジヤトイフコトナリ、水ノタクサニアリアマリテ、外へ及ブラ潤トイフ、下へトクダリテ  
ウルホヒ、シミテヒロガルトイフ心ナリ、凡ソ水ノ性ヲ得タルモノハ、人ニセイ、事物ニセイ、コノ  
心イキニトリアツカヘバ、チガイハナキナリ、コノ心ニテミチビケバ成ルナリ、コノ心イキニツムケ  
バ、骨バカリオレテナラスナリ、下ヘクバリテ下デヒロガルコトナレバ、古人ニタトヘバ張良ナドナ  
ルベキカ、イヅレ智者ニテ人ニ罪ヲウケズ、王ヲ辭シテ侯ヲトル、郡ヲ辭シテ縣ヲトリテ、丈夫ヲフ  
ム人ナルベシ、商ゴトナラバ、下直ニシテ數ヲウルガヨイト云フヨフナル心イキナルベシ、用談ナラ  
バ、下カラ出テ角ノナイヨフニスルト云フヨフニ、水ト云フ心イキヲ何ニモカニモ走ラセテツカフ、ツ  
カヒナラヘバ自然ニ心ニウカム、テツキリアタラヒデモ、必ズソコラキンジョニチガヒナケレバ、味  
ヲ覺ヘルナリ、カ、リハヨワイヨフデ、大キニツヨフナル、激スレバズツト上リテクルナド、唯此  
水ノヨフスヲ今入用ノコトヘウツス鏡ナリ、炎ハ炎天ノコトナリ、カワクナド、云コ、ロナリ、火ノ  
性ハ物ヲカワカシテ、上へトノボル勢ノ猛ナルモノナリ、コレモ心イキノトコロハ、水ニカワリタ  
ルコトナシ、ツカヒヨフモ水ノ心ヲ火ヘウツスバカリナリ、火ヘウツシテ見レバ、誠ニ水ノウラハラ  
ナリ、トントサカサマナリ、今ノ人他人ニセイ、己レニセイ、事物ニセイ、其性ヲトクト得ズニ、ヤタ  
ラニヤツテ見ルコト甚アヤウキコトナリ、如シ水ノデキナルトコロへ、火ノアシラヒヲモツテユケバ、  
大キニシクジルハヅナリ、コレニテ事ノ敗レ物ノナラヌトコロ、他人ノ氣ニアタルコトライヒ出スコ

ト、己レガ出来ヌコトヲ己レヘシユルナド考ヘ見ルベシ、至極アリソフナルコトニテハナシヤ、火ノ性ヲウケタルハ、古人デイヘバ越前ノ勝家ナドナルベシ、庶人ノ身代ノ大キナルモ、衰フルモ、アシラヒガチガヒタルト、合ヒタルトノ別ナリ、名高キ町家ナドノ急ニ大富ヲ起シタル人ハ、己レガ家ノアシラヒ、他人ノアシラヒ、事物ノアシラヒ、シツクリト理ニ合ヒタルユヘニアラズヤ、世人ヨクイフコトアリ、昔ハ金モフケガデキテ、今ハ金モフケノ出来ヌハ、時節ノアシフナツタルナリトイフ人アリ、大ナル了簡チガヒナリ、タトヘバ寶曆ノ世ノ人ハ、世人ノ智ノ長サガ皆一尺アリタルナリ、金ヲモフケタル人ノ智ハ二尺アリタルナリ、世人ノ智皆一尺ナルニ、此人バカリ二尺アリタルユヘニ、世人ハモフケルコトガナラスニ、此人ハモフケタルナリ、文化ノ世ノ人ハ、智ノ長サガ皆々三尺モアルナリ、シカルニ今モフカラヌト云フテコバトライフ人ハ、ムカシヨフモフケタル人ノ智ホド二尺アルナリ、イカサマ智ノ長サハ、ムカシ家ヲ起シタル人ホドアレドモ、昔ハ餘ノ人ノ智ガ唯一尺ナラデハ無リシユヘニ、此人ノ智世人ノ智ヨリハ一尺ナガ、リシユヘニモフカリタルナリ、今ハ二尺アレドモ、世ノ人ノ智ガ三尺アレバ、是此人ノ智ガ世人ヨリハ一尺ミジカイト云フモノナリ、世人ヨリモ一尺ミジコフテ何トテ金ガモフカロフゾ、此人如シ寶曆ノジブシニ生レテオリタルホドナラバ、二尺ノコトヲオイテ、五寸ナラデハナキ男ナリ、昔世ノ中人皆一尺ナリシトキニ、唯一人二尺アリタル男ガ文化ノ世ニナリタラバ、決シテ五尺カ六尺ノ智アルベシ、世ノ流行ノダンノ巧ミニナルハ、小兒ノ

ソダツヨフナルモノナリ、一町内ノ小兒皆五歲ナレバ皆イロハラカクナリ、其中ニ一人國ヅクシヲカク小兒ガアンバ、是スサマジキ小兒ナリ、今ハ皆十歲ナレバ皆立派ニ一筆啓上ヲカクナリ、コノトキニ國ヅクシヲヨフノカキテ自慢スルハ、オカシキコトナリ、昔ハ餘ノ小兒皆イロハユヘニ、國ヅクシヲカク小兒ガスサマジカリシナリ、今ハ皆一筆啓上ヲカクニ、此小兒ハヤツト國ヅクシヲカキテ、ナゼニ人ガワシヲ譽メストイフテ、クヤシガルニチガフコトナシ、寶曆ノ世ハ人ガ皆五歲ナリ、今ハ世人ガ皆十歲ナリ、ユヘニ今ノ世ニテモ、ヤハリスサマジキモノハ金ヲモフケルナリ、唯寶曆ノ人ノスルコトト、今ノ人ノスルコトトハ、事ガチガフテオナリ、寶曆ノスルコトヲシテオリテハ、モフカルトコロヘイカズ、身代ヲツブサヌガ見ツケモノグラヒノコトナリ、何シニ人ガホメヨフゾ、皆寸法チガヒナルユヘナリ、昔ノ五寸ヲ今ハ一尺トサ、ネバアタラヌナリ、ヤハリ五寸トサシテイレバ、流行ニオクレルユヘ、智モ死テアトヘンノニナルコト皆活智ナキユヘナリト思フベシ、コレニテ家ヲ起ス人ノ活智アルコトヲ知ルベシ、扱火ノ性ヲ得タルモノヲアシロフハ甚六カシキコトナリ、永ハヤワラカキモノナリ、土ハウゴカヌモノナリ、火ハ猛烈ノモノナレバ、人ニセイ、事物ニセイ、至ツテアシラヒニクシ、上ヘノトス、ムモノナレバ、勢ヲヌカセバ成ラヌナリ、勢ニノリテズツトアガルト云キミデナケレバ、アシラワレヌナリ、コノ目キ、甚大事ナリ、大キニ心ヲ配リテ用心セネバ、ヤリソコナフ、控ヘ目ニシテオレバ、トウノ出來ズ、進メバヨケレドモ、ヨクノ見スマサネ

バ、思ヒキリテス、マレスナリ、火ヲアシロフコトヲ夢々ワスレラレズ、向フモノヲ火ト見テ、火ノ  
アシラヒニスレバ、進ムベキ時ニズツト進ムコトナルナリ、左レバ向フヲ見トメレバ旨キモノナリ、  
向フヲ此方ノ自由ニスルハ、向ヲ見スイテノ上ノコトナリト思フベシ、アトハ水ノ鹽梅ニテ、推シテ  
火ヘウツシテ見ルベシ、曲直トハギク／＼マガリタルト、マツスグニノビタルトナリ、扱木ニ曲直ト  
イフト云フコトハ、木ハキリテマゲ、扱キリテスグニスルモノナリ、一々ニキリテキリコマザキテ、  
後ニマガリタルモノモ出來、スグナルモノモデキル、切ラズニハデキスト云フコトナリ、從革トハシ  
タガフテアラタマルト云フコトナリ、從ハサキノイフナリニスルコトナリ、革ハ昔トハクワラリト面  
目ノカワリタルコトナリ、是ハ木ノウラハラナリ、切ラズニデキルナリ、切ラズニ出來ルユヘニ從フ  
ト云フナリ、圓ニモ方ニモ、四角八角ノゾミシダイニ打チテナラスモノナリ、打テバドフデモ面目ヲ  
カヘラレルモノユヘニ、木トハウラハラナリ、木ハ必ズキリテコシラヘル、一ペンギク／＼マガリタ  
ルモノニスレバ、モハヤソレギリナリ、又切ラネバ直フハナラズ、金ハ打チサヘスレバ、長サ一丈ニ  
モナル、又打テバマンマルナモノニモナル、又ウテバ又長フモナルナリ、木トハトントチガフタ性  
ノモノナリ、扱曲直ト從革トハ變ヲ語ルナリ、潤下・炎上ノナカマニアラズ、ナゼナラバ、コレハ曲  
直・從革ハ二タイロニテ、氣ノコトナルユヘナリ、潤下・炎上・稼穡ハイツモアイカワラスモノナリ、  
是ヲ常ト云フ、曲直・從革ハトント別ナリ、色々ニナル、切リヨフニテ色々ニナリ、打チヨフニテ色



色ニナル、且人ノスルコトナリ、潤下・炎上・稼穡ハ天ノスルコトナリ、曲直・從革ハ人ノスルコトナリ、天・地・人トイフテ世界ノ大物三ツアリ、水・火・土トイフモ同ジコトナリ、天・地・人トイフハ天ハ第一ニ大ナルモノ、其次ハ地、其次ハ人ナレドモ、其功ハ同格ナリ、今木ハ天ノ雨露ト、地ノ氣トニテ大キフナル、其木ヲ器用ニ作ルハ人ナリ、ユヘニ天作ト人作トハヒツバリタルモノナリ、木ヲコシラヘルハ天地ナリ、器ヲコシラユルハ人ナリ、人ハ思惟工夫ヲ主トスルユヘニ、氣ヲツカフハ人ノウケトリナリ、曲直・從革ハ思惟工夫ニアリ、氣ヲツカフテコシラユルモノナリ、水・火・土ノ部トハ部ガチガフナリ、變化ヲオモニスル、是活キテオルモノヲ語ルナリ、扱氣ノ性ヲ得テ生ル、人ハ、ソコデ變化ハカラレズ、他人ヲアシロフニモ、事ニテモ、物ニテモ、氣デデキタルハ甚アシラヒニクキコトナリ、氣トイフテモトラヘヨフガナフテ、手ガ、リナキヨフナレバ、釋尊ノ範ヲカリテ、風ニテ見ルガヨキナリ、風ノアシラヒニテアシラワネバ成就セスナリ、前モイフ通り、火ヲオサヘルモノハ水ナリ、水ヲオサヘルモノハ土ナリ、土ヲ流スモノハ水ナリ、水ヲセメルモノハ火ナリ、唯風ハアヤマルトコロナキモノナリ、人相家ノイフ金形ナリ、扱氣ニ二ツアリ、水ノヨフナアンバイアルヲ陰氣ト云フ、火ノヨフナアンバイアルヲ陽氣ト云フ、トリツキバノナイヨフナレドモ、陰陽ノ二ツノ別レハアルナリ、コレヲ手ガ、リニセネバトラヘラレスユヘニ、如<sub>レ</sub>此ニ二ツニワクルナリ、唯水・火・土トチガヒテ、無ニ似タルモノユヘニ符牒ツケニクシ、古人デイフテ見レバ、老子ハ氣ヲ陰ニ得タル

カ、釋尊ニ至リテハ陰陽具シテオルヨフナリ、コレラノ趣ニテ、事ニモ、物ニテモ、取扱フベキコトナリ、元來ハ氣ハ自由自在ナルモノユヘニ、曲ニモスル、直ニモスル、其通リデオキテ革ムルコトヲモスルナリ、四大ノウチニテ第一ニ智ノフカキモノナリ、第一ニ智フカキユヘニ、第一ニアシライニクキハヅナリ、其上ニ火ノヨフニモ見エ、水ノヨフニモ見エ、見トラレヌト云フ氣味アリ、左レドモ又水・火・土ノヨフニ澤山ニハナキナリ、事ニセイ、物ニセイ、人ニセイ、第一ニ高キ位ニテ、第一ニスクナキモノナリ、アリフレヌモノナリト思フベシ、扱事・物・人ニヨラズ、水・火・土・氣一色ナルモアリ、又マジリタルモアルナリ、人相家ニテ水形ニ金形ヲマゼタルノ、火形ニ土形ヲマゼタルノトイフ是レナリ、始ヨリ委シキトコロヘユカフトスルハアシ、先々人・物・事ニ水・火・土・氣ノ四ツアルコトヲ知ルベキナリ、稼ハ物ヲウエルナリ、穡ハ物ノデキアガリタルヲ刈ルナリ、稼穡ニテ何ニテモ地ヘウエツケテトリ收ムルトイフ義ニナルナリ、コ、ニテハ上ルデモナク、下ルデモナク、中ニ居テ動カズニ、物ヲウミ出シフヤスト云フ心ナリ、水ハ下ル方、火ハ上ル方、土ハ中ニ居テ、靜ニテ物ノデキル方、ウゴカズニ居レドモ、養フコト甚シキユヘニ、物フエルト云フコトナリ、是曲直・從革トハトント別ノコトナリ、潤下・炎上ノ類ナリ、扱土ノ性ヲ得タルモノハ、人・事・物ニテモ重ク、靜ニ遅クチラクラト動カズサリガズ、器用ニナキナリ、才氣ヲヨロコバズ、ユヘニ水ヤ火ニハマケルヨフナル氣味アリ、急ニハ出來ネドモ、ユルリトカ、リテスルコトハ出來ルト云フアンバイナリ、

別シテ用談ムキニハ土形ノ用事多キモノナリ、イソイデモトント埒アカネドモ、ジリ／＼ニデキ上ル、草木ノ長ズルヨフニ、目ニハ見ヘネトモ、イツカ大キフナルナリ、此用談ハ土形ジヤト見スキタラバ、土ノアシライニシテ見ルベシ、ソレニテシツクリ合ヘバ、ソレカラハ破竹ノ如クニヒシ／＼ト合フベシ、是一ヶ月カ、ル用事ガ、十五日デ濟ムト云フモノナリ、此人土形ノ性ジヤト見スキタラバ、土ノアシライニテヤツテ見ルベシ、ソレニテ合フタラバ、ソレカラハ此方ノモノナリ、言フコト皆アチラヘ入ルナリ、此方ニテ迎ヘルユヘナリ、コレモ人ノセヌコトニテハナシ、ズイブン向ノ人ノ顔ヲ見ツメテヤツテ見レドモ、符牒ナキユヘニメクラサガシニサガストイフモノナリ、此レニ符牒ヲツケテ、誰ハ水ナリ、誰ハ火ナリト、銘々ニキメヲツケテ言フテ見ルコト稽古ナリ、水・火ノ人ハ人ニ欺カル、コトナシ、土ノ人ハ人ニハ欺カル、コトアレドモ、ソレヲ意趣ニモツト云フデモナシ、又ハ己レガ手前ヲキメテオルト云フハ、ヤハリ土ノトコロアルユヘナリ、如此水・火・土・氣トモ大キニアシラヒノカルコトナルニ、唯一ト手ニテ人・事・物ヲアシロフコト、己レガカンシヤクノ起ル理ナリ、人・事・物ニハ皆各ノ性アリテ、其性ヲマグルコトハナラヌトイフコトヲ知レバ、人・事・物ニ對シテ無理ニヘサヘツケルコトナキユヘニ、相互ニ怒ルコトナゾナキ理ナリ、又各ノ性ヲ知リテ其性ニ合セテスレバ、唯カンシヤクノ起ラスノミナラズ、人ハ歸服シ、事ハ成就シ、物ハホドヨフユク理ナリ、スレバ人ノ世ニ居ルニ四大ヲ知ラズシテ叶ハヌコトナリ、武王ノアリガタガルハヅニテハナキヤ、爰ニトイフコト、

注家ナドモ、稼穡ハ性デナキユヘニ、爰ニト云フトアリ、潤下・炎上・曲直・從革ハ事ニテ、稼穡バカリ物ユヘニ、爰ニトイフト見タリ、稼穡シテ出來タル五穀ノルイハ物ナリ、稼穡スルハヤハリ事ナリ、オカシキ注ナリ、爰ニトハ動カヌコトナリ、ソノ處ニイテト云フコトナリ、潤下・炎上ハ動クコトヲ主トス、動キテ物ヲ生ズルハ水火ナリ、動カズニ物ヲ生ズルハ土ナリ、ユヘニ爰ニトイフナリ、フカキ意味ノアルコトニアラズ、古ヘヨリ注家骨ヲ折ラネバナラストコロハ、ストントヌカシテ、ラチモナキトコロヲグワタヒシサワグコト、皆此類ナリ

潤下作<sup>レ</sup>鹹、炎上作<sup>レ</sup>苦、曲直作<sup>レ</sup>酸、從革作<sup>レ</sup>辛、稼穡作<sup>レ</sup>甘

或人ノイフニハ、五味ニ淡トイフ味アルベキハズナリ、水ノ味ナリ、淡ハナフテ鹹ガアルハオカシキコトナリ、鹹ハ甘ノ冽ナルナリ、鹽ハアマキモノナリ、アマキモノ、冽ナルガ鹹ナリト云ヘル人アリ、此説オモシロキ説ナリ、余オモフニ、淡ハ氣ノ味ナルベシ、火ノ味・金ノ味ナド、チト知レニクキモノナリ、又五ツ色ナフテモヨキコトナリ、我邦ノ語ニ、淡ヲアマヒト云フ、濃ヲカラキアジト云フ、イカサマアマヒト、カラヒト二色ニテヨキコトナリ、アマヒト云フハ味ノ不及ナリ、カラヒトイフハ味ノ過ナリ、コノ不過及ハアルコトナリ、中ハアマクモ、カラクモナキ味ナリ、苦ノズツトウスイハアマキナリ、苦ノズツトコキハカラキナリ、辛ノズツトウスイハアマキナリ、辛ノズツトコキハカラキナリ、何阿德ワヒニテモチヨウドヨキハ中ナリ、如<sup>レ</sup>此スレバ味百萬色アリテモワケラル、ナリ、酸ニテ



モ、甘ニテモ、極淡ハアマキナリ、極濃ハカラキナリ、中ハテン／＼ノモチマヘノ、チヨウドヨキト  
コロナリ、味ノ無キ味ガ氣ノ味ナリ、味ノ無キ味トハ、アマキノズツトウスキモノ、アマジモナキ  
味ヲ云フナリ、如<sup>レ</sup>此ニワケレバ、ヨフ分ルナリ、又イフテ見レバ、酸ハ辛ノウチナリ、鹹ハ甘ノウ  
チナリ・辛、苦・甘ノ三色ハイカサマギレルトコロモアルナリ、辛ハ上・苦ハ下・甘ハ中ナド、キワメ  
レバ、マダヨロシカルベシ 辛・苦・甘ノ外ハ淡ヲオキテ四味トスルハマダモ合ヘドモ、ヤハリ淡ト  
濃ト中ト無味ノ味ト四ツニワケルコト、智ヲトリマワス勝手宜シカルベシ、五色ノ分ケヨフハケ様ナ  
リ、五色トイヘドモ紅モアリ、綠モアリ、碧モアリ、紫モアリ、イロ／＼アリテ五ニアラズ、ソレヨ  
リモ極淡ト極濃ト中ト三イロニワケルコトヨロシ、今青ニテモ、黄ニテモ、極々ウスフスレバ皆白ナ  
リ、極々コクスレバ皆黒ナリ、然レバ色ハ黒ト白ト中トヨリ外ナシ、中トハテン／＼ノモチマヘノ色  
千百色アリテモヨキコトナリ、極濃ト極淡ト中トヲ智ニ用ユレバ、庶幾ノ條下ノ如シ、極備ナレバ  
凶、極無ナレバ凶ト云ヘリ、アマリ雨スギルワルイ、アマリ雨ガフラヌモワルイト云フコトナリ、今  
朝夕ノ飯ニテモ、アマリ澤山クフテモクルシヒ、其上ニクフ死スナリ、アマリ喰ハス飢ルナリ、其上  
ニクワヌ死スナリ、是備ト無ト中ト三ツナリ、中ニハキマリナシ、雨ナラバ雨ガ中ナリ、風ナラバ風ガ  
中ナリ、何事ニヨラズ、過モ凶、不及モ凶ト云フコトナレバ、コレ食事ナラバ何食事ニテモ中ナリ、  
喰スギルハ死ノ類ナリ、クワヌノガ過ルモ死ノ類ナリ、食事ヲ五色トキワメルコトハナキコトナリ、

食事ガ千モ萬モアレバ、是味モ色モ千モ萬モアル理ナリ、コレヲ分レバ過・不及・中トワケルバカリナリ、且金ノ味、木ノ味、知ツタルトコロガ、何ノ用ニモタ、ヌコトナリ、コ、ハ唯物ゴトハ皆四ツナリ、實位ハ三ナリト云フコトヲイフバカリノコトナルベシ、又如シ心イキニテ水・火・土・氣ノ味ヲイハバ、水ハ下ヘ下ガルモノナレバ苦ナルベシ、火ハ逆上スルモノナレバ辛ナルベシ、土ハ中ノモノナレバ甘ナルベシ、氣ハ空位ナレバ淡ナルベシ、此五味トイフコト、オチツカヌコトナリ、タトヘバ水ト火トハウラハラノ性ナリ、鹹ト苦トハウラハラナルコトナシ、辛キモノヲ喰フテ逆上スルユヘニ、苦キモノヲ喰テオシサゲルト云ヘバ、マダモキコヘルヨフナリ、イヅレ此五味トイフコトハ合ハヌヨフニ見ユルナリ、四大ニ合ハヌユヘナルベシ、三實位・一空位ヲ四大トス、此範ノ合ハヌト云フコトハナキナリ、ダン<sup>ト</sup>下ノ條下ヲ見ルベシ

五行ハ總領ナリ、人情ヲ知リ、事情ヲ知リ、物情ヲ知ル、トントノモトノモトダテナリ

二五事、一曰、貌、二曰、言、三曰、視、四曰、聽、五曰、思

事ハコトガラナリ、人ノ身ノ上ニカケテイフテ見ルナリ、一體人ノ常言ニモ、人ハ小天地トイフ、人ノミニアラズ、天地間ノモノハ皆小天地ナリ、鳥・獸・草・木皆小天地ナレドモ、人ハ甚事ノ多キモノ、道具ノ多キモノユヘニ、天地ニワリツケヨキユヘニイフコトナリ、己レヲ修ル理モ、他人一人ヲ修ル理モ、天下ヲ治ル理モ同ジコトナリ、小天地ユヘニ同ジコトナルナリ、理ノ知レヨキヨフ二人ノ

身ノ上ヨリ始メタルナリ、ユヘニ五事ヲ第二ト立テタルナリ、此章ナドハアキラカニ三位ナリ、イツ  
レ物ヲワリテ見テモ、ワケテ見テモ、三ツニワカルハ天地ノ理ナリ、貌ハナリヅクリタルモノヲ云、  
體ノコトナリ、カラダト云フコトナリ、人ノ目デ見テ知ルモノハカラダナリ、カツボクナリ、言ハコ  
トバナリ、モノイヒナリ、人ノ耳デキ、テ知ルモノナリ、目デ見テ心ヘワタス、耳デキ、テ心ヘワタセ  
バ、心デカンガヘル、心ヘワタスモノナケレバ、心モカンガヘル手ガ、リナシ、耳ニモ目ニモ、見タ  
リ聞タリスル、カリソメノ氣アルバカリニテ、カミシメテトクトカンガヘル心ハナキナリ、カンガヘ  
ル心ハ心ナレドモ、心ニハ又目ヤ耳ガナイユヘニ、外ノ物ヲトリヨセテ後ニカンガヘネバナラヌナ  
リ、目ト耳ハ外ノ物ヲ心ヘハコブ役ナリ、シカレバ天地間ノ理ヲカミワケルハ、耳ト目ト心トコノ三  
ツヨリ外ハナシ、此章モ唯三ツヲナラベテイフナリ、五ツニアラズ、三ツギリナリ、視ハ骨ヲ折リテ  
見ルコトナリ、見ハ見マイト思フテモ、目ニサヘギリテ見ルナリ、視ハ見ヨフト思フテ見ルナリ、聽  
ハ骨ヲ折リテ聞クナリ、聞ハ耳ニサヘギリテキクナリ、扱コノ五ツヲカヅヘテ見レバ、目デ見ルカタ  
チト、耳デキクコトバト、心デ思フ智慧ト、此三ツバカリナリ、天地ノ理ハ三ツギリナル證據ナリ、  
目ヲ開キテ見ルハサワガシキナリ、耳ヲスマシテキクハシヅカナルナリ、心ハウゴカヌモノナリ、水・  
火・土ニクバレバ、貌ハ火ナリ、言ハ水ナリ、思ハ土ナリ、扱視聽ハ人ノスル事ナリ、貌・言・思ハ  
物ナリ、是視・聽ハ働キナリ、空位ナリ、ユヘニ氣トス、是即水・火・土・氣ノ四大ニアラズヤ、唯

水・火ハドフデモ位ヲカヘレバ、カワルモノナリ、目デ見ルハ音ノセヌモノナリ、シヅカナリ、耳デ  
キクハ音ヲキクモノナリ、音ハサワガシキモノナリトイヘバ、貌ハ水ニテ、言ハ火ナリ、コノ水・火  
ハドチラヘモクバリツケラル、モノナリ、ユヘニ人ノ世ニオル、智ヲツカフ時ニ自由ニ位ヲカヘルコ  
トハ、皆平生人ノスルコトナリ、人々平生コノ智ヲ用ヒナガラ知ラスナリ、知ラズニスルコトユヘ下  
手ナリ、コレヲ知リテ用ユレバ、ズツト手ギワニユクコトナレドモ、知ッズニ用ルハ、タマノ風ト  
用ユルナリ、タマノ風ト用ユルコトヲカネテ知リテ、ケ様ニ用ユレバケ様ニユクト、見スキ知リス  
キテ用ユレバ、自由ニツカフトイフモノナリ、管仲ガ禍ヲ轉ジテ福トスト云フハ、コノ位ヲカヘル術  
ナリ、管仲ハカネテ知リテ、コノ位ヲカヘル場所ジヤト知リテツカヒタルユヘニ、管仲ハ上手ナリ、  
餘人モズイブンスルコトアレドモ、皆風トスルナリ、或ハ人ト喧嘩ヲシテ、ソレカラナカナオリヲシ  
テ、ソレカラ懇意ニナリテ、喧嘩ヲセス以前ヨリハ、ズツト心ヤスフ兄弟同前ニナリタルコト、世上  
澤山アルコトナリ、ヒツキヨウ始メハ心ヲ知り合ハナンダユヘニ、一ト通りノ交リデアリシナリ、喧  
嘩ヲシテ各心一バイイヒタイコトヲイフテ、心ヨフ知レ合フタユヘニ、以前ヨリ心ヤスフナル理ナリ、  
コレヲ不思議ノコトノヨフニ思フハ愚ナルコトナリ、コレヲ知リテ用ユルハ智ナリ、兎角人トハ一ペ  
ンイヒアフテ、心ヲ知り合フテアフガ、ホンニ合フノジヤトカネテ知ルハ、是喧嘩ヲ中ヨフナル處ヘ  
用ユルナリ、是位ヲフリカヘルナリ、キレイニツキ合フハ、心ニカケゴヲシタルナリ、喧嘩ヲスルハ



心ヲウチアケタルナリ、心ニカケゴアルハ不親ナリ、心ヲウチアケルハ親ムナリトイフハ、即チ位ヲトリカヘテ算用シタルナリ、或ハアホフナ顔ヲシテイレバ、人ガ目ニカケヌユヘニ、禍ガコヌユヘニ、アホフナ顔ヲシテオルトイフハ、是愚ト智トヲ位ヲフリカヘテ用ユルナリ、禍ノコスハ智ナリ、是愚ガ智ニナルナリ、皆管仲ノ禍ヲ轉ジテ福トスル術ナリ、愚ノ方デ智ヲ取レバ取レル、智ノ方デ愚ヲ取レバ取レルト云フコトナリ、是レヲ世ノ中デ陽中ノ陰、陰中ノ陽ト云フ、愚中ノ智、智中ノ愚ト云フコトナリ、ヤハリ位ヲフリカヘテ用ユルナリ、損ヲスルガ徳ニナルコトアリ、負テ居ルガ勝ニナルコトアリ、皆コノ位ヲカヘル術ナリ、物ニハキマリタル陰陽ナシ、皆此方ヨリノアツカヒヨフナリ、ツカヒヨフナリト思フベシ、扱此以下ハ右ノ三ツヲ養フ術ナリ、カラダト耳ト口トヲ三ツト云

貌曰恭、言曰從、視曰明、聽曰聰、思曰睿

コレハ人ノカラダノ養ヒヨフヨリ、耳目ノ養ヒヨフノ順ヲ云、コレモ人ノコトニカギリタルニアラズ、事・物ノ養ヒ方モコレニカワルコトナシ、ダン／＼執行ヲ積ミテ智者ニナル事モ、ダン／＼養ヒヨフニテ品ヨフ成就スル物モ、養ヒヨフニテソダツコトハ、コノ理ニチガヒタルコトナシ、コノ理ハ天地自然ノ理ナレバ、ウゴカストコロナリ、皆理ヅメナリ、恭ハ己レトシテ己レガ身ヲツメルコトナリ、ツメルトハ、バツトセヌヨフニ、自慢クサヒナリフリニナラヌヨフニスルナリ、ヘリクダルト云フ類ナリ、ヘリクダルハ、先キニ人ガアリテ其人ニヘリクダルコトナリ、ウヤ／＼シイトハ、先キノ人ニ

カマワズ、己レガツ、シミナリ、ユヘニ其身ヲ外カラ見レバ、ツマリテオルナリ、イカニモツメテオルヨフニ見ユルナリ、ツメルトハ、息ヲツメルノツメルナリ、内ヘヒキコムヨフニツバメツバマヤカナルナリ、従トハ人ノアトカラユクコトナリ、サキノ人ノユク方ヘアトカラツイテユクコトナリ、ユヘニトモナドヲスルヲ従者ト云フ、人ノイフナリニナルヲ従フト云フ、人ガ東トイフヲイヤ／＼西ジヤトイフテ、人トカラカフハ従ガワヌト云フモノナリ、聴トハキ、耳ヲ立テ、アマサズモラサズキ、タメルコトナリ、キ、オトシノナキヨフニスルコトナリ、ユヘニ耳トシト調ズ、耳ノハヤキナリ、耳ノハヤキトイフハ、何事ニヨラズ、外ノ音ヲ早フ心ヘシラスナリ、目モ耳モ心ノツカヒモノナリ、心ノタメニ働クモノナリ、凡ソ人ノ體中ノコラズ、心ノタメニツカワレテオルウチニ、耳目ハ心ヘシラセテヤルコトヲ司ルモノユヘニ大役ナリ、耳・目・心ノ三ツハ體中ノ大役人、手足ノ類ニアラズ、皆精神ニアヅカル智ノワクヨフニ働ク役人ナリ、ユヘニ此三ツヲ水・火・土ニクバリツクルナリ、明ハ日月ナリ、物ノハツキリワカリテ、色ノクツキリトワカルコトナリ、ユヘニ目ノヨフ物ヲ見ワケルヲ明ト云フ、コレヲノコサヌヨフニコラズ見ルコトナリ、見テ心ヘワタスナリ、目ハ見ルギリノ役、耳ハキクギリノ役、コレヲ心ヘワタス、心ガコレヲカンガヘエラムユヘニ、心ニハ思トイフ、思ハ思惟ナリ、ヨフトクトカンガヘテ、カミシメアデアフナリ、如レ此ドフカンジョウヲシテミテモ、五事ナゾハ三ツニチガヒナキコトナリ、睿ハフカイコトナリ、カンガヘテモ、ウワベカンガヘナドニシテオキ

テ、身ニシミテフカイリヲセヌ時ハ、大キニマチガフコトナリ、ユヘニ思ヲ養フハ深イヨフニ、淺カラヌヨフニ、ウハベ。ウハスベリ。中ズマシニナラヌヨフニ、ズイブンフカク取りテカンガフルガ養フナリ、是ニテカラダノ養ヒヨフト、耳・目・心ノ養ヒヨフト、言葉ノ養ヒヨフト知レルナリ、カラダハ水ナリ、言葉ハ火ナリ、心ハ土ナリ、耳・目ハ空クノ氣ナリ、心ヘツキタルモノナリ

恭作<sup>レ</sup>肅、從作<sup>レ</sup>父、明作<sup>レ</sup>哲、聰作<sup>レ</sup>謀、容作<sup>レ</sup>聖

コレハ養ヒヨフガ順ナレバ、コノトコロヘクルト云フ養ノ功ナリ、徳ノ成就シタル智慧者ノヨフスナリ、智ヲ養フテカクノゴトクニナルハ理ナリ、ケ様ナケレバナラヌコトナリ、ケ様ニナレバムマキモノナリ、唯始メヨリノ養ヒヨウニアルコトナリ、肅ハチママルコトナリ、シユツトチママルナリ、霜ナドガフルト、天地ノ様子マデチャントチママリテ、カタマル氣味アリ、凡ソ寒中ニ仕入タルモノハ久シフ腐臭セズ、扱性がヨロシイ、性ノヨロシイトイフハ、バツトセヌユヘナリ、カタフシマリテオルユヘナリ、凡ソ寒製ヲヨシトスルハ、コノユヘナリ、ユヘニ霜ヲ肅霜トイフ、バサツカヌチャントシマリテ、ユルマヌヌケ目ノナキコトナリ、平生恭ヲ心ガケレバ、ソレガクセニナリテ、スルコトナスコト皆恭ジヤ、ソノ恭ガムマレツキノヨフニナルユヘニ、肅トイフケツカフナル徳ガ成就スルナリ、恭ヲ平生スルハ人ノ爲ニアラズ、人マヘノヨキヨフニスルニアラズ、是ガ己レノ養生ナリ、ケ様ニスレバ病モデズ、シクジリモナキユヘニ、心ヲケヅルコトモナク、オノヅカラ樂々トスルナリ、又恭ヲク

セニスレバ、クルシキニモアラズ、セツナキコトヲスルニアラズ、後ニハ恭ヲスルガ樂ニナルナリ、カシコマリツケタル人ハ、アグラヲカクコト下手ナリ、アグラヲカクハ却テクルシキナリ、ユヘニ心友ナドヨリ合ヒハナシテ、アグラヲカク、ツイイツノマニカ、カシコマリテオルハカシコマリテオル方ガアグラヨリモ樂ナルユヘナリ、今ネコロビテオルハ、樂ナルコトニテ、スワリテオルハ、キフクツノヨフナレドモ、來客デモアレバ、チヨイトスワル、スワル心ナフテモ、敬スル心ナフテモ、吾シラズニスワルハ、クセニナリタルナリ、ネコロビテオリテ來客ニ對スル甚クルシキナリ、病氣ノ節デサヘ、ネコロビテ人ニ逢フハクルシキナリ、サレバクセニスレバ、クセニナルモノナリ、コレハクセニナリノシテ、カクノゴトクノ美德ヲ成就シタルナリ、又ハオサマルト調ズ、草ヲカルコトナリ、ソコラヂウガ草ダラケニテ、ムソフナリテオルヲ、草ヲノコラズカリ平ラゲテ、ハキ地ニキレイニシタルハ、地ノオサマリタルナリ、人ハキマ、ナルモノナリ、キマ、ハブギヨウギナルナリ、ムサイ草ノ地ニハヘタルモ、キマ、コンデヤウノ心ニフサガリテアルモ同ジコトナリ、コノ氣儘心ヲノコラズカリ平ゲテ、キレイニ氣儘ノナキガ人ナリ、人ノ言フコトヲソノマ、ツキカヘスハ、氣儘心ノスルコトナリ、コノ氣儘心ヲノコラズカリタイラゲレバ、人ノイフコトヲツキカヘスト云フコトナシ、己レガ心ニハナント思フテオリテモ、先ヅ言葉ノ上デハキレイニ、ハイノトウケテオルハ、コレ從ノクセガツキテ又ニナリタルナリ、心マデ人ノイフ通りニナレトイフコトニハアラズ、言葉ノ上ノコトナ



リ、ユヘニ言葉ヲ人ノユクトホリニ、アトカラツイテユクヨフニスルヲ從トイフ、從ガクセニナレバ、キレイニハキチギリテオキタルヨフニ、氣儘心ガナキユヘニ、言葉ニハスコシモ氣儘ガデスナリ、氣儘ガデスノガクセニナリタルユヘニ、吾シラズニキレイナ言葉ニナルユヘニ、ハキチギリテオキタル土地ノヨフニナルナリ、哲ハ説文ニハ慙ニツクリテ、字ノコ、ロモシレヨシ、折モ析モワケルコトナリ、手ニ斤ヲモツテ木ヲワケルトイフ時ハ手ニ从フ、木ヲ斤デワルト云フトキハ木ニ从フ、同ジ心ナリ、ワケノハツキリトワカルナリ、古ヘヨリ哲ハ智ナリト解ス、智ガ口ニ从フハ、オカシキコトナリ、説文ノ通りナラバ心ニ从フ、心ニシタガフベキハヅノコトナリ、心デコレハ是、コレハ非トワケルヲ智トイフトキハ、心ニ从フベキハヅナリ、コ、ニハ目ノ部ニ入レテアルハ、ゴタ／＼シタルコトナリ、謀ハ言ニ从ヒ、某ニ从フ、某ハ人ノカズヲヨムコトナリ、ナニガシ／＼トカヅヘルコトナリ、アノ男ニモ相談スル、コノ男ニモ相談スルヲ謀トイフナリ、ソウダンスルコトナリ、コレハ耳ノ部ユヘニ、ナルホド謀ノ字至極アタリマヘナリ、人ニ智ヲイワセテ、此方ノミデキクコトナリ、扱相談ヲスルハ美德ナリ、人ハ大タイ己レガ心ギリデ相談セヌモノナリ、コレハマケオシミナルナリ、己レガ人ニアヤマル心ノナキナリ、是レ他人ノヨキ智慧ヲキ、オトスト云フモノナリ、キ、テミタレバトテ、其人ノ言葉ヲキツト用ヒヨトイフニハアラズ、聞オトシガアリテハ、是智ニモレタルコトガアル理ナリ、ユヘニキ、オトシノナイヨフニ謀ルナリ、コレガ／＼セニナルト、兎角人ト相談シタフナル、

是天下ノ美言ニキ、オトシハナイト云フモノナリ、天下ノ美言ニキ、オトシノナイトイフハ、天下ノ美ヲ皆己レガ有ニシタルナリ、美德ナルハヅナリ、哲ハ心デワケルコト、謀ハ人ノ智ヲカヒ出スコトナリ、コノ二種ハ己レニナキコトヲ、人カラウケ取りテ己レヲフヤスコトナレバ氣ナリ、唯哲ノ字ガ一體オダヤカナラヌ字ナリ、聖ハ己レガ心ガ天理ニナリタルトイフ字ナリ、天理ノ通りニナルハ、平生思フコトガウワスベリガナフテ、深フカンガヘルユヘニ、天理マデカンガヘツケル、一々ニ天理マデカンガヘツケテハ得、スレバ、是天理ガクセニナルナリ、スルコトナスコト、皆天理ノ通りナルヲ聖トイフナリ、心ハ天ヨリ拜領ノ品ナレバ、心ニハ天理具足シテオレドモ、イツモウワスベリノカシガヘヲスルユヘニ、天理ニソムクナリ、是皆智ノ働キヨフ、養ヒヨフノ詳ナルヲ語ルナリ

三八政、一曰、食、二曰、貨、三曰、祀、四曰、司空、五曰、司徒、六曰、司寇、七曰、賓、八曰、師  
コノ八政トイフ言ニツキテモ見ルベシ、五ハ常數デハナキナリ、如シ五ガ常數ナラバ、八トイフ數アルベカラズ、八政ノコトガラヲ見レバ、皆三ツヅ、ニ分ケテイフテ有ルナリ、食・貨・祀ハヒトムレナリ、司空・司徒・司寇ハヒトムレナリ、賓・師ノ二ツハ又別ノコトナリ、攝政トハ正シカラスモノヲタマスコトナリ、正ハ一ニ從ヒ、止ニ從フナリ、的ノ黒星ノコトナリ、的ノ黒星ハ四面ヨリ段々中へオシヨセテ、トントノツマルトコロナリ、四面ヨリオシヨセタルトントノ真中ユヘニ、一ニ止ルト云フナリ、的ノ黒星ハ物ノ手本・定木ナリ、的ニ向ヒテ射ルトキニ、射手ノ手足首腹トント法ノ通りニ

ユケバ、百タビ發シテ百タビ中ル理ナリ、身體ノ定木ハ的ノ黑星ユヘニ、正ヲ定木ト訓ズ、扱支ハボクノ音ナリ、此支ニ從フ字ハ、教ノ字ヨリシテヨフキマリタルモノハ皆支ニ從フ、政ハ法ノトントキマリテ、一向ニチガワスユルガヌ扱トイフ字ナリ、天下國家ヲ正ス道具トイフコトナリ、扱食ハクヒモノナリ、人ノ一日モナフテ叶ハヌモノ、天下國家ヲ治ムル道具ノナクテ叶ハヌモノ、第一ヲ食トスルナリ、貨ハシロモノナリ、食・貨トモ、衣・食トモイフ、衣・食トイフテモ、食・貨トイフテモ、飢寒ヲ凌グモノ、コトナリ、サレバ水モ酒モ醬油モ酸モ食ナリ、著モノモ夜著モ家モ壁モ屋根モ衣ナリ、貨トイヘバ言ハ廣シ、膳碗モ武具モ馬具モ皆貨ナリ、凡ソ人ノ生キテオル道具トイフコトナリ、然レバ食ト貨トガアレバ人ガ生テオル、無レバ人ノ死ルモノナレバ、此程大セツナルモノアルベカラズ、コノ二品ノ中ヘ祀ライレタルコト、スサマジキ智ナリ、ナルホド物ヲ二ツト見ルヨリモ、三ツト見ルハ智ノ精シキコトナリ、凡ソ人ノ生キテオルニ、衣食バカリト思フハ智ノタラスコトナリ、衣・食ハ物ナリ、衣・食サヘ有レバ、人ガ生テオルト思フ時ハ、是レハ三ツナルハヅジャガ、今一ツハ何デアロフト考フルガ、物ヲ三ツト見ル智ナリ、ヌケ目ノナキトコロナリ、扱今一ツハ祀ナリ、祀ハ本尊トイフコトナリ、法ヲ説クトキハ、佛法ニテモ、神道ニテモ、本尊トイフモノヲ立テ、説カネバ、目アテガナキユヘニ人ガ信仰セヌナリ、ユヘニ必ズ本尊ヲ立ル、本尊トハ證據人トイフコトナリ、聖人ハ天ヲ證據人ニトル、故ニ天ヲマツルナリ、證據人ハ一人デハナキユヘニ、古ヘノ聖人ヲモ本尊ニ立ル、

佛ニテ阿彌陀如來ヲ立テ、扱其開基ノ上人ヲダンクニ本尊ニ立ルハ、皆法ヲ説ク證據人ヲ立ル仕掛ケナリ、然レバ今日衣・食アリテモ此證據人ノ本尊ナケレバ、民ガ目アテニスルモノナキユヘニ、天子トイヘドモ必ズ天ヲ祭ル、天ヲ祭ルハ民ニ證據人ヲ取リテ見スル仕方ナリ、衣・食ハ物ナリ、證據人ヲ立ルハ事ナリ、コレホド重キコト無フテ叶ハヌモノナリ、治國ノ第一ニ入用ノ品ハ此三品ナリ、此ニツバキテ無フテナラスモノハ、治國ノ役人ナリ、役人ノ中ニテズツト重キモノ三役アリ、司空ハ凡ソ土地ノコトヲ司ル、衣・食ノ出ル所ノ本源ナリ、海陸ノコト人民ノコト、皆司空ノモチマヘナリ、人ノ生テオル、トントノ本ユヘニ、第一ニ司空ヲ立ルナリ、司徒ハ善人ヲエラミ上ゲテ、役目ニツケルコトヲ司ル、司寇ハ惡人ヲ見付テ刑罰スル役目ナリ、司空ハ土ノ如ク、司徒ハ水ノ如ク、司寇ハ火ノ如シ、ヤハリ水・火・土ナリ、扱食・貨・祀ハ國ノ基ナリ、司空・司徒・司寇ハ天子ノ御膝本ノ役人、内ヲツカサドルナリ、賓ハ文事ナリ、賓ハ賓客ナリ、天子ニテモ諸侯ノ朝聘ヲアシロフ仕方ハ賓ナリ、衣冠ニテ天子ヘ朝覲スルハ文ナリ、師ハイクサゴトナリ、武事ナリ、一體ハ師ハ二千五百人アツメタル名ナリ、モロ／＼ト訓ズ、二千五百人ハ一軍ナリ、ユヘニ軍ヲ師トイフ、賓モ師モ外ヲツカサドル役目ナリ、本ト内ト外三ツノ品ヲナラベタルナリ、本ハ中ナリ、文ハ上ナリ、武ハ下ナリ、ヤハリ上・中・下ナリ、凡事ガラニセイ、物ガラニセイ、皆三ツニ分カルモノナレバ、始メヨリ三ツニワリツケテ祖立テ、見レバ、智ハ甚精シフナルナリ、世人ノ言葉ニ陽中ノ陰、陰中ノ陽トイフコトヲ



イフ、コレモ物・事ヲ二ツニワリテ見ル智ナリ、一ツニ見ルカラ見レバ智ナリ、福ヲウツカリト福バカリト思フトチガフ、福中ニ禍ガアル、禍ヲ福バカリト思フトチガフ、禍中ニ福ガアルトイフコトナリ、福ヲ福バカリト思ハネバ、アマリウレシフナイ、ソコキミワルフナル、禍ヲ禍バカリト思ハネバ、アマリウレシフナイ、ドコニカムマミガアルトイフ心ニナレバ、心動カズ、油斷モナシ、心カタヨラズ、ビツクリスルコトナシ、是ヲ禍・福・中ト三ツニワルコト、上・中・下・水・火・土ノ如クナレバ、心甚ヒロフナリテ、ユキツマラズ、クツタクセヌナリ、心ユルヤカナレバ智ハアキラカナリト思フベシ、凡ソ洪範トイフハ、前ニイフ通り、大イナル法トイフコトナレバ、物事ヲキメルツモリデハナキナリ、タトヘバ司空・司徒ノ類ハ天子諸侯ノ役人ノコトナレバ、庶民ハ入用ニナキコトナリナド、思フハ、大キニ了簡チガヒナリ、一人ノ身ニ取リテ見テモ同ジコトナリ、一人ノ心ニトリテ見テモ同ジコトナリ、蚤一ツ虱一ツニアモ、烟管一本烟草入一ツニ取リテ見テモ、水ノミ百姓ノ夫婦ゲンクワニ取リテ見テモ見ラル、ユヘニ、洪範トイフナリ、心ニ取リテ見レバ、柔ナル心ヲ司徒ト立テ、剛キ心ヲ司寇ト立、本源ノ己レガ生テオルワケヲモチテオル心ヲ司空ト立テ、心ヲ養ヒ治ムベキナリ、如此心三ツノ品ナケレバ、智者トハイワレヌナリ、柔カキ心ノ人ガヨイトイフコトナキコトナリ、剛キ心ノ人ガヨキニモアラズ、三ツナガラ入用ナリ、三ツナガラ重キ役目ノ心ナリ、コノ類ナリ、心ノミナラズ、朝夕ノコト、金モフケノコトニテモ、ヤハリコノ三品アルハ天ノ理ナリ、ナクテ叶ハヌ

コトナリ、又々後ニオヒオヒ詳カニイフベシ

四五紀、一曰、歳、二曰、月、三曰、日、四曰、星辰、五曰、曆數

紀ハ大綱ナリ、ケ條ノ大イナルナリ、歳ハ三百六十日一トカラゲニシタルナリ、月ハ三十日一トカラゲニシタルナリ、日ハ十二時一トカラゲニシタルナリ、又常數ノ三ナルナリ、凡ソ智ニ養フニ如レ此一トカラゲニツモリテ見ルナリ、タトヘバ一日ノ上ニテハ損ノヨフナレドモ、一月ノ上ニツモレバ徳ノアルコトアルモノナリ、ユヘニ一トカラゲヲ又三十ヨセテ、大カラゲニツモラネバ損徳ヲカラズ、其三十ヨセタルヲ又十二ヨセテ、大々カラゲヲツモル、如レ此ナレバマケ目ナキナリ、イフテ見ヨフナラバ、人ハ骨ヲ折ルハ困苦ナリ、一日ノ上ニツモレバ、困苦ニ見ユルユヘニ人々懶怠ナリ、コレヲ懶怠ニセマイト思ヘバ、三十日ノ上ニカケテ見ルナリ、一日ノ困苦ヲスレバ、一月ノ上ニテ大キニ安樂ナリ、是カラゲテ見ネバ困苦ニタヘラレヌナリ、一日ノ困苦ヲタヘズニ、ズルケルハ小智ト云フモノナリ、一月ノ上ニカケテ見レバ安樂ナリ、是ガ安樂ナリト云テ困苦スルハ、中智ト云モノナリ、コレヲ又大カラゲニカラゲテ、三百六十日ノ上ニカケテ見ルナリ、一月ノ上ニカケテ見レバ、困苦ガ安樂ナリトバカリ思フテ、日々ニ困苦スレバ大キニ病氣ナドヤミテ、藥代ニシタ、カ損ヲスルト云フヨフナルコトアルモノナリ、一ト重ハ見破リタレドモ、二重目ヲ見通サスナリ、コレヲモ見通シテ大カラゲニカラゲテ見レバ、困苦シスギヌトイフモノガ眞ノコトナリ、大智ハコ、ナリ、コレ凡ソ三重ニ組

「ネバ、ヌケ目アルナリ、コレヲ一ト目見テキメルナド、イフハ、大キニイガフハヅナリ、是ハ困苦  
安樂ニカギラスコトナリ、過不及トイフハ皆中ヲ得ス名ナリ、中ヲ得ストイフハ、天理ニチガヒタル  
ナリ、天理ハ不及モナシ、又過モナキナリ、ユヘニ三重ニ組マネバ知レヌナリ、其手本・定本ハ歳ト月  
ト日トジヤト見ルト云フコトナリ、扱星辰トハ星ノ居ル場所ナリ、星ノ第一ニ日當ニナル星ハ二十八  
宿ナリ、此二十八宿ハ七ツヅ、四方ニアル星ナリ、サレドモ星モ日月ト同ジコトニテ、ゲルリト  
マワリテオルモノユヘニ場所ニキマリハ無キナリ、場所ニキマリナシトイヘバ、行道モ亂レタルヤ、治  
リタルヤモシレズ、扱又時節ヲキワメルニモ、今ハイツゴロトイフコトシレヌナリ、時ヲ知ルハ民ニ  
耕シ時、蒔キ時、刈リ時ヲシラス爲ナリ、時節知レネバ民ニ時ヲ知ラスコトナラズ、扱ドノ星ガドコ  
ラヘ行タ時分ニ水ガ出ル、旱ガスルトイフヨフナルコト、皆天官ノモチマヘナリ、ユヘニ時節ヲ知ル  
ヲ重キコトトス、其時ニ星ニ名ヲツケテ呼バネバナラヌナリ、扱居ル場所ヲキワメテオカネバ、行道  
ヲ推スコトナラスユヘニ、甲子ノ年ノ十一月ノ朔日ニ冬至ノアタル日ニ、星ノ居ル處ヲ星ノ居ル場所  
トキメルナリ、是ヲ星辰トイフナリ、ユヘニ星辰トハ目デ見テ時節ヲ知ルコトナリ、曆數ハ「コヨミ  
ナリ、コヨミハ耳デキ、テ知ルナリ、心デ推テ算用スルナリ、コノ星辰ト曆數トハ日・月・歳ノ類ニア  
ラズ、天文ヲ量ル測量家ノコトナリ、人ノ智ハ天ヨリ受ケタル物ナレバ、天ノ通リニナラデハイカスナ  
リ、是ヲ人ノ運ト云フ、水旱モナクテ叶ハスコト、豐饒モアルベキハヅナリ、唯智者ハ前ビロヨリ察

テ知リテ居リテ、用心ヲスルユヘニ水旱ニモ困マズ、豐饒ヲモヨコバヌナリ、兼テ知リテオルユヘナリ、天ニ水旱豐饒ガアルユヘニ、賣買唯一色ノコトニセイ、唯多葉粉一ブク飲ム間ニセイ、アルハヅナリ、コレヲ智者ハ一向ニハヅサズニ、チャントキメテオクナリ、豐凶ハ天ニバカリアルト思フベカラズ、天ニアルコトハ皆天下ノ萬物ニアルト知ルベシ、一向ニ油斷ノナラスコトナリ、面白キモノハ世ノ中ナリ、人ノ心ナリ、推テ知ラル、モノナリト思フベシ

五皇極、皇建ニ其有極、歟時五福、用敷ニ錫厥庶民、惟時厥庶民、于汝極、錫汝保極  
此段ハ長キ段ユヘニ、一段ヅ、ニ解ヲスルナリ、皇極ハ大極ナリ、極ハ目アテナリ、大イナル目アテト云フモ、天下ノ萬物ノ目アテトイフコトニテ、天子諸侯ナドニカギリタルコトニテ決シテナシ、天ヨリ生ヲ受タルモノハ皆同ジコトナリ、ユヘニ大極トイフナリ、凡ソコノ篇ニ天子ノ邦ノトイフハ、天子ト邦トニカミソリタルコトニアラズ、人ノ一人ノ身ニモ取り、一人ノ心ニモ取り用ユルコトナリ、タトヘバ心ハ一身ノ君ナリ、手足ハ一身ノ臣下ナリ、心ノ中デイヘバ、將帥心ハ一心ノ君ナリ、士卒心ノ氣ハ一心ノ臣下ナリ、身トイフモ、心トイフモ、邦トイフモ、天下トイフモ同ジコトナリ、色々ニ取リテ見ルコトナリ、皇建トハ大イニタツルナリ、有極トハ有ハホメタル辭ナリ、日本ニテ御ノ字ヲタツトム所ヘツケルト同ジコトナリ、極ヲアガメタツトミテ有極トイフナリ、大イニ有極ヲ建ツトハ、貴人賤人ニカギラズ、人・獸・草・木ニカギラズ、事爲・運爲ニカギラズ、スベテ世界ノアラユル



モノ、目當ヲ立ルト云フコトナリ、時ハ今サシアタリタルモノヲ指テイフ辭ナリ、此ノ字ノ所ヘ用ユルナリ、歛ハトリオサムルナリ、トリコムナリ、シメコムナリ、アツメトルトイフ字ナリ、五福ハコノ下ニモ有リ、下ニアル五福ハ、富ト壽ト康寧ト攸好徳ト考終命トノ五ツナリ、コ、ニテ五福トイフハ、アルトアラユル福ト云フコトナリ、此篇ハ五行ヲ立テタル篇ユヘニ五福トイフ、尤下ノ五福ニテアラユル福ナリ、サレドモ何ト何トニテ五ツトイフニ及バヌコトナリ、アラユル福ニテヨキコトナリ、敷ハ布ナリ、ヒロゲルナリ、殘ル所ナクユキワタルヨフニスルコトナリ、錫ハ賜ナリ、上ヨリ下サルナリ、即天ヨリ授ケ玉フナリ、天ヨリ授ルハ理ニ叶ヒタルモノユヘニ、ソレダケニハ取レル福ナリ、ユヘニタマフトイフナリ、保ハタモツナリ、キズヲツケヌヨフニマメルコトナリ、扱有極トイフハ天理ニテ、サナケレバナラヌスヂナリ、人ノ世ニ居ルニ、ドレガサナケレバナラヌノジャヤラ知レヌユヘニ、天ヲ見テ天ヲ手本ニトリテ、天理トイフ大キナル目當ヲ立ルコトナリ、コノ大キナル目當ハ、畢竟サナケレバナラヌスヂユヘニ、コノ天理ノ通りニユケバ、少シモチガワズニ宜シキコトバカリアル理ナリ、天ノ下ニ生レタル人ノコトナレバ、天理ノ外ニ出テ事ヲナセバ成就セヌ理ナリ、天理デカタメタル人ガ、天理デカタメタル世界ニオルユヘナリ、ユヘニアラユル福ヲバ、ノコラズ取オサムルト云フナリ、如レ此ニアラユル福ヲ以テ庶民ニ天ヨリ賜フト云フナリ、コレハ天ハ小シキ心ノ、エコヒイキノ心ノトイフモノナキユヘニ、天子ニテモ、水呑百姓、其日グラシノ裏屋ズマヒノ人ニテモアレ、天理ニ叶ヒ

タル人へ天ヨリ賜ルユヘニ、廣ク殘ルトコロナク、ドコノ島デモ、谷底デモ、ソノ人ニカマワズクダサル、ナリ、庶民トハ生キテオル人ヲ、ノコラズ指シテイフナリ、天子ヨリ小民ニ至ルマデガ庶民ナリ、ユヘニ此ノ大ゼイノ庶人ドモ、各其身ノアタリマヘノ天理ニオイテ、カンガヘミルベシ、天子ハ天子ノアタリマヘノ天理アリ、小民ハ各其小民ノアタリマヘアリ、小民ノウチニテモ、大工ハ大工ノアタリマヘアリ、菜賣ハ菜賣ノアタリマヘアリテ、ソノアタリマヘヲ踐ソコナワヌヨフニ、大切ニ心得テ天理ヲマモレバ、天ハチガヒモナフ彼ノ各ノ天理ヲタモチタル人ニ、五福ノアラユル福ヲタマフニチガヒナキナリト云フコトナリ、民ノ字ナドヲ讀ソコナフベカラズ、生民アリテヨリ以來、孔子ノ如キ人ハナイナド、イフモ、生キタル人ト云フコトナリ、天子モ諸侯モ生民ナリ、扱各ノマモルベキ天理ヲマモレトアルコト、アリガタキコトナリ、後世ノ天下ノ治メカタハ、此洪範ノ通ニユカヌナリ、士大夫ノマモルベキ天理ヲ、小民ニマモラセント世話ヲヤクヨウニ郡縣以後ハ見ユルナリ、コレハ秦ノ始皇以來ハ、小民ノボリテ士大夫ニナルコトユヘニ、小民ヲ士大夫ニスル世話ヲヤキタルガ始マリニテ、其後ハコレハ士大夫、コレハ小民トイフ差別ナシニ、ヤタラ人品ヲアゲルヨフニ、學問ヲサスルヨフニスルコトニナレリ、一體ハ小民ハ何モ知ラヌ方ガヨキナリ、今ニテモ此邦ノ木曾ノ山中ヤ、飛驒ノ山中ヤ、ハナレ島ナドハ公事訴訟モナク、ケンクワモセズ、盜モアク、人殺モナキハ、小民智ナキユヘナリ、智ヲミガクハ小民ノ天理ニアラズ、鉏鋤ヲカタゲテ土ヲ掘チラスガ農ノ天理ナリ、鑿槌ヲモ

チテ木ヲキルガ大工ノ天理ナリ、秦漢以後ハ農民ヤ大工ノ忠孝ヲセンギシタリ、學問ヲセンギシタリ  
スルハ、士大夫ノ天理ヲ民ヘ責メルトイフモノナリ、然レドモ天下一統智ヲミガキテ、人ヲ謀ル世ノ  
中ナレバ、智ヲミガ、ズニオレバ、人ニ欺カル、ユヘニ、漢唐以後ハ智ヲミガ、ネバナラス世ノ中ト  
ナレリ、一體ハ洪範ヲヨフ讀ム士大夫ナキユヘナリ、ユヘニ後世ハ智ヲミガクガ小民ノ天理トナレリ、  
有土ノ人ノ國ノ世話ヲヤクハ、扱々ムツカシキモノナリ、少シチガヘバ、トリカヘサレヌコトニナル  
ナリ

凡厥庶民、無<sup>レ</sup>有<sup>ニ</sup>淫朋、人無<sup>レ</sup>有<sup>ニ</sup>比德、惟皇作<sup>レ</sup>極

凡トハ大ゼイノ人ニ、スベテイヒキカスル辭ナリ、天子ヨリ小民ニイタルマデ、ノコラズトイフコト  
ナリ、淫ハ度ニ過ルコトナリ、過ノ字・甚ノ字・溢ノ字ナド、似タル字ナリ、ハナハダシキナリ、朋ハ友  
ダチノコトナリ、淫朋トハ天理ニカマワズニ、己ガ智ヲ自己流ニテミガク人ノコトナリ、天理ハ中ナ  
ルモノナリ、淫朋ハ過ナル人ナリ、天理ノ上ヲユカントスル人ノコトナリ、比ハシタジムト訓ズ、ヒ  
ツツクコトナリ、德ハ心ナリ、智ナリ、天理ニカマワズニサ、ヤキゴト、内所事ニテヤロフトスル人  
ノ、智ヲタクミテ欺キ詐僞ヲシテ、付ケヌ所ヘ付ントスル人ノコトナリ、扱スベテ天子ヨリ小民ニ至  
ルマデ、自己流智者ニツキ合ハヌヨフニスルコト第一ナリ、天理ハマワリノドヒヨフニ見ユルモノナ  
リ、大道ハマワリ路ノヨフニ見ユルユヘニ、兎角自己流男ハアゼ路ヲ通ルト同ジコトナリ、天理ハマ

ワリノヨフニ見ユルユヘニ、自己ノ智ヲ出シタクナルコト人ノ情ナリ、此自己智ヲ出ス人ニコ、ロヤ  
スフスレバ、己レガスルコトツイ自己流ニナルナリ、況ンヤ自己智ノ人ヲ友ダチニシテ、朝夕相談ヲ  
スルハ甚アシキコトナリ、コノ自己流智慧ヲ出ス男ハ、天理ヲマダルヒコトニ思ヒテ、己レガ工夫デ  
ヤリ付ルツモリナリ、天理デカタマリタル人ガ、天理デカタマリタル世界ニ居テ、天理ヨリモマダマ  
ダ近路ノ工夫ヲセントスルハ、天理ニスギタルコトヲセントスル人ナリ、ユヘニ左様ノ淫朋ノナキヨ  
フニセイトイフナリ、別シテ天子諸侯ハ大ゼイノ臣下ヲツカフモノナレバ、自己流男ヲ信仰シテ、重  
キ役ナドヲイヒツケルコト昔ヨリアルコトナリ、アゼミチヲ通りテ近路ヲユキタルヲ見ルト、ツイ其  
人ノユク路ヲユク氣ニナルモノナリ、コレヲツ、シムコト第一ナリ、マワリノヨフニ見エテモ、ヤハリ  
大道ヲユクコト大智ナリト心得ベキコトナリ、擬自己流ヲ人トイフ、大道ヲ天トイフ、此ノ天ヲ見クビ  
リテ人デヤルツモリ、甚アシキコトナリ、ユヘニ人ニシテ比徳アルハアシキコトジヤト云フナリ、比徳  
ハ内シヨゴトナリ、アゼ路ハ内シヨゴトナリ、天理デナキハ詐僞ナリ、其詐僞ニヒツツカヌヨフニシテ、  
大イニ彼天理ノ目當ノチガワヌヨフニセイトイフコトナリ、ユヘニコレ大イニ極ヲナセト云フナリ、凡  
ソ友ダチ臣下ニカギラズ、コレヲ洪範ニシテ見ルベキナリ、己レガ身ヲ天下ト見レバ、己レガ心ハ身ノ  
中ノ人ナリ、心ニモ貴賤アリ、天理ゴ、ロト、自己流ゴ、ロトアルモノナリ、タトヘバ人ヲダマソフ  
カ、ダマスマイカト思フコトアレバ、コノ心ニツアルナリ、ダマソフカト思フ心ハ自己流心ニテ、ダ



マスマイカト思フ心ハ天理心ナリ、人ヲダマセバ甚近路ノヨフニ見ユルユヘニ、天理ノ大道ヲステ、自己流ノアゼミチヲ行ントスルナリ、自己流ニシタシメバ禍ヲハナレヌナリ、天理デカタメタ世界ナレバナリ

凡厥庶民、有<sub>レ</sub>猷、有<sub>レ</sub>爲、有<sub>レ</sub>守、汝則念<sub>レ</sub>之、不<sub>レ</sub>協<sub>二</sub>于極<sub>一</sub>、不<sub>レ</sub>懼<sub>二</sub>于咎<sub>一</sub>、皇則受<sub>レ</sub>之

前ノ段ハ惡ヲニクム仕方ナリ、此段ハナダメル仕方ナリ、コレハハナルホド精シキ仕方ナリ、天理デズトヒドフアシラフタリ、又天理デユルメタリセネバ、天理ヲ目當テニスルトイフモノニアラズ、天ハ至テヒドキ所モアリ、又甚ユルヤカナル所モアルナリ、天理ハヒドキモノナリトモイワレズ、又ユルヤカナルモノナリトモイワレズ、一ト目ニ見テキワメラレヌトコロヲ、ヨク／＼イヒ取リタルモノナリ、猷ハ謀慮ナリ、智慧ヲメグラスコトナリ、爲ハシワザナリ、行ナヒナリ、猷ハ智者ノコトニテ、爲ハ賢者ノコトナリ、猷ハリコフモノナリ、爲ハキヨウモノナリ、心ノハコビノヨキ男ト、手足ノウゴキノヨキ男トヲナラベタルナリ、是ニテ人ノ用ニ立ツ理ハツキソフナルモノナレドモ、三ツナクテ叶ハヌナリ、是又三ノ常數ナル證據ナリ、扱心ノハコビ、手足ノハコビモナキ男ナレドモ、心ノシツカリトキマリタル男ハ又用ニ立ツナリ、是ヲ守トイフナリ、心ノマモリガガタツカヌ男ナリ、金ノバンヲサスルニヨキ男ナリ、智・仁・勇デワリ付テミレバ、猷ハ智ナリ、爲ハ勇ナリ、守ハ仁ナリ、シツカリトシテ、サワガズニマモリツメル男ナリ、ナルホド智者モ勇者モ仁者モ皆入用ノ人ナレバ、

心ノハコビ、手足ノハコビノヨキ人ノ外ニマダアルナリ、サスレバ洪範ハアリガタキモノナリ、ウカリノ讀ムベキモノニアラズ、孔安國・蔡沈ナドノ傳注ハタワヒモナキモノナリ、協ハカナフト訓ズ、チヨウドシツクリトユキタルコトナリ、極ニ協ハズトハ、一分一釐モチガワズニ、チヨウドシツクリト極ヘアタラズトモト云フコトナリ、懼ハカ、ルト訓ズ、内ハ綱ナリ、アミヲ張りテ禽獸アミニカ、リテ取ラル、此カ、ルト云フハ、アミニカ、ルヨフニカ、ルコトナリ、火災ニ懼ルハ火事ノアミノ中ヘ、此方ノ家ガカ、リタルト云フコトナリ、咎ハトガナリ、罪ナリ、扱天子諸侯ノ臣ヲツカフモ、人ノ心ヲツカフモ同ジコトナリ、心ニテモ責ルバカリデハイカヌナリ、天理ノユルヤカナル所ガヌケルユヘナリ、ソコデ己レガ心ヲ己レガユルメネバナラヌコトアリ、ユルメネバ心ソレテ怨怒スルユヘナリ、ヤハリ手代。バントウ。デツチヲツカフニチガヒタルコトナシ、アマリ責ルモアシ、責メズモオケバアシ、コニテヨクノ天理ノ仔細ナルコトヲ知ベキナリ、凡ユルメル時ニハ、三ツノヨロシキコトヲ念フコト術ナリ、三ツニ念ハネバヌケ目アルナリ、三ツトハ獸ト爲ト守トナリ、臣下ヲツカフニモ、心ヲツカフニモ、ヘサヘツケテナオサントバカリ思フベカラズ、ヒヨツトアレハワルヒナド、思フト、思ヒカヘノデキヌモノナリ、コノ時ニユルメル法ナリ、天地ノ間ニ生ル、人ナレバ、是非々々ニ天理ハ其人其心ノ中ニアルモノナレドモ、責ル心ニテ見ルユヘニ、見出スコトナラヌナリ、智慧モナク、無器用モノナレバ、シツカリト守ルトコロガアルハズナリ、守ルコトモデキズ、智慧モ

ナケレバ、手足ガ器用ナルハヅナリ、器用デモナク、守ルコトモデキヌ男ハ智慧ガアルハヅナリ、此  
三イロノウチ、是非ニ一イロハアルモノナリ、其一イロノヨロシキトコロヲ使フナリ、老子ニハ棄人  
ナシトイヘリ、人ニ棄ル人ハナキナリ、其人ノ見ヨフガタラスユヘニ棄人ニ見ユルナリ、此三イロニ  
テ念フテミレバ、棄ベキ男ハナキモノナリト思フベシ、汝トハ天子諸侯ヨリ其日グラシノ人マデ皆  
汝ナリ、臣下ヲツカフ人ニテモ、心ヲツカフ人ニテモ、友ダチトマジワル人ニテモ、器ヲツカフ人ニ  
テモ、草木ヲアツコフ人ニテモ皆汝ナリ、老子ニハ棄物ナシトイヘリ、天下ノ物ニ用ニ立タヌ物ハナ  
キナリ、見ヨフアシキユヘニ用ニ立ヌヨフニ見ユル、其物ノヨキトコロニツイテ見レバ、皆用ニ立ツ  
ナリトイヘリ、皆コノ章ノ意ナリ

而康ニ而色、曰ニ予攸<sup>レ</sup>好德、汝則錫<sup>ニ</sup>之福、時人斯其皇之極

而ハ汝ナリ、康ハヤスンズルト訓ズ、オダヤカナルコトナリ、色ハ顔色ナリ、攸ハ所ナリ、福ハサイ  
ワイト訓ズ、コ、デハ褒美トイフコトナリ、掇臣下ナラバアマリ己レガ家來ヲ責ルハワルヒ、是非ニ  
人ニハ猷力爲カ守カアルモノナレバ、其アルトコロノ善キコトヲ見テユルメ、褒美ヲヤルガヨイ、掇  
其人ノ善キ所ヲ見ルトテモ、大猷・大爲・大守ノ人ハ少ナキモノジャ、大猷・大爲・大守ナラバ、是  
レ目當ニシツクリト合フトイフモノナレドモ、己レガ目當ニアフト云フハ、是又大テイノコトデハナ  
キコトナレバ、目當ニシツクリ合フデハナケレドモ、大ガイニテ咎ニサヘカ、ルホドデナケレバ、大

イニ之ヲ受テ、責メズニナダメテ、ホメテヤリテ、扱其上ニ己レガ顔色ノワルフナイヨフニシテ、ニコトヤワラカニ顔色ヲヨロコバシフシテ、此方ハ唯アノ男ノ外ノコトハ見ヌ、唯アノ男ノ猷ガ好マシイ、或ハ爲ガ好マシイ、或ハ守ガ好マシイト、サキノ男ノ善キコトバカリ見テ、其ヨキ所ヲホメテ褒美ヲヤルガヨイト云フコトナリ、ユヘニ予ガ好ムトコロハ徳ナリトイフテ、汝則之ニ福ヲ錫ヘト云フナリ、徳ハ即猷力爲カ守ナリ、一イロデナキユヘニ徳トイフナリ、猷ノアル人ナラバ、アノ男ノ猷ガワシハコノマシイトイフナリ、扱如レ此ニオモヒナオシテ見レバ、其人モヤハリ極ニカナヒタル人ト云フモノナリ、ユヘニコノ人コレソレ太ノ極ナリトイヘリ、己レガ心ヲ己レガサダメル人モ、ヤハリコノ通りナリ、己レガ心ヲ己レガ責ルバカリデハ、心モヤハリガツテンセヌナリ、イヤニナリテ、イツコフニ遊ンデシマヘ、一向ニズルケロト云フヨフニナルモノナリ、コレハ養ヒヨフアシキユヘナリ、ナダメホメルコトナキユヘナリ、ヤハリ己レガ心ヲ己レガ養フコト洪範ノ傳授ナリ、バン トウ・手代・デツチヲツカフモ、家老用人ヲツカフモ、士卒心ヲツカフモ同ジコトナリ、皆智ヲ養ヒソダツル法ナリ、心ヲ責ルモ、心ヲ養フモ、皆天ノ理ニカケテ見ルコト第一ナリ、天理ニカタカシギノ理ナキコトナリ、人ノ徳ノ具ワリタルヲ使ハントシテハ、一生使フ人アルベカラズ、後世ニテハ兎角二人ヲ使フ人ガ、徳ノソナワリタル人ヲ使ハントスルコト、甚古訓ニソムケリ、人ガラガヨクバ、藝ノコトハカマワヌガヨイ、不器用ナコトニハ、カマワヌガヨイ、藝ガヨクバ人柄ニモ智恵ニモカマワヌガヨ



イ、智慧者ナラバ人柄ニモ不器用ニモカマワスガヨイト洪範ニアレドモ、後ノ人具ワラネバナラスト  
思フ、三ツナガラ具リタル人ハ聖人ナリ、聖人ハ世ニアロフハツナシ、聖人デナケレバ皆ナマギマリ  
ノ人ナリ、後世ハナマギマリノ人官ニツクハ、具ワランコトヲ求ルユヘニ、却テ何モカモナマギマリ  
ノ人ガ選ニ應ズルナリ、漢・唐ノ國ニ人ノナキハ、皆洪範ヲ讀マヌユヘナリ、己レガ心ヲステ、シマ  
フハ、皆洪範ヲヨマヌユヘナリ、天下ノ人ニハ棄人ナシ、己レガ心ハステズトヨキコトナリ、漢・唐  
ノ世ノ罪人ノ一日マシニ多クナルハ、皆養ヒヨフノアシキユヘナリ、己レガ身ヲ己レガ罪人ニスルハ、  
己レガ心ヲ己レガ養フシカタチガフタルユヘナリ

無<sup>レ</sup>虐<sup>ニ</sup>羣<sup>ニ</sup>獨<sup>ニ</sup>、而畏<sup>ニ</sup>高明<sup>ニ</sup>

虐ハムゴヒ目ニアワスコトナリ、シエタグト訓ズ、羣ハ兄弟ノ無キモノナリ、獨ハ子ノナキナリ、皆  
カロキモノ、世話ノヤキテノナキモノドモノコトナリ、畏ハ己レガ身ヲチヰメテ恐ル、コトナリ、高  
明ハ知行高ナド多ク、位モ貴フテ威光ノカバヤク人ノコトナリ、扱天子諸侯ニトツテイヘバ、下々ノ微  
者ノカロキモノドモノ、獨リグラシラスルモノニテモ、功アルトキハキツト厚フホウビヲヤルガヨイ、  
又位祿ノタカキ人々ニテモ、罪アラバキツト刑罰ニアワセテ、コリノトサスルガヨイト云フ意ナリ、  
故ニ羣獨ヲモ虐スルコトヲスルナ、扱高明ノ家ヲモ畏レシメヨト云フナリ、天子ニセイ、諸侯ニセイ、  
己レガ自由ニナルモノヲバ、膝ノ下ヘシクヨフニムゴヒ目ニ合ハスルモノナリ、己レガ自由ニナリニ

クヒ人ヲバ、少々其人ニワルイコトガアリテモ、見ノガシニスルモノナリ、此等ノコトハ天理ニ決シ  
テナキコトナリ、天子諸侯ニテモ、不養生ヲスレバ早ク死スルナリ、卑賤ノ人ニテモ、養生ヨロシケ  
レバ長壽ヲスルガ天理ナリ、天理ホドマツスグナルモノハナシ、是天理ノ通りニナロフテ、事ヲ取リ  
計フ仕方ナリ、威光ノアル人デモオソレスハ天ナリ、下賤ノ人デモソマツニセスハ天ナリ、詩經ニ仲山  
甫ヲ譽ル詩アリ、人トイフモノハ十人ガ十人ナガラ、剛キモノヲバ吐キ出ス、柔キモノヲバ嚙ミク  
ダクモノナリ、仲山甫ハ剛キモノヲモ吐出サス、柔キモノヲモ嚙クダカスト云フテ譽タル詩アリ、  
此詩ガヨフ此章ニ合フテオルナリ、犢獨ヲモ虐セスハ、柔キヲモ嚙マヌナリ、高明ヲモ畏レシムルハ、  
剛キヲモ吐出サヌナリ、サレバ平生トリアツコフコトニテモ、六ヶ敷フテ出來ニクイコトヲバイヤニ  
思フテ、ゾウサモナフデキルコトヲバ中ロクテンニ吞込ムコト人情ナリ、天理ニハ無キコトナリ、六  
ヶ敷コトニテモ恐レヌガヨキナリ、ナンノ出來スコトハナイト思フテ、勉メテヤリツケルガヨキナリ、  
ゾウサモナイコトニテモ中ズマシヲセスガヨキナリ、コノヨフナコトニハ深い意味ノアルモノジヤ、  
ダイジニカンガヘヨフト思フテ、重フトリアツコウベキナリ、如此ニスレバ天下ニ恐ルベキコトモナ  
シ、アナドルベキコトモナキナリ、天下ニ恐ルベキコトモ、アナドルベキコトモナイノガ即天理ナリ  
ト心得ベシ、天理ニウトキ人ハ智者ヲバ恐レテ、ヨケルヨフニシテ出合ヌヨフニスルナリ、愚者ヲバ  
膝ノ下ヘシクヨフニシテ、ムゴヒ目ニ合ハスルナリ、甚下手ナルコトナリ、凡ソ世ノ人ノスルコト多

クハウラハラナリ、天理トウラハラナルコトヲシテ、天理ノ中ニ居ルコト、大損ナルコトニテハナキヤ

人之有<sup>レ</sup>能有<sup>レ</sup>爲、使<sup>レ</sup>羞<sup>レ</sup>其行、而邦其昌、凡厥正人、既富方穀<sup>レ</sup>汝、弗<sup>レ</sup>能<sup>レ</sup>使<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>好<sup>ニ</sup>于而家、時人斯其辜、于<sup>ニ</sup>其無<sup>レ</sup>好<sup>レ</sup>德、汝雖錫<sup>ニ</sup>之福、其作<sup>ニ</sup>汝用<sup>ヲ</sup>咎

能ハ知能ナリ、智慧ナリ、コノマヘノ段ニイフ猷ナリ、爲ハ行ナヒナリ、賢ナリ、コノマヘノ爲ナリ、羞ハス、ムルナリ、昌ハサカンナリト訓ズ、繁昌ナルナリ、正人ハ政ニアヅカル人ナリ、即チ上ノ能アル人、爲アル人ナリ、穀ハ扶持方米ナリ、一體ハ祿ハ知行ナリ、地方ドリナリ、穀ハ藏米ドリナリ、コ、ニテハスベテ扶助ヲヤリテオク人ナリ、好ハヨキコトナリ、其家ノタメニナルコトナリ、辜ハ罪ナリ、罪古ヘ辜ニ作ル、秦ノ始皇辜ノ字ト皇ノ字ト似テ、氣ニカ、ルユヘニ罪ノ字ニ改メタリ、咎ハトガト訓ズ、咎ヲ用ユトハ、咎ヲ爲ト云フト同ジコトナリ、扨心ニ働キノアル人カ、或ハ行ヒノカシコキ人カナラバ、是レ能アル人、爲アル人トイフモノナリ、其能ト爲トヲ上ヘス、メサセテ用ユレバ、邦モヨフ治リテ繁昌スルナリ、サレドモ此ノ能爲ノアル人ヲツカフニハ、甚心得ノアルコトナリ、凡ソ其能爲アル人ガ、モハヤ富ヲナシテ身上モヨフナリテ、今ハ汝ガ家ノ祿ヲ食ミテ居ルコトナレバ、此レ汝ノ家ノタメニナルコトガナケレバナラヌ理ナリ、ソレニ左様ノコトモナク、別格ニシダシタル勳功モナケレバ、是レハ彼ノ能爲アル人ノ罪トイフモノナリ、上ヨリノアシライニオイテハ、ユキトバ

キテオルコトナレバ、其人功ヲアラワシテ上へ奉公スベキヲ、祿バカリ取リテ能爲ヲ勵マネバ、能爲ノ人ノ罪ナリ、サレドモ一體上ノ目鏡チガヒデ、能爲モナキニ祿ヲヤリテ養フハ、是ハ上ノ罪ナリ、能爲モナキ人ニ大切ノ米ヲヤルハ、上ノアシキナリト云フコトナリ、イカサマニモ上ノ目鏡トイフガ大事ノコトナリ、目鏡ハチガワネドモ、下デ働カヌハ下ノ罪ナリ、下ノ人ガ德モナキニ、知行ヲヤルハ上ノ罪ナリ、一體天下ノ百姓一人耕ヤサネバ、ソレダケ米ガ少ナフデキルト云フモノナリ、一人喰ツブシノ人アレバ、一人ノ食ダケノヘリナリ、サレバ人ニ知行ヲヤルナド、イフハ六ヶ敷コトナリ、天下ノ飢寒ニアヅカルコトナリ、庶人ノツキ合モ如此、此方ノ用ヲモタサヌ人ニ物ヲ取ラスルコトハ、天理ニチガフテオルナリ、此方ノ用ヲタス人ニ物ヲ取ラサヌモ、天理ニチガフテオルナリ、天理ハメノコ算用ナリ、一分一釐モケチガヒナキコトナリ、此方ヨリ物ヲ取ラセタレドモ、取タル人ノ働カヌハ、取リタル人ノアシキナレドモ、一體働キノナイ人ニ物ヲトラスルハ、取ラスル人ノアシキノナリ、己レガ智ヲ養フ時モカクノゴトクナリ、心ガ大キニ骨ヲ折タルニ慰メヌハアシ、又慰メタレドモ心ガ骨ヲ折ラヌハ、心ノアシキノナリ、心モ己レナリ、己レモ己レナレバ、他人ヲ己レガ自由ニセント思フヨリハ、ヤットシヨキコトナリ、己レガ心ヲ己レガ知リテ、己レガ働カセントスルハ、ズンド出者ソウナルモノナレドモ、己レガ心デサヘ己レガ自由ニハナリカスルモノナリ、左レバ他人ヲ自由ニセントスルハ無理ナルコトナリ、己レヲ己レガツカフテ見テ、此見當ニテ世ノ人ニツキ合ヒ交レバ、



己レノ心ノ怨ムコトモ、怒ルコトモナキコトナリ、是皆洪範ノ智ヲ養ヒ福ヲ得テ、長壽ヲ保ツ術ナリ、  
既ニトハ、モハヤソウシテシモフタトイフ處ヘ用ユル辭ナリ、方ニトハ、今マツサイテウトイフ處ヘ  
用ユル字ナリ、汝トハ能爲アル人ヲ養ヒ使フ人ヲサシテイフナリ、庶人ノ己レガ心ヲ養フ人ナラバ、  
其養フ人ヲサシテイフナリ、洪範ユヘニ天子トモ、諸侯トモ、大夫トモ、士トモ、庶人トモキメヌヘ  
ニ、汝トイフナリ、バツトイフタルナリ、唯人ノミナラズ、禽・獸・草・木・山・水・事・爲ニテモ此範ニ  
テ推シテ知レルコトユヘニ、唯バツト汝ノ而<sup>ナンデ</sup>ノイフナリ、

無<sup>レ</sup>偏無<sup>レ</sup>陂、遵<sup>ニ</sup>王<sup>一</sup>之義、無<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>作<sup>レ</sup>好、遵<sup>ニ</sup>王<sup>一</sup>之道、無<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>作<sup>レ</sup>惡、遵<sup>ニ</sup>王<sup>一</sup>之路、無<sup>レ</sup>偏無<sup>レ</sup>黨、王道蕩  
蕩、無<sup>レ</sup>黨無<sup>レ</sup>偏、王道平平、無<sup>レ</sup>反無<sup>レ</sup>側、王道正直、會<sup>ニ</sup>其<sup>一</sup>有極、歸<sup>ニ</sup>其<sup>一</sup>有極、

コノ段ハ韻語ナリ、凡ソ覺エテオラネバナラスコト、忘レスヨウニスル言葉ニハ、必ズ韻ヲフミテ拍子  
ヲツケルナリ、歌ナドノルイナリ、此方ニテモ海ノナキ國ヲ歌ニシテ、覺エヨキヨフニスル地震ヲ知ル  
歌、凡ソ覺エヨキヨフニスルニハ歌ガヨキナリ、歌ハ拍子アリテ歌フモノユヘニ、拍子ニテ覺ユルナ  
リ、此方ノタトヘ草ナド、イフモ、皆拍子アリテ言ヒヨキヨフニ作ル、古ヘノ經ト云フハ、皆多クハ韻語  
ナリ、人ノ平生ニクチクセニイフテナレヨウニシタルモノユヘナリ、一體經トハ機ヲ織ル絲ノ堅スデ  
ノコトナリ、横絲ハナンボモツギ合サル、モノナレドモ、縦絲ハ始メヨリ終リマデ一スチツバキテ通リ  
テオリテ、機ノ紋ヲリント持テオルモノユヘニ、大イナルケ條ヲ經トイフ、細キケ條ヲ緯トイフ、緯トハ

横絲ノコトナリ、人ノ世ニ居リテ片時モ忘レテハスマ言葉ヲ、アツメテツバリタルヲ經トイフ、是ニテ人ノ一生ヲリント持テオルモノユヘナリ、詩經ハ勿論ナリ、易經モ書經モ皆押韻ナリ、ツネ／＼ニクタクセニシテ忘レマジキタメナリ、佛經モ其トオリナリ、佛ノ智惠ヲトキ玉ヘル大切ノ言葉ニテ、片時モ忘レテハナラヌ言葉ユヘニ、覺ヘヨキヨフニスルナリ、佛經ヲ讀ムトキニ、太鼓ヲウチ、鐘ヲウチ、拍子木ヲウチタリスルモ、皆拍子ヅクヨフニシタルモノナリ、ユヘニ外ノコトトチガヒテ、佛經ハ長キモノニテモ、ヨフオボヘテヨムナリ、拍子アルユヘナリ、孔子ハ磬ヲ打テ書ヲ讀ムコト常ナリ、皆拍子アリテ覺ヘルタメニ書タルモノユヘナリ、扱一體經ヲヨムハ、經ニハ智慧ノワクシカタガ詳カニアリテ、經ヲ讀ミテオレバ心ニ智ワキテ、天理ヲ取リソコナワスタメナリ、然レバ經ヲヨムハ己レガタメナリ、然ルニ今ノ佛ヲ信ズル人ハ、佛ヘノ御馳走ナリト心得テ、水ノ流ル、ヨフニ讀ム人多シ、經ノ意味ヲ嚙シメテ智ノ湧クタメニスル人ヲバ、鶴アマリ見タルコトナシ、鶴モ大イニ佛ヲバ信仰スルナリ、佛ハ聖人ナリ、信仰セイデ叶ハスコトナリ、佛ノ智ヲ説キ玉フコト甚妙ナリ、般若トハ天竺語ナリ、智トイフコトナリ、大般若經ハ六百卷アリ、如此シンセツニ智ヲ説キ玉フ聖人ハ、我邦ニモマシマサズ、支那ニテモナキナリ、唯天竺ノ聖人バカリハ智ノ極精ナルトコロヲ説キ玉ヘリ、然レバウツカリト讀ムベキモノニアラズ、ユヘニ朝々ニ讀ムコト佛ノ法ナリ、朝ハ心ノシヅマリテ、オチツクモノナリ、心シヅカニオチツキタルトキニ、智ノ精妙ナルトコロヲ何遍モ／＼モクリカヘシ／＼味

フテヨミテ、己レガ心ニ培フベキハヅノコトナリ、然ルニ今ノ人ハ佛ヘノ御馳走ト心得ル人多シ、可笑コトナリ、鶴ガ佛ヲ信仰スルト云フハ、智ノ精妙ナルヲ信仰スルナリ、鶴ノ知リタル人ニ少々詩ヲ作ル人アリ、此人ノイフハ毎朝々々佛前ニテ長キ經ヲヨムコト甚退屈ナリ、因テコノ間トクトカンガヘテ退屈セヌ法ヲカンガヘツキタルガ、イカバアルベキヤ、佛前ニテ經ヲヨムウチニ、七言絶句ヲ一首ヅ、考ヘテ作ルコトヲ工夫シタリ、其後ハ看經ニ一向退屈セヌトイヘリ、鶴イフニハ、何ユヘニ佛前ニテ經ヲ讀ミ玉フトイヘバ、其人イフニハ、經ヲ讀ミテ佛ヲダマサネバナラヌナリトイヘリ、此人ノ思フニハ、二千年以前ニ死セラレタル佛ガ、今ニイキテ居ラル、ト思フテオル様子ナリ、大智妙智ノ聖人ヲダマストイフハ、聖人ヲ當歳ノ小兒ト思フテオル様子ナリ、經ハ聖人ノ説玉ヘル經ナリ、其經ヲ其佛ノマヘニテ毎朝ヨミテ、ナンノ馳走ニナルベキヤ、トントワカラヌコトナリ、淨瑠璃ハ面白キモノナリ、左レドモ其師匠ノ前ニテ、毎朝々々カタリテキカセテ、ナント馳走ニナルベキヤ、師匠ハウルサガリテ逃ル理ナリ、佛經ハ佛ノ作ナリ、コレヲ毎朝其作者ノ前ニテ同ジコトヲイフテ、ナンノ馳走ニナルベキヤ、佛ハウルサガリテ逃ル理ナリ、且ツ木デ作リタル像ヘ馳走スル甚オカシキコトナリ、佛ノ像ヲ見ルニ、趺坐シテ肩ラントオトシテ、手ヲ膝ノ上ヘベタリトオキテ半眼ナリ、アノ像ハ心ノ落チツキタルト云フコトナリ、鶴ハ佛ノ像ヲ拜スルゴトニ、ナルホド面白イコトジヤ、ア、ナケレバ心動ク、心動ケバ心サワグ、心サワギテ何トテ智ガ湧クコトデアロフゾ、智ノ湧ク時ニハ必ズ

心オチツキテ動カヌトキナリト思フユヘニ、佛ヲ信ズルナリ、佛ノ仕掛ケハ甚以難有キコトナリ、佛者ノ心得ノチガヒタルハ氣ノ毒ナルコトナリ、然レバ洪範ノ語ニモセイ、老子經ノ語ニモセイ、凡ソ己レガナルホド、思ヒタル語ヲ、一行モノニデモ、二行モノ三行モノニデモ、書ノオトナシキ人ニカイテモラヒテ、ザツト表具ヲシテ、何幅モ〳〵モコシラヘテ、二日三日ホドヅ、カケテハ、又ハトリカヘ〳〵カケテ、毎朝々々此幅ニムカヒテ觀念スベキコトナリ、是佛ノ法ナリ、トリカヘ〳〵掛ケネバ、同じ幅ニテハ氣ガ改ラヒデアシ、ケ様ニスルガ智ノ湧ク法ナリ、智ノ湧ク法ハ澤山ニアレドモ、コレラハ甚目ノ當リ效驗ノアル法ナリ、是大般若經ノ六百卷アルユエナリ、扱此段ノ意ハ天下ヲ治ルヨリ、心ヲ治ルニ至ルマデノシカタヲダン〳〵トキテ責メヨト云フタリ、責ルハアシ、トイフタリ、ツメヨト云フタリ、ナダメヨト云フタリシテ、丁寧ニイフテ、扱コ、ニテ眞ノ目當ヲイフ、是皇極ノ極意ナリ、此段ハ目當ヲトル仕方ノ極意ナリト思フベシ、偏トハカタハシヘヨリタルナリ、左リヘズツトヨリスギル、右ヘズツトヨリスギル、皆偏ナリ、跛ハカタムタナリ、土手路ノコトナリ、屋根ノヨフニカタ〳〵高ク、カタ〳〵卑フテカシギタルコトナリ、遵ハシシタガフト訓ズ、物ニヨリソフテ、其ヘリヲトリテアリクコトナリ、タトヘバ車ノワダチガアレバ、其ワダチヲ定本ニシテ、ワダチノヘリヲトリテアリクナリ、王ノ義トハ、天帝ノモチテ居玉フ天理ノコトナリ、好ハコノミナリ、ヒイキニ思フテ心ヲヨセシコトナリ、惡ハ去聲、ニクムコトナリ、イヤニオモヒテ心ニスツルコトナリ、黨



ハ一體ハ家五百軒アル里ノ名ナリ、五百軒一トムレニナリテ、親ルイドウゼンニイヒ合セテシタシム  
ユヘニ、ヒツツキテムツマジフスルヲ黨トイフ、徒黨ノコトナリ、蕩々ハ水ノナガレテ止マヌコトナ  
リ、物ニヒツツカस्ताトヘナリ、平ラカニナガレテ、止マラズ、ヒツツカヌト云フコトナリ、平々ハ  
音便・辨治ナリト解ス、ハツキリトワカリテ、オサノシキコトナリ、反ハヒツクリカヘルナリ、側  
ハカタムク、ソバダツナリ、正ハ的ノ黒星、マンナカナリ、直ハマツスグナリ、會ハヨリアツマルナ  
リ、歸ハオチツキドコロヘオチツクナリ、有極ハ極ヲアガメテイヒタルナリ、扱責メルモアシ、責  
メヌモアシ、トイフハ、傾クコトハアシキト云フコトナリ、カタムクコトハワルイト云フハ、カダヨ  
ラス、カシガヌト云フコトジャ、天帝ノ持チ玉ヘル天理ノハリヲトリテ、アリクヨフニセイト云フ歌  
ナリ、イカサマニモ人ヲ愛スルモワルイ、惡ムモワルイ、ドチラヘモヨラズニ天理ヲ通ルト云フハ、  
ヨホド心ヲ用ヒネバ出來ヌコトナリ、人トシタシミ、ヨシミヲムスバネバナラヌコトハアルコトナリ、  
ズイブンヨシミヲモムスブナリ、心デハ決シテムスバヌナリ、人ヲ惡マネバナラヌコト是モアル  
コトナリ、ズイブンニニクムナリ、心デハ決シテニクマヌナリ、天理ノ通りニユクナリ、一體ニ天理  
トイフモノハ、蕩々トズラリト流レテユキテ、ヒツツカヌモノナリ、人ヲ愛スルモ、愛ノ字ノ方  
ヘヒツツクナリ、ニクムトイフテモ、惡ノ字ノ方ヘヒツツクナリ、ヒツツキテハ蕩々トイフモノニア  
ラズ、水ノ流レテ行クヨフニ、一向ニヒツツカヌヨフニユカネバ天理ニ叶ハヌナリ、扱天理ハスラリ

スラリトシタルウチニ、黑白ハツキリトワカリテ、オサ／＼シキモノナリ、スラリ／＼ト流ル、バカリデハナイ、其中ニヤハリ用事モト、ノヘ、チャント事ワカリテ、善惡邪正ハツキリトワケテ、サワガヌモノナリ、今日天ヲ見ルニケ様ナリ、相カワラズ日輪モ東ヨリ出デ西ヘ入リ、スコシモサワガズニ、スラリ／＼ト流行シテオレドモ、天理ニ叶フモノハ福ヲ得テ、叶ハヌモノハ禍ヲ得ルコトハ、ハツキリトシテ、チャントワカリテアル、ホドヨフイヒ取リタルモノナリ、反ハ其ウラハラユヘ、其天理ノウラハラニナラスヨフニ、天理ヲカタムケ、ソバタヌヨフニト氣ヲツケテマンナカヲ通り、マツスグニ通りテアリケバ、自然ニ天理ノ目當ニ行キアタリテ、自然ニ天理ノ目當ニオチツキトバマルト云フ歌ナリ、此歌ヲ口クセニシテ日々ニウタヘバ、心ニワスル、マナキユヘニ、大福大壽ヲ得テ、目出度サカヘズシテ叶ハスコトナリ、韻ハ跛ト義ト協フ、好ト道ト協フ、惡ト路ト協フ、黨ト蕩ト協フ、偏ト平<sup>ビ</sup>ト協フ、側ト直ト協フ、協韻トハ、韻ハ引キ聲ノヒバキナリ、同ジヒバキニテ引聲ヲスルコトナリ、協フトハ合フト云フコトナリ

曰、皇極之敎言、是舜是訓、于帝是訓

曰クト云フハ、歌ノアトニテ又別ノコトライヒ出スユヘニ、此レハ別段ニ端ヲ改メテイフノジヤト云フコトナリ、數ハ布ナリ、シタナリ、シキホドコスナリ、天下ノアラユル人ニシキホドコス言葉ユヘニ、數言トイフナリ、念<sup>ネン</sup>偏<sup>ヘン</sup>ヲホドコスト同ジコトナリ、上ハ天子ヨリ下ハ小民ニ至ルマデ、誰ニデモシツ

クリ合フ智慧ユヘニ、敷言ト云フナリ、舜ハ常ナリ、アヒカワラスト云フコトナリ、訓ハオシヘト訓ズ、ミチビクト訓ズ、川ト云フモノハ水ヲミチビクモノユヘニ、言葉デ人ヲオシヘミチビクヲ訓トイフナリ、此敷言ハ誰ニイヒキカセテモ、又何時ニ用ヒテモ、相替ラズチガヒモナフ難<sup>レ</sup>有キコトバジヤ、難<sup>レ</sup>有キオシヘノミチビキジャトイフテ、扱コレハ人間ノ言葉デハナイ、天帝ノ御オシヘジヤト云フコトナリ、帝ハ天帝ナリ、天理ヲカタレバ、ナルホド天帝ノ言葉モ何モチガヒタルコトナキナリ、ユヘニ天帝ニアリテ此訓ヲホドコシ玉フト云フナリ、コレハ以上ノ歌ノ妙ナルコトヲホメテ、人々ノソマツニセスヨフニ、ウツカリト聞ナガシニセスヨフニ、ヨクアジワヒ囁シメテ、トツクト腹中ヘオサムルヨフニ、別段ニホメソヤカシテイヒタルナリ

凡<sup>レ</sup>庶民、極之敷言、是訓是行、以近<sup>ニ</sup>天子之光、曰、天子作<sup>ニ</sup>民父母、以爲<sup>ニ</sup>天下王<sup>一</sup>

天子ノ光トハ、天子ノ御威光ナリ、光ハヒカルト訓ズ、其近邊ト云フコトナリ、天子ノ光ニチカヅキタルハ伊尹・傳説ナリ、兩人共ニ眞ノ百姓ヨリ起リテ、天子ノ宰相ニナリテ天下ヲ治平シタル人ナリ、天理トイフモノハ、イヤトイワレヌモノニテ、天ノワリツケハ、其人ノ智慧ノ目方ト、其人ノ衣食ノ目方ト、ヨフツヲ合フタルガ天理ナリ、今ニテモ角力取。碁打ナドハ、眞ニ一分一釐モチガワズ、ソノチカラダケノ衣食ヲスルコト、甚天理ニカナフテオルナリ、芝居役者モ諸藝者モ、其藝ダケノ衣食ヲスレドモ、アイダニハ親ノ功ヲ以テ稱セラル、コトモアレドモ、角力取。碁打ニイタリテハ、實ニ

以テ其チカラダケノ格式ナリ、一體ハ天子モ諸侯モ、凡ソ天下ノ人ハ皆角力取・碁打ノ通りタルベキ  
ハヅノコトナリ、十萬戸ノ人、一萬戸ノ人ノ十倍智慧ナケレバ天理ニ合ハヌナリ、天理デイフテ見レバ、  
第一ノ智慧者ガ第一ノ位ニイネバ合ハヌナリ、伊尹・傅説ハ角力取・碁打ノ通りニユキタル人ナリ、ユヘ  
ニ天下ノ第一人ハ士百姓ニ生レテキテモ、天子ノ御威光ニ近ヅキテ、宰相ニナルベキハヅノコトナリ、  
ユヘニ此歌ノ通りニ智慧ヲシタテアゲタル人ハ、庶民トイヘドモ此歌ノ通りニ行フユヘニ、天子ノ宰  
相ニナルベキハヅナリト云フナリ、扱又曰クト端ヲ改タメタルハ、是ハ天子トイフコトヲ解ヲシタル  
ナリ、天子トハ天ノ子ト云フコトナリ、天理ヲ腹中ニオサメテ、爲ルコト爲スコトノコラズ天理ナラ  
バ、此人ハ即チ是天理ナリ、天ノ通りナリ、天ノ通ナレバ即チ天ナリ、天ハ上ニアリテ天下ヲオホフ  
テオル、其下ニオリテ天ノ意ヲウケテオルモノユヘニ、天子トイフト云フコトナリ、コノ天子トイフ  
モノハ、天理ガ腹ニアルユヘニ一分一釐モ無理ナルコトガナキナリ、無理ナルコトノナキ人デナケレ  
バ、コノ大ゼイノ民ヲ無事ニスゴシテヤルコトガナラヌナリ、凡ソ人ノ己レガ身ニカヘテ、カワユヒ  
トオモフテ、理ニシタガフテ愛スルモノハ、己レガ子ニシクコトアルベカラズ、ユヘニ民ヲ己レガ子  
ノ通りニ愛スルヲ天子トイフナリ、扱父母ノ子ヲ愛スルハ、子ノヨロコブヨフニトバカリニアラズ、  
子ノヨロコブヨフニバカリヌレバ、子ハ氣儘モノニナルナリ、氣儘モノニナレバ、コノ子ハシマイニ  
ハ飢寒スルユヘニ、父母ノ子ヲ愛スルハ氣儘ヲサヤヌナリ、子ガイヤガリテモ、朝ハ早フ起シテ手習



十露盤ヲケイコサスルナリ、キカネバ、カラゲアゲテ、ウチチヤウチヤクヲスル、皆愛スルヨリ出タルコトユヘニ、大キニ責メラレテモ、其子モ又父母ヲ愛スルナリ、ユヘニ民ノ父母トイフハ、アマヤカスコトニアラズ、アマヤカス父母ハ宜フナイ父母ナリ、其子ニ藝ヲシツケ、行ヲ正シフサスルガヨキ父母ナリ、ユヘニヨキ父母ヲ持タル子ハ一生安樂ナリ、宜フナイ父母ヲ持タル子ハ乞食ニナルナリ、乞食ニナレバ父母ヲ怨ムナリ、一生安樂ナレバ父母ヲオガムナリ、オガムト怨トハ、父母ノシツケニアルコトナリ、古ノ民ノ父母タル人ハ、民ヲアマヤカスニアラズ、サレドモ民オガムナリ、後ノ民ノ父母タル人ハ、民ヲステ、オクユヘニ、民怨ムナリ、民ノ父母トイフ字ハ、サリトハヨキ字ナリ、後世ハ民ヲヤタラニカワユガリテ、作りドリヲサスルヲ民ノ父母ト心得テオルナリ、民ニ作りドリヲサスルハ、子ニアルヘイバカリクワセル父母ニアタル、是子ヲ殺ス父母ナリ、百姓ヲ殺ス領主ナリ、民ノ父母ト名ヅケタルニテ、ヨフ民ノ養ヒヨフ知レルナリ、扱王トハ天地ノ間ニ一人アリテ、天地ノ通りニ萬物ヲ育スル人ノ名ナリ、ユヘニ字三ニ從ヒテ、一ニ從フナリ、三ハ上ノ一ハ天ナリ、中ノ一ハ人ナリ、下ノ一ハ地ナリ、易ノ卦爻ノ通りナリ、上爻ヲ天トス、中爻ヲ人トス、下爻ヲ地トス、此天・地・人ヲズツト通りテ持テオルヲ王トイフナリ、天地ノ了簡ノ通りノ了簡ナル人ヲ王トイフナリ、地ハ天ノ中ニアルモノナリ、天トイヘバ地ハ其中ニアルナリ、其天地ノ中ニ生ズルヲ人トス、天・地・人ノ三才ヲ貫キ通シテ、其理ヲアマサズモラサズ持テオル人ガ王ナリ、天地ノ間ノ第一ノ智者ト云フコトナ

リ、人一人ノ腹中ニ取リテ見レバ、將帥心ハ天子ナリ、士卒心ノ氣ハ民ナリ、心ハ氣ヲ愛スルガヨキナリ、ヨケレドモ、宜シイ父母ノ子ヲ愛スル通りニ愛スベキナリ、ステ、オクヘカラズ、又セメルバカリデハ、ニクムニアタル、心ハ氣ヲニクムニアラズ、實ニ以テ愛スルナリ、氣ハムマヒモノヲクヒタガル、面白イモノヲ見タガル、ズルケタガル、朝寢ヲシタガルモノナリ、氣ノ氣儘ニスルハ宜シカラス心ナリ、心ノ氣ヲ制スルハ、聖人ノ民ヲ制スル通りニ制スベキナリ、ソレデナケレバ、腹中第一ノ將帥心トバイワレヌナリ

六三德、一曰、正直、二曰、剛克、三曰、柔克、平康正直、彊弗友剛克、熒友柔克、沈潜剛克、高明柔克

皇極ヨリ前ヘハ智ノ大ワリナリ、アラマシナリ、皇極ヨリ以下ハ智ノコマワリユヘニ、智甚精妙ニテ、ダン／＼ニクワシフナルナリ、此三德ナドハ別シテ妙ナル智ナリ、ヨク／＼アデワイ囁シメテ、外ノコトヘモカケテ見ルベシ、國天下ヲ治ムルバカリデナシ、身心ヲ治ルバカリデナシ、凡ソ萬物萬事ニテモコノ範ノチガフト云フコトナキナリ、コノ談モアマリ長フナルユヘニ、詳カニハイワヌナリ、國ト心トノワリ合ヒタイフバカリナレドモ、萬物萬事ニユキワタリテ、シツクリ合フテオル天理ノコトナレバ、何ニナリトカケテ推テ見ルコト學問ナリ、智ノ働キナリ、如シ又シツクリ合ハヌコトアラバ、問ヒニツカワサルベシ、合セヨフガワルケレバ合ハヌコトアリ、マヘ／＼モイフ通り、火ガツメタイ方

ヘユクコトモアリ、水ガアタ、カイ方ヘユクコトモアリ、智ガ愚ノ方ヘユクコトモアリ、愚ガ智ノ方ヘユクコトモアルナリ、ユヘニ智ヲ働カスハ面白キモノナリ、一體天下ノコトニオヒテ、イカヌコトハナイトシタルモノガ天理ナリ、唯天理ノツカイヨフガマチガフテオルユヘニ、思フ通りニユカヌナリ、ユヘニ聖人ハナシデモ知リテオリ、何ゴトヲモ自由ニスルモノナリトキメタルハコノユヘナリ、佛ニナレバ何ゴトモ思フ通りニユクトイフハ、手ヲウテバ圓イモノガ角ニナルト云フヨフナコトニアラズ、奇妙不思議ナルコトニアラズ、智ガクワシユヘニ、萬物ヲツカフコトガ自由ニナルユヘナリ、天理ニアルダケノコトハ自由ニナル理ナリ、天理ニアルダケトハ、天地ノウチニアルダケノコトナレバ、コレニモル、コトアルベカラズ、朝貌ノ花ノシボリヲ好ミシダイニ咲スト云フハ、天理ヲツカフナリ、彩色ニテ染メタルモノニハアラズ、草ノ方カラ咲クナリ、草ノ方カラ咲クハ天ナリ、サレバ天理トイフモノハ、ナルホドアリガタキモノニテ、本ハカンガヘテ、カンガヘツカヌコトハナキコトナリ、唯カンガヘヨフガアシキユヘニ、カンガヘアタラヌナリ、天理ノ方ニハ隨分理ガアルナリ、ソレヲ人ガカンガヘアテル、アテヌトイフノミノコトニテ、天理ノタラヌト云フコトナキコトナリ、天理ニハ不足ハナキナリ、人ノ心ノクバリガタラヌナリト思フベシ、此段ヨリハ別シテ詳カニ智ノクバリヲ語リタルモノナリ、扱徳ハ恵ノ字ナリ、直心ト云フコトナリ、天ヨリ下サレタルマ、ノ心、一向ニ自己流ノナキコトナリ、天ヨリ下サレタルマ、ノ心ハヨキ心ナリ、人々天ヨリ下サレタル心アリ、サレドモ人心ニ

クラマサレテ、彼天授ノ直心ウスラギテアシフナルナリ、カヘツテ始メ天ヨリ下サレタル心、ドモヘ  
カマギレテ無ナルヨフニナルコトナリ、ユヘニ徳トハ天理ニカナヒタル心ノコトナリ、人々ニ此心アレ  
ドモ、今クラマサレテオルユヘニ、無キヨフニ見ユレドモ、一體ハアルニチガヒナキコトナリ、今コノ  
心ヲ三品ニワケテ、事物ノアシライヨフヲ此心ノハコビデ、シコナスヨフニシタルモノナリ、天理ヨ  
リ出タル心ナレバ、此心ガ即チ天理ナリ、ヨロシキハヅナリ、人々ウツカリトシテオレドモ、如此  
ニイヒキカセテモラヘバ、ナルホド心ヅク、心ヅケバ彼直心キユルヨフニナリタルガ、又イキカヘリ  
テ心シツカリトスルハ、皆本心ノ天ヨリ賜リテ、各心中ニアルユヘナリ、扱右ノ三品ハ又常數ノ三ツ  
ナリ、正直ハ中ヨリ、上・中・下ノ中ナリ、水・火・土ノ上ナリ、水ハ下ヘサガル動キアリ、火ハ上ヘノ  
ボル動キアリ、土ハ動カス平カナルモノナリ、正ハ的ノ黒星ナリ、マンナカナリ、直ハマツスグナ  
リ、心ヲ動カサズニ、上ゲモセズ、下ゲモセズ、唯アルベキカ、リニモチテオルト云フコトナリ、剛  
克トハ剛トハ金ヤ石ノカタキヨフニカタキナリ、強ト同ジヨフニテチガフナリ、強ハシユウワリヅヨ  
キナリ、綱ナドノ強キハ強ナリ、金ナドノツヨキガ剛ナリ、強者ハネンバリヅヨキナリ、剛者ハムキ  
ニツヨキナリ、人デイフテ見レバ、辨慶ナドノツヨキガ剛ナリ、克トハカツコトナリ、剛克トハ剛  
ヲ以テ勝ツコトナリ、柔克トハ、柔ハヤワラカナレドモ、ナメシ皮ノヤワラカナルヨウナルヲ柔トイ  
フ、弱ニ似テチガフナリ、弱ハ切レバズタ／＼ニ切レルト云フヨフナルヤワラカミナリ、扱柔克ハ柔



ヲ以テ勝ツナリ、孔明ヤ楠正成ナドノ人ニ勝ツガ柔克ナリ、剛克ハ火ノヨフニテ、柔克ハ水ノヨフナリ、是モ心イキヲイフコトニテ、キマリタルコトハナケレドモ、テツペンヅケニユクノガ剛ナリ、下タカラ出テアヤマルヨフニスルガ柔ナリ、左スレバ剛ハ上ノ方ニテ、柔ハ下ノ方ナリ、如此天理ハ三ツニワカルモノユヘニ、三徳ト云フナリ、唯人ニカツノミナラズ、物ニカツモヤハリ此理ナリ、扱平康ナレバ正直トハ平ハヒト、オリナリ、康ハヤスシト訓ズ、オダヤカナルナリ、人デイフテ見ヨフナラバ、他人ニセイ、己レガ身ニセイ、治メテ宜シイ品ニトリ立テヨフトスルトキノ心得ナリ、物デイフテ見ヨフナラバ、宜シキ器ニトリ立ントスル時ノ心得ナリ、克トハカツコト、治ルコトニテ、セムルヨフナ心ヲカネテモチタル字ナリ、家ヲ克スルト云フハ、家ノ行儀ヲナオシテ、家政ヲキビシフスル氣味ナリ、子ヲ克スルト云フモ、子ヲイケンシテ責ル氣味ナリ、己レニ克トイフモ、己レガ氣儘ヲヘシナオス心モチナリ、皆其品ヲケツコウニセント思フテ取り立ル心ナリ、扱人ニセイ、物ニセイ、アルベキカ、リノヒト、ホリノ品ナレバ、剛デ治ムルモアシ、柔デ治ムルモアシ、平直ニテアルベキカ、リデ治ムルガヨキナリ、タトヘバ己レヲヨキ品ニ取立ント思フニ、己レガ心ヲ治メテ見レバ、デキニ知レルナリ、朝寢ヲスル人、朝早フオキヨフトイフ願ヲスルニ、己レガ心ガ此法ヲマモル心ニナリテ、キツト朝早フオキヨフト思フハ、コレ己レガ心ガ平康ナルナリ、如此平康ナル心ナレバ、剛克スルニ及バズ、柔克スルニ及バヌコトナリ、一トトホリニテヨキコトナリ、コレヲ平康ナレバ正直ト

云フ、強ハ強ト同ジコトナリ、友ハシタシムナリ、ヤワラカニシタシフスルコトナリ、強ニテ友ナラ  
ネバ、剛デ克タネバ勝テスナリ、己レガ朝寢ヲ止メテ朝早フ起キヨフト思ヘドモ、朝眠ムイユヘニ、何  
ンノ朝早フ起ズトモヨイコトジャ、一向大朝寢ヲシテヤロフナドトフテルヨフナ心ニナルハ、心デハ  
朝寢ヲ止メヨフト思フタレドモ、氣ガ強デツヨキナリ、イヤ／＼ソウデハナイ、コヽヲシンボウシテ起  
キヨフトイフハ、又心ガ氣ヲトリマワスヨフニスルナリ、ソレデモイヤナリテ、フテ、ナヲ／＼朝  
寢ヲスル氣ニナルハ、是氣ガ心ノ支配ヲウケスナリ、友ナラヌナリ、心ニ氣ガシタシマヌナリ、コノ  
トキニハヒドク氣ヲ剛ニテ制セネバナラヌナリ、蘇秦ハ書ヲ讀ミテ眠フナレバ、モヽへ鑽ヲ立テ、己  
レヲ責メタルナリ、コレラハ剛克ナリ、ネムルマイ／＼ト思ヘドモ、氣ガ氣儘ニテ心ノイフコトヲキ  
カヌ上ニ、フテルヨフニスルユヘニ剛克シタルナリ、他人ナラバ異見ヲツキカヘスヨフニ、ワザ／＼ワ  
ルイコトヲスルヨフニスル人ナリ、コレハ剛克セネバナラヌナリ、ツヨフイカネバナラヌナリ、ヘサヘ  
ツケルヨフニセネバナラヌナリ、扱髮ハヤワラカト訓ズ、火ニテ物ヲ煮熟シテ、イレヤワセテヨイア  
ンバイニナリテ、ヤワラカニ此方ノイフナリニナルト云フヨフナル氣味ナリ、此方ニカラカワヌ心ナ  
リ、己レガ心ニテモ朝早フ起キヨフト思ヘバ、朝早フキツト早フ起キル心ニナルユヘニ、ネムトフテ  
モ起ル、是ハ氣ガ心ニカラカワズニ、ヤワラカニ承知シタルナリ、他人ニテモ此方ニカラカワズニ、  
イフコトヲヨフキ、テ、ナカヨク異見ヲキク男ナリ、ケ様ナル時ニハ此方カラモ至極ヤワラカニ、心

ガ氣ヲナデサスルヨフニスルナリ、他人ナラバホメソヤシテ、己レガワルイコトナゾイフテ、貴公ノ  
詞デリシガハヅカシイナド、イフハ、ヤハリ柔克ナリ、如レ此ニ此方ヨリモヤワラカニ出ルユヘニ、先  
方ニテ甚ウケヨフ異見ヲキクナリ、扱以上ハアルベキカ、リ至極サヨフアリソフナルモノナリ、ジ  
ヨウノコワイノニハ、ツヨフユクガヨイ、オトナシイノニハ、ヤワラカニユクガヨイ、禽・獸・草・木  
ニテモコノアシラヒハ至極サヨフニアルベキコトナリ、此以下ガ智ノ精シキトコロナリ、ユヘニ洪範  
ノ智ハ精妙ナリトイフナリ、沉ハシヅムナリ、潜ハ水ノ底ニヒソマルナリ沉・潜ト熒・友トハ甚ヨフ  
似テオルナリ、沉・潜ハ上ベデハヤワラカニシテイテ、内心デハナントモ思ハストイフヨフニ、己レ  
ガ内心ヲ上ベニ出サズニ、下ヘ／＼ニシヅミテ、キョイト見レバ一向ニ熒友ニチガヒナケレドモ、唯内  
心ヲ水底ヘヒソメテオルトイフヨフナルヲ云フナリ、コレヲバ却テ剛克セネバナラヌコトナリ、己レ  
ガ心ニハ甚アルコトナリ、ヨフウケテイテ、ズルケルナリ、ヌカヘクギヲウツトイフヨフナシロモノ  
ナリ、コレヲバ却テ剛克セイトイフハ、妙ナル精シキ傳授ナリ、扱高明トハ大ヘイナルコトナリ、物  
ヲ下タ目ニ見クダシテ、ノツサリト上カラ出カケテ、チヨツカニ見テ、丸ノミニスルヲ高明トイフ、  
氣ガタカフテ智ヲ光ラセ、威光ヲミセツケルナリ、己レガ心ニ又コノ心アルモノナリ、ウヌボレゴ、  
ロナリ、コノヨフナ威光ヲヒカラスハ、又彌弗友ト至テヨフ似タルモノナリ、左レドモコレハエコジ  
ワルフ、ハネカヘスニアラズ、唯己レガ智慧ジマンノシロモノナリ、コレヲ剛克スルコト甚アシキコト

ナリ、コレヲバ却テ柔克スルコト法ナリ、草・木・禽・獸ナドノ性ニハイロ／＼アリ、細工ナドヲスル  
人コノアンバイヲオボヘテ、木ニモ燬・友ナルモアリ、又似テイテモ沉・潛ナルハ、アシライチガフナ  
リ、彊弗友ナルモノアリ、又似テイテモ高明ナルモアリ、コノアシライハ又チガフ、細工人ハ木ノア  
シライハシリテオレドモ、人ノアシライハ一向ニシラズ、同ジ理ナレドモ、木ヲ人ヘウツスコトガナ  
ラヌナリ、手習師匠ナド大ゼイノ弟子子供ヲオシユルニ、扱コノアンバイヲヨフシリテ、子供ノウチ  
ニモ同ジヨフニ見ヘル子供ヲ、一人ハ剛克シ、一人ハ柔克スルコトアリ、コレ子供ノ取立ヨフハ知り  
テオレドモ、己レガ心ヲ取立ルコトハデキヌハ、人ノアシライハ知リテオレドモ、コレヲ己レヘウツ  
スコトハナラヌナリ、洪範トイフハ何ニテモコノカタヘ入レテ、入ラヌモノハナイトシタルモノナレ  
バ、木ノアシライヲ人ヘウツシ、人ノアシライヲ己レヘウツシテ、自由自在ニスルガ、洪範ヲ洪範ニ  
シテ讀ミタル骨折ガイノアルトコロナリ、一向ニウカ／＼トヨムベカラズ、コレハヒロキモノジヤト  
思フテ、クリカヘシ／＼何遍モ／＼味フテ、旨キ味ヲカミ出スベキコトナリ

惟辟作<sup>レ</sup>福、惟辟作<sup>レ</sup>威、惟辟玉食、臣無<sup>ニ</sup>作<sup>レ</sup>福作<sup>レ</sup>威玉食

辟ハ君ナリ、天下デイヘバ天子ノコトナリ、一國デイヘバ諸侯ナリ、一家デイヘバ大夫ナリ、一身デ  
イヘバ將帥心ナリ、福ハサイハイト訓ズ、コ、デハ賞ノ字ニアタル、褒美ノコトニナルナリ、威ハオ  
ソロシキモノ、コトナリ、コ、デハ刑ノ字ニアタル、仕置ノコトナリ、玉食トハ結構ナル料理ニテ食事



ヲスルコトナリ、玉ノ字ハ唯美ノ字ノ場ニ用ヒタルナリ、臣ハ天子・諸侯・大夫・士ノ上ニテイヘバ家來ナリ、一身ノ上デイヘバ士卒心ナリ、氣ナリ、作ハ爲ナリ、ナスト調ズ、惟ハヒトリトイフコ、ロモチノ字ナリ、タヅノミトイフテ、惟君ノミ惟君バカリトイフトコロヘ用ユ、扱コノ段ハ剛克・柔克ノアトヘツバク段ニテ、剛克スルモ、柔克スルモ、己レガ高キ位ニオル人ノ時ノコトナリ、己レノ身ガ高キ位ニイテ、卑キ位ニオル人ヲ制スル時ノコトナリ、將帥心ノ士卒心ヲ制スル時ノコトナリ、且那ノ家來ヲ制スルホドノ權ノチガヒタル時ノコトナリ、ソレユヘニ此段ニテ凡ソ權ハ君ノ方ニアルベキハヅノコトニテ、家來ノ方ニアルハ、アシキコトナリトイフコトヲイフハ精シキ教ヘ方ナリ、剛克・柔克ハヨケレドモ、位ノ卑キトコロヨリ位ノ高キ人ヲ制スルコトハ、アシキコトナリトイフコトヲイヘリ、將帥心ガ士卒心ヲ制スルニ、剛克・柔克ヲ用ユルハヨキコトナリ、如シ士卒心ガ將帥心ヲ剛克・柔克スルハ、大キニマチガフコトナリ、人ノ上ニオキテモ此通りナリ、臣ガ君ヘ對シ、子ガ父ヘ對シテ、剛克・柔克ヲ用ユルコトハアシキコトナリ、ユヘニ凡ソ權ハ君ニアルベキハヅノコトナリトイフコトヲ、此段ニテ精シフトキタルナリ、臣下ノ功ノ有ル時ニ褒美ヲヤルハ、是レ功ヲ君上ヨリコレホドノ功ジヤトハカリテ、キワメテソレダケノ褒美ヲヤルコトナリ、君上ヨリ褒美ヲモロフテカラ、臣下ノ功定マルナリ、仕置ヲイヒツケルモ其通りナリ、君上ヨリ仕置ヲイヒツケテカラ、臣下ノ罪定マルナリ、然レバ褒美ヲヤルコトモ、仕置ヲイヒツケルコトモ、大事ノコトナリ、如シ權門家ナドアリテ、權門

家ノ氣ニ入リタル人へ褒美ガ出テ、權門家ノ氣ニイラス人ヲ仕置ニ逢ハスルヨフナレバ、コレイヒツケルコトハ君上ナレドモ、其イヒツケル意ハ臣下ヨリ出ルト云フモノナリ、如此權ヲ執ルベキ君ガ權ヲトライデ、臣下ガ權ヲ取ルハ亂ノ大ナルモノナリ、心ハ別シテノコトナリ、將帥心ノ方ニアルベキ權ガ、士卒心ノ方ニアリテハ、一向ニヒツクリカヘリノコトナレバ、氣儘シ、ダイノ人ニナリテ、オサヘヒカヘラスル將帥心ハヒツコミテオリテ、支配ヲウクベキ士卒心ガ權アリテハ、此人ハ罪ヲ免レヌ人ナリ、一軍ヲ出サンニ、大將ハ人形ノヨフナル愚人ニテ、士卒ガ差圖ヲシテ軍ノキリモリヲスレバ、一軍ノコラズ大將ノ役ヲツトムルトイフモノニテ、號令トント一致セヌナリ、號令ト、ノワズシテ勝利ヲ得ルト云コト、古ヘヨリ無キコトナリ、人ニ褒美ヲ取ラスモ君ノ役ナリ、人ヲ仕置ニ逢ハスモ君ノ役ナリ、外ノ人ノスベキコトニアラズ、故ニ惟君ノミ唯一人福ヲナシ、威ヲナスト云フナリ、玉食スト云フハ、衣食ヨリシテ萬端ミナ君ハ臣トハチガフテオルベキハヅナリトイフコトナリ、ケ様ニナケレバ君ノ威光タ、スナリ、威光立ネバ號令行ハレヌナリ、サレバ己レノ心ヲ養フニモ、平生ヨリシテ將帥心ノ威光ノオチヌヨフニスベキナリ、將帥心ノマヘデハ、士卒心ハ手ヲツキテ首ヲサゲテオルトイフ心モチデアアルベキハヅナリ、ケ様ニ將帥心ニ威光ヲ付ルハ士卒心ノ氣儘デヌヨウニ養フ法ナリ、己レノ心ニテ將帥心ヲ高坐ヘナヲシテオキテ、士卒心ヲ下坐ヘサゲテオク心ニスルハ、是將帥心ハハツキリト別ニワカルヨフニスルナリ、ベツニワカルヨフニシテモ、兎角氣儘ノ士卒心マカリ出タ

ガルモノナレバ、コノ惟君ノミ美食シテ、別段ニスヘオクト云フハ至極ノ智ナリ、己レガ養フ第一ノ秘授ナリ

洪範談卷之中終

## 洪範談卷之下

臣之有<sup>レ</sup>作<sup>レ</sup>福作<sup>レ</sup>威玉食、其害<sup>ニ</sup>于而家、凶<sup>ニ</sup>于而國、人用側頗僻、民用僭忒

害ハツコナフト訓ズ、毒ナルナリ、凶ハアシ、ト訓ズ、毒ノ深キナリ、害ハ目ニ見ヘテヒドフテ淺キナリ、凶ハ目ニ見ヘイデ重キナリ、家ハ周ノ世デイヘバ、二三石グラヒノ知行ヲ取リテオル大夫也、國ハ國モチ大名十萬石グラヒノ諸侯ヨリシテイフコトナリ、知行高ノスクナキ家ハ淺ク目ニタツ害ナレバ、ノゾク時モ早フノゾケルナリ、十萬石以上ノ國ハ目ニハタ、ヌヨフナレドモ、毒深フ入ルコトユヘ、チヨットハ取レヌト云フキミナリ、人ノ人柄ナリ、心ノ内ヲサシテイフナリ、民ハ風俗ナリ、容貌行儀ナリ、用ハワザ<sup>／＼</sup>求メテ爲スト云フキミナリ、一體ハ功ノ字ノ輕ナリ、手柄ナリト思フテ、ワザ<sup>／＼</sup>ホネヲオリテスルト云フキミナリ、側ハ平ノウラナリ、平ラカデアルベキモノガ、ソバダチタルナリ、頗ハ正ノウラナリ、カタカシギニカシグナリ、僻ハ邪ノ字ニ近シ、ヒガムコトナリ、僭ハノリコヘルナリ、大夫ガ諸侯ノスルコトヲスルナリ、庶人ガ士ノスルコトヲスルナリ、無理ニ己レガ上ヘツキノボルコトナリ、忒ハタガフト訓ズ、法ヲ守ラズニ、己レガ心マ、ニ法ヲ引チガヘルコトナリ、扱此段ニテ、諱カニ將帥心ト士卒心ノハツキリトワカリテ、テン<sup>／＼</sup>ノモチマヘノアルコトヲ云ヒテ、念ニ念ヲ入レテクワ



シフトキタルナリ、如レ此ニクドウトカネバ、將帥心ト士卒心トハワカリニクキユヘナリ、國家ニテモ  
伊尹・周公ナドノスルトコロハ、甚君ニチカキモノナリ、左レドモ必君ヲバ君ニシテオキテ、君ノ命  
令トイフモノニシテ、臣ヨリ命令ノデヌヨフニシタルモノナリ、唯臣ハドノヨフニ賢者聖人タリトモ  
臣ナリ、君ハ暗昧ニテモ君ナリ、人ノ心ハ天ヨリ賜ワリタル理デマロメタル心ナレバ、ドノヨフナル  
愚ナル心ニテモ、將帥心ハ士卒心ヨリハアキラカナリ、コレモフト思ヒツキタルコトニ、大キニデカ  
スコトアリ、フト思ヒツキタルハ士卒心ナリ、フト思ヒツキタルトコロガ極々ノヨキ智アリシユヘニ、  
又後々ニモフト思ヒツキタル智ヲ用ヒントスルハ甚危ウキコトナリ、君モフト臣ノ智ヲ用ヒタルガ極  
極ノ智者ユヘニ、毎々臣ノイフヨフニマカセントスルコト危ウキコトナリ、タトヘケ様ノ智者ヲカ、  
ヘアタリテ、毎々其智者ノ智ヲ用ユルモ、君一々ニ臣ノイフコトヲ秤ニカケ、鏡ニテラシテ見ルベキコ  
トナリ、秤ハ天理ナリ、ウソノナキコトナリ、鏡ハ天理ナリ、イツワリノナキトコロナリ、左レバタトヘ  
士卒心フト思ヒツキテ、極智ヲフルフトモ、將帥心ハ一ペン是非々々天理ノ秤鏡ニテ證據ヲトリテカ  
ラノコトナリ、又フト思ヒツキタルコトニテモ、天理ニシツクリト合ヘバ、是將帥心ノ通りナリトイ  
フモノナリ、唯出タル淵源ガ士卒心ユヘニ、デドコロノアシキナリ、フト出タルガヨキニテハナキナ  
リ、フト出ヨフガ、又靜ニ心ヲ澄マセテ眞ニワキ出ヨフガ、天理ニ合フガヨキナリト、キメルコトヨ  
ロシキナリ、イツレ士卒心ガ高位ニノボラヌヨフニ氣ヲツケベキナリ、平生トモニ士卒心ノ上ニ將帥

心アリト思フテオレバ、アマリ不届キナルコトハナキナリト思フベシ、士卒心ノ方ニ福モ威モ玉食モアルコトハ亂ノ本ナリ、カルイコトナラバ是非害ヲシイダスナリ、重イコトナラバ凶ヲ取ルコトナリ、心ノ人ガラ・ソバダチ・カタムキ・ヒガムコトニナルナリ、心ノ風俗モノリユヘタガフコトニナルナリ、扱心ノ人ガラト云フハ、士大夫以上ノ人ノ心ハ公卿ノマヘニテモスラリ／＼トモノヲモイヒ働クナリ、庶民下賤ノ人ノ心ハ、公卿ノマヘニ出レバモノヲモイハズ、働クコトモナラヌハ、心ノ人ガラノアシキユヘナリ、心ノ風俗トハ、畿内ノ風俗ハ鬭爭ヲイヤガリテ禮儀ヲコノム、邊鄙ナドノ風俗ハ禮儀ヲイトヒテ鬭爭ヲコノム所モアルハ、心ノ風俗ナリ、コレモ邊鄙ニハ君子ナクテ、畿内ニハ小人ナキニアラズ、土地ノモチマヘナリ、ユヘニ伊尹・傅説ハ日雇ナレドモ宰相ニナリタルハ、心ノ人ガラノヨキ心ノ風俗ノヨキ人ナリ、今日ニテモ高地ヲトリタル人ノムスコ、田地ヲ澤山ニモチタル人ノムスコナドガ、火方ノ中間ヲコノミ、芝居ノ役者ヲコノミテ、トフ／＼中間ヤ役者ニナル人甚多シ、皆心ノ人ガラアシク、心ノ風俗アシキ人ナリ、世ニスクナカラヌタトヘナリ、左レバ心ハ養ヒヨフニテ、上品ニモ下品ニモ、智者ニモ愚人ニモナルコトナレバ、大キニアヤツリヨフノアルコトナリ、ハダカニナルコトヲコノミ、ハダラスグコトヲコノミ、アグラヲカクコトヲコノム人ハ、心ヲキヲツケテ守ルベキコトナリ、朝寢ヲコノム人、酒ヲツカフ人ハ皆氣ツヨク、心ノ權ウスキ人ナリ、心ガ氣ヲアマヤカス人々ナリ、ツ、シムベシ／＼

七稽疑、擇建<sup>ニ</sup>立<sup>ト</sup>筮人、乃命<sup>ニ</sup>ト筮<sup>一</sup>

稽ハ稽同トテ、同ジヨフナルモノヲナラベテ、考ヘ合セ見合セテ判斷ヲスルナリ、擇ハコレハヨイ、コレハワルイト分ケルコトナリ、建ハタテオクコトナリ、タテオキテ大ゼイノ人ニ見スルキミナリ、トハ其法今ハツタワラズ、龜ノ甲ヲハギテ其甲ヲアブリテ、ヒバケノイリヨフニテ吉凶ヲ見ルコトナリ、筮ハメドギデウラナフナリ、今ノウラナイナリ、トモ筮モ天ノ意ヲウカバフト云フモノナレバ、至テ正直ナル人ヲ用ヒネバナラヌナリ、智者ナドハアシ、工夫ノアル人ハアシ、唯イカニモ正直一ペンノ人ヨカルベシ、己レガ身ナドヲモヨク清メテ、心ヲモハラヒキヨメ、精進ヨロシキ人デナケレバ叶ハスナリ、ユヘニコレハヨイ、コレハワルイト擇ミ分ケテ、至テ正直ナル人ヲ用ヒテ、コノ人ヲト者筮者ニイヒツケテ、ソコデト筮ヲ命ズルナリ、扱<sup>ト</sup>筮ノコトハ堯舜ノ時ヨリアリテ用ラル、コトナリ、左レドモ疑ハシキ時ニ用ユルコトニテ、疑シフナイ時ニハ用ヒヌコトナリト古ヘヨリ云ヘリ、曲禮ニハ一體ト筮トイフモノハ、天下ノ大ゼイノ人ニ疑ヲハレサスル爲ノモノジヤト云ヘリ、イカサマ天下ノ大ゼイノ民ハテシ<sup>ノ</sup>了簡アルモノナレバ、一トウニハユカヌハジ也、タトヘバ天子ガ都ヲウツス、都ヲウツサネバナラヌワケガアルユヘニウツスコトナレドモ、民ハコレガ合點ノユカヌモノモアルベシ、又ウツサネバナラヌワケヲモ、天下ノ大ゼイノ民ヘ一タイヒキカサレルモノニアラズ、扱又イヒキカセタトコロガ、イヤ<sup>ノ</sup>都ハウツサレヌガヨフゴザルナド、イフ民、大ゼイアリタル時ニコマリタルモノナリ、民ト

ハ百姓バカリノコトニアラズ、天下ノ人々ノコトナリ、又クチニハナルホド、イフテ、合點ヲシタル口上ヲイフテ、心ノ中デイナムモノモアルベシ、是一致シニクキコトナリ、ソコデ聖人ト筮トイフモノヲ設ケテ、天地ノ數ヲオシキワメテ、コレハコフニチガイナイトイフ、シツカリトシタル證據ヲ取ル道具ニ用ヒタルモノナリ、ト筮ガ言ナレバ、是天ノ意ガ言ナリトアラワレタルユヘニ、此度都ヲウツサルルト云ヘバ、民モイナムコトナラヌナリ、民ガイナメバ其民ガ天ノ意ヲ受ケタト云フモノニナルナリ、天ニキイテ見タレバ、都ヲウツスガヨイト仰セラレタトイヘバ、疑フトコロモナフ言ナリト云テ、民ノ意ヲ定ムル爲ナリ、扱ユヘニ人ニテ人心ノナイ男ノ、天ノ意ヲ其マ、ニウケル男デナケレバナラスユヘニ、擇デト筮ノ人ヲタテ、其人ニト筮ヲイヒツケルトアルナリ、扱國家ヲ治ルコトハ如右、又人心ニトリテハ、扱コノト筮ノ人ト云フコト甚入用ナリ、堯・舜・禹・湯・高宗・文王・武王ハ聖人ナリ、コノ上モナキ君ナリ、舜・禹・益・伊尹・傳說・周公旦モ聖人ナリ、コノ上モナキ臣ナリ、コノ上モナキ君トコノ上モナキ臣ト、ヨク合テ天下ノ政ヲ定メ玉フニ、別ニ正直モノヲ舉テト筮サスルコト面白キコトナリ、聖人ト聖人トヨリテ相談スルコトナレバ、ト筮スルニハ及バスコトナレドモ、別ニ又ト筮ノ人ニイヒツケテ定メサスルハ、ナルホド下々ニ疑ヒヲハラサスル爲ノト筮ニチガヒナキナリ、心ニ何ゾウタガフコトアリテ、將帥心モ士卒心モケ様ニスルガヨイト思ヒキツテモ、臆スル氣味アリテ、畏懼スル心アリテ、オモヒキツテ行ハレヌコトアルモノナリ、此時ガ即チト筮ノ人ヲ用ユル時ナリ、是ハ思ヒキル道



具ナリ、勇氣ニナル道具ナリ、イカサマニモズツト思ヒキリテ行フトイフハ六ヶ敷コトナリ、思ヒキリニクキモノナリ、コノ時ニハ將帥心ト士卒心トノ外ニ、至テ愚ニテモ苦カラズ、一人入用ナリ、將帥心モ彼是ト智ナリ、士卒心モ彼是ト智ヲ弄スルモノナリ、トント智ノナキ、工夫ノナキ心ヲ入レテ、ト筵ノ人ト定メテ天ノ意ヲウカバワセテ、天ノ意ガサヨフナラバ、ソコデズツト思ヒキルナリ、天ノ意ガケ様ナリトイツテ思ヒキルユヘニ、甚勇猛ニナルナリ、佛者ガ佛ヲ信仰スルニ、モロ／＼ノ難心ヲステ、一心ニ彌陀ヘウチマカセロトイフハ、即チコノト筵ノ人ノコトナリ、將帥心モ士卒心モ心アルユヘニ、難心ヲハナル、コトナラズ、コレヲハナレテ一心ニ彌陀ニウチマカセルハ、己レガ智ヲモギハナシテ、ステ、シマヒテ、天ノ意ヲウカバフトイフコトナリ、將帥心ト士卒心トノ外ニテ、無智ノ心ヲ一ツトリ出シテ、此無智ノ心ニ天ノ意ヲウカバワストイフハ妙ナル工夫ナリ、聖人ノト筵ノ人ヲ擇ブトイフハ、無智ノ人ヲ擇ブコトナリ、無智デナケレバ天ノ意ウツラスナリ、聖賢ノ外ニ正直モノ一人入用ナリ、然レバ心モ將帥心士卒心ノ外ニ無智ノ心入用ナリ、コノ符牒ノヨフ合フコトヲトクト熟覽スベキコトナリ

曰雨、曰霽、曰蒙、曰驛、曰克

コノマヘノ段モ聖君ト聖臣ト正直モノト三ツナリ、又此段モ三ツナリ、霽ハハル、ト訓ズ、晴トハチガフナリ、晴ハ雲モナクテリタルナリ、ユヘニ青ニ從フ、青天ニナリテ日ガテラスナリ、霽ハ雨ノアカリ

タルナリ、雨ノヤミタルナリ、ユヘニ雨ニ從ヒテ齊ニ從フ、齊ハソロヒタルナリ、雨ガチヤント止ミテ、スグレヌ天氣ガナオリタルナリ、蒙ハクラシト訓ズ、フリモセズ、テリモセズ、クモリテクラキナリ、扱天氣ヲ論ズレバ、ケ様ニ三品ニワカルナリ、雨ガフルカ、雨ガフラヌカ、フリモセズ、アガリモセズ、クモリテオルカ、此三品ギリノモノナリ、扱驛ハツバタト訓ズ、今日モ雨フリ、明日モ雨フレバ、雨ガツバクナリ、コレハ天氣ヲ論ズルニアラズ、天氣ノユクヘヲイフコトバナリ、克ハカツト訓ズ、今マデノコトヲウチナオシテ、サラリトカヘタルナリ、今マデ雨フリタレドモアガリタルカ、今マデ雨ハフラヒデオリタルガ、雨ガフリ出シタルカナリ、是今マデトハクワラリトチガフテ、ウチナオシタルヨフユヘニ克トイフナリ、是モ天氣ノユクヘヲカタリタルコトバナリ、扱コノ段ハモチロシ心イキナリ、本吉凶ヲカンガヘルニモ空ナルモノニテ、カ、ロフ島ノナキモノナリ、手ガ、リナキナリ、ユヘニ天氣ニシテ見レバ、天氣ノ容チ三ツナリ、ユクヘ二ツナリ、コノカタチ三ツトイフガ天ノ定理ナリ、雨フルカ、ハル、カ、フルトモハル、トモツカヌ、ケ様ニ三ツナラデハワカラスナリ、天下ノ事物皆三ツナリ、上カ中カ下カ三ツナリ、吉凶カ、吉カ凶ナシニ平常ナルカ三ツナリ、水ノ心イキカ、火ノ心イキカ、土ノ心イキカ三ツナリ、心イキトイフハ、キワメテイワズニ、ドコヘモウツサル、コトユヘニ、心イキトイフナリ、人デイヘバ貴人ト賤人ト平人ナリ、心デイヘバ智ト愚ト中庸ノ心トナリ、先ヅ吉凶ヲカンガフル時ニ、位ヲ三等ニ置クベキナリト云フコトナリ、扱コノ三等ハ今見

タルマ、ノ所ナリ、コノ見タルマ、ノ物ノユクヘヲ見ルナリ、イツマデモ見タルマ、デオルモノデナ  
キユヘニ、コノサキハドフナルトイフテ見ルニ、二タイロアリ、此通リデ變ゼズニユクカ、又ハ變ジ  
テ事ガラクワラリトカワルカ、此二色ナリ、天氣デイヘバ今ハヨキ天氣ナリ、今ヨキトテモ、イツマ  
デモ天氣デアロフト思フハ、大キナル了簡チガヒナリ、今ヨキ天氣デモ、今デキニ雨ニナロフモシレ  
スト兼テ算用スルナリ、今智者ナリ、今智者ユヘニイツマデモ智者ナラント思フトチガフナリ、今福ナ  
リ、今福ユヘニイツマデモ福デアラント思フトチガフナリ、イツマデモ其チヨウシノ時モアリ、又チ  
ヨウシクワラリトチガフコトモアルナリト兼テハカラネバ、考ヘチガヒ、シラベオトシニナルナリ、  
ユヘニケ様ニ三ツト二ツトニテ、ワケテクバリツクレバ、先事物ノ容トアルキブリトノ二ツハ、位キ  
ワマリテヌケ目ナキナリ、是皆智ヲツカフトキノツカヒヨフナリ、コノ位ノコトヲ空ニ位ヲ置クト云  
フナリ、天文ナドハ皆空ニ位ヲ置テ、ソレニトリツキテ推シタルモノナリ、寒中ニ日ガ横ニアタリ、  
土用中ニ日ガマツスグニアタルワケヲイワントスルニハ、先ヅ日ノ行道ヲイフテ、行道ヘワリヲツケ  
テ、天ノグルリトマワリヲ三百六十四余トワケテ、ソレカラオサネバナラヌナリ、天ガ三百ノ所ニシ  
キリモ、ナンニモアロフハヅハナケレドモ、ケ様ニ先符牒ヲツケ置カネバ、手ガ、リナキユヘニ、カ  
リニキメテオクヲ空ニ位ヲ置クト云フナリ、醫者ガ脉ニ名ヲツケルヨフナルモノナリ、皆名ヲツケラ  
レヌモノヘ名ヲツケテ、ソレヲ手ガ、リニシテ推スヲ空ニ位ヲ置クト云フナリ、智ハ又脈ノヨフナル

コトデハナシ、名ノツケニタキモノナリ、ユヘニ上・中・下トワケテソレカラダン、ニトリツキテワクルナリ、コレハ上・中・下トワケテ、イツマデモ上デユクノト、カワルノト、フタカリニワケテカラ詳カニイフシカタナリ、天氣ノハナシヲスルヨフナレドモ、天氣ニカギリタルコトニアラズ、心イキヲ天氣ニヨソヘテイヒタルモノナリ、始メニ疑ハシキコトヲカンガヘ合スル法ナリトイフテ、天氣ノコトヲバカリイフ理ナキコトナリ、諸家ノ注ノタワヒモナキコト皆コノ類ナリ、天氣ヲウラナフバカリガト筮ノ所爲ニアラズ、洪範トイフ字ヲワスレテ、天氣ノコトジヤト思フコト、タワヒモナキコトナリ

曰貞、曰悔

貞ハ相カワラスコトナリ、女ノ徳ナリ、一ペン夫ヲキワムレバ、其夫ガ愚人デアロフガ、惡人デアロフガ、一生夫ニモチテオルト云フキミナリ、オチツキタルナリ、モハヤ存ジヨリノカワラスコトナリ、悔ハ今マデノシカタアシキユヘニ、今度カヘルナリ、一ツハシカタ宜シキユヘニ、トントソレニオトシツケテカヘスト云フ字ナリ、一ツハシカタ宜シカラスユヘニ、今マデトハシカタヲ、トントカヘルトイフ字ナリ、貞ハ吉ナリトイフテモタラズ、ヨキユヘニソレニオチツケタトイン字ナリ、悔ハ凶ナリトイフテモタラズ、宜シフナキユヘニ、オチツカズニカヘルガヨイト云フ字ナリ、貞ハ貞ユヘニコノ操ヲマモルガヨイ、コノシカタガヨイユヘニ、コ、ニオロフトイフテ吉ヲ得ルコトナリ、悔ハ宜シフナ



イユヘニ、コヽヲノキテ外ニシカタヲカヘレバ、吉ヲ得ルト云フテ、クワラリトカヘテ吉ヲ得ルコトナリ、一ツハカヘズニ吉ヲ得ルトイフ字ナリ、一ツハカヘテ吉ヲ得ルトイフ字ナリ、是智ヲ磨ク第一ノコトナリ、智ハ吉ヲシリテ吉ノ所ヘユクコトヲ知ル名ナリ、同ジトコロニ居テヨキコトアリ、所ヲカヘテヨキコトアリ、空ニ吉ヲ置クハ五ツ色ナリ、ソレニヨリテ動ク動カヌヲキワメルハ此ニイロナリ、ケ様ニワケテ筋ヲ目前ニソロヘテ、マケ目ノナキヨフニシテ智ヲ働カスコトハ、皆コノ空ニ位ヲ立ルヨリ、手ガヽリヲ取り得ルコトデキルナリ、手ガヽリヲ取りテカラ智ヲツカフコト、ハコブコト路モヨフ分ルナリ、然レバ事・物ヲ見テ一イロト思フハ淺キコトナリ、三ツト分ケテ其三ツノユクヘヲ分ケテ、ソノ上デ善惡ヲツケネバ、眞ノ善惡トイフモノデハナイトイフコトナリ、仁ノ字ヲ結構ノ字ジヤノ、義ノ字ヲヨロシキ字ジヤノトイフハ、事物ヲ一ツト見タルナリ、コレヲ三ツニ分ケテ上・中・下ノ符牒ヲヲツケテ、其又後日ノユクヘマデ見テ、其後ニケツコウノ、ヨロシキノトイフ名ヲツケベキハヅノコトナリ、慈悲ブカイ仁人が禍ニカヽルコト澤山アリ、四角四面ナカタイ義人が禍ニカヽルコトアルハ、皆一ツト見タルユヘニ、算用ユキトバカヌアリ、コノ三ツトワケテ、ユクヘヲ又別ニニツトトリテ、其後ニキメタル貞悔ガ、眞ノ貞悔ジヤトイフハ詳ナルコトナリ

## 凡七、ト五、占用ニ衍レ忒

トモ筮モ心イキヨリ外ニハシレヌナリ、唯其心イキヲ取ソコナワヌヨフニスルコト第一ナリ、今日ノ

一事ヲカンガヘルニセイ、天理ヲウカガフニセイ、其コトガデカニウチツケテ出ルモノニアラズ、皆  
 心イキバカリナリ、易ヲ讀ム人ノ大川ヲワタルニ利アリトイフ卦ヲ得テ、川ヲワタリテ流サレテ死ダ  
 ル人アリ、是ヨキ證據ナリ、イカサマ間違ノデキソウナルコトナリ、大川ヲワタルニ利アリトハ、心  
 イキノコトナリ、川ヲワタルコトデハナキナリ、ユヘニ空ニ位ヲ置テモ、ユクスエノアルキブリヲ推  
 テモ、心イキト云フコトヲ取ソコナヘバ、智ハ働ケスナリ、タトヘバ天子ノ都ヲウツス時ニ空ニ位ヲ  
 置クニハ、先三ツトタテルナリ、一ツハコ、ニ都ヲキメルト云フガ一ツナリ、一ツハコ、ヲタチノイ  
 テ、ワキヘカヘルト云フガ一ツナリ、一ツハ都ヲカヘヨフカ、カヘマイカ知レスト云フガ一ツトキワメ  
 テ、搜都ヲコ、ニキメルトイフテオイテカラ、フリカヘルト云フカ、イツマデモ同ジチヨウシニコ、  
 ニキメルトイフカ、是ヨリ外ニハ變ゼヌコトモ、變ズルコトモアルマジ、然レバ是シラベオトシハナ  
 イト云フモノナリ、コレヲト五ト云フナリ、占トハシメルト云フコトナリ、コレニキメルト云フコト  
 ナリ、ウラナフテミテキメタルナリ、是デ貞カ悔カトキメテ見テ、ソレカラソノ上ヲギチノトユル  
 ミハナイカ、マチガヒハナイカトオシテ見ルナリ、衍ハオスト調ズ、行ニ從ヒ水ニ從フ、水ノダンダ  
 ンヒキ、トコロヘ、ナガレタダリテ海ヘユクコトナリ、ユヘニスチヲオシテ水ノ流レヲオフテ、オシ  
 キワメテ海ヘユクマデ、オシキワムルヲ衍トイフナリ、忒ハタガフナリ、チガフタルトコロヲ、オシ  
 テノオシキワムルコトナリ、事ノ容ハ三ツアリ、キブリハ二ツトキメテ、ソレカラケ様ニスレバケ

様ニナル、ケ様ニユケバケ様ニツカユルナド、イフテ、ドチラガ貞デ、ドチラガ悔デアロフトオシテ、ソレカフ吉ヲシメルコト、智ナリトイフコトナリ

立<sub>二</sub>時人<sub>一</sub>、作<sub>二</sub>筮<sub>一</sub>、三人占、則從<sub>二</sub>二人之言<sub>一</sub>

時人ハ此人ナリ、擇ミ上タル人ナリ、正直モノ、一心不亂ニ天ヲアリガタガリテ、天ノ思召ヲ知ントスル人ナリ、今巫トイフモノ湯バナヲアゲテ、熱湯ニカ、リテ後ニ神託ヲイフ、ヤハリ此法ナリ、一心不亂ニ神ヲイノリテ、己レガ氣ヲトリ失ナフテ言フハ、ヤハリ此天ノ思召ヲト筮ノ人ガウカバフモ同ジコトナリ、巫モ己レガ心アリテハ、神クダリ玉ハヌトテ、己レガ心ヲ取失フヨフニシカケテ、神ノヤドリ玉フヨフニスルナリ、神トイフモ、佛トイフモ、天トイフモ、道トイフモ、聖トイフモ同ジコトナリ、人ノ心ヲ止メテ、筋ニナリタル人トイフコトナリ、扱コノ段ニテ聖人ノ思召ノアツキトコロヲ見ルベシ、先ヅ始メニ事ニモセヨ、物ニモアレ、一ツト見ズニ三ツトシテ見ル、又ユクヘテ二タ道ニワケテ、右ノ五品ニテカンガヘテ、貞・悔ヲ定メヨトイフテ、又コ、ニ扱此ト筮ヲスル人ヲ一人ニシテハ、マダ<sub>レ</sub>精シカラズト云テ、カノ正直モノ、己レノ無キ人ノ、天ノ意ヲ其マ、ニウツス人ヲ又三人アツメテ、同ジコトヲ同ジ卦デ占ナワセテ見ルナリ、二人ガ宜シフゴザル、貞デゴザルト云フテ、唯一人宜シフゴザラス、悔デゴザルトイヘバ、コレハ貞ナラント云フテ、二人ノ方ヘ從フナリ、如レ此ニ吟味シアゲタル上ニテモ、又三人アツメテ同ジ卦デウラナワセテ見テ、多分ニツクト云フハ、丁

寧ナルコトナリ、精シキ上ノ精シキコトナリ、然レバ人ノ疑ハシキコトヲ決スルニハ、三通リノ位ニ、  
二通りノユクスエニ、二品ノ吉凶ヲサダメテモ、コノ無智ノ心ノ人心ノ心ノスコシモナキ心ヲ、三ツソ  
ロヘテナラベテ多分ヘツケバ、トントマチガイ、カンガヘチガヒナヅハナキ理ナリ、ソレニ世ノ人チヨ  
イト見テ早ク吉凶ヲキワメ、早クノミコミテ中ズマシニスルコト、甚以アブナキコトナリ、況ンヤ仁・  
義・孝・悌等ノ評判ヲ中ロクテンニキメルコト、至テオカシキコトナリ、ナルホド仁トイヘバヨキヨフ  
ナレドモ、仁ノワルキトコロヲナラベ、中ナル處ヲナラベ、變ズル變ゼスト云フトコロヲ見サダメルノ  
ミナラズ、見ル心ヲ三人トタテ、多分ニシタガフヨフニシタルナラバ、仁ノ字ニテ間違ノデキルコト  
アルベカラズ、墨子ハ兼愛ヲ立テ、何ンデモカデモ愛スル、頂ヨリ踵ニ至ルマデ愛スル、コレホド仁  
ヲ立タル人ハナケレドモ、孟子ハ墨子ヲソシリテ、仁ヲ害スルコトナリトイヘリ、徐ノ偃王ハ仁義ヲ  
立テ行ヒタレドモ、一戰ニ敗走スルハ仁ヤ、仁義ノアシキノニハアラズ、エラミヨフノ精シカラヌナ  
ルベシ、墨子ハ亞聖ノ大賢者ナリ、偃王ハ仁義ノ賢主ナリ、如レ此大賢ニテモ仁義ノ吟味タラネバ、間  
違ノデキルコトナレバ、イカニモホウヘ氣ヲクバリテ、スケ目ノナキヨウニスベキコトナリ、酒  
ハ命ヲノブルモノナレドモ、酒ニテワカジニヲスル人アリ、飯ハ人ヲ丈夫ニスルモノナレドモ、飯ニ  
アタリテ食傷スル人アリ、皆長キ所アレバ必ズ短キトコロアルモノナリ、ナルホド三ツニ立テ又二ツ  
ニタテ、又三人ニウラナワスルヨフニスレバ、スケ目アルマジキカ



汝則有<sub>二</sub>大疑<sub>一</sub>、謀及<sub>二</sub>乃心<sub>一</sub>、謀及<sub>二</sub>卿士<sub>一</sub>、謀及<sub>二</sub>庶人<sub>一</sub>、謀及<sub>二</sub>冢室<sub>一</sub>

此段モ又三ノ數ナリ、汝ト卿士ト庶人ト三ツナリ、トト冢トハ別ノコトナリ、前ノ段ニテモ三ト二トニワケタリ、コノ段ニテモ又三ト二トニワケタルナリ、將帥心ハ汝ナリ、上ナリ、火ナリ、士卒心ハ卿士ト庶人トナリ、卿士ハ中ナリ、土ナリ、庶人ハ下ナリ、水ナリ、トト冢トハ陰ト陽トナリ、氣ナリ、道ナリ、コレ天・地・人・道トイフモ、水・火・土・氣トイフモ同ジコトナリ、コレガ卽チ自然ノ數ニテコレヨリ外ニハ數ナキユエンナリ、扱人ノ心ニ取リテハ、先己レガ將帥心ニ間フテ見ルナリ、疑ハシケレバ氣ニトフナリ、氣ヲ二ツニ分ケタルガ卿士ト庶人ナリ、中ト下トナリ、スレバ氣ノズツトノ末ノ、ハシタナキ氣ニマデモ間フコトナリ、心ニ勝手ヨキコトニテモ、氣ノ末ノハシタナキ氣ニカツテ、アシキコトモアルベケレバ、コレ一ペンキカネバナリヌナリ、孟子ニハ志ハ氣ノ帥ナリ、氣ハ體ノ充ルナリト云ヒ、又志ヲ持シテ其氣ヲ暴スルコトナカレト云ヘリ、此言ナドノ此段ニシツクリ合フコトヲ見ルベシ、氣ヲ暴スルコトナカレト云フハ、コレ氣ニ間フテ見テ、アマリ氣ノタヘヌコトニテ、氣ヲムゴヒ目ニアハスヨフナルコトニテハ行ハレヌト云フコトナリ、ユヘニ孟子ニモ心ガモツバラナレバ、氣ヲウゴカス、氣ガモツバラナルモマタ却テ心ヲウゴカスト云フコトアリ、イカサマニモ君ガウレヘアレバ、庶民モ心グルシフナル、庶民ニウレヘアレバ、却テ君ノ心ヲナヤマスコトアリ、サレバ庶民ノカツテヨシアシヲキカネバナラヌナリ、氣ハ心ノ支配ヲウケテオルモノナレバ、氣ノタル

シムコトハ心ガカマヒソフモナキモノナレドモ、ヤハリ心ニサワリノアルモノナレバ、氣ヲ大セツニ養ハネバ、心ノ爲ニナラスコトアルコトナリ、氣ニキマ、ヲサスルコトハ、大キニアシキコトナリ、氣ヲムゴヒ目ニアワスモ、又大キニアシキコトナリ、謀ハ某ニ從ヒ言ニ從フ、人々ノ所存ヲキクコトナリ、某々ニモノライハセテ見テキクコトナリ、及ハソレマデヘモユキトバクト云フコトナリ、下々ノ内心ヲモキ、テ見ルコトナリ、卿士ハ卿ト大夫ト士トノコトナリ、君ト民トノ間ノ人々ナリ、士卒心ニモ貴賤アリ、喜・怒・哀・樂スルハ氣ナリ、甚喜・怒・哀・樂スレバ、心ドコヘカユキテ氣ガ心ヲウバフナリ、氣ノ威光ツヨフナレバ、心ノ威光ウスフナルト知ルベシ、ユヘニ氣ノ威光ノ甚シフナラヌヨフニイマシメ、且ツヤシナフナリ、アマリヒドフイヤシムレバ、又氣ガヤブレカブレニナリテ、ソレルモノナリ、畏ルベキモノナリ、昔ヨリ上ニ苛政アレバ、匹夫ガヤブレニナルコト、秦ノ末ノ陳勝・項梁・高祖ニテ見ルベシ、是氣ヲヤシナハネバナラス證據ナリ

汝則從<sup>レ</sup>龜、從<sup>レ</sup>箠、從<sup>ニ</sup>卿士、從<sup>ニ</sup>庶民、從<sup>レ</sup>是之謂<sup>ニ</sup>大同、身其康彊、子孫其逢<sup>レ</sup>吉

從フトハ心ニサカラワヌコトナリ、至極ヨカロフト同心スルコトナリ、康ハヤスシト調ズ、ヤスンジテ樂シムコトナリ、彊ハ疾モナク、タウシヤニスコヤカナルナリ、逢ハムカヘトル心モチナリ、扱將帥心ノカツテモ宜シク、彼正直モノ、心、無智ノマツスグナル心ニモ宜シク、士卒心ニモカツテ宜シキハ、オモヒ揃テ宜シカラントイヒタルナリ、コレハ大同ト云フモノニテ、ソフノ皆々ウレシフ思フナ

リ、是ハ先ヅメツタニハナキコトナリ、君ニモ役人ニモ民ニモ、正直モノ、無智モノ、人ニモ、皆ヨイト  
イフコトハ大タイデハナキコトナリ、韓非子ニモ君ト臣トハ勝手ノチガフモノジヤト云フコトヲ云へ  
リ、君ハ何トゾ臣ノ大功アリテ、小知行デットメル人ヲホシイト思フテオル、臣ハ功ガナフテモ、大知行  
ヲクレル君ガホシイト思フテオル、是君ト臣トハ勝手チガフテオルモノナリ、扱役人ト民トモカツテチ  
ガフテオルナリ、役人ハ十萬石ノ田地カラ、十五萬石出ス百姓ガホシイト思フテオルニ、百姓ハ十萬石  
ノ田地カラ、五萬石トル役人ガホシイト思フテオル、是勝手チガフテオルナリ、人ト天トモカツテチガ  
フテオルナリ、人心ハウソヲツイテモ徳ヲトロフト思フテオルニ、天心ハ損ヲシテモ、正直ニセント思  
フテオルナリ、サレバ君ト臣ト、民ト天心ト、同ジクカツテヨキコトトイフコトハ、マヅハナキコトナ  
リ、ナキコトナレドモ、タマ／＼アルコトアルハ、大同ト云フテ大キニ目出度コトナレバ、其身モヨ  
ロシク、子孫マデモ宜シイコトジヤト云フナリ、心ニトリテ見レバ、今日モヨシ、後日ニモヨイト云フ  
コトナリ、扱此子孫ト出シタルハ、又妙ナル精シキコトナリ、諺ニ親父ハ苦ヲスル、子ハ樂ヲスル、孫  
ハ乞食ヲスルト云フコトアリ、至極面白キ語ナリ、親ガ苦ヲスレバ子ガ樂ヲスル、親ガ樂ヲスレバ子ガ  
苦ヲスルト云フコトナリ、是又父子勝手ノ違フモノナリ、ユヘニ今日驕リヲシテ旨イモノヲ喰ヘバ、後  
日ニコノ掛ケヲハラヒテ、金ヲ出サネバナラヌモノナリ、今日驕リテ後日ニモ又金ノ入ルコトハ、マヅ  
ハナキモノナリ、能々ノ大同デナケレバ、ケ様ニソロフテ、ソフ／＼今後トモニ宜シキト云フコトハナ

キモノナリ、一向ニナキニハアラズ、タマ／＼アルコトアリ、コレハ大同ト云フモノナリ、智者ハ一體將帥心ト士卒心トハ勝手チガフモノジヤト云フコトヲ、ヨク／＼トツクリ知リテ同心セネバナラスナリ、氣ノウレシガルコトハ、大テイハ心ノ迷惑スルコトナリ、氣ノ迷惑スルコトハ、心ノウレシガルモノナリ、ユヘニコノ段ニモ兩方ヲ見合セテ、氣ニ權ノツカヌヨフニ、又アマリクルシマセヌヨフニセイト云フコトヲ云ヘリ、今日ト後日トモカツテチガフモノナレバ、コレモ智者ハ兼テ承知シテオラネバ、愚人ノスルヨフナルコトヲスルナリ、鶴ガ傳授一ツアリ、凡ソ悔イヌサキニ、悔ルコト甚智ナリ、○懲ニ於未<sub>レ</sub>懲○悔ニ於未<sub>レ</sub>悔○コレ傳授ノ語ナリ、老子ニハ○治ニ之於未<sub>レ</sub>亂○ト云ヘリ、懲ルノ、悔ルノト云フハ智者ノセヌコトナリ、懲ルコト、悔ルコトヲイヤニ思ハバ、懲リヌマヘニ懲リタル時ノアリサマヲ心ニ見ルコトナリ、コレヲイマダコリザルニコルトイフナリ、タトヘバ遠方ヘ行ク時ニ、傘ヲモタズニ出ル時ニハ、兼テ大雨ニ逢テ大キニコマリテ、木ノ下ヤ人ノ家ノノキニ入りテ、雨ノアガルヲ待テドモ雨アガラズシテ、シマヒノハテニハ雪駄ヲ懷中シテ、ズブヌレニナリテカヘルトコロヲ目ニミルナリ、コレヲイマダコリザルニコルト云フナリ、ザフサモナキコトナリ、コレヲクセノヨフニシテ、事々ニコノ心ヲチラリ／＼ト用ヒテ、ソノノチニコトヲ行ナヘバ、コリルト云フコトナキコトナリ、又體ニヨリテハ傘ヲモタズニ行ネバナラヌコトアルコトナリ、コノトキニハ兼テ雨ニ逢タルアリサマヲ目ニ見テカラ出ルコトユヘニ、カクアラント思フテオドロカヌユヘニ心サワガズ、心サワガズ



ユヘニジレヌナリ、ジレヌユヘニ、ユウ／＼トオチツキハラヒテ事ヲ行フユヘニ、木ノ下ニ雨ヤドリヲシテモ、人ノ家ノ軒ニカケコミテモ、兼テシラベガアルユヘニビツクリセヌナリ、凡ソビツクリシタリ、ウロタヘタリスルハ、兼テシラベヌユヘナリ、ドノヨフナルナンギノコトニテモ、兼テシラベテケ様ナナンギニ逢フモ知レネドモ、コレハドフモスクヘヌコトユヘ、ナンギニアフタラ、其ナンギヲ少ナフスルヨリ外ニシカタハナイト思フテ、ナンギヲ減ズルヨリ外ニ法ナシ、又ナンギニ逢ハヒデモスムコトナルニ、ナンギヲスルハ大ニ愚ナルコトナリ、タトヘ以前ニシラベヲシテモ、大ニタワケモノナリ、是ハキツト雨ノフリソフナ日ニ家來ヲモツレテ出ナガラ、傘ヲモタセヌ人ト同ジコトナリ、ナンギヲセズトモスムコトナルニ、ナンギヲスルト云フモノナリ、病氣アゲクナドニテハ、鰻鱺ナドヲクワネバ肥立タヌコトアルコトナリ、コレヲ吝嗇ニテクワネバ肥立ガオソイユヘニ、働クベキニ働カズ、取ルベキ財貨ヲ取りソコナフモアシ、將帥心ガキビシスギテ、士卒心ヲ養ハヌユヘニ損ヲトルト云フモノナリ、病氣アゲクデモナイニ、ヘラシテハナラヌ金ヲモチテ、旨イモノヲクフハ士卒心ニ權アリテ、將帥心ノ命令行ハレヌナリ、皆ナンギヲセズトモヨイニ、ナンギヲスルト云フモノナリ、如レ此ノ類ハタトヘ其以前、兼テシラベオキタリトモ、ナンノタワイモナキコトナリ、凡ソ智ノ働キトイフハ、一身ノ爲、一家ノ爲、一年ノ爲、百年ノ爲、凡ソ大目ノキクコトヲ心ニカクベキコトナリ、今宜シフテモ後日ニアシキコトハ、大キニ宜シキコトニアラズ、當年宜シフテモ十年ノ後ニ宜シカラヌ

コトハ、大キニ宜シキコトニアラズ、凡ソトチメキ、ウロタヘ、サワギ、オドロキ、ビツクリシ、ア  
ワテルナドノ類ハ、皆小目ノミキ、テ大目ノキカヌユヘナリト思フベシ、將帥心カラ、士卒心カラ、  
ト筮カラ、今日カラ後年トカケテミテ、ソレデヨキガ眞ニヨキナリ、又カタ／＼アシフテモ、大カツ  
テニナルコトアリ、下ノ條ニ委シ

汝則從<sup>レ</sup>龜、從<sup>レ</sup>筮、從<sup>ニ</sup>卿士、逆<sup>ニ</sup>庶民、逆<sup>レ</sup>吉

莊子ニ馬ヤ牛ノ四本足ノアルヲ天ト云フ、鼻ヘ繩ヲ通シ、口ヘハミヲハメテ使フヲ人ト云フト云ヘリ、  
ソレユヘニ天ト人ト兩方ニテ、馬ヤ牛ガ用ニタツナリ、莊子モ人ノ天ニ勝タヌヨフニセイト云ヘリ、  
天バカリデハ、ナルホド牛モ馬モ用ニタ、ズト云フテ、牛ヤ馬ヲ拍子ニ合セテ、規矩ニアフヨフニア  
ルカセヨフトイフハ、人ガ天ニ勝ツナリ、天ハ天ギリニテハマツスグスギテ、又アマリブキテンナル  
モノナリト云フコトナリ、イカサマ此段ニモクワシフアル通りニ、天ノ通りニステオキテハ、馬牛ノ  
ソノマ、デアルヨフナルモノナレバ、天ガワリイト云フニハアラズ、ヤハリ天ノ理ヲ人ガ補ナハネバ、  
馬牛モ用ニタ、スト云フモノナリ、天ノ理ニテ天理ヲ補フトイフハ、牛ヲバ鼻ヲ通ス、馬ヲバ鼻ヲ通  
サズ、牛ハ鼻ヲ通スヨフニデキタルモノナリ、馬ハ鼻ヲ通セバ死ヌル、ソノカワリニハ馬ハ鼻ヲ通サ  
ヒデモ、使ハル、ト云フヨフナル類ヲ、理デ理ヲオギナフト云フナリ、補ハヌトコロヲ天ト云フ、補  
フダケハ人ナリ、人ノ補フニ天ニカタヌヨフニセイトハ、無理ナルコトヲシテ、デキニクキヲバセヌ

ガヨイトイフコトナリ、此章ニテハ補ハヌマ、ノ天ヲト筮ト云フ、ユヘニ正直一ペンナル男ノ、一心不亂ニ天ノソノマ、マツスグナ處ヲ守ルヲト筮ト云フナリ、天理ギリデヨサソフナルモノナレドモ、人ノ補ナヒヲ入レネバ美ニナラヌナリ、用ニタチカヌルナリ、今正直一ペンナル男ニハ、政ヲ執ラセラレヌト云フハ、補ヒヲ入レヌ天バカリノユヘナリ、扱此段ハ將帥心モ勝手宜シク、天理ノマツスグ男ニモ勝手宜シクバ、士卒心ニ少々不勝手ナルコトアリテモ、ヤハリ士卒心ヲマゲテオシフセルヨフニシテモ、隨分士卒心ノムゴイ目ニアフトイフホドニハナキナリ、ユヘニ士卒心ヲヘサヘツケテ、將帥心ニ從ハスコト宜シキナリト云フコトナリ、コレ吉凶ノ目キ、ナリ、大事ノコトナリ、凡ソドチラニカ驍手アシキコトノアルガ、マヅハ十ガ十ナガラケ様ナリ、イヅレカタ／＼ニカンニンシテモラワネバナラヌユヘニ、ドチラニカンニンサスガヨイトイフ目キ、ノシカタナリ

卿士從<sub>レ</sub>龜、從<sub>レ</sub>筮、從<sub>レ</sub>汝、則逆<sub>ニ</sub>庶民<sub>一</sub>逆<sub>レ</sub>吉

イヅレ彼正直一ペンノ男ガノミコマネバアシキナリ、天理ニタガフナリ、牛ノ鼻ヘ繩ヲ通ソフトイヘバ、天理ハ承知スルナリ、馬ノ鼻ヘ繩ヲ通ソフトイヘバ、天理ハ不承知ナリ、ユヘニ天理ノ承知スルコトデナケレバナラヌハヅナリ、扱士卒心ヲ二ツニワケテ、士卒心ノ貴ナル方ヲ卿士トイヒ、士卒心ノ賤ナル方ヲ庶民トイフ、コノ以前ニモイフ通り、至リテ淺ハカナル氣ヲ庶民トイヒ、少シ將帥心ニマギル、ホド、モツトモナル了簡ヲ出ス氣ヲ卿士トイフナリ、上ノ士卒心トモイフベキモノナリ、至

テ淺ハカナル氣ハ下ノ士卒心トモイフベキモノナリ、コノ段ハ上ノ士卒心ノ勝手宜シキコトノ、正直  
オヤジモ承知シタルコトナラバ、將帥心ノ勝手アシキコトニテモ、下ノ士卒心ノオモシロガラヌコト  
ニテモ、宜シキコトニチガヒナキナリ、コノ段ニテ別シテ孟子ノ氣ヲ暴スルコトナカレト云フタルコ  
トヨフ讀メルナリ、一ガイニ士卒心ヲヘサヘツケルコト、アシキコトナリ、一ガイニ將帥心ヲタテスカ  
フト思フコト、アシキコトナリ、兎角コノ段ヲ見テモ一ガイニヒツツクヨフニスルコトアシキナリ、  
カタカシギナルコトアシキナリ、ユヘニ如<sup>レ</sup>此精シキ目キ、ノ法ヲ方キシルシテ、人々ノ智ノ働ラキヨ  
キヨフニシタルモノナリ、身ニシミテ讀ムベキ章ナリ

庶民從<sup>レ</sup>龜、從<sup>レ</sup>筮、從<sup>レ</sup>汝、則逆<sup>ニ</sup>卿士<sup>ニ</sup>逆<sup>レ</sup>吉

コノ段ハ又前ノ段ヨリモモツト甚シキ段ナリ、智ノ極々クワシキ所ナリ、庶民ハ下ノ士卒心ナリ、淺  
ハカナルチヨツトシタル氣ナリ、コノ氣ヲモムリニヘシツケルコト甚アシキコトナリ、彼大ニ淺ハカ  
ナル氣ノ勝手ノヨキコトニテモ、彼正直一ペンノオヤヂノ承知シタルコトナラバ、將帥心ノ不勝手ナ  
ルコトニテモ、上ノ士卒心ノ將帥心ノ名代ノツトマルホドノ、モツトモ千萬ナル了簡ヲ出ス上ノ士卒  
心ノ不勝手ナルコトニテモ、ヤハリ宜シキコトナリ、天ノ威ノツヨキ處ヲ見ルベシ、淺ハカナルウハ  
氣心ニテモ、天ニ合タル日ニハ、將帥心モ首ヲ垂レテ諫メヲ入レネバナラスナリ、此段別シテ妙ナリ、  
オモイキツテイヒタル様ナリ



汝則從<sub>レ</sub>龜、從<sub>レ</sub>筮、逆<sub>二</sub>卿士、逆<sub>二</sub>庶民、逆作<sub>レ</sub>內吉、作<sub>レ</sub>外凶

トト筮トヲニツニ分ルハ詳悉ノ至リナリ、ト法ハ今ニ傳ハラヌユヘニ、ドフイフトコロヘアタルヤラ知レヌナリ、イヅレニモトハ重シ、筮ハ輕シ、トハ大ナリ、筮ハ小ナリ、昔ヨリ如此ニイヒツタフ、ナゼニトガ重フテ、筮ガカロイヤラハ知レヌナリ、トハ深シ、筮ハ淺シ、トモ筮モ天理ナリ、天理ニモ深淺ハアルナリ、トハ本ナリ、筮ハ末ナリ、天理ニモ本末ハアルハヅナリ、タトヘバ戰フトキニ敵ニ勝ツハ、天理ニ合タルユヘナリ、商ナヒヲシテ利ヲ得タルハ、天理ニ合ヒタルナリ、敵ニ勝ツニモ深・淺・大・小・本・末アリ、利ヲ得ルニモ深・淺・大・小・本・末アリ、是天理ニモ本・末・深・淺ナクテカナハヌコトナリ、扱天理ノ本・天理ノ大・天理ノ重・天理ノ深ハトント動カヌモノナリ、外ノモノハヘシツケルコトアレドモ、天理ノ本・大・深・重ノ處ハトントヘシツケルコトナシ、ユヘニトガ逆フテモヨロシイトイフコトハナキナリ、筮ハ淺キ處ナレバ、トサヘ逆ラハネバ筮ハヘシツケルコトモアルト云フモ詳ナルコトナリ、サレドモ淺フテモ、輕フテモ、末デモ、小デモ天理ナリ、ユヘニ筮ニデモ逆ラヘバ、其吉甚微ナルナリ、内トハ國中ノコトナリ、外トハ國外ノコトナリ、ユヘニ心ニトリテ見レバ、内トハ己レ獨リノコトニテ、アイテノナキコトノ時ノコトナリ、人ヲアイテドリテスルコトハ皆外ナリ、扱將帥心ノ勝手モヨシ、天理ノ本ノ方ニテモヨク合ヘドモ、天理ノ末ノ方デハ勝手アシ、ト云ヒ、上士卒心モ下士卒心モ皆勝手アシ、トテイヤニ思フ、左レドモ己レ一人ノ身ノ行ヒ方ニトリ

テハ宜シキナリ、他人ヲアイテドリテノコトニハアシ、將帥心ハ心ノ本ナリ、天理ノ本ハ理ノ重キ  
トコロナリ、此二ツハ最重キトコロナレドモ、人ヲアイテドリテナスコトナレバ、アシト云フハ天  
理ノ補ヒタラスユヘナリ、マツスグスギタルナリ、マツスグスギタルユヘニ、己レ一人ノコトニハマ  
ツスグスギタルハ、カマワスコトナレドモ、アイテノアルトキニハ、マツスグスギタルハ他人ガタヘ  
スナリ、キビシキユヘナリ、天理ハマツスグナルモノナレバ、イフテ見レバ、恩ノナイトイフキミナ  
リ、恩ヒヤリノナイキミナリ、己レノ身ニハキビシキコトモカマイナキコトナリ、他人ヲアシラフ時  
ハ、恩ヒヤリナフテ叶ハスコトナリ、恩ヒヤリトイフハ、チトユルメルコトナリ、ユルメテヤワラカナ  
ルナリ、己レノ身ニハヤワラカミナフテモ宜シ、人ニ對シテハ又々天理ノマツスグナルバカリデハ、  
人モ服セヌナリ、此段ナドモ甚詳ラカナルモノナリ

龜策共違<sub>ニ</sub>于人、用<sub>レ</sub>靜吉、用<sub>レ</sub>作凶

コノ段又甚宜シ、將帥心モ、上士卒心モ、下士卒心モ宜シキハ、眞ニヨロシキナリ、左レドモカノ正  
直一ベンノ男ハ承知セヌナリ、是天理ニ叶ハスニアラズ、天理ノキビシキトコロニ合ハヌナリ、大キ  
ニユルミアルユヘナリ、此マヘノ段ノトントノウラハラヲ云フナリ、前段ニテハ、ユルミノナキハ外  
ニ用ヒテハアシト云フ、コノ段ニテハユルミノアルハ動カス處ニ用ユルハ宜シ、動クトキハ宜シカ  
ラズト云フ、サレバユルミノアルハ外ニ用ヒテ宜シトテ、ヤタラニ用ユルハ宜シカラズ、ヨク／＼ア

トサキヲカンガヘネバナラスト云フコトナリ、外ト云フト、動トイフトトリチガヘヌヨフニセイイト  
イフ心ナリ、靜ハ動ノウラナリ、作ハオコスト訓ズ、動ノルイナリ、左レドモ新規ニ事ヲ取立ル心ア  
リ、外ノヨフナルモノニテ、又外トハ別ナリ、靜トハ動カサスコトユヘ、今マデノ通りデオキテ改メ  
ズ、手ヲツケズニオク心ナリ、左レバ甚内ト云フニ似テオレドモ、己レノ身一分ノコト、改メズニ  
其マ、ニシテオクト云フコトハ心モチ別ナリ、新ニ事ヲ取立ルト、他人ヲアイテドルトモ、心モチ別  
ナリ、至極ニ似ヨリタルコトニテ、吉・凶ウラハラニユクモノユヘ、極々大セツニギンミセネバナラ  
スコトヲ云ヒタルナリ、ケ様ニコマカキモノナリ、中々孔傳や蔡注ナドノヨフニ讀ミテハ、今日ノ用  
ニタ、ニコトナリ、今日ノ用ニタ、又洪範アロフハヅナシ、皆今日ノ用ニタツハヅノ書ナリ、凡ソ古  
書ヲ讀ムニハ、皆此心得第一ナリ、今日ノ用ニタ、スヨフニ見ユルハ、讀ミヨフガユキトバカヌヘ  
ナリ、骨ヲオリテ理ニ合セテ見レバ、盡クヨク合フナリ

八庶徵、曰雨、曰暘、曰燠、曰寒、曰風、曰時、五者來備、各以其叙、庶草蕃廡

庶ハモロ／＼ト訓ズ、種々ノコトアルユヘ庶ト云フナリ、徵ハシルシト訓ズ、證據ト云フコトナリ、キザシ  
ト云フキミナリ、雪ノフルハ豐年ノキザシナリ、豐年ノ證據ヲトリテ推スベキ手ガ、リナリ、ユヘニ庶  
徵トイフナリ、暘ハ日ノテルコトナリ、燠ハアタ、カナルナリ、寒ハサムキナリ、備ルハノコルトコロモ  
ナキナリ、叙ハ順ナリ、順ヲ立テ、順ヲ亂サズ、來ベキ時分ニ來リ、去ルベキ時分ニ去リテ、順ヨロシキ

ナリ、庶草ハ五穀ヲ始メ、モロ／＼ノウエモノヲスベテイフナリ、木ノ實モ庶草ノウチナリ、蕃ハシ  
ゲルト訓ズ、ハビコリフエルナリ、庶ハヒロガルナリ、扱コノ庶徴モ又心イキナリ、コノ本文ノ通り  
ニヨミテ、コレギリニ讀テハ、一向ニタワヒモナキコトナリ、蔡注ニモケ様ニバカリユクモノデハナ  
イトイフヨフニイヘリ、左レドモソレデハ洪範トイフモノニアラズ、天氣バカリノコトナレバ、洪ナ  
ルコトハナキナリ、スベテ事物ニツケテ、皆コノ心モチデオスコトナリ、コレハ範ナリ、コレガスグ  
ニケ様ニイクトイフコトニテハ、サラ／＼ナキコトナリ、心モチニテ推シテ、他事ヘウツシテ見ルナ  
リ、心イキヲイフニ、天氣ヲカリテイヒタルモノナリ、蔡沈ハ全ク大川ヲワタルニ利アリトイフ卦ヲ  
得テ、川ヲワタル男ナリ、洪範トイフコトヲヨミ誤リタルガ始マリナリ、扱此五ノ者又水・火・土・  
陰・陽ナリ、雨ハ水ナリ、陽ハ火ナリ、風ハ土ナリ、凡ソ雨・陽・風ハ天氣ノ形チナリ、煥ト寒トハ別  
ノコトナリ、アタ、カナルト、サムキトナリ、雨ヤ日デリヤ風フキナドノ並ニタツモノニアラズ、  
煥ハ陽ナリ、寒ハ陰ナリ、アタ、カナルト寒キトハ氣ナリ、即チ水・火・土・陰・陽ナリ、水・火・土・  
氣ナリ、此四大ハ天地ノ間ノゼンマイジカケナレバ、一トイロツリ合アシクテ、グアヒソコネンバ、  
天地間ノシカケソコネルナリ、ユヘ二人ノ身ニトリ、心ニトリテモ、此四大ノシカケノカタヨラスニ、  
順ノヨイヨフニ、クルワヌヨフニ、養フコト第一ナリ、コノ段ハ先總論ナリ、總序ナリ、天地ノ間ニ  
アルモノ、ウチノ第一ニ大イナルモノ、肝心ノモノハ、コノ四大ジャ、四大ガ時ヲ失ワズニ來リテ、



ソナワリテ、ノコルトコロモナク、過不及モナク、ヨイカゲンニアリテ、順ヲミダサズニヨクト、ノ  
フハ、即豐年ノ瑞相ジヤ、庶草木トモニヨフ肥テ、シゲリテ、ソダチテ、フヘテ、ヒロガリテ、此上モ  
ナキ目出度コトジヤトイフ總本文ナリ、徴ハ此下ニダン／＼ナラベテイフ、コノ段ハ徴ヲイハントシ  
テ、其マヘオキヲイヒタルナリ、然レバ人モ四大ノタリヒヅミナフ養ヘバ、病氣モナク身スコヤカニ  
テ、智ノハコビモヨキ理ナリ、心モ四大ノタリヒヅミモナケレバ、一向ニ事物ニツカヘルコトモナク  
テ、スラリ／＼ト何モカモワカリ、サバキヅコナヒナキ理ナリ、スルコト、ナスコト皆ヨロシキハヅ  
ノコトナリ

### 一、極端凶、一、極無凶

コノ段甚ヨロシキ段ナリ、老子ニハ天下ニ藥物ハ無シト云ヘリ、然レバ微少ノモノニテモ、天下ニア  
ルトアラユル物ニ用ニタ、ヌ物ハナキナリ、況ンヤ四大種ハ天下ノ大物ナリ、天下ノ大物ニテモ、ア  
マリソナワリ過ギタルハアシ、此言モツトモ妙ナリ、ソナワリ過ギタルハ、何ニテモアシキガ天ノ  
理ナリ、然ルニ今仁義ヲ始メトシテ、過ルヲヨシトスルコト後世ノ間違ノ論ナリ、古ヘノ學問ハ皆如  
レ此徴ヲトリテ、理ニテツメタルモノナリ、後世ノ學問ハ天トハ別々ノコトナリト思フテ、天理ニハ  
一向ニカマワヌヨフニナリタルハ、悲ムベキコトナリ、今雨ホドケツコウナルモノナシ、左レドモア  
マリ雨スグレバ五穀デキヌナリ、陽ホドケツコウナルモノナケレドモ、アマリ陽スグレバ五穀デキヌ

ナリ、風ニテモ、燠ニテモ、寒ニテモ、過ルハ甚凶ナリト云テ、タラスモ又凶ナリ、仁ナドハ極々ケ  
ツコウナルモノナリ、左レドモ仁スグルハ甚ヨロシカラズ、仁サヘモ過ルハヨロシカラズ、然レバ何  
レノ德ニテモ、過グルハ皆宜シカラヌコノ天ノ理ナリ、然ルニ後世ハ諸事ニツケテ、過ルヲ上ト定ム  
ルコト後世ノ通弊ナリ、極備ハ過ナリ、極無ハ不及ナリ、此二品ハ凶ナリト洪範ニアリ、然ルニ仁ニ  
過ルハナヲヨイナド、イフコト、聖人ノ意ニチガフタルコトナリ、仁ノ過ギタルハ弱ナリ、智ノ過タ  
ルハ譎ナリ、勇ノ過タルハ亂ナリ、過ギタルハ名ガチガフナリ、過ギズ不<sub>レ</sub>及ルコトナキガ眞ノ仁・智。  
勇ナリ、凡ソ何事ニヨラズ、極備ハ凶・極無ハ凶ト覺ユベキナリ、極備ヲ譽ルハ後世ノ弊ナリト知ルベ  
シ、皆中字ヲヨミソコナフタルユヘナリ、古ヘノ中トイフハ、過不及ノナイ至極ノ上々ノコトナリ、  
後ノ中トイフハ、上ヘユカヌ中グライノコトナリ、コノ古ヘノ中ヲ中グライノ中トヨミタルユヘニ、  
其中ノ上ヘノ上ガヨイト思ヒタルナリ、中ノ上ヘハ過ナリ、上・中・下ノ中ト、過・不及・中ノ中トマ  
チガヒタルユヘ、大チガヒニナリタルナリ、後世ノ善ハ古ヘノ過ナリ、後世ノ善ハ古ヘノ凶ナリ、ワ  
ルキハヅナリ、物事マチガフハヅニテハナキヤ、前段ハ五者來備ルト云ヘリ、五ツトモニソロヒテホ  
ドヨフ來リ、ソナワリタルナリ、コノ段ハ一トイロガアリスギタリヤ、ナサスギタリヤシテ、カタカ  
シギナルナリ、來リ備ルハ中ナリ、アリスギト、ナサスギハ、過ト不及トナリ、是眞ノ三ノ數ナリ、  
古ヘハ中ヲ吉トシテ一ツト定ム、過ト不及トヲ凶トシテ二ツト定ム、吉一ツ凶二ツナリ、コレガ古訓

ナリ、然ルニ今ハ吉ヲ一ツト定メ、凶ヲ一ツト定ムルユヘニ、天理ノ定數ニチガ、テオルナリ、コノ段ハ五者來リ備ルト、極備ト極無トハツキリト三ツニ定ムルハ、古訓ノ純粹ナリ

### 曰休徵

休ハヨシト訓ズ、吉ノ字ニ近キ字ナリ、日出度ト云フコトナリ、祥ノ字ナド、慶ノ字ナドノ類ナリ、休徵ハ日出度・吉祥・慶歡ノ證據トイフホドノコトナリ、コノ段ハヨロシキ方ノ證據ヲアゲテイフ章ナリ、吉ノ方ト凶ノ方ト二ツナラベテアゲテ、扱ソレカラソノ證據ヲイハネバ、ハツキリトワカラスユヘナリ

曰、肅時雨若、曰、又、時暘若、曰、暫時燠若、曰、謀時寒若、曰、聖時風若

コレ又心イキヲイヒタルナリ、眞ニ雨ヤ暘ノハナシヲスルニアラズ、コレニテ天下ノ事・物ノトリアツカイカタ知レルヨフニシタルモノナリ、肅ハツ、シムト訓ズ、ツ、シムトイフニモ、イロノ／＼アリ、此肅ノ字ハチバマルキミナリ、肅霜ナド、イフ字、甚肅ノ字ノコ、ロノヨフ知レル字ナリ、寒中ノ極寒キ日ニ、ヨアケジブシニ霜フレバ、草木モチリ、トシテ、トリシマルキミアリ、人ノ心モヨフトリシマリテ、寒襲ナドヲスル時節ナリ、嚴ノ字ノ意ヲフクミタル字ナリ、キビシキ意ヲカネタル字ナリ、凡ソノ物チバマルトイフハ、己レガ持マヘヨリモチイソフナルコトナリ、ズツトチバマリ、チイソフナリテ、モツトチイソフナリタフ思フテ、チイソフナラル、ダケ、チイソフナロフト思フテチ

ヂマルユヘニ、貫目デイフテ見レバ、十貫目ノモノガ五貫目ニモ、三貫目ニモナリタルナリ、十貫目ノモノガ五貫目ニナレバ、五貫目アマリアリ、アマリアルト云フハ、己レガツ、シミ、チバマリタルユヘナリ、人ニテモ十萬戸ニ封セラレタル諸侯ガ、五萬戸ノ人ノヨフニツ、シミ、チバマレバ、コレ五萬戸ダケノアマリガアルナリ、家ノ主デイヘバ、十貫目デクラスベキ男ガツ、シミ、チバマリテ五貫目デクラセバ、コレ五貫目アマリガアルナリ、客齋ナルニハアラズ、己レガ心デ己レガ身ヲチバメテオルナリ、口ヨリ言バヲ出ソウガ、手デ物ヲコシラヘヨフガ、念ニ念ヲ入レテツ、シミチバマリテ、ウヤマイ、キビシフスル時ニハ、有餘ナクテ叶ハスナリ、其有餘トイフコフナキミガ、雨ノ心イキナリトイフコトナリ、雨ハ山ヨリ出ルナリ、山ヨリ出ルナレドモ、ソレダケ山ノヘリニナルニアラズ、ツ、シミ、チバマリテ出ル有餘ナリ、ユヘニ雨ヲウルホヒト云、ウルホヒトハ、アマリモノ、コトナリ、徳澤ナド、イフモコノコトナリ、一人ノ徳ガアマリテ下タヘユキワタリ、他人マデヘカフムラシムルナリ、コレ天ノ理ハ己レガチバマルヨフニツ、シメバ、アマリノウルホイガ是非デ、クル理ナリ、人ニヨラズ、萬物・萬事皆コノ通りナリト云フコトナリ、若ハシタガフト調ズ、其スデヘユクトイフコトナリ、ツ、シミ、チバマリテ、キビシフ己レヲツメレバ、雨トイフスデヘユクユヘニウルホフ、ユルヤウナル方ヘユク、己レヲツメルユヘニ、ユルヤカミガ外々ヘユキワタルト云フガ天ノ理ナリ、又ハ治ナリト調ズ、オサ／＼シキナリ、何モカモ立派ニソロヒテ、ウツクシキ方ナリ、カザルト云フ



キミナリ、キレイニハキチギリタルヨフナルキミナリ、ケ様ナル時ニハ陽トイフスデヘユク、天氣ノハレテ日輪ノキラ／＼テリカバヤク、己レヲキレイニ、リツバニカザルユヘニ、外々マデモ此風ニナリテ、立派ナルコト、ハヤルト云フヨフニオモムキノユクコト、又天ノ理ナリ、人ノ心ニシテモ、リツバニキレイナル心ノ人ニムカヘバ、此方ノ心ヲアロフテ、ツキアフ心ニナルハ、天ノ理ノサナケレバナラヌスデナリ、哲ハ智ナリト訓ズ、事・物ノコトニツケテモ、澤山ニキ、タメ、扱見タメテ博識ユヘニナニモカモ知リテオルトイフキミナリ、人モ其カゲニテ善キコトヲキ、善キコトヲ見テ、困シミコマルコトノナキ風俗ニナレバ、モチマヘヨリモヨフクラスコトガデキルトイフキミナリ、タトヘバ田畑ノ手バヤキ道具トイフモノカ、或ハ紙ノスキヨフ、藥ノ製法ノシヨフマデ、博識ノ人知リテオルコトユヘ、一世ノニギヤカニナルコトニナル理ナリ、ケ様ナル時ニハ煥トイフスデヘユク、煥ハアタタカナリト訓ズ、モチマヘヨリモ、アタ、カナルナリ、衣類ヲ二ツキベキ時ニ一ツキテモ、アタ、カイトイフヨフナルキミノ字ナリ、アルベキカ、リヨリ、アタリマヘヨリ、利ヲ取ルコトガ多イト云フコト、人ノ心ニテモ、物ヲ聞クコト多ク、見ルコト多ク、ナニモカモヨフシリテオルハ、己レノ身分ヨリアタ、カニクラス理ナリ、是モ天ノサナケレバナラヌ理ナリ、謀ハ己レガ智ガ有レドモ、他人ノ言ヲキ、合セテ相談スルナリ、己レヲ智ノナキモノニスルト云フコトナリ、己レヲトデコメテオクキミナリ、ケ様ナル時ハ寒ノスデヘユクナリ、寒ハ物ノカタマリ、コリテカタクナリテ、丈夫ニナル時

節ナリ、蟲ガ皆死ヌヘニ、物モクサレルコトナク、ソコネルコトナシ、肅ト謀トハ似テオルナリ、雨ト寒トモ似テオレドモ、各ソノモチマヘニテチガフナリ、又ト哲ト似テ、暘ト煖ト似テオル、火ト陽ト似テ、水ト陰ト似タルユヘナリ、水・火・土・陰・陽ノ確乎トシテウゴカスベカラザルコトカクノ如クナリ、聖ハトントノ生レツキノ分別ノヨキ人ナリ、ジリンハエスキノサトキ人ナリ、アツキキミナリ、シンソコカラシテコトノワカル人ナリ、政デイフテ見ヨフナラバ、ヂリンハエスキニ、一體ノ風俗カラ、人民ノ心カラ、トント本カラナオスシカケナリ、ハヤキコトニハ、トテモイカスト、カク久シフカ、リテモ、トントノ心ノ底カラヨフナラネバナラヌトイフテ、大ガ、リニカ、リテ、本モトカラナオストイフキミノ政事ナリ、人デイフテ見レバ、カリソメゴトキラヒニテ、久シフカ、ル分ハクルシカラズ、オソフデキアガルコトモヨシ、唯シンソコカラ、マジリナシニイカネバ、ナラヌトイフテオル人ナリ、ケ様ナル時ニハ風ノスデヘユクナリ、一體水・火・陽・陰・土ト順ヲ立タル條下ナレバ土ニアタル、土ハオモフテ、シヅミテ動カズ、トントノヂリンハエスキナリ、コノ徴ハ風ナルハ、風ハ和風ナリ、春ノ風ニテ草木ノ長ズルヨフナルハ、誠ニトントノシンソコカラソダツナリ、聖人ノ風化ト云フモ、風ノ草木ヲ化生スル如クニ、心カラトリ立ルト云フキミユヘニ、風ニ應ズルナリ、扱以上五品ナリ、五品ノ物ハヨキト云フニアラズ、ヨフアシラヘバヨフユクナリ、アシフアシラヘバアシフユクナリ、人ニテモ心ニテモケ様ナリ、アシラヒヨフナリ、ウケヨフナリ、今日ノアキナヒゴト

ニテモ、藝能ゴトニテモ、サキ方ニハキマリハナシ、アシラヒニテ、ヨフモアシフモナルナリ、ヨキ人ガ五品ヲツカヘバ、至極目出度コト多クテ宜シキナリ、コレハヨキ人ノ五品ヲヨフツカヒタル時ノ徵ユヘニ、休徵トイフナリ、報人ノ心ニ取りテ見レバ、心ノウチニ五品ナケレバナラヌナリ、一家一國ノ政ニトリテモ、五品ヅ、ナケレバナラヌナリ、スデニ天ニハ五品トモニソロフテアル、然レバ人ノ心ニモ五品ソロフテツカワネバ、眞ノ天理ニ叶ハヌ理ナリ、後ノ人心ニ己レガ流儀ヲ立テ、一イロヲ行フコトアシキコトナリ、天ニソムクナリ、ユヘニ古人ヲ見ルベシ、豪傑名世ノ賢人ハ至極ヤワラカノヨフデ、又至極カタキトコロアリ、至極ヒロキヨフニテ、至極ツバマヤカナルコトアリ、至極ハヤキヨフニテ、至極オソキヨフナルコトアリ、孟子ハ伊尹モ伯夷モ柳下惠モ聖人ナレドモ、カタカシギジャ、タラストコロガアル、タラストコロノナイノハ唯孔子ジャ、速ナルベキ時ハ速カニナド、イフテ、孔子ノイロノ徳ヲソナヘタルコトヲイヘリ、孔子ニカギラズ、凡ソ天理ニテ生レタル人ハ、天ノ通りニユク理ナリ、天ノ通りニユケバ、五品ソナワルハヅナリ、今平人ニ五品ソナヘラレヨトイフハ、大ソフナルコトナリ、左レドモカネテ左様ニコ、ロヘテオレバ、カタカシギニユクウチニモ、大キニユルミデキテ、洪範ヲ見ヌウチノ人物トハ、キツト水ギワガタチテガフベキナリ、先此五品ハテンデンノ心ニアルト思フベシ、天ヨリ生ヲ受タル人ナレバ、無フテ叶ハヌコトナリ、アルコトヲ知ヌユヘニ、ナキナド、思フテオル人アリ、此洪範ニテクワラリトワカルハヅナリ

曰、咎徵

咎ハトガト訓ズ、ワザワイノ類ナリ、多クハ天ノ咎ノトキニツカフ字ナリ、天ノトガメハ即チワザワイナリ、五品ヲ天ノ思召シノヨフニツカワズニ、アシフツカイタルナリ、ユヘニアシキ徴ヲアラワス、兎角天ニハ休モ咎モナシ、人ノツカイヨフシダイナリト思フベシ、ツカイヨフニテ、休ニモ咎ニモナルトコロヲ見ルベキナリ

曰、狂恒雨若、曰、僭恒陽若、曰、豫恒燠若、曰、急恒寒若、曰、蒙恒風若

狂ハ心ヲ取失ナヒタル人ナリ、將帥心モ、上士卒心モ、下士卒心モナフテ、タワヒモナキ、ハナレバナレノ氣バカリアル人ナリ、國ニタトヘバ、君モ政ニカマワズ、卿士・尹師モカマワズ、唯デツチ・コモノ・宦官・下女ノルイガ政ノセワヲヤクナリ、心デイフテミレバ、ハシタナキ出來合ゴ、ロノ、フトオモヒツキゴ、ロガ一身ノセワヲスルナリ、ケ様ナ時ニハ雨ノスデヘユク、ブラリ、ベラリベラリト、ペン、ト、グナリ、ト、天ノソコノヌケタト云フヨフナ雨ニアタルナリ、シヤントフリテ、シヤントシマフトイフヨフニイカス、ベラリトフリタル雨ナリ、此雨ハ長雨ユヘニ水出デ、萬物皆クサルナリ、狂イタワヒモナキ、ハリアヒノヌケタ、ベラリトシタル風ガ感ズルナリ、僭ハ己レガ上ニオル人ヲツキヌケテ、己レガ威光ヲフルフコトユヘニ、イフテ見レバ、宋王ガ血ヲ皮ノ囊ヘ入レテ、中ヘツルシテ、コレヲ射テ天ヲ射ルト云フテ、ワシハ天ニ勝テ天ヲコロシタトイフテ、オゴルナドガ



僭ナリ、アラキナリ、ツヨキナリ、ユヘニ嗚ニ應ズルナリ、日デリト云フモノハ、天ノ怒リト古ヘヨ  
リイフテ、草木ナゾヲムゴヒ目ニアワセテ、威光ヲフルフヨフナル體ナリ、心デイフテ見レバ、氣ノ  
高ブル人ナリ、此人ハアラキ人ナリ、日デリノアンバイナリ、己レノ心ニケ様ノ心ナドアレバ、始終  
嗚ヲスクフ手アテニスレバ、高ブル氣モウスラグナリ、豫ハタノシムト訓ズ、逸樂ヲシテアソブナリ、  
アソブハオコタルナリ、ナマケルナリ、グニヤノシラズルケルナリ、是春ノ末ノアタ、カニテ、ナ  
マケテオコタリ、何モデキヌ時ノヨウスナリ、ユヘニコレニ應ズ、政ニシテミレバ、何事モハキ  
トセズ、功アル人ヘモ賞ヲヤラズ、罪アル人ヘモ罰ヲホドコサズ、唯ブラリノトラチノアカヌ政ノ  
應ナリ、心ニシテミレバ、クヒキリ、思ヒキリノナキ人ナリ、當坐マカナヒノ、今日コ、ロヨケレバ  
ヨイトイフテ、ズルケル人ナリ、己レガ心ケ様ノキミアラバ、コレヲ定本ニシテタテナラスベキコト  
ナリ、急ハスミヤカト訓ズ、ケワシキナリ、マテシバシナキナリ、政ニスレバ、酷吏ノ世ノアリサマ  
ナリ、如此ナレバ人々皆ヒツコミ畏レテ、チバマリテ、スツコミテ出ズ、モノヲモイハスト云フキミ  
ナリ、ユヘニ寒ニ應ズルナリ、己レガ心ニケ様ノキミアラバ、寒ノヒドキ時ニケ様ニシテホシイト思  
フコトヲ、タクワヘルヨフニスベキナリ、唯己レガ性急ヲ止メヨフト思フト、洪範ヲ見テ寒氣ヒドキ  
時分ニ、春ノホンノリトアタ、カキ時ヲコヒシイト思フテ忘レズニ、春ノヨフナ心ニシタイト思フコ  
ト、急ヲユルムル手ダテナリ、蒙ハクラシト訓ズ、ウツトウシキナリ、コウムルト云フ字ナリ、何ゾ

上ヘカヅキテオルヨフナルナリ、政デイヘバトント政事サダマラズ、譽ラレヨフト思フコトハ叱ラレ  
タリ、爵セラレヨフト思フニ褒美ガ出タリスルハ、何カラタテ知レス、此下ニハドノヨフナモノガ  
アルカ、知レストイフヨフナル政ナリ、ニヘニ風ノ東風タチマチ西風ニナリ、トントキマラス風ニ  
應ズルナリ、一向ニ是カラ何風ニナルヤラ知レスト云フキミナリ、コレラノ心アリテハ、サツソク  
ナフサネバナラスコトナリ、風ノクルヒ心トイフ心ナリ、イヤナルコトナリ、扱以上ノ五品ハイカサ  
マナゾラヘテ見テ、ツ、シミナラセバ、政ニセイ、一心ニセイ、アテドアリテ、アツカヒヨカルベキ  
カ、凡ソ己レガ家國ニセイ、心ニセイ、目出度宜シキコトハアレバ、ヨイトイフモノニテ、ナヲ  
ヨキコトナリ、扱アシキコトコソ知ラネバナラスナリ、コレホドコワキ、オソロシキコトナシ、宜シ  
キコトトハ、チガヒテアリテハナラスコトナリ、アシキ方ヲ別シテ詮議ハラヒノケルヨフニセネバ  
ナラスナリ、人ノ身ニモ福ノ來ルヨフニスルヨリモ、禍ノコスヨフニスルコソ第一ノツトメナリ、禍  
ノ字ノ方ヲ目モハナサズ守リツメテ居ルベキコトナリ

曰、王省惟歲、卿士惟月、師尹惟日

省ハカヘリミルト調ズ、見舞フコトナリ、ナゾラヘミマフナリ、王タル人ハ天下一人ノ人ナレバ、ナ  
ゾラヘテミマフテ似セ學ブ處ハ歳ナリト云フコトナリ、卿士ハ内ノ政ヲ取ル人ナリ、師尹ハ外ノ政ヲ  
トル人ナリ、卿士ハ京師ニ居リ、天子ノ御側ニオリテ、政ノセワヲヤク人ナリ、師尹ハ國々郡々へ出

テ、天子ノ命令ヲ取り行フ人ナリ、詩經ノ節南山ノ師尹トハ別ナリ、コヽノ文勢ニテハ外ノカロキ役人デナフテハスマスナリ、扱天下ニ一人ノ人ハ、歳ノ心得ナルベキナリ、京師ノ執政ノ人々ハ十二三人バカリアリテ、天下中ノコトヲシメク、リヲスル人ナレバ、卿士ハ月ノ心得ナリ、一ケ年ハ十二月アルユヘナリ、扱國々在々ニ勤番ヲスル奉行役ノ人ハ、一日ノ心得ナリ、三百人モ四百人モアルユヘナリ、此段ノ論又最モ妙ナリ、此ハ三段ニワケテ總シメク、リヲ一ツニアツメタル算用ナリ、一日ヲ三十アツメテ一ケ月トス、一ケ月ヲ十二アツメテ一年トス、一年トハ總シメク、リノ數ナリ、天下ニ一人ノ人ハ總シメク、リヲシテ、トントノ大ダヽリヲスルアタリマヘノ役人ナリ、扱天下ニ一人ノ人ハ、一國一縣ゴトノ大ゼイアル人ヲ、スグニ支配スレバ多端ナルユヘニ、シメク、リヲスル役人十二三人ヲエラミテ用ユルナリ、十二三人ノ人各三十人ホドヅヽ支配ヲスレバ、三四百人ノ人アマサズ命令ヲウケテ、ホドコスコトデキルナリ、コレハ一年ノ中ニ十二月アリ、一月ノ中ニ三十日アルヲ手本ニシテ組ミ立タル算用ナレバ、三段ノ役人モケ様ニ目當ヲキワメテ、命令ノ漏レヌヨフニスベキナリトイフ論ナリ、然レバ人ノ心ニトリテミレバ、將帥心ハ一ツナルベシ、此將帥心ハ士卒心ヲ十二三モトリマワシテ、不法不理ノナキヨフニ養フベキナリ、扱上下卒心ハ下士卒心ヲ三十ヅヽモ支配スル、如レ此トキハ三四百ノ士卒心ヲ、唯一ツノ將帥心ガアマサズニ養ヒ教ヘラルヽト云フ證據ナリ、左レバ人ニヨラズ、凡ソ天下ノ事・物ハ皆如此、大カラゲ・中カラゲ・小カラゲト組ミテ、一人ノ將帥

心ノ意ヲウケソコナワヌヨフニスルコト、天ノ理ナリト云フコトナリ、唯一ツノウカレタル至極ハシ  
タナキ氣ニテモ、皆支配スル頭役ノモノナクテ叶ハヌコトナリ、支配スル頭役ナケレバ、テンノノ思  
ヒノマヽニ、キマヽ了簡ヲ出シテ、テンノムキノニナルユヘニ、變ガオコリテ禍ヲトルナリ、至  
極ノイヤシキ氣ニテモ、其頭役アリテ其上ニテシメタヽリヲスレバ、ケシカラヌ思ヒツキハセヌハヅ  
ノコトナリ、然レバ今日磔・獄門・打首ナドニナル罪人ハ、畢竟氣ニ支配スルモノナクテ、根モ葉モナ  
キ、由緒・由來モナキ、ラチモナキ變ナル氣、獨バタラキノ、思ヒ付キシダイノ、キマヽヲシタルユ  
ヘナリ、チヨイトシタル氣ニテモ、皆其上役ツナギツケテ、一々キヽトバケタル上ニテ働カスレバ、  
決シテノ罪ニカヽルコトナキハヅナリ、ツマルトコロハ目當ノ手本・定本ナキユヘニ、アテズイリ  
ヨウノメツボウコンジヨウ、イキナリヤリバナシノ氣ニマカセテ、其上役ハ一向ニカマワヌユヘナリ、  
一年ニモレタル月ナシ、一ヶ月ニモレタル日ハナシ、一年ノ一月ヲ支配シ、一月ノ一日ヲ支配スルガ  
如ク、支配ニモレルコトナケレバ、キマヽヲシタフテモ、スルコトハナラスハヅナリ、天ノ理トイフ  
モノハ、ハシタナキ氣マデモ、皆氣マヽヲスルコトノナラヌヨフニシタルモノナルニ、今罪ニカヽリ、  
咎ニカヽリ、餓死シタリ、凍死シタリスル人ハ目當ナキユヘナリ、定本ヲ知ラヌユヘナリ、其定本其手  
本ノ證據ハ、アリノト此一年・一月・一日ノアツメテハムスビ、アツメテハムスビシテ、極ノツマリ唯  
一トコロヘヨリアツマリテ、皆コノ一ツノ理ノ支配ヲカフムルベキコトヲ、シヤント見セタルコト如



レ此シ、ウツカリト見ルベカラズ、皆理ニチヤント合テオルナリ

歲月日時無<sub>レ</sub>易、百穀用成、又用明、俊民用章、家用平康

時トハ雨・陽・燠・寒・風ノ五ツノモノガヨホドヨユキワタリテ、變ノナキコトナリ、易ハカワルト  
訓ズ、即チ變ノコトナリ、百穀ハ凡ソ五穀ヲ始メ、モロ／＼ノ食事ニナル草木ナリ、成ハ成就スル  
コトナリ、デキアガリト訓ズ、又ハ至極ソロフテ、美シフカザリタタルナリ、禮樂刑政ヲ始メトシ  
テ、凡ソ天下ヲ治ムル道具ノ一イロモ缺ナク、ソロフテ見事ナルナリ、明ハ亂レヌナリ、ソレ／＼ニ  
リツバニワカリテ入レミダレズ、ハツキト別レテ美シキナリ、俊民ハ峻民ナリ、農夫ナリ、コ、ニテ  
ハ一サイノ人民ノコトナリ、章ハアキラカト訓ズ、一體ハ文章ナリ、文トハ織モノ、地紋ノコトナリ、  
自然ニウツクシキ地紋アルヲ文トイフ、章トハ繡モヨフ、色ザシモヨフナリ、上カラツケタル美シミ  
ナリ、ユヘニ峻民ナドノ一體ノイヤシキモノ、禮ナドヲモ知ラヌモノガ、禮儀ナドヲ知リテ美シキ風俗  
ニナルヲ章ナリト云フナリ、平ハ事ナキナリ、變ナキナリ、カワルコトモナク、ヤスキナリ、康ハ目  
出度サカヘルナリ、攬トントノ上ノ天下ニ、一人ノ人ガ君タル職ヲウシナワネバ、卿士ノ役人モ己レ  
ガモチマヘノ治メ方ヲ失ハヌユヘニ、國々在々ノ郡代・代官ナドモ法ヲマモリテ勤仕スルユヘニ、何  
一ツ間違フコトモナク、變モナフテ靜謐ニ治ル、如<sub>レ</sub>此ナレバ五穀ヲ始メ、凡ソ草木果實マデモ成就シ  
テ、出來ソコナヒモナフ十分ニデキルユヘニ、自ラ財貨金銀モ不足ナシ、ソコデ思フマ、ニ禮ヲリツ

バニ行フテモ、物入ニサシツカユルコトモナキユヘニ、下々ヲモイタメズ、田畠諸民共ニ禮儀ヲ知リテ、美シキ風俗ニナリテ、天下國家至極安樂ナリ、人ノ心ニ取リテイヘバ、將帥心ガ一タイ天理ヲ守リテ威光耀ケバ、一年ノ十二ヶ月ヲコメタル如クニ、上士卒心ヲ支配シテ仕立ルユヘニ、上士卒心モ又十二ヶ月ノ三十日ヲコメタルヨフニ、下士卒心ヲ養ヒ、オサヘヒカヘラシテ、理ニタガワスヨフニ將帥心ノ命令ヲ戴キ奉ルヨフニスルユヘニ、爲ルコトナスコト一々ニアタリテ、一向ニシクジリノナキヨフニナルコト、ウタガフトコロモナキコトナリ、如レ此ナレバ士卒心モ大キニ安樂ニテ、其身モタノシキコトナリト思フベキナリ

日月歳時既易、百穀用不<sub>レ</sub>成、又用昏不<sub>レ</sub>明、俊民用微、家用不<sub>レ</sub>寧

前ノ段ハ至極ヨフ治マリテ、日出度トコロノ趣ナリ、コノ段ハドンチヤント間違テ、入レ亂レテ、何モカモグレハマニナリテ、ユキチガヒタルナリ、凡ソ治ハ上カラ始マリ、亂ハ下カラ始マルコト古ヘヨリ然リ、然レバ上ノ人ノ心ヅカヒ、大テイナルコトニテハナキナリ、先ヅ當分コレデ治マリテオルカラ、先ヅヨイハナド、云フテオレバ、下カラ亂始マルナリ、先當分治マリテモ一向ニ油斷ナラズ、下ノ下マデ目ノ光リユキトマカネバ、下ヨリ亂レ出スナリ、コワキモノナリ、少々下デ亂レ出セバ、中上ミヨリノ制トフヲキカスナリ、下ノ亂ノ始ラヌウチニ、上ヨリアンバイヨフ養ワネバ、ムマフイカヌナリ、泰ノ二世皇帝ノ時分ヨリシテ史ニモ詳カニトケリ、其以前ハ記錄ザツトシテオルユヘ詳ナ

ラズ、先ヅコレニテ治マリテオルトイフテオルウチニ、陳涉・項梁・高祖ズツトノ下ノ下カラ起レリ、サレバ治マルト云フハ、トント下民ノ治亂ヲ忘レテ、治トイフコトモ、亂トイフコトモ、シラズニオルウチバカリナリ、下々ニテ治亂ノ評判ヲスルハ、モハヤオカシフカシギタルナリ、ソコデ上ノ人マダ亂レヌサキニ、是レヲアンバイヨフ、民ノ治亂共ニワスレテ、ウツカリトスルヨフニ導カネバナラヌコトナリ、ユヘニ古ヘヨリ民怨ムトイフコトヲ甚オソレルコトナリ、民ノ怨ムハ下ノ下ノコトナレドモ、モハヤゴトノゴトツキ出セシシタジユヘニ、コニテハヤフトリナオシテ、ゴトツキヲ消シテシマフヨフニスルガ智者ノ治メ方ナリ、マダリント治マリテオルウチニ、上デ精ヲ出シテアヤツラネバナラヌナリ、ゴトツキ出サヌ以前ナラバ、モチナオシヨキナリ、モハヤゴトツキノ萌シ見ヘテハ甚六ケシキナリ、ゴトツキ出シテハ甚アヤウシ、古ヘヨリ刑名參同ノ、酷吏ノトイフコト始マルハ、モハヤ六ケシクナリタル後ノコトナリ、マダゴトツクキザシモ見ヘヌウチナラバ、刑名モ嚴酷モイラスナリ、ゴトツキ出シテハ先ヅ刑名嚴酷ニテ、一ペン面目ヲアラタムルヨフニセネバナラスナリ、ユヘニ前ノ段ニテハ治マルコトノ始ル方ヨリイフユヘニ、歳・月・日ト君カラ臣ト順ヲ立タルナリ、コノ段ハ亂ノデキル用心ヲイフ段ユヘニ、日・月・歳ト順ヲ立テリ、治マルノハ上カラ、亂ルノハ下カラト覺ユベキナリ、是レ聖賢ノ筆ヲ把リテ事ヲ記スル、カリソメナラス證據ヲ見ルベキナリ、掇微ハカスカト訓ズ、ウスラギテカスカニナリテ、キヘルニ近キコトナリ、章ノウラハラナリ、章ノウツクシフ五

色ノイロドリモソロイテ、ハツキトワカリタルナリ、微ハウスラギキヘルヨフニナリテ、青カ黄カトクトワカラヌナリ、治マリタル世ニハ、民ノ行儀ヨロシフテ君臣・父子・兄弟・夫婦・朋友モハツキリトワカリテオルニヘニ、美シク五色ノ彩色ノヨフニ、ヨフワカリテオルナリ、亂ル、ヨフニナレバ、家來ガ旦那ヨリ貴フナリタリ、子ガ父ヲオシコメタリ、弟ガ兄ヲオヒ出シタリ、婦ガ夫ヲ叱リチラスヨフニナル、是何ガ何カハツキリトワカラヌナリ、扱人ノ心ニトリテ見レバ、善人ニナルハ將帥心カラナルナリ、智者ニナルハ將帥心カラナルナリ、凡ソヨロシキコトノ流ハ、皆將帥心カラナルナリ、惡人ニナルハ士卒心カラナルナリ、愚人ニナルハ士卒心カラナルナリ、凡ソヨロシカラヌ流ハ、皆士卒心カラナルト思フベシ、然レバ士卒心ノ養ヒカタ、甚シカタアルベキコトナリ、士卒心ニ好・惡・喜・怒ノナキハ、是士卒心ウツカリトシテ、將帥心ノ命令ヲ守リテオルナリ、士卒心ノ怨ムガ亂ノキザシナリ、ユヘニ孟子ハ氣ヲ養フテ、氣ノクジケヌヨフニスルガヨイ、氣ガ怨メバ、將帥心ヲ動カスト云ヘリ、是洪範ト孟子トハ符節ヲ合セタルヨフニ合フナリ、サレバ天下ノ智者ハ下々ノ下民ホド、オソロシキモノハナイト云ヘリ、亂ノ出ル所ナレバナリ、人ハ下々ノ下士卒心ホド、オソロシキモノハナイト思フベシ、禍ノ出ルトコロナレバナリ

庶民惟星、星有<sup>レ</sup>好<sup>レ</sup>風、星有<sup>レ</sup>好<sup>レ</sup>雨、日月之行、則有<sup>レ</sup>冬有<sup>レ</sup>夏、月之從<sup>レ</sup>星、則以風雨

コノ段ニテハツキリト洪範ノ證據ヲイヘリ、諸注家モウツカリトシテ、コノ段ニハ洪範ナルコトヲイ



フテ、外ノ段ニテハ唯天氣ノコトニテ、外ノ譬ヘニテハ無シト思フテオルコト、オカシキコトナリ、コ  
ノ段バカリタトヘニテ、外ノ段ハタトヘニテハナキト思タルヤ、ウツカリト氣ガツカザルヤ、ソノ様  
ナルコトニテ、洪範ヨメヨフ理ナキコトナリ、星ハ甚澤山アルモノナリ、日・月ハ唯一ツヅ、ナラデ  
ハ無キモノナリ、且ツ日・月ハ常行アリテ、メグラネバナラヌモノナリ、星ニハカマワズニ、己レガ  
モチマヘヲメグルナリ、始メニハ三百六十日ヲ以テ師尹ニタトフ、十二ケ月ヲ以テ卿士ニタトフ、一  
ケ年ヲ以テ君ニタトヘタリ、コ、ニテハ日輪ヲ以テ君ニタトフ、月輪ヲ以テ卿士・師尹ノ役人ニタト  
フ、星ヲ以テ庶民ニタトフ、君ハ君ノモチマヘアリ、役ハ役人ノモチマヘアリテ、各々己レガモチ  
マヘヲ大セツニシテ勤ムルコト第一ナリ、星ニカマフコトハナキナリト云フコトナリ、天ガソノ通リ  
デハ無キヤ、アノ天ガ手本ジヤ、日・月・日・月ナリ、衆星ハオノ／＼テシ／＼、ムキ／＼ノ行道ア  
リテ、己レガモチマヘ／＼ガアル、各ノモチマヘヲツ、シムコト第一ナリ、ソレノミニカギラズ、  
星ニハ風ヲ好ムアリ、雨ヲ好ムアリ、春秋緯ニ月畢ニカ、レバ雨滂沱タリ、月箕ニカ、レバ風沙ヲ揚  
グトアリ、カ、ルトハ其星ノ宿ヲフルコトナリ、前ニモイフ通り、甲子ノ朔旦、冬至ノ時ニ星ノスワ  
リテオル處ヲ星ノヤド、定メテ、扱月ノ行道フワリ／＼トマワル、此世界モキリ、／＼トマワルナレ  
バ、畢ツボニテウチタルヨフニ、キツトマワルモノニアラズ、フワリ／＼トマワルユヘニ、行道ニハ  
左リヘスコシヨルコトモアルベシ、右ヘスコシヨルコトモアルベキナリ、ソノヨルアンバイニテ、星

ノヤドリヲ月ノ歷ルコトアリ、畢星ノヤドリヲ月ガフレバ雨ガフル、箕星ノヤドリヲ月ガフレバ風ガ  
フタトコロヲ見レバ、畢ハ雨ヲコノムヨフニテ、箕ハ風ヲコノムヨフナリ、扱コレハドフデモヨキコ  
トナリ、一體ノ主意ハ澤山ノ星ナレバ、イロ／＼ノ好ミアルベキコトナリ、人デイフテ見レバ、コノ  
ミナリ、星ハ何故カハ知ラネドモ、其星ノ宿ヲ月ガフレバ風雨スレバ、星ノ好ムニシテオクガヨキナ  
リ、スレバ月ガ行道スルニ、風ズキノ星ヘヨレバ風ガフク、雨ズキノ星ヘヨレバ雨ガフル、是ハ皆月ノ  
常行ヲ失ヒテ、星ノ方ヘヨリタルナリ、星ノ方ヘ月ノヨルノハ宜シフナイコトジャヤ、月ハ月ノ常道ア  
レバ、ドチラヘモヨラズニ、月ノモチマヘノ通りヲマモリテ、行道スレバヨキコトナリ、是レハ天ノ  
鏡ナリ、然レバコノ大ゼイノ庶民ノコトナレバ、種々ノコノミアルコトナリ、凡ソコノミゴトハヒガ  
ミナリ、カタヨリナリ、カタヨリ無レバ、コノミナキ人トイフモノナリ、君モ役人モ好ミナキガヨキ  
ナリ、好ミアレバ下々ニテ其好ミヘモチコミテ、ヘツラヒヨナシテ取り入り、ソレヨリイロ／＼ノ小  
人ノ高位ニノボルコトアリ、皆上ノ好ミアルユヘナリ、役人モソノ通りナリ、コノミノナキガヨキナ  
リ、下ヨリ取り入ルナリ、亂ノハシナリ、庶人ノコノミニ、トントカマフコトナキコトナリ、上ハ上  
ノモチマヘヲマモリテ、左リヘモ右ヘモヨラヌガヨキナリ、民ノ方ヘヨレバ、民ニハイロ／＼ノ好ミ  
アルユヘニ、其ノ好ミノカタヨリ、ヒヅミガ出テクルコト、風ヲコノム星ノ方ヘ月ガヨレバ、風ノフ  
タ通りナリ、月ハ星ニシタシマスガヨキナリ、君モ役人モ民ニシタシマスガヨキナリ、各テン／＼ノ

モチマヘヲアルクコト宜シキナリ、シタシミ依ルトコロアレバ、風雨ノ如キ變アルト云フコトナリ、此ノ段ナドハ別シテ宜シキ段ニテ、孔子・老子ノ思召ニシツクリ合フテオリテ、後世ノ支那儒者ノ存ジヨリトハ、雲泥ノチガヒナリ、後ノ支那儒者書ヲザツト見カデリテ、仁ノ字ヲ讀ソコナフテ、民ニシタシムガヨイ、民ニ依ルガヨイ、民ノ好ミニシタガフガヨイトイフテ、ズツト民ノ方ヘヨル、是己レガ行道ヲウチワスレテ、民ノ行道ヲユクナリ、月ガ己レガ行道ヲ止メテ、星ノ行道ヲユク時ニハ、風雨ノ變アルコト目ノ前ニ見ル通りナリ、ウソモナキ證據タビシキコトナリ、然レバ君ヤ役人ガ己レガ行フベキ職分ラステ、オキテ、民ヘ親ミ民ニヨル時ハ、コレ民ノ流儀ニナルト云フモノナリ、民ノ好ミハイロ／＼アリ、民ノ好ミシダイニテ、カタカシギニナレバ、變ノ大ナルモノナリ、是民ニハカマワズニ、民ハ民ノ所業ヲツトメサセテオキテ、己レハ己レガ所業ヲツトムベキハヅナレドモ、兎角君モ役人モ民ニ親シミタフナルモノナリ、民ヲカマワズニオカレヌモノナレドモ、親シメバ變ノアルコト、天ヲ鏡ニカケテ見ルベシトイフコトナリ、コノ段最妙ナル段ナリ、扱後世ノ支那儒者書ヲザツトヨムトイフハ、孟子ヲ讀ムコト甚アラキユヘナリ、孟子ハ民ヲ愛シテ、民ヲアマヤカシテ、民ノ君ヲアリガタガルガヨイト説キタルヲ杓子定木ニシテ、民ヲ愛スルガヨイト思ヒタルナリ、古訓ニハ民ヲ愛スルコトモアシ、民ヲ愛セヌコトモアシ、民ハ民ノ行道ヲユキ、君ハ君ノ行道ヲユキテヨキコトナリ、民ヲ仁シテ愛セズ、愛シテ親マズナド、イフコト古訓ナリ、孟子ノ時ハ上ニ天子モナク、

ナンデモ天下ヲ取ル人ガ取レルヨフナル時節ナリ、夏ノ末、殷ノ末、周ノ末ハ勢ヒ同ジヨフニテ、皆天下ヲバヒチラゴフテオリシ時ナリ、ドフスレバ天下ガ取レル、コフスレバ天下ガ取レルトイフテ、天下ヲ取ル智ヲミガク最中ナリ、ソコデ孟子ノイフニハ、夏ノ末ニハ桀王ガ民ヲクルシメタユヘニ、殷ノ湯王ガ民ヲ愛シタ、民ハ己レヲ愛スル方ヘツクモノユヘ、湯ヘ民ガツイタ、ソコデ天下ガ湯ノ手ニ入タルナリ、殷ノ末ニモ紂ガ民ヲムゴヒ目ニ合セタ、民ガ紂ヲ怨ンダ、ソコデ周ノ武王ガ民ヲ愛シタユヘニ、天下ノ民ガ武王ヘツイタ、ユヘニ天下ハ武王ノ手ニ入タルナリ、今ノ諸侯ハ皆民ヲクルシムルユヘニ、齊ニセイ、魏ニセイ、民ヲ愛スレバ是湯・武ナリ、天下ヲ取ロフト思フナラバ、テカラワザラバトントヤメテ、民ヲ口ニタツヨフニ、ギヨフサンニ愛スルガヨイ、甚愛スレバ目ニタツユヘニ、天下中ノ民ガ思ヒツク、天下中ノ民ガ思ヒツイタ時ニ、天下中ノ民ヲツレテ、天下中ノ國ヲウチトルコトハ、ナンノゾフサモナイコトジヤトイヒタルナリ、是レ民ヲ愛スルハ、天下ヲ取ル時ノシバラク計策ナリ、殷湯・周武ノ時ノコトナリ、孟子ノ時ノコトナリ、平日平世ニ用ユベキコトニアラズ、月ノ星ノ宿ヘ依ルハ、民ヤ役人ノ民ヘ依ルニチガヒタルコトナシ、變ナリ、殷湯・周武并ニ孟子ノ時ハ變ナリ、變ニ應ジタルナリ、平日平世變モナキニハ、ヤハリ君ハ君ノ行道、役人ハ役人ノ行道、民ハ民ノ行道デヨキコトナリ、月ハ月ノ行道、星ハ星ノ行道デヨキコトナリ、依ルトカタカシギニナルナリ、民ヘ依リ民ヲ愛スルハ、カタカシギナリ、カタカシギナル世ユヘニ、カタカシギニテ利ヲ得ルナ



リ、平常ノコトニアラズ、孟子ヲヨマバコノ心得ニテ讀ムベキナリ、ヨフワカルナリ、扱人ノ心ニトリテ見レバ、將帥ハ將帥心ノモチマヘアリ、士卒心ハ士卒心ノモチマヘアリ、平日平世變ノナキトキハ、各モチマヘヲマツスグニユキテ、外ノコトニカマワズニユクガヨイ、平日平世變ノナキニ、士卒心ノ方ヘ將帥心ヨレバ必ズ變アリ、依ラスヨフニ、愛セスヨフニ、モチロン憎マスヨフニ、各テン／＼ニ己レガモチマヘヲ謹デ行フテ、左右ヘスコシモカタヨラスガヨキナリ、心ノ上デ變ヲイフテミレバ、隣リ村ニ安産ガアリテ、男子ヲウミテ、其ヨロコビニ行ク、コレ喜ノ氣ヘ依ラネバナラスナリ、サレドモヨロコビヲイフテ、シマフマデノコトナリ、平日平世ニナリタラバ、是喜ビノ心ハトントツキハナシテシマリネバ、智ハワカヌナリ、凡ソ喜・怒・哀・樂ハ變ナリ、平ニアラズ、其變ニノゾメバ、其變ニシヨスルコト孟子ノ愛民ノ說ノ通りナリ、變モナフテ平日平世ナラバ、此洪範ノ通りカタカシギナシニ、モチマヘヲ守ルベキナリ、孟子ガアシキニアラズ、孟子ノ時ガ平日平世デナキナリ、是レ孟子ヲ讀ム人ノ心得ナリ、洪範ヲ心ヘウツストテ、隣村ヘ喜ビニユキテモ、又隣村ヘ悔ミニユキテモ、ヤハリモチマヘヲマモリテオリテハ、世ノ中ニナレヌ人ナリ、孟子ハ世ノ中ニナレタル人ナリ、一向ニソ、ウナドハナキ人ナリ、如シ孟子ノ言タル所コノ洪範ニチガヒタル所アラバ、時世ヲ合セテユリ合セテ見ルベシ

九五福、一曰、壽、二曰、富、三曰、康寧、四曰、攸好德、五曰、考終命

福ハサイワイト訓ズ、日出度ナリ、凡ソ示ニ從フモノハ、皆神祇ノコトニ從フ、天意トイフホドノコトナリ、ソコデ祀ト祭ト禮ト、扱禍ト祟ト、凡ソ善惡ノコトニテモ、皆天ヨリ降ルモノ、コトハ皆示ニ從フナリ、ユヘニ福モ天ノヒイキニアヅカリタルト云フコトナリ、扱畠ハセマルト云フ心ノ字ナリ、天ノヒイキヲ大キニカフムリテ、ズツトスリヨリテ、極々セマリタルナリ、壽ハ壽命ノ長キナリ、壽ノ字ハ壽命ノ長キマデノ字ナリ、壽命ノ長キ男ニモイロ／＼アリ、乞食ニナリテ長壽ニテモ壽ナリ、永牢ニテ牢ノ中ニ入りテ、人間ヅキ合ヲスルコトモナラヒデモ、長壽ナレバ壽ナリ、ユヘニ壽ハ福ノ内ノ一ツナリ、カタカシギナルモノナリ、コレニテソウ／＼皆宜シトイフモノニアラズ、先唯長壽ナルノミナルヲ壽ト云フナリ、富ハ一體ハ貴キコトナリ、富貴談ニモイヘル如ク、ハハ上ヘ覆フモノナリ、凡ソ上ノ方デ覆フテ居ルモノハ、皆ハニ從フ、宇宙ノルイナリ、天ノコトナリ、天ノ部ハハニ從フ、家ナドニテモ、上ニ覆フモノアリテ、天井ナドノアルハ皆ハニ從フ、左レバ富ハ天ニセマルトイフ字ナリ、一體ハタツトキコトナリ、貴ノ本字ハ賈ナリ、奥ハユルヤカナルナリ、貝ハ寶ナリ、寶貨ニユルヤカナルハ、トミタルナリ、コノ段モ富ハトミタルコトヲイヒタルヤ、タツトキコトヲイヒタルヤ知ラズ、トミタルトイフハ、知行高ノ多キコトナリ、蔡注ニモ廩祿ナリト解セリ、ヤハリ知行高ノ多キコトナリト見タリ、扱此壽ト富ハ、水ト火トニ配シテアルナリ、壽ハ下ニオリテモ、年ノ澤山ナルコトナレバ、水ノ字ニアタルナリ、富ハ勢ノツヨキコトナリ、富貴トイフハ勢ノツヨキコトナレドモ、

コ、モ富ノ字モタツトキコトニ見レバ、火ニアテ、至極オダヤカナリ、扱土ニ配シテヨロシキハ、考終命ナリ、考ハ老ノコトナリ、オイテ命ヲオハルト云フハ、年ヨリテ安樂ニナリテ、氣ニカ、ルコトモナク、子孫相續シテ目出度死ヌルコトナリ、是ジリンハエヌキノ人間ノ願ノ叶ヒタルナリ、トントノ土臺ナリ、本ナリ、土ノ字ニアタルナリ、康寧ハ身ノヤスキナリ、コレガトミノ所ヘアタル、不由ナルコトノナキノガ康寧ナリ、病氣ノナキガ康ナリ、貧デナキガ寧ナリ、今日ノ富ノ字ノ場ナリ、福外ニアリ、攸好徳トハ、智慧ノアルコトナリ、己レガコノムトコロハ、天ヨリ賜ハリタル直心ヲトリタテ養フコトガスキジャ、コレ智慧者ナリ、福内ニアリ、キツト外内ナリ、外福ハ陽ニテ、内福ハ陰ナリ、キツトシタル水・火・陽・陰・土ナリ、壽ハ至極ケツコフナルモノナレドモ、カタカシギナルモノナリ、大貧ニテ乞食ノ類ナラバ、早フ死ヌモヨキナリ、富モケツコフナルモノナレドモ、富貴ニテ高位ニオリ高祿ヲ取レバ、大キニ心ヲ勞シテ、病ヲ引出シテ死ナドシタルヨリモ、位モヒキク知行モスクナフテモ、マメソクサイガヨキナリ、ソクサイデモ、金錢ニ困マイデモ、イナカ寺ノ和尚ヤ、オンボウ・ヒデンジナドニテ一生シマオフヨリモ、少々金錢ニ不自由ニテモ、少々病身デモ、人間ナミノ住居ヲシタキモノナリ、人間ナミノスマヒヲシテモ、アマリ愚ニムマレツキテハ、クヤシキモノナリ、智ニムマレツキテモ、イカフイヤシキ家ニ出生スルモ、クルシキモノナリ、左レバ考終命ハマダ格別人ニ勝チタルコトハナケレドモ、ハヅカシイコトモナフテ、目出度シヌルハマダヨケレドモ、コ

レモ人モ知ラズ、本望ニハナキコトナリ、是皆カタカシギナルモノナリ、水ハケツコフナレドモ、水ノワルヒコトモアリ、タラヌコトモアリ、火ニテモ、陽・陰・土ニテモ、一ツニテハ格別ヨイコトモナキナリ、ユヘニ前段ニモ五者來備ルト云フナリ、火・水ノアシキコトヲモ云ヘリ、人ノ世ニ居ルハカタカシギデハ、イヅレヨキコトト、アシキコトガアルモノナリト思フベシ、仁者ハ仁者デアシキコトアリ、義者ハ義者デアシキコトアリ、衆德ヲソナヘタル人トイフハ、事ニヨリテイロ／＼ニナル人ノコトナリ、流儀ノキマリテ、外ノ流儀ニハナラレヌト云フ人ハ、キツトサシツカヘルニチガヒナキナリ、水バカリノヨフナルモノ、壽バカリノヨフナルモノニテ、外ガ一向ニ不足デハ、ナンノヨキコトモナキモノナリ、一年ニ春・夏・秋・冬アリテイロ／＼ニナル、左レバ人ノ一流キワメテ、外ノコトノデキス男ハ、春バカリアル年ノヨフナルモノニテ、五穀モハヘハハヘタレドモ、ミノラスト云フヨフニ、皆カタヅリナルナレバ、天ヲ定木ニ見テ己レヲツカフコトヲ心ガケルコト智者ノツトメナリ、福デサヘ一ツアリテ、アトガ大キニアシケレバ、大キニ困シキコトナリ、極備ノアシクテ、極無ノアシキユエンナリ

六極、一曰、凶短折、二曰、疾、三曰、憂、四曰、貧、五曰、惡、六曰、弱

極ハ一體ハ屋根ノムネノトントノ第一ノ高キトコロナリ、ユヘニ甚ノ字ノ所、窮ノ字ノ所ニ用ユ、皆ゴク／＼甚シキツマリト云フコトナリ、人ノツマリツキツメノコト、六イロアリト云フコトナリ、凶・



短・折ハ刃モノニテ死スルナリ、刑戮ニテモ、賊ニコロサル、モ、自身ニ死スルモ、皆凶・短・折ナリ、凶ハ不吉ナリ、日出度ナキナリ、短ハワカ死ナリ、折ハ中ゴロニテ死スルナリ、死ヌル時節デモナキニ死スルコトナリ、是ガ死ノ最オモキモノナリ、疾ハヤマヒニテ死スルナリ、病ニテ死スルハ、邪氣ニウタレテ死スルナリ、邪氣ハ外ヨリ襲ヒ來ルモノナリ、ユヘニ疾デ死スルハ、死ノ字ノ外ヨリ來レルナリ、憂ハウキ曰ニアフナリ、心ヲイタメル、クルシメルナリ、心ヲイタメテ死スルナリ、心勞ハ内ヨリ出ルモノナリ、ユヘニ憂ニテ死スルハ、死ノ字内ヨリ出タルナリ、人ノ死ハ如此三品ナリ、刃モノデ死スカ、疾デ死スカナリ、憂デ死スカナリ、刃モノハ第一ニ重シ、内外ノ死ハ其ツギナリ、扱貧・惡・弱ノ三品ハ死スルコトナケレドモ、死ニオトラヌクルシミナリ、貧ハ財貨ノアツマラヌナリ、チリ／＼バラ／＼ニチリテシマフテ、アトガ一向ニ足ラヌコトニナルナリ、惡ハ心コワクテ、人ノ言ヲ容ル、コトノナラスナリ、ジヨウノコワキナリ、見ス／＼人ノ言フコトガヨフテ、己レノ心ガワルフテモ、ドフモ人ノ言ニシタガワレスト云フ人ナリ、弱ハモロシト訓ズ、己レ一人立テオルコトモナラスナリ、オクビヨウナルナリ、コレハクヤシイコトジヤト思フテ、齒ガミヲシテモ、ドフモヨワキナリ、カラノナキ人、多病ノ人、ドフシテ見テモ、人ナミニイカヌハ弱ナリ、皆不仕合ナルナリ、扱不仕合ヲ大・小トワケテ、大ハ死三通リ、小ハタルシミ三通リナリ、貧ハピンボウ性ナリ、惡ハワルヒコトヲ取ル性ナリ、弱ハヨワイ性ナリ、イフテ見ヨフナラバ、貧ハピンボウズキナリ、貧ボウニ

ナルヨフニ／＼トアルク男ナリ、世ニ澤山アル男ナリ、富ノ方ノ路モアレドモ、ワザ／＼貧ニナル方ヘアルイテユク、己レモ知ラヌデモ無ケレドモ、ナゼカビンボウヘユク、是性貧ヲ好ムトイフモノナリ、惡モワルイ目ニアフコトヲ好ムナリ、コフスレバ、ワルイトイフコトヲ知ラヌニアラズ、知リテハオレドモ、ドフモソフセネバナラヌ心ニナル、是惡ヲ好ムナリ、弱モ心デハチヤント、ツヨフシヨフト思ヘドモ、ドフモヨワリタフナル、ナゼカヨワリタフナルハ、是弱ヲ好ムナリ、扱極ヲ六通りニ立テ、大意ヲ立ルハ、是皆自ラ好ムナリ、死ニテ死スルモ、病モ憂モ皆死ヲ好ムナリ、自ラ好ミテ取ルナリ、然レバ天性ニコノムトイフハ、ケシカラヌコトノヨフニ見ユレドモ、是ガ即天ノ戮ナリ、ユヘニ威スニ六極ヲ用ユトイヘリ、是ハ天ノコラシメナリ、五福ハ天ノ御褒美ナリ、六極ハ天ノ罰ナリ、天ノ御仕置ナリ、天ノ御仕置ヲ天ヘ訛言ヲシテ、マスカレルヨリ外仕方ナシ、コレハアラ業ヲスルガ第一ニヨロシ、此アラ業トイフコト甚面白キコトナリ、コンジヨウガタテナオルナリ、コンジヨウタテナオルハ、是天ノ御仕置ユリタルナリ、アラ業トイフハ、先那智ノ瀧ニ七日七夜ウタル、ガ、アラ業ノ第一ナルベシ、タトヘドノヨフナルコンジヨウノリルキ性ニテモ、瀧ニ七日七夜ウタレタラバ、タ、キナヲル理ナリ、左レドモドフモ己レガ心ガ己レノ自由ニナラスカラ、瀧ニウタレヨフトイフテ、ハルバル紀州ヘモ下ラレヌモノナリ、又アラ業イロ／＼アリ、紀州ヘユカイデモ、ナンボモデキルナリ、余昔南都ヘ遊ビタルコトアリ、南都ノ興福寺ノ末寺ノ上人、春日大神ノ御社内ヘトマリバンニユクコ

トアリ、アトニテ考ヘテ見レバ至極面白キコトナリ、一體余ハ佛學ヲセスユヘニ、佛學ノコトハ知ラヌ所ナリ、法相宗トイフ宗旨モ、外ニテハアマリ聞カヌ宗旨ナリ、江戸ナドニハナキコトナルベシ、余ハ南都ニテ始メテ聞ケリ、法相宗ノ上人ニモ始メテアヒシナリ、南都ノ法相宗ノ上人二三ノ人ヨリ合テ、余ヲ請ジテ書ヲ講ゼシメントイヒタルコトアリ、京師ヨリハ十餘里アルトコロナレバ、春天氣デモヨロシキ日ニハ、ナグサミニモナルベケレドモ、雨天冬天ナドニハ一向ニイカヌ所ナレバ、余ハ斷リヲイフテユカザリシナリ、扱二三ノ上人ニアヒタル時ニ、ドレモハ皆ワカキ上人ナリ、甚ワカキハ十六七ナリ、中ニテ年ノユキタルガ三十二ハナラス人ナリ、扱ダンハハナシヲキケバ、業ヲツミテダシダンニ進ムコトノ由ナリ、其業トイフモノヲキクニ、奇ナルモノナリ、彼十六七ノ上人ハ、コノ三四十日以前ヨリ春日ヘトマリバンニユクトイヘリ、春日ノ御社内トイフハ山ナリ、京ノ上加茂ガ少シ似テオレドモ、上加茂モ山ノ趾ナレドモ人間ヘ甚近シ、春日ハ人間ヘ甚遠キナリ、人居ヨリハ十町バカリ山ノ中ヘ入ルコトナリ、ソノ人倫タヘタル山ノ中ニ、唯一人トマリバンヲスルト云フハ、十六七ノ人ノセラレスコトナリ、武人ノ武者執行ナドヲスル人ニモ、昔ハソノヨフノ人モアリタルヨフナレドモ、今ノ人ナドハナカデキニクキナリ、コレニ余モ大キニ感心シテ、ソレハ如何シテアノ御社頭ニ、唯一人御止宿ナサラレルコトゾトイフニ、上人云、御社頭ノ止宿ハ業ノ最初ヨリスルコトナリ、業ノズツト始マリナリトイヘリ、凡ソ業ノトントノ始マリハ無言ノ業ナリ、百日ノ間一間ヘ入リ

テ無言ヲスルナリ、ツイモノヲイヘバ、又百日シナホスコトノ由ナリ、右ノ十六七ノ上人三四十日以  
前ニ、始メテ無言ノ業スミテ、ソレヨリ春日ノトマリバンハジマリタル由ナリ、唯己レガ心ヲ己レガ  
自由ニスル法ナリ、甚面白キコトナリ、己レガ心ガ己レガ自由ニナラヌハ、ナルホド天罰ナリ、己レ  
ガ心ナリ、己ガ心デアリナガラ、己レガ自由ニナラヌトイフハ、ナルホドドフカシタルナラバ、ナヲ  
リソフナルコトナリ、余ガ性甚オクビヨウナリ、幼少ノ時ヨリ大臆病ナリ、種々ニシテ見レドモ、此天  
罰今以テノカスナリ、サレドモ一念ノ託スルトコロアレバ、少シ勇氣ニナルコトモアリ、コレハ一念  
ノ託アルユヘナリ、余ハ性甚鈍愚ニテ何モ覺タルコトナシ、唯文章ヲカクコトヲ性質ニコノムナリ、  
ユヘニ文章ノコトニツキタル時ニハ、勇ナルコトアリ、奇ナルモノナリ、其外ハ甚臆病ナリ、余ハ年  
四十ヨリ始メテ籃輿ニテ遊歴セリ、其以前ハイツモ獨行ナリ、深山幽谷ヲモヘメグリタルコト度々ナ  
リ、イツモ獨行ナリ、コレハ其土地ノ記ヲカ、ント思フテ、矢立ノ筆ナドヲ用意シテ、イツモ文章ノ  
爲ニヘメグルコトユヘカ、唯一人幽邃ノ境ヲメグリタルコトアリ、他人ハキ、テ大キニ勇氣ナリトイ  
フテ、田舎山村ノ人ナドモ感ズルコトモアリタレドモ、何ノコトモナフテハ、ナルホド雨中ニ夜中歩  
行スルコトデモコワキナリ、コノ上人ハ何カ修スルコトアリテ、託スル所アリテ一夜春日ニ宿スルコ  
トナルベシ、春日ノ御社頭ハ三カ、ヘモ、四カ、ヘモアル杉ムラノ中ナリ、スゴキ所ナリ、晝ニテモオ  
ソロシキトコロナリ、夜分唯一人ユクハ勇氣ナルコトナレドモ、始メヨリ業ヲ積ミテ、心ノ動カスヨフ



ニ、心ヲ己レガヘサヘツケルヨフニ、自由自在ニスルヨフニスルシカケナルベシ、瀧ニウタル、ハ極  
極ノクルシキコトナリ、其クルシキコトヲ無理ヤリニヘサヘツケテスルハ、是心ヲ自由ニスル法ナリ、  
イカサマ那智ニ百日モウタレタラバ、心ヨワルベシ、心ヨワリタル時ニ、己レガ自由ニスル法ナリ、  
本ハ心ノ氣儘ナルナリ、心儘トイフハ心ノツヨキナリ、心ツヨフテ己レガマ、ニナラスナリ、ユヘ  
ニ心ヲ責ルナリ、心ノヨワルマデ責テ責テ責メヌクナリ、ソコデ法相宗ノ上人ノワカキコト合點ユケ  
リ、ワカキ時デナケレバ、責メラレスナリ、老人ナドアマリ心ヲ責レバ、セメタオサル、コトナルベ  
シ、ワカキトキハ責ルニシクハナシ、馬ノカントイフハ病ナリ、コソリトイフテモカケ出ス、一體ハ  
馬ノ臆病ナルナリ、ビツクリシテカケ出スナリ、余ガ知リタル人ニ、ヒツカケル馬ヲノリシヅメタル  
人アリ、コレハ那智ノ法ナリ、扱其人彼馬ニノリテ出ル、車ガキテモカケ出ス、轡ガヒラ／＼シテモ  
カケ出ス、風ガフキテ木ノ葉ガナリテモカケ出ス、是一錢ニモウレヌ馬ナリ、ソノ馬ニノリテ、カネ  
テカクゴヲキワメ、腹ナドヲ布ニテシツカリマキテノル、扱馬例ノ通りカケ出ス、其人イヨ／＼オン  
テカケサスナリ、アチラヘカケ、コチラヘカケ、四方十方ヘカケマワル、其人ケツシテトメヌナリ、  
イヨ／＼カケサス、終日カケテ／＼カケクダビレタリ、遠馬ナドヲスレバ、息アヒイデ、タオレ死ス  
ベケレドモ、遠馬ハ馬ガツトメテアルクナリ、コノカケ出ス馬ハ病ナリ、息アヒモ何モ出ヌナリ、ヤ  
タラニカケル、カケリマワリテ馬ノ心ヨワリテモ、上デハ頻リニカケサスユヘニ、後ニハ馬ヨワリテ、

グナリトシタリ、其時ニハ木ノ葉ガナリテモ、轆ガビラ／＼シテモ、車ニ逢フテモ、一向ニ驚カヌナリ、コレ心ヨワリタルユヘニ、心ニマカサレヌナリ、スレバ心ヲヨワラスヨリ、此天罰ノ免レヨフハナキナリ、六極トモニ皆心ノデキヨフガ氣儘ニデキタルナリ、氣儘ニデキタルハ、天カラノ罰セラルニテアルベシ、凡ソ天ヨリ心ヲ賜ル時ニ、天地ノ間ノ氣ニ感ジテ氣ヲウクルモノナレバ、萬人ガ萬人似ヨリタル性ナレドモ、少ヅ、チガヒアルハ、氣ノ感ズルコロ萬人萬様ナレバナリ、ユヘニムマレツキテ勇ナル人アリ、ムマレツキテ臆病ナル人アリ、勇ニスグルモ天罰ナリ、怯ニスグルモ天罰ナリ、皆過・不及ナリ、過ルヲバ下ノ方ヘサゲルヨフニ、不足ナルハ上ノ方ヘアゲルヨフニスルガ、天ヘ詫ヲスルナリ、勇者ハ怯ノコトガナラヌハ、怯者ノ勇ノコトノナラヌト同ジコトナリ、唯己レガ心ガツヨフテ、己レガイフコトヲキカヌナリ、辯者ハ默スルコトナラズ、不辯者ハ辯ズルコトナラズ、ナラヌ理ハナキコトナリ、心ガツヨフテヘシマゲラレスナリ、ユヘニアラ業ガヨキトイフナリ、何ゾ心ノイヤガル、心ノコマルコトヲシテ、心ヲヤワラカニスベキコトナリ

洪範談卷之下終

海保儀平書





## 海保儀平書並或問

經濟ノ事ハ大ニシテ、且多ク且廣ク且精ク且詳ナル者ナレバ、百萬卷記録シテモ盡ヌコトナレドモ、其本源ノ一體心ノ据エ處、右ヶ條ノ紀綱ヲ知リテ迷ハヌ様ニ、心靜ニナリテ後ニ手ヲ下ス事也、唯今迄書述タル記談ハ、凡ソノアタリサハリヲ除キテ、誰ガ見テモ苦シカラヌ様ニ、御國ノ御制禁ヲ堅ク守リテ、一言ニテモ御政ノ非ヲ舉ヌ様ニ書タル故、文書モバツトシテ親切ナリ難シ、今度一向ニ當リ障リ除クニ及バズ、鶴ガ罪ニハ決シテスマジト、足下ノ請ガヒ故ニ、御政ノウハサニモ及ビシ所アル也、ソレトモニモ餘リニ不敬ニ聞ユル所アラバ、削リテ後ニ高貴ノ御方ヘ御覽ニ入ベキ也

天下ヲ治ムル仕方ト一國ヲ治ル仕方トハ、骨組ハ同ジコトナレドモ、肉色ハ大ニ違フコト也、骨組トハ其意也、肉色トハ其仕業ナリ、國ヲ世話スル仕業ニテ天下ヲ世話スレバ、天下ハ必定亂ル、也、天下ノ世話ノ仕業ニテ國ノ世話ヲヤケバ、國ハ必定亡ブル也、故ニ第一ニ此別レヲ知ルベシ、今符牒ノ言バニ天下ノコトヲ王トイヒ、國ノコトヲ覇ト云也、此王覇ノ差別トイフ證據ヲイフベシ、王トハ外ノ無キ名也、天下丸持ユエ鄰國ト云者ナシ、法度觸ヲ出セバ天下中ノ惣法度也、諸東國ノ金銀ガ西國ヘ行キテモ、天下丸持ナレバヤハリ此方ノ金銀ナリ、故ニ世界ヲ花美ニシヤウト質素ニ仕様ト、此方ノ

手ニアル也、金銀ノ流通スルハ巾着ノ金ヲ鼻紙袋ヘ移ス様ナル物ナレバ、氣ニカクルニ及バズ、故ニ王道ハ易々タリト古ヘヨリイフ也、唯廣大ナル故ニ急ニハ行カス也、故ニ孟子ニモ仁者ハ天下ヲ保チ、智者ハ其國ヲ保ツト云フ、王道ハオチ付ハラヒテ、氣ノ長イ親仁ノスル役目也、覇トハ外ノ有ル名ナリ、鄰國四方ニ引續キテ居ル也、法度ヲ出シテモ隣國ヘハ觸ラレヌユエ一國ギリ也、我國ノ金銀他國ヘ行ケバ此方ノ用ハタラヌ也、故ニ世界ノ風俗ノ此方ノ自由ニナラヌ而已ナラズ、此方ノ風俗モ此方ノ自由ニナラヌナリ、此方ノ金モ他國ヘ行ケバ、此方ノ金モ此方ノ自由ニナラヌ也、故ニ霸道ハ智者ノ役也、落付タル親父ノ役目ニアラズ、流行ヲ己レガ國ヨリ出サズニ、他人ノ出セル流行ヘ合セテ行ネバナラヌユエ、餘程スルドキ男ノ才氣ノ雖ノ末ノ様ニ、イラ／＼スル程輝ヤク男デナケレバナラヌ役目ナリト知ルベシ、此方様ハ三箇國ノ國主大名ナリ、御世話ハ天下ヲ丸持ニシテ居ル人ノスルコト也、何遍御觸ナサレテモ、流行ニ違ヒタル觸ハトント役ニタ、ヌナリ、隣國ハ美衣食ニテモ、當御領計麁衣食ニセイト云フハ行ハレヌ御令ナリト思フベシ、天下ニ一統麁衣食ヲスルコトハ出來ル也、當御領計麁衣食ニスルコトハ出來ヌコト也、流行ヲ此方ヨリ出ス事ナラズ、他人ノ出セル流行ヘ後レヌ様ニ付ネバナラヌ證據ナリ、御領分ハ三ヶ國切也、三ヶ國ノ外ヘ出タル金銀ハ此方ノ金銀ニアラズ、然ラバ出スマイトイフテ御參勤ヲ御止メナサルカ、江戸ノ御出張ヲ御引キナサルカ、ナサラズバ他國ヘ金ノ出ルコト止マジ、是君上ノ上ニアラセラル、故ナラズヤ、君上ノ上ニアラセラル、ハ王者デナ

キ證據也、王道ノ定本チガフユエナラズヤ、所詮上ニ君上アリテハ王道ハ違フ筈也、王ハ上ナキ名也、今公方様ハ御名ハ諸侯ナレドモ、其實ハ王也、此方様ハ御名モ諸侯ナレバ、其實モ諸侯也、公方様ノ仕業ヲナサル、コト間違ノ第一也、其上ニ公方様ノ御役人ハ益稷ニテモナシ伊傳ニテモナシ、善キコトモアルベシ、惡キコトナシトモイハレマジ、左レドモ公方様ノ御役人ハ一體世ノ中ヲ一ト目ニ見テ居ルユエニ、見聞モ廣シ肝膽モ寬ヤカ也、大度ノ人ニ似タル風俗有、是ハ自然ト大小廣狹ノ違フ處アル故ナルベシ、一體ニ申シテ見レバ、當歳ノ兒ハ二尺計ノ衣ヲ着ル、十歳ノ兒ハ三尺ノ衣ヲキル、三十歳ノ人ハ四尺ノ衣ヲ着也、三十歳ニテ二尺ノ衣ヲ着人ヲ妖怪ト云ナリ、天下ノ政ヲ執ル人ト、三國ノ政ヲ御執リナサル、御方ト、十萬石ノ家老トハ、ケ様ニ違ハネバナラヌ理ナレバ、此方様ノ大夫様方ハ、江戸ノ大夫ニツマキテ度量モサゾ御廣大ナルコトナルベシ、左様ナケレバ大國ノ御政御アグミナサル、筈也、既ニ古ヘノ周ノ古法ニ、士ヲ舉ルニハ必ズ辟廬類宮ニテ弓ヲ射サセテ見ルコト也、ハレガマシキ處ヘ出テ、何共思ハズニ推シ肌ヲ脱ギテ弓ヲ射ル人ガ撰ニアタル人ナリ、兎角心ヲ養ヒテ心ヲユルヤカニ持ネバ周章テル也、アハテヌ法ハトイヘバ、何レカ國ヲ小サク見ル法也、己ガ國ヲ小サフ見ルコトヲ修ント思ハ、他國ヘ出テ兩三年モ他國人ニナルニシクハナシ、漁者ハ水ヲ見ズ、山家ノ子供ハ己レガ山ノ形ヲ知ラズ、一國ノ風俗ヲ知ラズ、己レガ國ヲ治メント思ヒテ己ガ國ノ風俗ヲ知ラスハ、己レガ癖ヲ知ヒデ、己ガ癖ヲ療セント思フト同ジコト也、癖ガ知レヌ理也、各國ノ風俗ハ各



國ノ癰也、イヅクノ國ニモアル也、ヨキ癰モアリ、惡キ癰モアル也、惡キ癰ヲ其ノ儘オケバ、國貧ニナルカ、國亂ル、カ、國亡ビルカナルベシ、恐ルベキコト也、唯己レノ癰ノ知レヌハ王道也、譬ヘバ鬚ヲ長フスルハ支那ノ癰也、鬚ヲ盡ク削ルハ我邦ノ癰ナリ、サレドモ今鬚長ケレバ初見ノ諸侯ヘ參上スルコトハ苦キナリ、支那ニテ鬚ヲ剃ルハ罪人也、髭ヲ剃リタル人貴人ノ前ニ出ルコトナラス理ナリ、若又加州一國支那ノ如ク鬚ヲ剃ルコトヲ禁ゼラレテ、鬚ヲ長フスルヲ敬トナサレタラバ、先公方ノ御法ニ違ヒテ直ニ御糺明アルベシ、故ニコソ矢張江戸ノ通り鬚ヲ剃ル様ニ仰セ付ラル、也、左スレバ江戸ノ流行ニ御違ヒナサレテ、一統ノ流行ハナサル、コト出來ズ、又ナサレテモ國ノ大損ニテ大衰微ニナルコトナリ、唯癰ヲ知ラサズ、又知ラヒデ濟ハ天下丸持王道ノコト也、天下ヲ丸メテ持タヌ霸道ノ人ハ、是非々々己レガ國ノ癰ヲ知ラネバナラヌコト也、是王霸ノ別レ大分段ノ所也

## 右 王 霸

然レバ霸道ノ急務ハ觸ノ出シ様ト、金銀ノ他國ヘ出テモ又ツレダゲ入りノ有ル様ニスルトニアリ、是ハ如何スレバ宜キト云フニ、簡法嚴刑ト云フコトヲ行ハルレバ、此二ツノ患サラリト解ル也、鶴久々逗留シテ見ルニ、此方様ノ仕方ハ此簡法嚴刑ノウラハラ也、言フテ見レバ煩法寛刑也、イカニモ簡ニスベキ所ガ煩ニテ、イカニモ嚴ニスベキ所ガ寛也、此ニテハ他國ノ金銀入ラス筈ナリ、流行ニ後ル、ハヅ也、簡トハ竹ノ節ノ間ノ遠キコトナリ、事ズクナト譯ス、嚴トハ和語ノ急度シタルト云處ヘ當ル、

寸分モ撓マスコト也、簡法トハ民ノ情ノ守ラレスコトヲバ守ラサスコト也、誰ニテモ守ラル、コトヲ守ラス也、誰ニテモ守ラル、コトヲ守ラス人ヲ急度刑スルト云コト也、嚴法トハ當リマヘノ刑ヨリモ重クスルコト也、當リマヘノ刑トイフモ、舊來此方ノ掟ノ定メ様ナレドモ、言フテ見レバ江戸杯ニテハ死刑相當ノ人ヲバ、死罪一等ヲ減ジテ流罪ニ處セラル、コト古例也、是ハ一體天下ハ京都ノ御料理ナルベキヲ江戸ニテ自由ニナサル、ト云フ、京都ヘ對セラレテノ御會釋ト承ハレリ、是法一時民ノ心ヲ得ルニハ宜キ法ナレドモ、畢竟ハ權謀ニテ長久ニ行フベキ法ニアラズ、大ニ不仁ナルコト也、其證據ヲ言フベシ、江戸ニテハ巾着切ト云フ者アリ、晝ノ盜モ是ニ同ジ様ニテ、夜盜トハ格別輕キコト也、巾着切ハ巾着ノ中ニ五十兩アレバ五十兩ノ盜也、サレドモ刑ハ唯減ジテ黥也、晝ノ盜人ハ人ノ家ヘ入リテ、三十兩盜メバ三十兩ノ盜人ナリ、サレドモ刑ハ唯減ジテ叩キ放シ也、夜盜ハ人ノ家ヘ入リテ、唯十兩盜メバ十兩ノ盜人ナリ、サレドモ減ゼラレテモ死刑也、巾着切ノ心中ニ思フニハ、百度切リテ一度捕ヘラル、捕ヘラレタル處ガ黥也トイフテ秤目ニ掛ケテ見タル處ガ、得ルコトハ多クテ痛キコトハ少ナケレバ、愚民ハ一體ノ天理ヲウチ忘レテ居ルモノ故ニ、巾着切ハ德ナルモノナリト、澤山ニ盜ミテ唯黥也トテ止メス也、是民ニ巾着切ヲ勸ムル様ナルモノニ非ズヤ、民ニ罪ヲ侵ス様ニ教ヘテ、ソレヲ捕ヘテ刑スル故ニ不仁ト云フ也、嚴法トハ減ズルコトナキ也、又一體罪ヲ減ズルトイフコト解セヌコトナリ、罪ヲ減ズルトハ己レト己レガ法ヲ曲ルコトナルベシ、マガラスユエニ法ト云也、曲テ

ハ法ニテハ無シ、嚴刑ナレバ黥ヲ死刑ニ處スルコト也、巾着切ヲ死刑ニ處セラルレバ、巾着切思フニハ、巾着グラヒヲ切リテ殺サレテハ、得ルコト少フシテ痛キコト多シ、是ハ損ナルコト也トテ止ムベシ、故ニ輕キ罪ヲ重ク刑スルハ仁政也、重キ罪ヲ輕クスルハ暴政也ト知ルベシ、故ニ法ヲ簡ニ立テ、置ネバ嚴ニナラヌナリ、唯今當府ノ御法ヲ聞クニ甚ケ條多シ、人情ノ守ラレスコトマデ御制禁也、譬バ遊女ヲ禁ゼフレズニ、遊女ヲ買フ人ヲ禁ゼラル、出合茶屋ヲスル人ヲ禁ゼラレズニ出合茶屋ヘユク人ヲ禁ゼラル、是ハ片手打ノ仕方也、遊女ガアレバ若キ者ハ買ハネバタヘラレスガ人情也、出合茶屋ガアレバ出合ハネバコラヘラレスガ人情也、如此人ノ止ムコトヲ得ヌ處ヲ禁ズルコトハ宜シカラザルコト也、江戸ニハ御免ノ遊女アリ、買フ人罪ナシ、品川・新宿・板橋杯ニハ食盛女ト云フヲ免サル、買フ人罪ナシ、深川以下ノ隱シ賣女ハ罪也、禁ナリ、サレドモ賣女屋ノ者共計居宅召上ラレテ百日手鎖也、買フ人罪ナシ、買フ人ハ賣リ人アル故買フ也、賣人ガ御仕置ニ漏レタルハ公儀ノ御令行届カス也、此府内ノ出合茶屋モ女ガ金ヲ取ラネバ、男モ姦淫ナレバ罪無シトモイハレス也、女ガ金ヲ取リテ賣ルハ淫ヲ鬻グナリ、鬻グ者ヲ買フハ罪ニテハナシト江戸ニテハシタルモノ也、女ガ淫ヲ鬻グハ禁也、鬻淫ヲ買フハ禁ゼズ、是等杯モ江戸ハ簡法ニテ、御府内ハ煩法也、扱如<sup>レ</sup>斯守リ難キ法ユエニ犯ス人多シ、法ヲ犯ス人ヲ一々執ヘテ見タラバ、御府内ハ執ヘラレヌ人一人モアルベカラズ、故ニ見ノガス理ニナル也、見ノガスハ己ガ法ヲ己ガ曲テ見スルコト、甚惡キコトナレドモ、其病根ハ煩法ヨリ始マル也、

何故ニテケ様ニ煩法ニナルゾトイフニ、御先代様御令御流レニナラス故也、江戸ニテハ御先代様ノ御令盡ク流レ、當御代ノ御命令ガ眞ノ御命令也トシタルモノ也、故ニ今權現様・台徳院様・大猷院様杯之御墨付杯ヲ持出テモ、御取上ゲナキコト也、其御代ニ當リテ其御代ノ御墨付ヲ持出タル者ニハ、御墨付ノ通りニ仰セ付ラルベシ、御先代ノ御墨付ハ當御代ニテハ御取上ゲナシト被ニ仰出事例也、此方様ハ御先代ノ號令モ、當御代ノ御令モ、皆御一同ニナサレテ置ル、故ニ煩法ニナル筈也、此通りニテハ一年々々ニ煩法ニナル理也、既ニ御國禁ニ御家中之二三男御奉公モセス者モ他國へ御出シナサラヌコト也、町在共ニ他國へ出ルコト禁也、罪人追放ナドニナリタル者モ他國へ出サレズ、是ハズツト最初軍陣中ノ御令ナリ、陣中ニテハ味方ノ密謀敵へ知レテハナラスコト故ニ、國中ノ人ハ一軍ノ人也、一軍ノ人他國へ出ルハ、何レノ軍法ニテモ禁制也、只今ハ太平ノ御代ニテ、軍陣ノ沙汰一向ナシ、如レ此民ヲ他國へ御出シナサラヌ故ニ、何ノ御用ニモ立ヌ者並居テ此國ヲ喰ヘラスナリ、扨人ノ朝寢ヲシテ大食ヲシテ淫亂憚忘ナルハ皆用事ナク閑暇ニテ、身ノ持チ様日ノ暮シ様無ヨリ始ル也、喰ツブシ多ケレバ、國富シタクテモ富マレヌ也、然レバ軍中ト平世トノ別レヌ、イツ頃ヲ以テ何ヲ證據ニ法ヲ替ル事ゾヤト云ヘバ、鶴ハ羈旅ノコトユエニ詳カニハ知ラネ共、承レバ金澤ノ御堀ハ昔ハ深ク大キニ有リタレドモ、關東ヨリ御堀ヲバモハヤ御埋ナサルベキ由仰セ進ゼラレタリトイフコトアリ、外ニモサヅ其時節アルベケレドモ、先此節杯甚ヨキ時節也、御堀ヲ御埋ナサルベシトセラレタルハ、矢張關東ノ



御疑ヲ御ハラシナサルベシト云フ事也、如レ此關東ヨリハ御疑ナサラヌ仕掛ヲ仰セ進ゼラル、ニ、此方様ニテハヤハリ軍陣中ノ法密謀ノ外ヘ泄レヌ法ヲ御替ナサラヌハ、ナント流行ニオクレタルコトニテハナキヤ、先達マ公儀ノ御役人越中ヨリ能州ヘ越ストキニ、路ノ無キ山ヲ通行スル程ニ、案内致ス様ニト十村ヘ申談ゼラル、十村モ路モ無キ所ユエ御無用也トイヘドモ、御役人は非々々其路案内致セト云、此十村ハ才物ユエ、一體ハ公邊ノ御役人ノ常ノ通路ニ違ヒタル處ヲ案内スルコト故、一應ハ金澤ヘ伺フベキ筈ナレドモ、御役人モ急ギテ申談ゼラル、又何カ隠スコトモ有様ニ見エテ、却テ御爲ニヨロシカラズトテ御奉行申談ジ、存ジ切りテ路モナキ處ヲ案内セント語レリ、十村ノ論甚宜シ、何カ公儀ノ御役人ニ見セテハナラヌト云様ナコトアレバ、又關東ノ御疑ヲ引出ストイフモノ也、又唯今ハ何モ隱疑アラフ筈ナシ、ズツト明發シテ見セタキガ此方様ノ御心中ナルベキニ、何カ軍中ノ法ヲ此治世ニ御用ヒナサレ、大勢ノ人々ヲ喰ハセテ置、又關東ニモ何カアヤシク思召ルベシ、是兩様ノ大損トイフベキモノハ、此法ノ流レヌ也、彼是引合セテ見レバ、御先祖様ヨリ御先代様ノ御法令ハサツバリト御流シニ相成候旨ヲ御下知アルベキ也、是モ例モナキコトナレバ、此方様ノ新令ト云フ物ナレドモ、既ニ今江戸表ニテ此御定立置ルレバ、御先々様ヘ對サレテモ、天下ヘ聞ヘテモ至極宜キコト也、如レ此ナレバ思フマ、ニ簡法ニナルベシ、以來ハ人情ノ出來ニクキコトラ御制禁御法度ニナサラスコトナリ、至極出來ヤスキコトラセイトイヒ、誰ニテモ出來ルコトラ御法ニ定ムル也、御先代様迄ノ御令御流レトイ

フモノナレバ、自由自在ニ今ノ流行ニ合セテ行クコトナルトイフ者也、是ヲ簡法ト云也、嚴刑ハ法簡  
デサヘアレバ出來ルコト也、人情ニ合セテ守ラル、コトヲ守レト云フニ、守ラスハ下ノ人ノ罪ナレバ、  
急度御約束ノ通りニ寸分モ撓メズニ刑スル也、孔子ノ語ニモ兵モ棄ラレスコトハ無イ、食モ棄ラレス  
コトハ無イ、信ハ棄フレヌ也トイヘリ、信トハ此嚴刑ノコト也、ケ様ノ罪ヲ犯セバケ様ノ刑ニ處セラ  
ル、ト仰出サレテ有ナガラ、其罪ヲ犯スニ其刑ニ處セラレスハ不信也、不信アレバ民疑ヒテ何モカモ  
疑フ、是法ノ無キモ同前也、法ノ無キハ又始ヨリ法ナシトイフモノユエニ、却テ民侮ラヒデ宜キ也、  
法ヲ立ナガラ其法ヲ行ハヌハ民ノ侮ル第一也、下々ニテ上ヲ侮リテハ、何事モ行ハレス也ト云ベシ、  
先第一ニ下々ニテ上ヲ信ズルコト宜シ、孔子ハ兵ヲ棄レバ鄰敵ノ防ギ様ガ無キモ隨分知レテアルコト  
ナレドモ、此三ツノモノ、中ニテマダ棄レバ兵也、アトノ二ツノ中デハマダ食ヲ棄レバ棄ル也、食ヲ  
棄レバ民飢死ネドモ、信カラ見レバ餓死ハアリテモ苦カラズ、信ヲ棄テハ何モカモ手ガツケラレスト  
イハレシ也、既ニ孔子魯國ノ大司寇トナラレタレバ、下々ノ民道路ニ落タル物ヲ拾ハヌ風ニナレリト云  
ヘリ、大司寇トハ此方様ノ公事場奉行也、罪人ヲ刑スル役目也、孔子ハ聖人也、サレドモ大司寇ニナ  
ラネバ民ヲ廉恥ニスルコト出來ズト見ユ、今ハ民ヲ刑セズニ孝悌忠信ニセント思フコト世上一統ノ風  
也、若モ民ヲ刑セズニ孝悌忠信ニナルナラバ、孔子ハ大司寇ニナラズニ民ノ風ガナホリサウナモノナ  
レドモ、刑セネバ刑ヲ止ルコトナラズ、刑セネバ民ノ風ハナホラス也、聖人サヘモ民ヲ刑シテ民ノ風

ヲナホサル、コト也、今聖人ノ才ナクテ、刑セズニ民ノ風ヲナホサントスルハ、蚊ニ富士山ヲ背負ハ  
スル様ナ者也、骨ヲ折テモ出來スコトト知ベシ、是ヲ嚴刑ト云也、嚴刑ハ先簡法ヨリ始ムベシ、煩法  
ニテ嚴刑ナレバ、民モ手足ヲ置處ナキ也、嚴刑トイヘバ世上ニテハ恩ノナキコトト覺ヘテ居ルハ即ウ  
ラハラ也、嚴刑ホド恩デアルコトナシ、嚴刑ナレバ民惡事ヲセヌ也、上ノ自由ニナル也、民ガ上ノ自  
由ニナリテ、惡事ヲセヌガ恩ノナキコトトイフ論ガ一向聞ヘヌ論ナリ、其上法ト云字ハ水ヲモルト云  
字也、平ラカニテ一分モ出入ノナキ様ニセント思ハ、水ヲモリテ見ルコト也、然レバ一分モ出入ナ  
キ様ニ眞平ニスルト云字也、今罪アル人ヲ刑セヌハ水ヲモラス也、水ヲモルト云字ヲ水ヲモラス處ヘ  
ツカフトイフハ何ノコトゾヤ、唯聖人ノ民ヲ愛スルハ、親ノ子ヲ愛スル如クニ愛スル也、親ノ心ニテ  
ハ子ノ刑ニ逢ヌ様ニ惡事ヲセヌ様ニト思フコト親ノ心ナルベシ、故ニ子ヲ仕込トキニハ繩デレバリ上  
ル、鞭デウツ、憎キユエニシバリウツニテハナシ、愛スル故ニ縛リ打也、民ヲ愛スル人ハ民ヲ刑スル、  
憎ミテ刑スルニテハナシ、愛スルユエニ刑スル也、子ヲ愛スルコトノ上手ナル人ハ、子ノ惡事ノ至テ  
少々ナルトキ辛キ目ニ逢スル也、小惡ノ時ニ辛キ目ニ逢フ故ニ、惡事増長セヌ也、民ヲ愛スルコトノ  
上手ナル人ハ、民ノ惡ノ小ナルトキニ辛キ目ニ逢スル也、故ニ民ニ大惡ナシ、嚴刑ノ恩ノ厚キコト此  
通り也、子供モ民モ智ノナキモノ也、智アレバ刑ヲ用ユルニ及バネドモ、智ナキモノ故ニコソ折檻ヲ  
ナシ刑罰ヲ爲ス也、今十歳以下ノ子供ヲ祐筆ニセントイフハ無理ナルコト也、唯手習ヲセネバシバル

答ウツトイフ仕方ナシ、子供ハ智ノナキ者ユエ也、生長ノ上デハ手習セヌ時ニシバリテクレタル人ノ  
恩忘レラレス也、若其時ニ捨テ置レタラバ、今ニ至リテサゾ、苦キコトナルベシト思ノ也、民ヲ孝  
悌忠信ニセントイフハ無理ナルコト也、唯上ノ令ニ従ハヌ人ヲ刑スルト云ヨリ外仕方ナシ、民ハ智ノ  
無キ者故也、民無難ニ隱居スル時ニ當リテ、人ノ刑セラル、ヲ見テ慎ミタレバコソ、刑ヲ免シタリト  
云フ日ニハ、刑セシ人ノ恩イカ計ゾヤ、刑ハ刑ヲ止ムル道具也トイフヲ知リタラバ、刑ノ仁ナルコト  
ヲ知ルベシ、脩霸道ノ急務觸ノ出シ方アラマシ如斯、今一品ハ金銀他國へ出テモ、ソレダケ入リノ有  
ル様ニスル也トイフハ、凡ソ經濟ノ第一ハ出金ト入金トヲツキ合セテ見テ知事也、鶴承ルニ、諸大名  
共ニ國用ノ半バ江戸入用ナルモノ也ト江戸ニテモ云フコト也、御屋敷ノ御普請ヨリ參勤御在府中ノ費  
用、献上御配リ被下物、御出入扶持、聖堂ノ費用、彼是ニテハ十萬兩ニテハ足マシ、此方様ニハ御三  
家様御同様ノ事ユエ、御手傳等ノ御用ナキユエニ、諸家様ヨリ見レバ御入用少カルベシ、左レドモ一  
體大猷院様ノ思召ニハ、大名富ンデ居レバ異存ヲ貯フルコトモ有ベシト御思惟ナサレテ、大名ノ貧ニ  
ナル仕掛ヲナサレタルモノ也ト承ル、此御計策モ權謀ニテ久遠ニ行フベキニアラズ、唯今ハ諸家共ニ  
昔御勝手御不如意ナレバ、中々亂ヲ起ス扨ト云フ用意金ハナキ也、サレドモユルムレバ大名富ム、富メ  
バ又知ルベカラザルコトユエ、ユルメラレモセヌ也、唯貧ニ困シマセテサヘオケバ氣遣ハナキコト也、  
江戸ニテハ諸大名ノ武備ノユルムガ御計策ナルベシ、新大名ヲ見ルニ、盡ク武備弛ミテ太平ノスガタ



也、左レバ此方樣へモサヅ、御手傳ヲ云付タカルベシ、御國ノコト他へ泄レス様ニナサルレバ、實ニ御不如意カ否ヤ知レストイフモノ也、此上ニ若御手傳來ラバ、一年二十萬兩ニテモ不足ナルベシ、丁ド半分程ハ江戸へ入ル理ナリ、故ニ今治國富國ノ上手ナル國ニテハ、半分江戸へ出シテモ又用意シテ置也、細川・鍋島・安藝・萩ヨリ以下半分江戸へ費テモ矢張富ムナリ、其仕掛ハト云へバ、先代ノ命令盡ク流ルレバ也、細川侯ナドハ五ヶ年ノ内一萬石ノ格ニテ勤メラレシ也、一萬石ノ格デ勤ムレバ金ガ餘ルトイフワケニアラズ、先代ノ命令ヲ盡ク流ス工夫也、五十萬石ノ大名ノ一萬石ノ格トイフ規アラフ筈ナシ、先代ノ命令ヲサラリト流スノ仕方故ニ、如レ斯ノ願申立ラレシ也、公儀ニテモ外ノ事ト違ヒテ、ソレハナラストイハレヌコト故ニ、願ノ通り仰セ蒙リテ國ノ目鼻クワラリト取替ラレテ後ニ、今ノ如ク富ムコトニナレリ、承レバ此方樣ニテハ年々八萬石トヤラ、十萬石トヤラ大坂へ御廻米アル由、至テ少ナキコトナリ、金ニ積リタラバ此節ハ三萬兩ニモ充ツマジ、十五六萬兩モ年々江戸へ出テ、三萬兩ニ足ラス金大坂ヨリ入ル、其上ニ大坂へノ被下利足・御出入扶持・銀主振舞・京都進獻・御用達以上京大津ノ御邸ノ御費用、大坂御廻米グラヒハ、京大坂ノ費用ニモ足マジ、扱有御金トイフハ御先祖様ヨリ積置ル、金也、此方樣ハ名高キ程ニ有金アリテ、天下ニテモ九億八千貫トヤラ申傳フ也、有金トイフ物ハ借シ付テフヤセバヘラヌモノナレドモ、大名ノ有金ハ藏へ積テ置キ、土用干ヲシテハ又積テ置ク、一向ニフヘルコト無キ物也、フヘズ二年々ヘルユエ、イツカ一度ハ皆盡ル理也、皆盡レ

バ大坂へ出テ借入ル、是ハ又唯借ス銀主ナシ、利足ヲ多ク取テ借ス、左スレバ出金ハ年々ニフヘル理ナリ、是入金ナクテ叶ハヌ證據也、鶴大坂ニ三年住居セシニ、立米ト云物アリ、立米トハ一番ニ宜キ米ト定メテ、コノ米ヲ立テニ取リテ外々ノ米ノ位ヲ付ルコト也、立米ハ肥後ニツバキテ安藝・肥前也、肥前ハ鍋島侯也、此肥後・肥前・安藝ノ米ノ出ルコトスサマジキ也、大方國ニ出來ルダケハ皆大坂へ廻スト見ユル也、扱各國共ニ四五月ヨリ入津ト云コトヲ始メテ他國ノ米ヲ買フ也、國ニモスサマジクアルユエニ直段下直也、他國ノ安米ヲスサマジク安相場ニ買占テ、己レガ米ヲ大坂へ廻ス也、扱右ノ富國ニハ己レガ米ヲ高フ賣テ、人ノ米ヲ安フ買フ法ヲスルナリ、加州米ト云ハ殊ノ外惡キ米ニテ、口へ入レハグシヤ／＼シテ一向膏ノナキ米ニテ甚惡キ米也、鶴杯モ加州ハ善米ハ出來ヌ處ニテ、惡キ米計リ出ル所ナリト心得テ居リシ也、御當地へ來リテ見レバ、天下第一ノ膏地ニテ美梁也、コレハ惡キ米ヲ大坂へ廻シテ能米ヲ喰ツプス法也、鶴去年越後ニ居リテ越後ノ米ヲ賣サバクヲ見レバ、一體書ニテモ讀ム者ハ少シハ身分本ノ宜キ人共ナレバ、越後ニテモ鶴ガ門人ハ多クハ大庄屋也、コレハ皆米ヲ賣捌ノ役目ナリ、既ニ越後ノ加治ト云所ハ、柳澤某守トテ一萬石ノ大名ナリ、此加治ト云フ所ハ相應ニ豪富ノ人モ居ル處也、加治侯ノ陣屋ハ三日市トイフ所ニアリ、井栗村ト云處ニ松川某ト云庄屋アリ、井栗ニ屬シタル村三千石アリ、此三千石ヲ賣捌ニハヤハリ新潟也、凡越後ノ大名ハ皆新潟ニテ米ヲサバク也、新潟へハ大坂ヨリ船入津シ、極々ヤス直ニ米ヲ買ツテ大坂へ歸ル也、井栗ノ三千石ハ漸五六

百兩ニ賣也、何卒加州越中ノ内へ廻シテ、金ヲ才角シテ年々三千石ヅ、送タシト鶴ニ相談セリ、扱御當地へ來リテ見レバ、出津入津共ニ御制禁アリテ六ヶ敷也、左レドモ今加州米ノ善米ヲ大坂へ不レ殘廻シテ、越後ノ米ヲ御カヒナサレバ、貳十萬石三十萬石ハ忽チ出テクルコト也、直段ハ金澤ノ半分位ナルベシ、米モアシカラス米也、扱肥後以下ノ富國ニテハ、湊ヲ大サフニ繁華ニ仕掛也、長州ノ下ノ關・藝ノ宮島ナドハ京・浪華ニモマケヌ繁華ト承ル、如レ此ニギヤカデナケレバ、船入込デモ早フ返ルナリ、國ヲ富スト云ハ他國ノ金ヲ吸取ルコト也、ユエニ船一艘モ多入ル様ニ、一日モ長フ逗留スル様ニト働クコトナリ、新潟ハ牧野長岡侯ノ領分、海濱ノ沙原ニテ米モ何モ出來ヌ處也、唯信濃川落口ナレバ、諸方ヨリ米ヲ出スニ勝手宜キ故ニ都會ヲナセリ、戶數一萬遊女三千人アリ、多門通リト云處問屋町ニテ、諸方ヨリノ賣手買手相談ヲスル家百七八十モ有ベシ、長岡侯年々御用仰付ラル、ニ支ユルコトナシ、年々二三千兩ヅ、唯出ス也、ソレ程ノ繁華也、其代リニ一湊丸デ遊所也、芝居引モキラズニ來ル也、角力・見セ物・輕ワザノ類ハ新潟ヨリ呼ニヤル也、繁華ニセネバ入津ナキユエ也、長岡七萬石也、七萬石ノ人ノ海濱沙地ノ棄土サヘ如レ此スルコトナレバ、此方様ノ海濱ニテ始ムレバ、北國ノ金ハ不レ殘吸ヘルナリ、殊ニ大坂ヨリハ買ニ新潟へ來ル、此方ニテ始ムレバ越後ヨリ船ニ積ミテ賣ニ來ル、出入ノ違ヒ也、大坂ヨリ買ニ來テマダ利分アレバ、此方ニ座シ居テ買フ其利計リガタキ程有ベシ、今津入津出ノ御禁止有テ、他國ノ金ヲ吸取ルトイフハ不入柄ノ權變ノ謀計也トテ、他國ノ金ヲ吸ハズトイフハ、ナル程



善キ人柄也、サレドモ外々ノ國デ他國ノ金ヲ吸フ仕掛ヲスルニ、此方様バカリ人柄ヲ善フナサルレバ、此國ノ金盡ク他國ヘ吸取ラル、ニチガヒナシ、是ヲ霸ノ國ニ居テ王道ヲスルト云フ也、天下ヲ持テト一國切トハ大ニ違フ事如<sub>レ</sub>是、是法令ヲ簡ニ作リカヘネバ出來ヌコトユエ、富國ハ簡法ヨリ起ルトイフ也

右簡法嚴刑

出津ニ禁法アレバ民懶ニナル也、懶ハ働カス也、ブラリトシテノソリ／＼ト喰ツブス也、入津ヲ禁ゼラルレバ、民他國ヘ出テ金ヲ遣フ也、大勢ノ民皆懶ニナリテ他國ヘ出テ金ヲ遣フテ、上ニハ出金二十萬兩アリテ、入金十萬兩ニ足ラヒデ、是デ段々富ムト云コトハ古今決シテ聞カヌコト也、サテ出津ヲ禁ゼラル、御主意ヲ考ルニ、國ノ出產ヘリテ少ナフナルユエニ下々ノ人大ニ困シム、故ニ出津ヲ禁ゼラル、コトト承ル、是モ片ツリナル御制法也、士大夫ハ智ニテ衣食ヲ得ル、下民ハ力ニテ衣食ヲ得ルコト古法也、士大夫ハ智ノ輕重ニヨリテ祿位ヲ取ルコトユエ、智ヲバ惜ゲモナウ出シテ思惟考スル也、下民ハ力ニテ利潤ヲ得ルコトユエ、力ヲバ惜ゲモナウ出シテ働ク也、此智ト力トハ空法ナレバ、金銀ト違ヒテ出セバヘルトイフコトナキモノ也、ツカハネバ耗リテ、ツカヘバフヘルモノハ智ト力ト也、人ハ人一日食五合也、人ハ是非喰フユエニ、是非五合ヅ、ハヘル也、力ハ出セバ一日ニ二匁モ三匁モ取レル也、出サネバ一文モ取レス也、唯民ハ愚ナルモノ故ニ、ノラリト懷口手シテ喰テ居リタガル也、マダ／＼五合ヅ、喰ハネバ、餓死スル故ニ、止ムコトヲ得ズニ働ク也、如シ喰ハヒデモ餓死セズバ、



働ク民ハ決シテ一人モアルマジキ也、サレバ食物器用ニ不足ナケレバ民ハ働カヌ理也、食物器用不自由ニナケレバ民ハ出精セヌ理ナリ、僭民働カネバ食物器用國中ニ少ナフナル理也、民働ケバ食物器用ハ國中ニ多クナル理也、今多ケレバ民働カヌユエニ、津出ヲセネバ國貧ニナル也、津出ヲ禁ズルハワザ／＼ト食物器用ヲ少ナフスル也、食物器用多キガ少ナフナラネバ、他國ノ金ガ入ラヌ理ナリ、他國ノ金ガ入ラネバ、上ノ御身上惡フナル也、上ノ財用不足ナレバ、下ヲ削ルヨリ外仕方ナシ、民ヲ削ルハ不仁也、民ヲ責テ働カスハ仁政也、津出ヲスルハ仁政也、上ノ御身上ヲ宜フスルハ仁政也、是出津ヲ禁ゼラルレバ、民懶ニナリテ國貧ニナル、是不仁ノ行ル、根本ト云フモノニ非ズヤ、扱入津ヲ禁ゼラルレバ、民他國へ出テ金ヲ遣フトイフハ、此國中ニ遊山所、面白キ場所、慰ミ所ナキユエニ、他國へ出ルヲ樂ミニ思フテ居ル也、今金澤ノ人ガ放生津へ行テ生魚ヲ喰ヘバ、狂氣ノ如クニナリテ旨ガルトイフコトハ聞カヌコト也、宇宙天ニナリテ面白ガルト云フコトモ聞カヌコト也、ナゼナレバ金澤ニモ放生津ニマケヌ生魚アル故也、飛驒ノ者ガ放生津へ來リテ生魚ヲ喰ヘバ、狂氣ノ如クニ旨ガル也、宇宙天ニナリ何モカモ忘レテ奇異ノ思ヒヲナス也、飛驒ニハ生魚ナキ故也、今入津ヲ禁ゼラル、故ニ、國中ニ面白キ場所ナシ、場處ノナキ陰氣至極ノ國ノ人京・大坂・江戸ノ陽氣ノ場ヘユクハ、飛州ノ人ノ放生津へ來リタルニ何ニモ違ヒタルコトナキ也、入津始マレバ先只今ノ通り陰氣ニテモ船來ラヌナリ、京・大坂ノ人ガ來リテ逗留シテモ、退屈セヌ程デナケレバ入津繁昌セヌ也、殊ニ御當府ハ京・大坂

ヨリモ宜キ手都合也、京ハ魚肉ニ乏シ、大坂ハ知行所ニ乏シキ地也、町人ハ富タルモノナレドモ、武家ノ金ヲ取ヨリ富ル也、武家ハ貧ナレドモ、町家ニ取ラル、ユエ貧ナルナリ、ユニニ大坂ハ取ル計ニテ、取ラル、コト一向ニナシ、遠國ノ金ヲ取故、云テ見レバ賑ヤカナルトキモアリ、サビシキ時モ有也、京ハ公家。武家多ケレバ常ニ賑ヤカ也、常ニ賑ヤカナル所ヘハ人々常ニ行クモノ也、常ニハ賑ヤカナラネドモ、時ニヨリ賑ヤカナル所ハ常ニ賑ヤカナラズ、時有テニギヤカ也、偕第一ニ魚肉ニ富タレバ、此方ヘ來リテ喰フ而已ナラズ持テ歸ル也、是此方ノ民働キテ他國ノ金入ル理也、他國ノ金入ノミナラズ、此國ノ人自國ノ面白キ所ニテ面白ク遊ビテ居ル也、他國ヘ出ル人モ狂氣宇宙ニナル氣遣ヒナシ、是自然ト他國ヘ出テ金ヲ遣フコト止ベシ、故ニ出津ト入津ハ民ノ懶ニナラヌ法ト、自國ノ金ノヘラヌ法也トイフナリ、去年秋ヨリ冬マデ鰯夥シクトレテ、金澤ヘハ雨ノ如クニ賣ニ來ル、一體北海ノ鰯ハ膏殊之外ニ多シ、江戸ノ鰯ヲ十匹喰タルヨリ、金澤ノ鰯ヲ三匹喰タル方ハ腹ヘモタレテイツマデモオクビニ出ル様ニテ、顔モ手モ唯ヌラ／＼スル程膏強キ也、扱鰯ヲ擔ヒ棒ノシラルホドニカタゲテ賣アリク、夜分モ五ツ半四ツ時分迄賣アリク、其ヨリ栗ヶ崎・宮ノ腰ヘカヘル也、金澤ノ人喰ヒテモサシテ飯ヲクフニ不自由ナルコトモナケレドモ、餘リ安キ物ナリトテムダ喰ニ喰フ也、ムダ喰ノ錢ハ栗ヶ崎・宮ノ腰ヘ落レバ、他國ヘ出ルヨリハ増ナレドモ、ムダ喰ヲ止テモ苦キコトナケレバ、アノ鰯ヲ他國ヘ出シタル程ナラバ、四國九州ノ鰯ノ倍モ膏氣アレバ、直段モ高フ賣レルコトナルベシ、ナゼニ俵物

ニハセスコトゾ、夜分迄賣アリクハ餘ルユエナリ、國ノ寶ヲムダ喰ヒニスルハ天帝ノ恩召ニモ合スコト也ト鶴申セシニ、承レバ近年鰯ノ多ク取レタル年ニ、勝手次第ニ出津被ニ仰付ニタル由也、此年ニ干鰯不足ニテ百姓大ニ迷惑シタル由、其後鰯津出ヲ制セラル、ト云事也、鶴竊ニ考ルニ、是百姓ノ懶也、御政ノ惡キニアラズ、鰯多ク取レバ津出勝手次第ニ仰付ラル、コト尤千萬也、百姓トイフ者ハ己レガ田ヲ作リテ米ヲコシラユルガ己レガ業也、此鰯ノ津出シ有ヲウツカリヒヨント見テ居テ、コヤシ時節ニ至リテ鰯不足ナリト云テ騒グハ人情ニアラズ、是ハ愚ナルノ歟、巧智ナルノナルベシ、大愚ハ人情ニアハスモノ也、何レニモ人情ニアハズ、米ヲカシグニ譬レバ、鰯ハ薪也、薪ガナケレバ飯ハタケス也、薪ノ物置ニ薪一本アリテブラリトシテ居テ飯ヲ炊グ時節ニナリテ、騒グハ人情ニアラズ、大愚ニテ此ヘ氣ガ付ヌ歟、或ハ知リテ黙止居テ、主人ヲヒダルヒ目ニ合セテコマラスカノ二ツ也、百姓ノ干鰯ヲ買フハ代物上ヨリ出スベキニアラズ、地面ヲ御カシ下サル、内ニ干鰯ヲ買フ代物ハコモリテアル也、飯炊ノ給銀ノイカイコト取ラセテ、薪ヲモ飯炊ガ出シテ居ルトイフニ當也、己レガ出スベキ約束ノ薪ノキレルヲ黙止シテ見テ居リタラバ、此主人此飯炊ヲ暇ヲ出スモノカ、出サスモノカ、大愚ナラバ縛リテ咎ツテ痛クシテ叱リテ教ユベキコト也、犬猫ノ糞マワリノアシキニ異ナルコトナシ、咎タネバ愚獸ハ知ラス也、巧智ナラバ罪猶重カルベシ、刑ストイヘドモ可也、何レ人情デナキコトハ皆ウソ也、甚アシキコト也、上ヨリウソヲツカフニ、下ノウソヲ禁ゼネバ禁止セヌ也、故ニ法ヲ簡ニ立テ、



一向ニ法ノ通りニ、スコシモウソヲツカヌニスルヨリ早フ富ム法ヲナシ、法簡ナレバ法信也、法信ナレバ民信也、故ニ古人ノ語ニアシキ奉行ノ下ニ善キ人ハ随分アルコト也、善キ奉行ノ下ニ惡人ハ決シテ無トイヘリ、法信ナレバナリ、法信ナレバ民懶ナラズ、民懶ナラネバ食物器用多シ、他國ヘサツサツト出津スル也、出津多ケレバ民ニ賞ヲ澤山取ラセテモマダノ利也、民ヘ取ラスル賞ハ國中ヘ落ル也、他國ヨリ入金ハ少シニテモ利也、唯御先代様ノ御令御流レニナラヌユエ法ノケ條多シ、法ノケ條多キ故ニ法ノ通りニハナラスト云コトニナル、法ヲ上ヨリマゲルコトニナルユエ、民ガ上ノ自由ニナラヌ也、民ガ上ノ自由ニナラネバ、愚者ガ智者ノ自由ニナラヌナリ、大ダワケノ己レガ身ニアシキコトノ來ルヲ知ラヒデ、ウツカリヒヨントシテ居ルユエ、愚者ヲ自由ニシテ置ケバ國ヘアシキコト來ル筈也、如レ此大愚ナルユエニ民也、民ハ皆盡ク大愚ナルモノ也、石ノ少シ智ナルモノガ木也、木ノ少シ智ナルモノガ禽獸也、禽獸ト格別違ヒモナイ者ガ乞食ト智ヲクラブレバ勝トイフ者ガ水飲百姓ナリ、水飲百姓トハ己レガ田地ナシニ、人ノ田ヲ小作ニツクルモノヲ云ナリ、是ヨリ上ハ參差トシテ五分カ一寸ノ違ヒ也、山ノ民ハ思ヒヨラヌ得モノトイフ物ハナシ、利ノ薄キ形也、水ノ民ハ年中空ナル海中ニテ引上ル魚ナレバ、取レルカ取レヌカ知レヌコトヲシテ思ヒヨラヌ利多シ、左スレバ水ノ民富テ山ノ民マヅシタアルベキ筈也、茶道具屋ハ思ヒヨラヌ利多シ、紙屋・米屋・呉服屋ハ思ヒヨラヌ利ハナシ遊所牽頭ヨリ茶ノ師・俳諧ノ師・花ノ師ハ思ヒヨラヌ利多シ、商人ハ思ヒヨラヌ利ナシ、左レドモ思



ヒヨラヌ利ヲ得ル者ニハ富ルハナシ、丈夫ニ積上ゲタル一釐一分ノフエタル、利ノ薄キヲ得ルモノニハ貧ナルハナシ、思ヒヨラヌ金ヲ取タガルトキニ奢侈ヲスル故也、其時ニ奢侈ヲスルユエニ、常ニモ此奢侈癖ニナリテ、ウツカリト奢侈リテ居ルユエニ富ム也、ユエニ利ノ薄キ者一心一向ニワキ目ヲブラズニ、金ヲモフケントスル故智ノアラフ筈ナシ、利ノ多キ者ハ利ノアル日ニハ樂ミ、無キ日ニハ困シム、是又智ノアラフ筈ナシ、畢竟ハ智ナキ故、上ノ智ノアル御方ハ御自由ニナルコト也、然ルヲ自由ニナラヌハ、上タル人下ヲ智ニセント思ヒテ、智者アシラヘニスルコト古ヘヨリノ弊也、書ヲ讀ミ様アシケレバ、何カ聖人ノ治ハ下ヲ孝悌忠信ニシテ、上ハウツカリヒヨント衣裳ヲ垂レテ拱ヲ垂、唯南面シ唯默然トシテ居ルト云様ニ讀ル也、民ヲ孝・悌・忠・信ニスルトハ、民ヲ不孝・不悌・不忠・不信ノナキ様ニスルト云フコト也、上ノ法ニ背クモノハ刑罰ニ合スルト云コト也、今上ノ法ニ背クモ刑罰ニ不<sup>レ</sup>合上ニテハ、民ガ孝・悌・忠・信ニナリタラバ法ニ背クマイ、兎角民ノ孝・悌・忠・信ニナル様ニト思フコト也、孝・悌・忠・信ニナル様ニト思フト、不孝・不悌・不忠・不信ヲサセストハ大ニ違也、法ナシニ法ニ背カヌヨウニナルハ智者ノコトナリ、士大夫ノコト也、士大夫ト云フモノハ、其ガ爲ニコソ上ヨリ知行ヲ下サレテ、金ガホシイト思フニ及バズ、一心一向ニ金ヲ得ルコトニウチカ、リ居ルニ及バズ、智ヲ鍊ルニウチ掛リテ居ルコト也、下ノ愚人ハ手足ヲ働カセテ後ニヤウ／＼衣食ヲ得ルユエニ、六ヶ敷事ニ打掛リテハ居ラレヌナリ、國中ノ人皆孝ナラバ、他國ヘ自國ノ代物ヲ持テ出テ、親シカラズヤ、

大河ヲバワタルマジ、悌ナラバ兄ノ旅行ヲ留テ、己レモロクノニアキナヒモセズ、兄ノ養ニカ、リテ居ルベシ、忠信ナラバ物買ヒニ利ヲ得サセテ己レガ利ヲ取ラレ、國中ノ民皆父兄ノ養ニ懸リヲ己レガ業ヲ怠リ、皆他人ニ利ヲ取ラセテ己レ利ヲ取ラズバ國衰微ハ目前也、民ハ親ノ頭ヲタ、カズ、兄ヲ打ノメサズ、他人ト喧嘩ヲセズ、此外ハ一サン前ニ其業ニカ、ルガ能也、外ノ事ヲ止メテ其業ニ打掛リテ吳ネバ、此方ノ國富ヌ也、國サヘ富メバ此者共父兄ヲ樂タト養フ也、國富マネバ父兄ヲ養フコトナラズ、他人トモツイ喧嘩ヲスル也、サスレバ父兄ノ養ヒニ懸リ切リテ居ルハ、大不孝・大不悌トイフ物也、唯々民ハ君ト共ニ太平ヲ樂ミ、君ハ民ト共ニ太平ヲ樂ムトハ各アタリマイノ業ヲ怠リナク勤ムルコト也、大孝悌ハ民ノアタリ前ニアラズ、民ニ業ヲ怠ラスモ又上ノアタリ前ニアラズト知ベシ、今下民ヲ人柄ノ能智者ニセントイフハ、上ノ心ヲ以テ下ノ心ヲ推ス也、間違也、今地犬ト狎トハ甚似タル物也、地犬ハ雪ヲ大ニ悦ビテ雪中馳セ回ル、チンヲ雪中ヘ出サントイフテモ、狎ハ大ニイヤガル也、強テ出セバ直ニ凍ヘ死ヌ也、是地犬ノ心ヲ以テ狎ヲ推テサヘ間違フナリ、況ヤ士大夫ノ心ヲ以テ推ベケンヤ、民ハ愚ナルモノ也、サレドモヤハリ上ヲ欺ントスル、是モ又己レガ愚ナル心ヲ以テ上ノ智ナル心ヲ推スナリ、上ハ欺ケヌモノ也、欺レテハ上デハナキ也、サレドモ民ハ己レガ愚ナル心ニテ欺クツモリ也、吟味所ヘ出ル罪人皆始メニハ陳ジテ欺キテ見也、陳ジテモ御取上ハナイゾ、如何ニ辯舌ヲフルヒテモ、僞ノハ直ニ知ル、ゾト云レテ、始メテ上ノ欺ケヌコトヲ知也、左様ナレバ始ヨリ上ハ中

中下ヨリアザムキハイハレヌ物ト云コトヲ下民ニ知ラセテ置タキモノニテハナキヤ、民百迄モ二百迄モ欺ク、其百二百ノ中ガ二ツカ三ツ欺カルレバ、又民欺ク氣ニナル也、民ノ上ヲ欺クハ己レガ利ニアラズ、欺カスガヤハリ己レガ利ナレドモ、民ハ愚ナルモノユエ此サカヒガ一向ニワカラヌ也、其證據ニハ始ノ罪人欺キテ見テ欺ケヌユエ、恐入マシタトイフテ罪ニ落テ仕廻フ、次ノ罪人此言ヲ聞テ居レドモ、又欺キテ陳ズルコト同様也、唯々上ハ欺ケヌト云コトヲ知リテサヘ、又欺カントスルハ愚民ノ情也、此情ヲ上ニ知リテ、民ノ人柄ノナホル様ニト云コトヲ止メテ、人柄ヲウルウルコトノナラヌ法ヲ立ルヨリ外ニ仕方ナシト知ルベシ、故ニ國ヲ治ルニハ何カ知レズ六ヶ敷事ヲバ除テ仕舞フコト也、學文ガハヤレバ國ガ富ム、如何ナル譯デ富、何ノ譯デ富ムヤラ六ヶ敷事ナリ、上ガ下ヲ愛スレバ國ガ富トイフ譯ガ知レヌ也、學文ガ天行クラバ民ガ字ヲ知ベシ、字ヲ知レバ何ノ譯デ國ガ富ムヤラ知レヌ也、字ヲ知テ書ヲ讀也、書ヲ讀デ義理ヲ辨ヘル也、義理ヲ辨ヘレバ業ヲ出精スル也、若又字ヲ知リテ自慢ニ書ヲヨミタラバ、三年ヤ五年業ヲ止テモ腐儒程モ讀メヌ也、一生掛リテモマダ〳〵眞ニ讀メルトイフテモ能力未ダ知レマジ、俗書ヲ讀デモ、書ハ幾萬卷モ有ル故盡ルコトハナキ也、一生掛リテモ讀仕舞ヌ也、先多クハ義理ヲワキマヘル處迄ハ壽ガ無キナリ、況ヤ業ヲ出精トイフ所ヘユク時分ニハ、最早大ニハグ〳〵タル親父ニナリテ、シ、バツヲ居ナガラ洩スカ、朝イフタコトヲ晝ハ早忘ル、様ニナルベシ、學文ノハヤルハ國ノ富理ナレドモ遠キコトナリ、民ガ孝・悌・忠・信ニナルト親兄ノ側ヲ離レ

ズ、離レネバ店ニ物買ガ來リテモ棄テ置テ出ヌ也、大ニ利ヲ得ルコトガアリテモ、孝悌ノ邪魔ニナル故ニ働カヌ也、業ノ爲ニ働クベキ身ヲ孝悌ノ爲ニ働ク、自然ト天ノ恵トヤラデ金銀ガ天ヨリ降ルト思フハ空ナルモノ也、先金銀ノ降ルマデハ遠キコト也、上ガ下ヲ愛スレバ、下ハ得手ニ帆ヲ揚ゲテズルケル也、後ニハ殿様タルモノガ百姓ノ給仕ヲスル様ニナルベシ、如レ此下ヲ愛スレバ天ノ恵ニテ水旱凶年ナシ、是モ遠キコト也、此様ナ六ヶ敷空ナルコトヨリモ、トツタカ見タカニ目ノコ算用能キ也、何カハ知ラズ、天ハ學問沙汰モ讀書沙汰モナシ、孝・悌・愛民無シ、唯目ノコ算用也、己レガ足デ一里アユメバ、一里ノ所ヘ行テ居ル也、安座ヲシテ一里先ヘ行ケバ、二百文計懷中ニ入ル也、一日懷口手ヲシテ居レバ、錢一文モ取レヌ也、一日働ケバ二百カ三百ハ取レル也、是六ヶ敷事モ、解シニクキコトモ、空ナルコトモナフテ、至極能フ聞ヘタルコト也、民上ノ令ニ從ガハネバ刑スル、是ヨフ聞ヘタルコト也、孝・悌・忠・信トハ上ノ人ノ心ニアル符牒也、民ハ何トスルガ孝力、ドウスルガ忠力知ラヌガヨキ也、民ハ唯上ノ令ニ從ガハネバ刑セラル、是ニテ萬年モスムコト也、上ノ令ニ從フ者ハ賞ヲトラスル、是ニテ萬年モスムコトナリ、民モ業ト業トノ外ノ孝・悌・忠・信・仁・義・禮・智、種々ノ事ヲ知ラントスレバ、業ニ身ヲ打込事ナラヌユエニ甚困シミテ、國ニハ食物器用財贍足セズ、惣貧ノ惣困シミトナル、其上ニ民己レガ業ノ外ノ士大夫ノ業ヲ知ルコトユエ、上ノ腹中ヲ知ル也、マダ出ヌ先ニ今度ハケ様ノ法ガ立ツ、ケ様ニハ法ハ立テ、アレドモ、此ハ上ニテハ御見ノガシヂヤ、此レハ罪ナレ



ドモ爲テモ苦シカラズナド、上ノ腹中ニ有事ヲ皆知也、是ハ治ヲ爲ル第一ノ害也、ケ様ニ下々ニテ上ノ命令ヲ知ルヲ民狎ル、ト云也、民ノ上ノコトニ狎レバ、民畏ル、心無キ也、書經ニモ「怙終賊レ刑」ト、民心ニ是ハ御法度ナレドモ、此位ナコトハ爲シテモ能ヒト知リテ惡ヲナシトグルハ、怙ンデ終ルト云也、ケ様ノ族ハ不殘コロシ罪スルガ聖人ノ思召ナリ、今例ヲ書タル書ヲバ其役所々々秘シテ下々ヘ見セヌハ、上ノ心ヲ下ヘ知ラサヌ也、下ハ上ノ心ヲ知ルコトナラヌガ宜キ證據也、其ヲ下ニ上ノ例ヲ知ラセタイト思フハ、大ニ聖人ノ思召トハ違フコト也、以上ノ弊ハ皆六ヶ敷事ヲ合點モセヌ者ニ、目ノコ算用ニ合セテ見セヌヨリ起リタル間違也、間違ナキハ目ノコ算用也ト思フベシ、目ノコ算用ニシテ見レバ、一年共領内ヨリ出ル金銀イカ程ト計リテ、入ル金銀ハイカ程ト又計リテツキ合セテ見ルニシクハナシ、領内ノ金ヲ上ヘ取リテ他國ヘハコブ程危キ事ナシ、領内ノ金ヲ上ヘ取ラント思ハバ、領内ヘ他國ノ金ヲスサマジク入ル計策第一也、是ヲ目ノコ算用ト云也、領内ノ遊所ヘ領内ノ金落ルハ、イクラ落テモ困シキコトナシ、他領ヘ落レバ少シデモ困シキコト也、今一番ノ藏ノ金ヲ二番ノ藏ヘウツシテモ、何レモ己ガ藏ナレバ、ドチラニアリテモヨキコト也、己レガ藏ノ金ヲ他ヘ取ラルレバ、少シニテモ困シキコト也、其上ニ民ノ金ノトボシキコトガアレバ働ナリ、金ホシクナケレバズルケル也、民働ケバ國中ニ器用フユルナリ、ズルケレバ國中ノ器用ヘルユエニ、ヤハリ民ハ金ヲホシガル方ガ上ノ勝手ニハヨキ也、下民ハ隨分働キテ旨キ物ヲ喰、立派ナ衣ヲキテ遊所ヘユキテ遣フモ、至極ノ上ニ

テハ面白キコト也、士大夫ハ江戸ニテハヤハリ民ヲ勸ムル仕形ニテ、働クモノハ多ク金ヲ取り、働カス者ハ少ナフ金ヲ取ル、理ニ合セル仕方也、民ハ手足ヲ働カセ、士大夫ハ智ヲ働カスル違ハ有リテモ、働キテ金ヲ多ク取ルハ同ジ事ナリ、此方様ニテハ御役料至ツテ少ナク、御役高御足シ高ナシ、御役徳ナキユエ、働キテモ働カイデモ同ジコトニテ、些シ天ノ理ニ違テ居様也、是ハ別ニ論アリ、扱士大夫ノ働ト民ノ働トハ意ハ同ジコトナレドモ、重ネテ用ニ立モノナレバ、士大夫ノ働クハ金銀ニナラヌ様ニ見ユルナリ、重ネテ用ニ立トハ、民ハ手指ヨリ器用ヲ生ジテ金銀ト取カユル物ナレドモ、コレ民ヲ働カスハ士大夫ノ智ノ働クユエ也、左スレバヤハリ士大夫ノ智ノ働クユエナリ、左スレバヤハリ士大夫ノ智ヲ金銀ト取カユル也、唯器食ハ直段ニ相場アレドモ、智ニハ相場ナキ故ニ見ハカラヒ也、見ハカラヒユエニ役高・役料・役徳ハ有ガヨキ也、民ハ懷口手ヲシテ居ルモノ一日ニ三匁取、働クモノモ三匁取レバ、働ク民ハ無キ也、士大夫ハ義ヲ以テ上ニ事ル者ナレドモ、智ヲ揉マズニ居ル人モ二百匁、智ヲ揉ム人モ二千匁ニテハ、智ヲ揉ム人ハ規模ナキト云モノ也、智ヲ揉マヌ人ハグナラトシテ居テ喰ツブスユエ勿體ナキコトナレドモ、飢寒身ニセマラヌ故ニ、遂ニ日々ニ勿體ナキトハ思ヘドモ、先今日ハくト云テグナツクニチガヒナシ、此士ヲグナツカセス法別ニアリ、扱民ヲグナく喰ツブサセネバ、國へ金銀入ルニ違ヒナシ、是肝要ノ論也、コレヲ目ノコ算用ト云也、イヅレノ城下ニモセヨ、戸數ハ少ナフテ働ク家多キガ富ム也、口數ハ少ナフテ働ク手指多クアレバ富ム也、當御城下ヲツラツラ

見ルニ、戸數ハ夥シキコトナレドモ働ク家ハ甚少ナシ、人數ハ多ケレドモ働ク手指ハ一向ニ少ナキコト也、其上ニ風俗盡ク朝寢也、夜業ヲセズニ宵バカリナリ、盡ク大食也、盡ク氣重シ、盡ク病身ナリ、左レドモケ様ニ飢ル人モ無キト云ハ、唯土地ノ富メルニ因ル也、其證據ニハ當處ノ行儀ノ民京ニ居レバ一月ハ生キズ也、江戸ニ居レバ三月ハ生スギ也、極々ノズルケ民ナリト思フベシ、然ルニ飢ヌハ能々ノ富地ナル證據也、ケ様ノ富地ニテ、江戸半分京ノ三分一モ經濟ヲシタル程ナラバ、日本國中ノ仕送りモ出來ル理也、唯富地ユエニ民ガ金ヲホシガラヌ也、金ヲホシガラネバ金ハ集ラヌ也、民ニ金ヲホシガラスモ、働カスモ、朝起ニスルモ、丈夫モノニスルモ、皆法ヲ御執リナサル、御方ノ御手ニ有事也、此法ノ話ハ當リサハリ多キモノナレバ、次ノ卷ニ或問ヲ設ケテ、江戸ノ役人ノ江戸ヲ自由ニスルコトヲ申述テ御覽ニ入ルベシ、先此卷ハ大綱計也、何レニモ足下ニ送りシ、「瑞談」ト卷ヲ交ヘ見ルベシ、「瑞談」ハ京・大坂ノ端々猥雜卑劣ノコトアレドモ、江戸ノ御役人ハ其卑猥ノコトヲヨク／＼僉議シテ御存知ナサレタルモノユエニ、下情ニ達セラレテ下ヨリ見テモ恐ロシキコト也、下ヨリ見テ恐ロシフナレバ民服セス也、流レタル風俗ヲ推留メ引直スハ、甚力ノ入ルコト也ト思フベシ、猶鶴ガ唯今迄出タル「富貴談」「善中談」「變理談」「天王談」「萬屋談」等杯ニモ追々江戸ノコト委シク有ル也、先此事了解ノ上ニ次デ或問ヲ見ルベシ

## 海保儀平書終

## 或 問

或人問テ云ク、今ノ時ニ當リテ國主大名ノ爲ニ政ヲ修ムルニ、民ヲ質素朴實ニスルガ宜キヤ、奢侈浮華ニスルガ宜キヤ

答テ云、國主大名ハ其國ギリノ主也、民ヲバ己レガ自由ニスレドモ、民ノ風俗ヲ自由ニスルコトハナラス也、民ハ其國ノ民ナリ、風俗ハ一天下ノ風俗也、一町ノ町ヲ天下ニ譬フレバ、國主ハ三間口五間口ノ家持也、己レガ庭ノ樹木ハ己レガ自由ニナレドモ、庭ヲ吹ク風ハ己レガ自由ニナラス也、一町内西風ガ吹テ、己レガ庭計リ東風ノ吹ク様ニトハナルマジ、西風ガ吹キテハ此方ノ勝手ニ大イニアシキガト思ヒテモ、吹ケバ仕方ナシ、然レバ氣ヲ揉ミテモ、拳ヲ握リテモ詮ノ無キコト也、ヤハリ天ノ吹ク風ニ付テ、其吹ク風ヲ用ニ立ツ様ニ受ルヨリ外工夫無キ也、故唯風ハイカバノ風ニテ、イカバニ吹クト云コトヲ詳カニ知ルコト第一ノ務メナリ、是受ケ方工夫ノ付ケ様ノ根源也、故ニ諸家共ニ此風ヲ知リテ、各國ヘ知ラスル役目ノ士アリ、御三家ニテハ御本丸付西丸付ト云、每朝御老中出仕以前ニ御城ヘ登リテ、御老中御上リノ節公方様大納言様ノ御機嫌ヲ伺フ也、御老中御下リノ節迄御城ニ詰テ居リテ、種々風並ヲ見ル事也、扱御老中御下リ之節、兩御丸様共御機嫌宜キ由ヲ承リテ歸ルコト也、如此日々



御城ニ二時半程詰居ルハ、風ハ折節カハルモノナレバ也、御城付ハ即チ御三家倪也、此風見ト云モノハ、五分五厘モ違ハズニ能風ヲ見ルモノ也、故ニ御三家ニテモ随分見聞ノ智ノ早キ者ヲ、物頭ノ内ヨリ撰ミ擧ゲテ此役ニツケルコトナレドモ、御城付ヲ倪ニシテ各國ノ風ヲ合セテ行カネバ、經濟ニ損毛立ツ故ナリ、國持ヨリ一萬石ノ柳間・菊間ノ大名以上ニテハ交代寄合、陪臣ニテハ御三家ノ御付ケ家老ニ至ルマデ、留守居ト云バ旦那交代シテ歸城スレドモ、歸城シテハ風ヲ見ル人ナキ故ニ此役人ヲ留メオキテ、風ノ様子ヲ見スルト云コト也、故ニ諸家ニテモ随分目ノ早イ耳ノ早イ心ノ早イ男ヲ撰ミテ江戸ノ風ヲ見セテ、直ニ國元ヘ注進スル役也、如レ此六ヶ敷役目故ニ、諸家ノ留守居一タバネニナリテ世上ノコトヲ相互ニ見聞シ、其見聞シタル人ハ、見聞セヌ人ニ言フテ聞ス也、故ニ留守居一人知レバ、惣留守居皆知ルト云仕掛ニ爲タルモノ也、ユエニ留守居ノ中間ヲ類役ト唱ヘテ、其男計ハ己レガ家中ノコトニカマハズ、己レガ家中ノツキ合ヲセズ、己レガ家中ノ法ヲ守ラズ、己レガ家中ノ風ニセヌ也、己レハ天下ノ倪ナリ、倪ニ面ムキノ倪ト云フモノハ無シ、向アリテハ風ハ見エヌナリ、ケ様ニ向ケト此方ヨリ云付ルモノニアラズ、何レノ火ノ見ニテモ同ジヨウニ云ヒテ、一向ニ己レガ宅ニハカマハヌモノガ倪ノ役也、留守居ノ身ハ旦那ノ倪ナレバ、ギリ／＼ト回リテ少シモ風ヲ取ソコナフナ、北方ニカマハズニ風ヲウツセトイヒ付ルモノ也、薩侯・細川侯ナドハ留守居役料ノ外、別ニ年々金千兩ツカヒ、棄金ト云モノヲヤリテ世上ノコトヲ聞見サスル也、家ニヨリテ遣ヒ棄金入用次第ト云モアリ、近來ハ

留守居寄合ト云モノヤミテ、此遣ヒ棄金ヲ減ジタル家多シ、遣棄金ヲ減ズルハ至テ小ノ益ナリ、江戸ノ風ノ知レヌハ大損也、一體昔ノ通りニ此細ナルコトニテモ、江戸ノ風ノ國ヘ知レルガヨキ也、覗ヲイデリ廻スコト甚惡キコト也、此意ヲ合點セヌ家ニテハ、留守居モ風儀ヲ國風ニシテ、江戸風ニ染ムナド云家アリ、コレハ風見ヲ作リツケニシテオキテ、風ヲ知ラヒデモヨキト云人ト同ジ事也、風ヲ知ラヒデヨケレバ覗ヲ作ルニ及バヌコト也、是皆畢竟經濟セズ、錢ヲ少ナフ出サフトシタルヨリ起リタル論也、尤此留守居ト云モノモ、アマリ不行跡ニテハ、却テ公邊ノ御禁止ヲ破ルヤウナコトアルユエ也、吉原ノ中ノ町ヘ長上下デ寄合フノ、四ッ谷新宿ノ青樓ニ於テ寄合ラスルノ、芝居ノ手打ニ出ルノト云フ様ナル大ソレタル不行跡ヲナシタル故ニ、御老中ヨリ沙汰アリテ、皆々イマシメニ遇ヒシ也、然レバナゼケ様マデニ不行跡ニナリタルトイフニ、面白ミニ醉タル也、山家田舎ノ者一日芝居ヲ見レバ、百目計リハウツトリト狐ノツキタル様ニナリテ、目ニハ芝居ガツキテアル也、芝居ニ醉タルナリ、船ヨリ上リテモヤハリフラ／＼スルト同ジコト也、船ニ醉タル也、芝居ヲツバケテ五日モ見ルト、何モカモ忘レテ、宿ヘ歸リテモ唯役者ノコハイロ、役者ノミブリ、外見ヨリハ恰モ狂シタル様也、江戸・京・大阪ノ人ハ幾日ツバケテ見テモ、何モ狂スル事ナシ、醉ヌユエナリ、然レバ狎レタル人ハ醉ヌ也狎ス人ガ醉也、故ニ船ニノル客ハ上リテフラツケドモ、楫ヲ取艦ヲ推ス人ハ上リテフラツカス也、狎タルユエ也、今各國ヨリ江戸ヘ急ニ行タル人、遣棄金ニテ日々吉原・堺丁料理屋ノ座敷デ藝子ヲ相手

ニ酒ヲ飲ムユエ、何モカモ打忘レテ醉フ也、江戸ノ風ヲ聞見スルコトモ忘レテ、己レガ面白キコトヲセント計思フ也、是倪風ニハカマハズニ、己レガムキタイト思フ方ヘムキテ居ル也、用ニモタ、ヌ倪也、故ニ留守居ハ一代定府ニスルニシクハナシ、扱此次ハ此男ヲ留守居ニセント思ハバ、又其男ヲ定府ニシテ留守居ノ助ケ役ヲ勤サセテ、藩法ノ外ニ取扱フヨリ外仕方ナシ、唯損金ハ少々ノコト也、兎角江戸ノ風ノ一刻モ早フ國ヘ知レルコト第一也、江戸ハ則天下也、天下ノ風奢華ナラバ、是奢華ノ風ガ吹クト云モノ也、奢華ニテ國ヘ金ノ落ル工夫ヲセネバ國貧ニナルナリ、國貧ニナレバ法タ、ズ、法タ、ネバ亂妄生ズル本也ト知ベシ

或人問テ云ク、江戸ノ號令ハ能行ハル、也、國ノ號令ハ行ハレ難シ、イカバノ譯ゾヤ

答云、流行ニ後レタルコトアルユエナルベシ、昔ハ土地モ狹フシテ閒ケズ、民モ質ニシテ僞ラズ、上下トモニ風俗簡易也、追々ニ土地モ廣ガリ、民モ輕薄巧猾ニナリ、上下共ニ多事ニナルユエニ、昔ノ立方ヲ組替々々シテ來タルモノ也、天ハ東風ニナリラルニ、此方計西風ノ趣向ニテハ令ハ行ハレヌ也、既ニ板倉伊賀守殿ト云ハ最初ノ諸司代也、扱加州老人ニナリ、江戸ヘ御機嫌伺ニ出タルコト有、今ハ京大坂トモ五年ニ一度宛、御機嫌伺ニ下ル事御例也、此節ハ左様ナルコト定マリモ無カリシナルベシ、扱其節上意ニ、其方ハイカウ年寄タルガ、隱居致シ樂クニ遊ブベキ時ナリ、左レドモ其方ノ代リニ可<sub>レ</sub>遣者ナシ、其方ハ誰カ宜シカラフト存ズルゾト云上意也、加州イハル、ニハ、周防守ガ宜シフ

ゴザ有ベシト云、即防州ヲ諸司代ニ仰付ラル、此時防州侯ハ御側ヲ勤メラレシト記錄ニアリ、諸司代ノ子御側ヲ勤ムルト云コトハ、一向ニ今ノ寸法ニアハスコト也、諸司代ニ諸司代ヲ御尋ナサル、コト、是又一向ニアタラスコト也、己レガ忤ガ宜シカラウト申上ル、總テ是等ハ今ノ寸法ニ合ザレバ、上下皆狂者ノ様也、今堀田豐前守殿一萬五千石ニテ寺社奉行相勤ラル、小身ニテ勤メラレスト度々内御役御免ヲ願ハレ候得共、思召アル故ニ相勤居トノ上意ト承ハレリ、是ハ若年寄アキ次第ニ轉ゼラル、コトナルベシト、權内家ニテ風聞セシ也、有徳院様ノ初メ迄ハ寺社奉行隨分勤メタレドモ、今ハ一萬五千石ニテモ勤ラヌハ、コレ程ノ流行ニチガヒ有事也、有徳院様ヨリ小身ノ智者ヲ大役ニ召使ハル、コトナラネバアシ、トテ、御加増ニ御加増ト云コトヲ止メテ、御役高御役料ト云コトヲ始メラル、是甚便利ナルコト也、大番頭・御書院番頭・御小姓組番頭ハ大將役ユエニ、持高ノ多キ人デナケレバ仰付ラレヌ也、是非ニ八九千石ヨリ三四千石マデノ内也、大番頭ハ十二組アリ、六組ハ一萬石ノ大名也、御側ハ五千石高ナレドモ、二千石迄ニテ勤ムル也、御留守居・大目附・御兩卿様御家老・町奉行・勘定奉行ノ内、御兩卿様ノ御家老ハ二千石ノ御役料アトハ皆三千石ナレドモ、五百石ノ持高ニテ勤ムル、御勘定吟味役ハ五百石高ナレドモ、三十俵ニテモ五十俵ニテモ勤ル也、御勘定奉行ニ立身シタルトキニ、二百石ニナシ下サル例也、御小姓御小納戸ハ千石以下ハ御役料三百俵、五百石以下ハ五百石高ト云モノナルユエ、御扨從御小納戸ハ是非八百俵ハ取レル也、物ノ入役ハ皆御役料アリ、譬バ定火消ハ御番



頭へ出身スル前ノ御役也、故ニ三千石ヨリヒキ、人ハ不被<sub>レ</sub>仰付、多クハ五六千石也、如<sub>レ</sub>此ノ高取ナ  
レドモ物ノ入役ユエニ御役料ヲ三百人扶持下サル、也、是ハ先陣ヲ抱ユル御手當也、先陣トハ鳶ノ者  
ノ類ヒ也、遠國ノ御役人ハ皆御役料アリ、偕御役料ノ外ニ御役徳ト云モノ有、御老中ハ表向ニテ諸家  
ノ付届ケテ取ル事一萬五千兩、若年寄ハ八千兩ト承ル、寺社奉行・町奉行・御勘定奉行・大目付・御目付・  
御奏者番・御進物番・其以下ニテハ御勘定支配・勘定・御徒目付・御小人目付・支配勘定以下ハ御目見以下  
也、遠國ニテハ諸司代・御城代・長崎奉行・京大坂町奉行・皆諸家ヨリノ付届ケテ取、大坂御城代杯ハ年八  
トテ、年始八朔ニ町奉行トモニ町人ノ献ズルヲ受ルコト也、是ヨリ外ハ凡ソ御祐筆ノ類・御目見以下  
ニテハ御坊主ノ類・御役徳ノナキ役ハ希也、故ニ權勢ナケレバ令行レズ、權勢ハ己レガ、持高ヨリ多  
ク入ラネバ、下々ヲ呼付テ大平ナル顔ヲスルコトナラヌ也、下ヲ呼付テ大平ナル顔ヲセオバ權勢ハツ  
カス也、白川侯御老中ノ仰セヲ蒙ラレシ始、俊明院様ノ御代ノ弛ヲ張ラント思ハレシ故ニヤ、大ニ權  
ヲ占メラル、其節ノ御職ハ松平周防守殿也、白川侯ハ御老中上席ト仰ヲ蒙ラレタルユエ、防州侯ノ上  
ニ座セラル、引ツゞイテ防州侯座セラレタレバ、白川侯ノ仰セラル、ハ、拙者ト貴様ノ間ハ餘程アク  
コフニ座セラレヨト仰セラル、退出ノ時又防州侯白川侯ト同道ニテ退カル、白川侯拙者ト貴様ノ間ハ  
三四間モ隔ラレヨト仰ラレシ也、扱御老中席ヘ座セラレシ始メニ、奥御祐筆組頭罷出御直ニ恐悅申上ラ  
ル、奥御祐筆組頭ハ布衣四百石ノ高ノ御役也、松平周防守殿御引合せニテ、是ハ奥御祐筆組頭ニテ、

萬當御役勤方等御例諸事巧老ニテ候ユニ頼候事ニテ候ト申サル、白川侯仰ラル、ニハ、奥御祐筆ハ輕キ御役、拙者共ハ天下ノ事取扱ヒ候ニ、ケ様ノ輕キ衆中ニ頼候事アルマジキコト也、拙者ニ於テハ頼ムコトナシ、早々ニ引カレ候ヘト仰ラルレバ、奥御祐筆大ニ恐レテ引レシ由也、夫ヨリ直ニ白川侯ハ大奥ヘ參ラル、是ハ奥務御兼帶ユエ也、サテ奥ノ老女ノ一老ハ大崎殿ト云フテ權ヲ專ラニセラレシ也、大崎殿ハ久ク御本丸ニ勤仕ノコトユエ、白川侯ハ田安ノ右衛門督様ノ御末子ユエ、御幼少ノ時ニ御本丸ヘ上ラレテ大奥ヘ參ラレタルトキ、大崎殿抱申サレタルコトアル由也、夫故大崎殿出ラレ、今日ハ結構ニ仰ヲ蒙ラレ恐悅也、倍々大キフナラセラレタルコト也、以來ハ御同役ノコトユエ、奥ノ儀ハ申合セテ勤申スコトニテ候ト申サル、白川侯大ニ怒ラレ、大崎ニハ不届ナルコトヲ申ス、老中ニ向ヒ同役トハ何事ゾ、大奥ニハ老中ナシ、其方ハ老女也、座高シ下リマセイト大音ニテ申サル、大崎大ニ怒ラレ大崎ハ主殿頭奥勤御兼帶ノ節ヨリ表ノ同役ト申相勤來レリ、只今左様ニハシタナフ御アシラヒアリテハ相勤難シ、只今御暇下サルベシト云ハル、時、白川侯仰セラル、ハ、其方望ミノ通り御暇下サル、勝手次第ニ御本丸引取ベシト仰セラル、奥ニテモ身ノ毛モヨダチテ恐レシ也、大崎殿ニハ此座ヨリ直ニ引取ラル、而後ニ表モ奥モ白川侯ノ權輝キテ自由ニナリシ也、扱白川侯家來ヘ申付、凡ソ他ヨリ來ル音信物何ニ寄ラズ受ルコト法度也、輕微ノ品ニテモ必ズ受マジキコトナリト申付ラレテ、家中一統音物受ケズ、半年程音物ヲ謝絶セラレタルニ、白川侯ノ權兎角ニカヤカズ、田沼ニ比スレバ十分一

ニテモナシ、始嚴ナリシユエ輝キシナリ、嚴ハ一時ノコトニテ常ニハナラヌモノナリ、權カバヤイデハ諸事一向ニ御差圖モドリニテ、一向差ツカユルコトノミ也シ由ナリトテ、又白川侯家來ヘ申付ラレテ、凡他所ノ音物金子ノ外ハ受ベキコト也、音物ヲ受ネバ一向ニ御用モトラヌナリトテ、其後ハ家來ノ面々モ一々申上テ金子ノ外ハ受シ也、白川侯モ金子ノ外ハ受ラレシ也、如レ此白川侯權ヲ奪フヤウニ取ラレケレドモ、音物ヲ受ネバ權輕シ、扱音物ヲ受ラレテ後ニ又稍々門前モ賑ハヒテ、田沼ニ比スレバ十分一ナレドモ、權モ一人ニ歸シタルコト也、其後中山大納言殿引合ノ後御役御免仰出サル、御役御免ノ日ニ引續キテ三度迄加納遠江守殿宅ヘ參ラル、加納遠州ハ御側御用御取次也、御側ノ内ノ權アル者也、サレドモ御老中支配ノ者ナレバ、只今迄ハ遠州ハ配下デアリシ也、今日ヨリ配下ニアラズ、扱遠州殿在宿ナレドモ逢ハズ、只今御用ニ取カ、リテ居ルユエ、御目ニ掛ラズトテ三度共ニ斷ラル、如レ此ニ御役ノ權ト云モノハカハルモノ也、其後ハ白川侯少將ニテ溜ノ間也、扱青山野州侯ハ西丸ノ若年寄ニテアリシガ、御城内ニテ白川侯ニ引合ル、若年寄モ御老中支配ノ者ユエ、只今マデハ配下ナレドモ、溜ノ間ヘ出ラレバ、若年寄ハ御役人、白川侯ハ只ノ大名也、引合レバ白川侯立トマリテ、青山ヲ待合セテ會釋セラル、青山御免ナサレトテズイト通ラレシ由、青山ノ供ノ者咄シテ大ニ御役ノ權ニ驚キシ也、如レ此御役ニ居ルト居ラストハ虎ト鼠ホド違フ、コレ程違ハネバ政事取扱ヒ令行ハレヌモノ也、皆役料役德ナケレバ役權ナキ證據也、今大名家ノ役人權ナキハ、付届ケノ役德ナキユエ也、



サレドモコレハ公儀ニ限リタルコト也、大名家ニハ公儀ノ國主・准國主・外様・御譜代・帝鑑ノ間・雁ノ間・菊ノ間ノ大名ニ比スベキ者ナシ、松ノ間・柳ノ間・帝鑑・雁・菊ノ間ノ衆ハ御城内ノコトニウトク、江戸ノコトニウトク、上ヘ遠キユエニ御老若始メ御役人ノ心入ヲマチテ事ヲ用ヒタル者也、右五間ノ内雁ノ間大名ハ月々六サイノ詰日有テ平服ニテ登城スル也、平服トハ常ノ上下也、殘リノ五間ハ時ノ上下ニテ登城スルコトナラズ、是非麻上下也、麻上下ニテ登城スル衆ハ、皆彼留守居ヲ頼ミニ勤ムルコト也、何事モ留守居ヨリ御役人ヘ引合フユエ、付届ケナクテ叶ハヌ也、大名ハ次名ニテモ、ケ様ノコトナキユエ付届ナクテモ宜シ、付届ノナキユエ役徳ナシ、役徳ナキユエ役料ヲ澤山ニヤラネバ權付カヌ也、尾州ニテハ物頭役三百石高十二人扶持ニ金二十兩ノ詰入用ヲ下サル、用人ハ千石、高家ハ三千石、高御付家老ハ百人扶持二十兩ノ詰入用ヲ下サル也、役人ト役人デナキトハ大ニチガフナリ、故ニ權アレドモ届少ナキユエニ、公儀ノ權内役ヨリ見レバ、一向ニ權輕キモノ也、故ニ令モ公儀ノ様ニ行ハレヌ也、凡ソ公儀ノ御令ノ能ク行ハル、ハ、皆餘勢アリテ平人トチガフコト多キユエナリト知ルベシ、公儀ニテ御役高始マレバ自己ノ國ニ役高ヲ作り、公儀ニテ御役料始マレバ直ニ自己ノ國ニ役料ヲ始ムル、是ヲ流行ニ後レズト云也、流行ニカマハズニ國風ヲ立ヌケバ、イツデモ仕舞ガ算用ノ合ハヌコトチガヒナシ、是ハ世ハ步行ケドモ此方ハ歩カヌト云也、寸法合ハヌ筈也、役料ノ出シ様ハ書面ニ書ツクベキコトニアラズ、隨分イダラ役料出サウトモ出來ルコト也、役料ハイカイコトガ宜キ也、



役高足シ高モアル程能也、尾州ニテハ五十俵ノ人モ物頭ヲ云付ラル、三百俵ノ人ニモ用人ヲ勤メサセラル様ニシテ有也

鶴竊ニ按ズルニ、此方様ノ御役人ハ勉メテ權ノナキ様ニナサル、ヨウニ見ユル也、コレモ一工夫ナキコトニアラズ、只今迄ナリアガリノ新參ノ御役人急ニ權ヲ取リテ、御家ノ御政ノ害ヲ生ジ、自己ノ欲心ヲ養ヒテ亂ニ及ビシコトアリシモノト見ユ、此弊ニヨリテ役人ニ權ヲ執ラセス仕方ニシタルモノト見エタリ、公儀ニテモ古ヨリ柳澤・田沼ノ兩家有、成程ナリ上リニ權ヲ執ラスハ、百人ニ一人カ二人アシキコト有也、御家柄デ權ヲ御執リナサル、コト、何カ宜シカルマジキヤ、唯御家柄ニテ權ヲ御執ナサレテモ、上ノ御自由ニナラス氣味有者也、御家柄ノ大夫ニ權ヲ渡セバ、上ノ御自由ニナラス也、成上リノ大夫ニ權ヲ假セバ慾心ヲ養フハ、法ノナキ故也、上ニモ法ヲマゲテ人ヲ愛憎ナサラネバ下ノ大夫モ法ヲ曲テ政ヲイラハス故、ドノ様ニ權アリテモ苦シカラズ、周公旦ハ家柄ノ大夫也、權ハ天下ヲ傾ケタレドモ太平ニ治レリ、法ヲ曲ヌ故也、舜・伊尹・傳說ハナリ上リノ大夫也、權ハ天下ヲ傾ケタレドモ太平也、法ヲ曲ヌユエ也、此人々法ヲ曲ヌニテハナシ、法タチテ居レバ、法ヲ曲ルコトナラス也、法ヲ曲ヌ人ヲ御サガシナサル、ヲ手ヅ、ノ政ト云也、人ハ皆權ヲ弄ビタキモノ也、皆慾心ヲ養ヒタキモノ也、權ヲ弄スルコトノキラヒナ人、慾心ヲキライナ人ハ、百萬人ニ一人アルカナイカナルベシ、故ニケ様ノ人品ヲ御サガシナサル、ハ手ヅ、ノ御政ト云也、ソレヨリモ權ヲ弄スルコ

トノナラヌ法ヲリントタツルガヨシ、權ヲ弄スルコトノ大好ナ人ニテモ、弄スルコトナラズ、慾心ヲ養フコトヲナラヌ法ヲシヤント立ルガヨシ、慾心ズキナ人ニテモ養フ事ナラヌナリ、此方様ノ御役人ノ權ノナキハ、無理ニ御モギナサレタルモノト見ユル也、其證據ハ權ヲトラネバナラヌ處ニ權ナシ、鶴御城下ニ居テ大夫トハ二人徒ノコト也、江戸ニテハ千石高ヲ勤ムル人計ビリ也、御目付・御先手御使番皆ビリ徒也、乘輿引馬ニテビリ徒ト云ハ一向ニ聞ヌコト也、御普請奉行・御作事奉行ハ二千石高ニテ乘輿牽馬ノ末ナリ、徒三人也、然レバ此方様ノ大夫方ハ御家來一向ニスクナイ故ニ、ビリニテ御勤メナサル、カト思ヘバ、一向ニ左様ナルコトニテハナシ、江戸ノ定木ヲ見レバ、御身上不相應ニ御家隸多シ、御家隸ハゴヤ／＼ウザ／＼澤山アルニ、ビリ徒ニナサル、ハ、ワザ／＼權ヲ御モギナサレタル證據也、然ラバ此質素眞ノ質素ナルカト云ニ、左様ニテハ一向ナシ、其證據ニハ三千石御取ナサル、方ノ奥方様ノ御葬送ヲ見タルコト有リ、其大造立派ナルコト、裕二郎様ノ御葬送ニハ格別カハリタルコトナシ、江戸者ノ日ニハ一向ニ合點行ヌ也、江戸ニテハ十萬石以上ノ奥方ノ葬送モ、アレ程ニテハナキ也、百三十石トル人ノ娘子ノ婚禮ヲモ見タリ、赤坂奴フルナリ、江戸ニテハ一萬石ノ娘ノ婚禮ニモフラヌナリ、コレ又質素ノウラ也、左スレバ質素ナルベキ所ハ質素ナラヌ也、大夫ハ政ノ出ル所也、權ナケレバ政行ハレス也、江戸ニテハ御老中詰梗ヘ見ユルハ甞サス、甞サストハ御城内往來ナラヌコト也、下ニ／＼ト呼送ル也、御老中通ル内ハ人甞メ也、若年

寄・御側衆・御大目付・御目付ハ片ヨレ／＼ト呼送ル也、ケ様ニ權ヲトラネバ政行ハレズ、鶴ヲ以テ見レバ、大夫ノ行列ハイカニモ大造ニ立派ナルガヨシ、徒ハ人々本道具、合羽籠七荷タルベシ、對ノ挾箱・褓箱押四人タルベシ、士分ノ人ハ横町ヘ避ベシ、婚葬ハ夜中ニテモ、ヒソカニ一向ニ物ノイラス様ニスベシ、江戸ニテハ今ハ婚禮ハナシ、引取ナリ、此三四年以前ヨリ引取、追テ婚禮ト云ハ百人ノ内三人カ四人也、左レドモ御老中ノ下々ハ、三四年以前ヨリハ、又々ズツト大ソフニナレリ、ケ様ナケレバ、上ノ權ウスク下ノ權フトルユエ也、鶴又ヒソカニ案ズルニ、當府ハ世上ノ勝手トチガヒタルコト大分有、土地ノ風ト見ユル也、此勝手違ヲ見出セバ、政ノ御世話ヲモナサル、ニ近路能知レル也、先菅笠ノヒモヲ世上ニテハ、右ノ緒ヘ縫付テ左ノ緒ヘヒツカクル、當處ニテハ左ヘ縫付テ右ヘヒツカクル、行燈ノ戸ヲ世上ニテハ、右ノ柱ヘ肘ツボヲウチテ左ノ柱ヘ落着カセル也、當所ニテハ左ノ柱ヘ肘ツボヲウツ也、冬雷ナリテ夏ナラズ、野菜・魚類ハ其氣ツヨフテ人ハ甚氣弱シ、上ニ權ナフテ下ニ權アルナリ、下ニ權アルトハ下ガ上ノ御自由ニナラヌ也、旦那様ノ御上ヲ御家隸世話ニセズ、御家隸ノ身上ヲ旦那様ニ御世話ニナサル、遊山等ノ節官人甚放埒ニテ、町人甚オトナシ、町並ハ表甚龔末ニテ内ハ甚立派也、御目見以上ノ御方甚慇懃ニテ陪臣甚大平也、凡ソ以上ト以下ト一向ニ分ラズ、御直參ト陪臣ト一向ワカラズ、江戸ニテハ以上ト以下ト、並ニ陪臣トハ同席ナラヌ也、イヅレ敷居ヲヘダテ、手ヲツキテ居ルコトナリ、是ヘ入ラレヨト、手ヲ上ラレヨト

イフテ後和スルコト也、此様ナルコトハドフデモヨササフナモノナレドモ、古ヘノ聖人ヨリ工夫ニ工夫ヲコラシテ考ヘタルガ、貴賤混ゼス仕方デ無ケレバ政タ、ヌ也、下男下女ノ風高貴ヘ上ルハ、此貴賤ノ差別得トワカラスヨリ起リタル惡風也ト知ベシ、此惡風ヲタテカヘルコト出來ニクキハ、畢竟上ノ權ナキ、法行ナハレヌナルベシト鶴ハ竊ニ存ジ奉ルコト也

或問テ云、役人ハ老人ガ宜キヤ、若年ガ宜キヤ

答云、諸役所共ニ上座ハ老人宜シ、末座ハ若輩宜シ、上座ハ骨組ヲ持テ居ル役目也、末座ハ肉色ヲ持テ居ル役目也、骨組ハ古今上下違ヒタルコトナシ、故ニスハリタルモノ也、沈着ノ老人宜シ、肉色ハ去年ト今年ト替リ行モノ也、スワラヌモノ也、輕銳捷才ノ若輩宜シ、江戸ニテハ四十ヨリ養子ノ願叶フ、五十近フナレバ隱居ノ願叶フ也、五十アタリマデ餘リ立身モセネバ、格別御用ニハ立ヌモノ也、忤ヲ召仕ハル、方便利也、唯御人多キユエ、部屋住ヲ召出サル、コト少ナケレバ也、部屋住ヲ召出サル、ハ皆御撰ミ也、御撰ミハ奥ハ御小納戸、表ハ御番衆也、御番衆トハ御書院番ト御小姓組ノコト也、是ヲ兩番ノ衆ト云也、奥表共年々學文・文章・弓馬ヲ書出ス、其上ニテ若年寄衆御見分アリ、四度モ五度モ試テ後ニ召出サル、也、御小納戸ハ前ニ云タル通り也、御番衆ハ父御番衆ニテ忤モ御番入スル也、父御書院ナレバ御小姓組ヘ入、父ガ御小姓組ナレバ、忤ハ御書院番ヘ御番入ヲスル也、偕父隱居スルトキニ忤ヘ家督相違ナフ下サル、父ヘハ唯今迄忤ヘ下サレタル三百俵ヲ、父ヘ隱居料トシテ下サ



ル、也、是ハ部屋住ニテ召出サレタル御褒美ナリ、此外ニハ隱居料ト云モノ下サル、コトナシ、此方様ニハ若キ者ヲ召仕ハル、仕方ナシ、五十年勤仕ナケレバ隱居叶ハスト承ル、二十歳ニ家督ヲスルハ、父ノ命アマリ長カラヌ人ノコト也、父若七十ナラバ五十ノ時ニ嫡子生ネバ、二十歳ニテ家督スルコトナシ、若二十一二ニテ嫡子生ルレバ、七十ナラバ五十近キ人也、五十近キ人ハ上座ニオクニハヨシ、末座ニオクニハ用事クラノト埒明カヌ也、其上ニ上座ハ一兩人タルベシ、末座ハ十人ニテモ、二十人ニテモ宜シケレバ、若キ人ハ多ク入用ニテ老人ハ少ナフ入ル也、五十近キ父ノスネカチリニテハ才氣モ餘リノビヌ也、又五十ニテ父ノスネヲカジルハ才物ノ所作ニアラズ、何レ才子ヲ養ヒフヤス法ニアラズ、五十迄部屋住ニテグズグズト暮ス人ハ、世上ノコトニウトシ、懈怠モノ也、左スレバ才子ニソダテアグレバ才子ニナルベキ人ヲ、皆不才子ニナサル、法也、江戸ニテモ御小納戸出部屋住召出サレノ御番衆ハ皆才物ニテ、御用ニ立御役人ニナルコト也、老人ニナリテ家督ヲトリタル人ニハ、決シテスキンデタル御役人ナシ、スキンデタル御役人ハ、是非若キ時ヨリノ御奉公也、今五十年勤仕ノ人ハ隱居叶フト云テ見レバ、五十ニテ家督ヲスレバ、百マデ勤メネバ年數滿タズ、四十家督ハ九十、三十家督ハ八十也、老耄シテ何カ一向ニ辨ズルコトアルマジ、隱居料ヲ止メテ五十前後ヲ以テ隱居叶フ様ニ仰出サレタラバ、御家中ニ氣轉ノキ、タル人、才氣ノスグレタル人、マメヤカニテ懈怠ニナキ人澤山ニ出來ルコトナルベシ、人ノ才不才ハ上ノ法ニアルコト也、昔ノ人ハ昔ノコトニクハシ、今ノ人ハ今

ノコトニクハシ、昔ノコトニクハシキ人上ニ居テ、今ノコトニクハシキ人ヲ仕フ、是ヨリヨキハナシ、昔ノ人ハ昔ノコトニハ詳アレドモ今ノコトニウトキユエニ、流行ニ後レテ今ノ風ニタズ、今ノ人ハ今ノ流行ニハ詳ナレドモ、昔ノコトニウトキ故、今ノコトヲ取り廻シ擇ミソケテ味フコトナラズ、唯役人ノ役ニ居ヨリモ、役人ヲ役ニオクコト難シト思フベシ

或問テ云、當府ノ公事場奉行ハ、江戸ノ何役ニ當ルヤ

答云、御役所ハ江戸ノ評定所ニアタル也、評定所奉行ト云御役ハナシ、出席ハ御老中・若年寄・三奉行也、三奉行トハ寺社・町・御勘定也、御勘定奉行ニ二通り有、御勝手掛・公事掛ト云ナリ、此公事懸リノ衆ハ御府外ノ公事ヲ聽役也、町奉行ハ御府内ノ公事ヲ聽役也、寺社ハ御府内外ノ和尚ト神主計ナリ、寺社々地ニテ髮ノ有モノ、中臣ノ祓ヲ知ラスモノハ皆町奉行ノ支配也、凡ソ寺社ノ牢・御府内外ノ牢ト云牢ハナシ、皆町ノ牢也、牢ノ役人ハ町與力也、牢屋預リハ石出帶刀トイフ三百石取御家人ニテ、町奉行支配ノ者也、扱評定所ヘモ町方ノ與力同心詰テ諸事取扱フ也、與力ハ二百三十俵宛二十騎アリ、同心ハ三十俵二人扶持三百人有、此外ハ寺社奉行附留役・御勘定・評定所留役・御勘定、是ハ御目見以上ノ人ナリ、町奉行ニハ附ノ留役アリ、凡寺社トイヘドモ御府外御勘定奉行支配トハスレドモ、其實ハ皆町奉行也、左様ナケレバ御仕置筋タ、ヌユエ也、人ヲ罪シ殺スハ皆町奉行ノ手ニカ、ラヌハナキ也、故ニ評定所モ町奉行ガ持チテ、ソレヘ老中・若年寄・寺社・勘定ノ御役人出ル様ナルモノ也、如レ此

ナケレバ町奉行ニ權ナシ、町奉行ニ權ナケレバ刑罰ニ權ナキト云フモノ也、刑罰ニ權ナケレバ民輕々シク法ヲオカス也、法ノヤブル、所以也、江戸ニテハ江戸ノ外ニテモ捕モノハ皆町方ノ同心也、大小ヲ差テ居ル男ニテモ捕ル也、鑑ヲモタセテ居ル男ニテモ捕ル也、御旗本ニ不法アリテモ町方ヨリ捕ル也、寺社御勘定ハ一通リ僉議スル計ニテ皆町方ヘ渡ス也、故ニ町奉行ヲバ殊ノ外ニ御撰ミナサレテ、駿府町奉行ヨリ大坂町奉行ニナリテ、京町奉行ニナリテ、公事方御勘定奉行ニナリテ、而後ニ江戸町奉行ニナル也、御禮席ハ御勘定奉行ノ上ミ席ニテ、大目付ノ下モ席也、與力同心ハ御抱ヘ席ノモノナレバ、町奉行ノ好次第二ニテ御暇モ下サル、召出サレモスル也、組替モスル也、與力二百三十俵ナレドモ、御譜代席デナキユエ隱居家督ト云事ナシ、父ハ御暇子ハ新規ニ召出サル、也、御抱ヘ席ノ分ハ株ノ賣買アル也、奉行ノ存ジヨリ次第ニテ動カスコトナル也、宮様ノ御家來ニテモ御直參ニテモ、御三家ノ御家來ニテモ、國家御譜代大名ノ家來ニテモ、ミナ町奉行宅ヘ呼寄、捕ヘテシラスヘ引出ス也、江戸ニテハ貴キモノハ御老中、恐ロシキモノハ町奉行トキタルモノ也、ケ様ニ御老中トツリ合タル權ナケレバ、日本國中ノ人法ヲ恐レヌユエ也、此方様ニテハ支配入マタギドノ御役モ 此間本文缺交二人ニテ持テ居也、此ヲ以テ見レバ、此方様ノ公事場奉行ハ江戸ノ町奉行ニアタルナリ、此方様ノ町奉行ハ江戸ニ此役ナシ、所々ノ役所ヲカチマゼタル御役也、江戸町奉行ノ與力ノ内ニ御詮議ト云役アリ、南北兩方ニ四人ヅ、有、町年寄ト云者有、家老三四人有テ町ヲ支配スル也、此方様ノ年寄・肝煎ト云フ者ハ

名主ト云、名主ノ下ニ町代アリ、家主有、家主トハ地面ヲ持タルモノニアラズ、地主ノ家來ニテ奉公人也、日々ニ町奉行ヘ出テ、町々ノ自身番ヘ出テ、火事場ヘカケツケテ働クモノ也、是等ハ皆名主ノ支配ナリ、名主ハ皆町年寄ノ支配也、町年寄ハ奉行ノ直支配ニテ、與力モ仲間ノ様ナルモノ也、此方様ノ町同心ト云御役ハ、江戸ニテハ町奉行附留役御勘定也、承レバ檢使ニ御出ナサル、ヨシ、是ハ江戸ノ法ヨリ見レバ、重クレタルコト也、江戸ニテハ町同心也、町同心ハ町與力ノ支配ナリ、同心ヲ支配スル與力ヲ支配役ト云也、町同心ノ老人南北ニ四人ヅ、年寄ト云役名ニテ有、此年寄檢使ニ出ル、隔日ノ番ユエ一日ニ兩方ニテ四人ヅ、出ル也、切殺サレ手負・縊死・浮死・行倒・喧嘩ノケガ人等也、浮死ハ江戸ニハ甚多シ、海ヘ出レバカマハズ、屋敷ノ裡ニ有レバカマハズ、川ノ中ヲ流ル、ハ構ハズ、唯町地ノ内ヘ寄掛リ居ル死骸計也、此等ノ檢使四人ニテ、是非々々ニ二ツカ三ツカ有コト也、手負ケガ人ハ先内濟ニシテ檢使ヲ願ハズ、其上ニモケ様ニ檢使入用也、ユエニ年寄同心ノ役人ヲ置也、近年町方物入ノナキヨフニトテ、檢使ハ二百匹ギリノ挨拶ニテ、酒モ出サスコトナレリ、今町同心ノ方檢使ニ御出ナサルハ、江戸ニテ町奉行附ノ留役御勘定役ノ御出ナサル、ニ當ルナリ、甚過當也、町方ニテハ大ニ迷惑ナルコトナルベシ、町ノ御足輕ノ老人ノ役タルベキカ、鶴謹デ案ズルニ、此方様ニハ叩放ナル闕處ナレドモ江戸ト違フ也、□□日安役ナシ、牢屋同心ナシ、此外ノコトハナクテモヨケレドモ此等ハアル方宜キヤフニ見ユル也、叩放ハ五十叩百叩トアリ、叩キ殺シテモ苦シカラズ、叩ク棒ヘ



肉ウイテ上ルホドノコトナレバ、死ヌモノモカマハヌ也、命アレバ助レドモ、命ナキユエニ死ヌ也、カマハヌ也、此方様ニハ此刑ナケレドモ、江戸へ御伺ノ刑人アルトキニ、江戸ヨリ叩放ト仰進ゼラル、時ニ、叩キ殺シテハアシカルベシトテ、死ナス様ニ叩カセテ御放シナサル、ト承ル、此様ナルコトハ此一事ニカギラズ、御伺ノ節ニ聞ガ能也、叩キ候節萬一刑人死候ハ、如何相心得ベキヤト問フコト也、死デモ苦シカラズト出ル也、是安心ナルモノ也、凡公邊ノコトハ一々聞ガヨキ也、叩キ殺シテハナラヌト云コトアルベカラズ、又叩キ殺セバ叩キタル人ヲ囚ニシテ公邊へ御伺ナサルトヤラ承ル、尤イハレナキコト也、左様ナラバ牢死仕レバ牢役人ヲ囚ニシテ御伺ナサルベキカ、且人命ハ長短ノアルモノナレバ、今死サフナ男ニ死ナムモノアリ、死サウモナキ者ニ死ヌモノアル也、叩放ヲ叩ク人ノ心ニナリタラバ、サゾコワキコトナルベシ、罪人ハコワガライデ、罪人ヲ責メルコワガルト云コト法ノ行ハレヌ根元也、此方様ニ此刑ナクテ、公邊ヨリ仰出サレテ始テ行フユエ也、公邊へ御伺ナサレテ、公邊ヨリ仰出サル、ダケノ刑ハ此方様ニモアルガ能也、此流行也、法ノユガマヌ仕掛也、叩放モ側ニ氣付ケト水トヲ置テ、目ヲマワセバ氣付ヲ飲セテ、活カヘラセテ叩クコト法也、法ノ通りニ行ヒテ、一寸モ一分モ假サヌト云フコトニナラネバ法ハ行ハレヌナリ、過料ハ是非ニナケレバナラス也、ヤタラニ過料ヲ出サスベシ、此方様ニハ過料ナキユエ、一向ニ長牢舎也、長牢舎ト云コト大不經濟ナルコトナリ、上ノ御米ヲ喰ヅシテ、其上モ其者ノ手指ヲ遊バセテ居ク、是程御國ノ金米ノヘル仕方ナシ、

江戸ニテハ昨日捕ラレタル罪人ニテモ、罪定リテ□カレバ今日モ切ル也、ムダニ喰ハセテ置クコト益モナキコト也、又切ル罪デモ無ケレバ牢舎益モナキコト也、此方様ニハ過料ナキユエ、罪人ヲコラシムル積リニテ、罪ガ定マリテモ牢舎ユルサズ、是術ノナキコトナリ、罪人ヲコラシメ度モノ、切ルニ及バズバ過料宜シ、身上ノヨキ者ハ百貫文モ二百貫文モ出サスベシ、身上ノアシキモノハ其身ノ暮シ方ニテ出サスベシ、罪人大ニ恥テ儲明日ヨリ出精スベシ、出精セネバ過料ダケウマラス也、是手指ヲ働カスコトナレバ、過料ハ國ノ益也、過料ノ錢ハワヅカノコトナレドモ、此男ノ手指ヲ働カスハ大ナル國益也ト知ベシ、是甚過料ハ宜キ物也、先達テ石屋後家ノ騷動ノトキモ、牢舎ニモ及バス罰也、過料ナラバ百貫モ二百貫文モ取ラルベシ、其人モ恥テ宜キ也、牢舎ヲサスルホド上下トモニ損ナルコトナシ、御法令ソロリト改マラバ、過料ノ次第百段モ立テ、ヤタラニ出サスベシ、是民ヲ働カセ、ズルケサセヌ法也、關所ノコトハ江戸ノ仕掛トハ、此方様ノ仕掛ハ大イニ違フ也、關所トハ其者ノ罪アルユエ、或ハ一ト身上、或ハ半身上消ユルト云コト也、燒ステルト云ヨフナ氣味ニテ上ヘ召上ルコト也、或ハ御法度ノ品ヲ作リタルユエ、作リタル品ダケハ關所トカ、或ハ御法令ヲソムキテ渡世仕リタルユエ、渡世道具關處ト云也、再ビ其者ノ手ニ入ラスユエ關所ナリ、此方様ノ法ハ御預リ也、牢舎人ノ度ニ關處也、出牢スレバ關所ノ品ヲ不殘下サル、也、此ハ牢舎ノ内上デ御預リナサルト云モノ也、益モナキ手間ツイヘナルコト也、關所ハ江戸ノ法ノ通りナルベシ、牢舎人ハ關所ニ及バス、牢舎人ノ宅・家

財ハ町内へ御預ケ、是公邊ノ法也、江戸ニハ目安役ト云役有、町奉行ノ抱ユルモノナリ、町與力ノ知行ハ地方ニテ下サレタルモノ也、上總國ニ於テ下サル、一體與力ハ現米八十石也、俵數ニ直セバ二百三十俵ニナル也、江戸ノ割ハ三ツ半成ニテ、六斗五升ヲ一俵ノ數ニ極メタルモノ也、右ノ現米八十石ヲ地方ニテ下サルユエニ、與力申談ジテ上總へ代官ヲ置テ物成ヲハカラス也、偕五十騎ノ内四十六騎ハ與力眞ニアリ、残りノ四騎ハアキテアルユエニ、町奉行ノ家來ニ公事ニカ、ルモノヲ兩人ヅ、抱ユル也、此ヲ町方ニテハ内與力ト云也、實ハ與力ニテ無シ、町奉行ノ用人也、此又地方ニテ領スルモノ也、偕御暇ノ出ル與力アレバ、與力ノ筆頭ノ悴ヲ新規ニ召出サル、筆頭ノ與力ハ二タ株ニナル也、二男アレバ二男ヲ己レガ嗣ニシテ、嫡子ハ新規召出サレノ方へ遣ス也、新規召出サレノ者ハ百六十俵ニ出ヅル也、與力新規ニ出ヅル者ハ百六十俵ヨリ二百俵マデアリ、何ゾ功アルトキニ加増ヲ町奉行ヨリヤル也、故ニ此残り地面又少々有、與力ノ上席ヲ年番ト云、年番ハ役料五十石ナリ、コレガ同心百五十人支配スル也、マダ残り地面アリ、己ニテ目安ト云モノヲ抱ユル也、故ニ目安モヤハリ上ノ御米ヲ取ルモノ也、目安トハ罪人口上ヲ申上ルトキニ、側ニ居テ大抵口上ノケ條書目印ヲ書テ、見付見出シ安キ様ニスルト云心ナルベシ、口書ヲ書ク役也、是ガ無ケレバイツマデクド／＼トシテ口書キキマラス也、江戸ハ罪人多キ故、其様ナル隙取リテハ居ラレヌユエニ、目安側ヨリ罪人ノ口上ヲ添削シテ書付ル、偕罪人口上申終リテ、目安ノ人目安ヲ讀ムナリ、罪人其通りデゴザリマスと云也、ケ様ニ心ノ働



ク筆ノ先ノ働ク男也、是モナルレバ出來ルト見エテ、目安澤山ニアル也、是ガ無レバ判斷マギラハシクテ定マラヌ也、是非ニ無レバナラス役目也、偕牢屋同心ト云モノアリ、是ハ石出帶刀ノ組下也、罪人ノ首ヲ刎ル者此男ノ役也、一體罪人ノ首ヲ穢多ニキラスルハ、些勇氣ノタユムコト也、江戸ニハ首切りノ淺右衛門ト云者アリ、是ハ諸侯方ヨリタメシ者ヲ試ミル、一體ハ浪人者也、代々其門人ガ嗣子トナリテ、代々淺右衛門也、不殘淺右衛門ガ切ト云ニハアラズ、一體ハ此牢屋同心切ル役也、牢屋同心モ十五人カ二十人有様ニ覺ヘタリ、三十俵カ二十五俵二人扶持ナルベシ、金ハ大イニ持テ居ルモノ也、御旗本切腹仰セ付ラルレバ、御預ノ大名ノ宅ニテ切腹スル、介錯ハ町同心也、町同心モ折々首ヲ刎ル事アリ、牢屋ニ同心居ネバ、穢多共自由ヲ働キテ、罪人ヨリ賄賂ヲ取、同心モ取レドモ同心ハ士也、穢多ハ獸同前ノ者ナレバ人情ナシ、同心ナケレバナラヌ證據也、又按ズルニ、此方様ノ追放ノ刑御改易ノ法ハ、何國ヘ合セテ見テモ定規合ハヌ也、公邊ノ追放ハ輕追放アリ、重追放アリ、幾國御構ト云アリ、江戸御構ト云アリ、是ハナル程日本ノ人ヲ日本ニサシ置レテ、追放也、朝鮮ヘツカハサルニモ、唐ヘツカハサルニモアラズ、唐・朝鮮ヘハ平生共ニユクコト法度ナレバナリ、願ヒテモツカハサレヌ處ナレバ也、唐・朝鮮ハ敵國ナレバ也、此方様ノ追放ハ、改易ノ人ハ三州ノ外ヘ出ルコトナラズ、コハ江戸仕掛ノヤフナレドモ、三州ノ外ハ敵國ト云ニハアラズ、願ヒテモ遣レヌト云ニモアラズ、今氷見ノ鏡磨・目鏡賣杯ハ日本中ヲアリク也、御法度ニアラズ、罪ナキ人ハ他國ヘ出ルコト



出來テ、罪アル人他國へ出ルコトナラズト云ハ定規合ヌ也、公邊ニテハ放逐ノ人々何トゾ他國ヘヤリ  
タケレドモ、敵國ユエニヤラレヌ也、平人願ヒテモツカハサレヌ所ユエヤラレヌ也、今放逐ノ人々ハ  
罪ヲ犯シテ人柄ノアシキ人也、ケ様ノ人柄ノアシキ人御府内外ニ居リテハ風俗モアシクナリ、善民マ  
デ惡民ニナリテ惡風ウツルユエニ、コレヲ四方ニ遠ザクルト云仕掛ナリ、今惡民ヲ御法度ノ敵國デモ  
ナイ處ヘ御出シナサラヌハ、一向ニ江戸ノ定規ニハヅレテアル也、是ヲ肉色ヲ守リテ骨組ヲ取ソコナ  
フト云也、御改易追放ノ輩ハ關内ノ外ヘ出シテ、死ナウガ、生ウガ、行タフレニナラウガカマハヌ筈  
也、江戸・朝鮮・唐ヘツカハサラヌトハ大イニ事替リタルコトナリト知ベシ

或問テ云、娼妓ハ國ノ害ナリヤ、風俗ヲ惡フスルモノ成ヤ

答云、娼妓ハ國ノ益也、風俗ヲ宜シフスルモノ也、昔ハ亂ヲ防グ爲ニ娼妓ヲ置ク、今ハ風俗ノ弊ヲ救  
フ爲ニ娼妓ヲオケリ、智者ハ國ヲ富ス爲ニ娼妓ヲ置リ、凡ソ人情止ムコトヲ得ズ、第一ニ大イナル物  
ヲ食トス、食ラクハネバ餓死スルユエ也、第二ニ大ナルモノヲ色トス、色ヲ禁ズレバ病ヲナス也、古  
ヨリ飲食男女ハ人ノ大慾存ストイヘリ、色食ハ性也トイヘリ、故ニ古ヘヨリ亂ノ起ルハ食色ノ二ツ也、  
人ノ恥ヲ乞物、食色ヨリ大イナルハナク、急ナルハナシ、故ニ節スルモノニテ絶物ニアラズ、心服ヲ養  
フモノニテ、心腹ニ飽過サシムルモノニアラズ、唯人情ノ得テ止メラレヌモノナリ、食ハ己レガ一人  
ニテコシラヘ設クル物ナレドモ、色ハ必ズ配偶ヲマチテ慾ヲ養フモノナレバ、亂ヲ醸シ爭ヲ生ズルハ

食ヨリモ尤大イ也、今食ノ爭ヒ少ナキハ、己レガ金サヘアレバドコデモ買フコトガ出來レバ、爭奪起  
ラヌ證據ナリ、是ヲ禁ズル、畢竟民ニ爭ヲ勸ムルニアタル也、是非姦淫行ハル、也、姦淫ヲ禁ゼズト  
云フ法ヲ立テ見タレバ、一向ニ爭奪止マジ、姦淫ハ禽獸ノ外ハ何國ノ夷狄トテモ禁ズル也、娼妓ハ公  
邊ニモ御禁止ナシ、公邊ニテ禁ゼヌ娼妓ヲ禁ジテ、イヅレノ夷狄ニテモ禁ズル姦淫ヲ御見ノガシナサ  
ル、ト云、法ノタ、ヌ始メ也、法ト云モノハ情ヲ養フモノニテ、情ヲ誣ユルモノニ非ズ、情ヲ養フ法  
ハ行ハル、也、情ヲ誣ユル法ハ決シテ行ハレヌ也、今法ヲ行ハント願ヒテ人情ヲ誣ユルハ、水ノ一字  
ヲ書キ雲ヲツナガントスル様ナルモノ也、一體ノ生レツキヲセンギセン也、性ヲ誣ル也、如シ娼妓ヲ  
御禁ジナサラネバナラズハ、姦淫ヲ免サルベシ、姦淫ヲ免サル、コトナラズバ、娼妓ノ禁ヲ御解ナサ  
ラネバナラヌ也、兩方禁ゼラルレバ、兩方ヤブル、也、今御城下ノ有様ヲ見ルニ、兩方共ニヤブレタ  
ル様ニ見ユル也、兩方共ニヤブル、ハ人情ヲ見合サズニ滅多無性ニ法ヲ立タル物ナルベシ、法ハヤブ  
レヌ様ニタテネバ法ノ甲斐ナシ、ヤブレヌユエニ法ナリ、唯役人ノ心ヲ用ユルコトハ、法ノヤブレヌ  
様ニノトカコフ様ニスル也、今罪人ニ向ヒテ罪人ノ命ヲ助ケントスルコト甚惡キコト也、法ノ壞レヌ様  
ニ取扱フコト也、罪人ハ自身ノ作りタル罪ナレバ、其身ノ作シタル罪ノ通りニ刑セラルレバ、怨ムルコ  
ナラヌ也、人ノ命ニハカマフ可ラズ、法ノユガマヌ様ニト心ガクベキコト也、法サヘユガマネバ國ハ亂  
ル、コト氣遣ナシ、淫亂ハ亡國ノ風也、亂國ノ風也、此亡亂ヲ救フハ娼妓ヨリ近キハナシ、故ニ娼妓ナ

キハ淫ヲ民ニ教ユル也、淫ヲ民ニ教ユルハ自亡自亂ト云物也、恐ルベキコトニテハナキヤ

鶴謹デ案ズルニ、法人情ニチガヒタル程恐ルベキハナシ、今此御城下ニ娼妓ナキ故ニ淫風甚行ハル、也、淫風行ハルレバ上下ノ隔ナシ、士ノ知行取御直參ハ知ラズ、陪臣ニハ町家ヘ來リテ人ノ妻ト姦スル人アルナリ、其主人近邊ノ人はヲ知リテモ、相手ガ士分ノ人ユエニツヨウモ禁ゼズト見エタリ、是上ヨリ法ヲ曲テ出ルトイフモノ也、上ヨリ法ヲマゲテハ、下ノ法ニチガヒタルモノヲ正スコトナラズ、悲ムベキカナ、且御城下ハ一體家居廣シ、江戸ニテ百人モ住ベキ家ガ、御城下ニテハ三人グラヒ住也、五十人住ベキ家モ二人住居也、如此家居廣ケレバ隠レ所アル也、故ニ淫風猶々行ハル、ト思ハル、其故ハ江戸ハ姦一向ナシ、其次ハ京也、其次ハ大坂也、其次ハ大城下也、其次ハ城下ニ娼妓ノナキ所也、城下ノ娼妓ナキ所ニ淫風ノ行ハレヌト云フハ、決シテノナキコト也、一體御城下ノ家ハ廣過テ、富マセル仕方ニモアシ、淫ヲ禁ズルニモ勝手アシ、ト知ルベシ、凡ソ御城下ニカギラズ、三州ノ富者ヲ削リテ貧者ヲ賑ハスコト、御政ノ主意ト見エタリ、是モ又天下ヲ御療治ナサル、法ノ國主ヘウツリタルナリ、前ニモ申ス通り、天下ト國トハ一體ノ說、骨組ハ同ジコトニテ、肉色ハチガフ也、天下ノ上デミレバ、富ヲ削リテ貧ヘヤルモマダノヨシ、ソレモ能理ニアフタル政ニアラズ、其證據ヲ申スベシ、富ム人ハ出精シテ勵ミ勉ムル人也、貧ヲスル人ハズルケモノ也、今富メルヲ削リテ貧ナルニ恵ミテハ、出精シテ勉ムル人ヲ罪シテ、ズルケルモノヲ賞スル也、天下ナラバマダ少シハ罪ナシト云フハ、



他國ナキユエ人ヲ吸ル、コトナシト云コト也、國主ハ一國ギリ也、此方ニテ富民ノ出精勉勵スル人ヲ罰シテ、ズルケ者ヲ賞スレバ、他國ノズルケ者追々來ルベシ、自國ノ出精モノ國ヲ去ベシ、是國主ノ恐レネバナラヌ證據也、凡ソ人ヲ賞シ人ヲ罰スル程恐ルベキコトナシ、今勵モセヌ人恩惠ヲトレバ、國風勵カヌコトハヤル也、罪アル人刑罰ニ遇ハネバ、國風罪ヲ犯スコトハヤル也、國ノハヤリ事ハ政ヲ執人ニ有、賞罰ハ少シモ假サレヌ證據也、唯愛スベキハ出精スル人也、故ニ富民ヲ愛スルコト順ナリ、憎ムベキハ貧家也、ズルケルユエ也、金ノ澤山アル民ヘハ金ヲヤリテ、損ヲサセヌ様ニシテ愛スルコト法也、金ノ澤山アル民デナケレバ、他國ノ金ヲ吸ハヌ也、金ノナキ民ハ他國ヘ金ヲ吸ハル、也、自國ノ金ヘラヌハ富貴愛憎ノ一段ニアリ、ア、恐ルベキ哉

或問云、當國ノ民戸數口數ハ大イニフヘテ收納ハフヘヌ也、凡ソ川々ヘ出水アレバ川田畑ヲ嚙ムユエ、田畑ハ年々ニ減ズル方也、如何シタラバ收納ノヘラヌ様、田畑ノ復スル様ニナルベキヤ

答曰、口數フヘテ收數フヘヌト云ハ怪ムベキヲ也、其爲ノ戸籍也、此方様ニテハ士分ノ廻村ト云コトナシ、且十村ト云モノ甚支配多シ、一々廻村スルヤ否心元ナシ、タトヘ十村廻村シテモ、又士分ノ廻村有ベキ筈也、公儀ニテハ御代官手代部ヲ分ケテ細カニ廻村スル也、一體百姓ト云者賣買ノコトニハ至テウツク、アホウノ様ニ見ユレドモ、又田畑方ノコトハ至テ犂獵巧狡ナルモノ也、商人ガ百姓ヘ物ヲ賣附ケル如ク、百姓ハ又他ノ業ノ人ヲアザムク也、田畑ニテ人ヲアザムクコトハ又至テ巧者也、油斷ハナラス也、



油斷ヲシテモ百姓ドモ多クサヘ作レバ、國ニ米ガフエルコトナレドモ、百姓共樂ニナレバズルケル也、ズルケレバ矢張國ノ米ガ減ル理ナリ、是又恐ルベキ也、商人ノ商ヒ事ニテ上ヲ欺ク様ニ、百姓モ又田畑ノコトニテ上ヲ欺ク也、唯田畑ノコトハ一目ニテ知ルベキ也、商ヒゴトハ一目ニテ知ル處ニアラズ、故ニ百姓ハ檢見ニテ事サラリト濟ムナリ、承ルニ江戸此方様ノ御廣式ニ久シク勤メタル老女衆アリ、老女衆久敷ク勤ムレバ、右ノ老女ノ弟或ハ甥姪ノ内ヲ召出サル、コトノ由、此老女ノ甥ヲ與力ニ召出サル、此甥ハ伊奈肥前守殿ニ手代ヲ勤メテ居タル人ノ由也、此方様ノ與力トハドノ様ナル處ヘ召仕ハル、モノヤラ知ラネドモ、百俵トヤラ百五十俵トヤラニ召レタル由也、是甚ヨキ師也、コノ男ヲ金澤ヘ召シテ改作方トヤラヘ入レテ、江戸ノ廻村ノ法、檢見ノ法ヲ御聞ナサルベシ、其ノミナラズ、川ノキレタルアトヲ田ニスル法、川ノ防ギ方何年ニテ渡スルモノジヤ、ケ様ニトリナヤムガ宜シキモノジヤト云コトヲキ、テ、學問執行スベキコト也、思ヒノ外ニ收ノ多クナルコトモアルベシ、百姓ノ爲ニモ宜キコトアルベシ、鶴竊ニ案ズルニ、此方様ノ御領分マダ〱一向ニ手ノ入ラヌ所アルヤウナリ、駿・遠ヨリ五畿迄ノ地ヲ見テ、此方様ノ御領國ヲ見レバ、マダ〱一向ニ昔ノ通り也、伊奈ノ手代來リテ見タラバ大イニ驚クベシ、結構ハ結構ナル事ナレドモ、アマリ流行ニオクレタル所アルベキ也、百姓共モ大ニ喜ブ事有ベシ、然レドモ唯檢見ノ巧者モノ來ルトキカバ、自己々々ノ隱計顯レンコトヲ恐レテ騒グモ程知レズ、是愚民ノ常情也、故ニ密ニ御呼ビナサレテ、密ニ御見セナサレテ、密ニ療治

ノ仕形有ベシ、始メハ百姓ドモノイフ事ヨリ行ハセルコト智也、二三種モ百姓ドモノ爲ニナルコトヲシテ見セタル程ナラバ安堵スベシ、其後ニ法ヲ立ベキ事也、是方法也、戶籍ト云モノハ民ノ多少増減ヲ知ルバカリニアラズ、手指ノ數ニヨリテ禾麥ノ多少ヲ知ルコト也、禾麥ノ出ヤウ刈リ様高ヲ上ヘ占テ居ネバ欺ムカレル也、欺ムカレテハ令行ハレヌ故ニ、之ヲ始メ知ル法也、是戶籍ヲ調ブル法也或問テ云、當所ノ大河二條アリ、犀川・朝野川也、川上ニ水損アルハ如何、此禍ヲ除ク法アリヤ

答云、川下埋ル故也、今ノ淀川ノ川口ヲ安治川ニアケタルハ瑞軒ト云人也、瑞軒ノ吳々モ申置ハ、年々ニ川下ノ海口ヲ廣フスルガ古法ナレドモ、大方ハマモラヌナルベシ、偕川中ヘ島出來レバ川上ハ洪水也、サレドモ大方ハ島出來ベシ、今ヨリ苦シキコト也トイヒシ由也、瑞軒ノ申セシ如ク、今ハ淀川ノ下ニ島出來テ、安治川ノ川口セマフナレリ、偕年々ノ様ニ洪水ニテ川上ニ水損多シ、近年ハ芥ヲ捨ルコトヲ御世話アリテ、川口ノ沙ザラヘトイフコトヲ仰出サレタリ、川口ノ沙ザラヘハ日々五十艘ヅツ常ザラヘ也、芥ハ船ヲ待テ舟ヘ錢ヲ付テツカハシテ、捨テ貰フ様ニセイトイフテ、七夕ノ短冊竹、スノハラヒノ竹、精靈棚ハ決シテ舟ヘ頼ムコトニテ、其以前猶別段ニ觸廻ルナリ、凡ソ芥ヲ川ヘ捨ルコト固ク禁ゼラレ、川端ニハ禁札ヲ建テ川ヘステサセヌ也、此方様ニハ尤川モ急流ナレドモ、皆カマハズニ捨ルコトニテ、禁ゼラレズアレバアシキ事也、急流ニテモ少シハタマル氣味ナクテ叶ハヌ也、鶴竊ニ案ズルニ、芥ヲ巴川ヘスツルコトヲ禁ゼラレテ、芥舟ヲ淺野川ノ下ノ舟渡ノ邊ヘツケテ、コノ舟

へ錢ヲツケオクル様ニ仰出サレテ、其芥ヲ下ヘサゲテ湖水ヘ捨サスベシ、湖水ハ埋レバ埋マル程恐悅也、川口ハ埋マラスコト恐悅也、コレラハ一日モ早フ行ヒタキ法也

或問云、法ハ先代ヨリ傳リタル法ヲ守テ、代々之ヲ少モユガメヌコト承レリ、其ニテハアシキヤ

答云、大綱紀ハドコマデモ改メヌコト也、小目節ハサイ／＼改メネバナラス也、大綱紀モ改メハセネドモ、修メネバ叶ハヌコト也、修ムルトハ修覆スルコト也、修覆スルト云日ニハ一向ニイラハヌト云コトハナラスコト也、其證據ニハ「君子之澤五世而斬、小人之澤五世而斬」ト有リ、此心ハ聖人ノ智ヲ以テハカラル、ユエニ相違ハナキコト也、五世ギリニテ絶チテ、別ニナリタデナケレバ又ツヅカヌナリ、五世ノ内ニ豪傑ノ君出レバ、大綱紀ノ修覆出來スルユエ、又五世マデハモツナリ、親族モ己レヲ中ヘ立テ、上四代下ヘ四代ハ忌服カ、レドモ、此外ハ他人ニナル也、上ヘ己レトモ五代也、コレヲ君子小人ノ譯トモニ五世ニシテタツトハイフ也、然レバ大綱紀トイヘドモ、五世ギリ持ツヤウニ仕タルモノニテ、五世目アタリニ大豪傑ノ君出テ大綱紀ヲ修覆スル、修覆出來ネバ此天下此國ガ傾キテ亂亡スル也、殷ノ世杯ハ賢聖ノ君六七興ルトテ、長キ世ニハ六人七人ノ大綱紀ノ修覆仕手ガ無テ叶ハヌ也、若其人ナケレバ亡ビル也、國モ其通り、先代ヨリ五代マデニ豪傑出ネバ是非國傾クナリ、如何ンゾ法ヲ徒ラニ守リテ宜シカルベキヤ、鶴按ズルニ、大綱修覆ハ君御一人、大臣御一人、下働ノ智者ソロハネバナラスユエ、此五代目ノ一普請ハ六ヶ敷也、五代目ヲ竹ノ大節ト見タルモノ也、其外ハ小節ナレバ

君御一人カ、下働ノ智者一人デ行トバク也、何レ世ノ中ハ活物ナレバ、活物ノ世ヲ死法ニテ行カントスルハ無理ナルコト也ト思フベシ

此外種々ニ存ジタルコトアレドモ、旅行セマリタレバ此卷マデ書記セリ、萬々一御用ニ立ツ事モアリテ、面白フ思召所モアラバ、何百卷モ認メテ御覽ニ入ベシ、書生ノ身ニ取リテハ規模本望ノ到リ也、唯御用捨ハ上ニ有ル事也、書生ハヤタラニ存ジタルダケ書付ルコト任也、中ンヅク江戸ノコトハ鶴ガ在所ノ事ナレバ、江戸人ダケハ知リテ居ル也、京都ニモ七年居リタレバ、京ノコトモ京人ノ程ハ存ジタリ、大坂ハ出入二年居リタル故委細ニハ知ラネドモ、京人・江戸人ヨリハ能知リテ居ル也唯鶴ガ仕ヘタル國ハ至ツテ小國也、御譜代大名也、故ニ御譜代家ノコトハ隨分知リテ居レドモ、國家ノ事ハ元不功者ナリ、幸ニ鶴ガ父尾藩ヘ召レテ、舍弟モ物頭役ヲ勤メテ居ルユエ、鶴モ三年ノ間學問用ノミニ雇ハレタレドモ、チラリ／＼ト見聞セシコト有、追々書記スベケレバ、御慰ニ座右ニオカレテ、御閑暇ノ時ゴトニ御覽ナサレタラバ、少シハ御國益ニナル事モアルベキ歟

## 或問終



宮崎幸麿  
小西武治校

大正四年十一月七日印刷  
大正四年十一月十日發行

日本經濟叢書 非賣品

卷十八

編者 瀧本誠一

發行者 佐藤卯兵衛

東京市神田區駿河臺  
鈴木町拾六番地

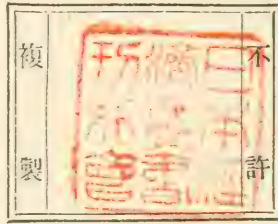
印刷者 中田福三郎

東京市牛込區市谷  
加賀町一丁目十二番地

印刷所

株式會社秀英舍第一工場

東京市牛込區市谷  
加賀町一丁目十二番地



發行所

東京市神田區駿河臺  
鈴木町拾六番地

日本經濟叢書刊行會

電話本局三一八五番  
振替口座東京二六八一〇番

理事

高木範之丞  
佐藤卯兵衛







## CONTENTS

of the eighteenth volume

KEIZAI DAN, *or politico-economical colloquiums*

By KAIHO SEIRYŌ  
(1755—1817)

1. ZENCHŪ DAN
2. TENNŌ DAN
3. YORODZUYA DAN
4. YŌSHIN DAN
5. ZENSHIKI DAN
6. YUMIN DAN
7. KEIKO DAN
8. MASUKO DAN
9. KŌHAN DAN
10. KAIHO QIHEI SHO



~~1183255~~

BIBLIOTHECA  
JAPONICA  
ŒCONOMIÆ POLITICÆ

VOL. XVIII



*TŌKIŌ*  
*NIHON KEIZAI SŌSHO*  
*KANKŌKWA*

*1915.*





BIBLIOTHECA  
JAPONICA  
ECONOMIÆ POLITICÆ

VOL. XVIII

五十二

TOKIO  
SHON KEIZAI SHUHO  
KANOKWAI  
1915.









EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO



3 1761 02987 6109

